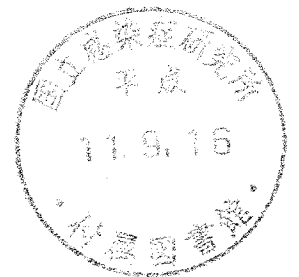




平成 8 年

感染症サーベイランス事業年報

平成11年 3 月



厚生省保健医療局結核感染症課

東京都新宿区戸山一丁目三十一番
国立感染症研究所附属図書館

はじめに

本事業は、近年、新たに問題となっている感染症や、迅速な対応を必要とする感染症を対象として始めてから18年目を迎えますが、現在までに集められ解析されてきた多くの資料は、その時々々の保健医療現場での活用にとどまらず、学問的にも貴重な情報として注目されています。

しかし、対象疾病、収集情報の内容、還元情報の内容等、今後とも検討すべき点があり、常に点検を加えながら絶えず前進して行かねばならないと考えております。

本事業の推進にあたって、全国でご協力をお願いしている定点医療機関の方々をはじめ、関係各位の皆様の並々ならぬご努力に対して、心より感謝の意を表しますとともに、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。

昭和62年1月からオンラインシステムの導入により、本事業が、情報の収集・還元において、わが国の感染症の患者発生状況の迅速な把握及びこれらの疾患に対する有効・的確な予防対策の確立に大きく貢献していくものと確信しております。これもひとえに情報解析小委員会の先生方のご協力のたまものであり、ここに誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成11年3月

厚生省保健医療局結核感染症課長

滝澤 秀次郎

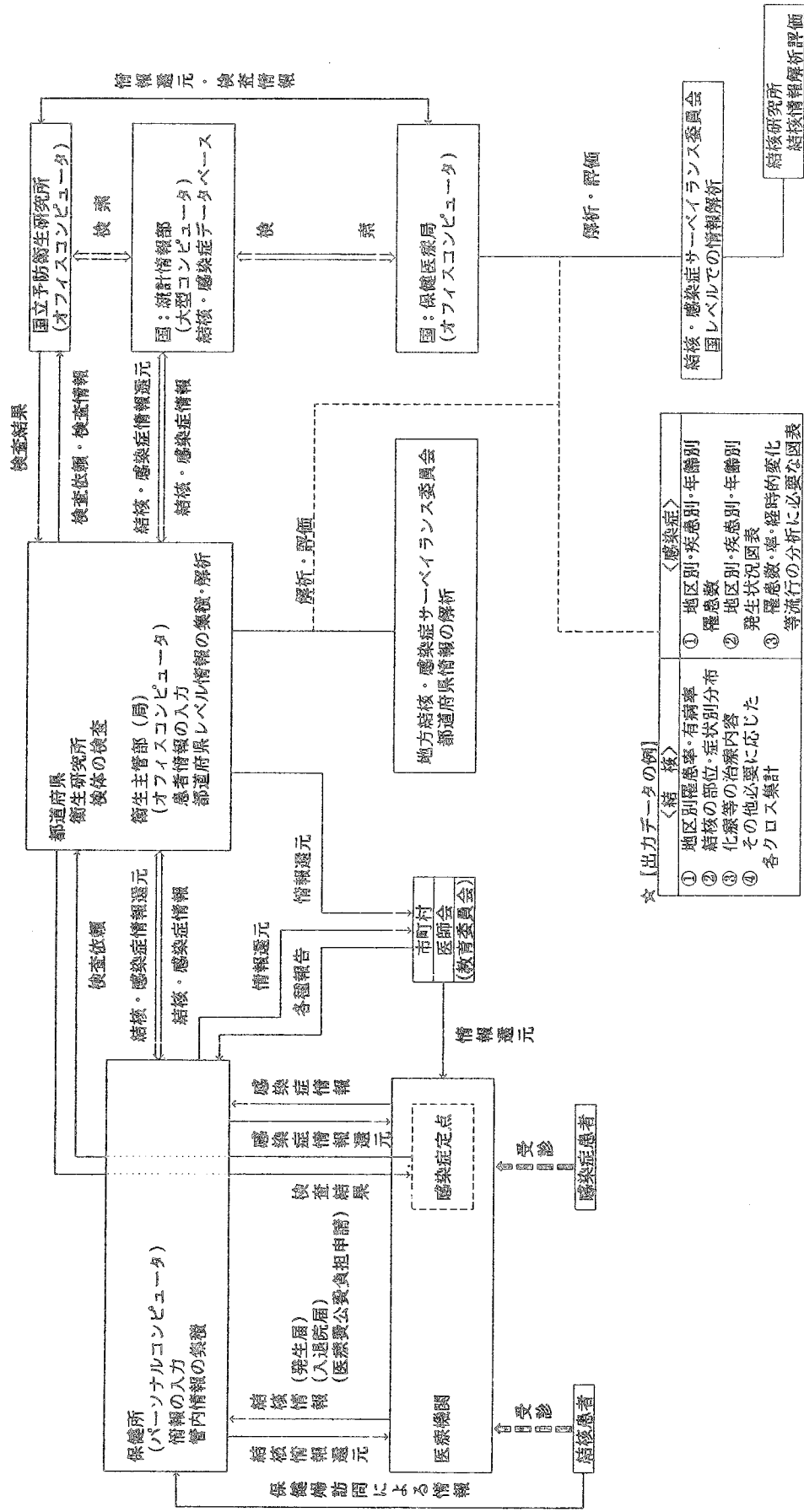
◎情報解析小委員会委員名簿

(アイウエオ順)
平成8年4月1日現在

班	氏名	所属
小児・内科 眼科班	青木 功 喜	青木眼科医院理事長 日本眼科医会
	飯野 四 郎	聖マリアンナ大学教授
	大野 重 昭	横浜市立大学医学部教授
	神谷 齊	国立療養所三重病院長
	○木村 三生夫	元医療法人清風会 光ヶ丘病院理事長・院長
	鈴木 宏	山梨医科大学学長
	蓑輪 眞 澄	国立公衆衛生院疫学部長
性感染症班 (STD班)	大里 和 久	大阪府立万代診療所長
	川名 尚	東京大学医学部附属病院分院 産婦人科教授
	熊本 悦 明 橋爪 壯	札幌医科大学名誉教授 (財)日本ポリオ研究所理事長
病原体情報班	井上 榮	国立予防衛生研究所感染症疫学部長
	倉科 周 介	東京都立衛生研究所長
	島田 俊 雄	国立予防衛生研究所細菌部 腸管系細菌室長
	柳川 洋	自治医科大学公衆衛生学教授
	山崎 修 道	国立予防衛生研究所所長

○印は委員長

結核・感染症サーベイランスシステムの業務（情報）の流れ



(注) 1 都道府県 (指定都市を含む)
 2 ⇔ は、オンラインによる情報のやりとり

凡 例

利用上の注意

1. 「指定都市」というのは、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市のことである。
2. 四捨五入した数などを用いている統計表では、細分した項目の数の合計が、必ずしも総数に一致するとは限らない。
3. 統計表に使用している記号（表章記号）は、次のとおりである。

(1) 計数のない場合	—
(2) 統計項目のありえない場合	。
(3) 比率が微小（0.05未満）の場合	0.0 0.00

目 次

第1章 各疾病の動向	1
I 小児科・内科定点、病院定点の感染症	6
1. 麻疹様疾患	7
2. 風しん	11
3. 水痘	15
4. 流行性耳下腺炎	19
5. 百日せき様疾患	23
6. 溶連菌感染症	27
7. 異型肺炎	32
8. 感染性胃腸炎	36
9. 乳児嘔吐下痢症	41
10. 手足口病	48
11. 伝染性紅斑	53
12. 突発性発しん	57
13. ヘルパンギーナ	61
14. インフルエンザ様疾患	67
15. MCL S (川崎病)	71
16. 感染性髄膜炎	78
17. 脳・脊髄炎	90
II 眼感染症	106
1. 咽頭結膜熱 (PCF)	106
2. 流行性角膜炎 (EKC)	106
3. 急性出血性結膜炎 (AHC)	106
III ウイルス肝炎	117
1. A型肝炎	117
2. B型肝炎	117
3. その他のウイルス肝炎	117
4. 輸血後肝炎	117
IV 性感染症	130
1. 淋病様疾患	130
2. 陰部クラミジア感染症	130

3.	陰部ヘルペス	130
4.	尖圭コンジローム	130
5.	トリコモナス症	130
第2章	病原体情報について	151
1.	情報収集還元システム	151
第3章	患者情報集計	185
1.	平成8年全国、週別。疾病別報告数及び一定点当たり報告数	185
2.	平成8年全国、疾病別。月別。性別報告数及び一定点当たり報告数	188
3.	平成8年都道府県別。疾病別年間報告数及び一定点当たり報告数	194
4.	平成8年都道府県別。疾病別。性別年間報告数及び一定点当たり報告数	197
5.	平成8年疾病別。ブロック別年間報告数及び一定点当たり報告数	206
6.	平成8年疾病別。ブロック別。性別年間報告数及び一定点当たり報告数	207
7.	平成8年疾病別。年齢階級別年間報告数及び一定点当たり報告数	210
8.	平成8年疾病別。年齢階級別。性別年間報告数及び一定点当たり報告数	211
第4章	感染症サーベイランス事業定点数	215
1.	平成8年感染症サーベイランス事業定点数	215
第5章	病原体情報集計。病原細菌検出成績	217
1.	病原細菌検出状況総括、由来ヒト、1996年	217
1-1	地研。保健所、都市立伝染病院、検疫所	217
1-2	医療機関	219
2.	病原細菌検出数の月別集計、由来ヒト、1996年	220
2-1	地研。保健所	220
2-2	検疫所	222
2-3	都市立伝染病院	223
2-4	医療機関	225
3.	病原細菌検出数の報告機関別集計、由来ヒト、1996年	230
3-1	地研。保健所	230
3-2	検疫所	236
3-3	医療機関	237
4.	サルモネラの菌型分布、1996年	247
4-1	由来別集計、地研。保健所	247
4-2	材料別集計、由来ヒト、医療機関	250
4-3	報告機関別集計、由来ヒト、地研。保健所	252
4-4	報告機関別集計、由来ヒト、医療機関	264
4-5	報告機関別集計、由来動物、地研。保健所	269

4-6	報告機関別集計、由来食品、地研・保健所	270
4-7	報告機関別集計、由来環境、地研・保健所	272
5.	チフス菌、パラチフスA菌のフェージ型分布、由来ヒト、1996年	276
5-1	チフス菌の月別フェージ型分布	276
5-2	パラチフスA菌の月別フェージ型分布	276
5-3	チフス菌の都道府県別フェージ型分布	277
5-4	パラチフスA菌の都道府県別フェージ型分布	278
6.	A群レンサ球菌の菌型分布、由来ヒト、1996年	279
6-1	月別全国集計、地研・保健所	279
6-2	月別全国集計、医療機関	279
6-3	報告機関別集計、地研・保健所	280
6-4	報告機関別集計、医療機関	281
7.	病原細菌検出数の年別集計、由来ヒト、1991~1996年	283
7-1	地研・保健所	283
7-2	検疫所	285
7-3	都市立伝染病院	287
7-4	医療機関	289
第6章	病原体情報集計。ウイルス、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ検出成績	293
1.	検体採取月別、由来ヒト、1996年	293
2.	感染年齢、由来ヒト、1996年	294
2-1	年齢別	294
2-2	年齢群別	295
2-3	0歳児の月齢	296
3.	性別、由来ヒト、1996年	297
4.	検体の種類、由来ヒト、1996年	298
5.	臨床診断名、由来ヒト、1996年	299
6.	臨床症状、由来ヒト、1996年	300
7.	検出方法、由来ヒト、1996年	301
8.	検体採取の理由、由来ヒト、1996年	302
9.	検査実施機関、由来ヒト、1996年	303
10.	検体提供者の住所（都道府県・政令市）、由来ヒト、1996年	304
11.	報告機関、由来ヒト、1996年	306
12.	年別、由来ヒト、1991~1996年	308
第7章	結核・感染症サーベイランス事業の実施について	局長通知 311
	（結核・感染症サーベイランス事業実施要綱）	312

第8章	結核。感染症サーベイランス事業の実施について …… 課長、室長通知 ……	329
	(感染症サーベイランス事業の対象疾病について) ……	334
第9章	感染症サーベイランス事業病原体検査指針 ……	339
第10章	〈資料編〉 ……	345
1.	平成8年都道府県別。男女別人口(日本人人口) ……	345
2.	平成8年年齢5歳階級。男女別人口(日本人人口) ……	346
3.	年次別人口 ……	347
4.	伝染病患者数。死者数(法定。指定伝染病) ……	348
5.	同 (届出伝染病) ……	349
6.	インフルエンザ様疾患総患者数(昭和61年～平成9年) ……	350
7.	インフルエンザ様疾患週別発生状況 ……	351
8.	インフルエンザ様疾患発生報告(都道府県。指定都市別、最終報 8.9.24 ～9.6.14) ……	352
9.	平成8年性病患者数。り患率(人口10万対)、病類。年次別 ……	353
10.	平成8年性病患者数、病類別。都道府県別 ……	354
11.	平成8年梅毒発生状況、月別 ……	355

第1章 各疾病の動向

第 1 章 各疾病の動向

1996 年第 1 週から第 52 週の動きについて情報解析小委員会の解析評価を報告する。

1996 年の定点数は、小児科・内科定点 2,440、眼科定点 314、病院定点 515、性感染症定点 604 で昨年にくらべて小児科・内科定点、病院定点、性感染症定点は定点数に変化はなく、眼科定点は 1 定点増加した。

図1. 麻疹様疾患、風しん、水痘、流行性耳下腺炎、突発性発疹

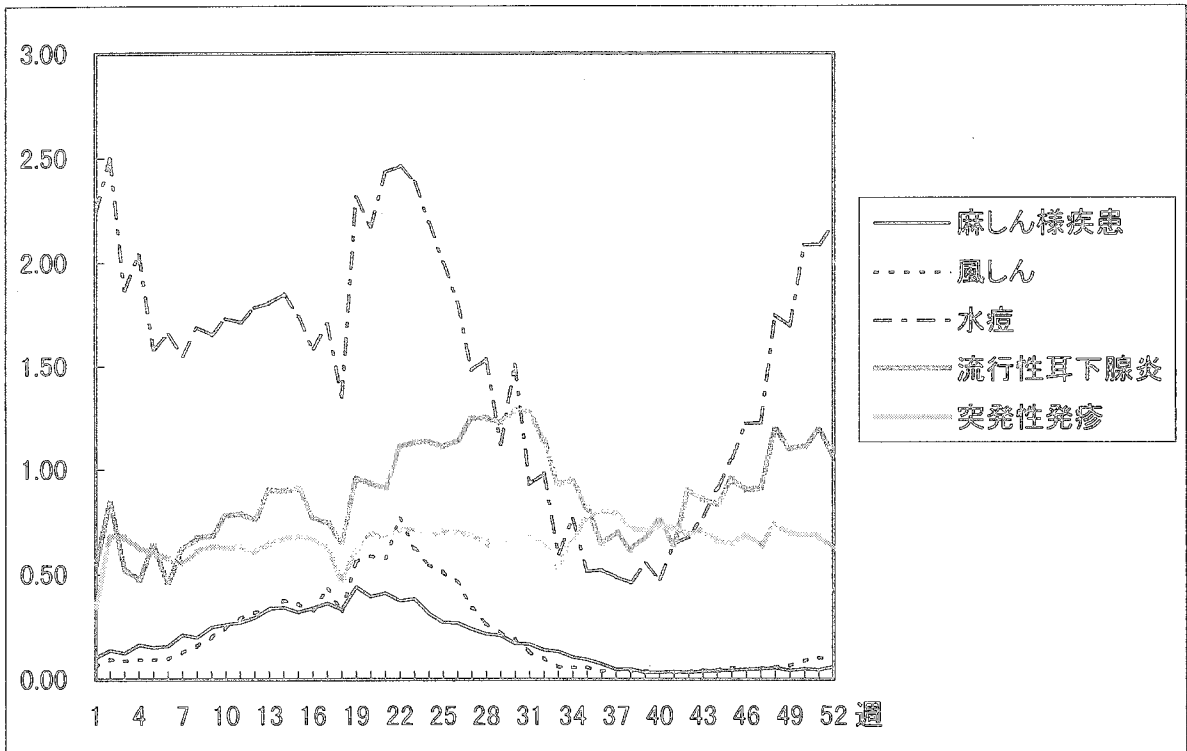


図2. 百日せき様疾患、溶連菌感染症、異型肺炎、伝染性紅斑

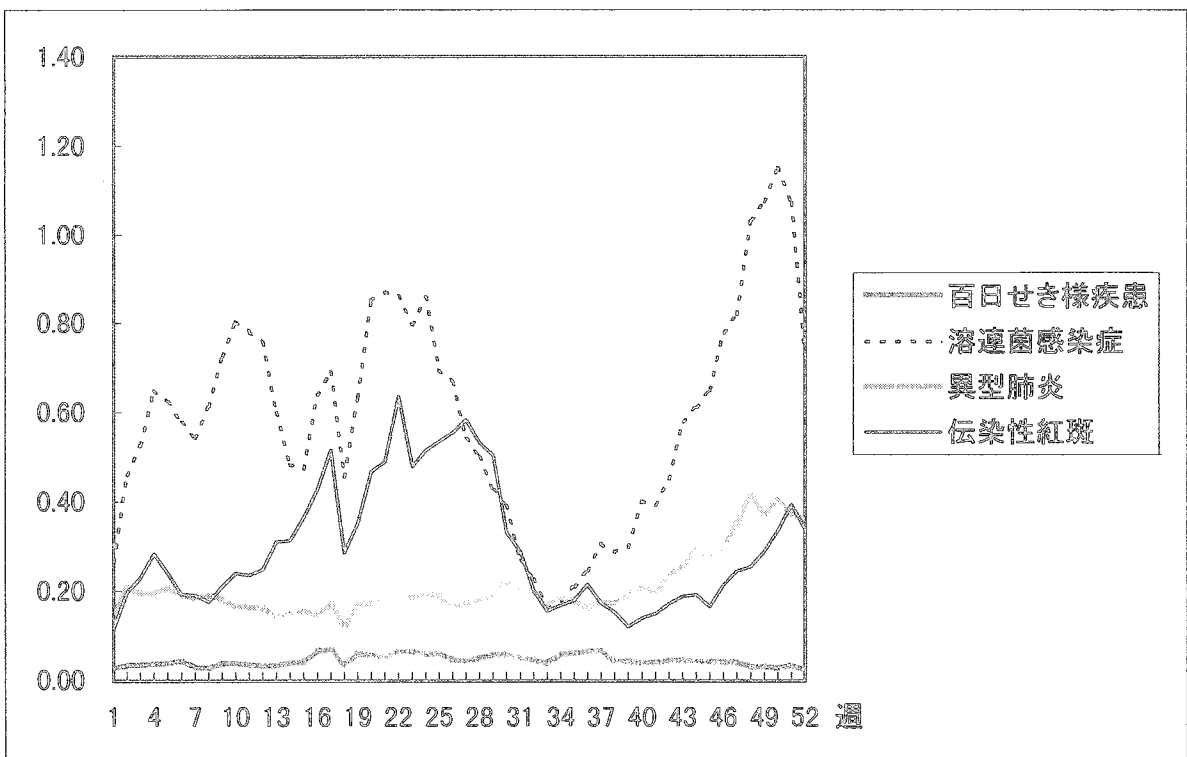


図3. 感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症、手足口病、ヘルパンギーナ

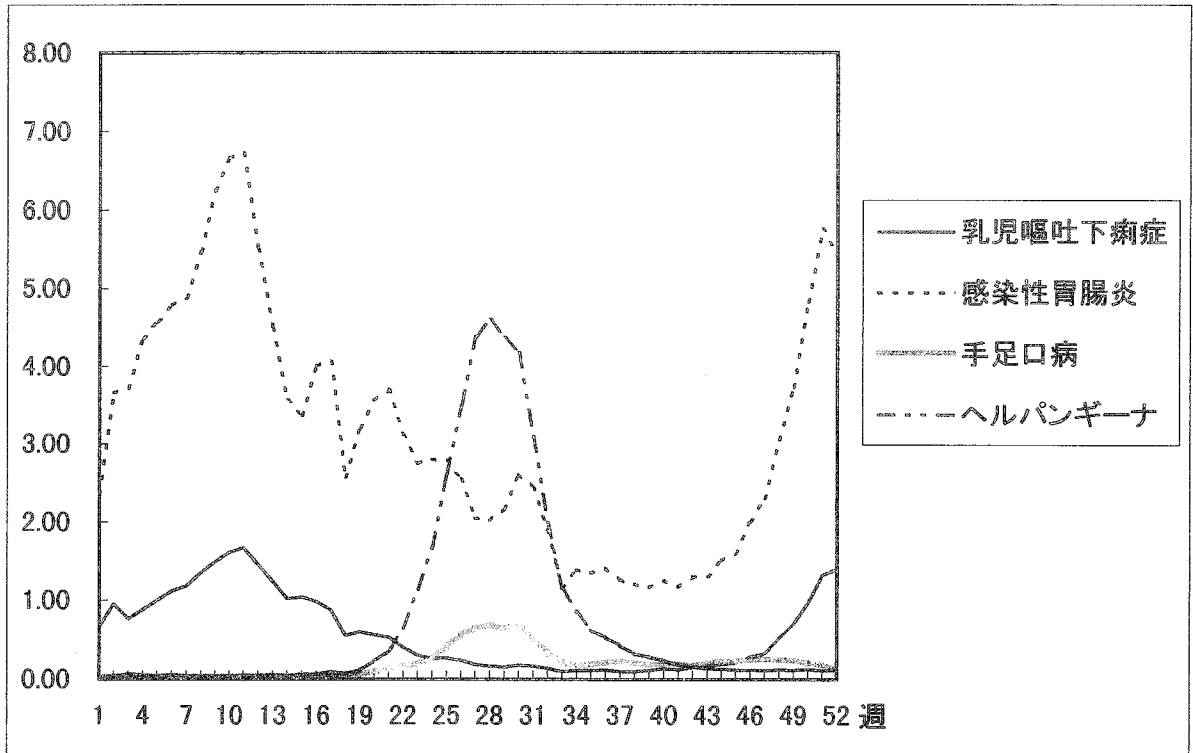


図4. 咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎

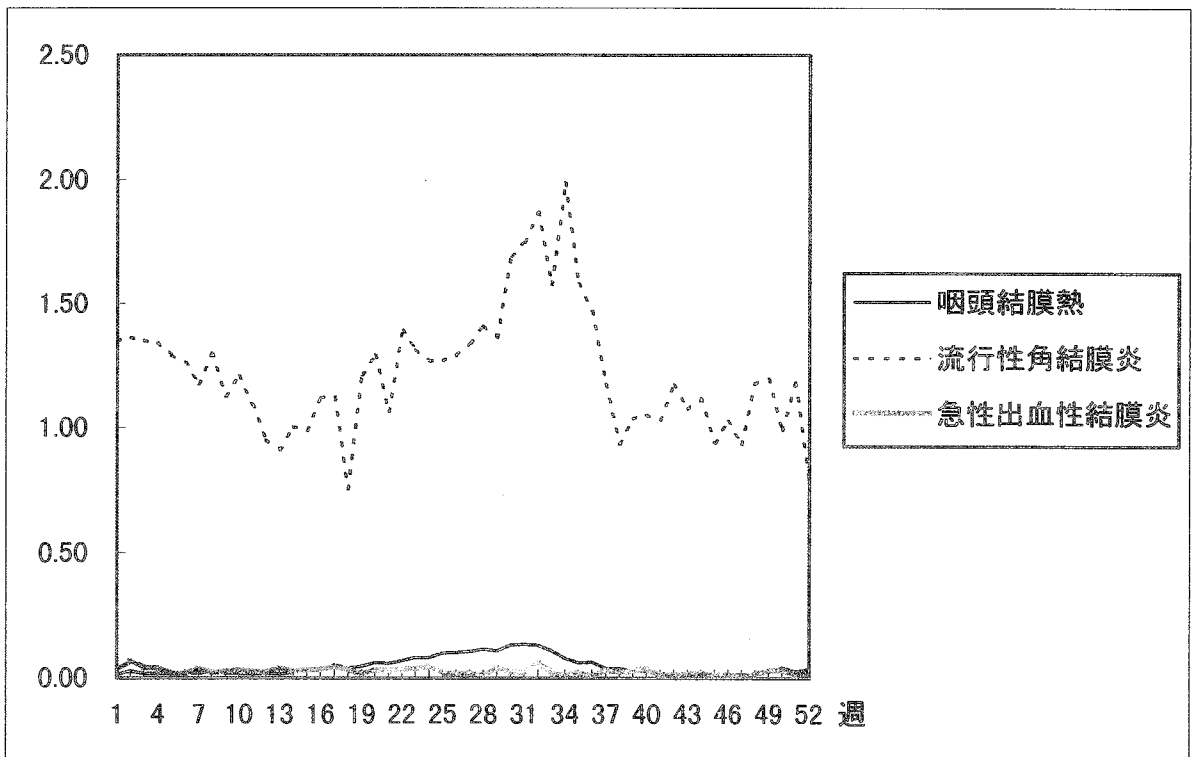


図5. 細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎

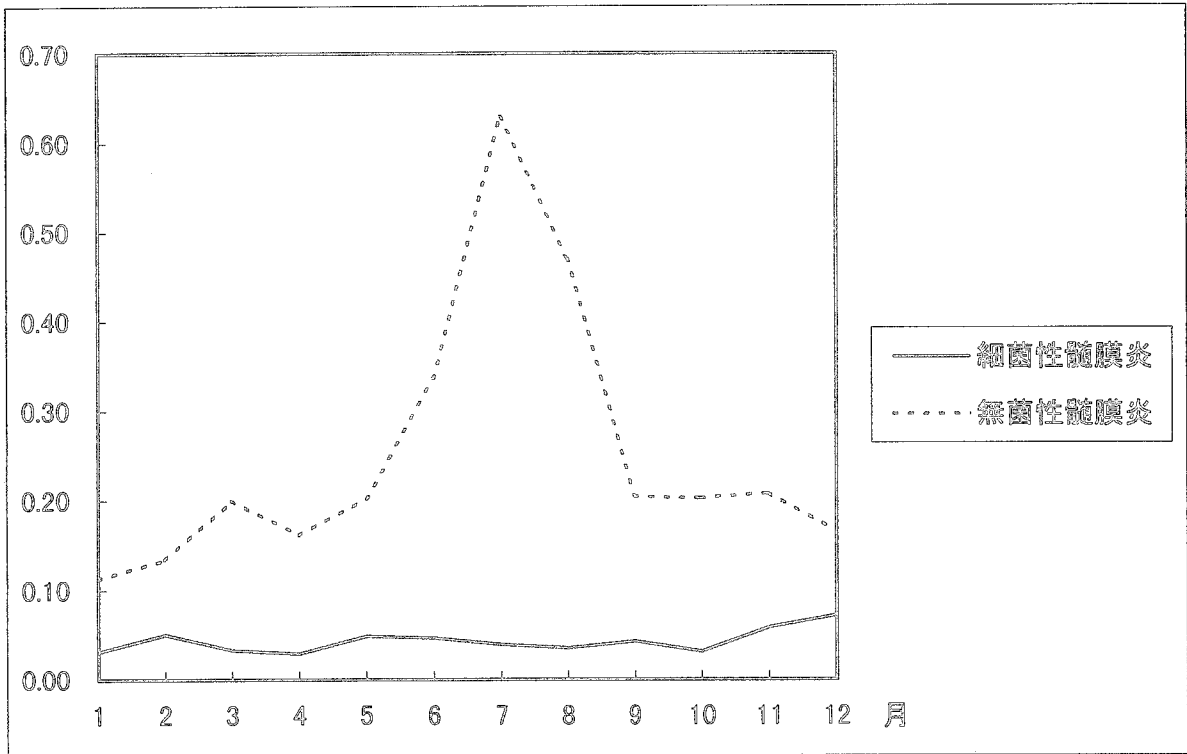


図6. 脳炎、脳症、ライ症候群、脊髄炎

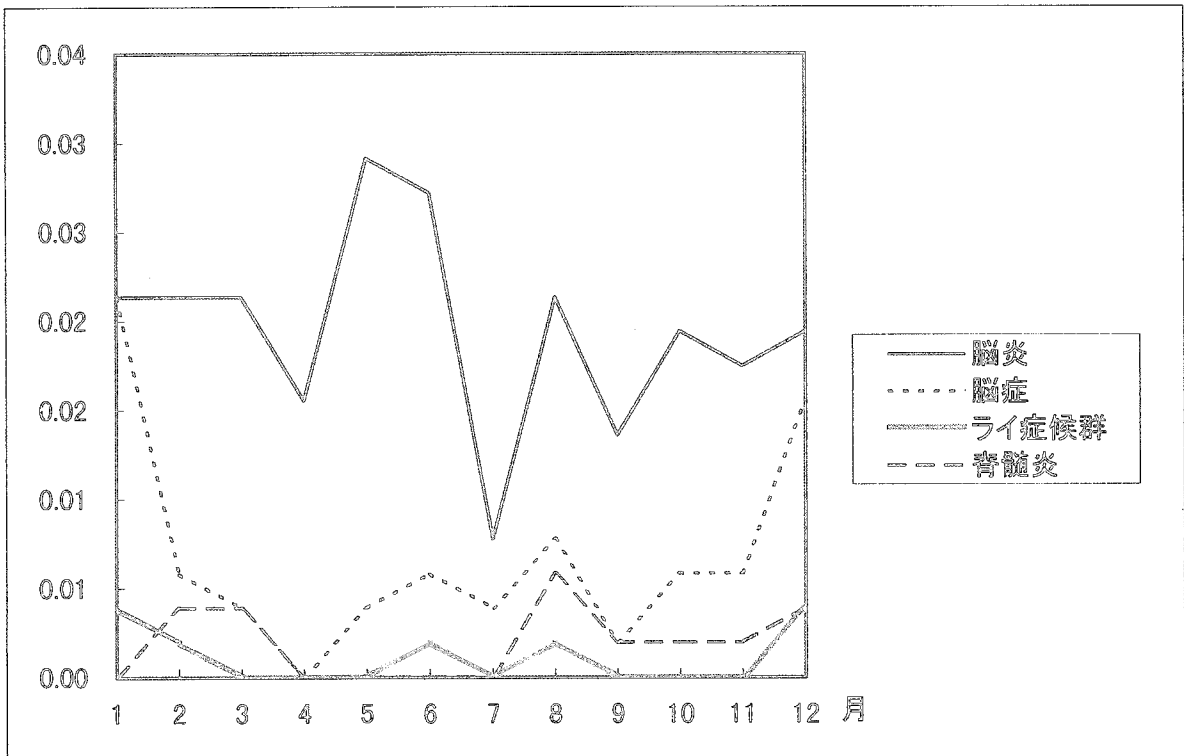


図7. A型肝炎、B型肝炎、その他のウイルス肝炎

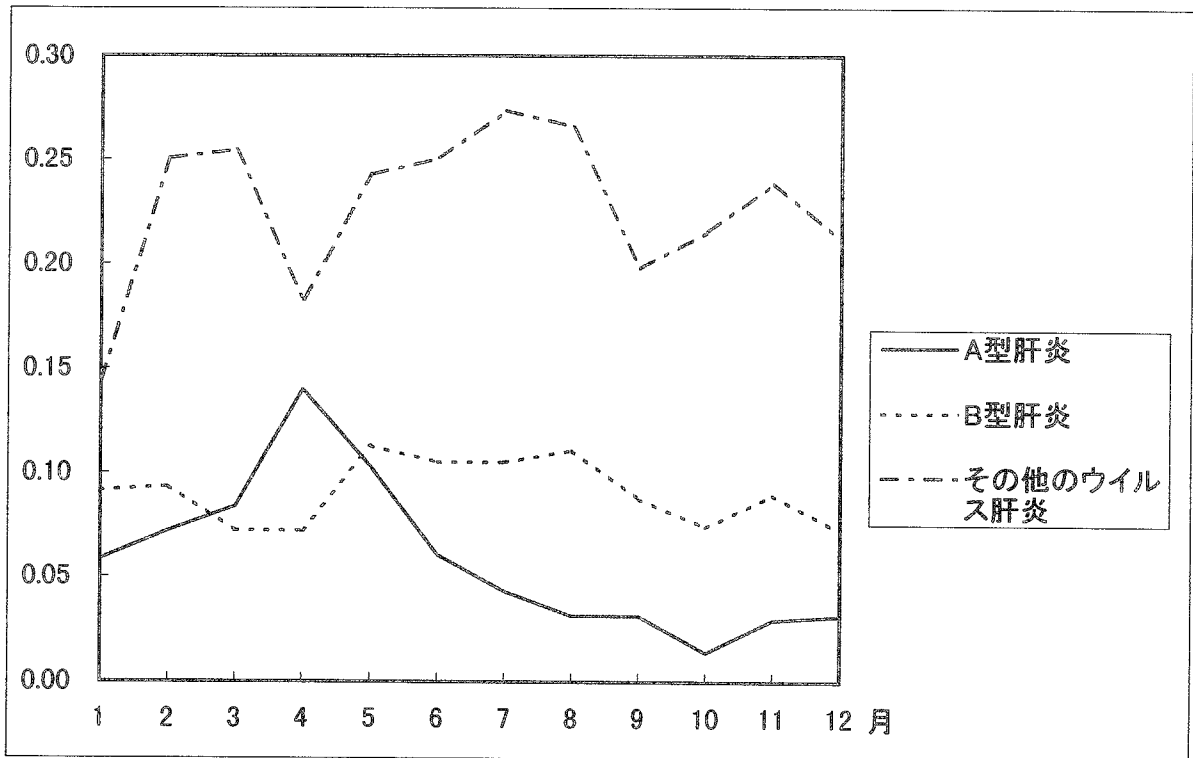
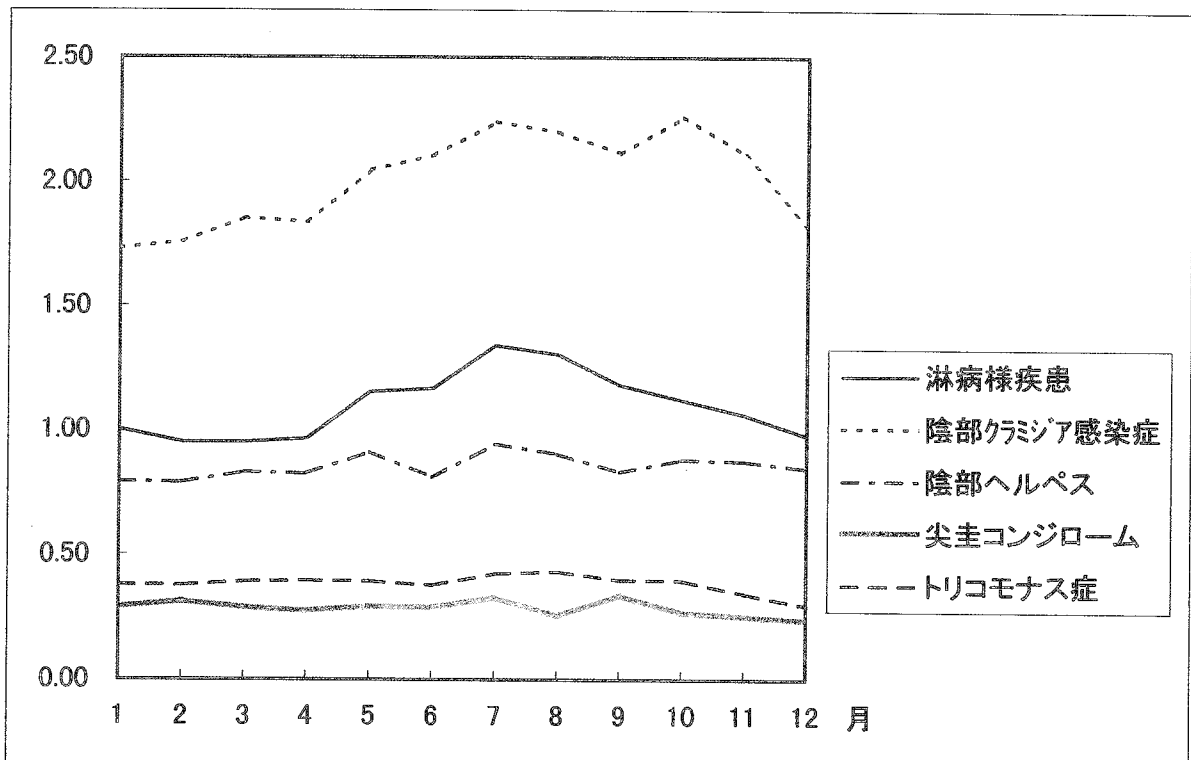


図8. 淋病様疾患、陰部クラミジア感染症、陰部ヘルペス、尖圭コンジローム、トリコモナス症



1. 小児科・内科定点、病院定点の感染症

概況

1996年は全般に、あまり大きな流行はなかった。

インフルエンザ様疾患は、1994-95年シーズンは大流行であったが、1995-96年シーズンは小流行に留まった。ウイルスはA(H1N1)型の4年ぶりの流行であったが、少数のA(H3N2)型も検出された。1996-97年シーズンはA(H3N2)の流行が第49週からはじまった。この流行で、老人施設における死亡が目立ったことが問題となった。

麻疹様疾患が、1995年にこれまでの最低報告数であったが、1996年は、一部の県でも流行を反映して、年間報告数はやや増加した。

風しんは、最近5年毎の流行で、1992年は流行年、1995年は流行の谷間で最低の報告数であったが、1996年は増加に転じ、関東甲信越ブロックを中心に増加が認められた。

水痘は例年なみの発生であった。

流行性耳下腺炎は数年毎に大きく増減している。1995年は中程度の発生であったが、1996年は3月頃から増加し、流行の山を作った。この流行のピークは、以前の1989年流行ほどの高さには至らなかった。

百日せき様疾患は数年毎に増減をくり返しながらか次第に減少している。1993年はこれまでの最低の報告数であったが、1995年、1996年はやや増加した。

溶連菌感染症は1993年から増加傾向がみられている。1995年は例年なみに戻ったが、1996年は再び増加している。患者発生は北海道、東北ブロックが多い傾向であったが、最近西日本の県の増加が注目される。

異型肺炎は4年毎の流行といわれていたが流行の山は次第に目立たなくなっている。1996年は流行年に当たっていたが、ほとんど流行の山は認められなかった。

感染性胃腸炎は、1995年末にこれまでの最高の流行の山がみられたのに続いて、1996年はじめの発生は例年より多かった。1996年末は立ち上りが遅れ、発生のピークも低かった。

乳児嘔吐下痢症は、1996年はじめの発生は低く、年末の立ち上りも遅れ、年間報告数はこれまでの最低となった。

手足口病は、1995年は大流行であったが、1996年は少なく、その約6分の1の発生に留まった。

伝染性紅斑は5年ぶりの流行期に入り、1996年は前年の約3倍の発生となった。5年前の流行に比べると発生の規模はやや小さいようであった。

突発性発疹は特に変わりはない。

ヘルパンギーナは例年なみの発生といえるが、そのうちでは多目の発生であった。

MCLS(川崎病)は特に変わりはなく、昨年とほぼ同程度の発生であった。

感染性髄膜炎のうち、細菌性髄膜炎は昨年と同程度で、病院定点当たり0.52人と少なかった。無菌性髄膜炎は年により変動するが、最近少ない年が続いており、1996年は病院定点当たり2.98人と最低であった。

脳・脊髄炎は182人、病院定点当たり0.35人で、昨年とほぼ同程度の発生であった。

1. 麻しん様疾患

1991年の全国流行以後は比較的少ない発生で、1994年以後は、定点当たり年間報告数10人以下となっている。1995年は7.32人とこれまでの最低であったが、1996年は9.44人とやや増加した。

県別発生状況を見ると、一部の県のみで流行がみられる一方、22都府県では定点当たり年間報告数5人以下である。北海道では、定点当たり年間報告数35.33人、富山県29.67人、広島県31.49人、愛媛県45.07人で、全国平均の3倍以上の発生であった。

ブロック別発生は、北海道が特に多く、次いで中国・四国（定点当たり21.02人）であった。

年齢分布は0歳11.5%、1歳25.0%、2歳13.4%、3歳10.1%、4歳8.9%、5～9歳19.1%、10～14歳8.7%、15歳以上3.5%で、1歳の比率がやや低下した。

ワクチン歴のあるものは23,038人中516人2.2%で、1994年2.4%、1995年2.4%よりやや低下した。

図1-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of measles per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

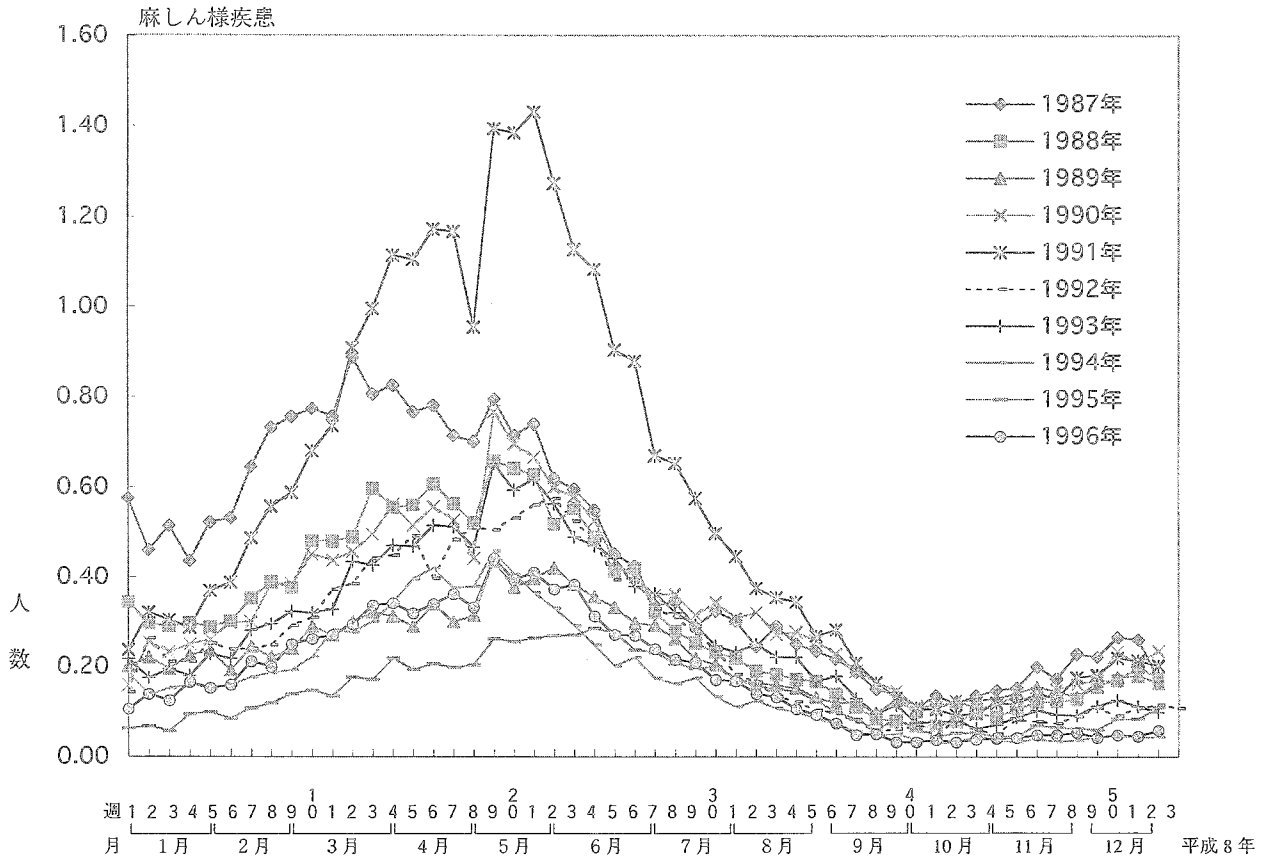


図1-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of measles, Japan, 1995-1996.

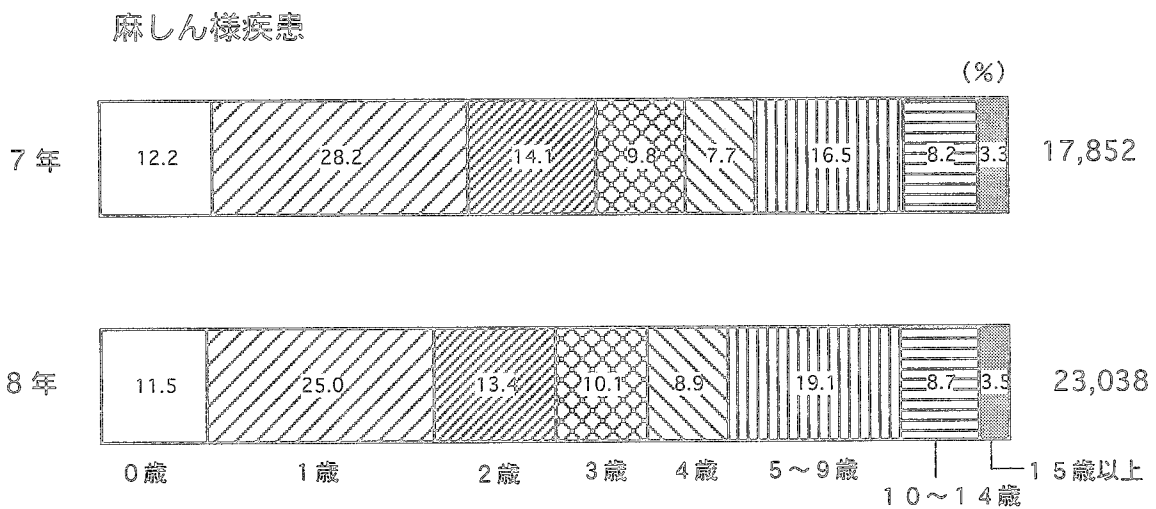
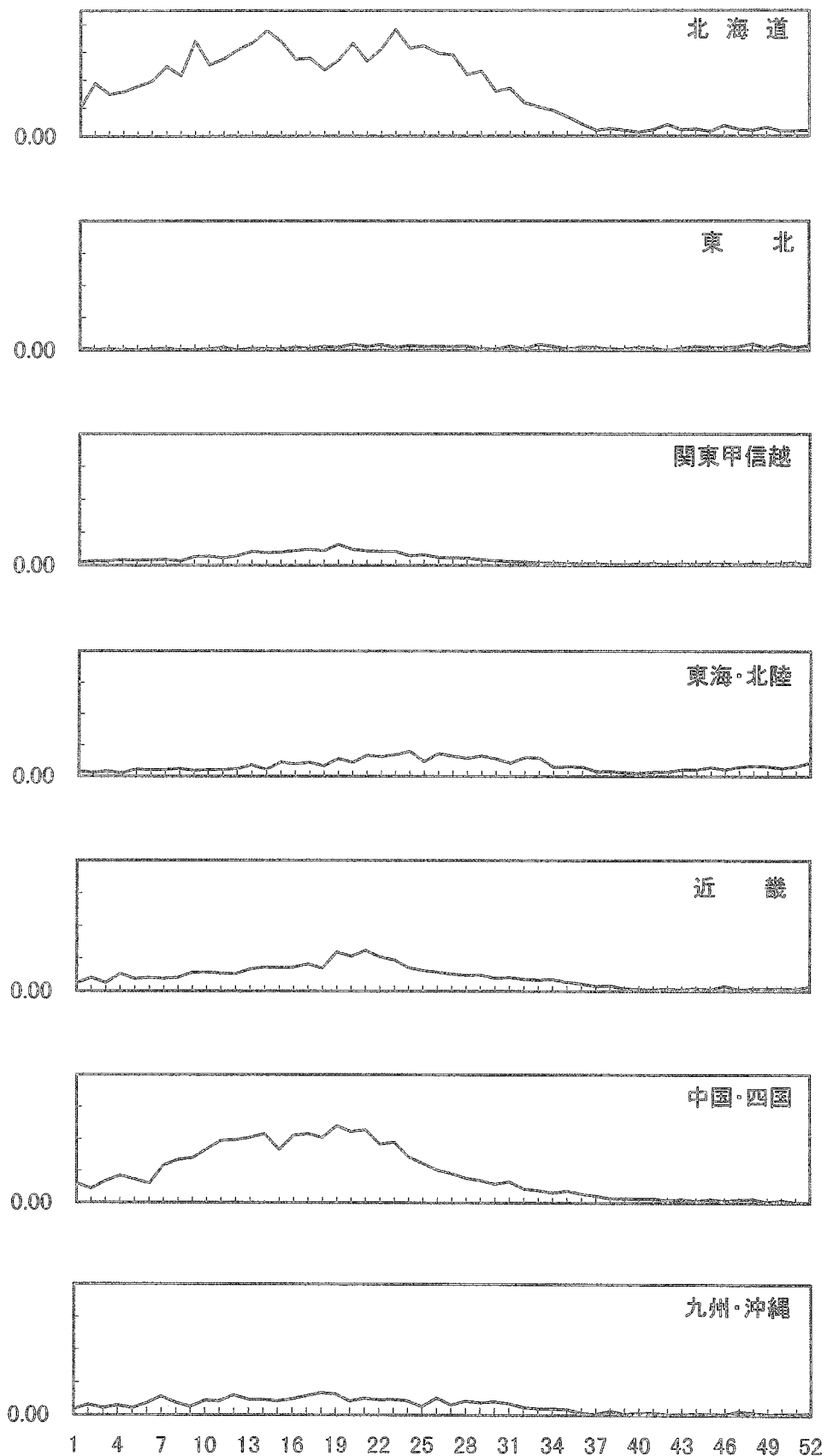


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

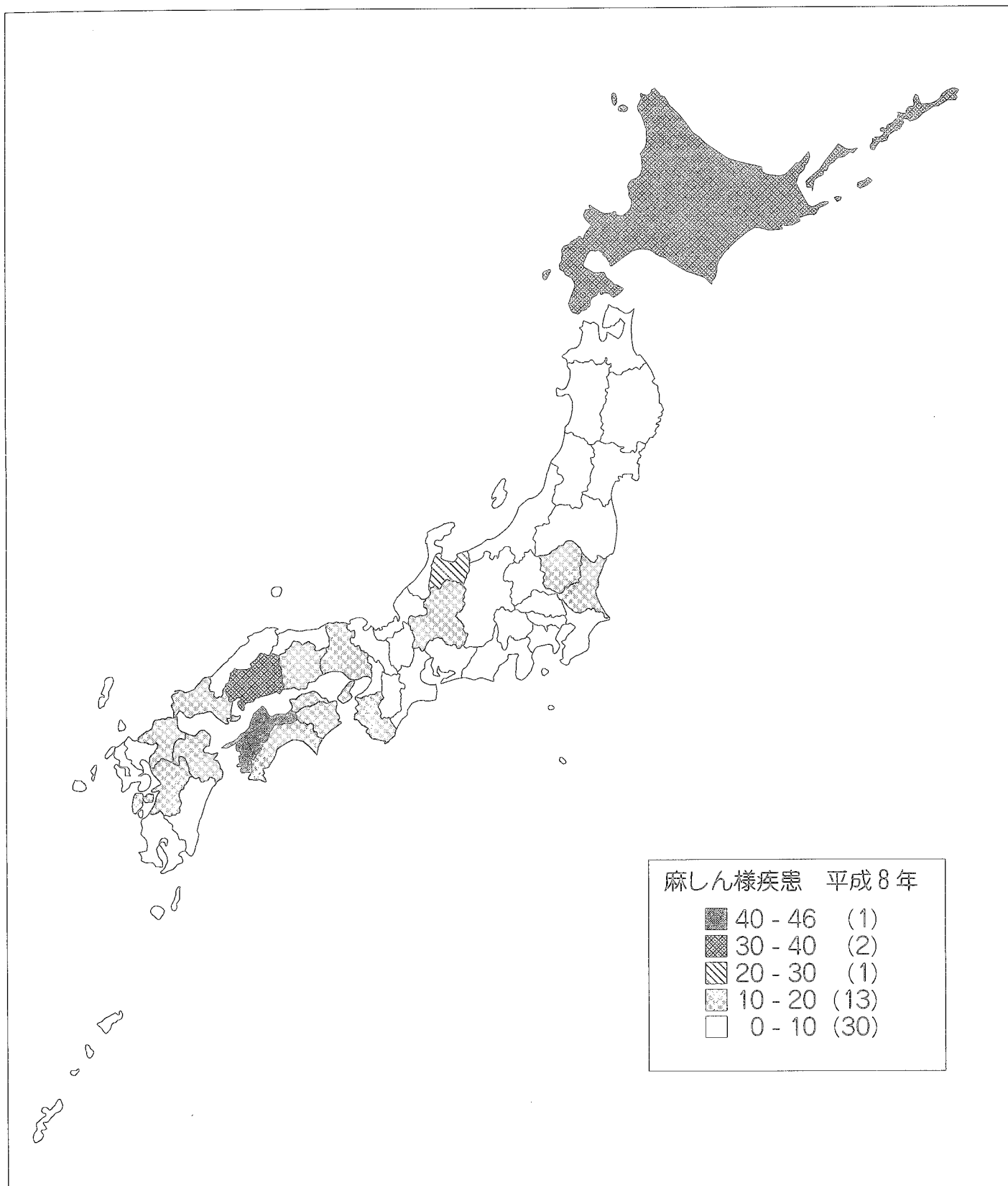
Weekly reported cases of measles per reporting clinic, by geographical area, 1996.

麻疹様疾患



MAX=1.53 平成8年

图 1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of measles per reporting clinic, by prefecture, 1996.



2. 風しん

最近は1982年、1987年、1992年と5年ごとに全国的な流行がみられる。何れの流行でも3年後に最低となり、4年後にやや増加して翌年の流行が起こっている。1995年はこれまでの最低で、定点当たり年間報告数6.67人であったが1996年は10.98人に増加した。

県別発生状況をみると、一部の県のみで流行がみられ、全般的には少ない県が多かった。定点当たり年間報告数20人以上の県は、青森県33.50人、茨城県24.37人、埼玉県23.89人、神奈川県33.12人、長野県40.64人、香川県35.29人、宮崎県27.54人、横浜市44.05人で、関東に集中している。ブロック別では関東・甲信越18.14人のみが全国平均以上で、以下近畿9.88人、東北9.20人の順であった。

年齢分布は0歳2.8%、1歳8.7%、2歳8.8%、3歳11.4%、4歳15.6%、5～9歳33.6%、10～14歳11.0%、15歳以上8.2%で、昨年より4歳、5～9歳の比率が増加した。

ワクチン歴のあるものは26,782人中、540人、2%で昨年の1.3%より多い。

図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of rubella per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

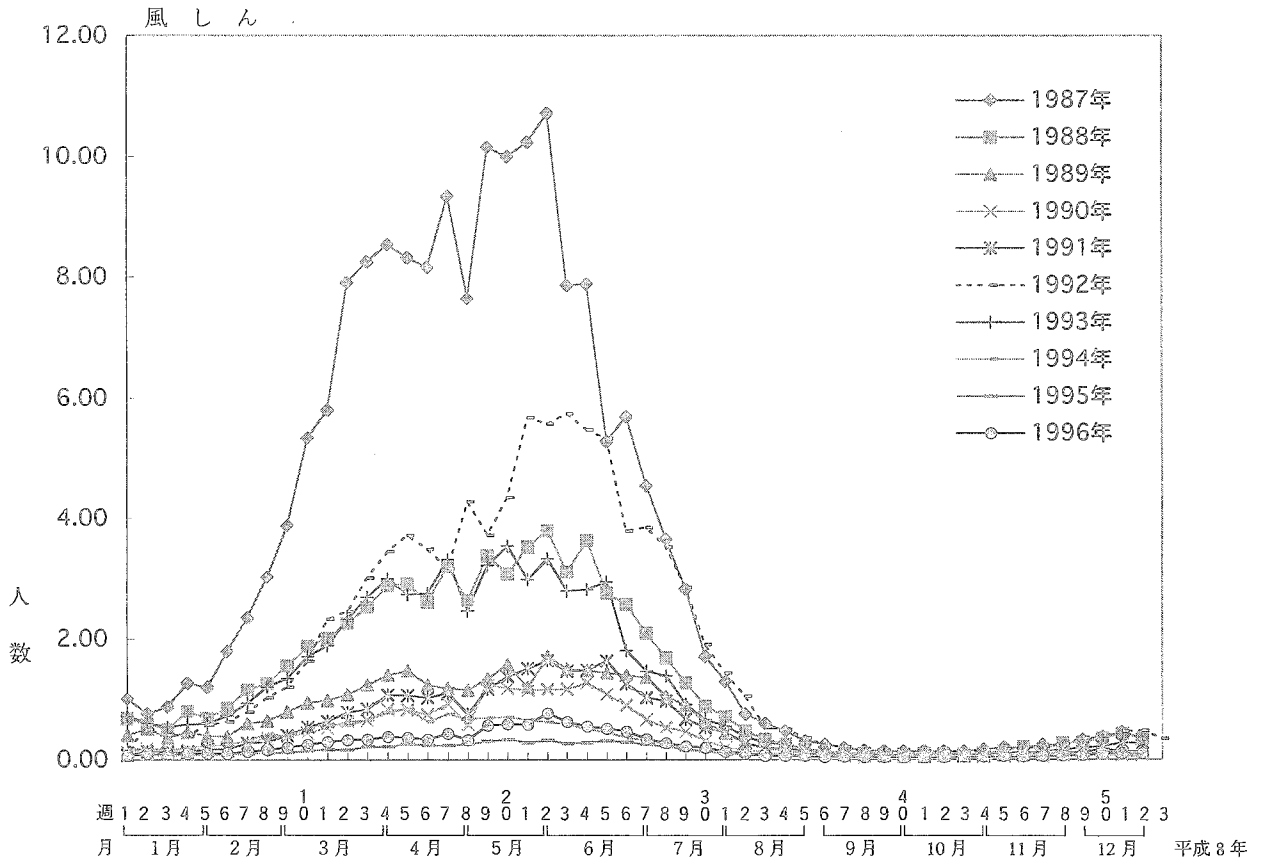


図2-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of rubella, Japan, 1995-1996.

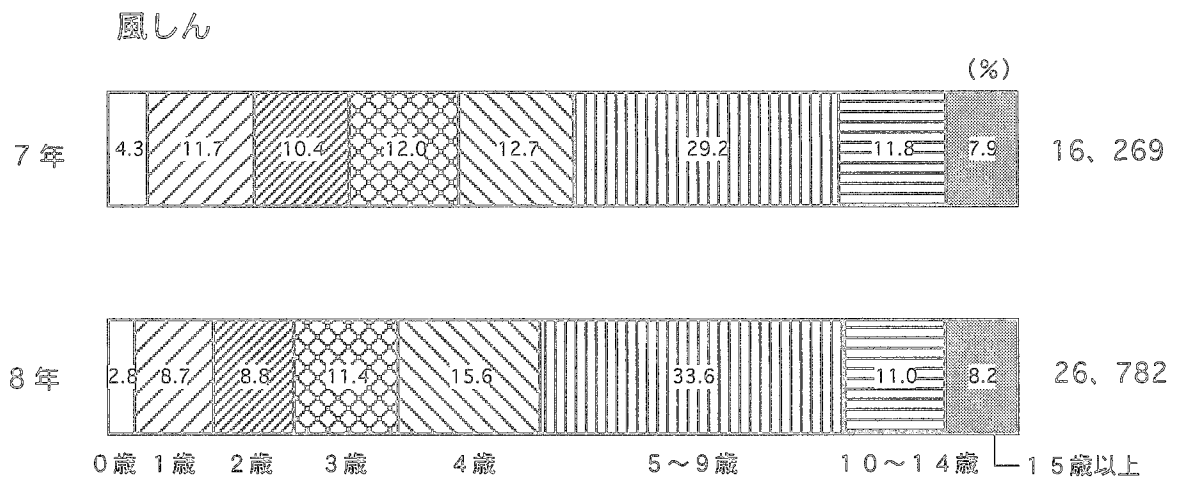


図2-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of rubella per reporting clinic, by geographical area, 1996.

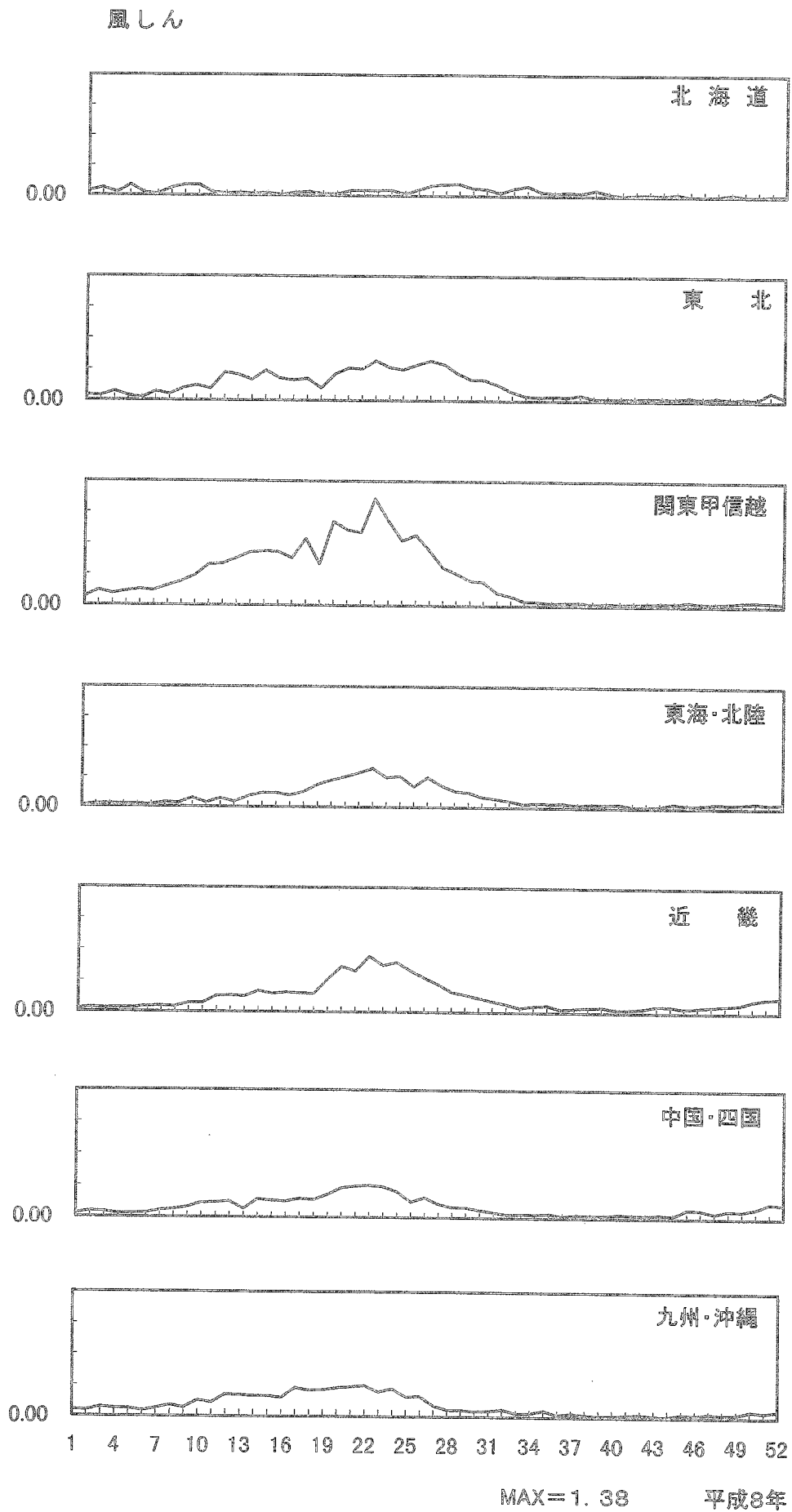
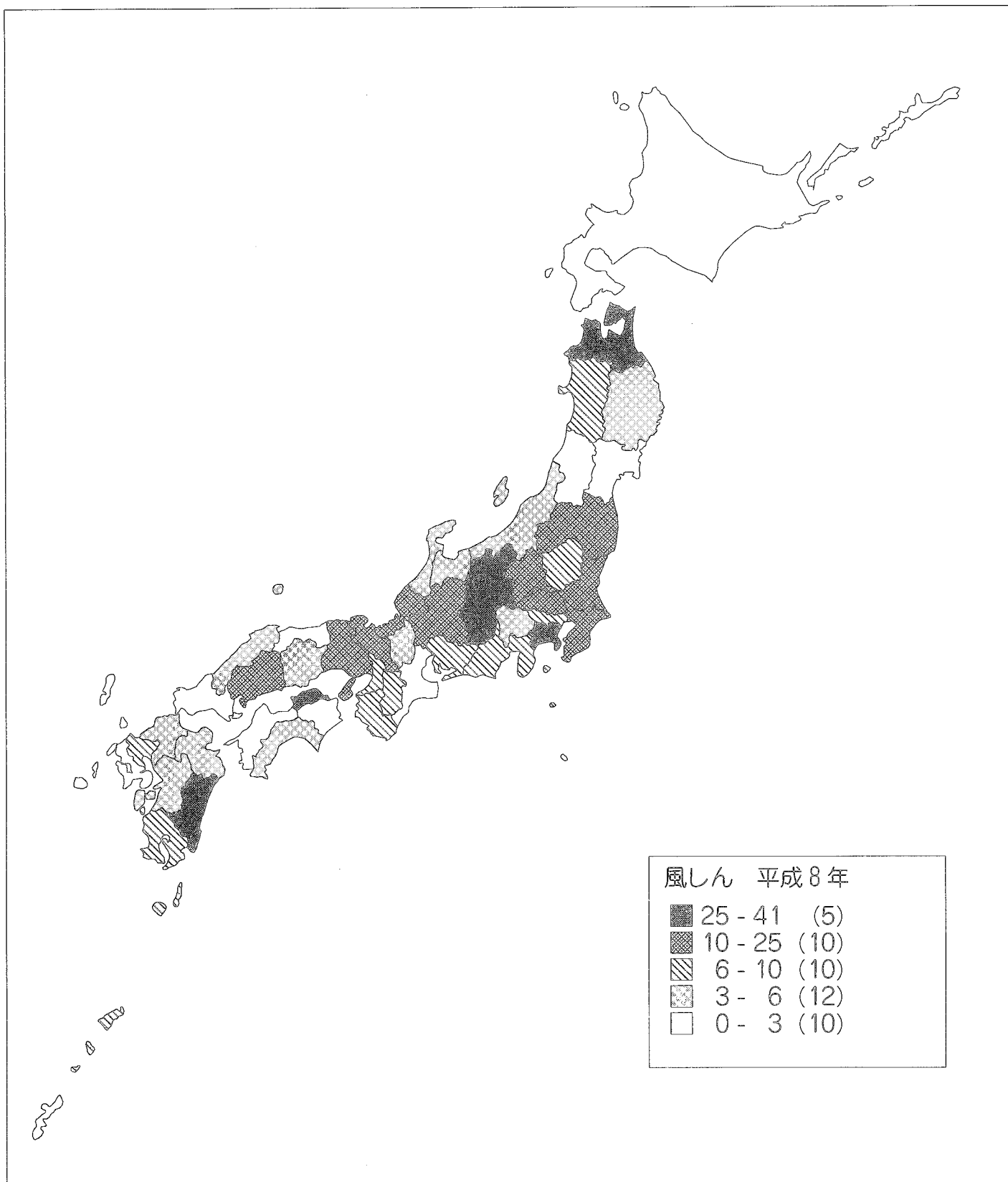


図2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of rubella per reporting clinic, by prefecture, 1996.



3. 水痘

毎年同様の季節的発生パターンで、年末に急増してピークを作り、翌年はじめはピークよりやや低い発生が続き、5月の連休後に増加して、7月以降減少する。

年間報告数をみると1991年、1992年の定点当たり90人以上から、1993年以降は70人台に減少している。

県別発生状況はそれぞれの県の定点バックグラウンドを反映して、定点当たり年間報告数は比較的多い県と少ない県がある。それぞれの県の報告数は年により増減するが、小幅の変動である。1995年と1996年との定点当たり年間報告数が10人以上増加した県は9、減少した県は8であるが20人以上増加したのは大分県、減少したのは長野県、香川県だけである。定点当たり年間報告数が100人以上は北海道、青森県、岩手県、山形県、熊本県、大分県、沖縄県で大分県の143.41人が最も多い。一方、50人以下は山梨県、奈良県で山梨県40.37人が最も少ない。

ブロック別では北海道100.42人が最も多く、次いで九州・沖縄97.37人、東北92.21人、東海・北陸84.33人、中国・四国80.72人、関東・甲信越69.53人、近畿61.84人の順である。

年齢分布は0歳9.4%、1歳17.5%、2歳17.3%、3歳17.5%、4歳16.1%、5～9歳19.4%、10～14歳1.7%、15歳以上1.1%で、この比率は毎年ほとんど変わらない。

ワクチン歴のあるものは190,340人中、5,333人2.8%で毎年増加している。

図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of chickenpox per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

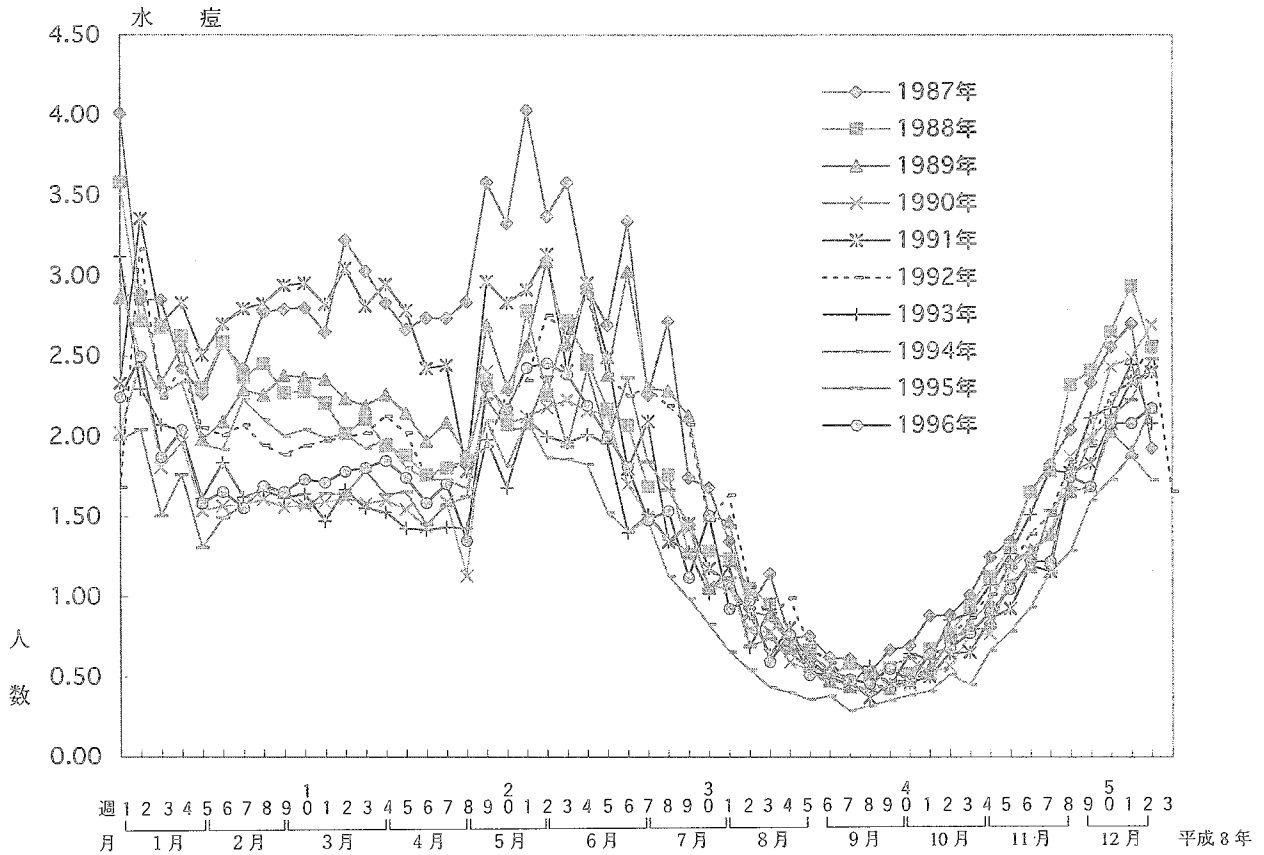


図3-2 年齢区別患者発生状況

Age distribution of reported cases of chickenpox, Japan, 1995-1996.

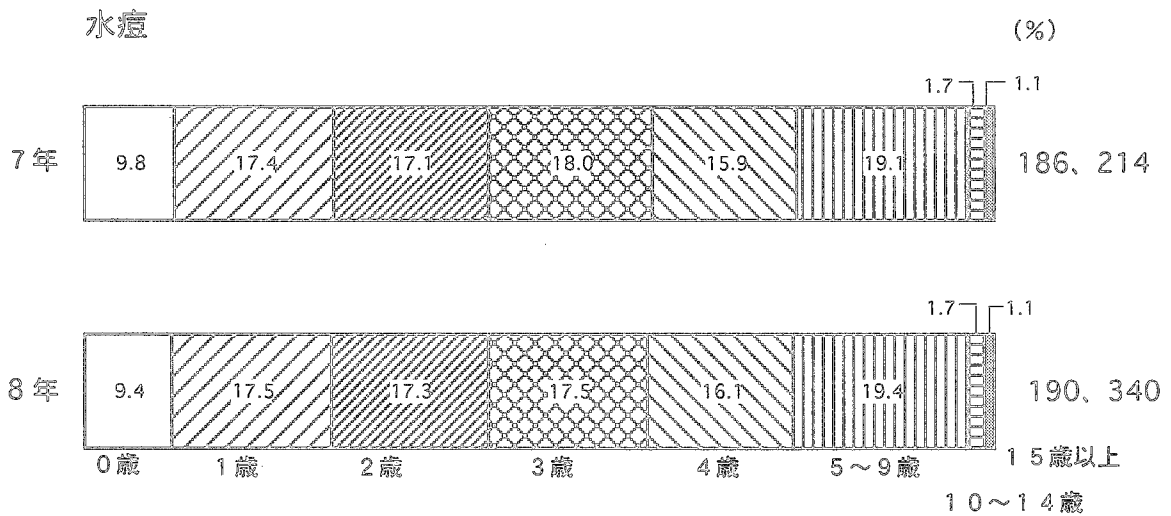
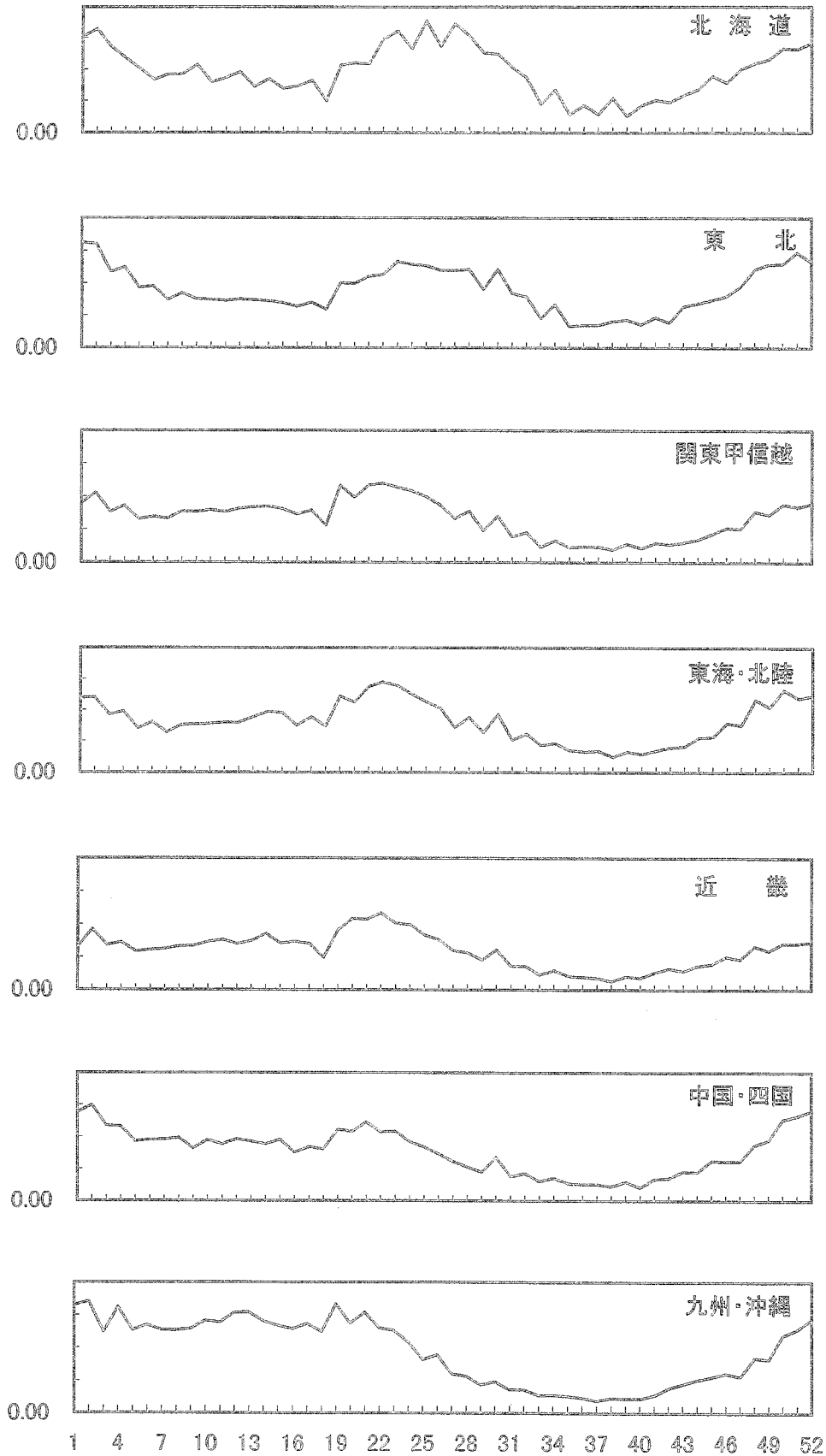


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of chickenpox per reporting clinic, by geographical area, 1996.

水 痘

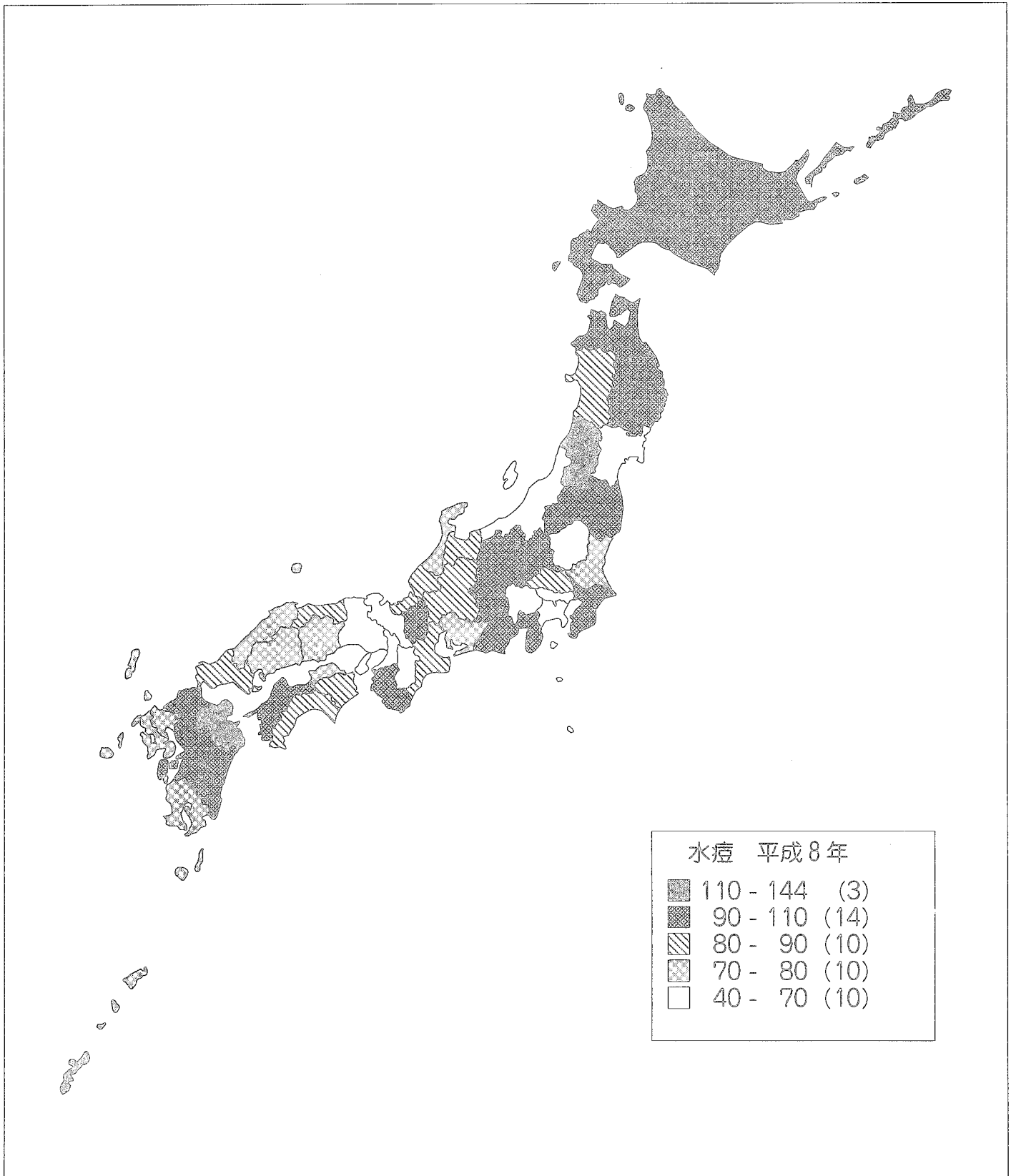


MAX=3.55

平成8年

図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of chickenpox per reporting clinic, by prefecture, 1996.



4. 流行性耳下腺炎

3～5年毎にゆっくりと増減して山を作る発生パターンであったが、1989年4月から1993年4月まで接種されたMMRワクチンによって発生状況は影響を受けている。1994年に流行の山がみられたが、その規模は1985年、1989年の山よりも小さかった。1995年は中程度の発生で推移したが、1996年には3月頃から増加し、7月第30週定点当たり1.29人と1994年のピークなみの高さとなり、これは夏に一旦下がったが、年末にかけて増加しはじめ、第48週1.19人と2つめの山を作った。

県別の発生状況は、定点当たり年間報告数、全国平均46.25人に対し、島根県99.08人が最も多く、次いで熊本県83.04人、群馬県79.84人、秋田県76.71人、滋賀県74.05人、佐賀県72.61人、埼玉県72.15人が70人以上であった。

ブロック別では、北海道70.12人が最も多く、次いで東海・北陸55.46人、九州・沖縄48.23人が全国平均以上であった。

年齢分布は0歳0.6%、1歳4.2%、2歳8.1%、3歳13.8%、4歳19.8%、5～9歳43.6%、10～14歳7.6%、15歳以上2.3%である。1～4歳は45.9%で5～9歳を上回った。MMR接種開始後1～4歳の比率は、5～9歳を下回っていたが、MMR中止後、元に戻ってきているようである。

ワクチン歴のあるものは112,843人中4,689人、4.2%で昨年の1.7%より増加した。

図4-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of mumps per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

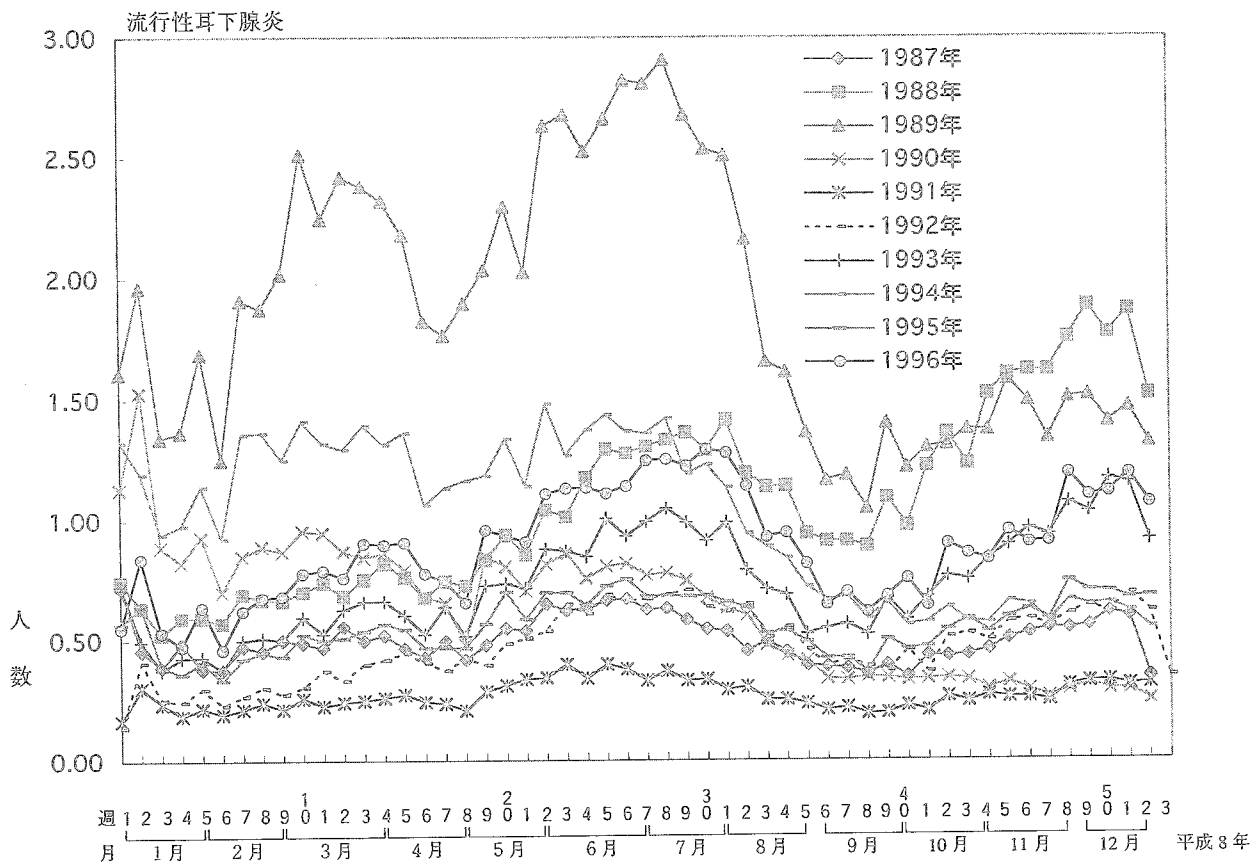


図4-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of mumps, Japan, 1995-1996.

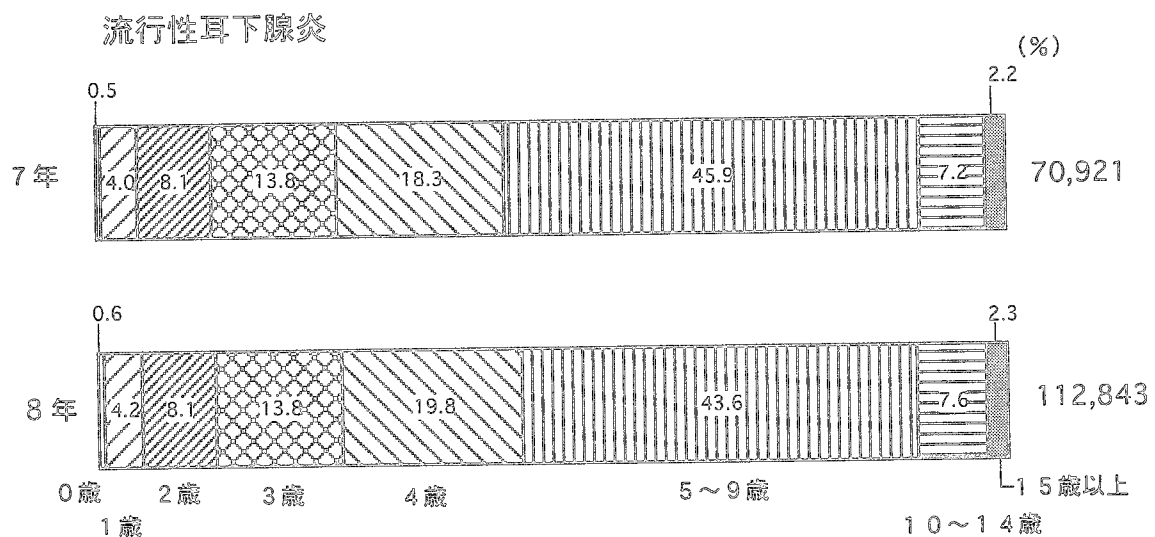


図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of mumps per reporting clinic, by geographical area, 1996.

流行性耳下腺炎

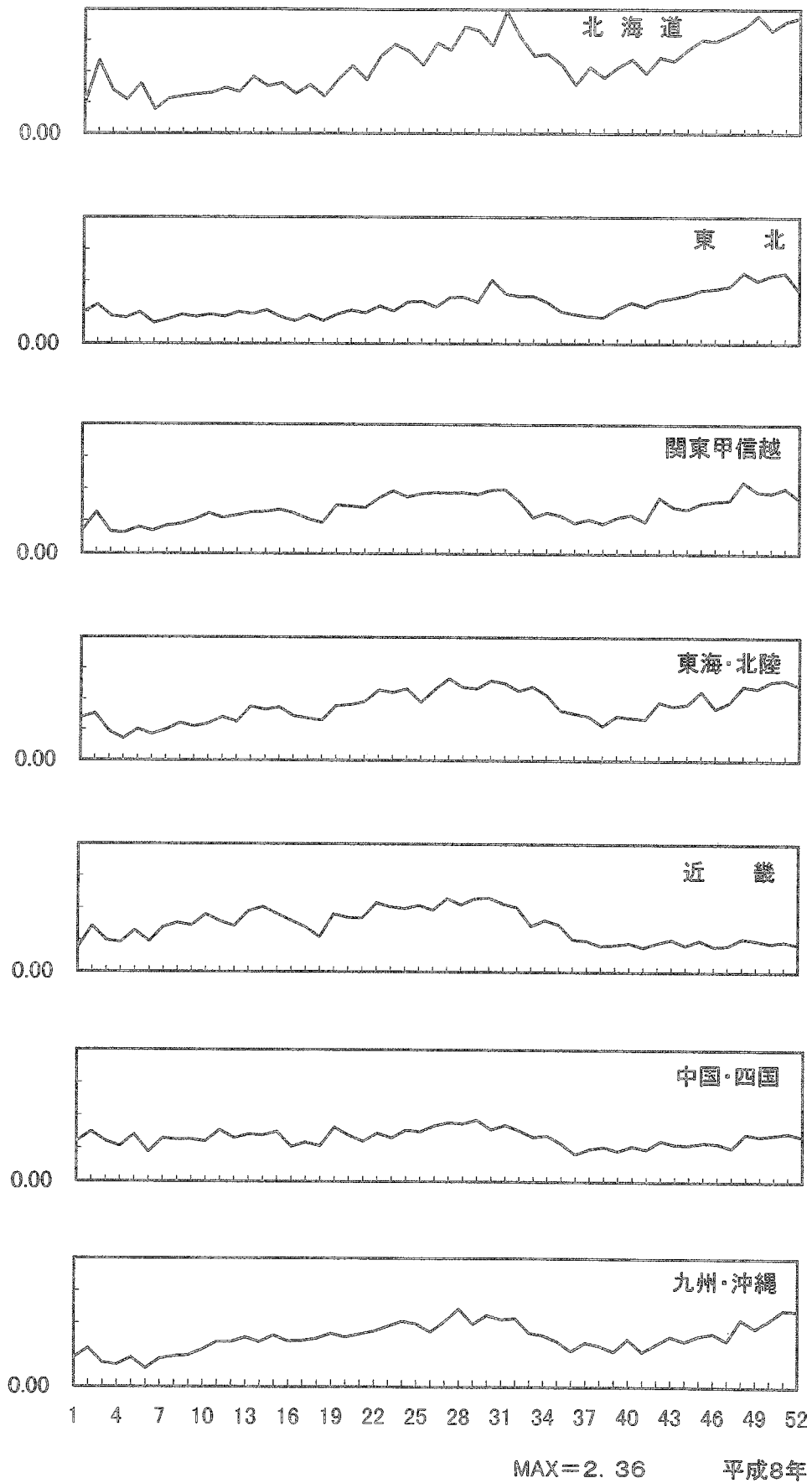
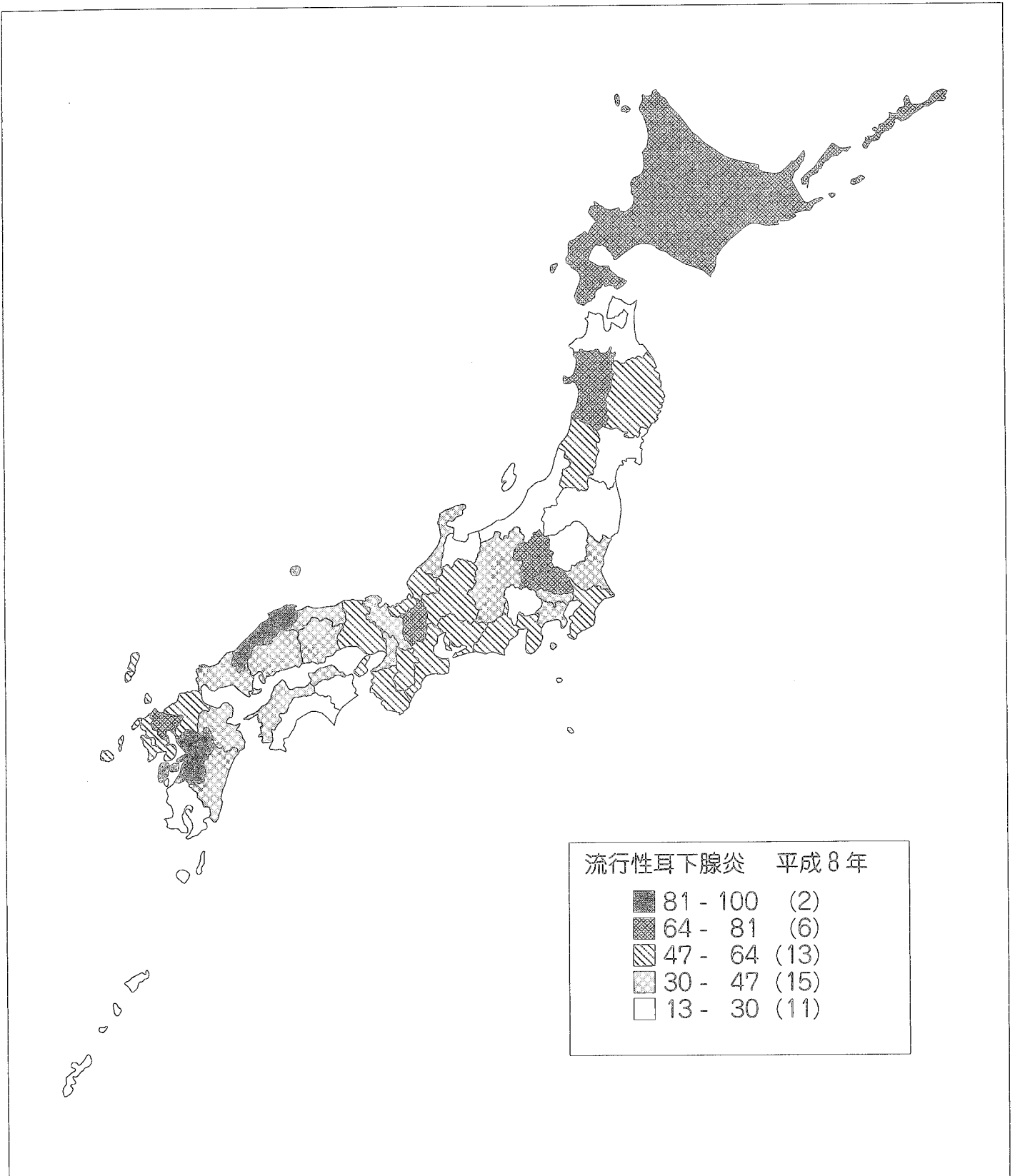


図4-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of mumps per reporting clinic, by prefecture, 1996.



5. 百日せき様疾患

数年毎に軽度の増減をしながら次第に減少している。最近では 1991 年が多い年で、年間報告数定点当たり 4.15 人、その後低下して 1993 年は 1.15 人と最低となったが、以後少しずつ増加し 1995 年は 2.32 人、1996 年は 2.32 人となった。

県別の定点当たり年間報告数は、鹿児島県 10.75 人が最も多く、次いで大分県 7.04 人、福岡県 7.02 人、福島県 5.68 人が多く、指定都市では北九州市 9.55 人、福岡市 10.00 人である。

ブロック別では九州・沖縄が 4.43 人で、次いで東北 2.84 人、中国・四国 2.56 人、東海・北陸 2.51 人が多い。

年齢分布は 0 歳 28.6%、1 歳 21.4%、2 歳 11.4%、3 歳 8.5%、4 歳 8.2%、5～9 歳 14.2%、10～14 歳 3.8%、15 歳以上 3.9%で、昨年比べて 1 歳、2 歳が減り、4 歳がやや増加した。

ワクチン歴のあるものは 5,661 人中 151 人、2.67%で、昨年の 2.28%より増加した。

図5-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pertussis per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

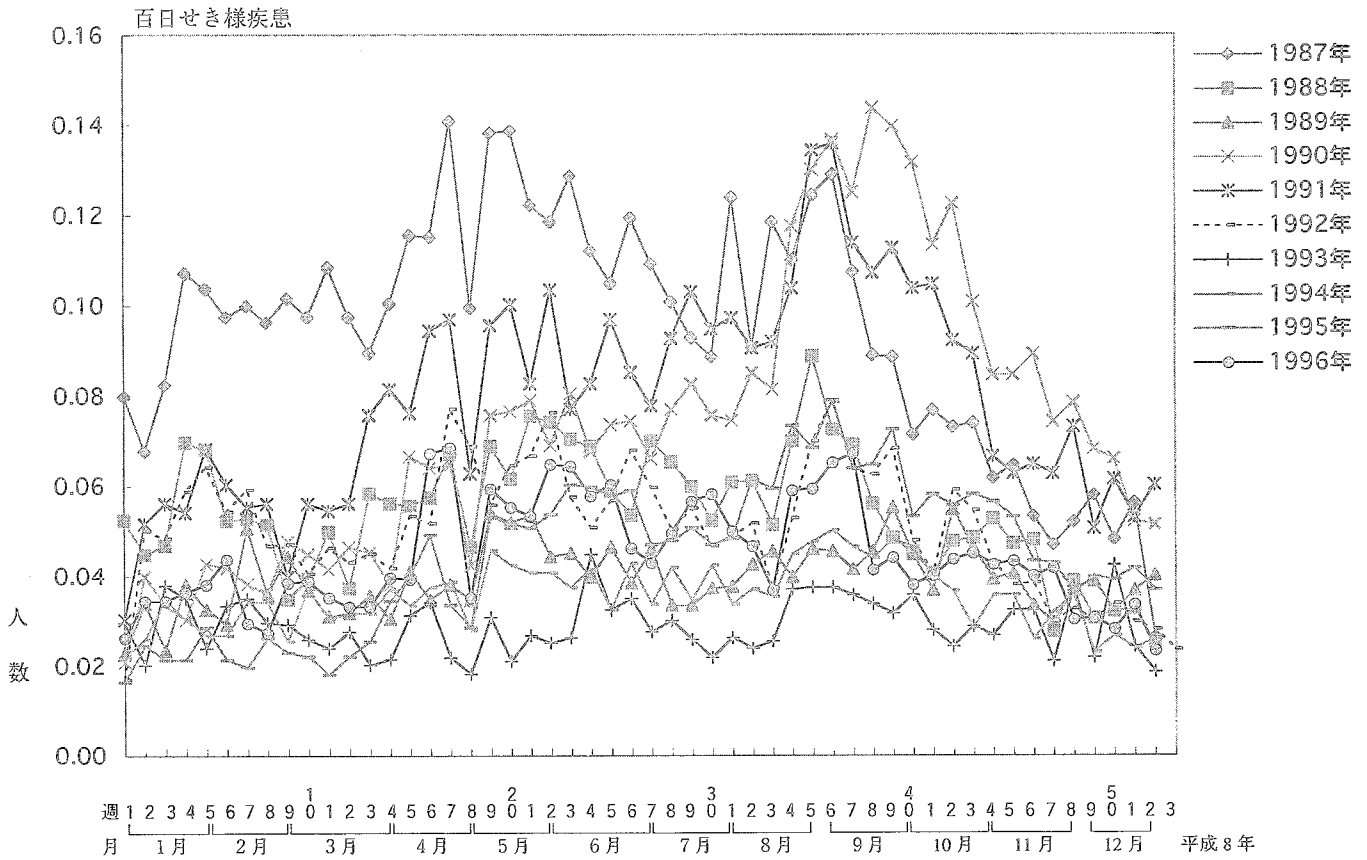


図5-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of pertussis, Japan, 1995-1996.

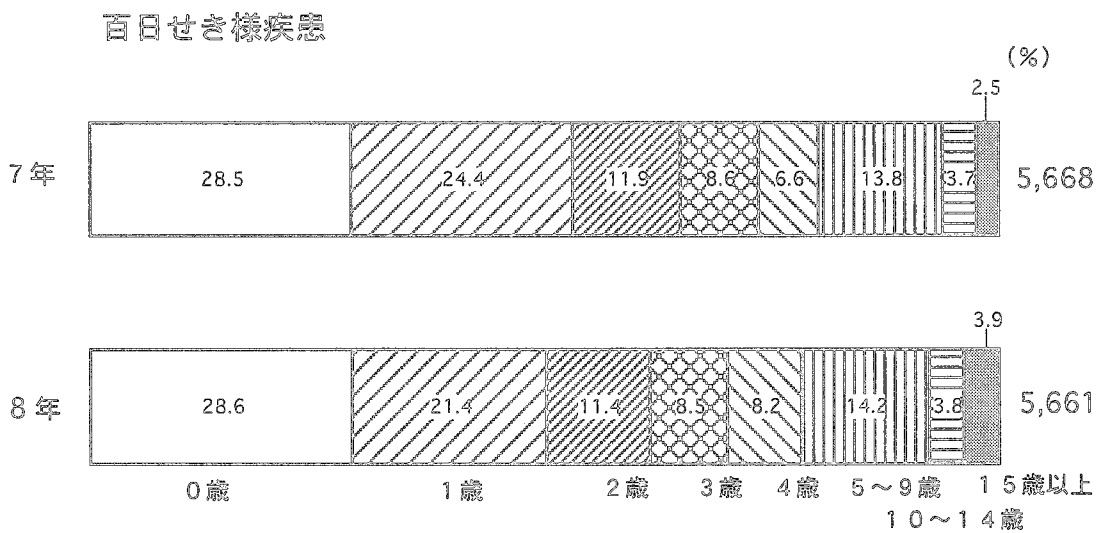


図5-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pertussis per reporting clinic, by geographical area, 1996.

百日せき様疾患

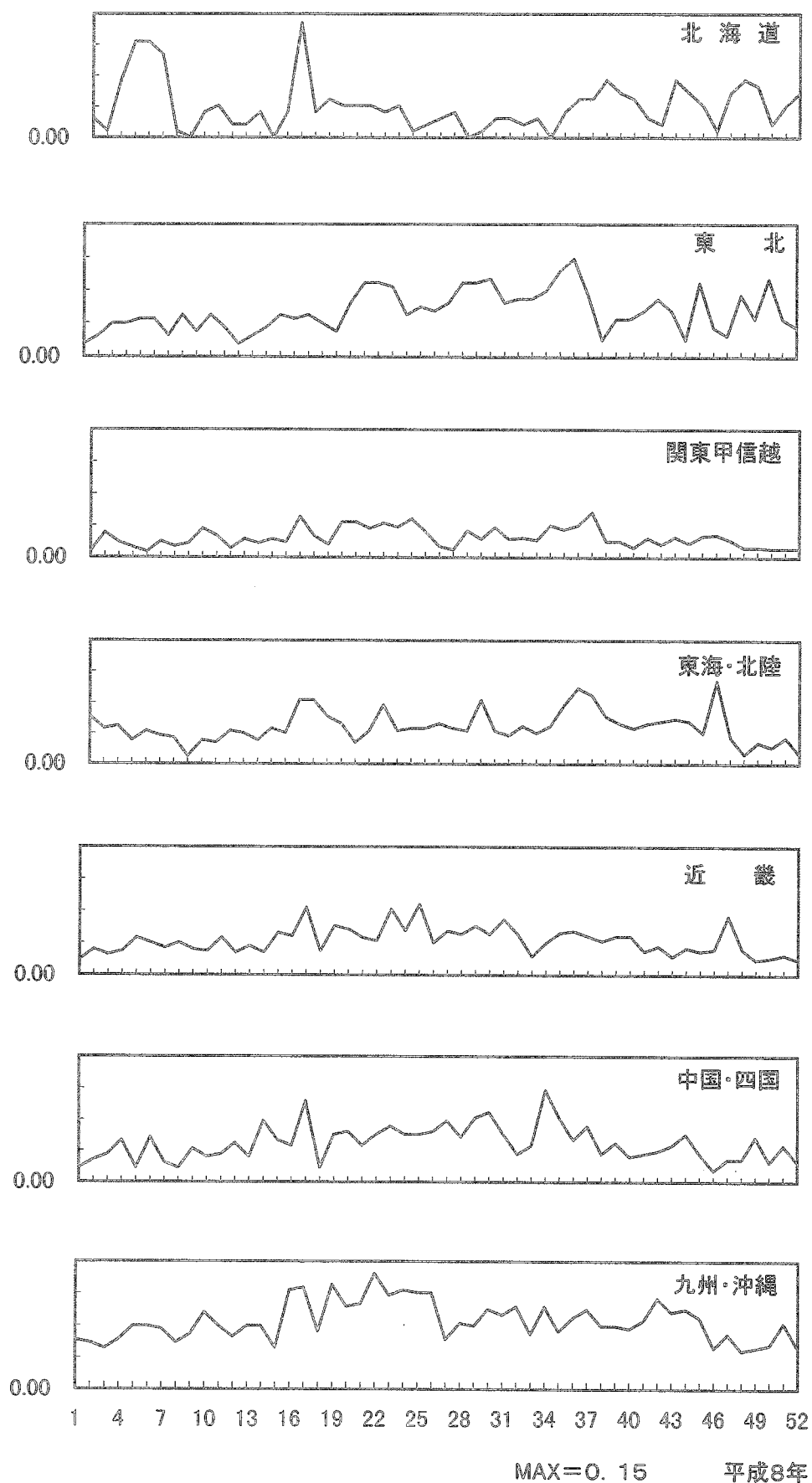
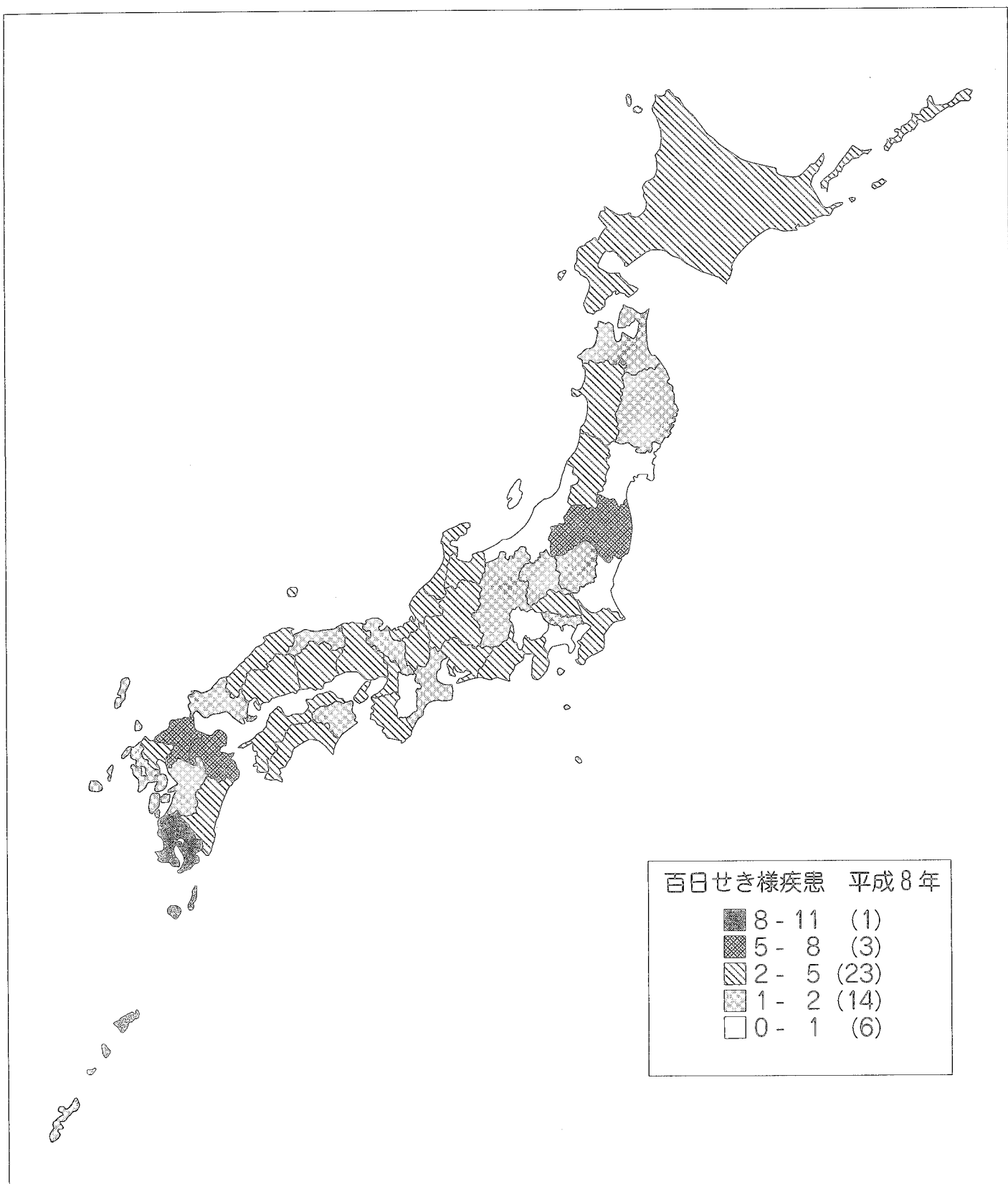


図5-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of pertussis per reporting clinic, by prefecture, 1996.



6. 溶連菌感染症

ほとんどコンスタントな発生パターンが続いていたが、1993 年末から大きな変動がみられるようになった。1993 年末から 1994 年 6 月まで高い発生がみられ、1995 年は例年なみに戻ったが、1996 年は再び増加し、5～9 月は 1994 年なみの高い発生で、年末のピークも同様の高さとなった。定点当たり年間報告数は 1994 年が 32.99 人と最高で、1995 年は 24.59 人に下がったが、1996 年は 30.68 人と増加している。

ブロック別発生状況は、北海道が 78.22 人と全国平均の約 2.5 倍、東北が 43.21 人約 1.5 倍である。県別では、北海道 78.72 人、山形県 85.81 人、秋田県 50.17 人、埼玉県 54.22 人、富山県 67.48 人、高知県 65.73 人、大分県 61.74 人が多い。

年齢分布は 0 歳 0.4%、1 歳 1.8%、2 歳 4.7%、3 歳 10.2%、4 歳 17.7%、5～9 歳 53.3%、10～14 歳 8.1%、15 歳以上 3.9%で発生数の増加にかかわらず、ほとんど変わらない。

図6-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of streptococcal infection per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

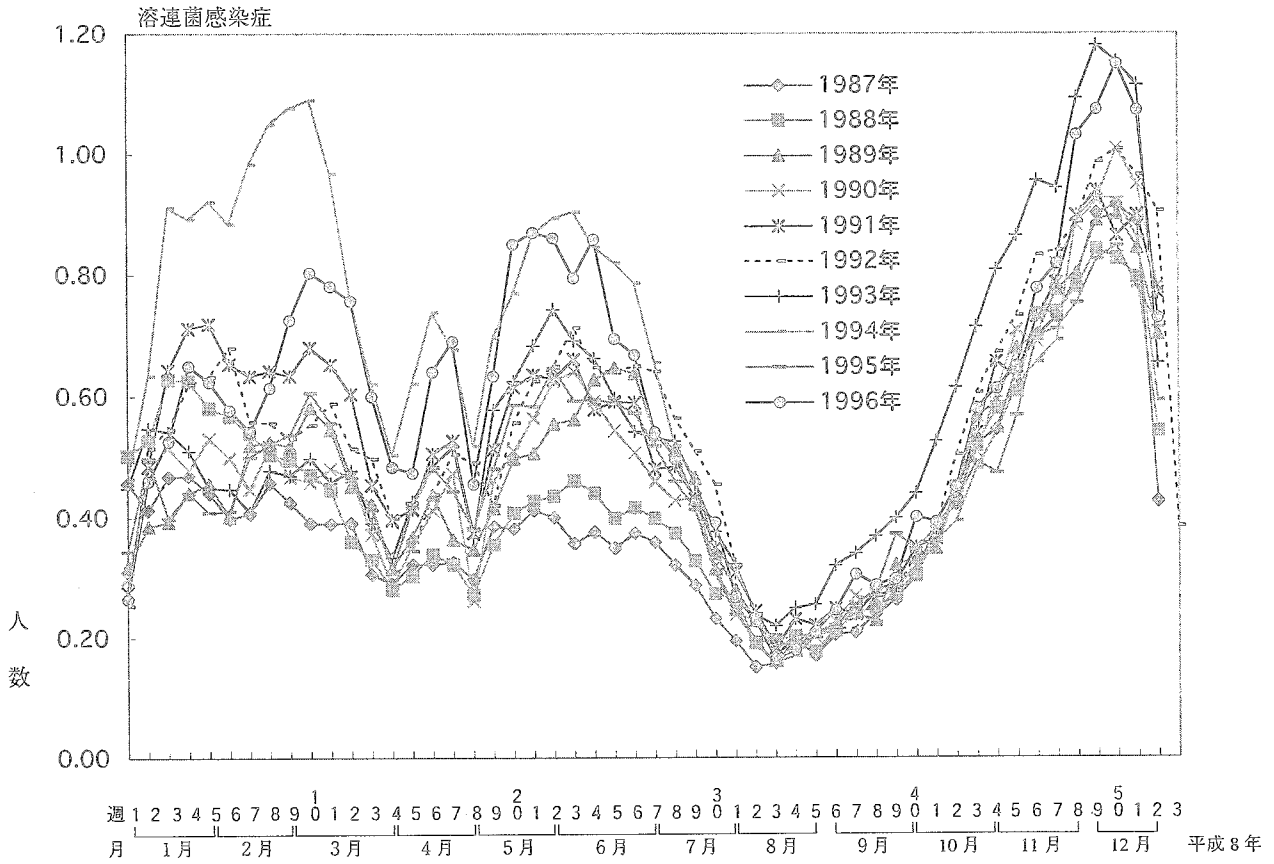


図6-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of streptococcal infection, Japan, 1995-1996.

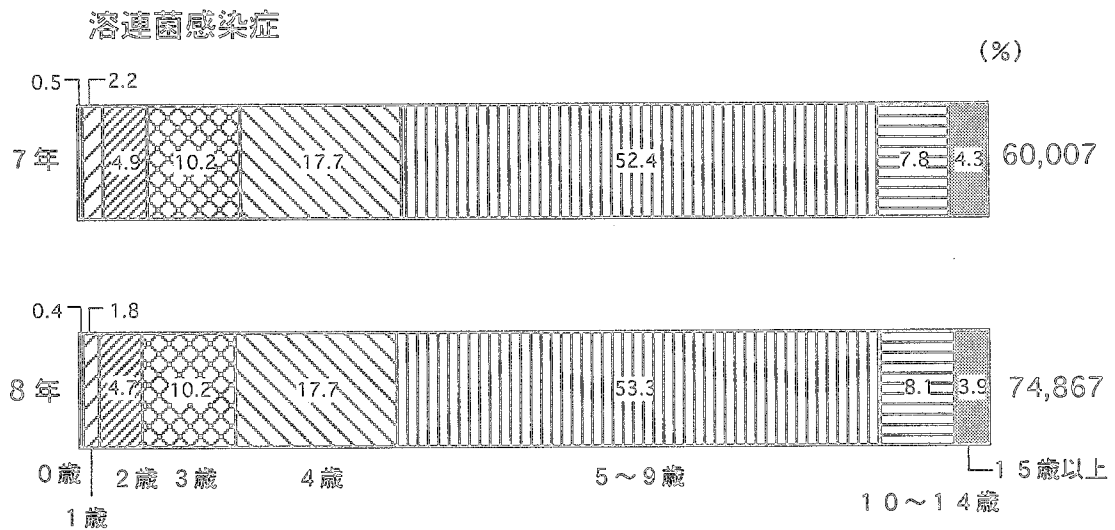
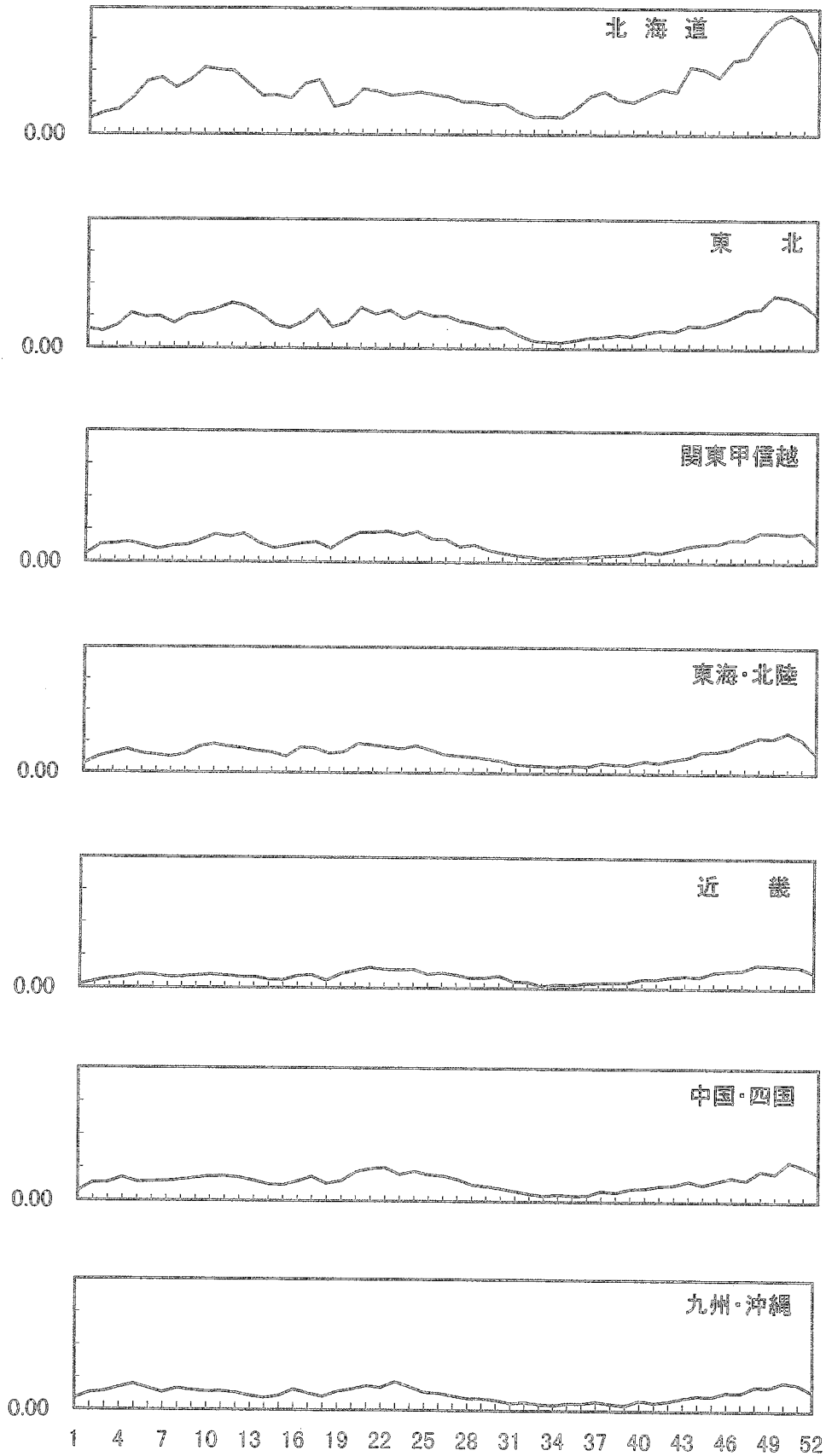


図6-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of streptococcal infection per reporting clinic, by geographical area, 1996.

溶連菌感染症



MAX=3.81 平成8年

図6-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of streptococcal infection per reporting clinic, by prefecture, 1996.

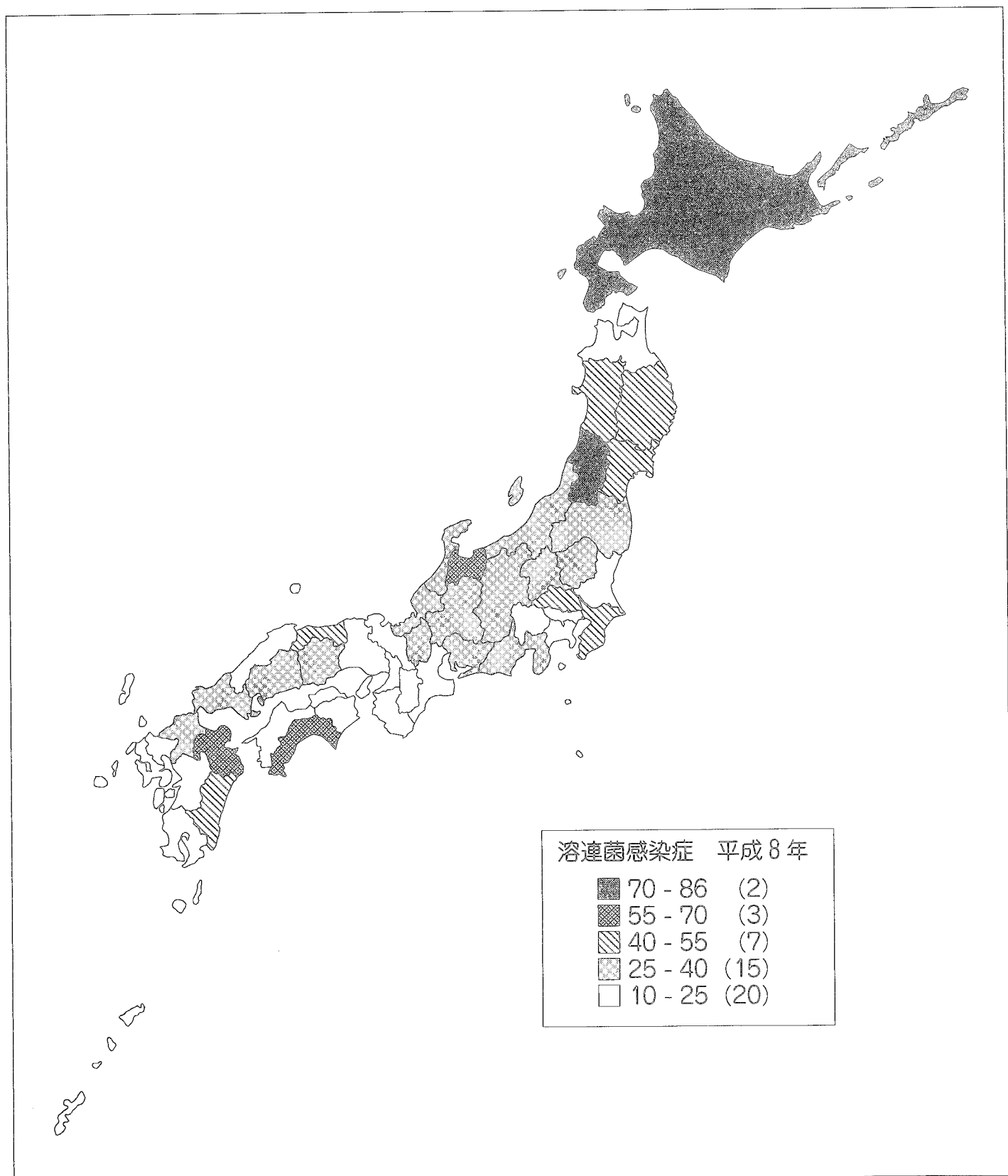
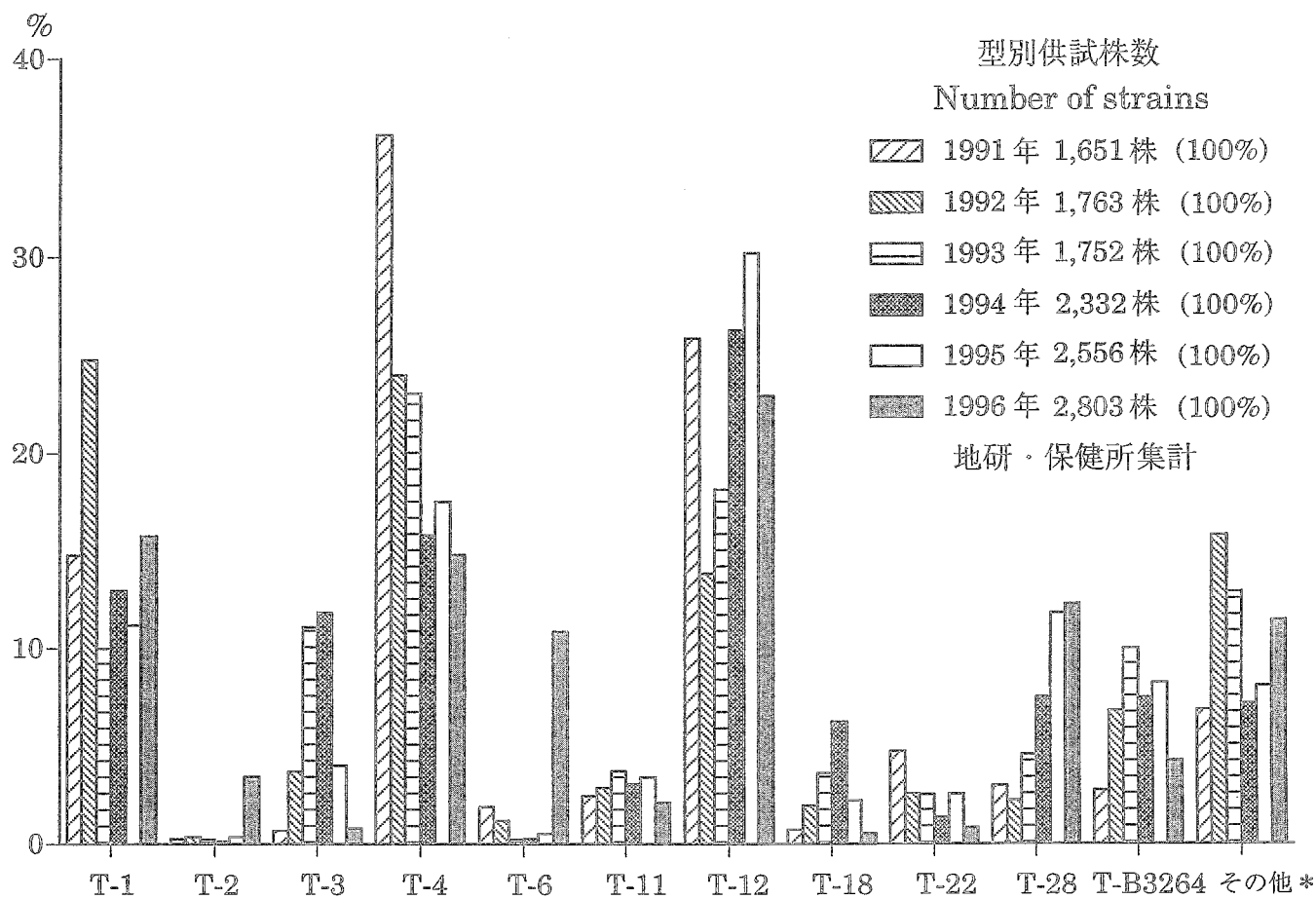


図6-5 A群レンサ球菌T型別分布、1991-1996年

Percentage distribution of group A *Streptococcus* T serotypes, Japan, 1991-1996.



(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

* 型別不能を含む
* Other types including untypable strains

7. 異型肺炎

4年毎の流行といわれたが、最近は明らかな流行の山はみられなくなっている。流行年の1984年は定点当たり年間報告数28.13人、1988年20.95人であったが、1992年は15.08人とやや増加した程度にとどまり、1996年は10.96人とほとんど増加は認められなかった。1996年は40週以降にやや増加したが、例年と同程度の動きであった。

県別の発生状況は、定点当たり年間報告数、全国平均10.96人に対し、岐阜県23.37人、静岡県24.67人、香川県22.83人、福岡県21.92人、大分県23.48人が約2倍以上の発生である。その他札幌市28.39人、福岡市26.82人が多かった。

ブロック別では東海・北陸16.24人が多く、次いで東北13.59人、九州・沖縄12.80人、北海道12.26人、中国・四国11.79人が全国平均以上であった。

年齢分布は0歳1.6%、1歳5.1%、2歳6.6%、3歳9.2%、4歳12.7%、5～9歳39.6%、10～14歳14.5%、15歳以上10.6%で昨年に比べて3歳、4歳の比率がやや低下した。

図7-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of atypical pneumonia per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

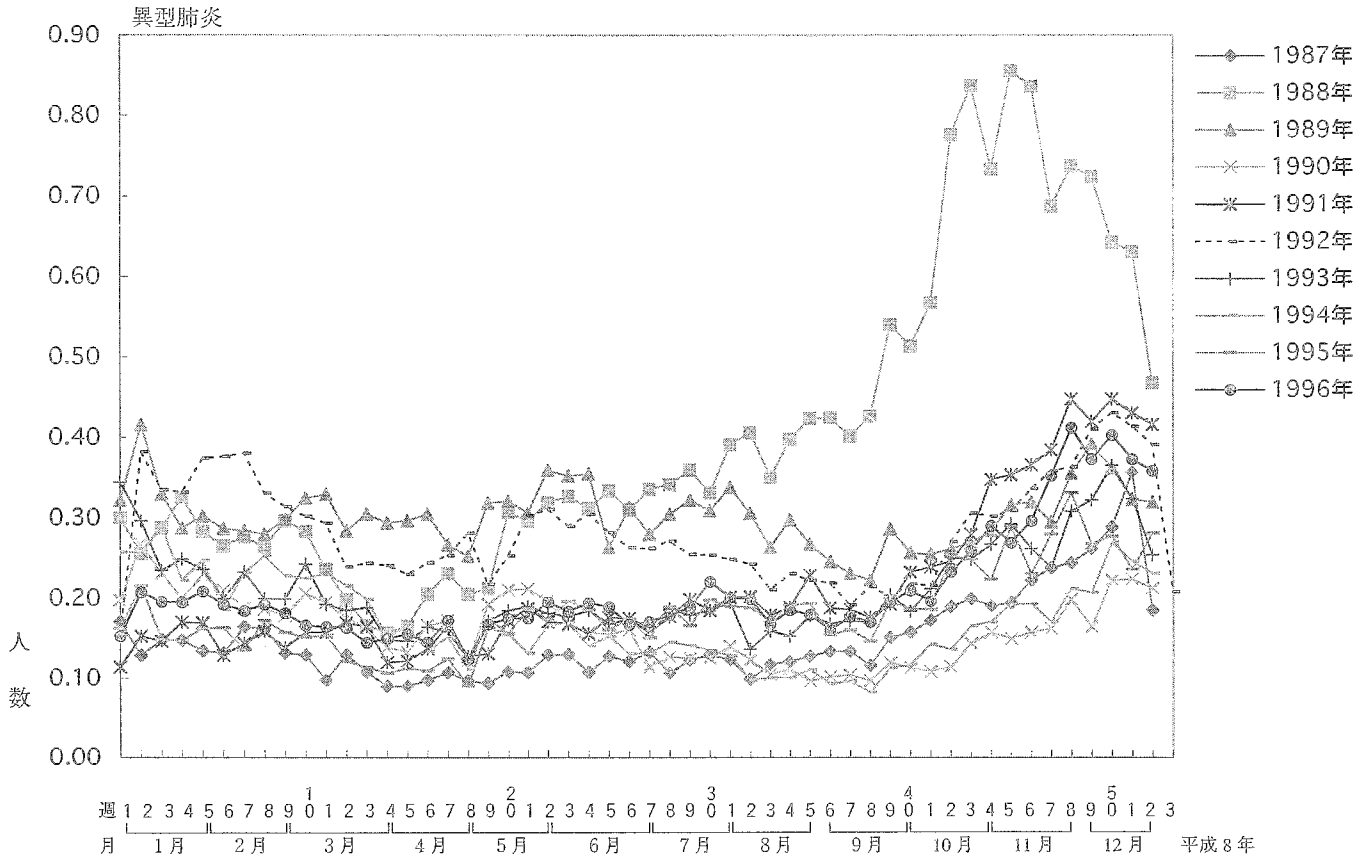


図7-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of atypical pneumonia, Japan, 1995-1996.

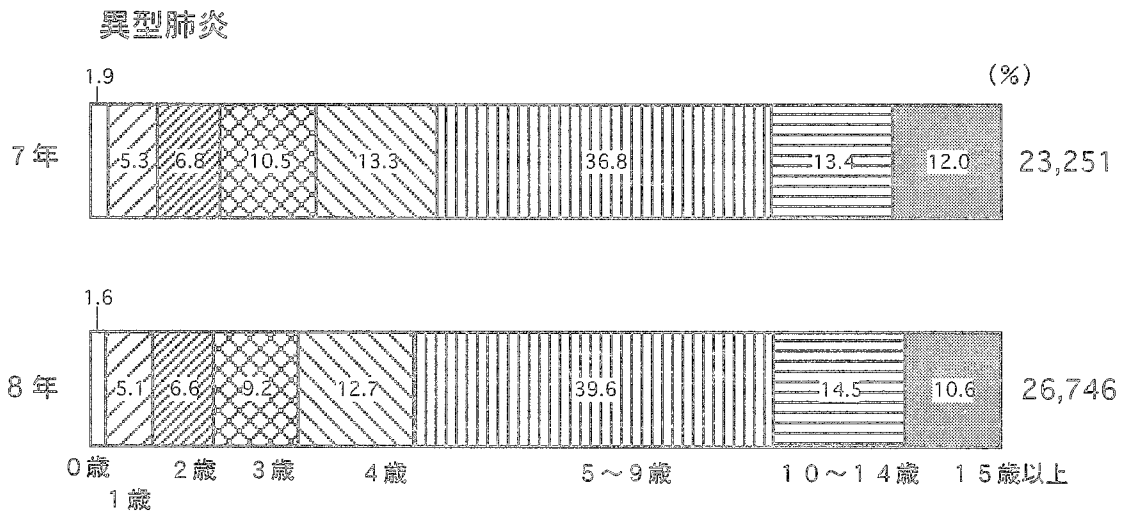
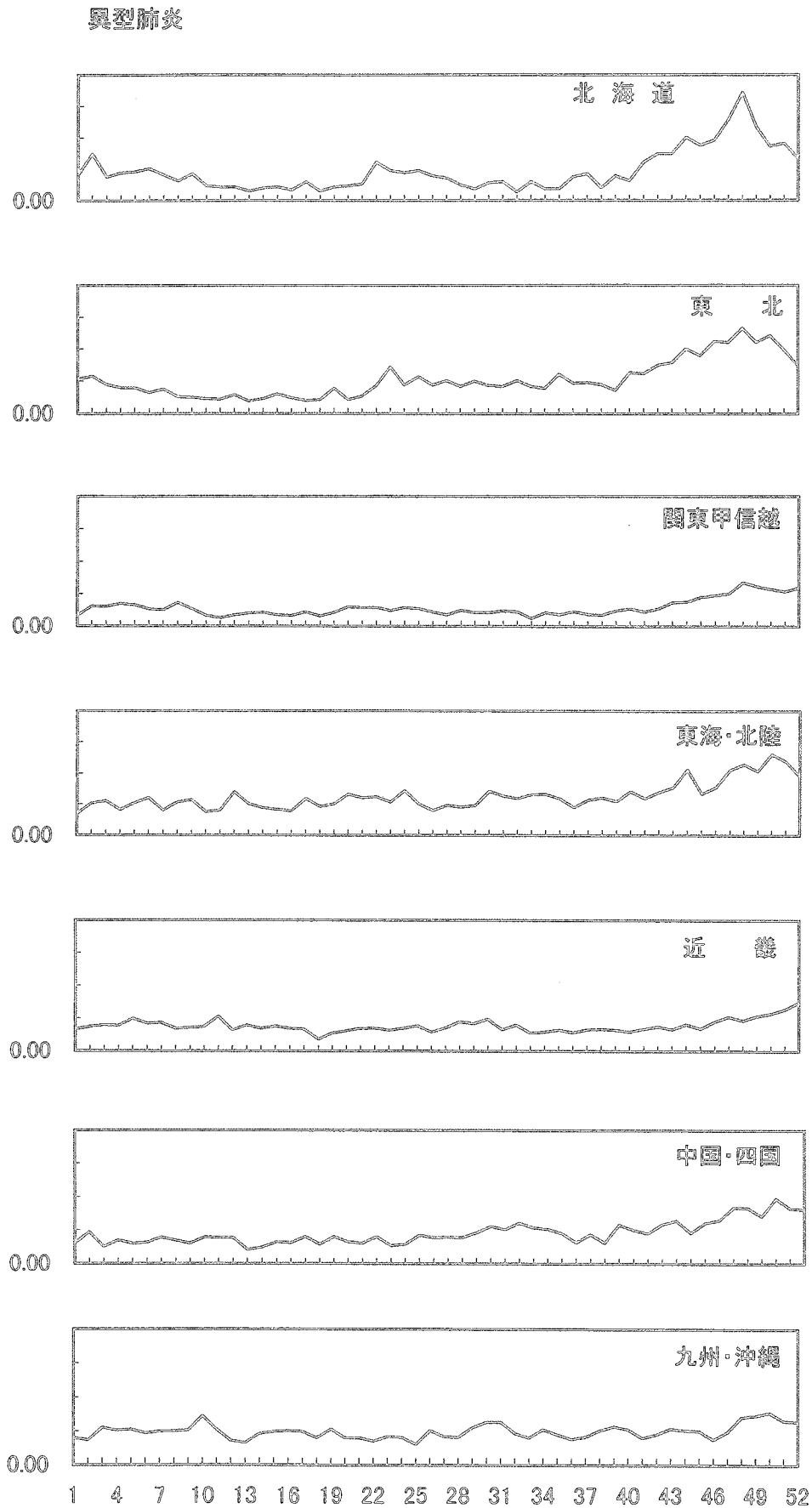


図7-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of atypical pneumonia per reporting clinic, by geographical area, 1996.

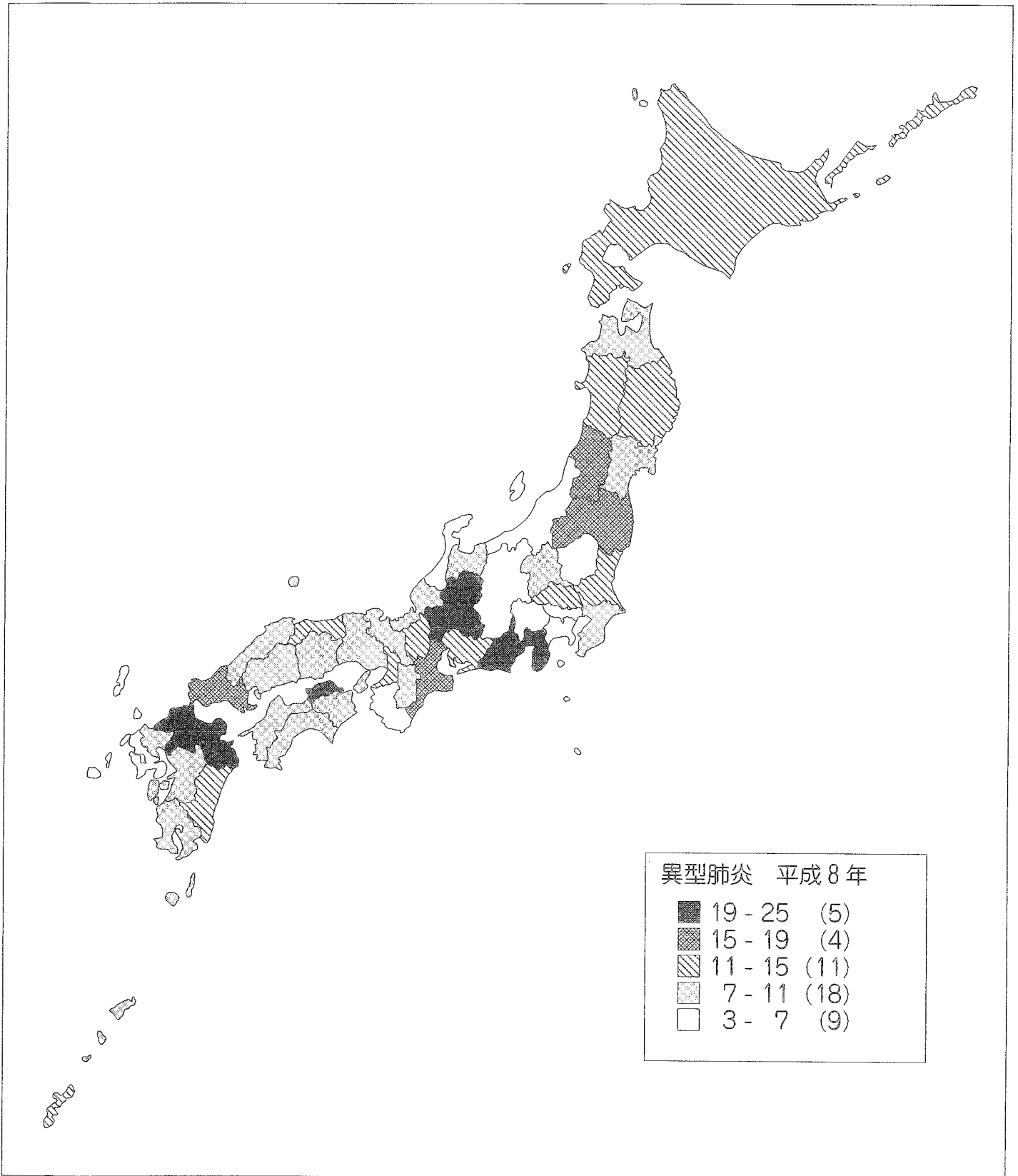


MAX=0.86

平成8年

図7-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of atypical pneumonia per reporting clinic, by prefecture, 1996.



8. 感染性胃腸炎

本年の定点当たりの報告数は 162.72 人、1995 年は 193.28 人であり、本年の方が報告数は少なかった。この差は特に第 4 四半期にあり、例年認められる第 44 週前後からの増加が本年は 1985 年に次いで少なかった。一方第 10 週から第 32 週までは 1983 年以来の報告数の中では最高値であったことも特徴であった。

県別の定点当たりの年間報告数では、山形県 295.48 人、鹿児島県 283.81 人、宮崎県 278.57 人、京都府 270.64 人、大分県 264.07 人が多く、指定都市では札幌市 246.74 人、京都市 222.76 人、福岡市 217.65 人が多かった。

ブロック別では、九州・沖縄 187.10 人、中国・四国 178.55 人、近畿 172.79 人、東海・北陸 169.59 人の順であり、北海道は 71.56 人で他のブロックと比較して特に報告は少なかった。

年齢分布は 0 歳 3.9%、1 歳 8.8%、2 歳 9.1%、3 歳 10.3%、4 歳 11.9%、5～9 歳 29.0%、10～14 歳 12.0%、15 歳以上 14.9%で 4 歳代にピークが認められた。

図8-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infectious gastroenteritis per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

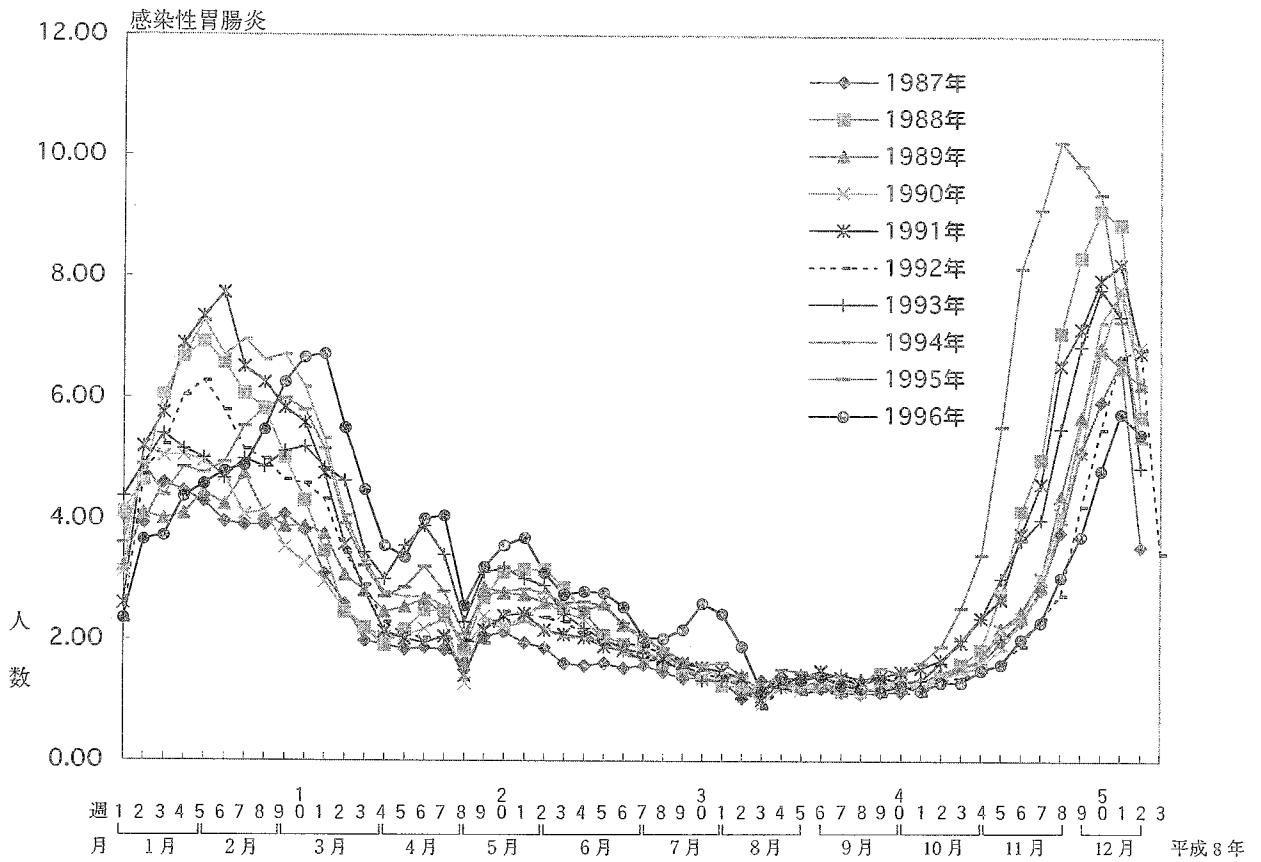


図8-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of infectious gastroenteritis, Japan, 1995-1996.

感染性胃腸炎

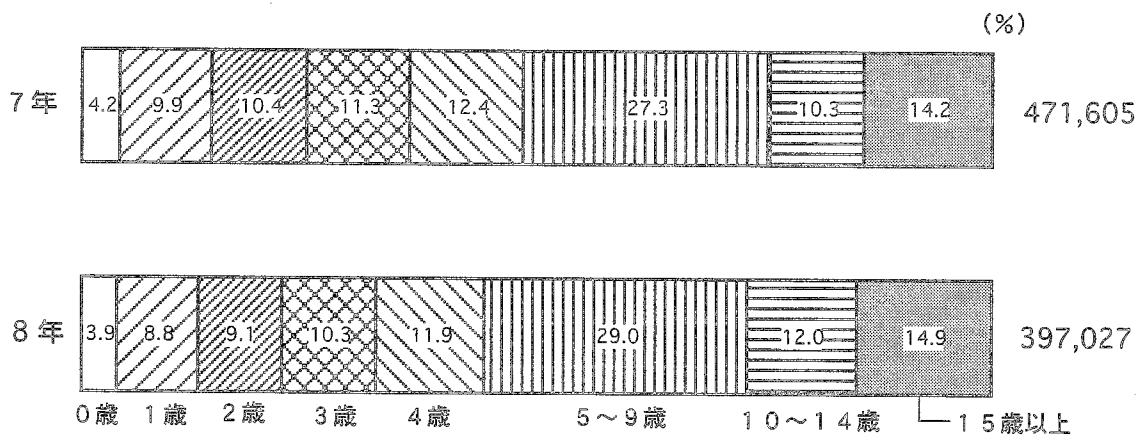
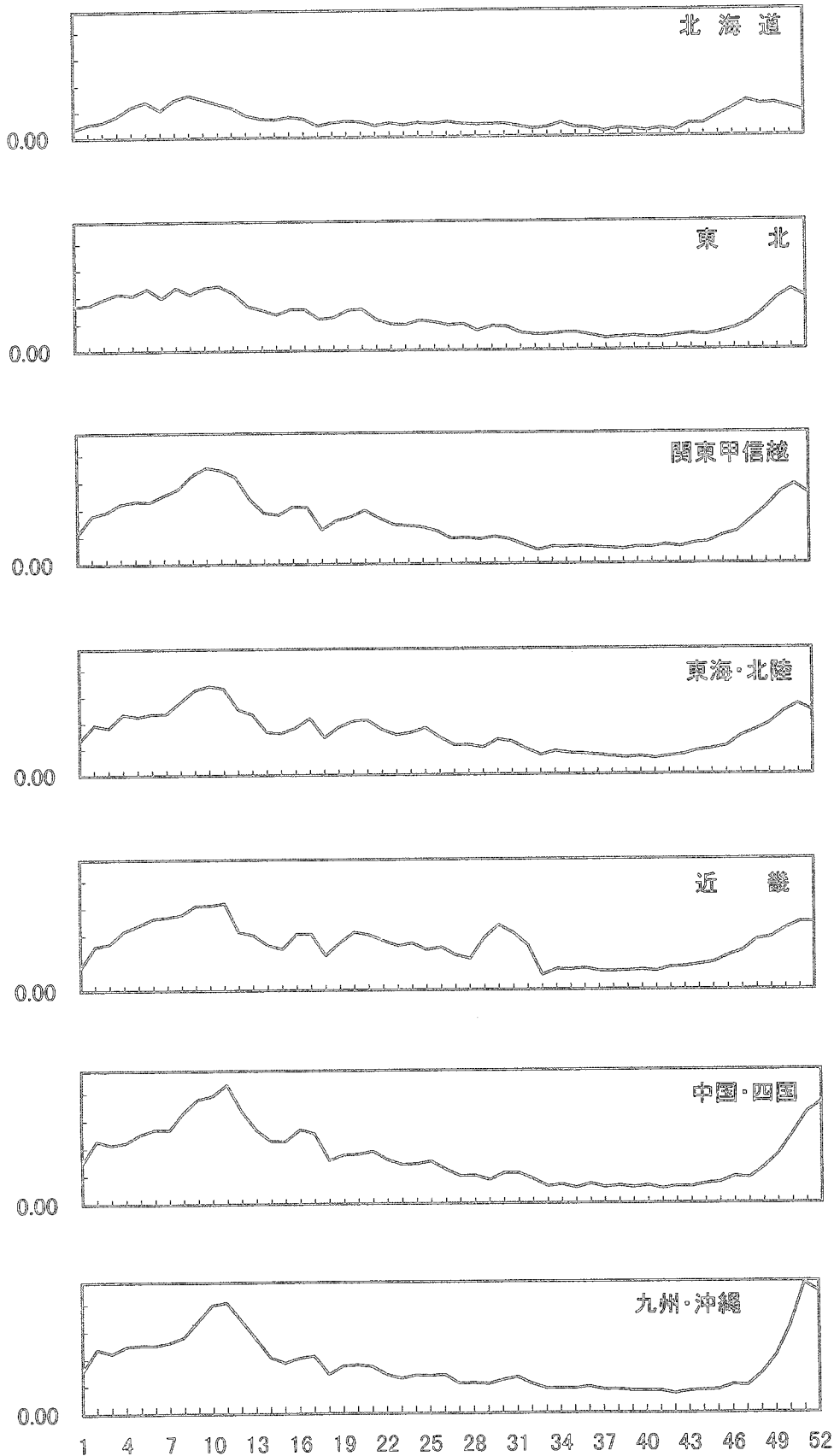


図8-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infectious gastroenteritis per reporting clinic, by geographical area, 1996.

感染性胃腸炎



MAX=9.46 平成8年

図8-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of infectious gastroenteritis per reporting clinic, by prefecture, 1996.

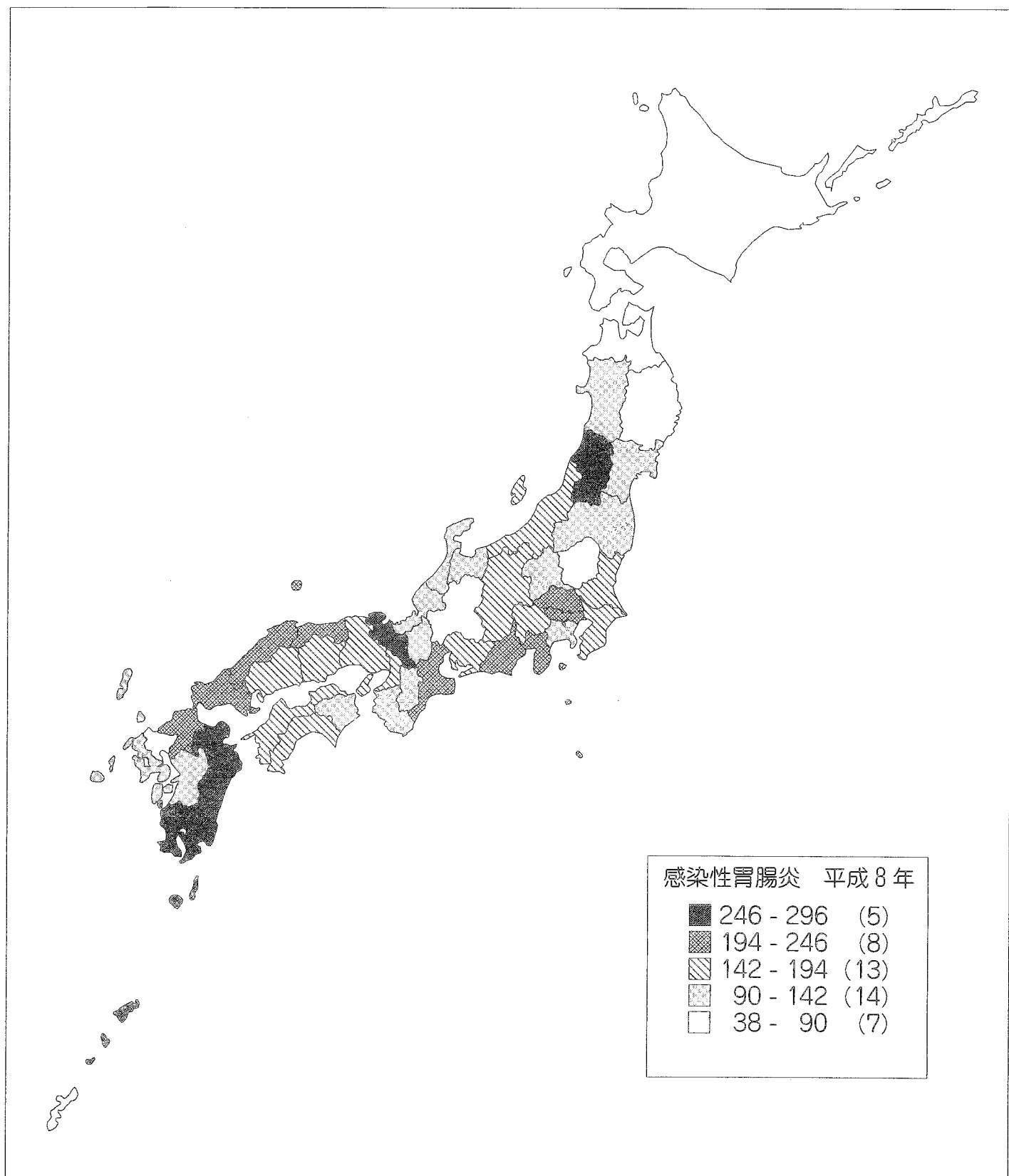
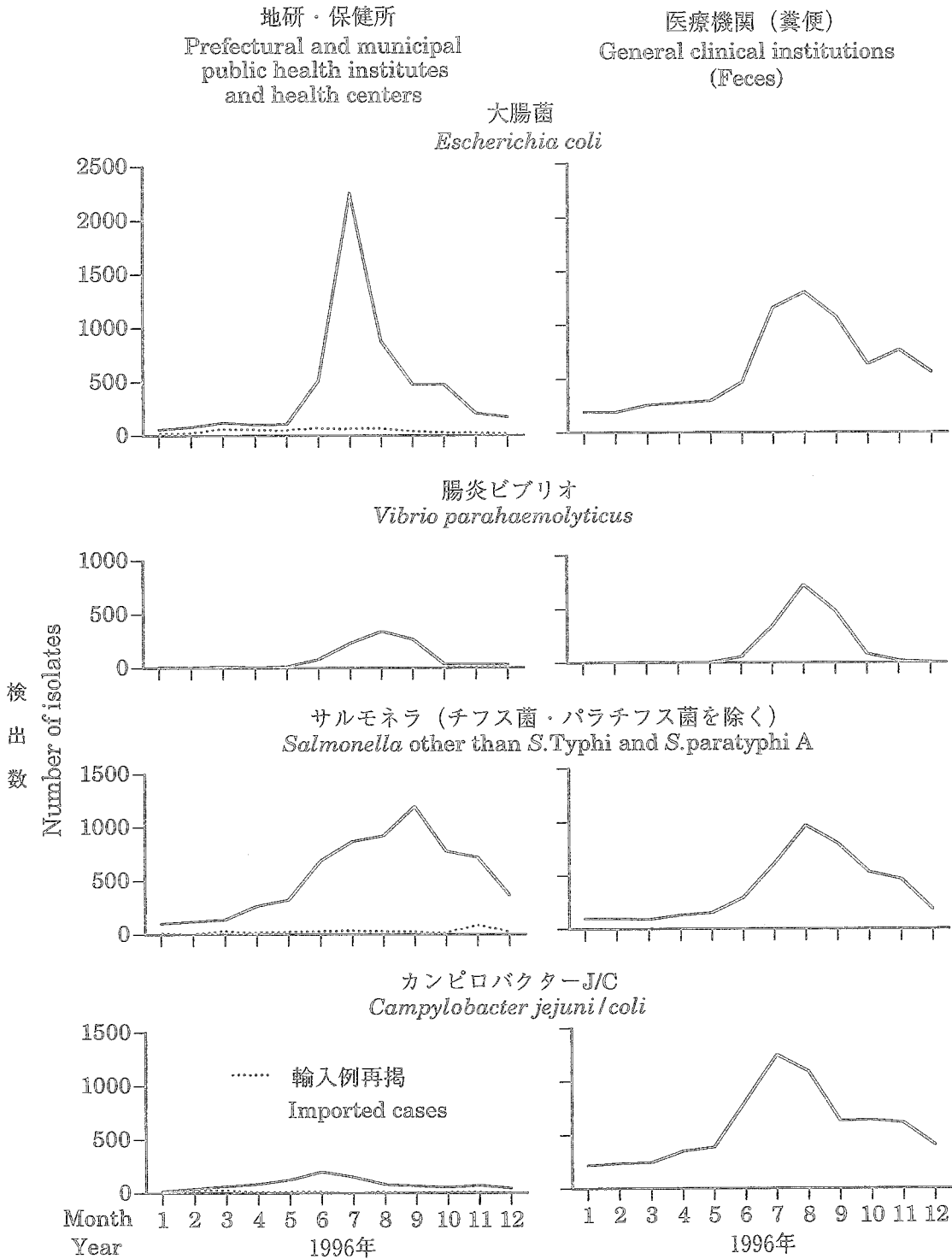


図8-5 主な胃腸炎関連病原菌の月別分離状況、1996年

Monthly reports of isolation of major enteropathogenic bacteria, Japan, 1996.



(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

9. 乳児嘔吐下痢症

本年は定点当たり 31.15 人の報告であったが、1995 年は 47.21 人であり約 35%減であった。本年は第 1 四半期より過去 13 年間で最小数の報告であり、第 4 四半期の例年増加が認められる時期にも最小値であった。

県別の定点当たり年間報告数は、福岡県 106.49 人、大分県 92.19 人、宮崎県 84.76 人が多く、指定都市では福岡市 116.53 人、北九州市 104.45 人が特に目立った。

ブロック別では九州・沖縄地区が 62.77 人で最高値であり、次いで中国・四国 38.53 人、東海・北陸 36.12 人であり、他は定点当たり総報告数の平均以下であった。

年齢分布は例年のごとく 1 歳未満、1 歳で約 80%を占めた。

図9-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

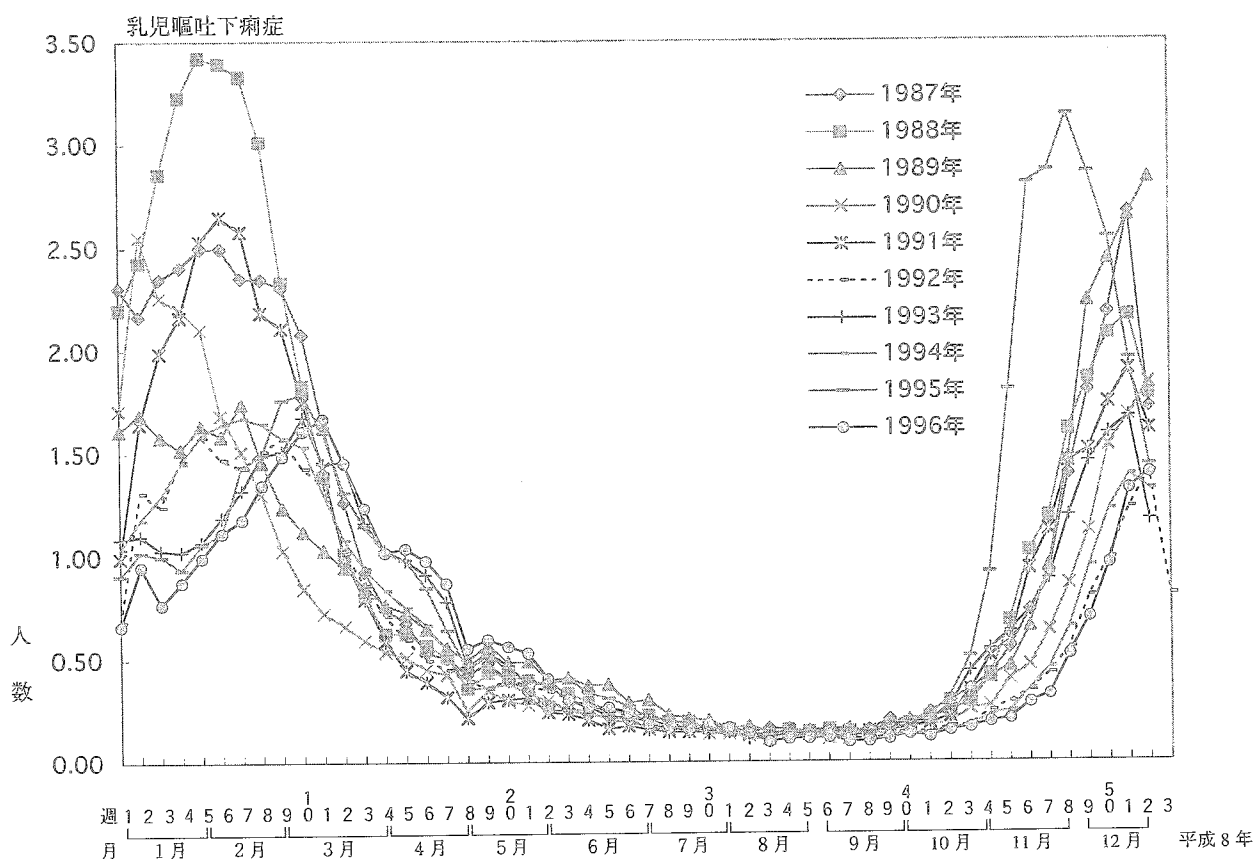


図9-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of infantile vomiting and diarrhea, Japan, 1995-1996.

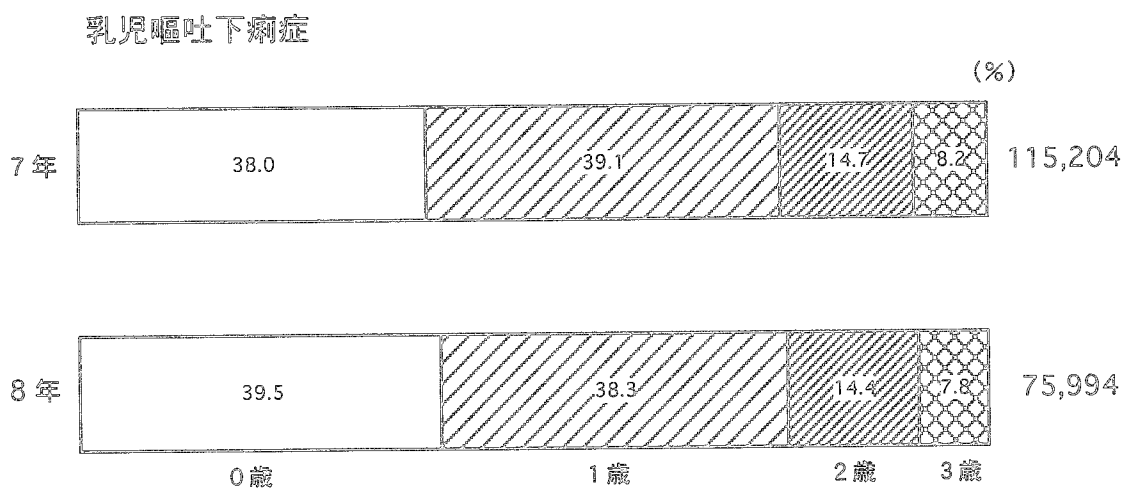
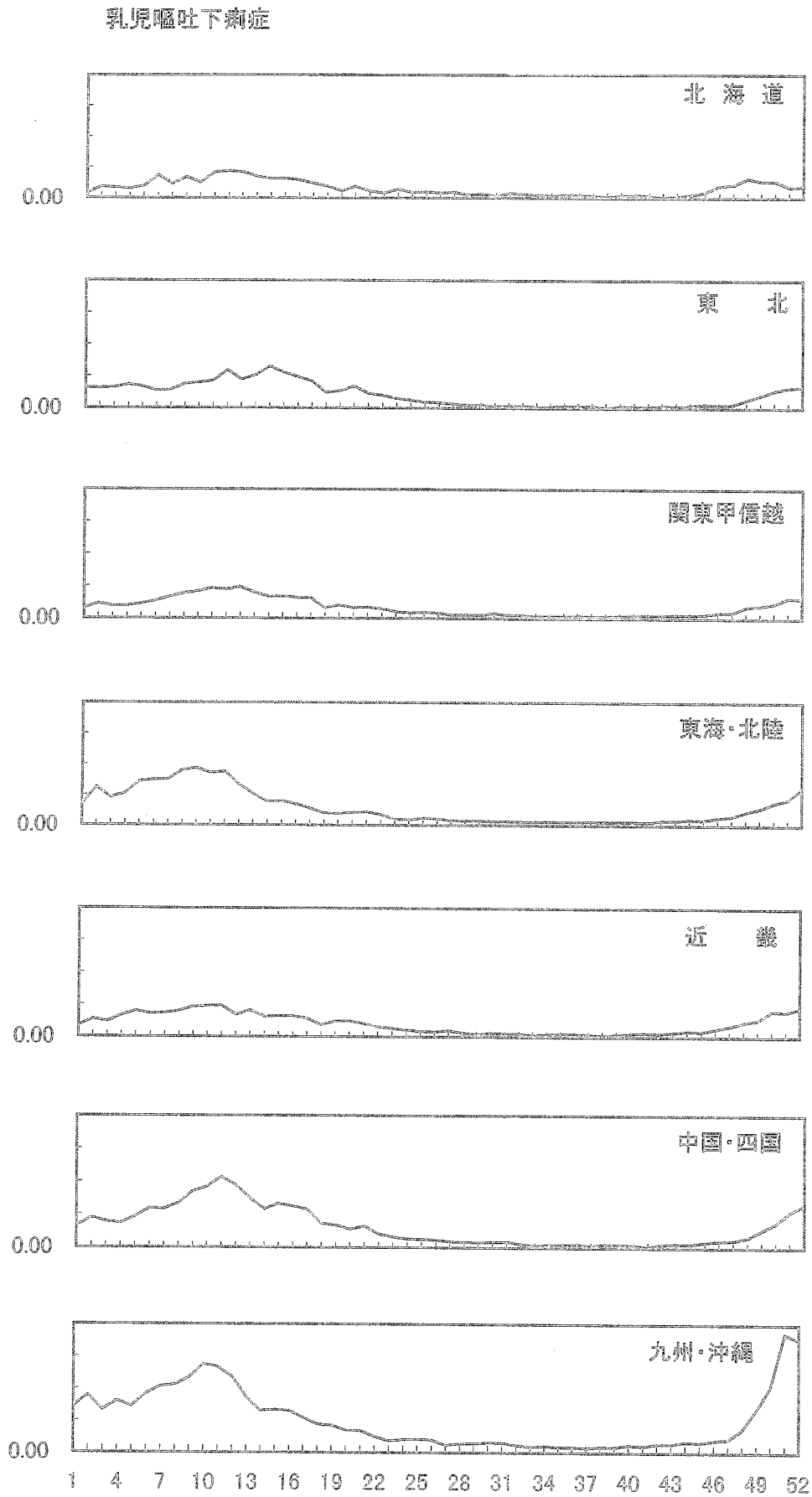


図9-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, by geographical area, 1996.



MAX=4.47 平成8年

図9-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of infantile vomiting and diarrhea per reporting clinic, by prefecture, 1996.

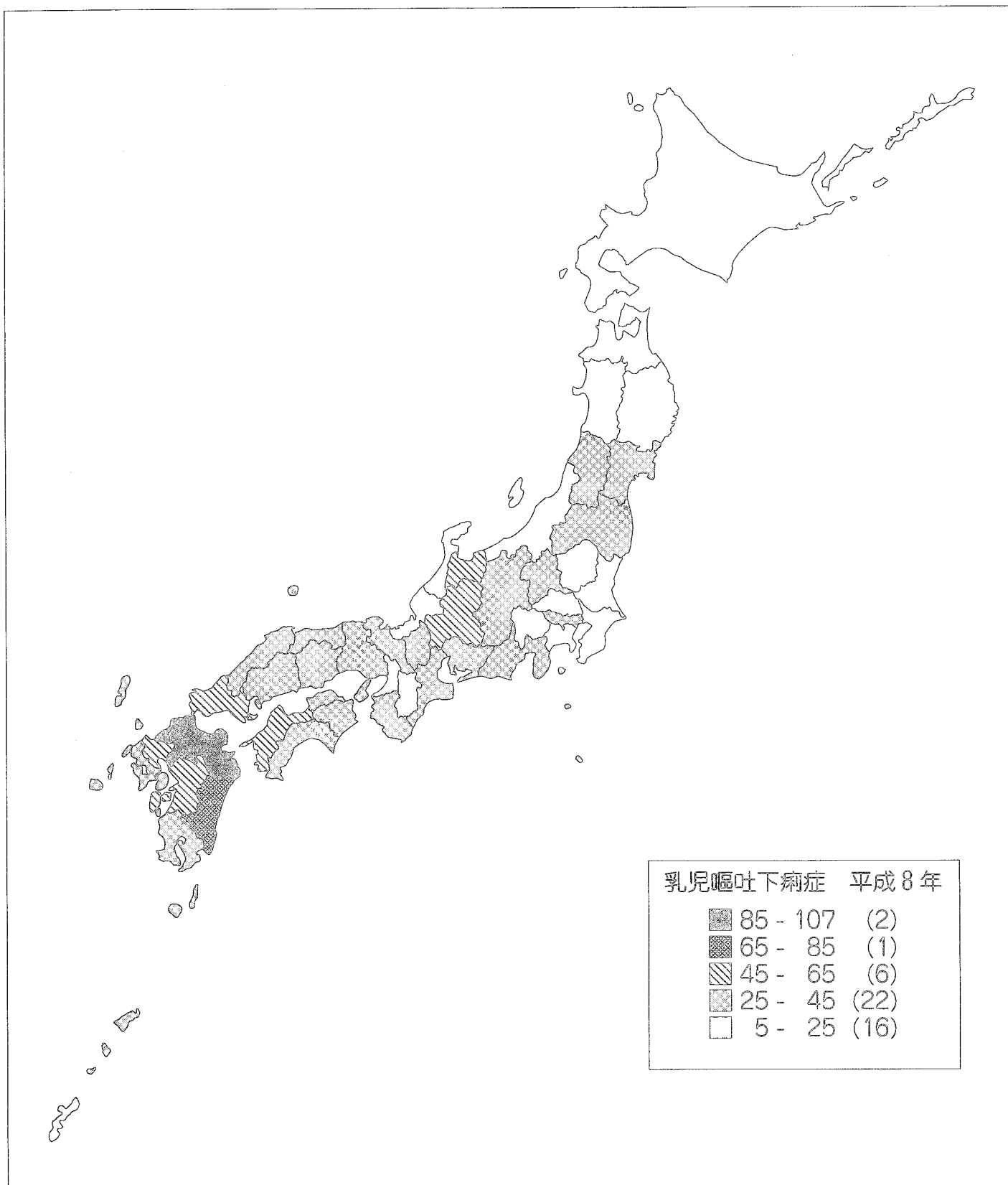
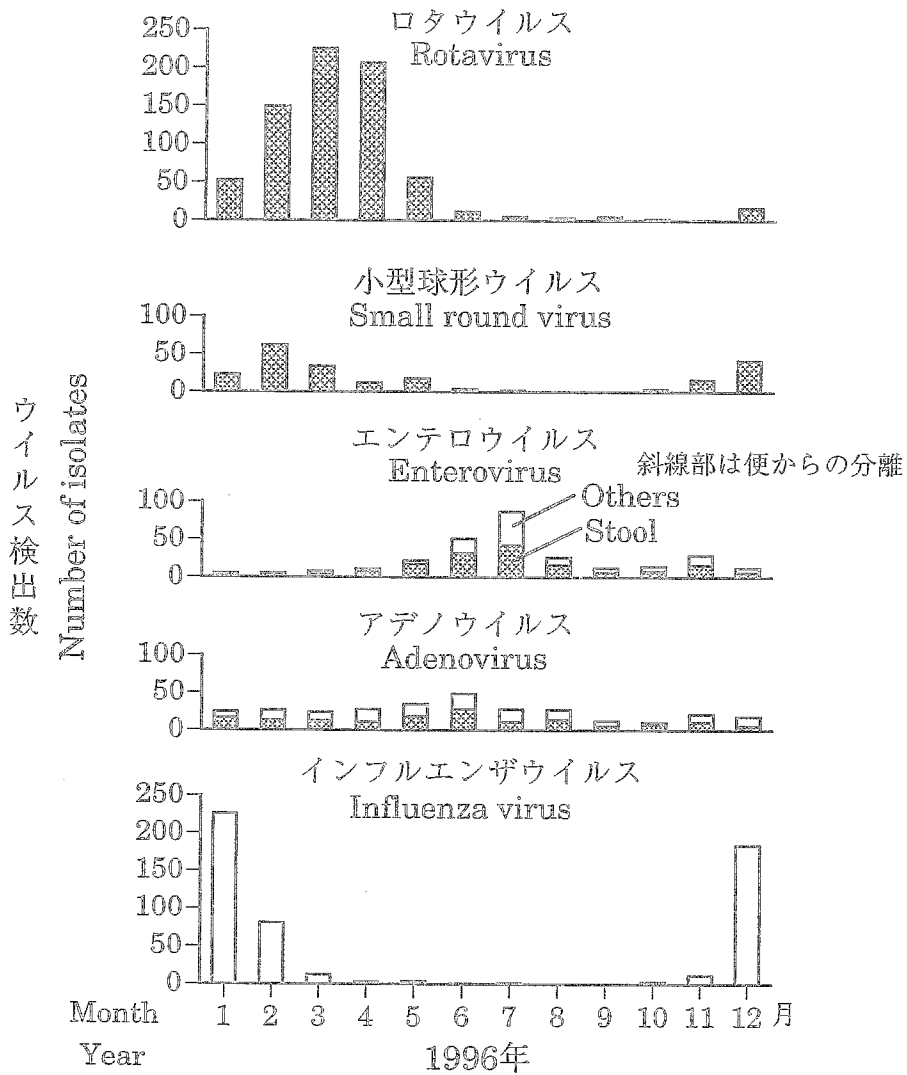


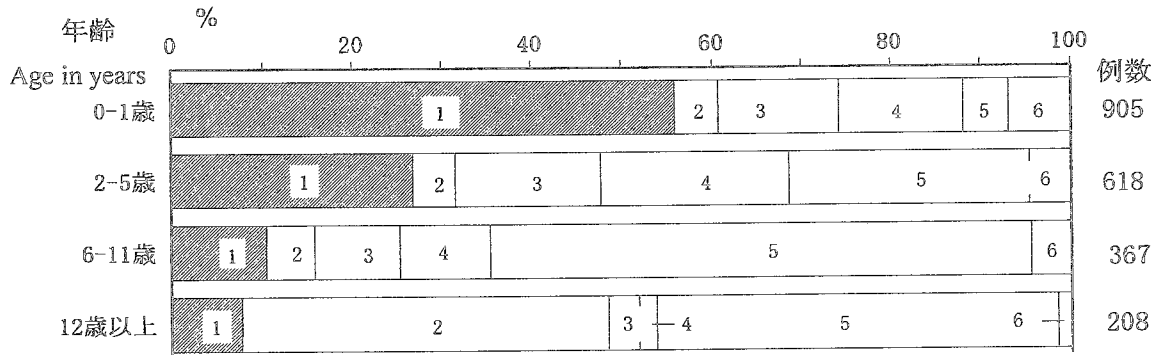
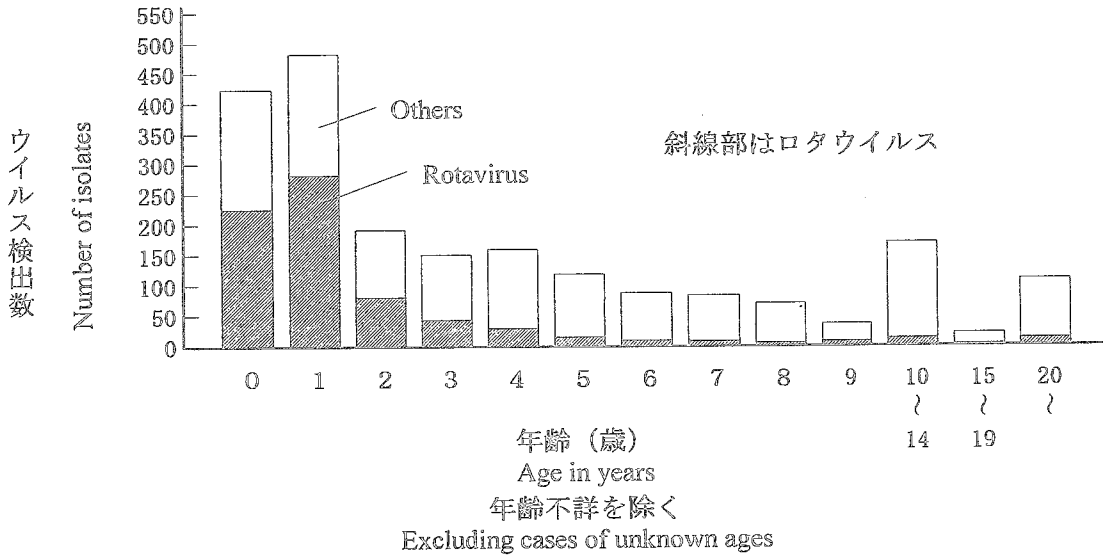
図9-5 胃腸炎症状のあった例からの月別ウイルス検出状況、1996年
 Monthly reports of isolation of viruses from gastroenteritis cases, Japan, 1996.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

図9-6 胃腸炎症状のあった例からの年齢別ウイルス検出状況、1996年

Detection of viruses from gastroenteritis cases, by age, Japan, 1996.



- | | | |
|----|-------------|-------------------|
| 1. | ロタウイルス | Rotavirus |
| 2. | 小型球形ウイルス | Small round virus |
| 3. | エンテロウイルス | Enterovirus |
| 4. | アデノウイルス | Adenovirus |
| 5. | インフルエンザウイルス | Influenza virus |
| 6. | その他のウイルス | Others |

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

表9-1 胃腸炎症状のあった例からのウイルス検出状況、1996年

Detection of viruses from gastroenteritis cases, Japan, 1996.

	検出総数 Total reported (%)	胃腸炎症状の記載による集計 Detection from (%)		臨床診断名による集計 Clinical diagnosis (%)	
		胃腸炎症状のあった例からの検出数 Cases with gastroenteritis	胃腸炎症状のあった例の便からの検出数 Feces from Cases with gastroenteritis	「乳児嘔吐下痢症」患者からの検出数 Infantile vomiting & diarrhea	「感染性胃腸炎」患者からの検出数 Infectious gastroenteritis
ロタ (Rota)	790 (7.5)	736 (33.9)	736 (58.0)	342 (82.5)	254 (51.3)
小型球形ウイルス (SRV)	247 (2.3)	217 (10.0)	217 (17.1)	16 (3.9)	46 (9.3)
エンテロ (Entero)	2,052 (19.4)	282 (13.0)	162 (12.8)	21 (5.1)	96 (19.4)
アデノ (Adeno)	1,667 (15.8)	299 (13.8)	153 (12.1)	33 (8.0)	80 (16.2)
インフルエンザ (Influenza)	4,406 (41.6)	529 (24.4)	- (0.0)	1 (0.2)	13 (2.6)
その他のウイルス (Others)	1,417 (13.4)	109 (5.0)	1 (0.1)	1 (0.2)	6 (1.2)
合計 (Total)	10,579 (100.0)	2,172 (100.0)	1,269 (100.0)	414 (100.0)	495 (100.0)

(病原微生物検出情報)

(Infectious Agents Surveillance Report)

表9-2 ロタと小型球形ウイルス検出例の年齢分布、1996年

Age distribution of cases yielding rotavirus or small round virus, Japan, 1996.

年齢 Age in years	ロタ (%) Rota (%)	小型球形ウイルス (%) SRV (%)
0 歳	225 (31.0)	21 (11.9)
1	281 (38.7)	22 (12.4)
2	80 (11.0)	13 (7.3)
3	43 (5.9)	7 (4.0)
4	29 (4.0)	2 (1.1)
5~9	43 (5.9)	20 (11.3)
10~19	14 (1.9)	17 (9.6)
20~29	1 (0.1)	24 (13.6)
30~	10 (1.4)	51 (28.8)
合計 (Total)	726 (100.0)	177 (100.0)

年齢不詳を除く

Excluding cases of unknown ages

(病原微生物検出情報)

(Infectious Agents Surveillance Report)

10. 手足口病

本年の定点当たりの報告数は 10.07 人で 1995 年の 65.03 人の約 15%であった。本年は地域差が目立ち、報告数の多かった県は宮崎県 52.84 人、沖縄県 42.48 人、秋田県 39.04 人、熊本県 31.96 人であった。指定都市では北九州市が 26.09 人で最多であった。

ブロック別では九州・沖縄 26.23 人、関東・甲信越 11.14 人、東北 10.50 人が多かった。

年齢別では過去 5 年間と比較すると 1～2 歳代の比率が高く、ピークが 1 歳代にあったことが特徴であった。

図10-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

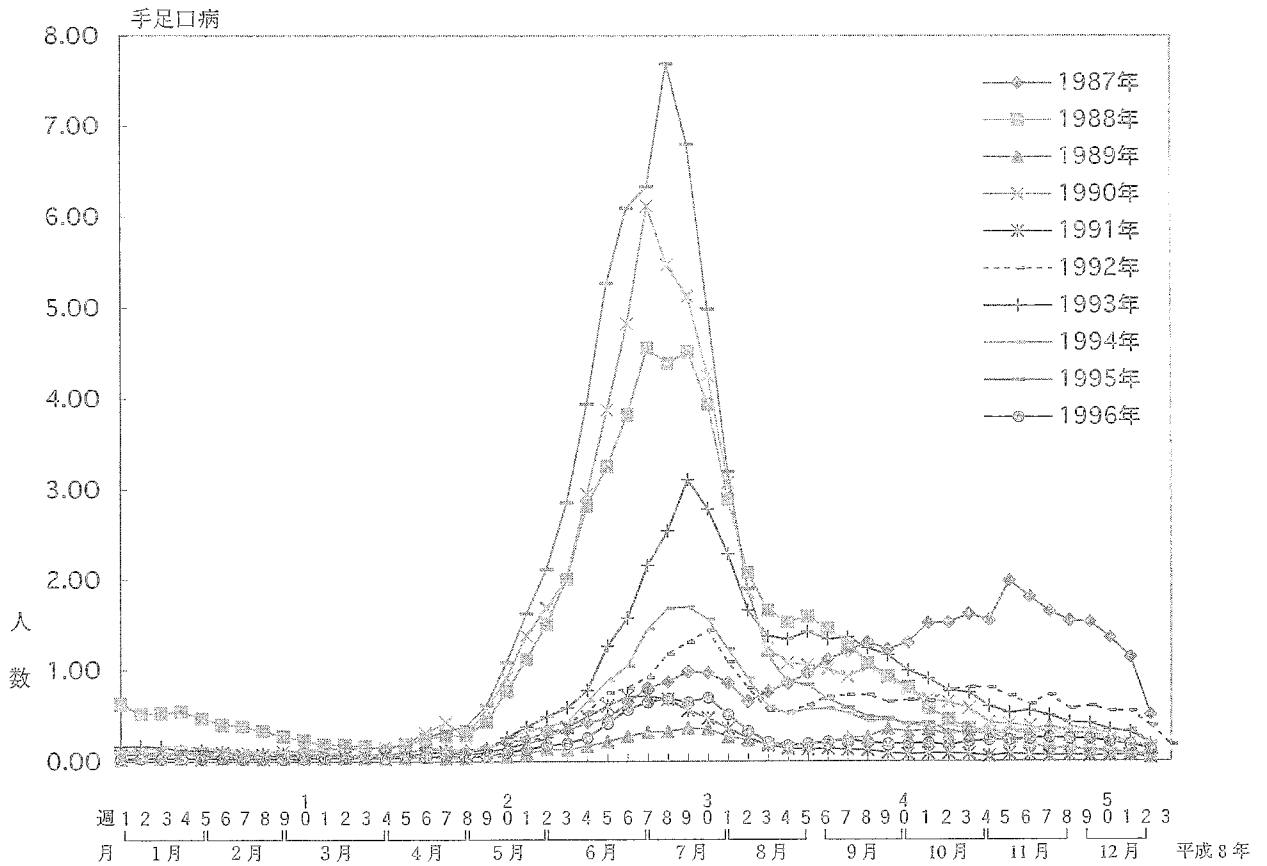


図10-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of hand-foot-and-mouth disease, Japan, 1995-1996.

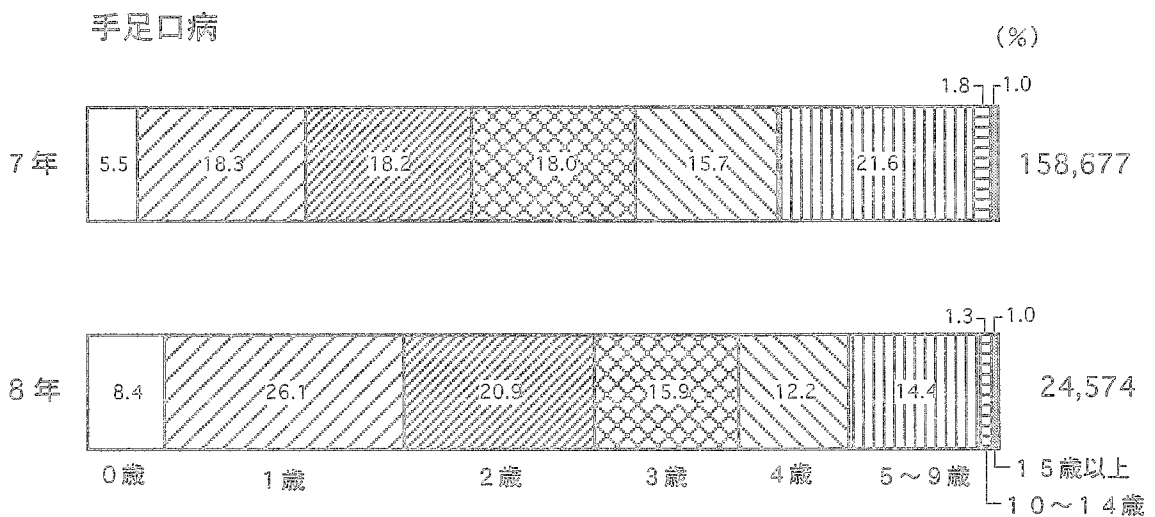
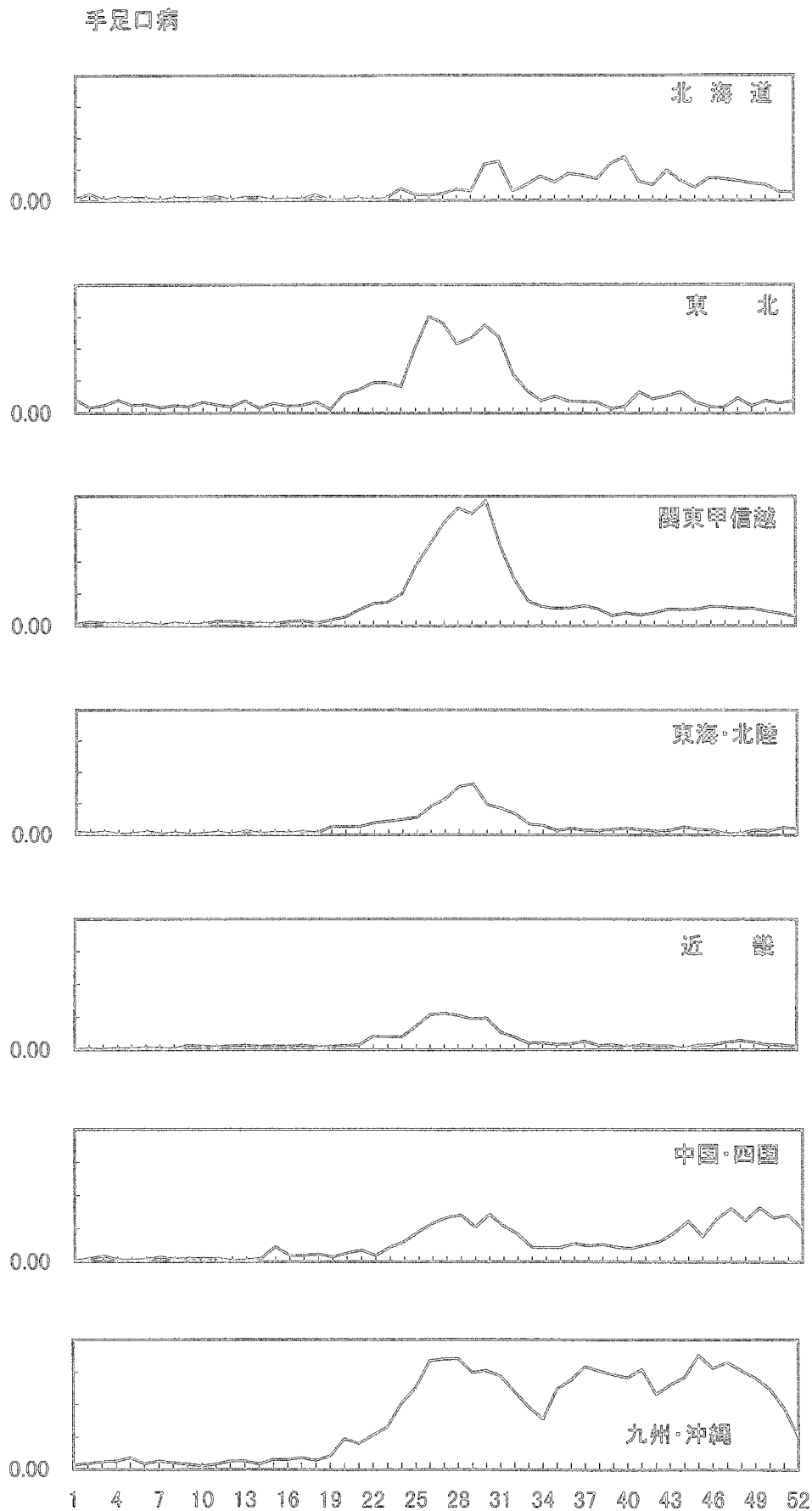


図10-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, by geographical area, 1996.



MAX=1.16

平成8年

図10-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of hand-foot-and-mouth disease per reporting clinic, by prefecture, 1996.

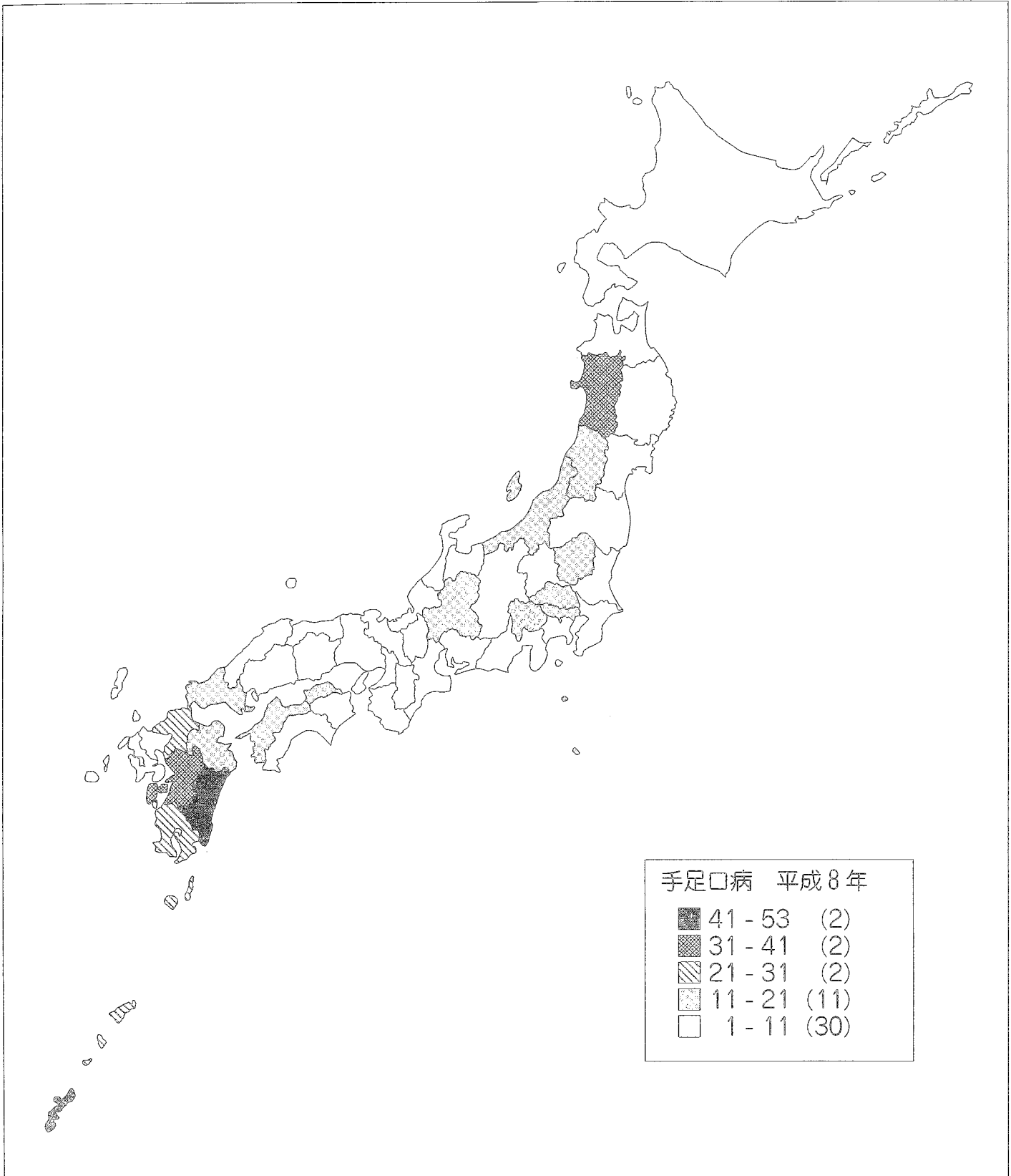
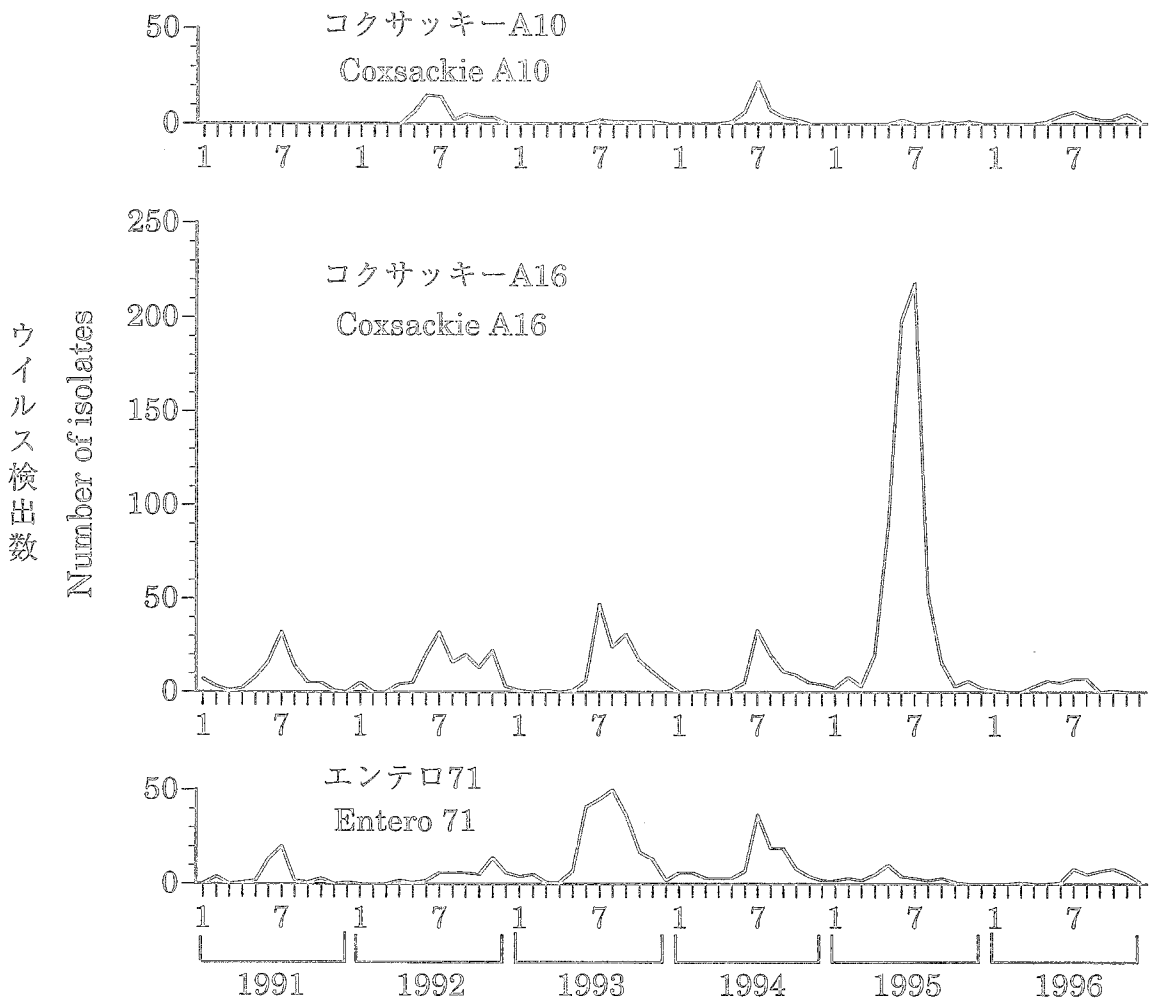


図10-5 手足口病患者からの月別ウイルス検出状況、1991年-1996年

Monthly reports of isolation of viruses from cases of hand-foot-and-mouth disease, Japan, 1991-1996.



(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

11. 伝染性紅斑

本年は定点当たり報告数 15.47 人であり、昨年（1995 年）の 5.70 人の約 3 倍であった。本症は 1986 年から 1987 年にかけて大流行があり、その後 1991 年から 1992 年にかけて、前回とほぼ同規模の流行が見られた。その間隔は 5 年間であり 1991 年から 5 年後は 1996 年である。1996 年の流行状況は、少し規模は小さいが、1986 年、1991 年のパターンに類似しており、1997 年はさらに大きな流行になる心配がある。

県別では大分県 39.15 人、秋田県 35.38 人、岩手県 35.14 人、山形県 34.63 人、福岡県 33.94 人、富山県 30.43 人の 6 県が定点当たり 30 人以上であり、指定都市では福岡市が 39.18 人であった。

ブロック別では東北 27.41 人、北海道 23.03 人、九州・沖縄 18.02 人であった。

年齢別では 4 歳をピークとする、例年と同様の傾向があった。

図11-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of erythema infectiosum per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

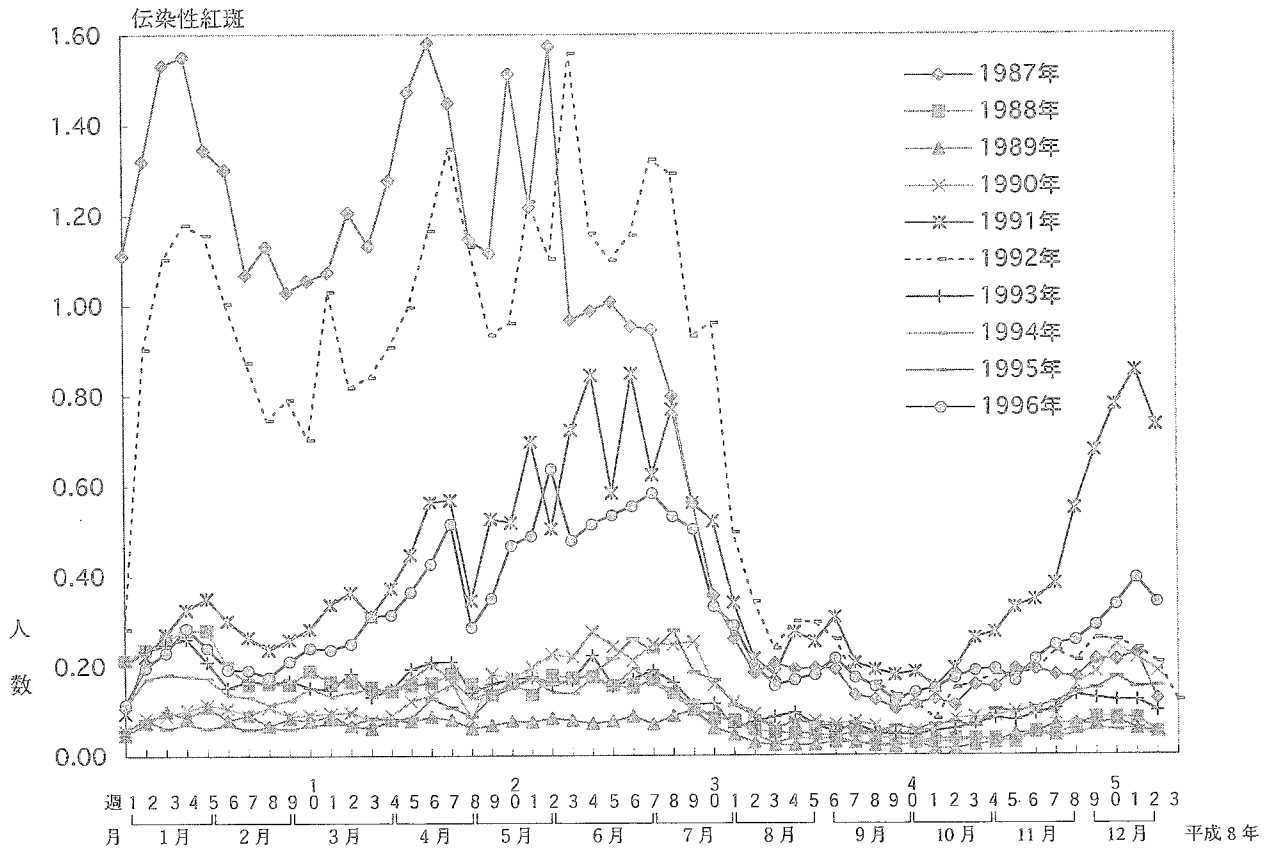


図11-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of erythema infectiosum, Japan, 1995-1996.

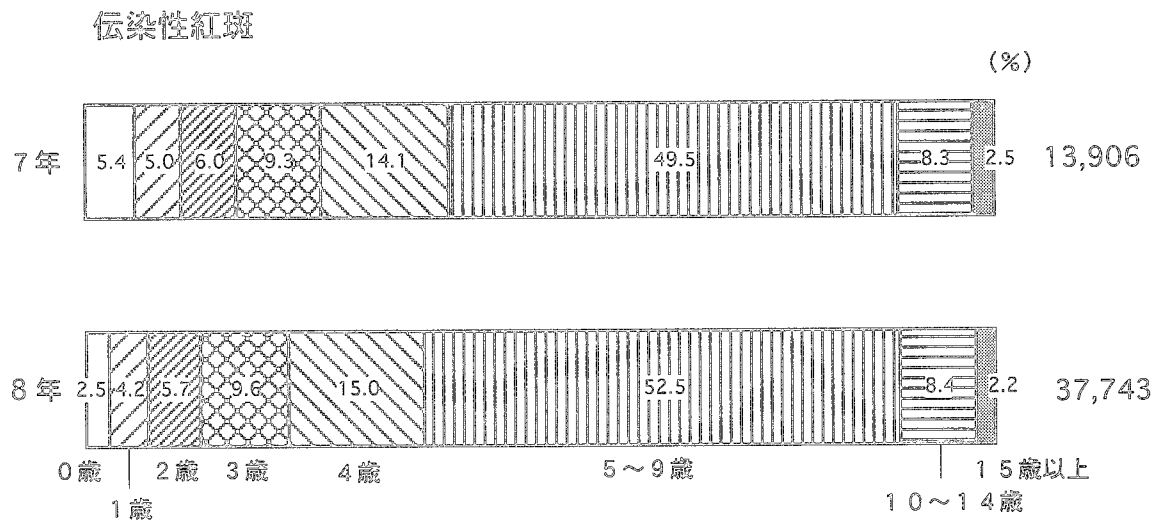


図11-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of erythema infectiosum per reporting clinic, by geographical area, 1996.

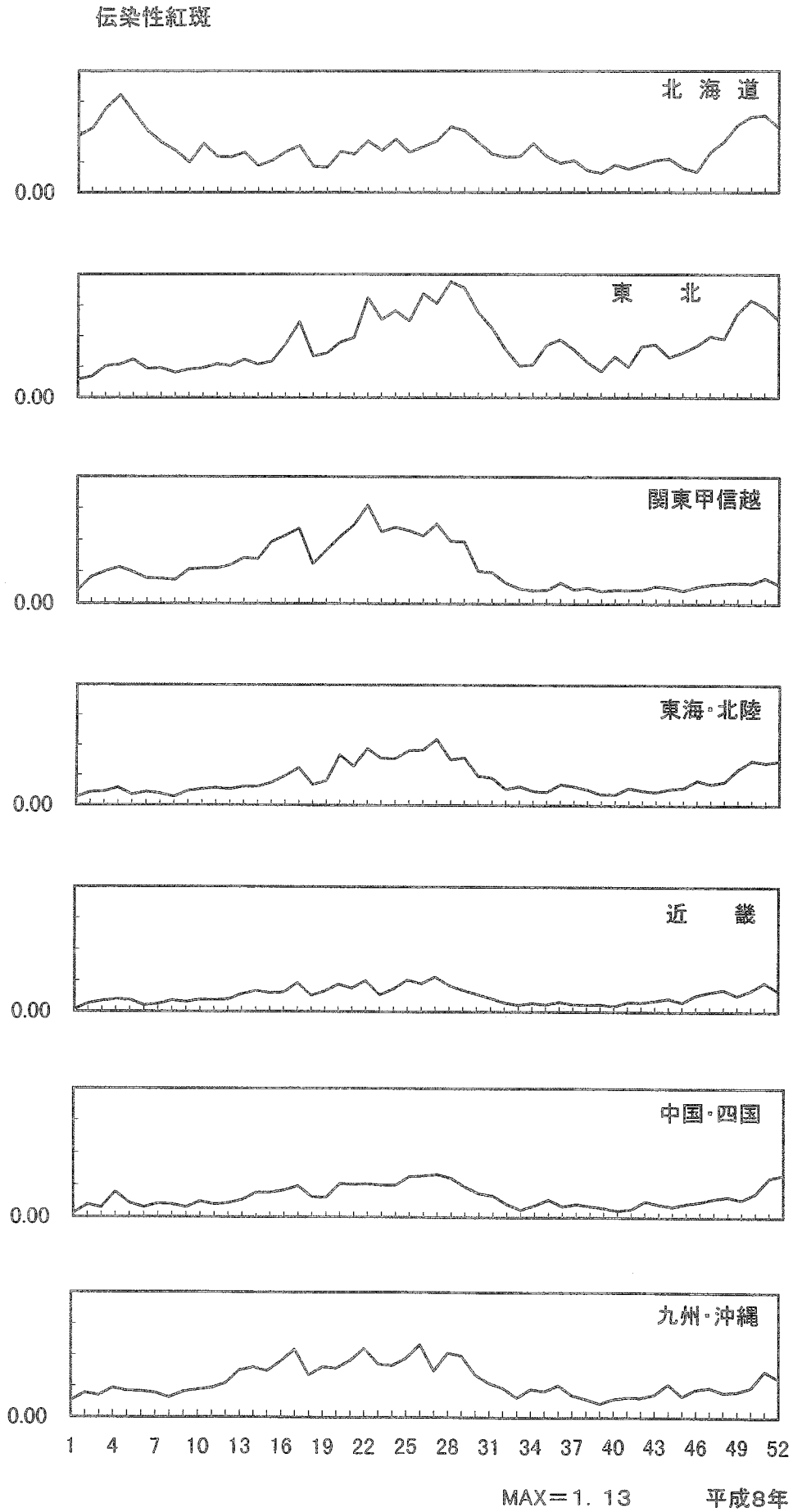
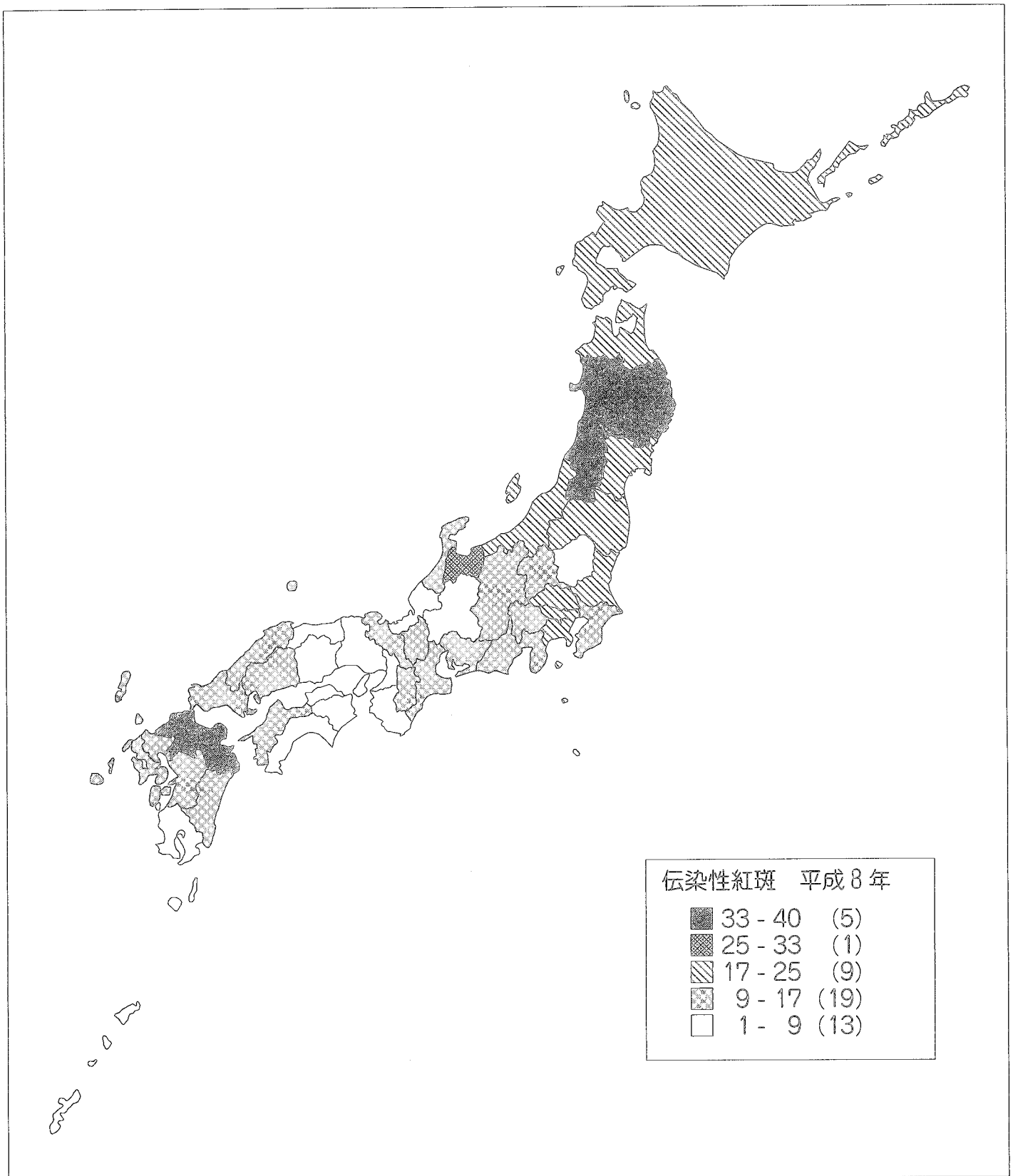


図11-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of erythema infectiosum per reporting clinic, by prefecture, 1996.



12. 突発性発しん

定点当たり報告数は 34.32 人で、昨年の 35.05 人とほぼ同数であった。報告の多い県は大分県 76.07 人、熊本県 57.90 人、福岡県 56.29 人、山形県 54.41 人、香川県 54.13 人などであり、特に少ない県は、沖縄県 16.08 人、山梨県 15.82 人、奈良県 18.85 人などであった。

ブロック別では、九州・沖縄 45.42 人、中国・四国 40.06 人であった。

1 歳未満の報告数は、全体の 88.5% であり、1 歳 10.8% を加えると 99.3% は 2 歳未満の児である。

図12-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of exanthem subitum per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

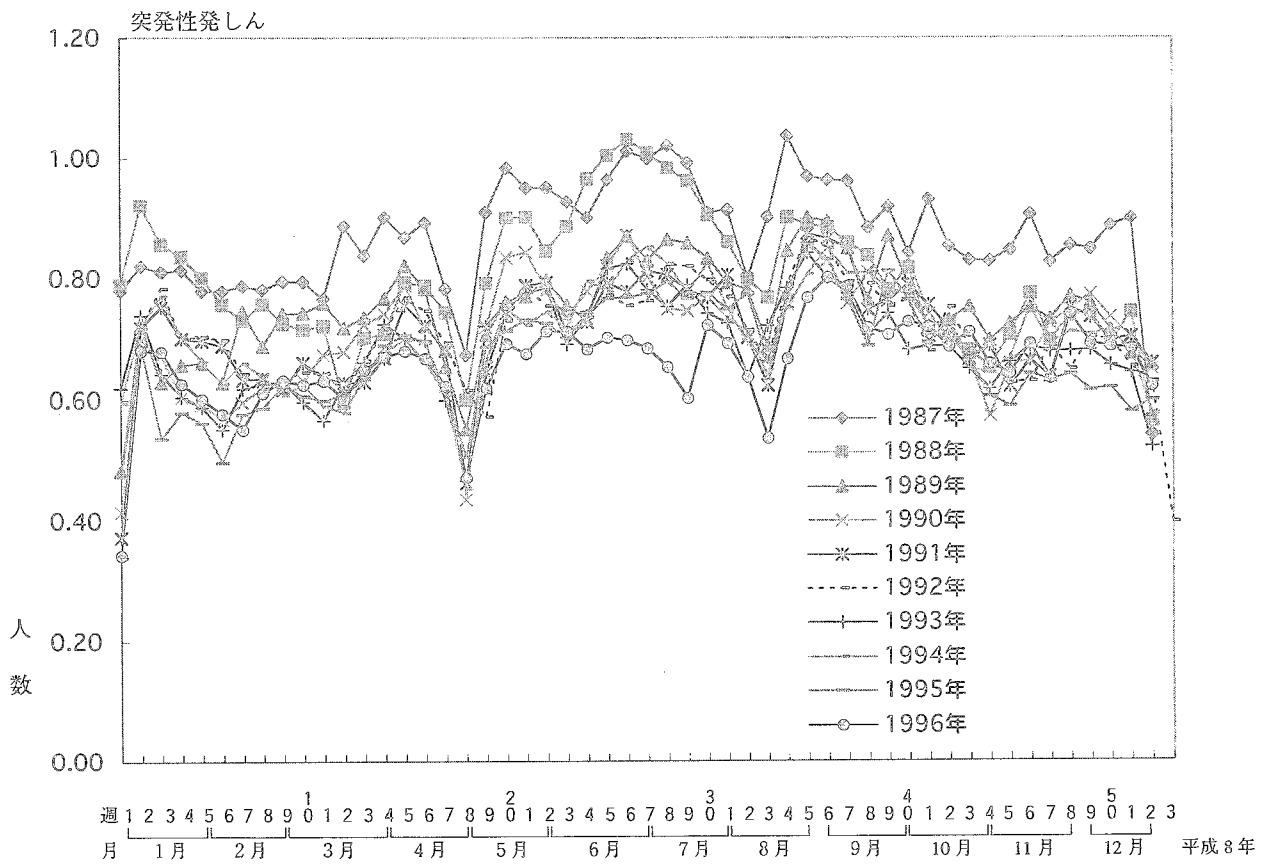


図12-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of exanthem subitum, Japan, 1995-1996.

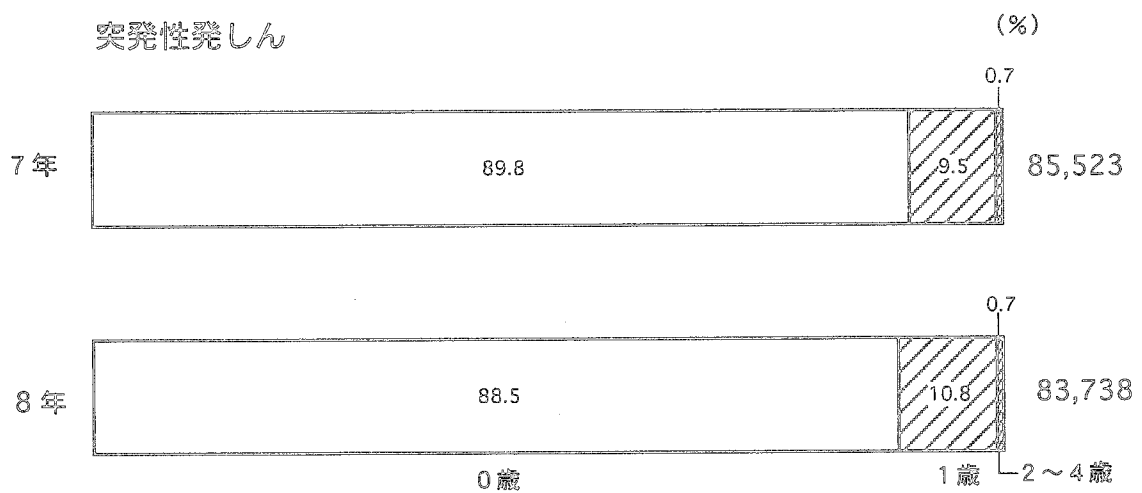
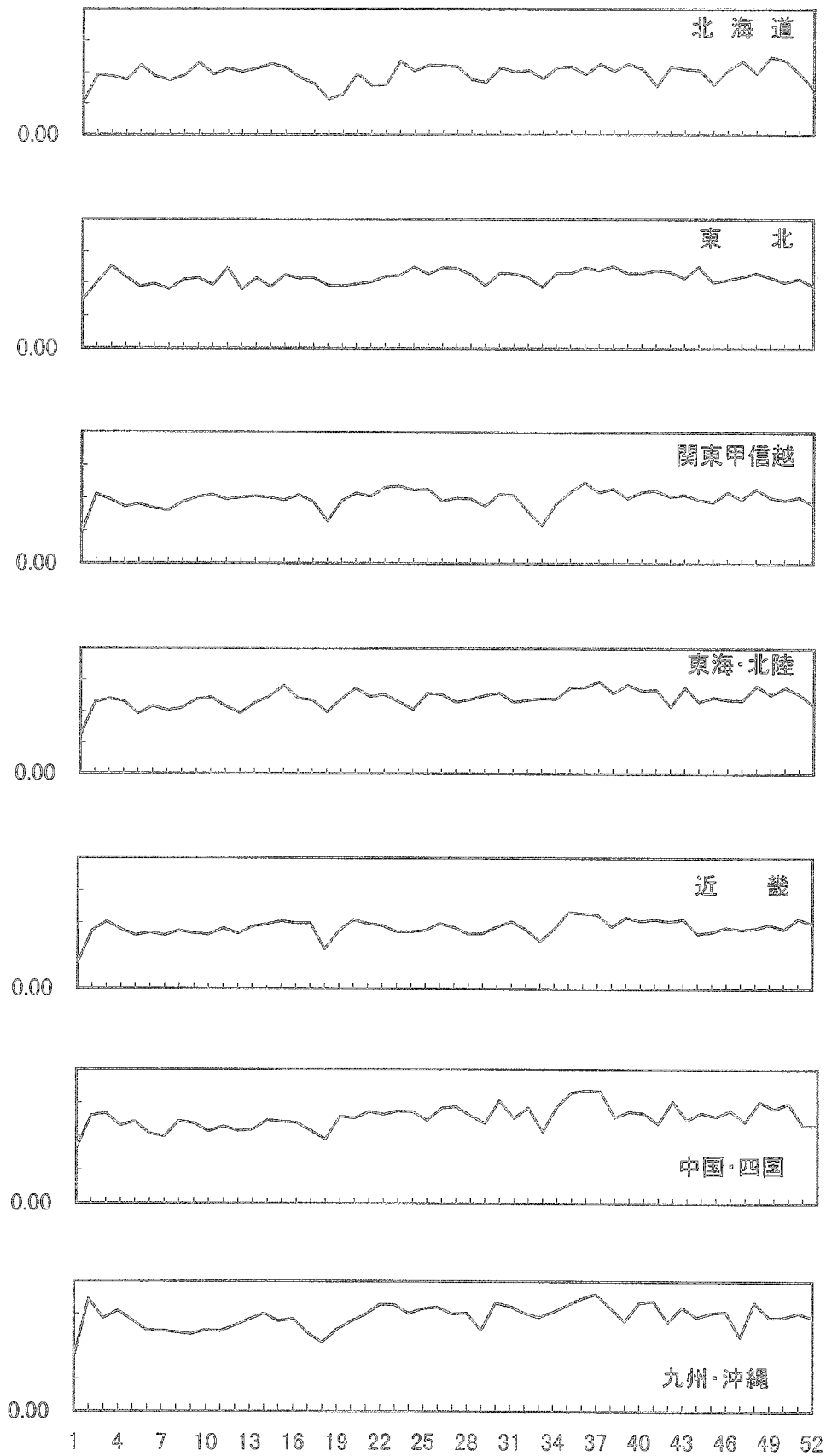


図12-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of exanthem subitum per reporting clinic, by geographical area, 1996.

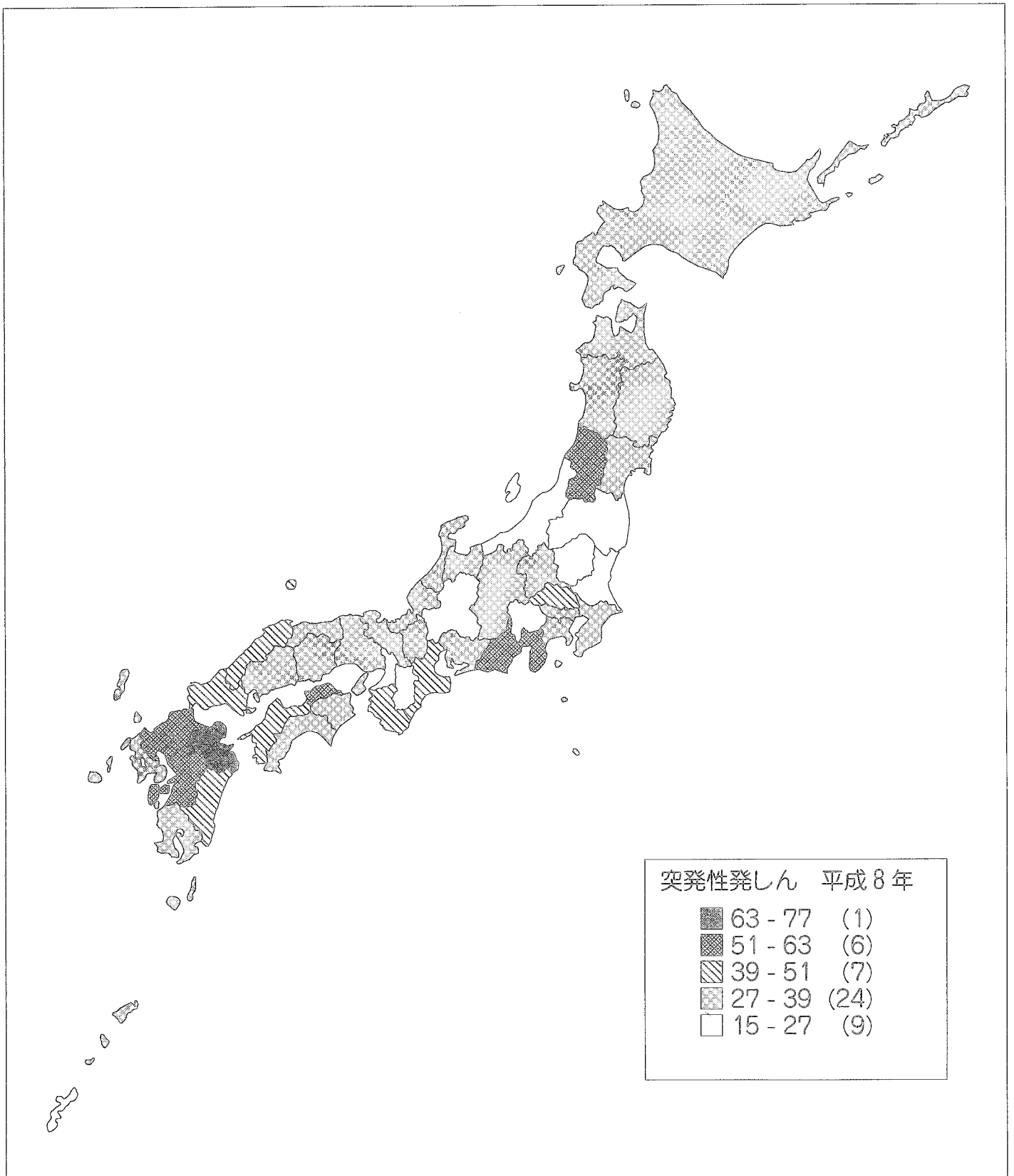
突発性発疹



MAX=1.09 平成8年

図12-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of exanthem subitum per reporting clinic, by prefecture, 1996.



13. ヘルパンギーナ

本年の定点当たりの報告数は 39.60 人であった。1995 年は 32.59 人であった。

県別では大分県 102.52 人、滋賀県 74.45 人、熊本県 70.12 人、福岡県 67.43 人、山口県 61.12 人が多かった。

ブロック別では九州・沖縄 53.07 人、関東・甲信越 43.67 人であった。昨年多かった北海道は 31.75 人であり、本年は南高北低型であった。

図13-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of herpangina per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

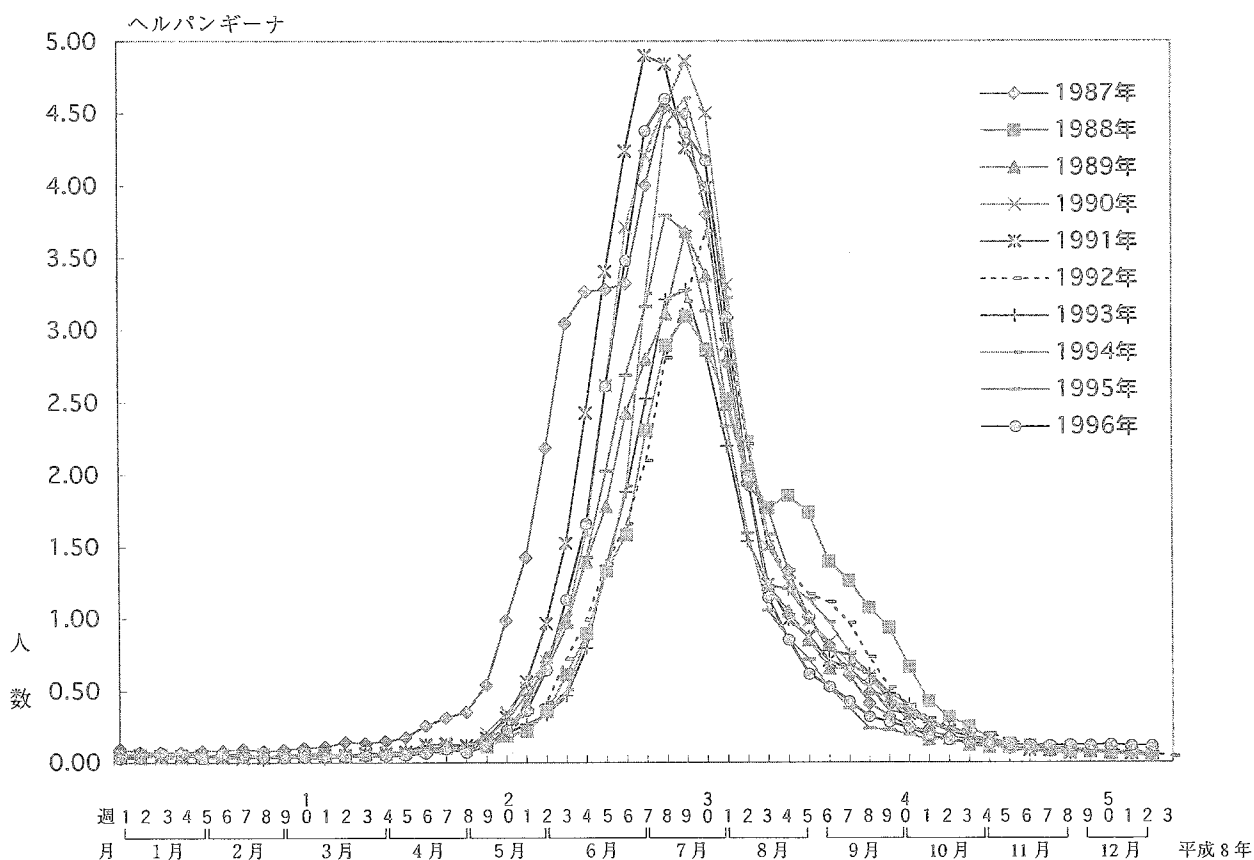


図13-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of herpangina, Japan, 1995-1996.

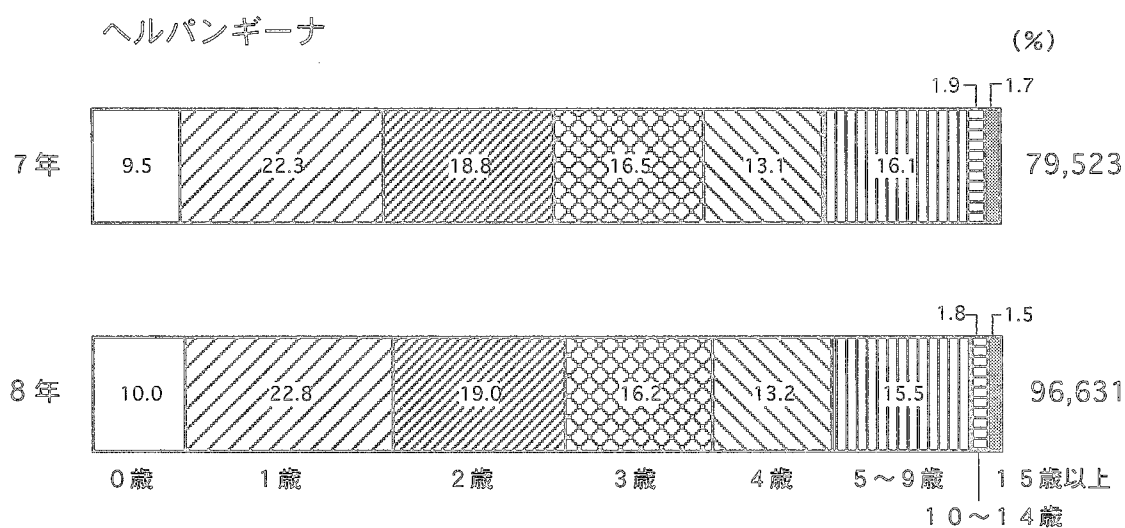
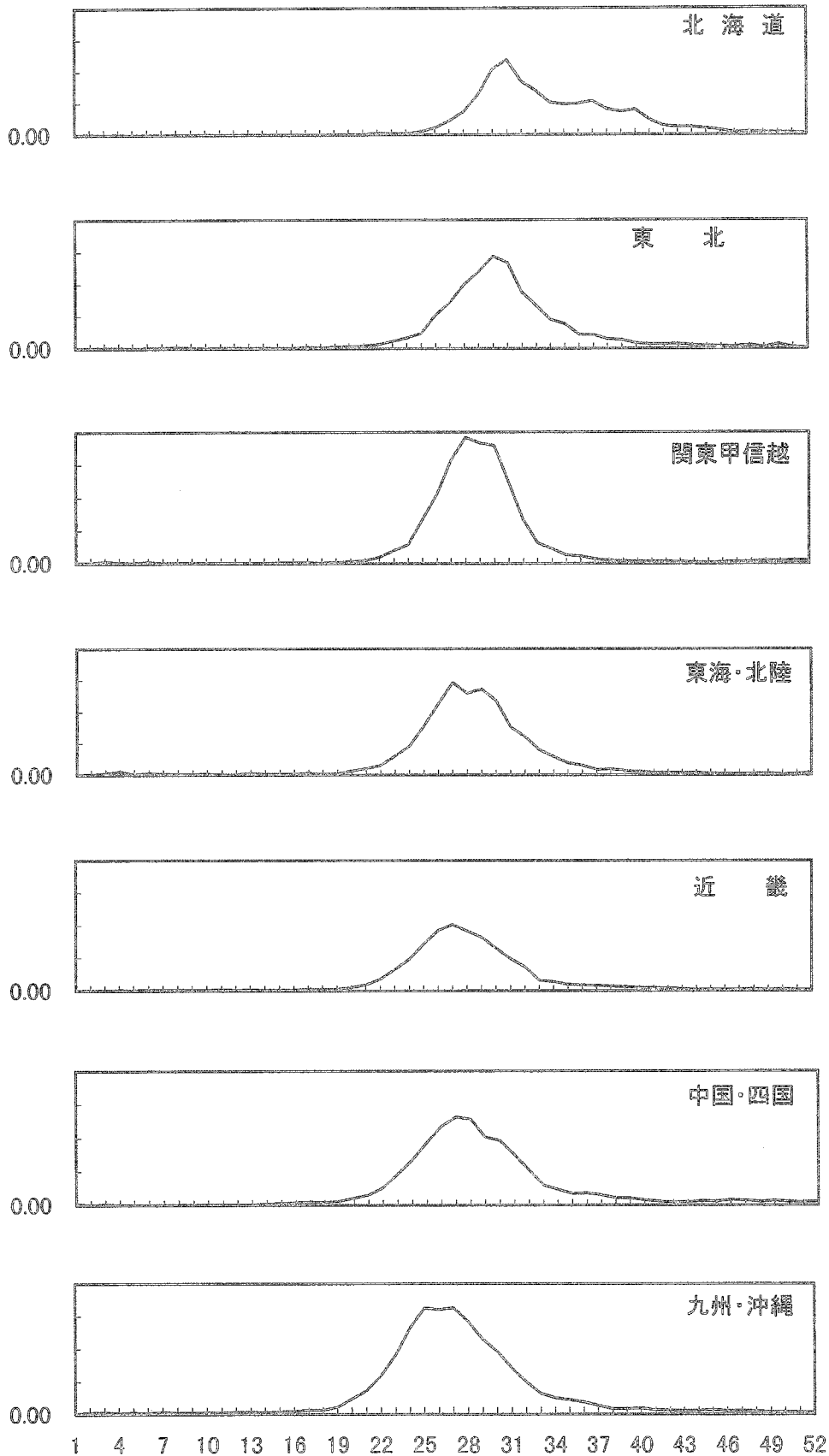


図13-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of herpangina per reporting clinic, by geographical area, 1996.

ヘルパンギーナ



MAX=6.52

平成8年

図13-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
Incidence of herpangina per reporting clinic, by prefecture, 1996.

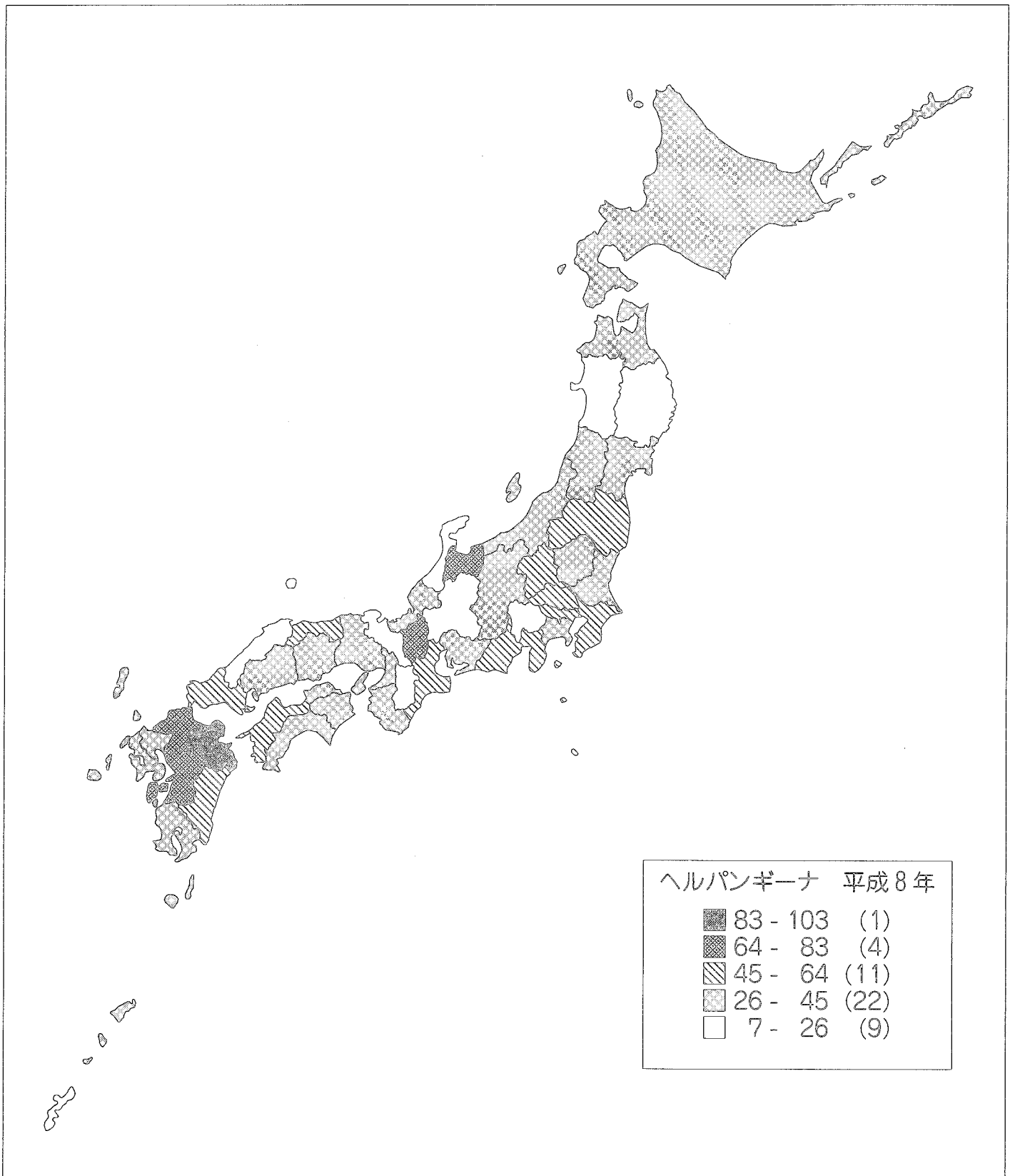
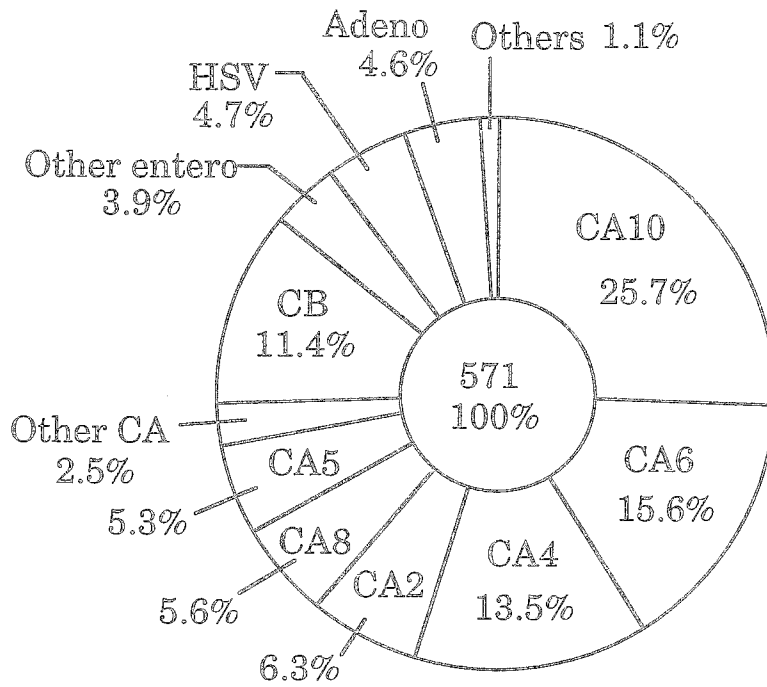


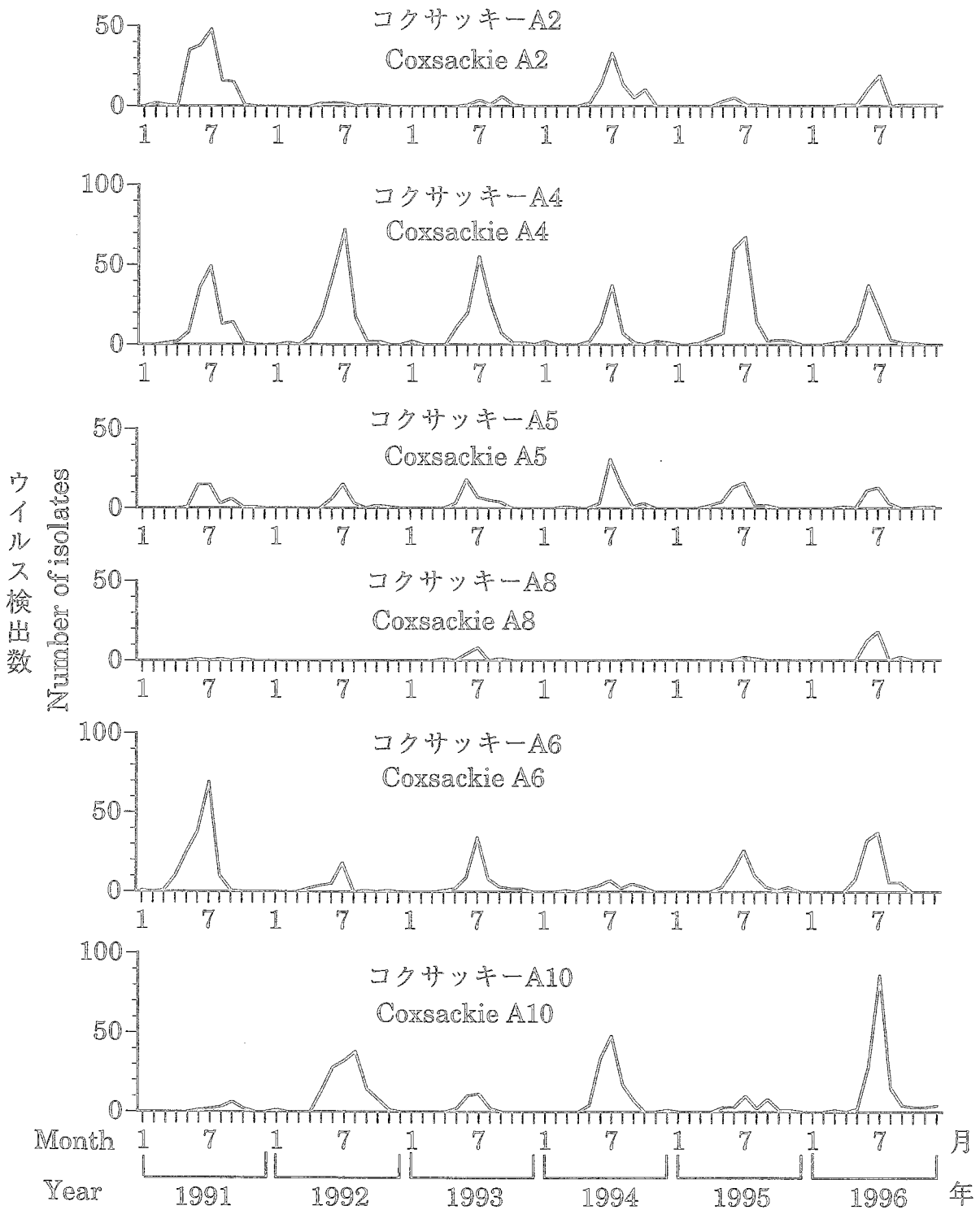
図13-5 ヘルパンギーナ患者からのウイルス検出状況、1996年
Isolation of viruses from herpangina cases, Japan, 1996.



(CA:コクサッキーA;CB:コクサッキーB;HSV:単純ヘルペス)
Coxsackie A Coxsackie B Herpes simplex

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

図13-6 ヘルパンギーナ患者からの月別ウイルス検出状況、1991年-1996年
 Monthly reports of isolation of viruses from herpangina cases, Japan, 1991-1996.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

14. インフルエンザ様疾患

本年の定点当たりの報告数は 145.00 人であり、1995 年の 310.59 人の約 2 分の 1 であった。インフルエンザの流行は例年第 46～47 週に始まり、第 17～18 週に終わるため、年単位の分析では実態が把握しにくい。1996 年は 1995 年末からの流行が第 4 週に定点当たり 23.02 人のピークを迎え、第 7 週より急激に減少した。1996 年の流行は第 49 週から始まり、第 52 週は 19.15 人に増加し 1997 年へ引き継がれている。

県別にもかなり定点当たりの報告数に差があるが、流行が 2 年にまたがるため分析はやりにくい。

ブロック別の報告状況は東北 211.92 人、九州・沖縄 180.94 人、東海・北陸 178.41 人、関東・甲信越 154.90 人の順であるが、流行は後半東北、北海道へ移っている。

報告された範囲では 4 歳をピークにした例年並のパターンであった。

図14-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of influenza per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

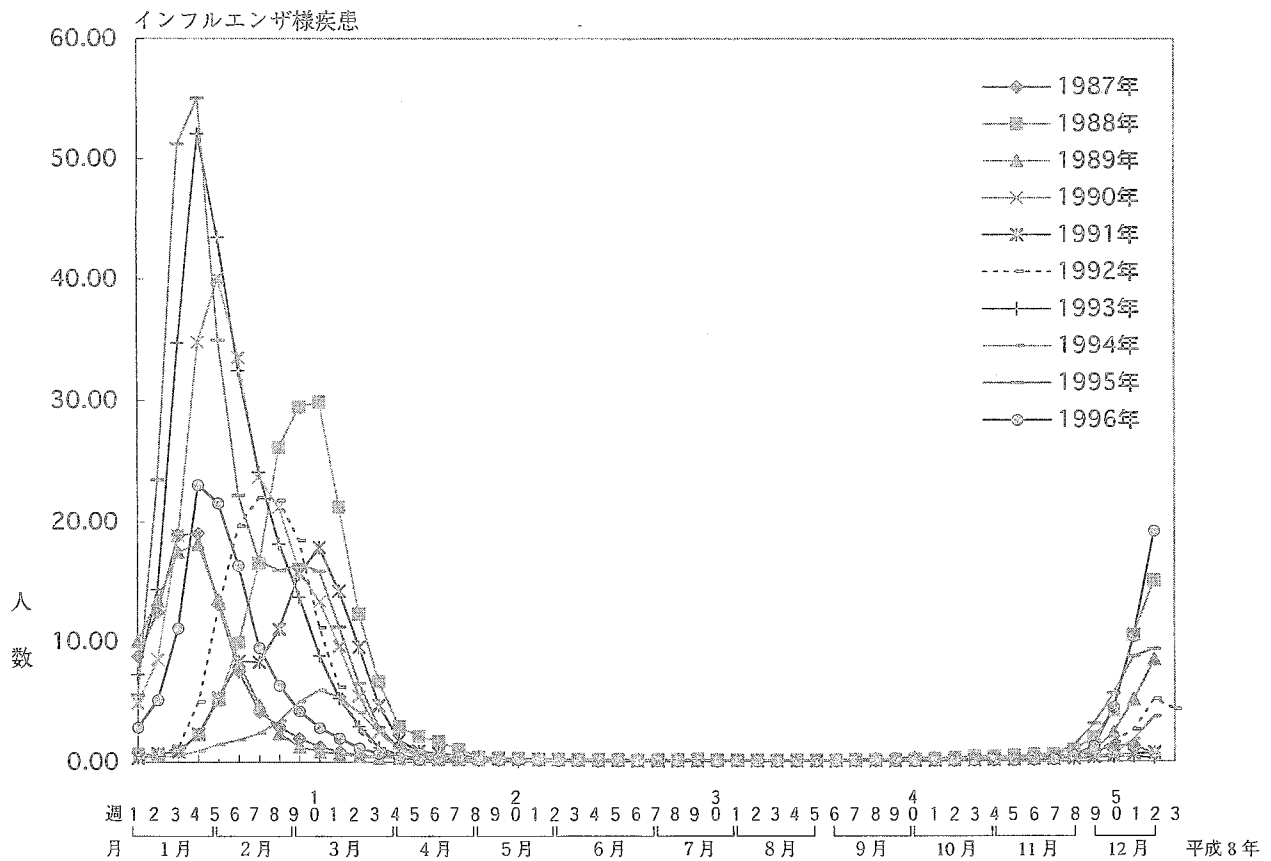


図14-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of influenza, Japan, 1995-1996.

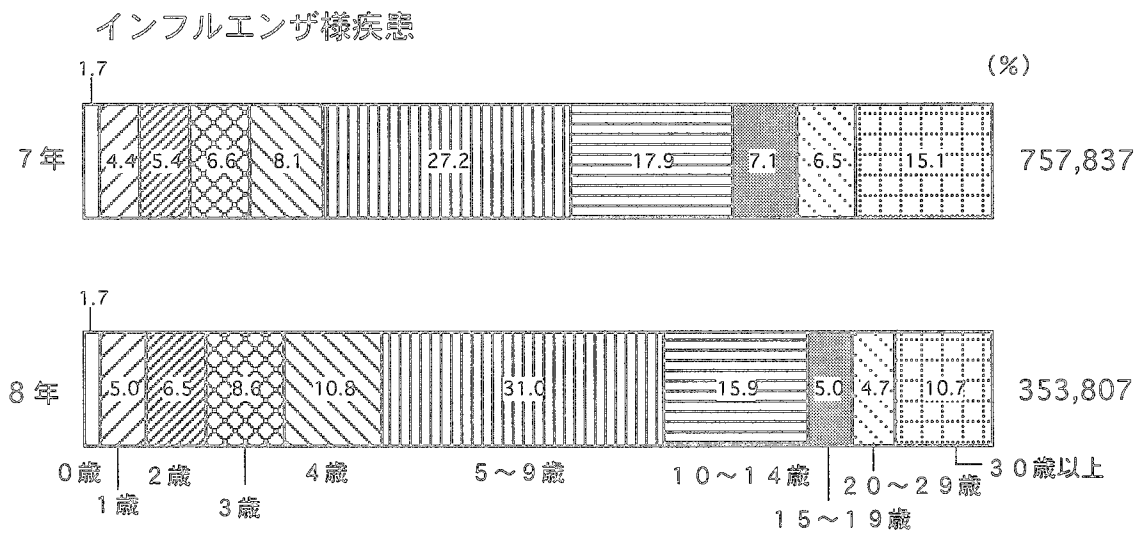
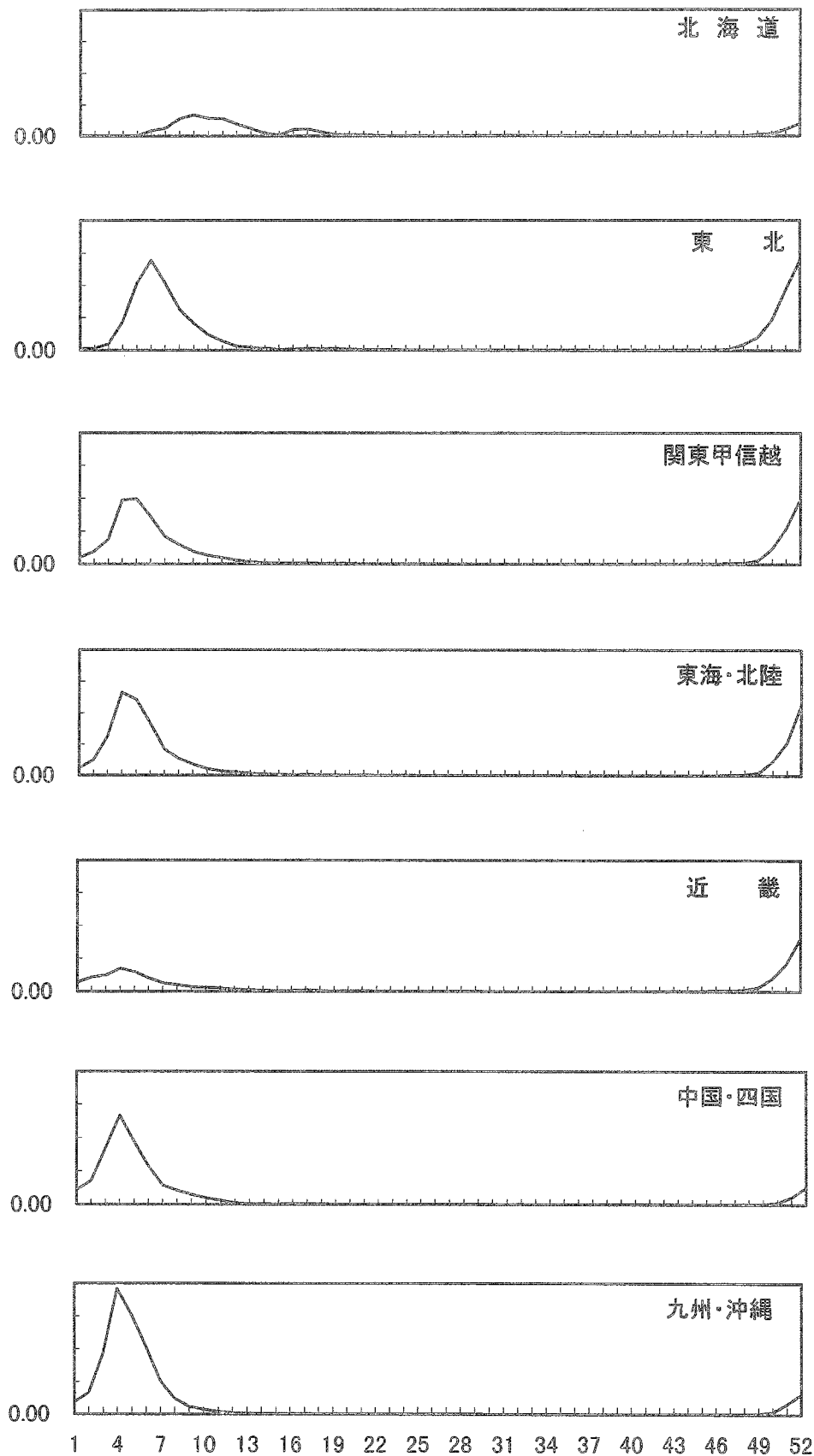


図14-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

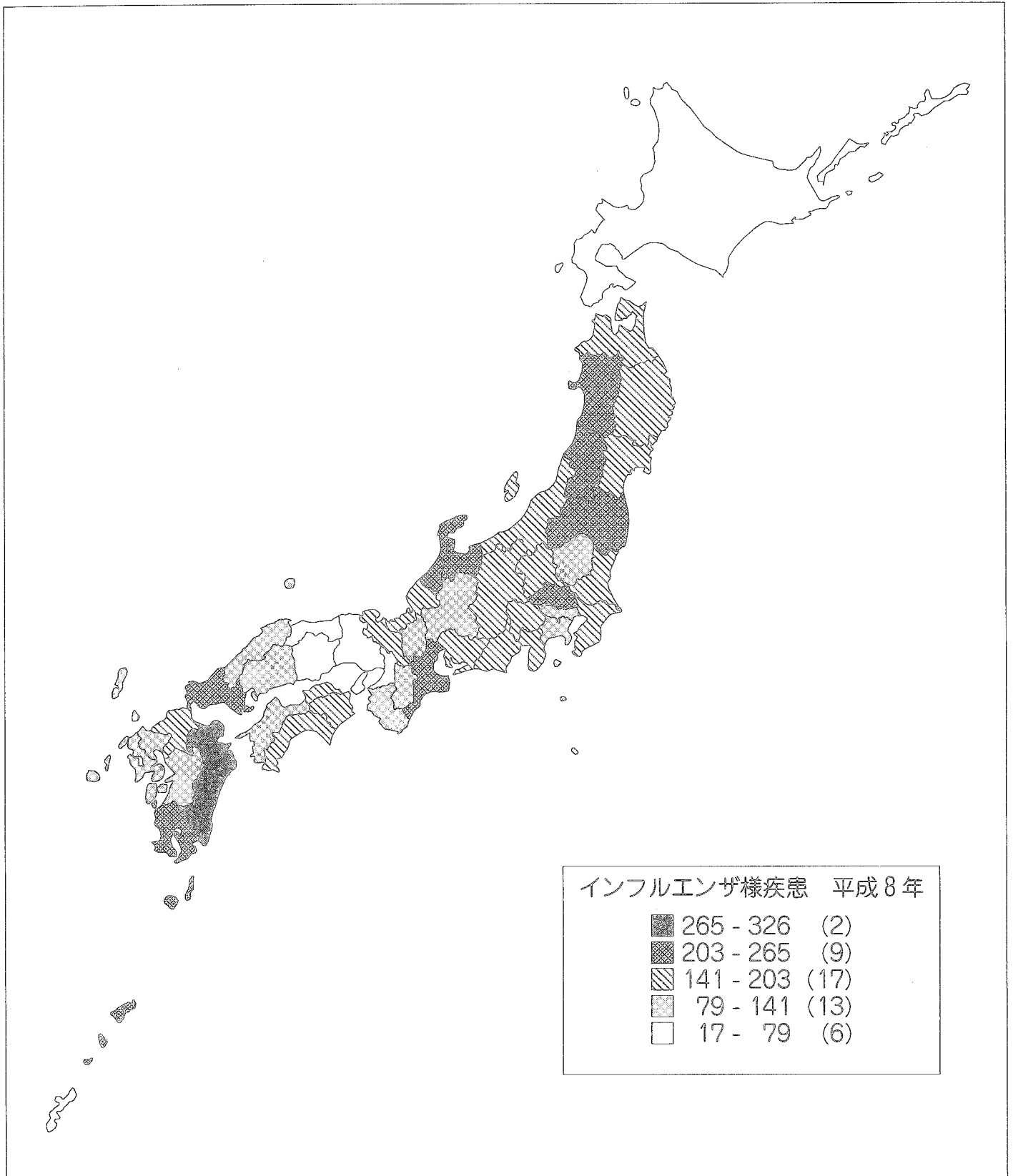
Weekly reported cases of influenza per reporting clinic, by geographical area, 1996.

インフルエンザ様疾患



MAX=46.07 平成8年

図14-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of influenza per reporting clinic, by prefecture, 1996.



15. MCLS (川崎病)

小児科・内科定点報告では 0.56 人、病院定点報告では定点当たり 3.43 人であり、昨年とはほぼ同数の報告であった。

小児科・内科定点から見た県別では、例年のように静岡県 2.55 人で特に多く、2 位は徳島県 1.47 人であった。病院定点別では群馬県 13.60 人、次いで千葉県 8.88 人、福岡県 8.71 人、東京都 7.28 人、岡山県 6.80 人、指定都市では福岡市 13.83 人、川崎市 12.20 人、広島市 10.29 人であった。報告の多い県は一般定点、病院定点と一致していない。

ブロック別では小児科・内科定点では東海・北陸 1.11 人、中国・四国 0.68 人、病院定点では関東・甲信越 6.34 人、九州・沖縄 4.46 人であった。

年齢別では小児科・内科定点は 1 歳、病院定点では 1 歳未満にピークが認められた。

図15-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of MCLS (Kawasaki disease) per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

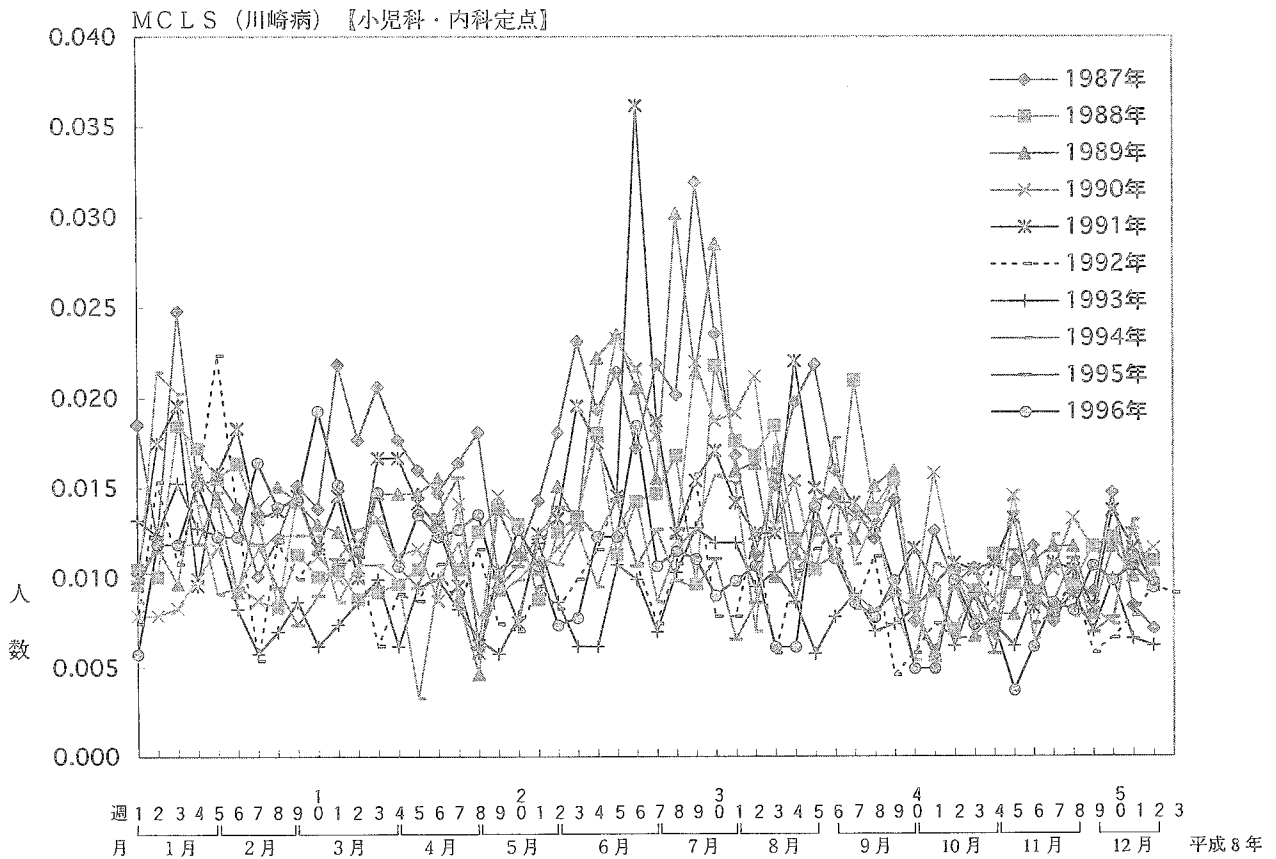


図15-2 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of MCLS (Kawasaki disease) per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

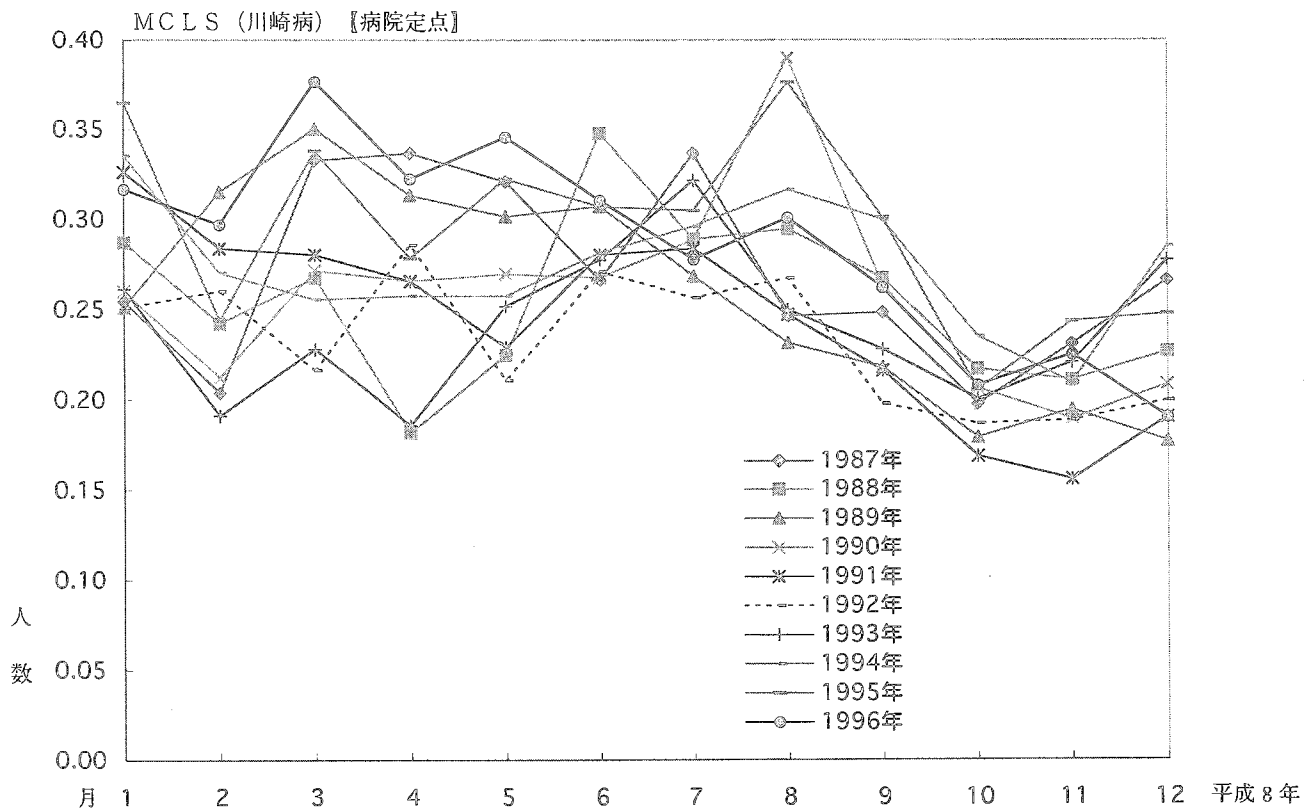


图15-3 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of MCLS (Kawasaki disease), Japan, 1995-1996.

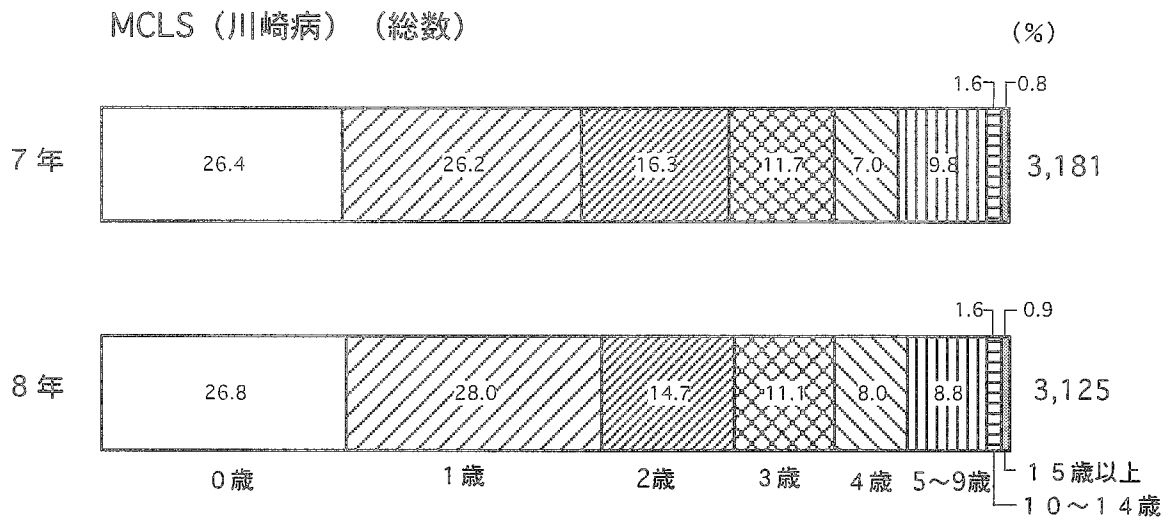


图15-4 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of MCLS (Kawasaki disease), Japan, 1995-1996.

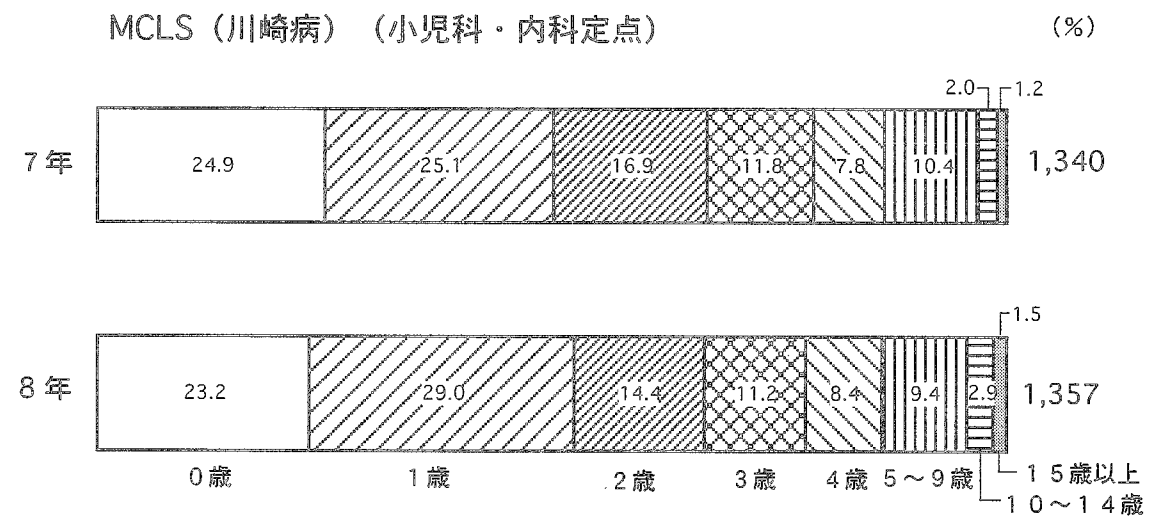


图15-5 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of MCLS (Kawasaki disease), Japan, 1995-1996.

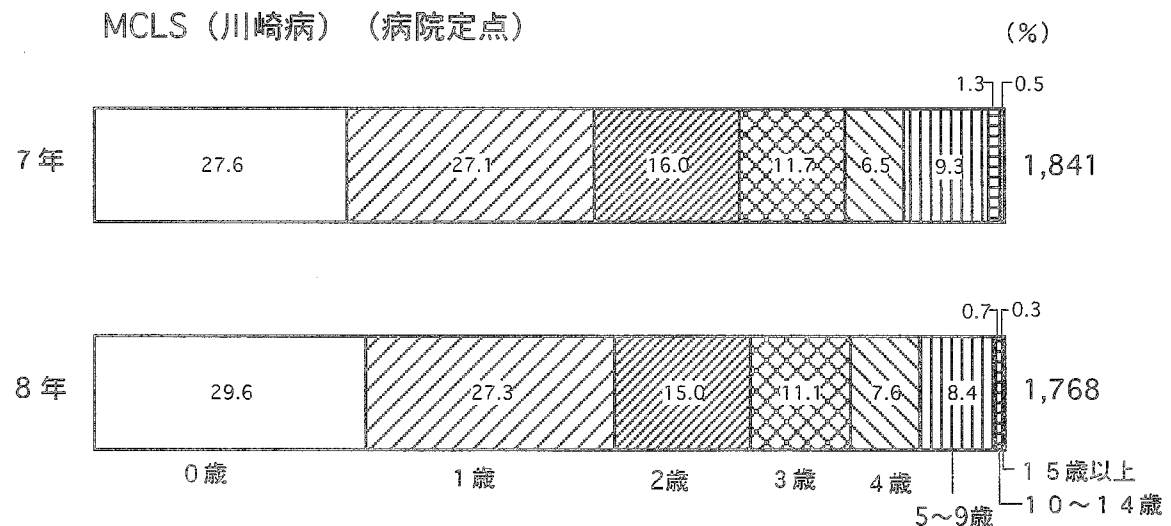
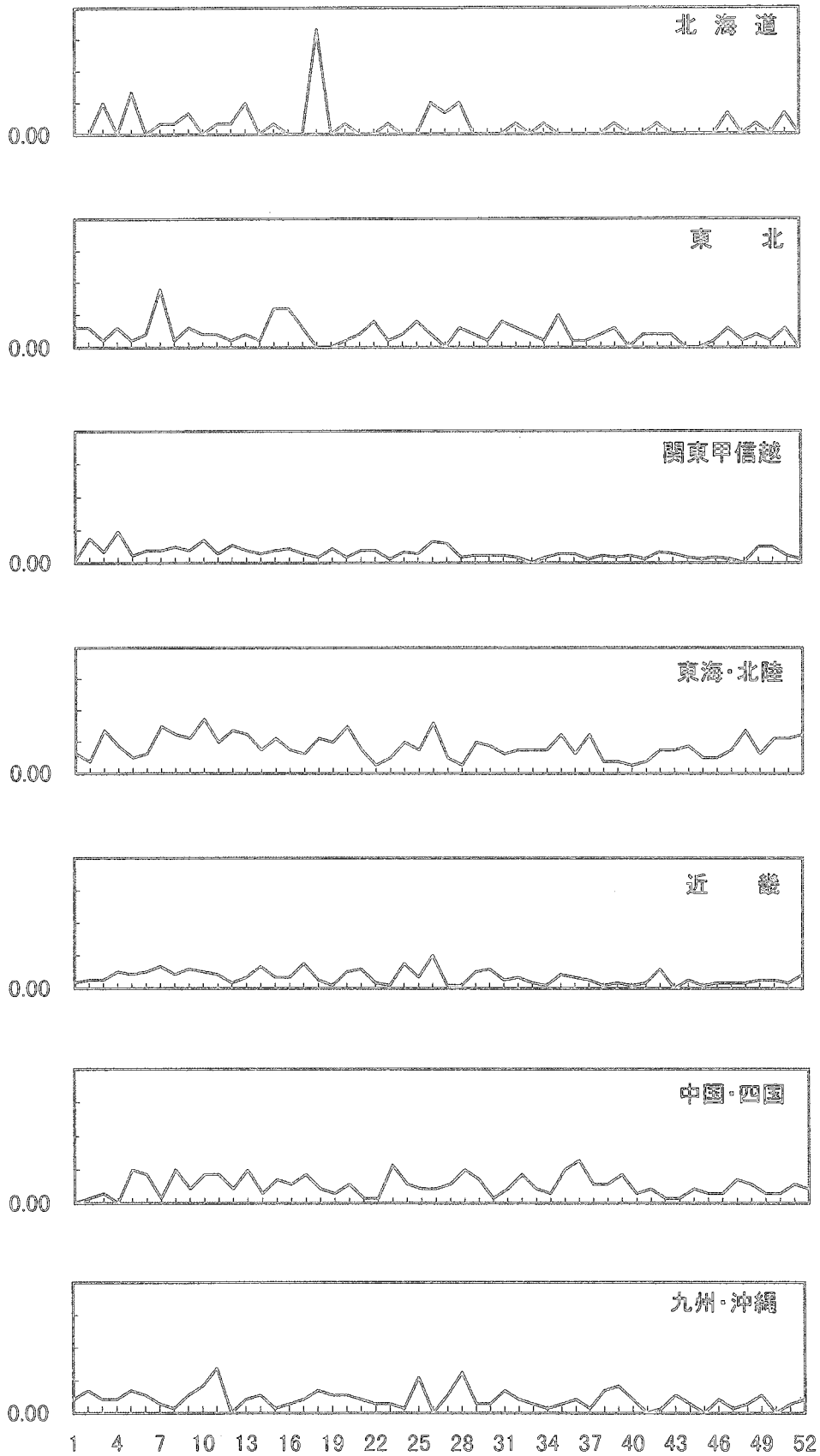


図15-6 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of MCLS (Kawasaki disease) per reporting clinic, by geographical area, 1996.

MCLS(川崎病)(小児科・内科定点)



MAX=0.08 平成8年

図15-7 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of MCLS (Kawasaki disease) per reporting hospital, by geographical area, 1996.

MCLS(川崎病)(病院定点)

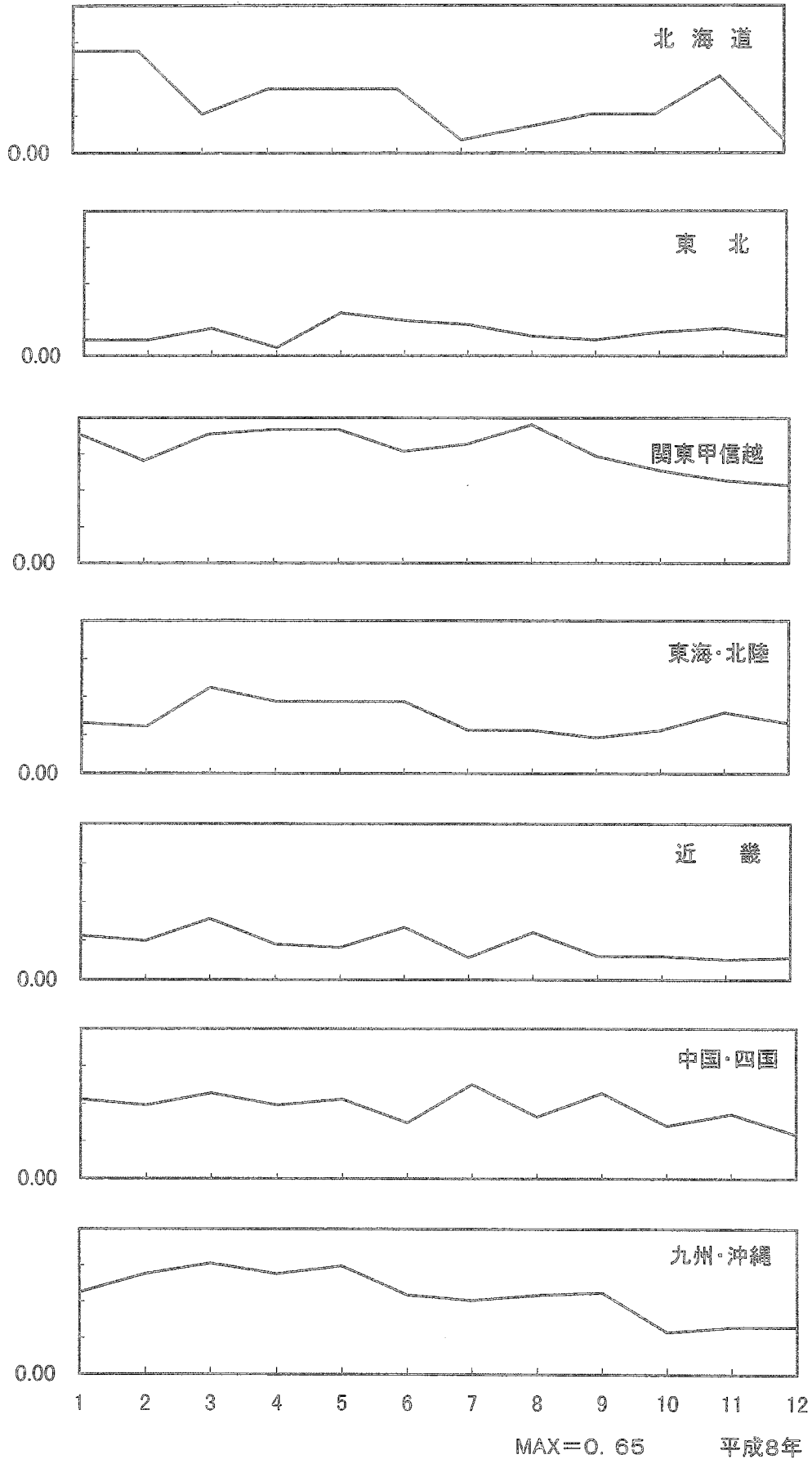


図15-8 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of MCLS (Kawasaki disease) per reporting clinic, by prefecture, 1996.

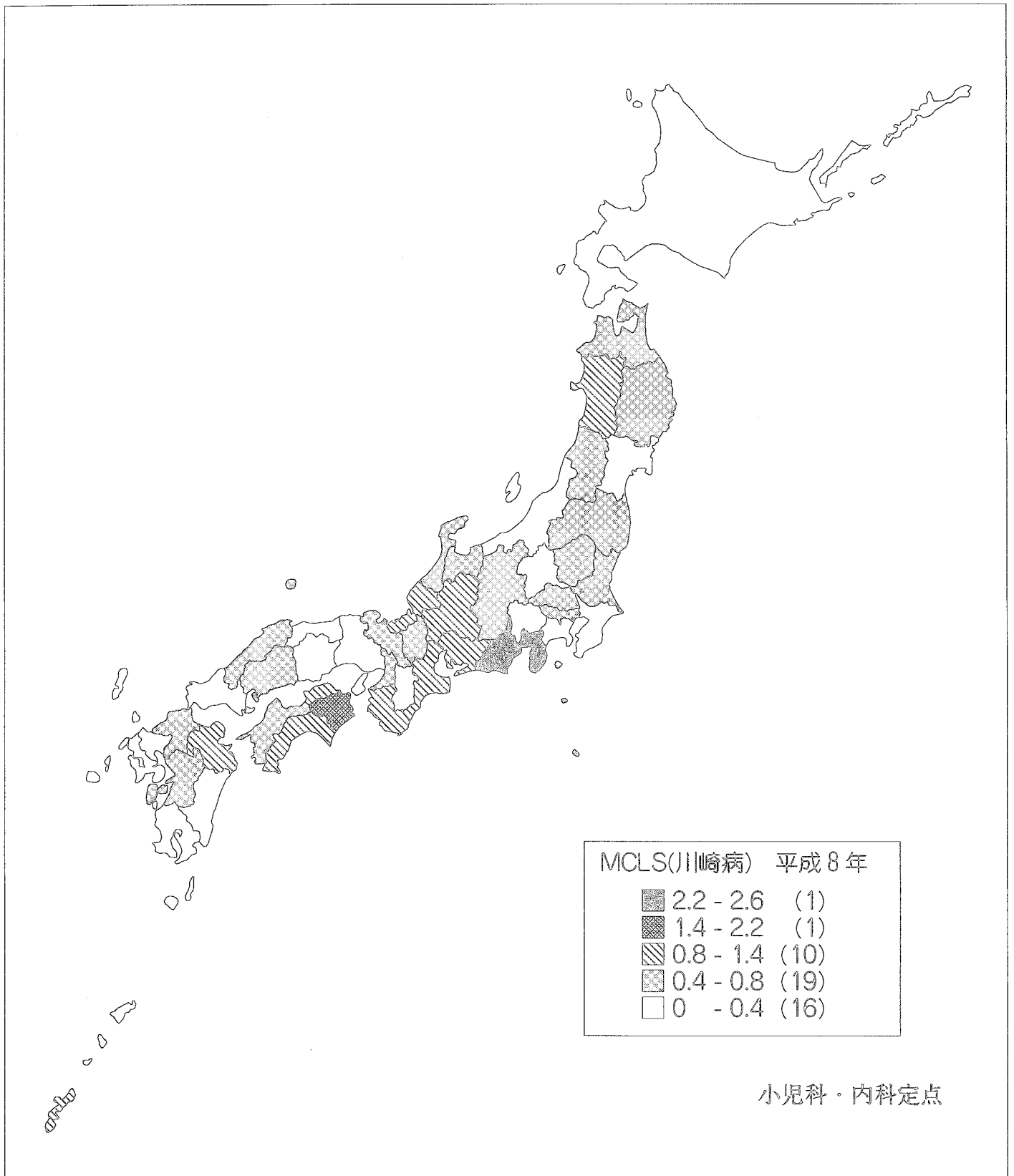
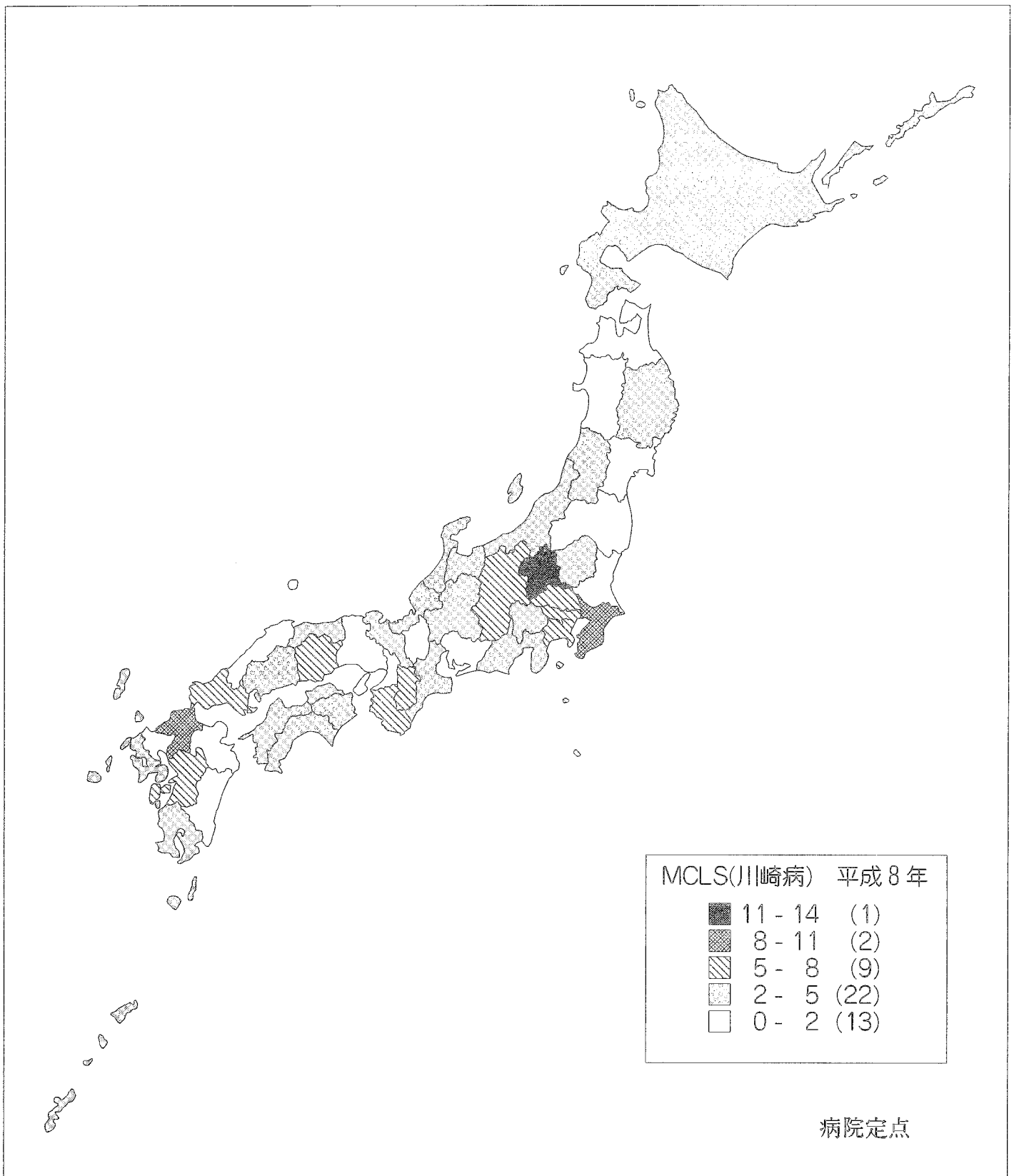


図15-9 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of MCLS (Kawasaki disease) per reporting hospital, by prefecture, 1996.



16. 感染性髄膜炎

本年の報告数は定点当たり 3.54 人で、昨年が 1987 年以來の最低値 3.62 人であったが、さらにそれを下回った。また、そのうち細菌性髄膜炎は定点当たり 0.52 人、無菌性髄膜炎 3.02 人であった。

県別では群馬県 13.60 人が最も多かったが、そのうち細菌性髄膜炎 3.40 人、無菌性髄膜炎 10.20 人であった。次いで熊本県が 12.54 人（細菌性 1.15 人、無菌性 11.38 人）、奈良県 11.67 人（細菌性 0.50 人、無菌性 11.17 人）であった。

ブロック別では中国・四国 4.61 人、関東・甲信越 4.14 人で無菌性髄膜炎は、これらのブロックに多かった。細菌性髄膜炎は関東・甲信越の報告が多く次いで九州・沖縄ブロックであった。

年齢別は細菌性髄膜炎は 1 歳未満、無菌性髄膜炎は 5～9 歳がピークであった。

図16-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of meningitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

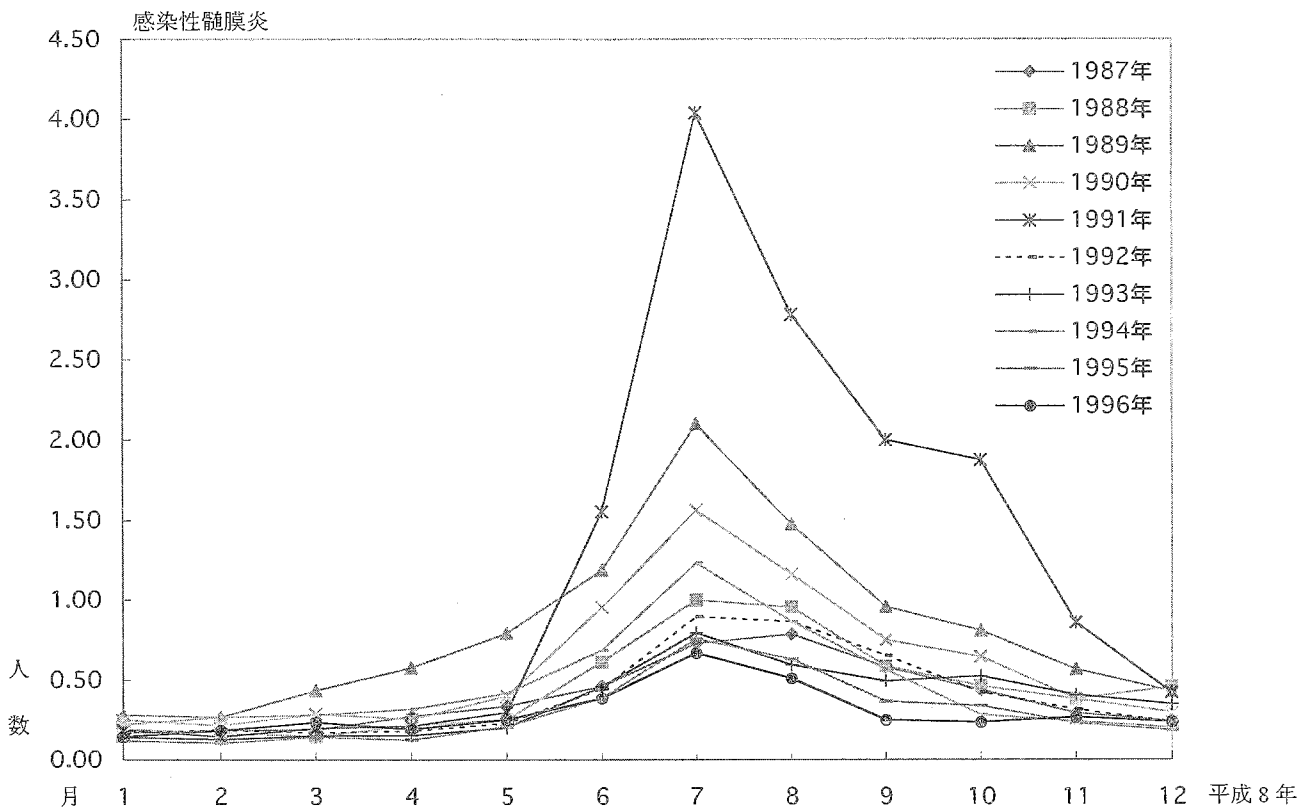


図16-2 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of septic meningitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

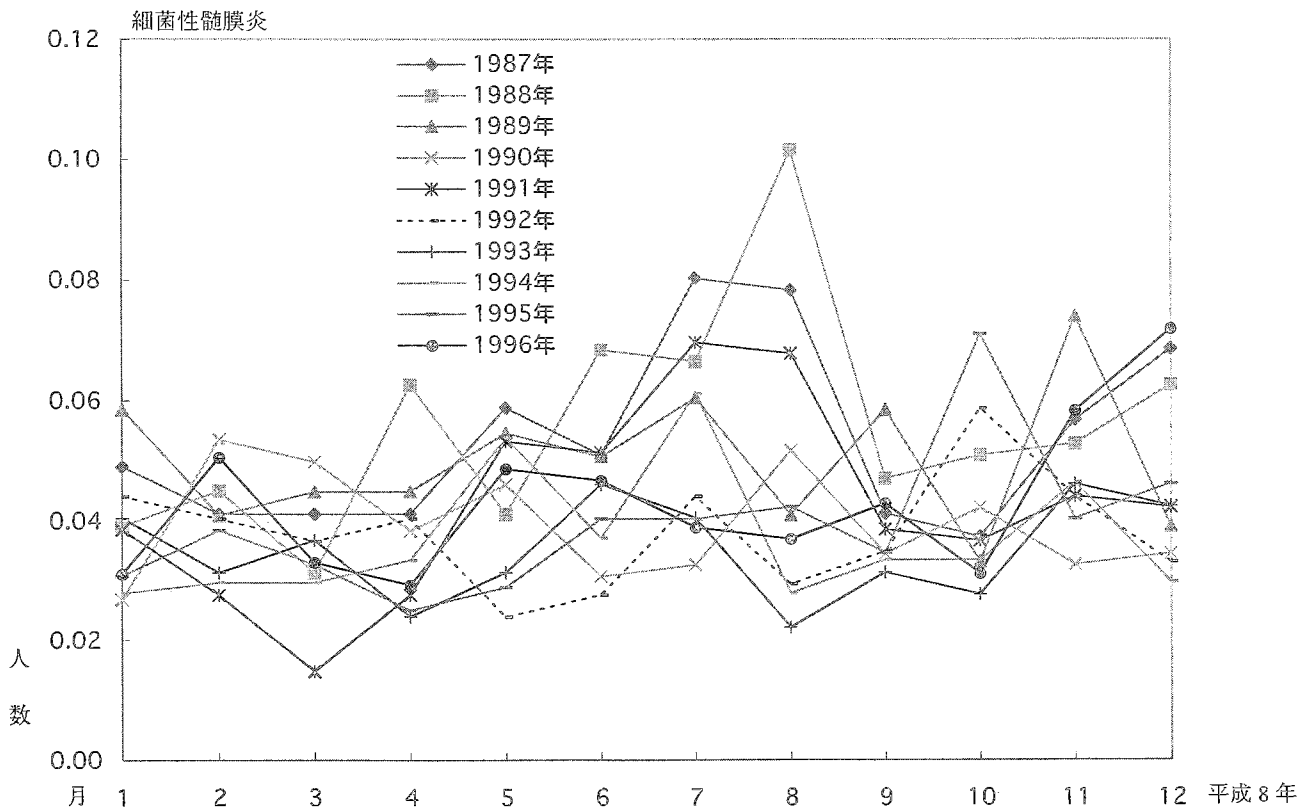


図16-3 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of aseptic meningitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

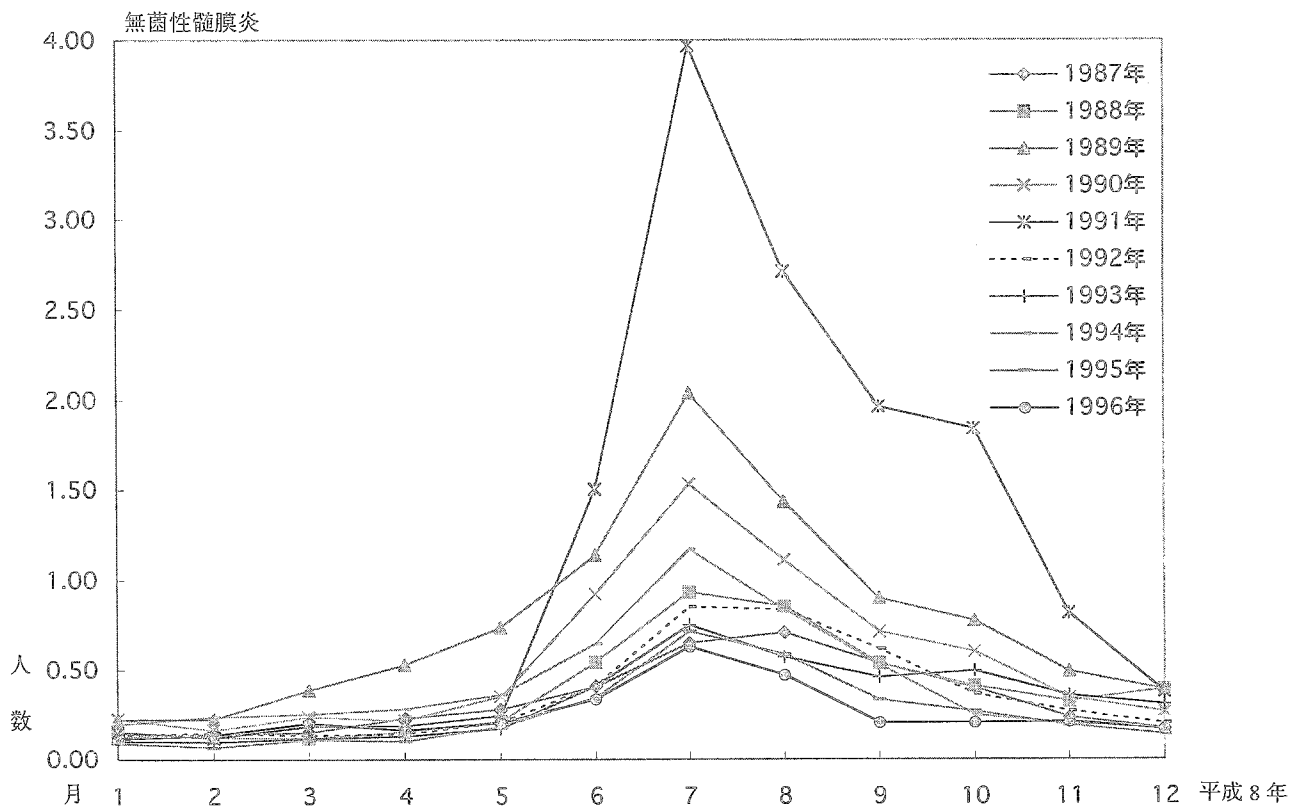


図16-4 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of meningitis, Japan, 1995-1996.

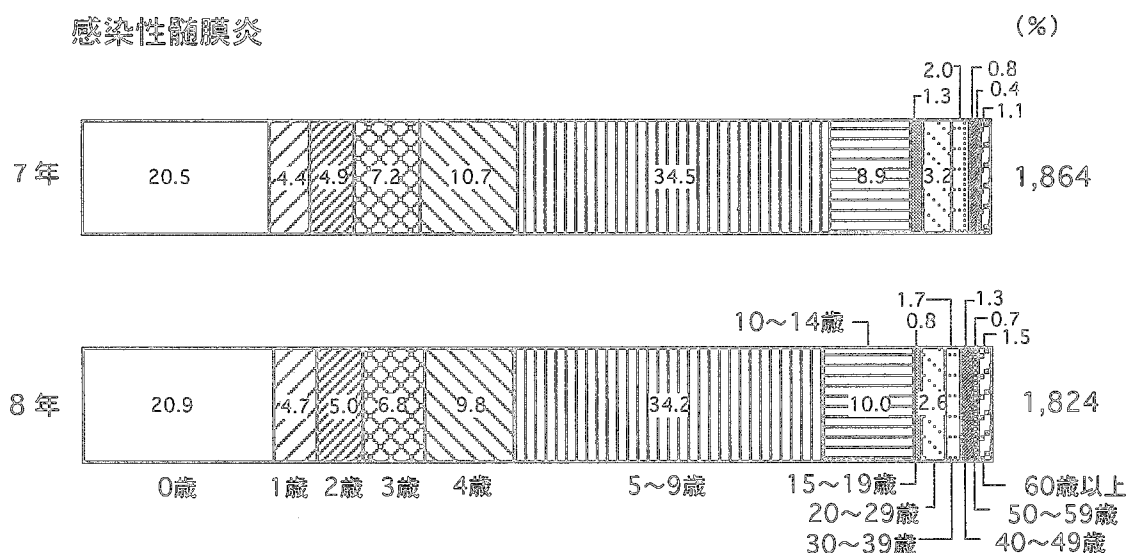


図16-5 年齢区別患者発生状況

Age distribution of reported cases of septic meningitis, Japan, 1995-1996.

細菌性髄膜炎

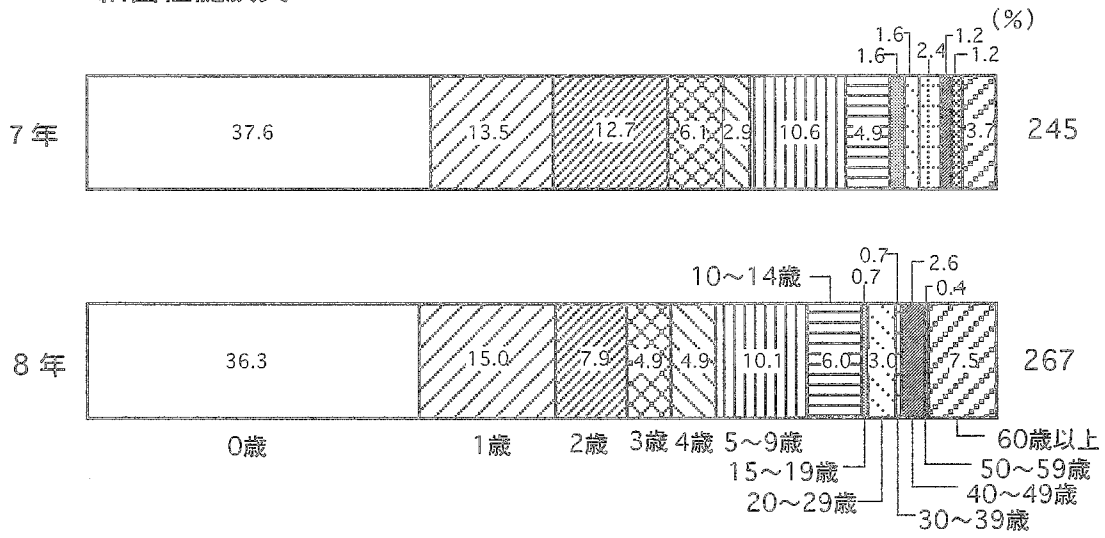


図16-6 年齢区別患者発生状況

Age distribution of reported cases of aseptic meningitis, Japan, 1995-1996.

無菌性髄膜炎

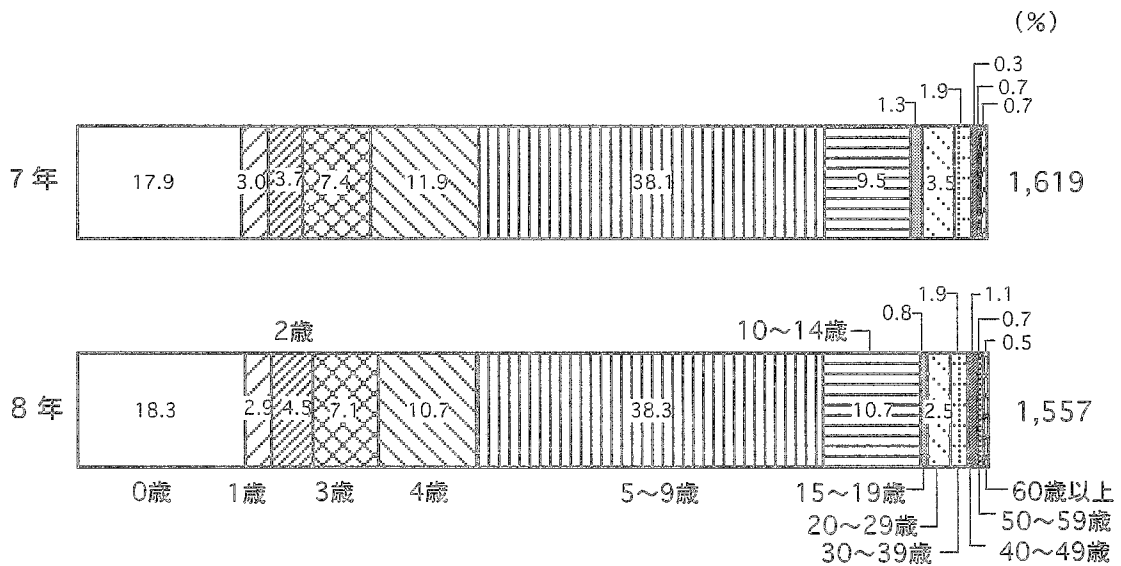


図16-7 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of meningitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

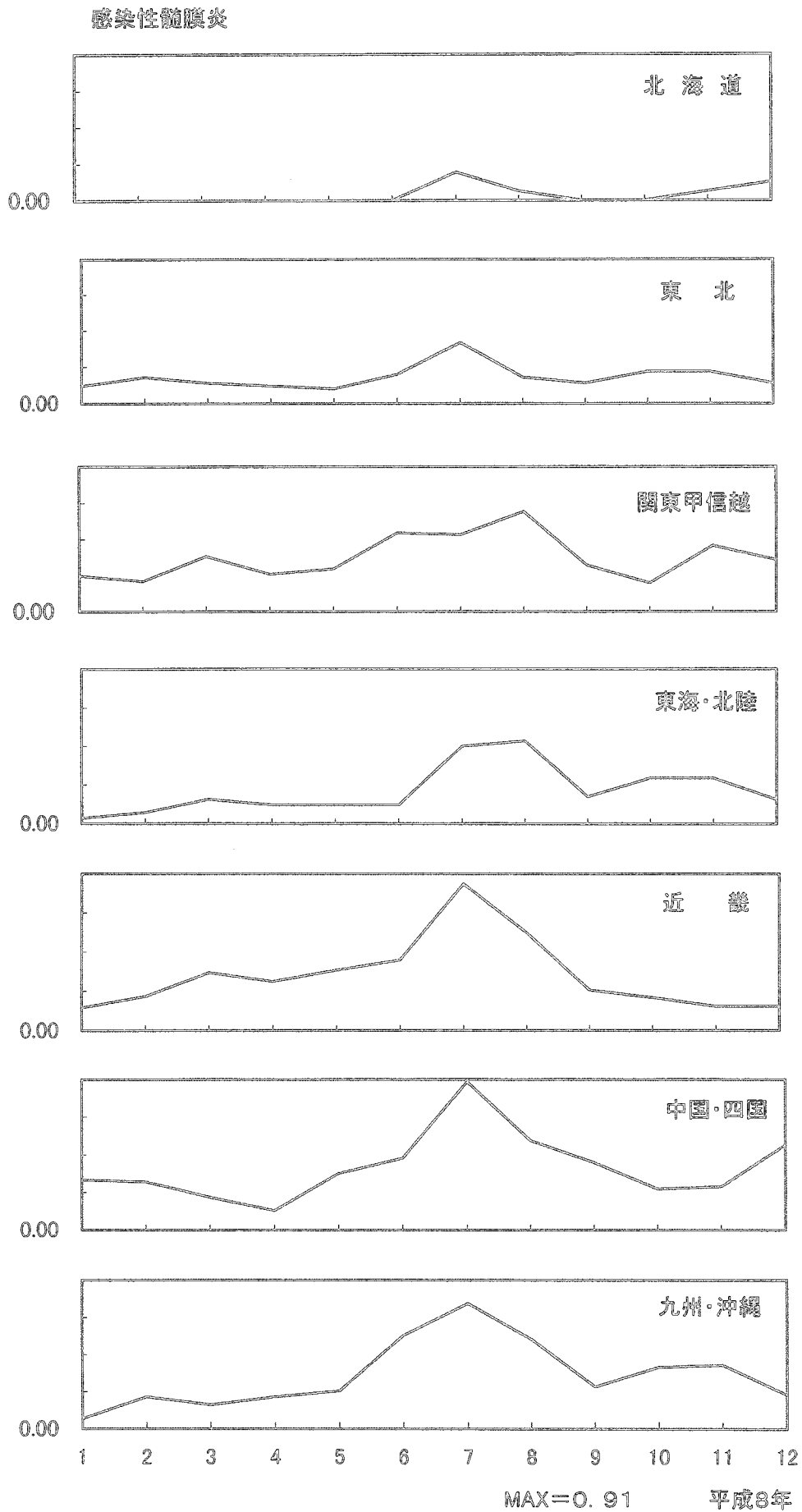
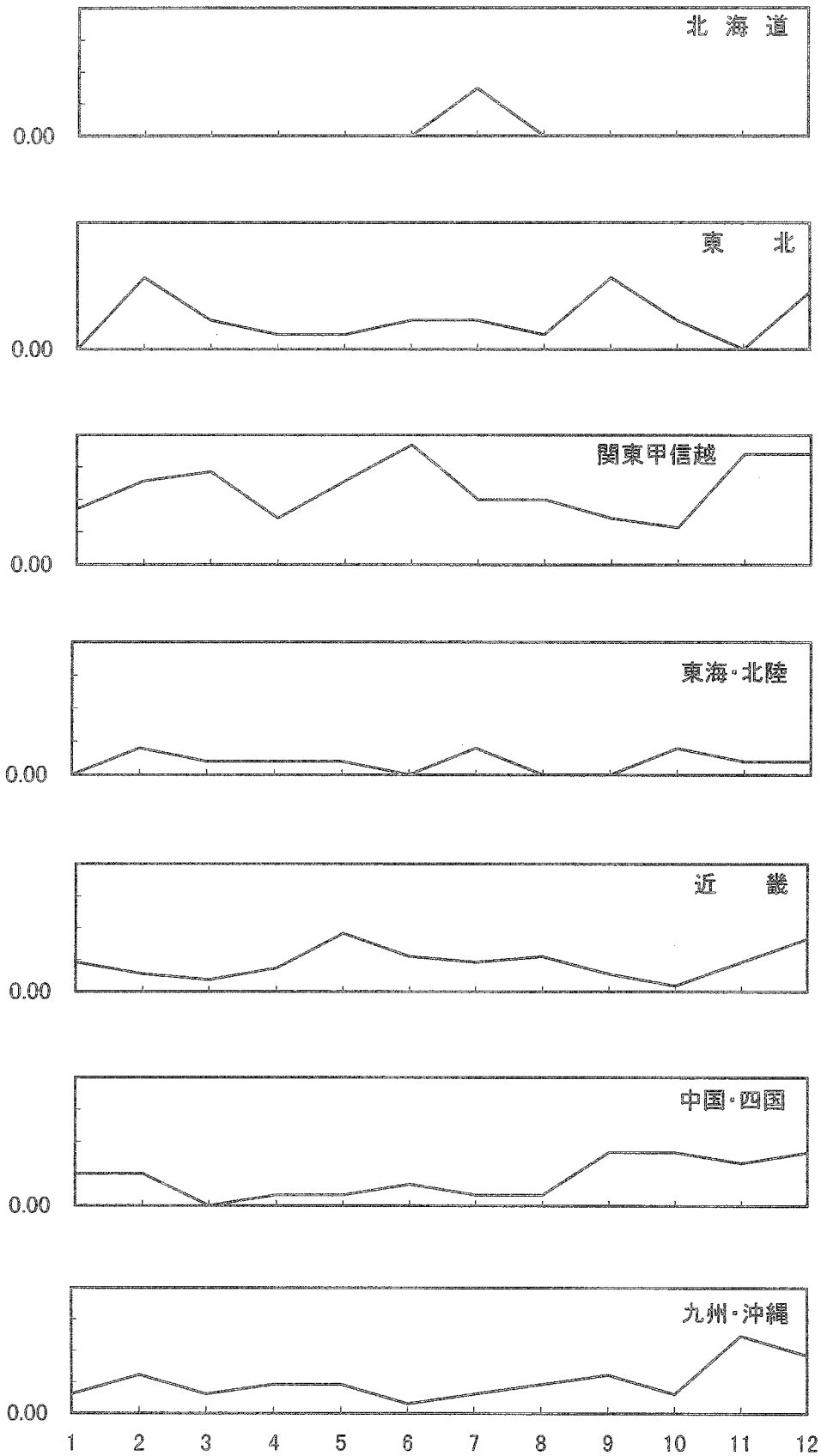


図16-8 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of septic meningitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

細菌性髄膜炎

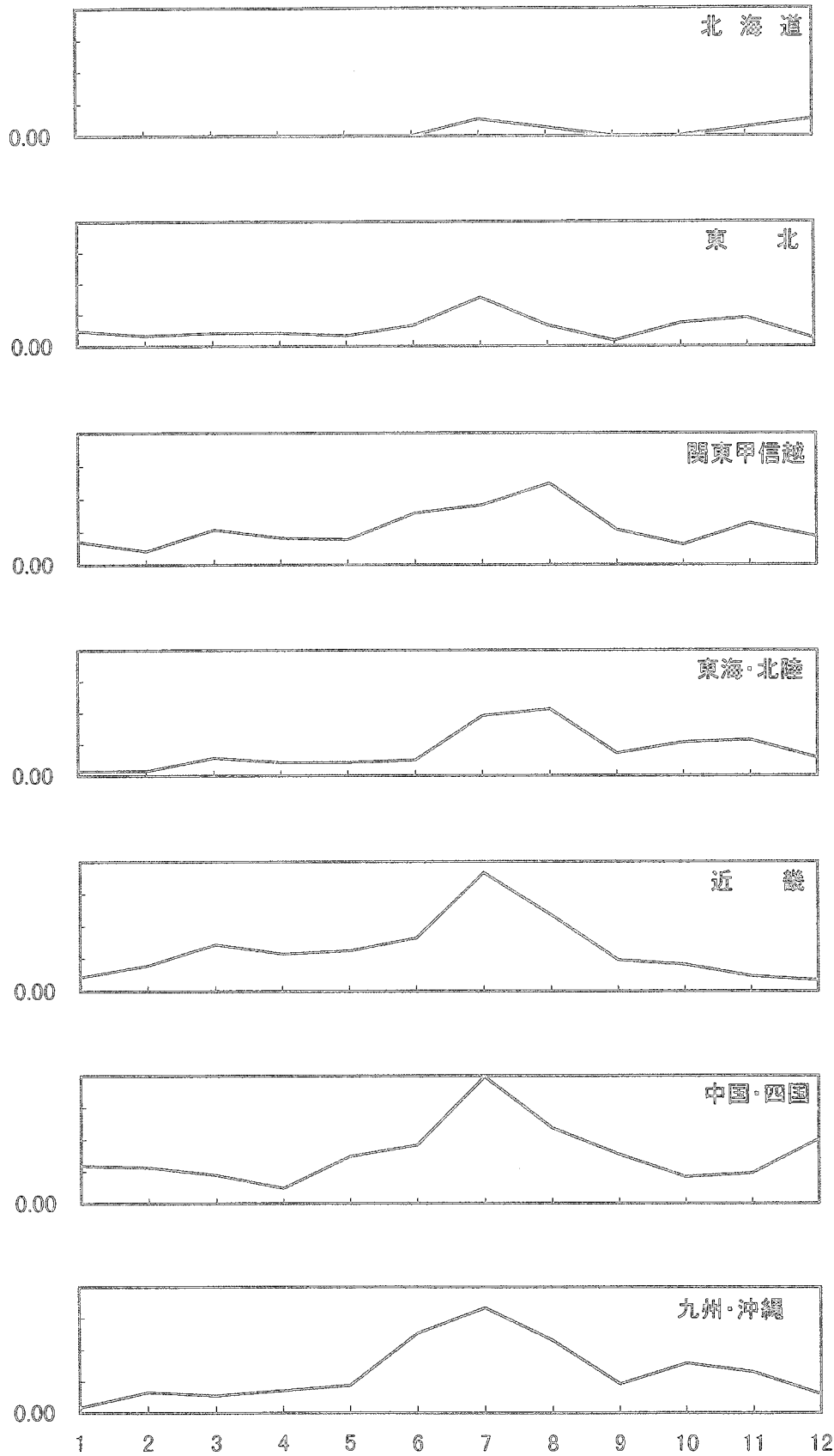


MAX=0.15 平成8年

図16-9 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of aseptic meningitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

無菌性髄膜炎



MAX=0.89

平成8年

図16-10 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of meningitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.

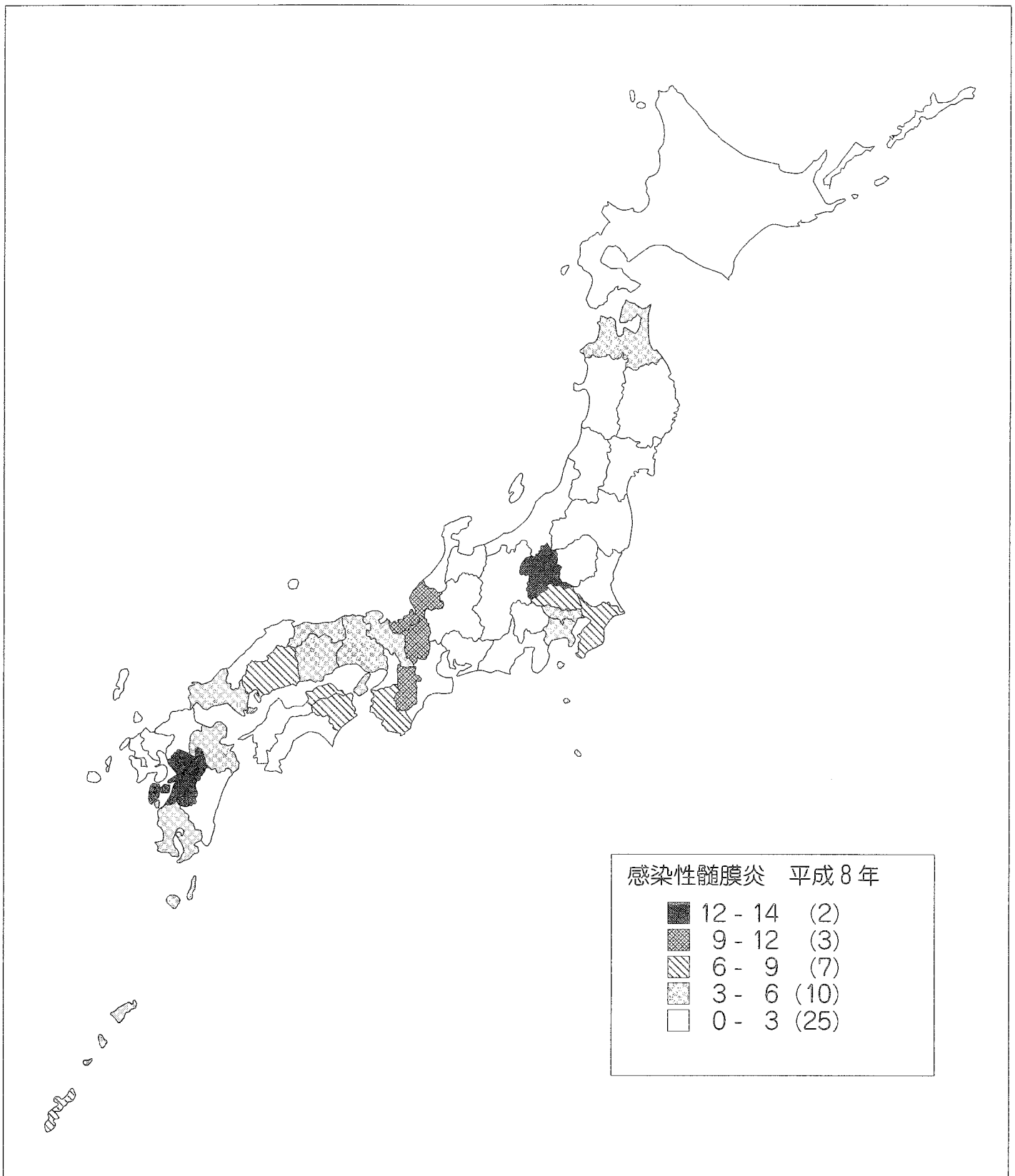


図16-11 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of septic meningitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.

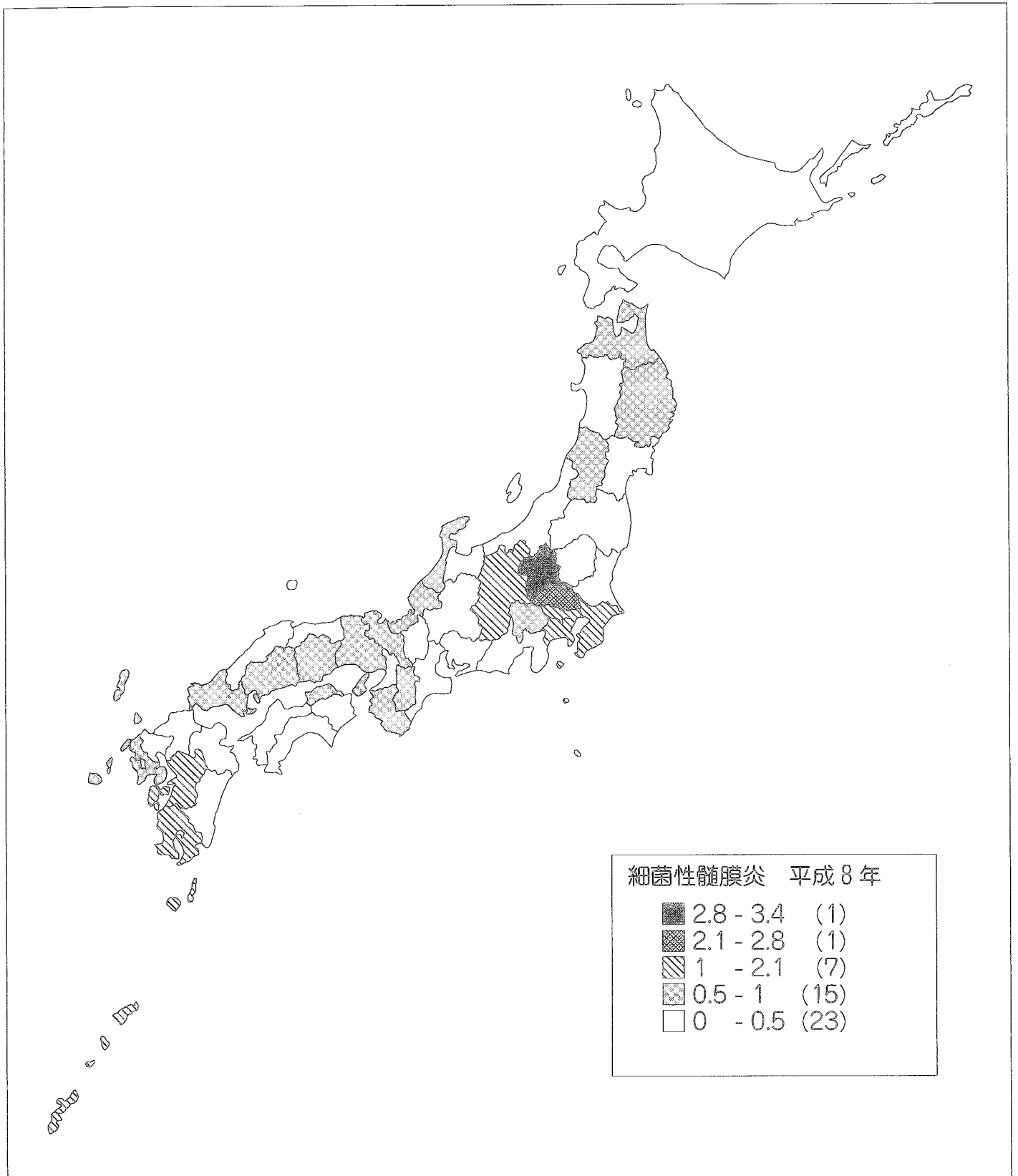


図16-12 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of aseptic meningitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.

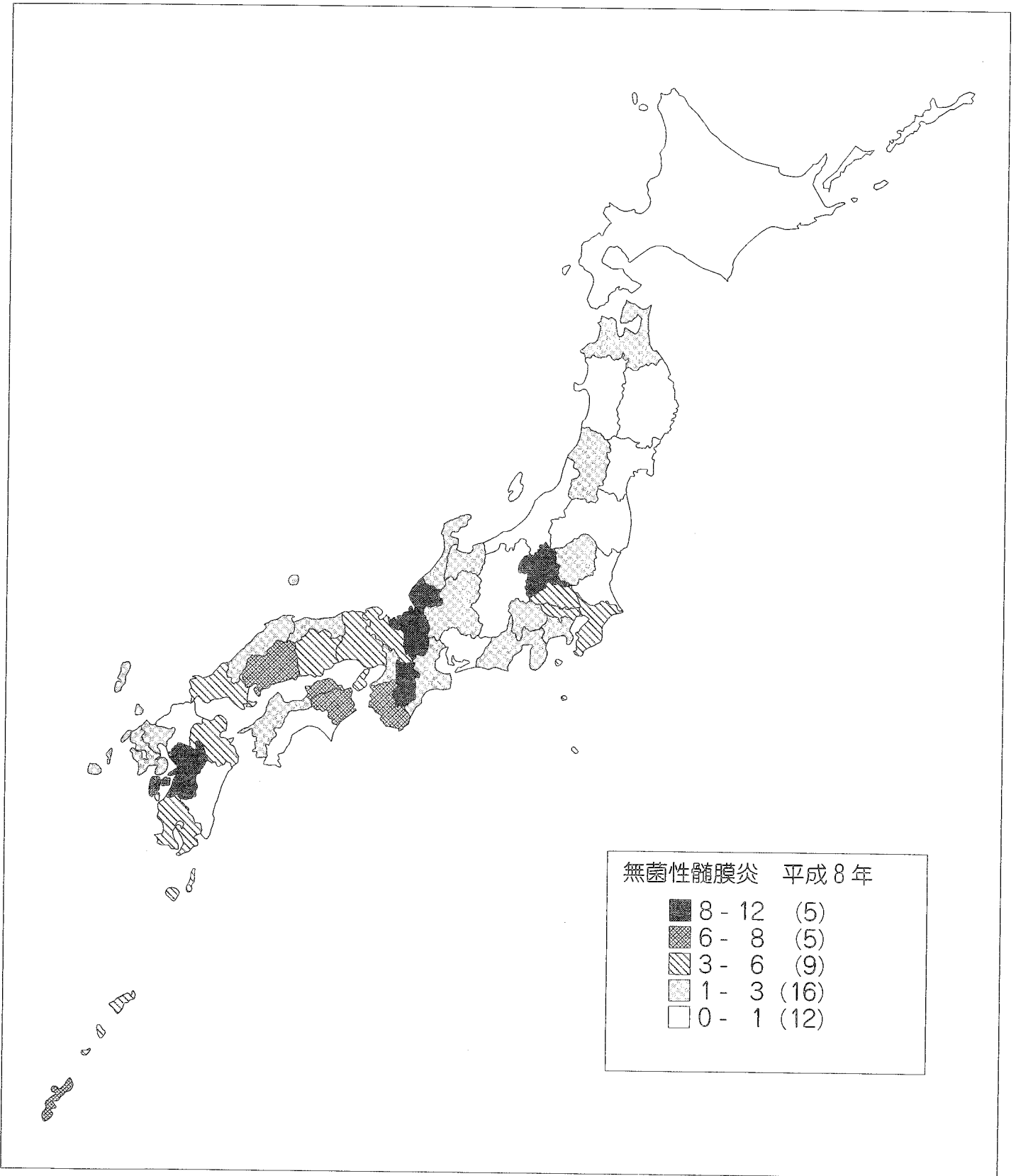
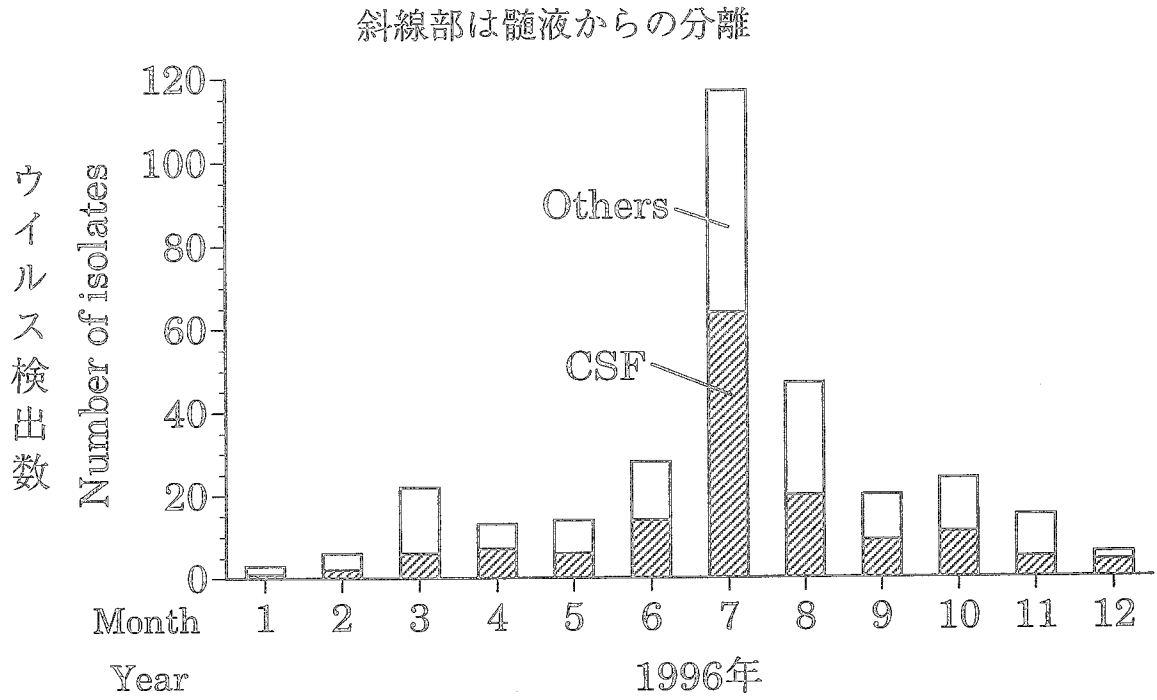


図16-13 無菌性髄膜炎患者からの月別ウイルス検出状況、1996年

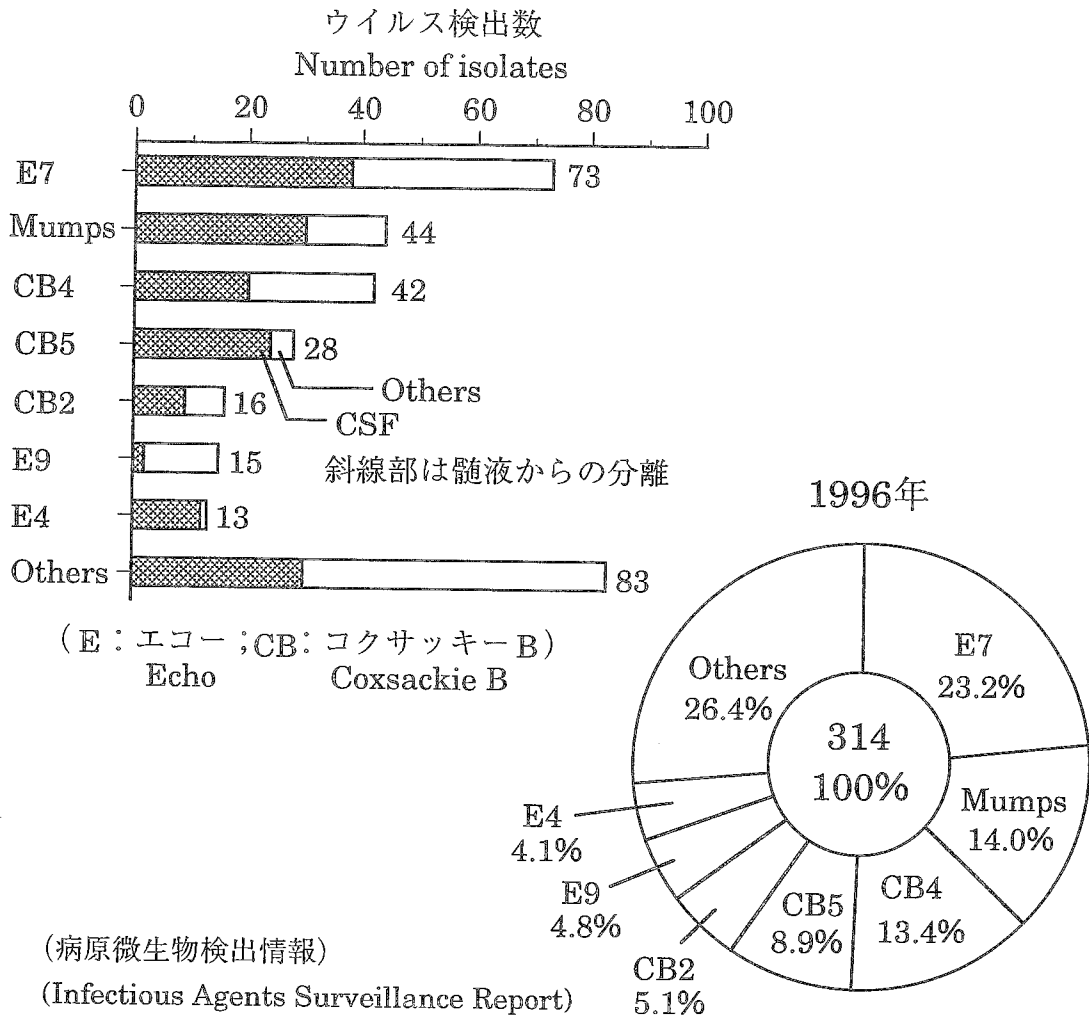
Monthly reports of isolation of viruses from cases of aseptic meningitis, Japan, 1996.



(病原微生物検出情報)

(Infectious Agents Surveillance Report)

図16-14 無菌性髄膜炎患者からのウイルス検出状況、1996年
Isolation of viruses from cases of aseptic meningitis, Japan, 1996.



17. 脳・脊髄炎

本年の報告数は182人、定点当たり0.35人で、昨年の184人、0.36人とほぼ同数であった。このうち脳炎121人(0.23人)、脳症42人(0.08人)、ライ症候群7人(0.01人)、脊髄炎12人(0.02人)であり、特に地域集積性は認められなかった。

年齢比率では1歳未満が15.4%を占め、次いで1歳12.1%、2歳8.2%であった。このうち、脳炎は1歳未満15.7%、次いで1歳9.1%であった。脳症は1歳がもっとも多く23.8%、次いで1歳未満16.7%、2歳14.3%であった。

図17-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalomyelitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

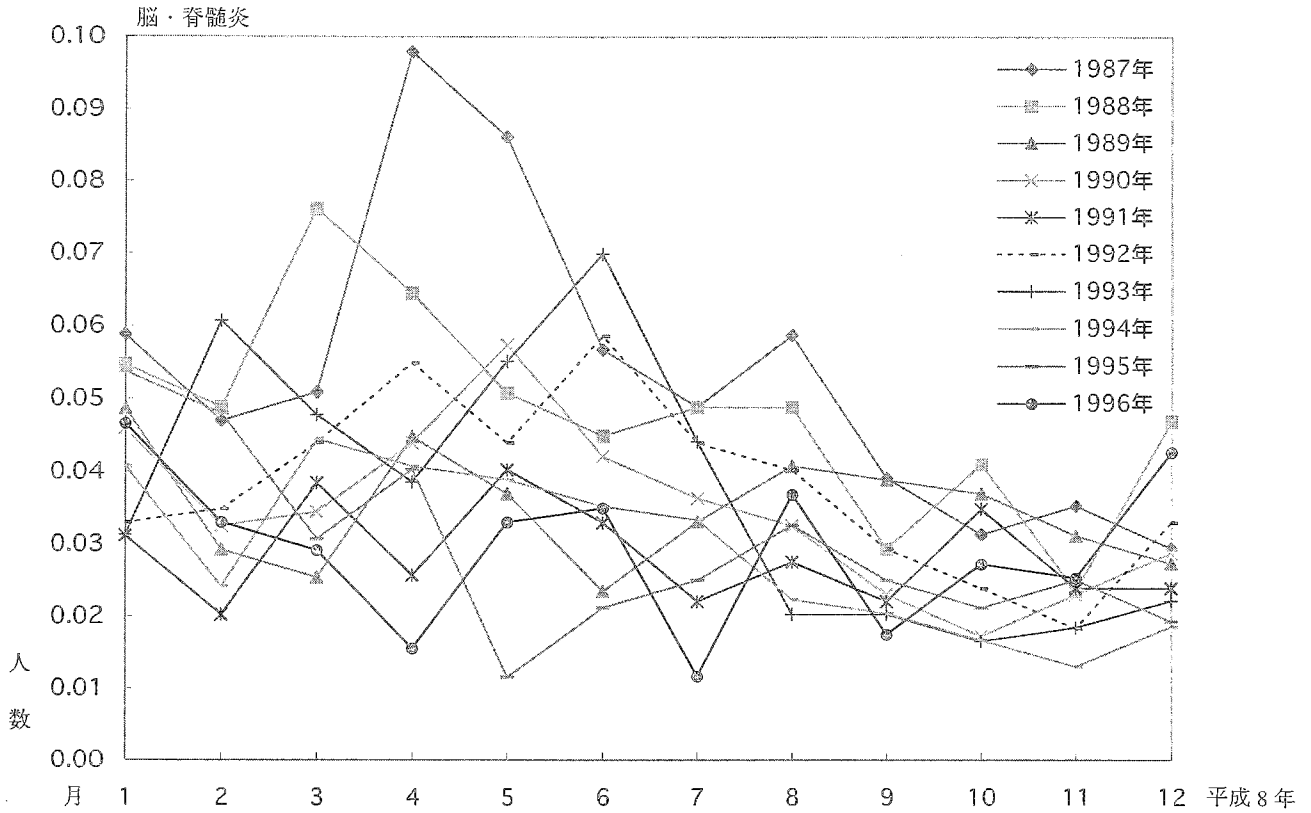


図17-2 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

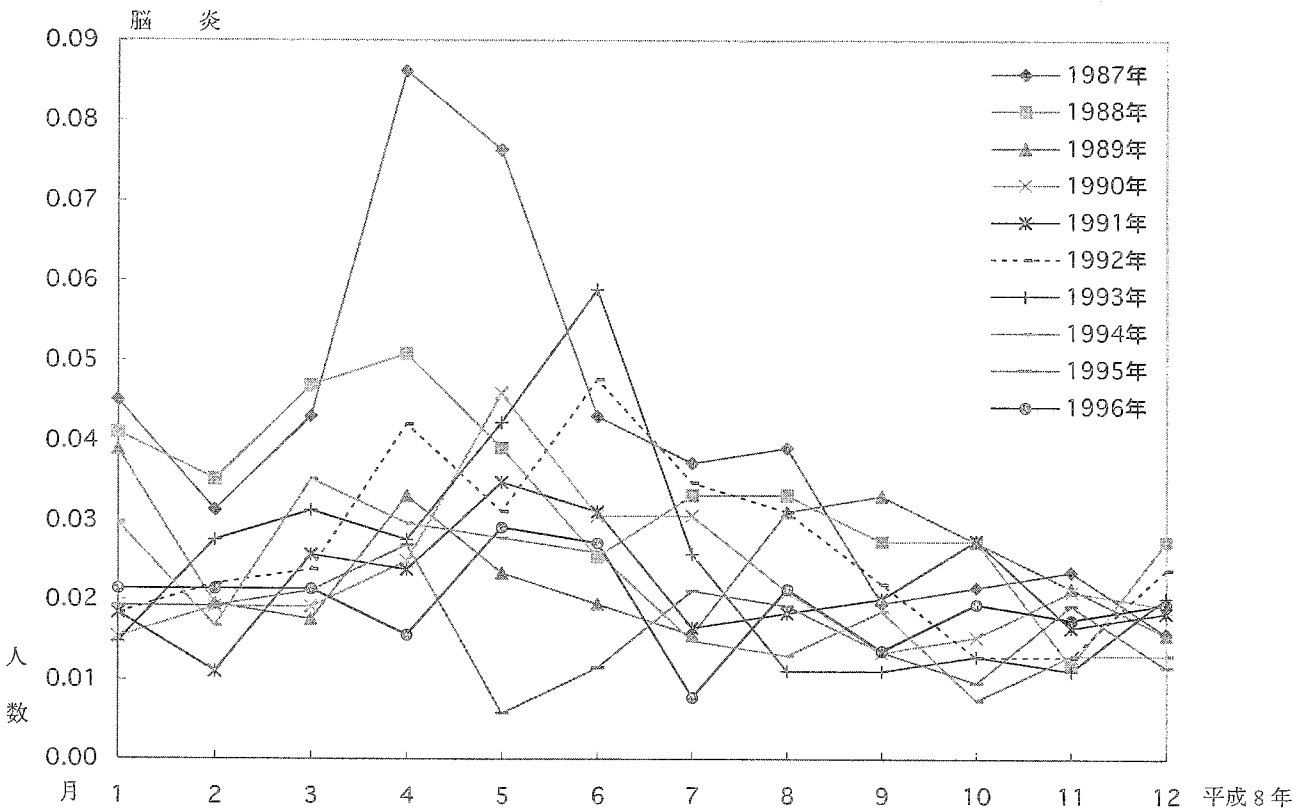


図17-3 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalopathy per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

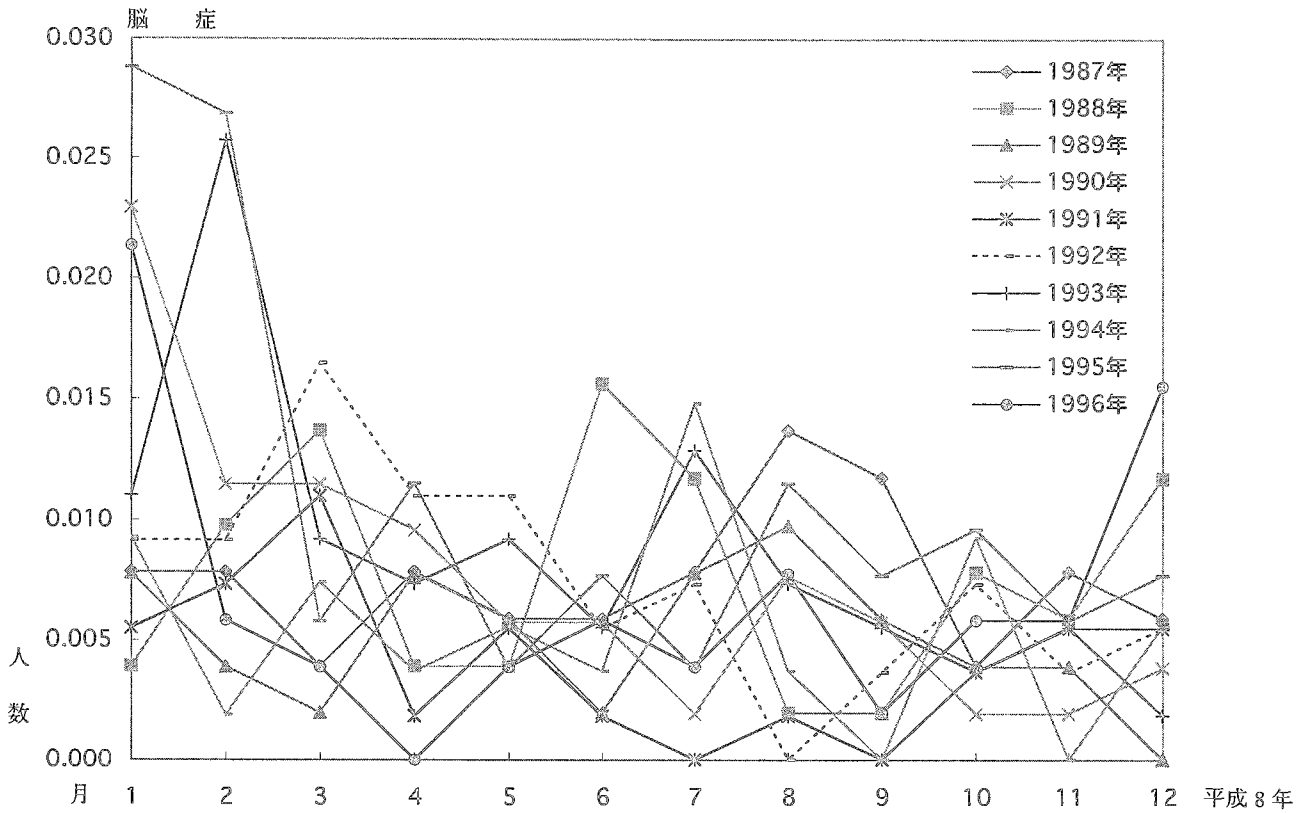


図17-4 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of Reye syndrome per reporting hospital, Japan, 1987-1995.

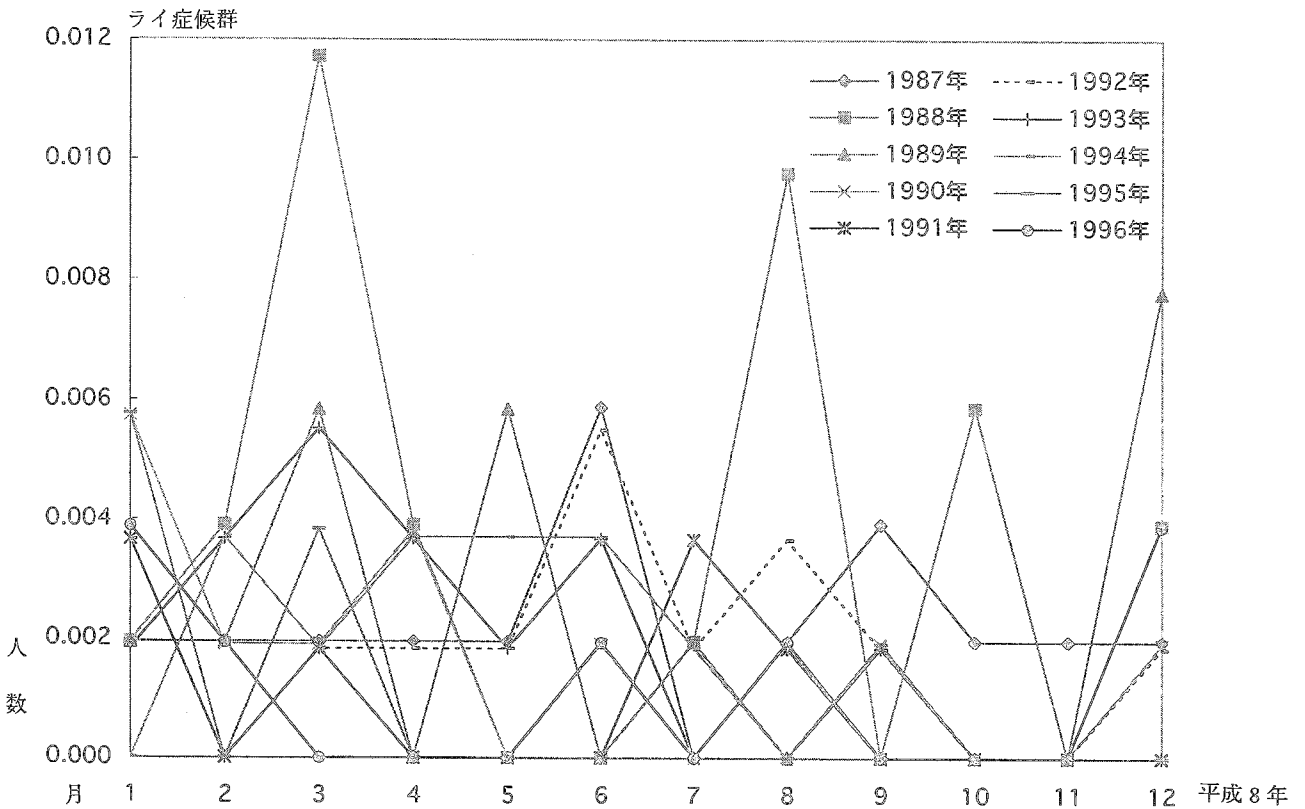


図17-5 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of myelitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

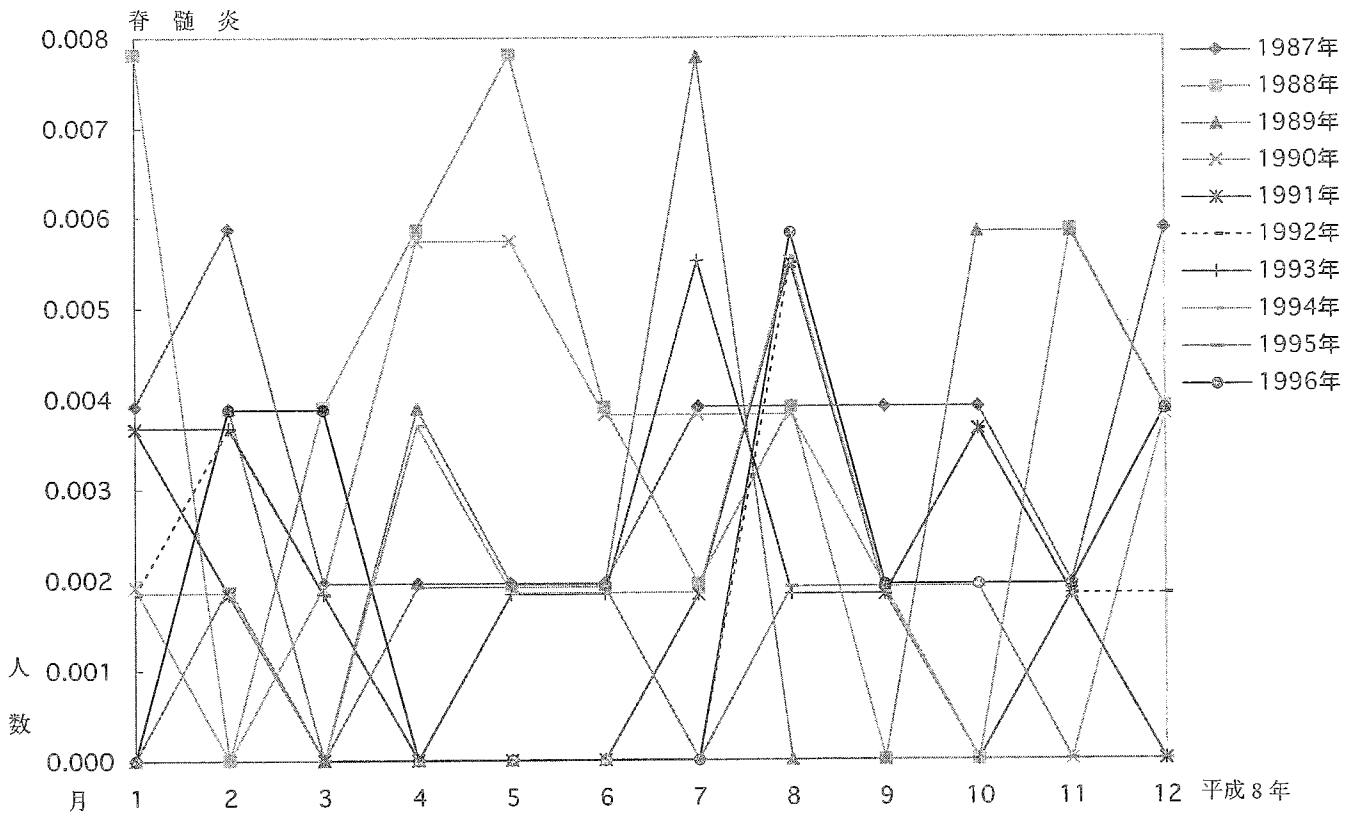


図17-6 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalomyelitis, Japan, 1995-1996.

脳・脊髄炎

(%)

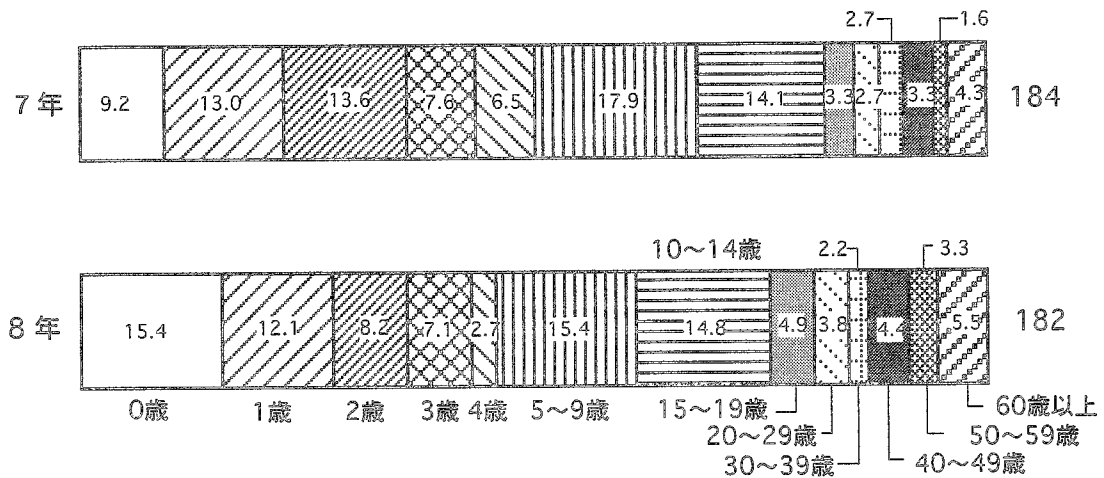


图 17-7 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalitis, Japan, 1995-1996.

脳炎

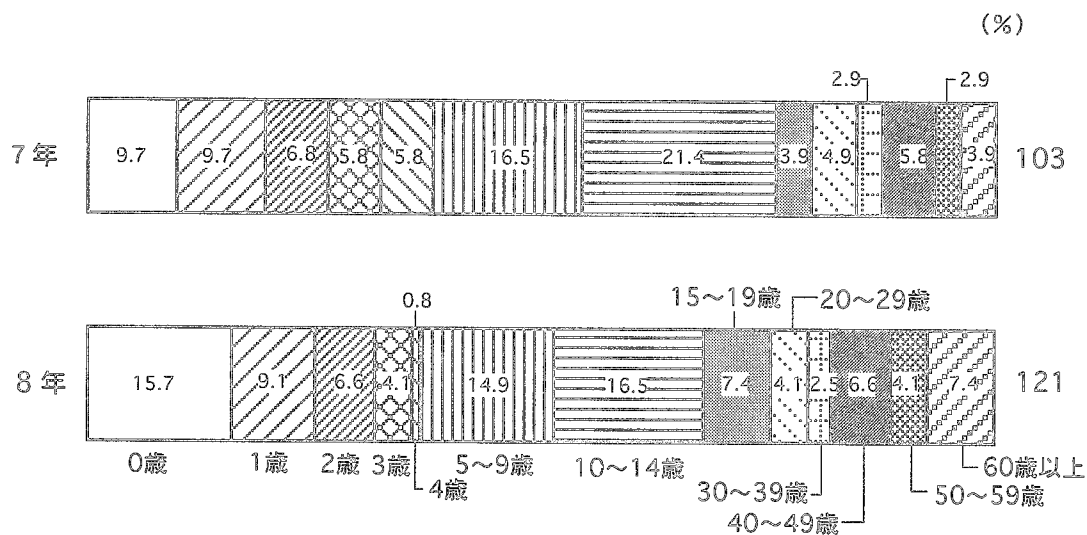


图 17-8 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of encephalopathy, Japan, 1995-1996.

脳症

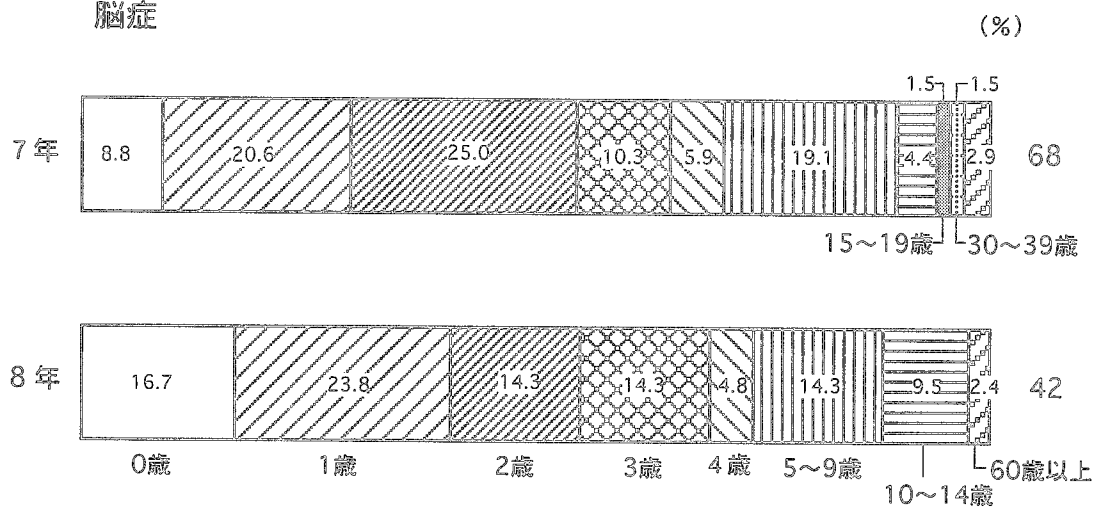


図17-9 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of Reye syndrome, Japan, 1995-1996.

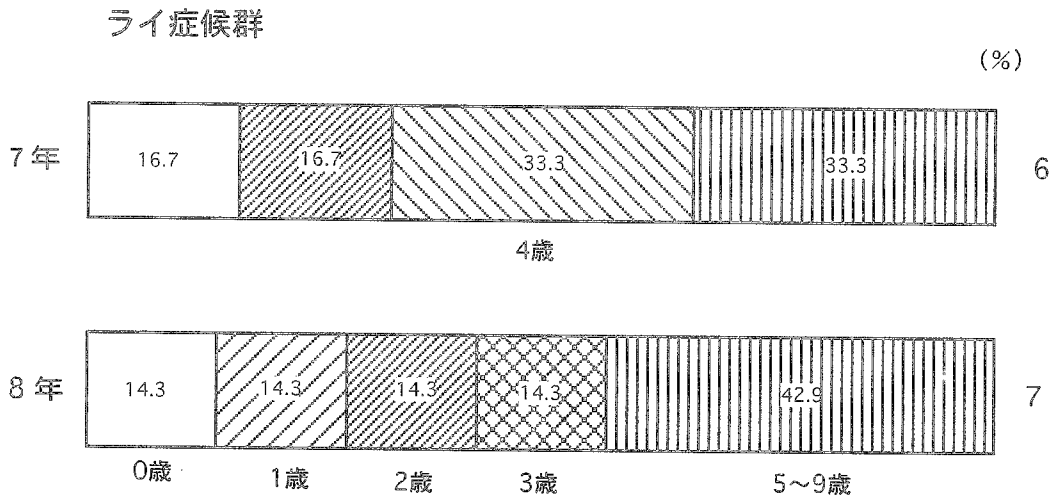


図17-10 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of myelitis, Japan, 1995-1996.

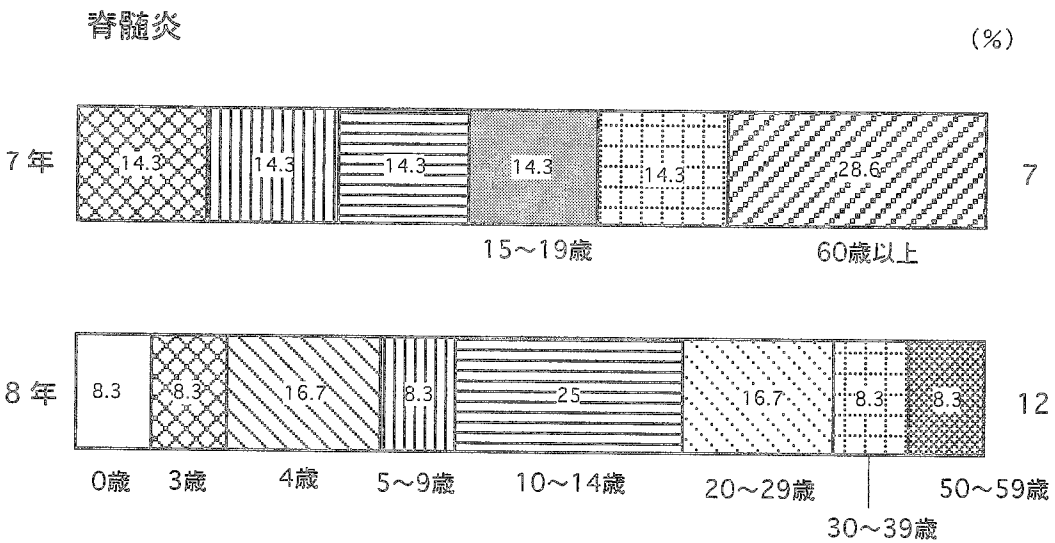
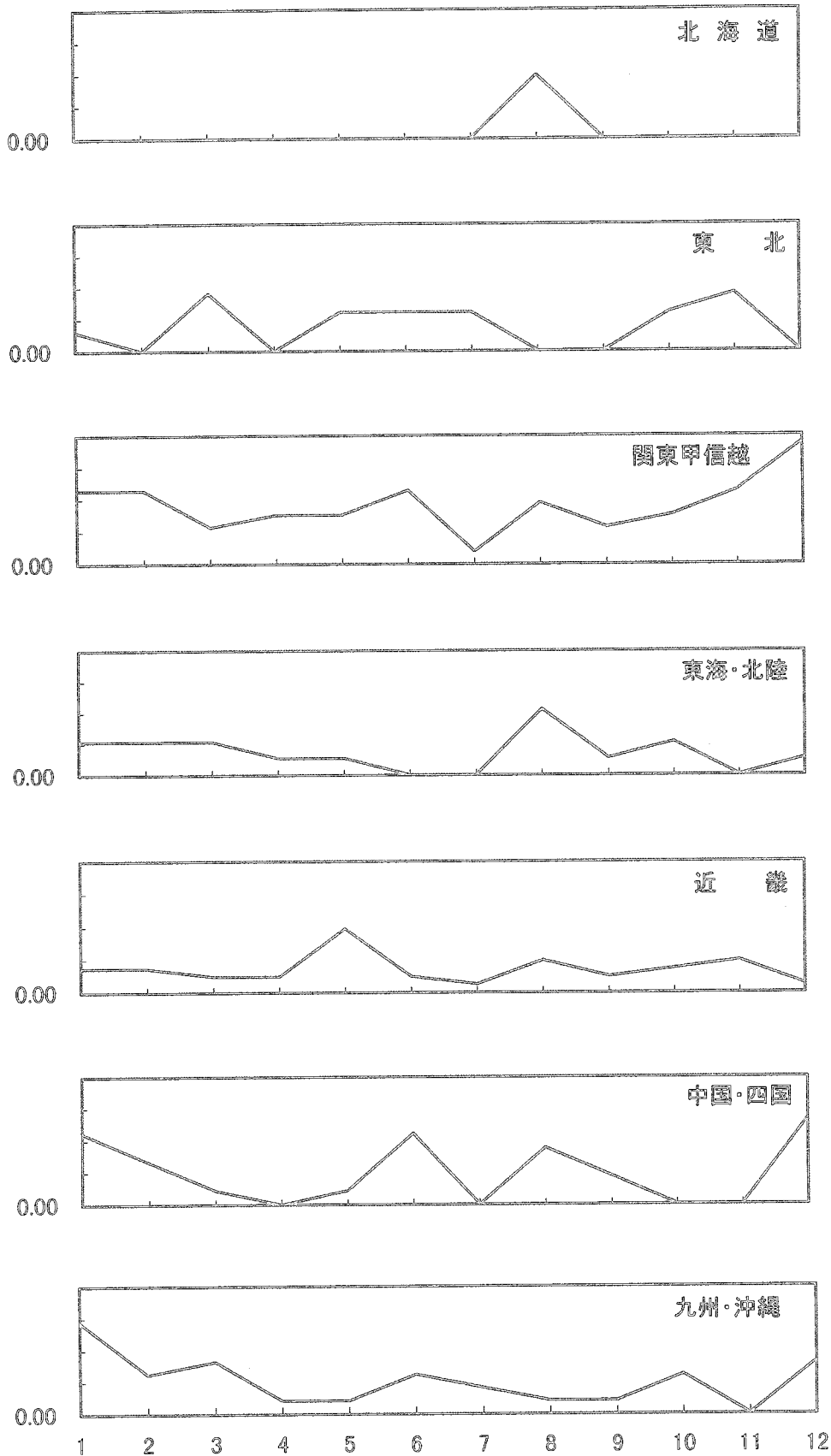


図17-11 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalomyelitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

脳・脊髄炎



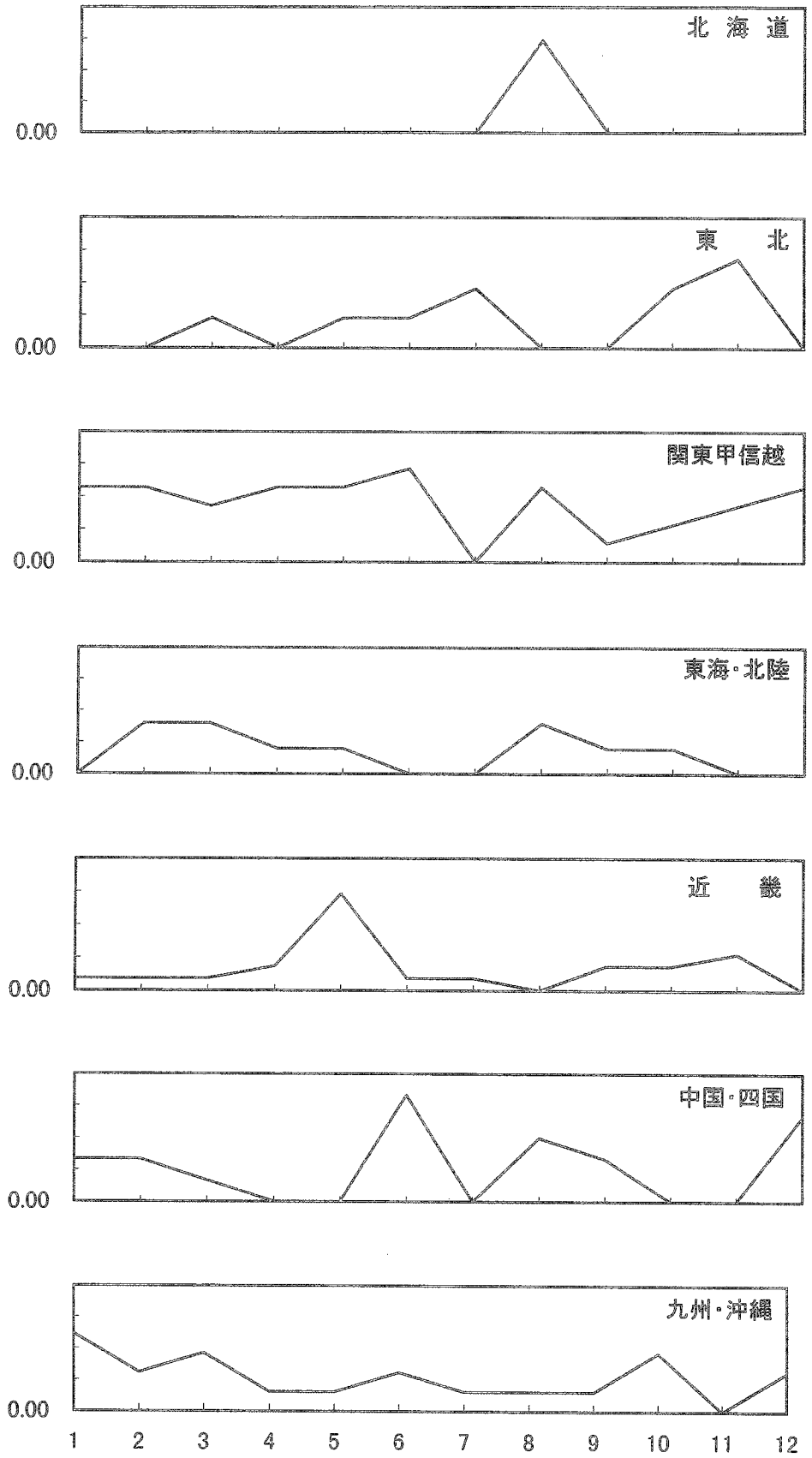
MAX=0.11

平成8年

図17-12 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

脳 炎



MAX=0.07 平成8年

図17-13 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of encephalopathy per reporting hospital, by geographical area, 1996.

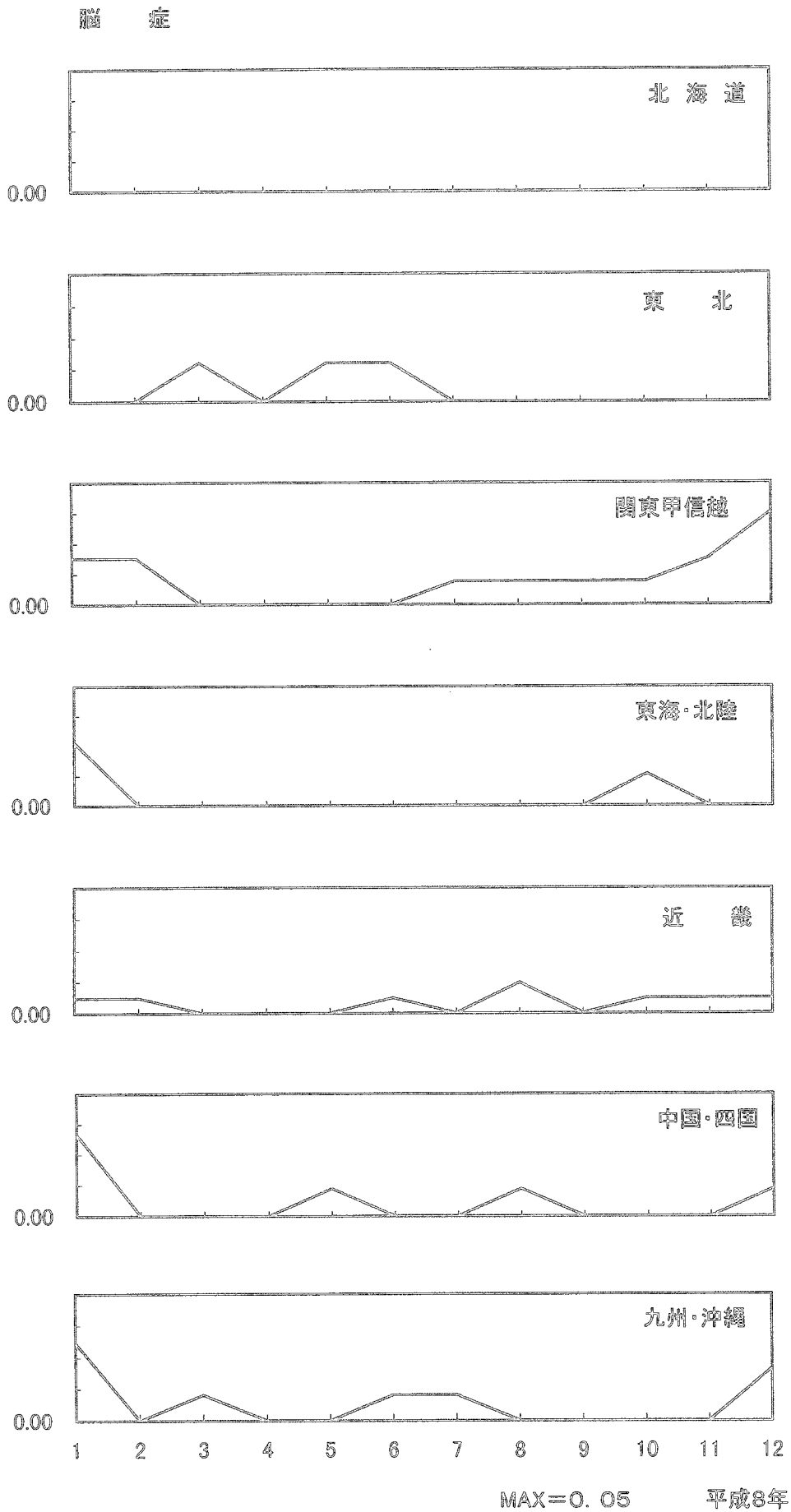
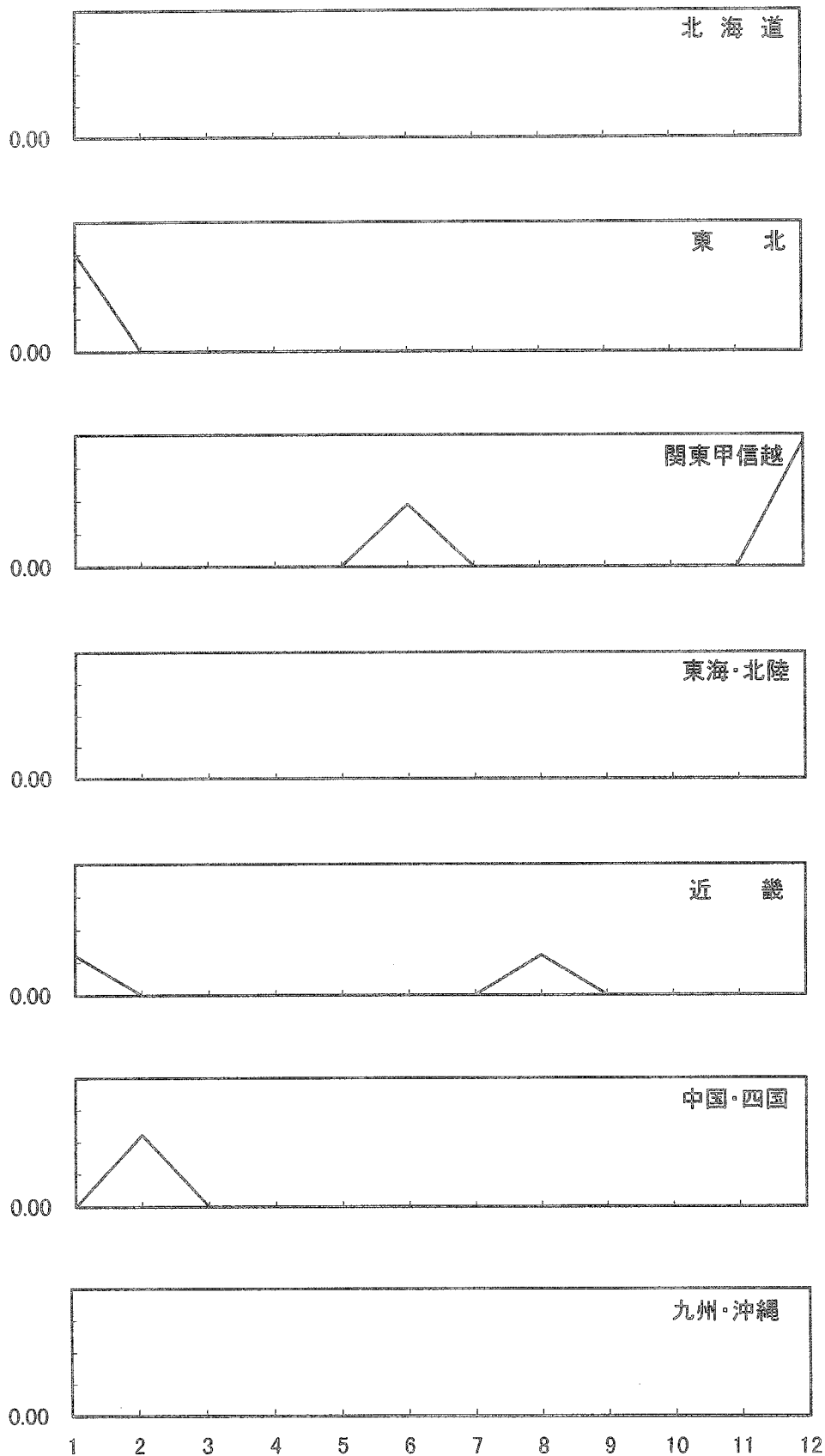


図17-14 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of Reye syndrome per reporting hospital, by geographical area, 1996.

ライ症候群

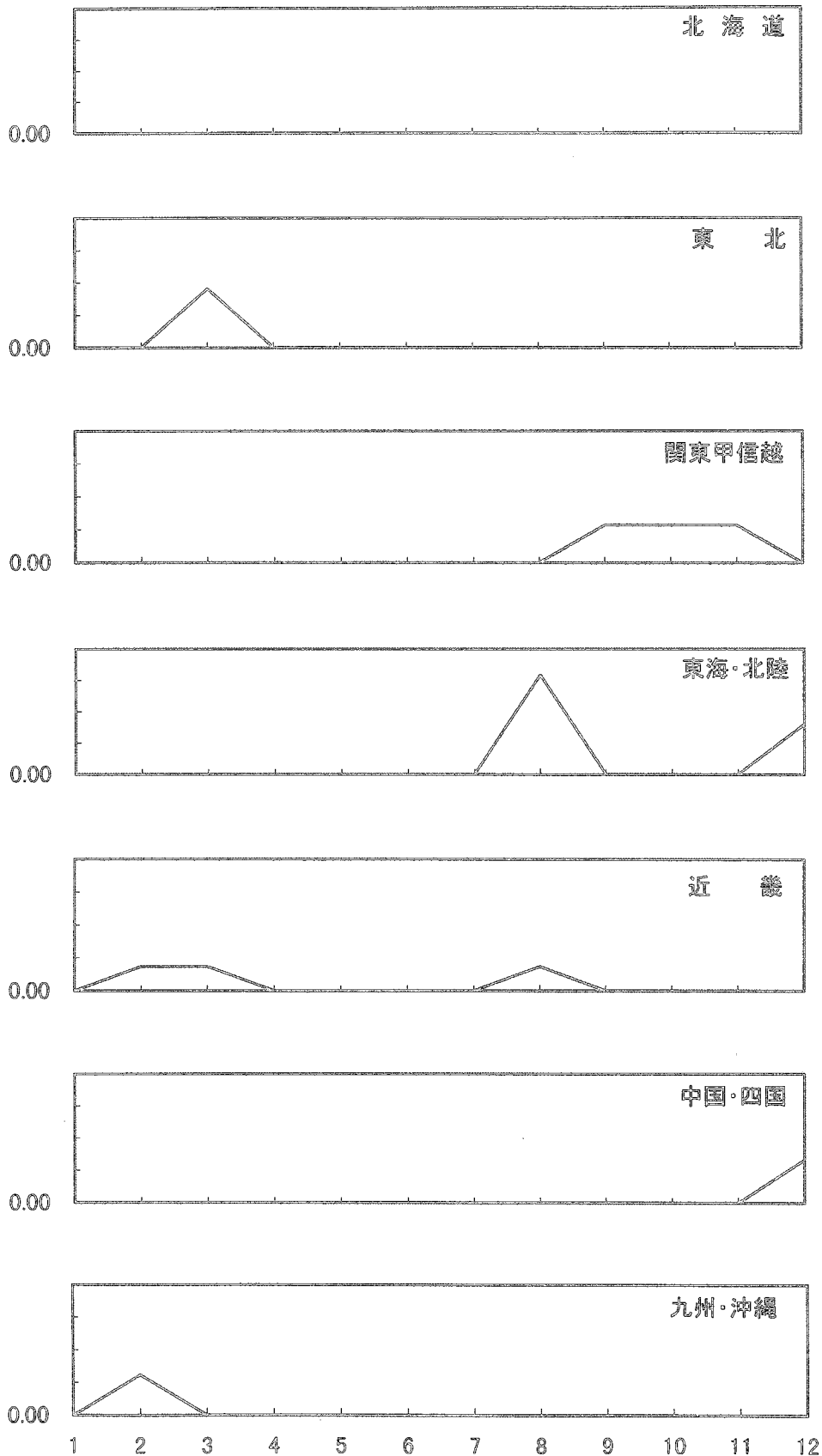


MAX=0.02 平成8年

図17-15 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of myelitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

脊髄炎



MAX=0.03

平成8年

図17-16 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of encephalomyelitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.

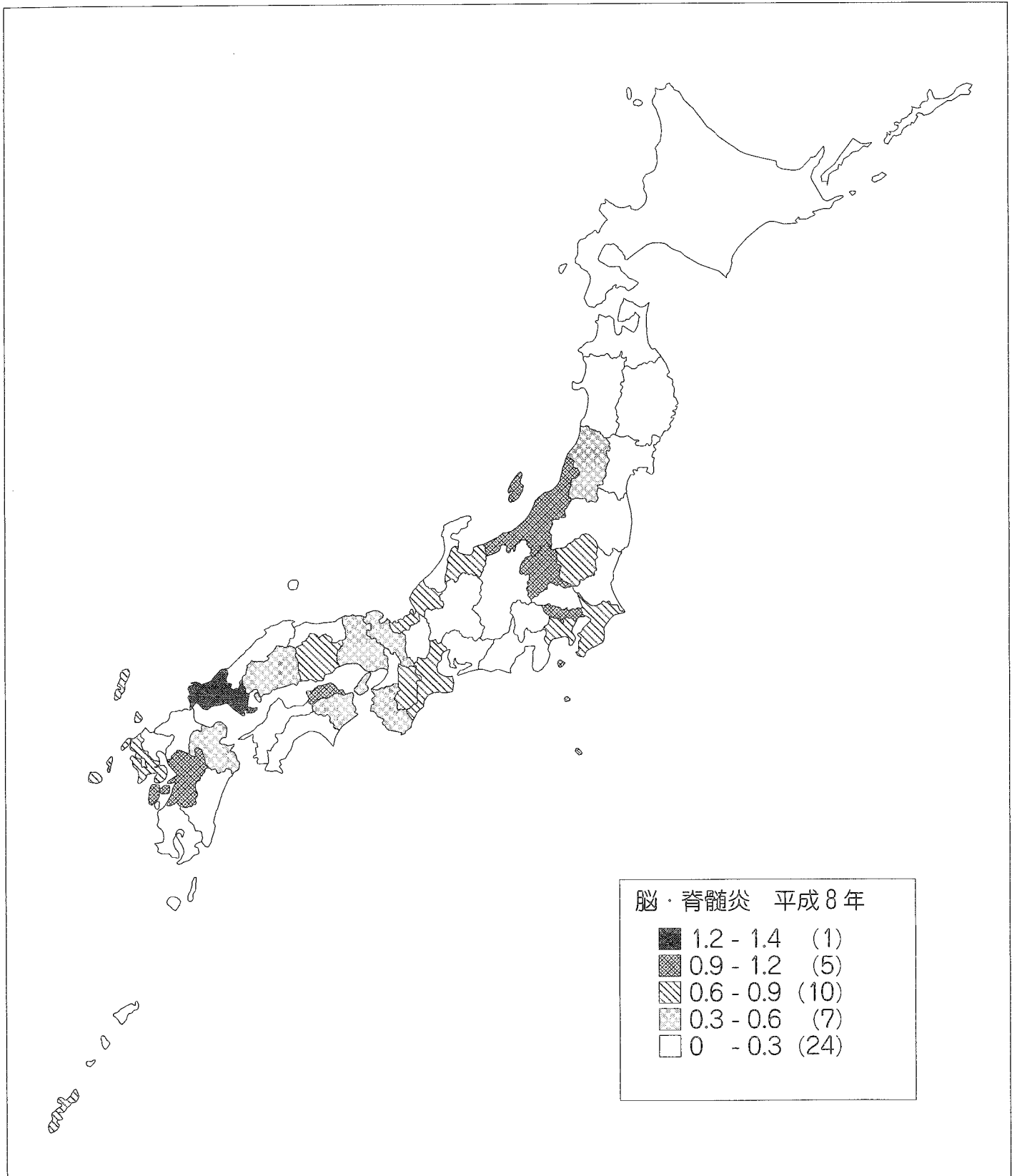


図17-17 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of encephalitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.

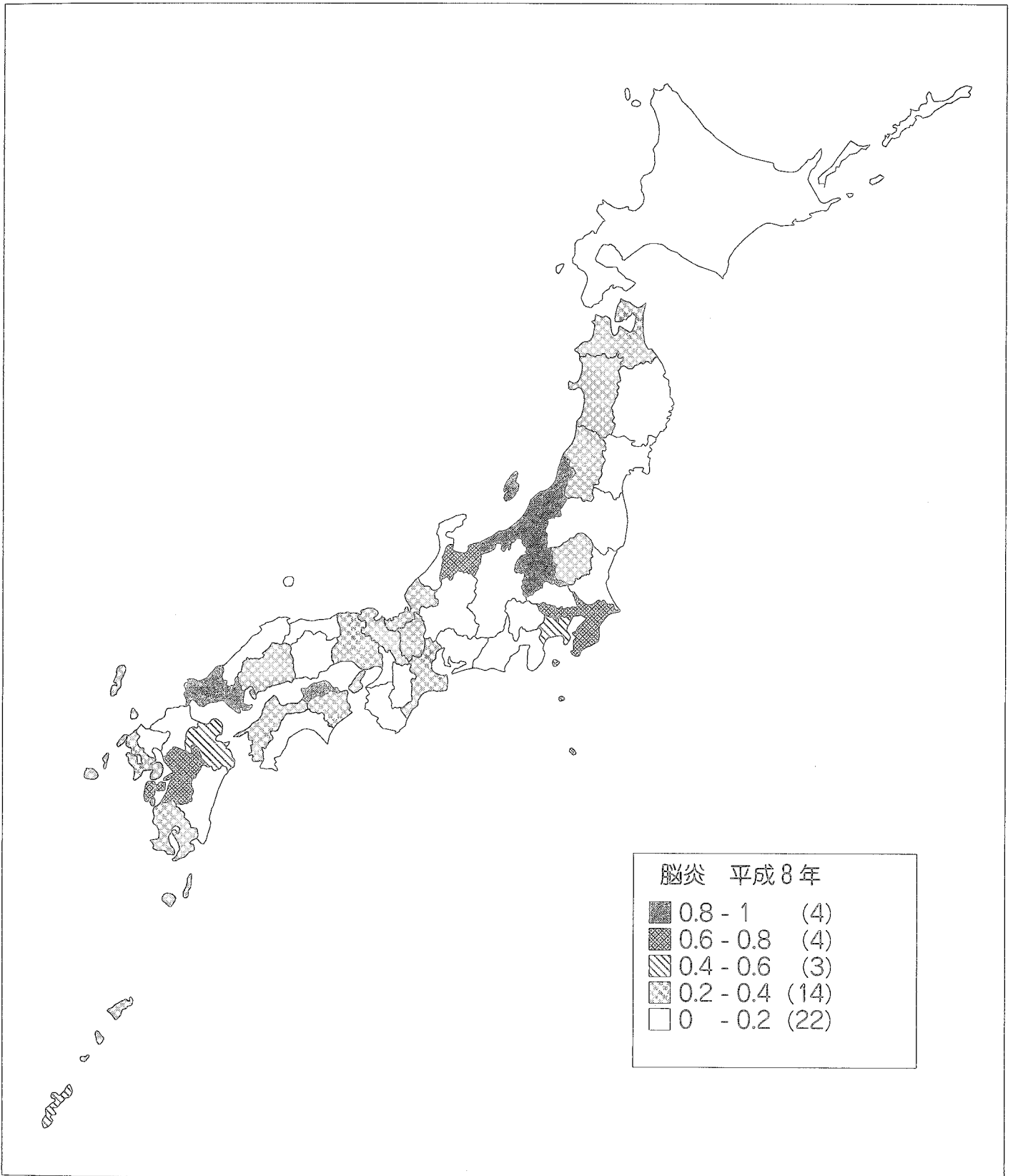


図17-18 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of encephalopathy per reporting hospital, by prefecture, 1996.

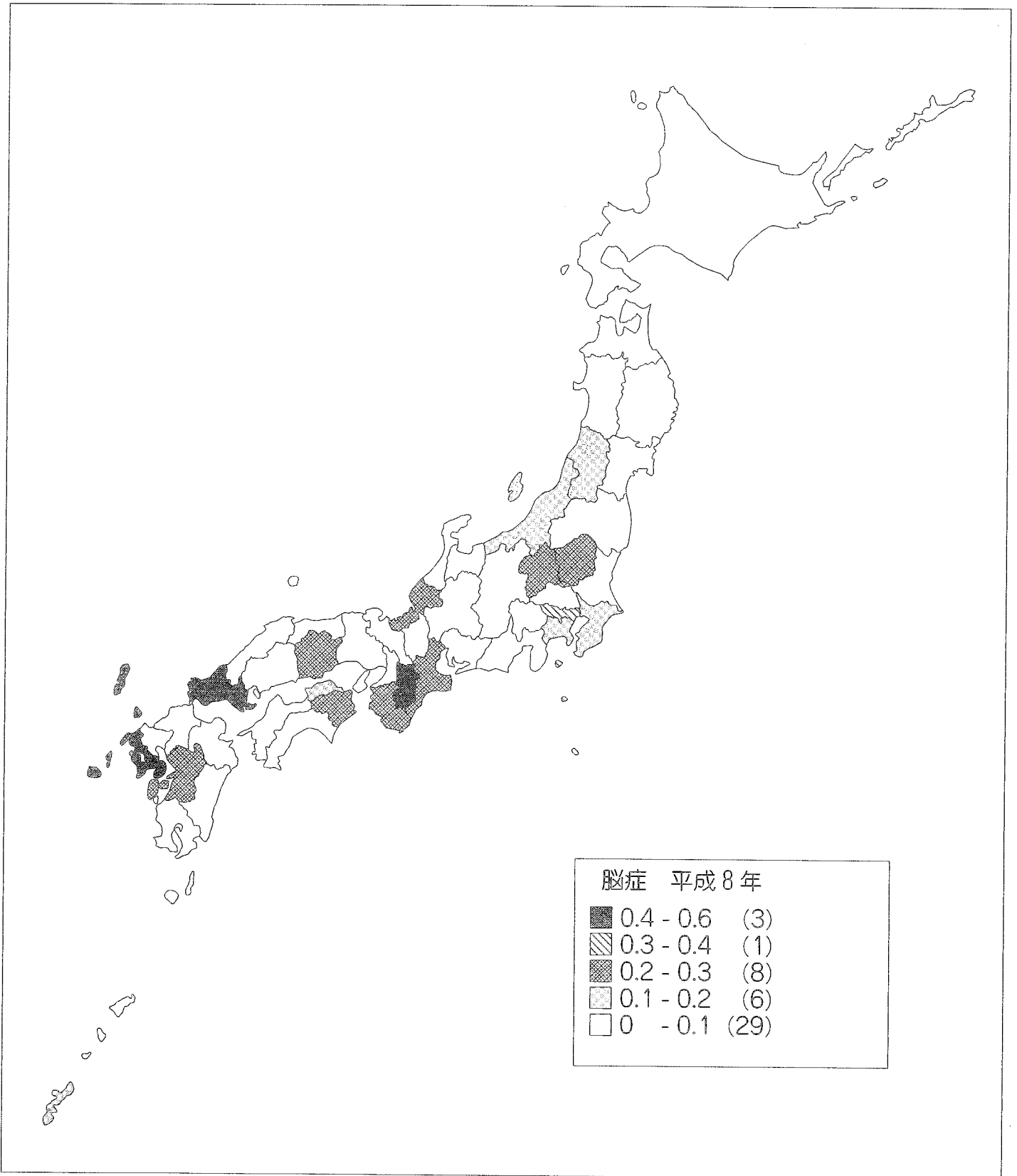


図17-19 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of Reye syndrome per reporting hospital, by prefecture, 1996.

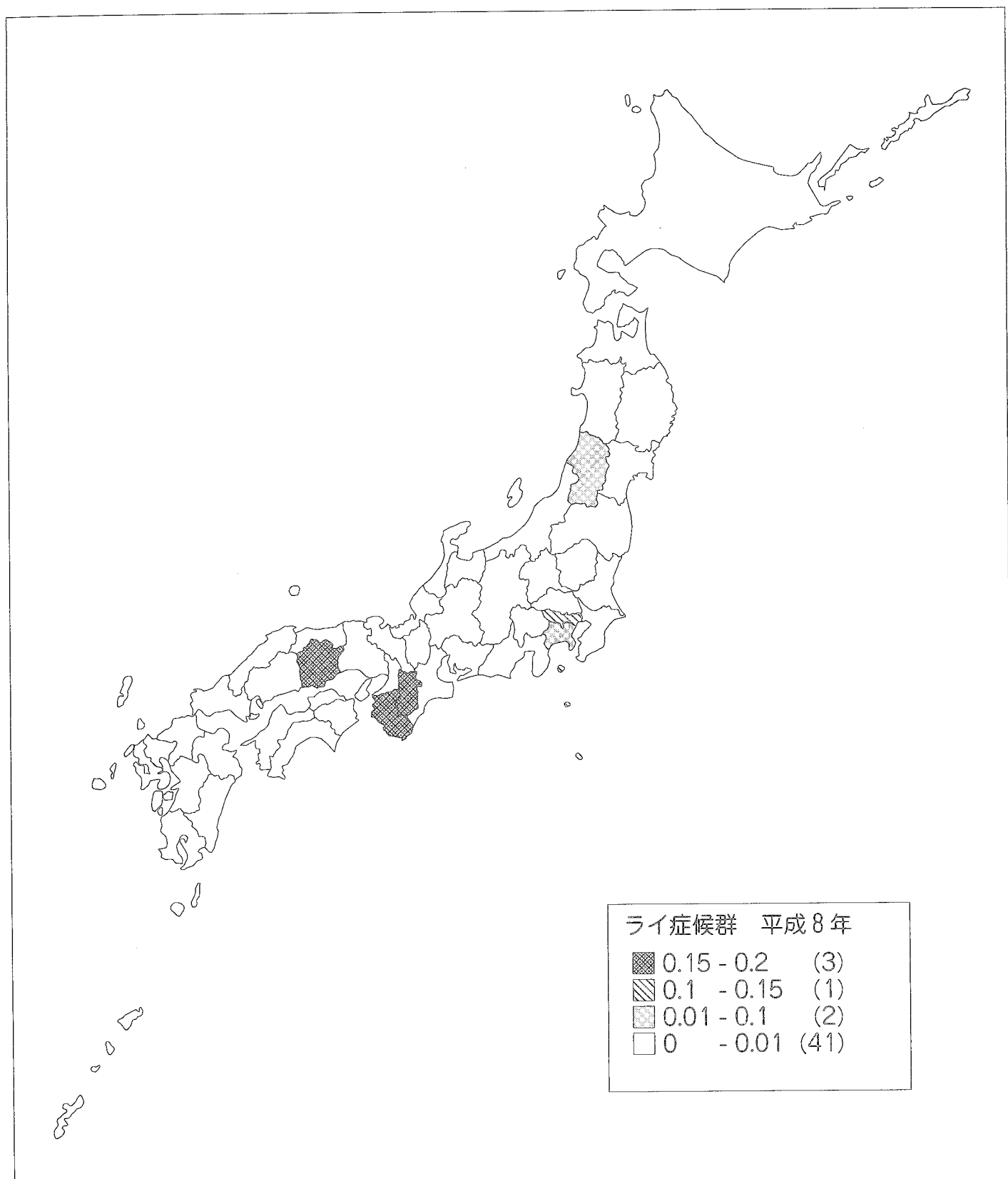
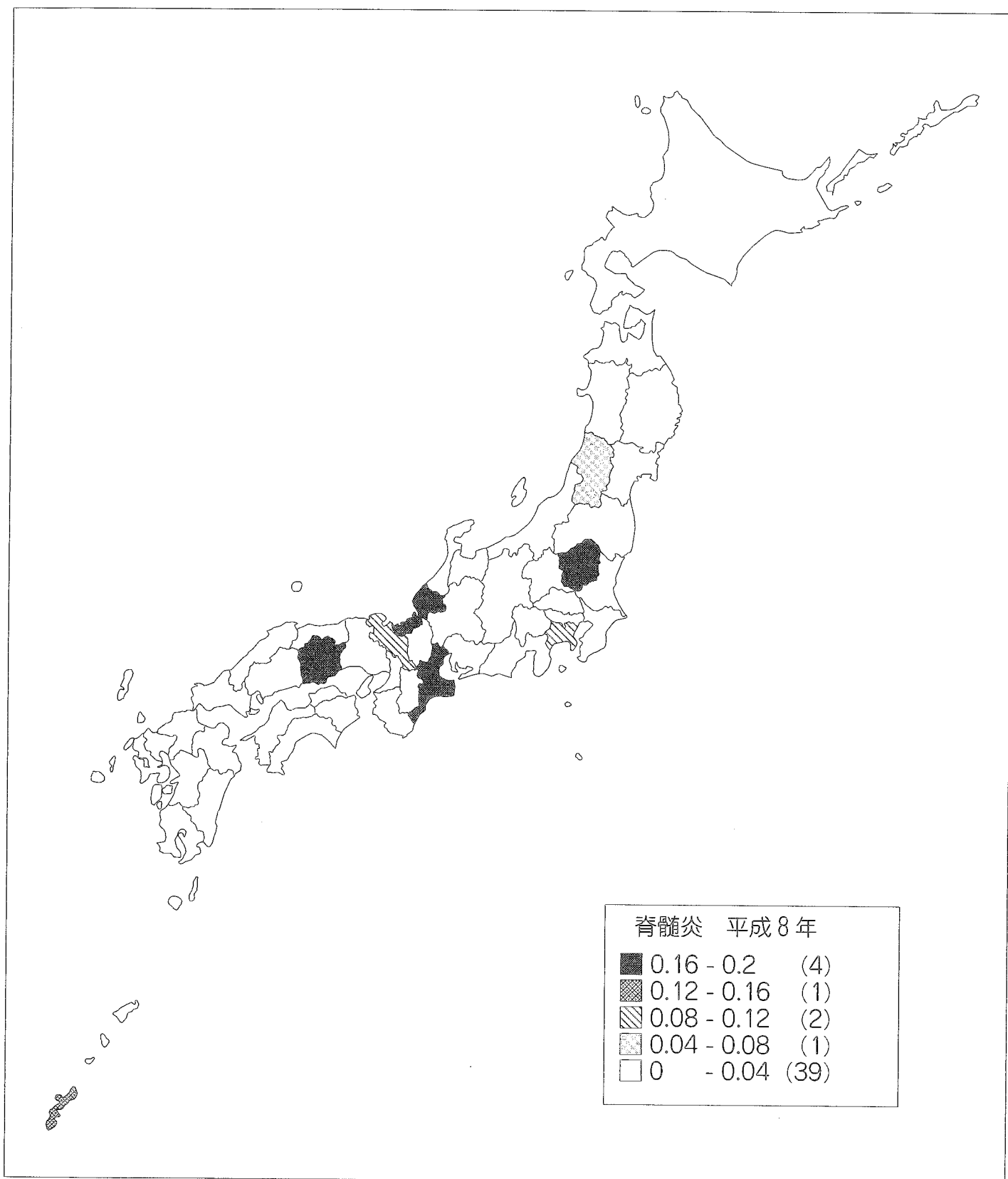


图17-20 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of myelitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.



II. 眼感染症

1. 咽頭結膜熱 (PCF)

小児科・内科定点における報告数は、1996年は5,906名と1995年の8,292名より減少していた。各四半期は、542 (9.2%)、1,908 (32.3%)、2,861 (48.4%)、595 (10.1%)と第3四半期がピークを示していた。

眼科定点では1996年は739名と1995年の782名より減少していた。各四半期は109 (14.7%)、193 (26.1%)、275 (37.2%)、162 (21.9%)であった。1996年は1年を通して小児科・内科定点、眼科定点が一致して多発したという報告は見られなかった。

2. 流行性角結膜炎 (EKC)

流行性角結膜炎患者は20,002名と昨年の22,134名より減少していた。各四半期は4,938 (24.7%)、4,740 (23.7%)、6,025 (30.1%)、4,299 (21.5%)であった。

多発したのは香川県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県、沖縄県、福岡市であった。

1996年はEKCの全体数が減少した。また、34週前後にみられるピークの山が年々低下している。第1、2四半期は例年より多い傾向があったが、第3、4四半期は多発がみられなかった。

3. 急性出血性結膜炎 (AHC)

1996年は429名と昨年の1,143名より少なかった。各四半期は133 (31.0%)、129 (28.9%)、99 (23.1%)、73 (17.0%)で特別の多発はみられなかった。1995年上半期にみられた沖縄地方における多発はなかった。

図1-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

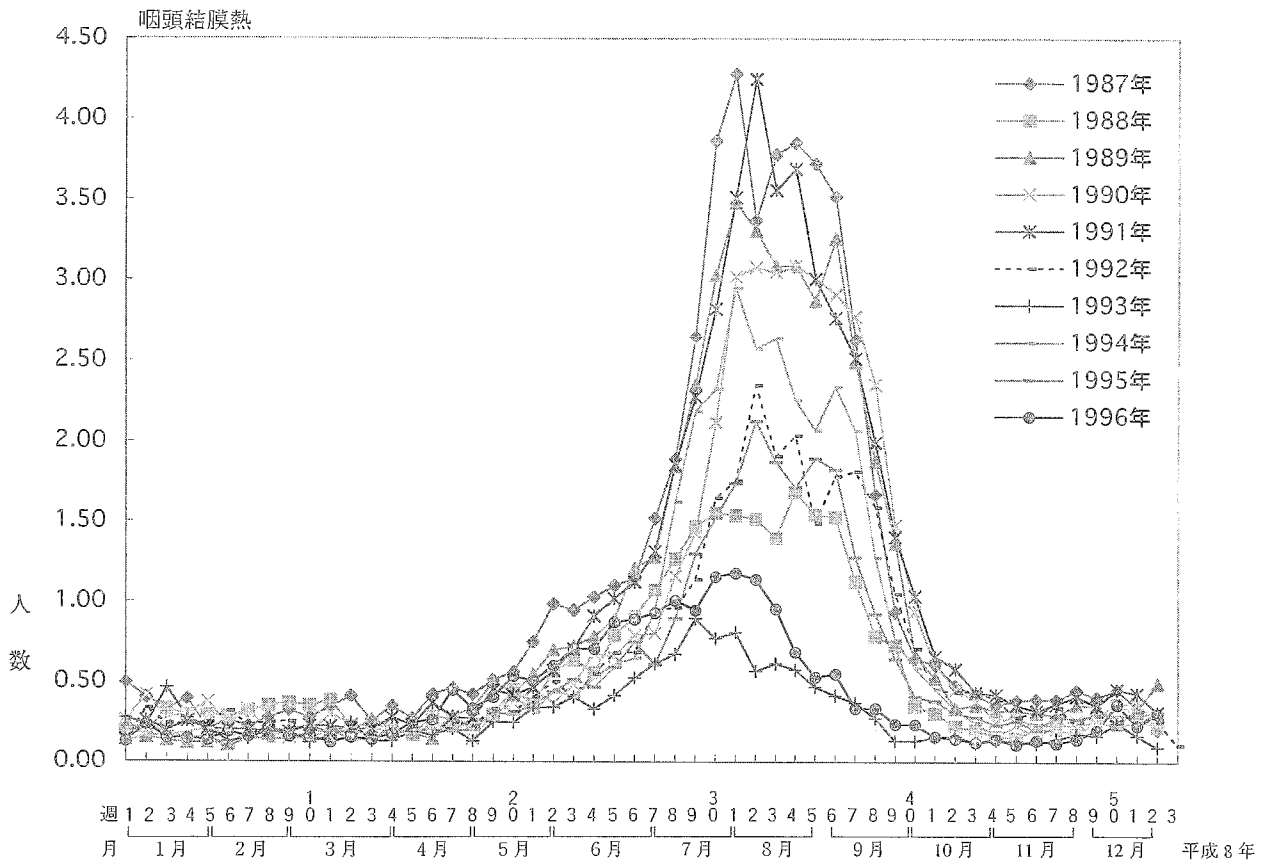


図1-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of pharyngo-conjunctival fever, Japan, 1995-1996.

咽頭結膜熱 (小児科・内科定点+ 眼科定点)

(%)

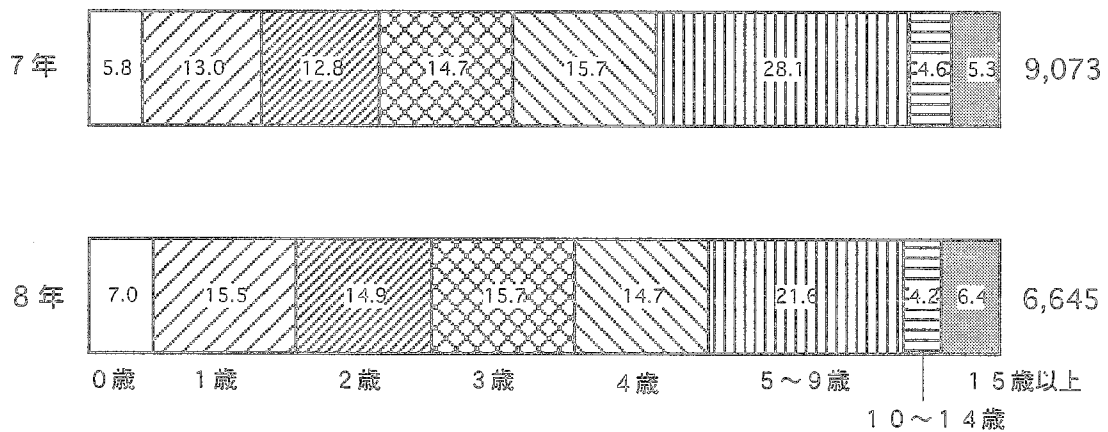


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, by geographical area, 1996.

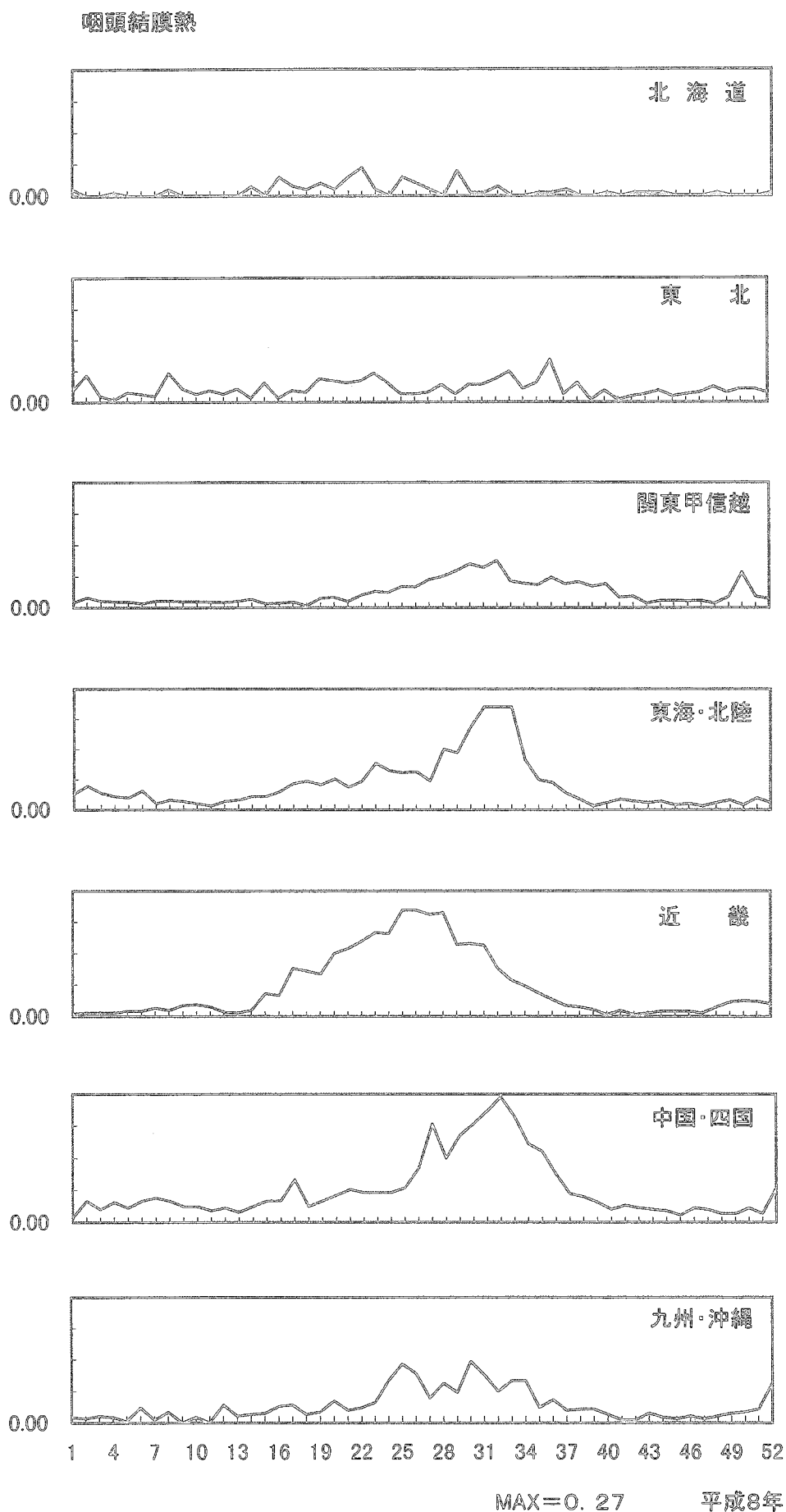


図1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of pharyngo-conjunctival fever per reporting clinic, by prefecture, 1996.



図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

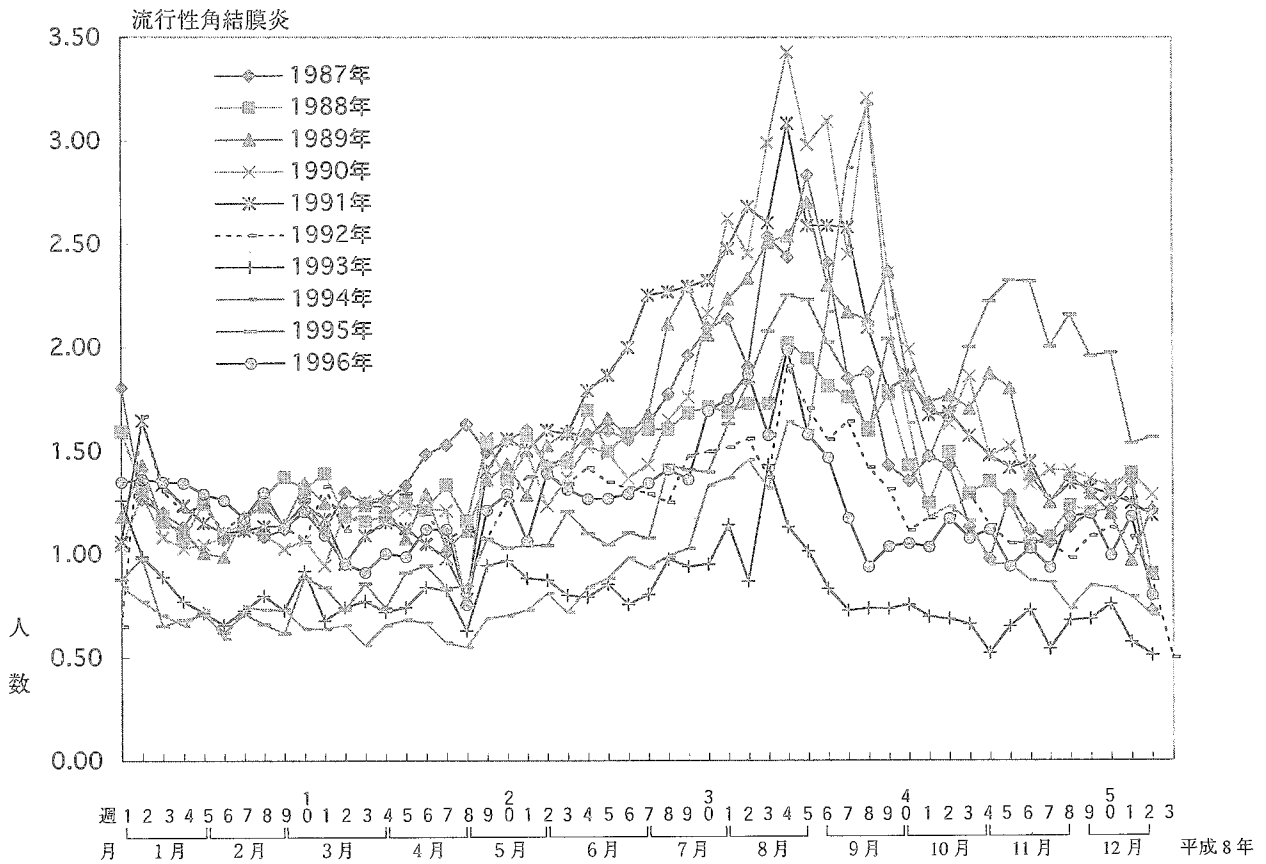


図2-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of epidemic keratoconjunctivitis, Japan, 1995-1996.

流行性角結膜炎

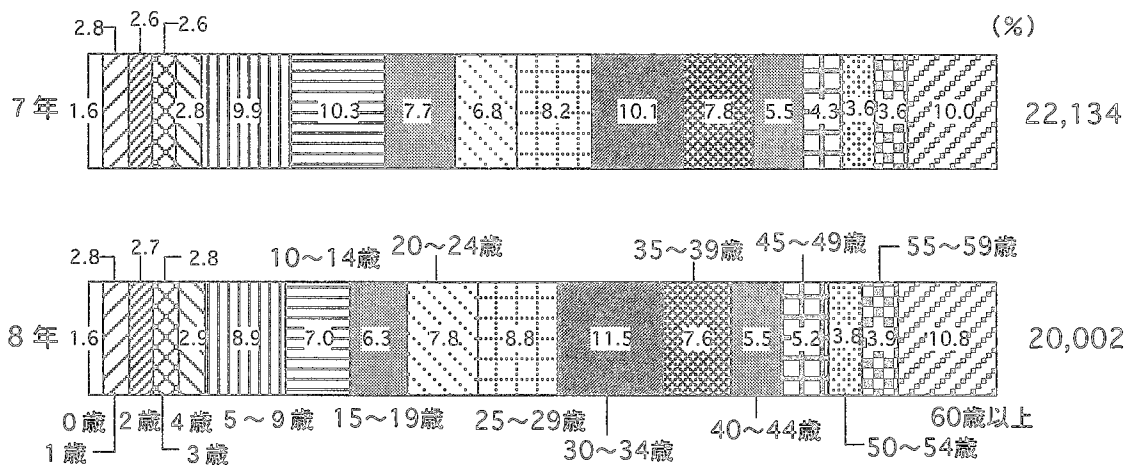
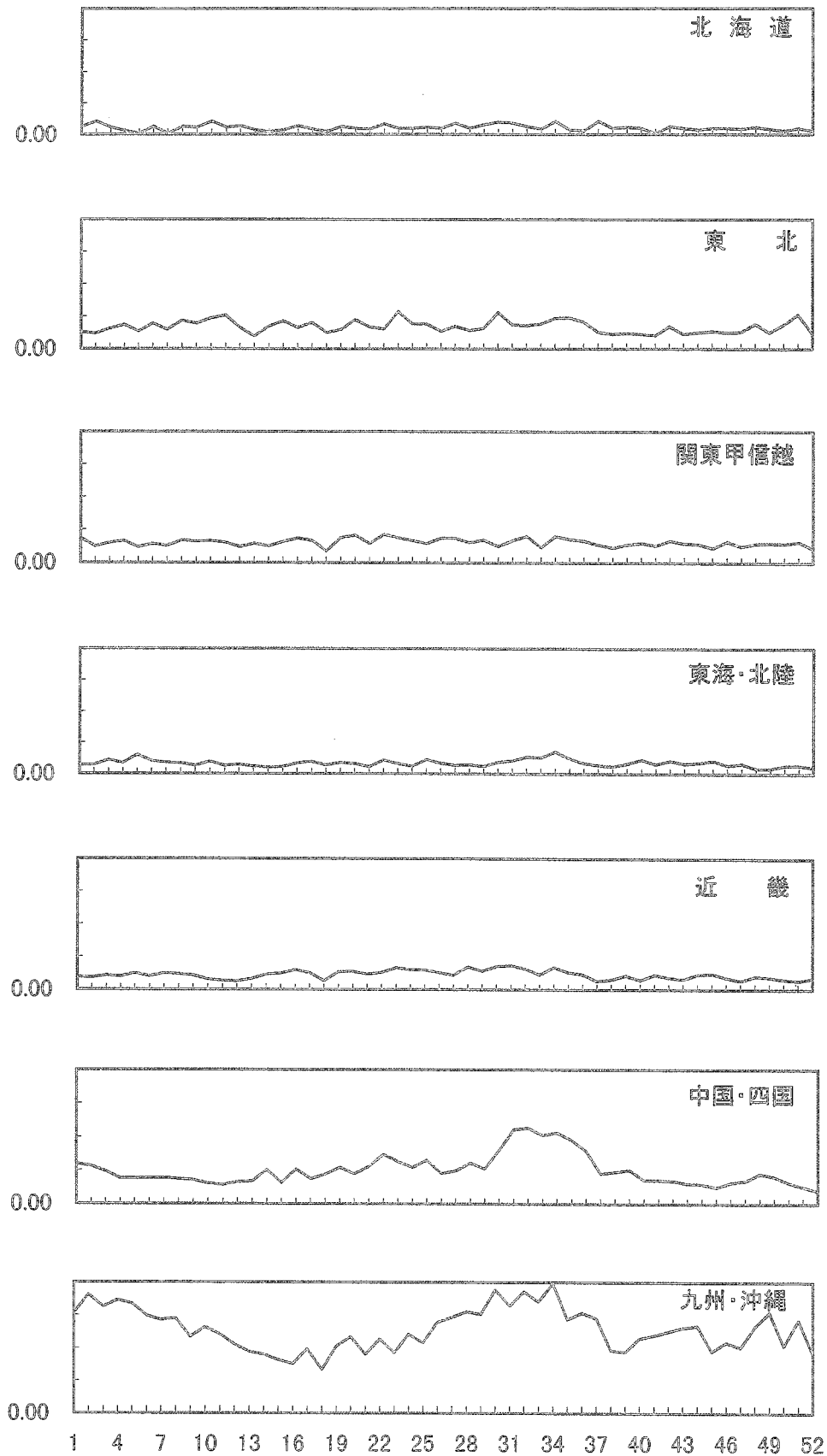


図2-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, by geographical area, 1996.

流行性角結膜炎



MAX=5.95

平成8年

図2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of epidemic keratoconjunctivitis per reporting clinic, by prefecture, 1996.

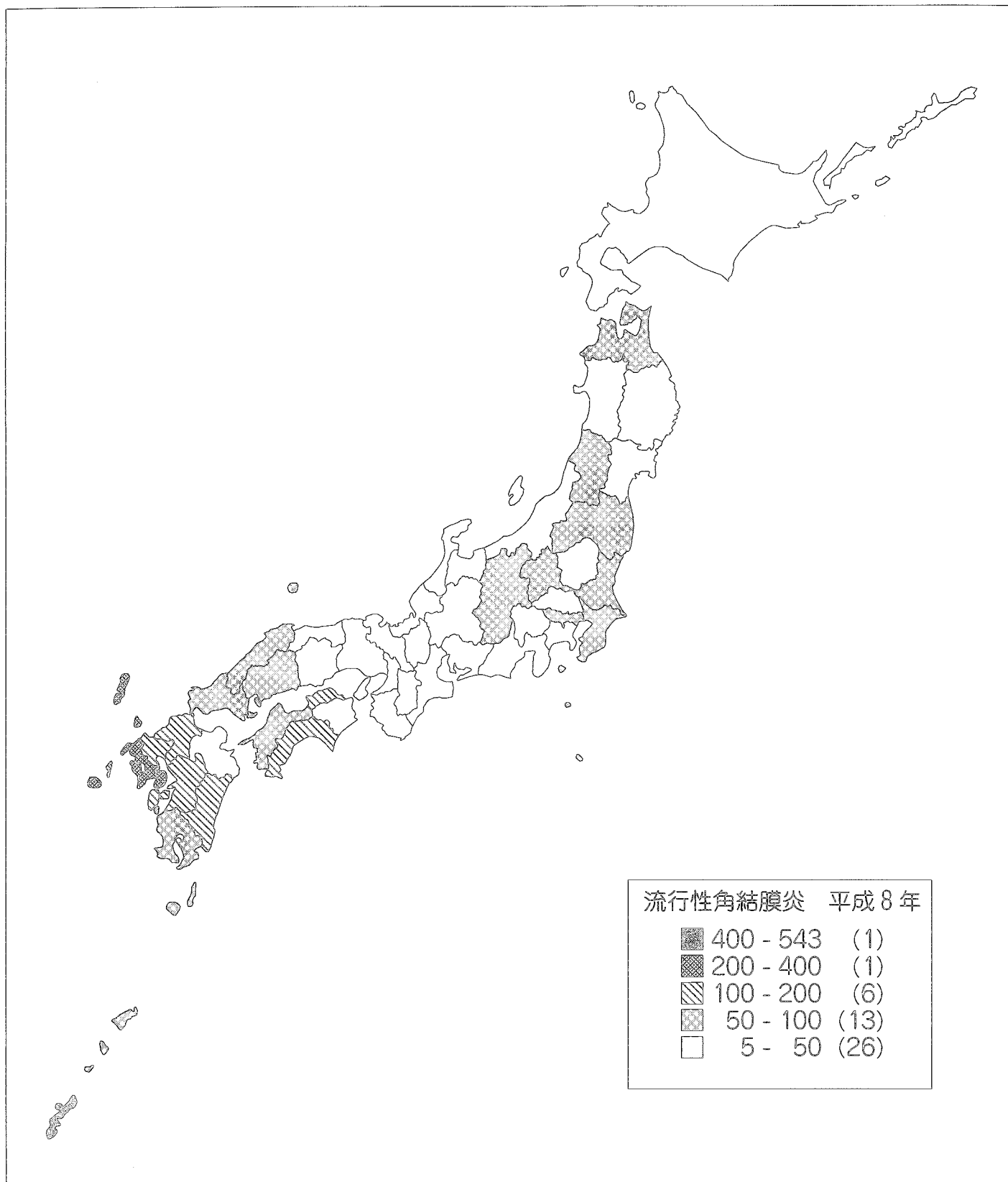


図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

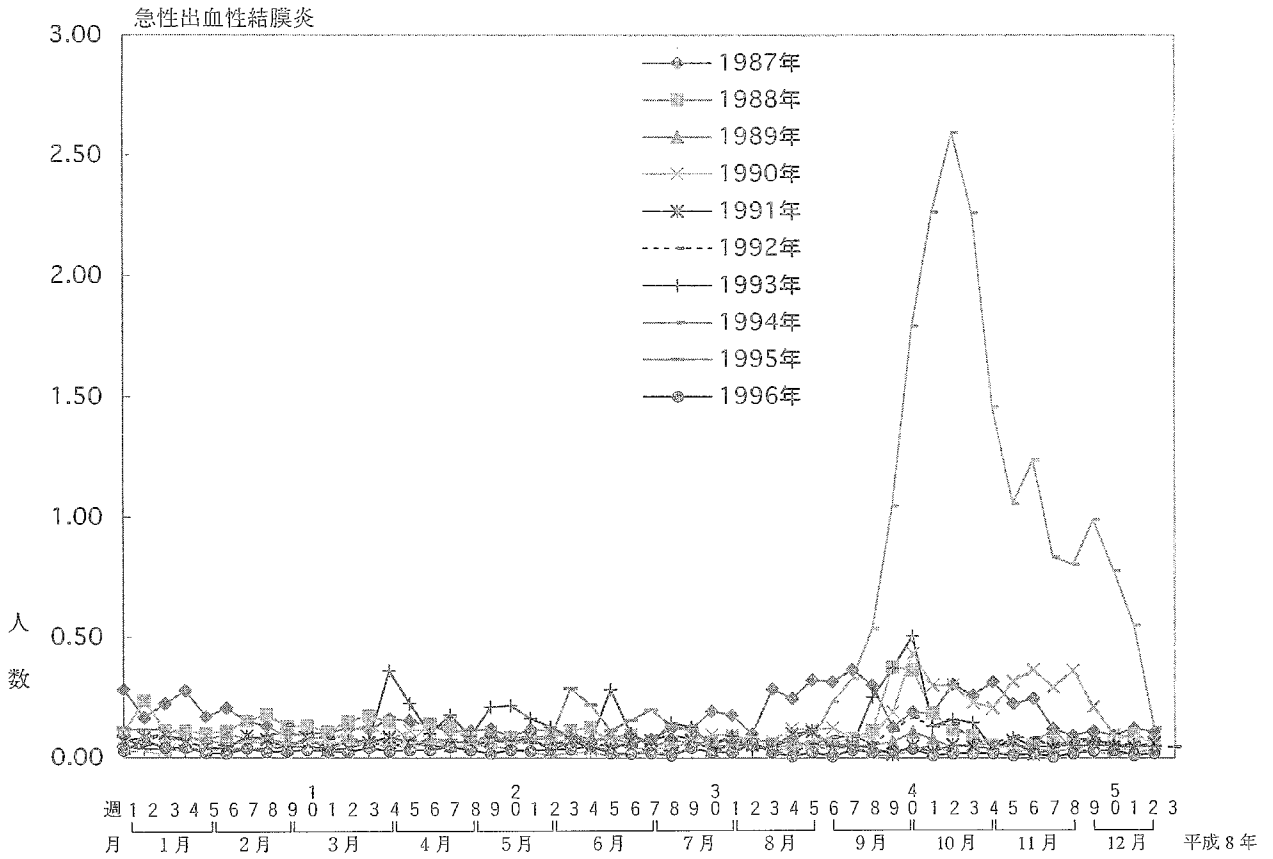


図3-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis, Japan, 1995-1996.

急性出血性結膜炎

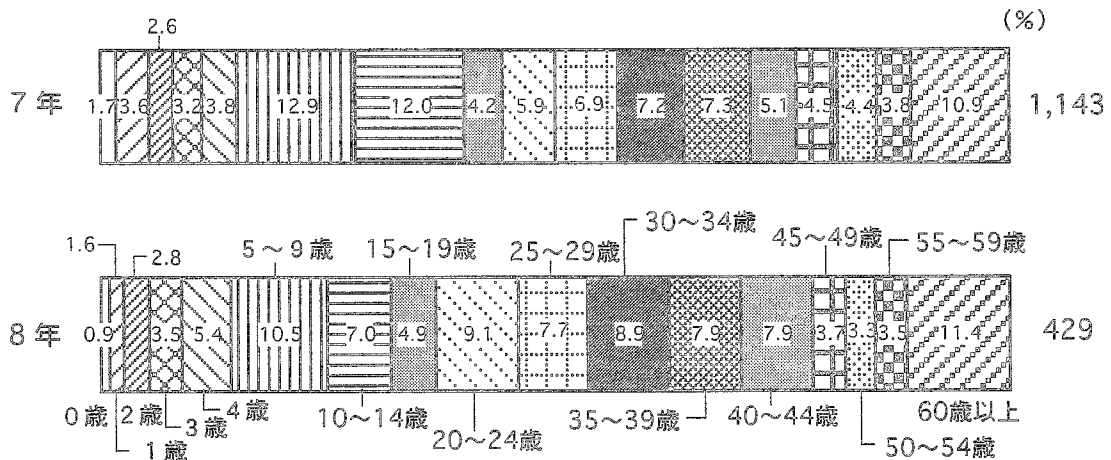
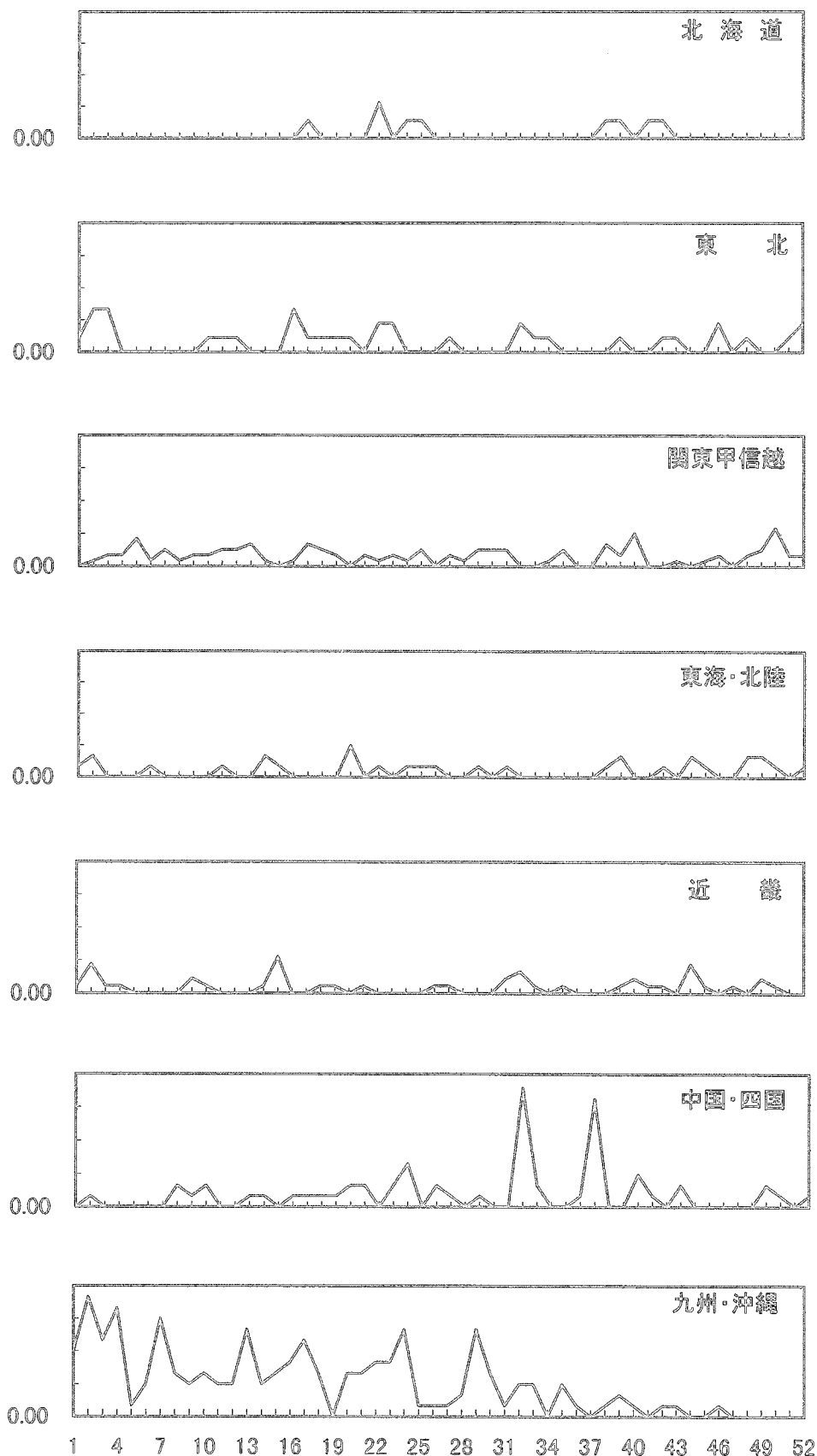


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Weekly reported cases of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic, by geographical area, 1996.

急性出血性結膜炎



MAX=0.28

平成8年

図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of acute hemorrhagic conjunctivitis per reporting clinic, by prefecture, 1996.

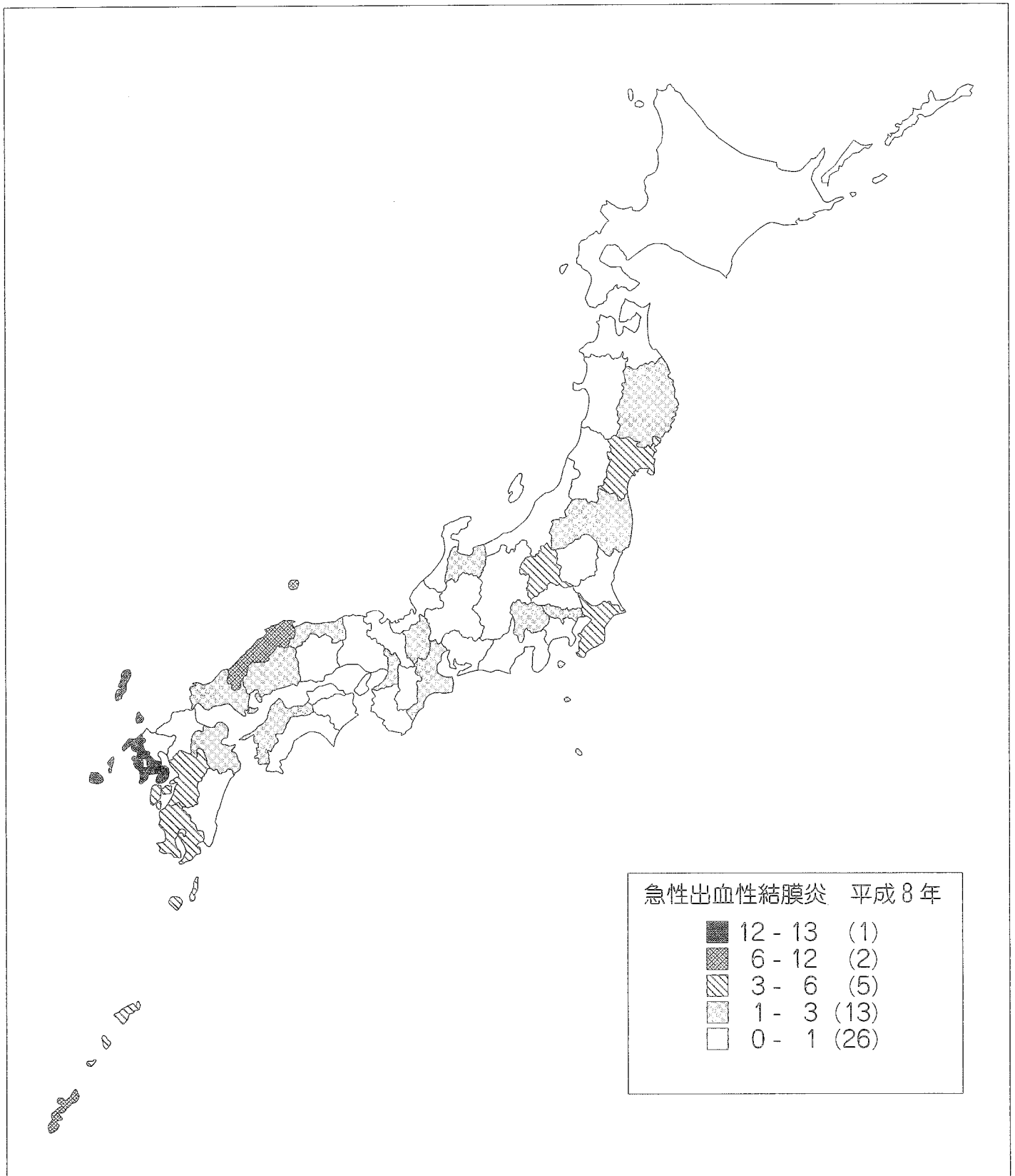
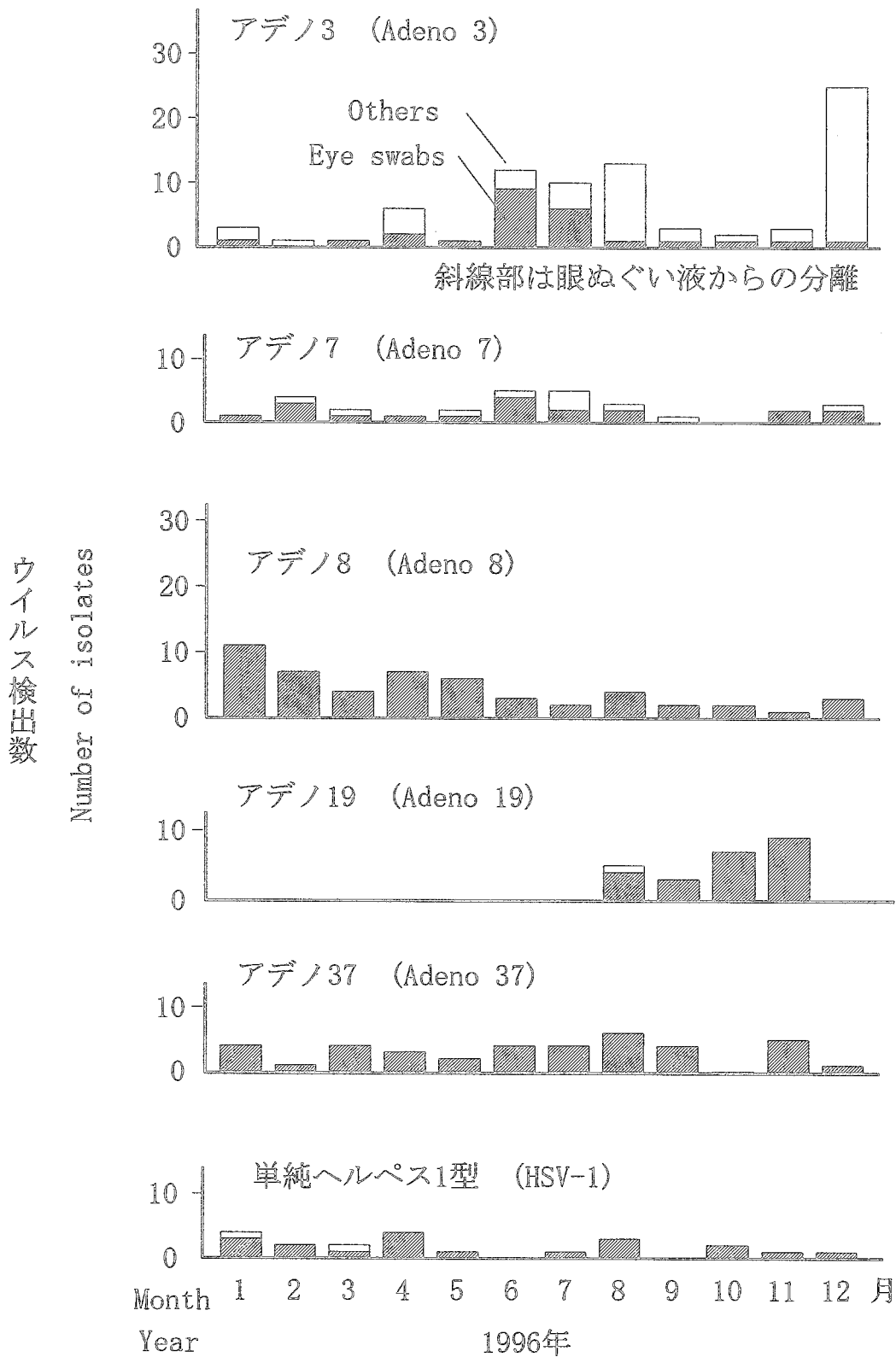


図4 角膜炎・結膜炎の症状のあった例からの主なウイルスの月別検出状況、1996年
 Monthly reports of isolation of viruses from cases of keratitis/conjunctivitis, Japan, 1996.



(病原微生物検出情報)
 (Infectious Agents Surveillance Report)

Ⅲ. ウイルス肝炎

ウイルス肝炎全体としての報告数は、これまで最低だった平成7年の1.2倍になっており(図1-1)、男性が1.2倍、女性が1.4倍であり、男女比は前年の1.3から本年は1.1と性差が縮小していた。

1. A型肝炎

A型肝炎は前年と同様に最低の報告数であった(図2-1)。例年通り本年のピークは4月にみとめられた。男性は前年の0.9倍、女性は1.1倍と女性が増加し、男女比は結果として前年の1.1から0.9へと低下した。定点当たり報告の多い地域は福井県、川崎市、鳥取県、東京都、三重県などであった(図2-4)。年齢ではこれまでの二峰性が三峰性となり、ピークは10～14歳、30～34歳、45～49歳であった(図2-2)。また、例年通り高年齢側へと発生年齢が拡大していた。

2. B型肝炎

B型肝炎は最低だった平成6年、平成7年より増加し、前年の1.3倍であった(図3-1)。男性が前年の1.2倍、女性が1.5倍と女性の増加が著しく、男女比は前年の1.6から1.3へと低下した。定点当たり報告が多かった地域は島根県、埼玉県、北海道、福島県、広島市などであった(図3-4)。年齢別にみると本年は明らかに二峰性となり20～24歳と45～49歳にピークを認めた(図3-2)。少なくとも高年齢側のピークは、急性肝炎と言うよりキャリア例と推定され、報告数の多い地域と他の地域を比較すると著しく報告例数が多いこともこれを裏付けている。

3. その他のウイルス肝炎

その他のウイルス肝炎は前年の1.3倍であり(図4-1)、男性は前年の1.2倍、女性は1.4倍、男女比は前年の1.3から1.1へと低下していた。女性での増加が明らかであった。定点当たり報告が多い地域は極端に多く、埼玉県、島根県、愛知県、茨城県、宮崎県、大阪府、北海道がきわだっていた(図4-4)。年齢では45歳から急上昇しており(図4-2)、これらのことは従来から指摘しているとおおり、急性肝炎ではなく、C型肝炎ウイルスキャリアが報告されているものと推定される。

4. 輸血後肝炎

輸血後肝炎はB型肝炎の男性2例が、兵庫県及び神戸市から報告されている。また、その他のウイルス肝炎として、兵庫県から女性1例、埼玉県から男性1例が報告された。

図1-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of viral hepatitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

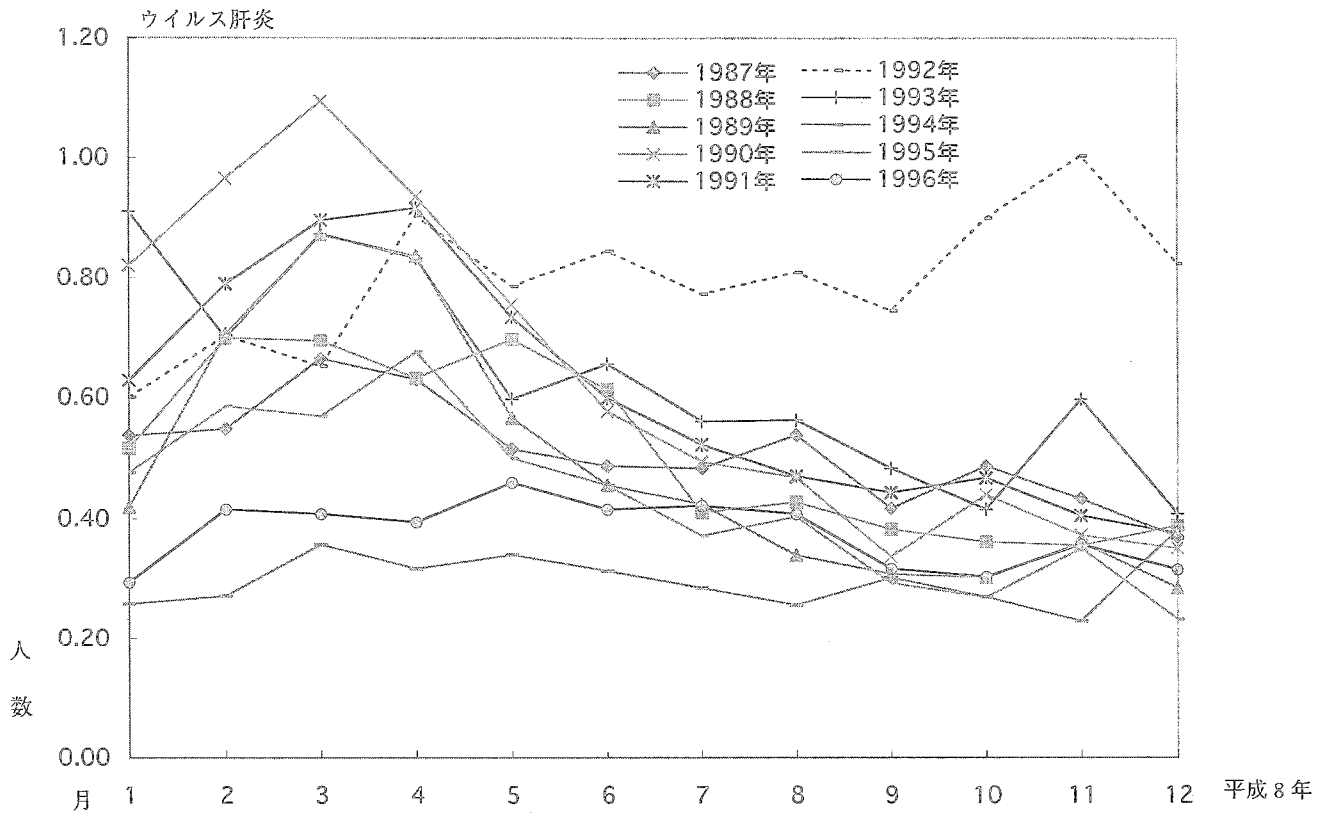


図1-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of viral hepatitis, Japan, 1995-1996.

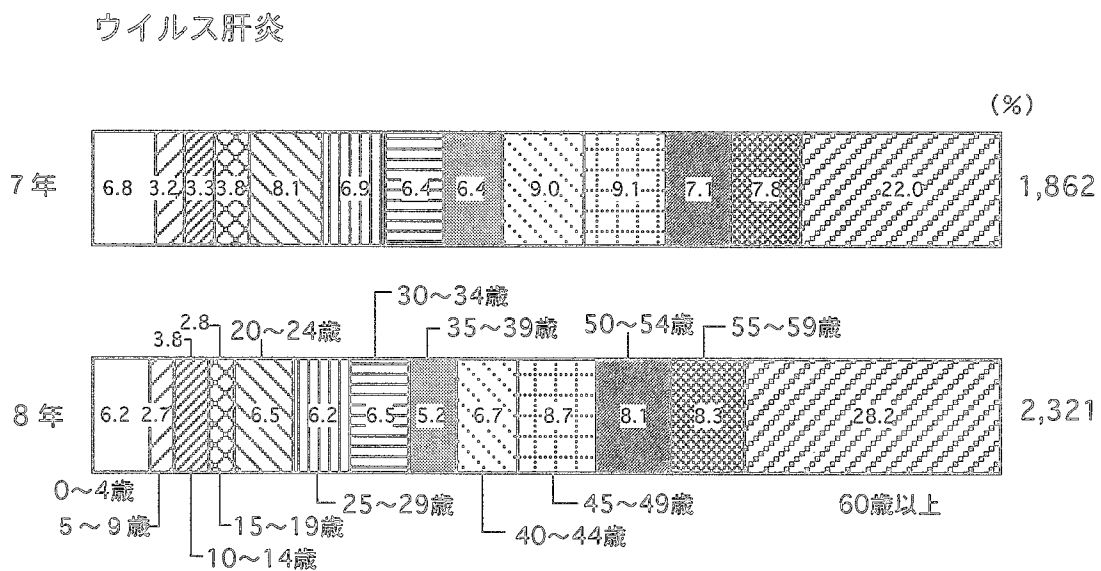
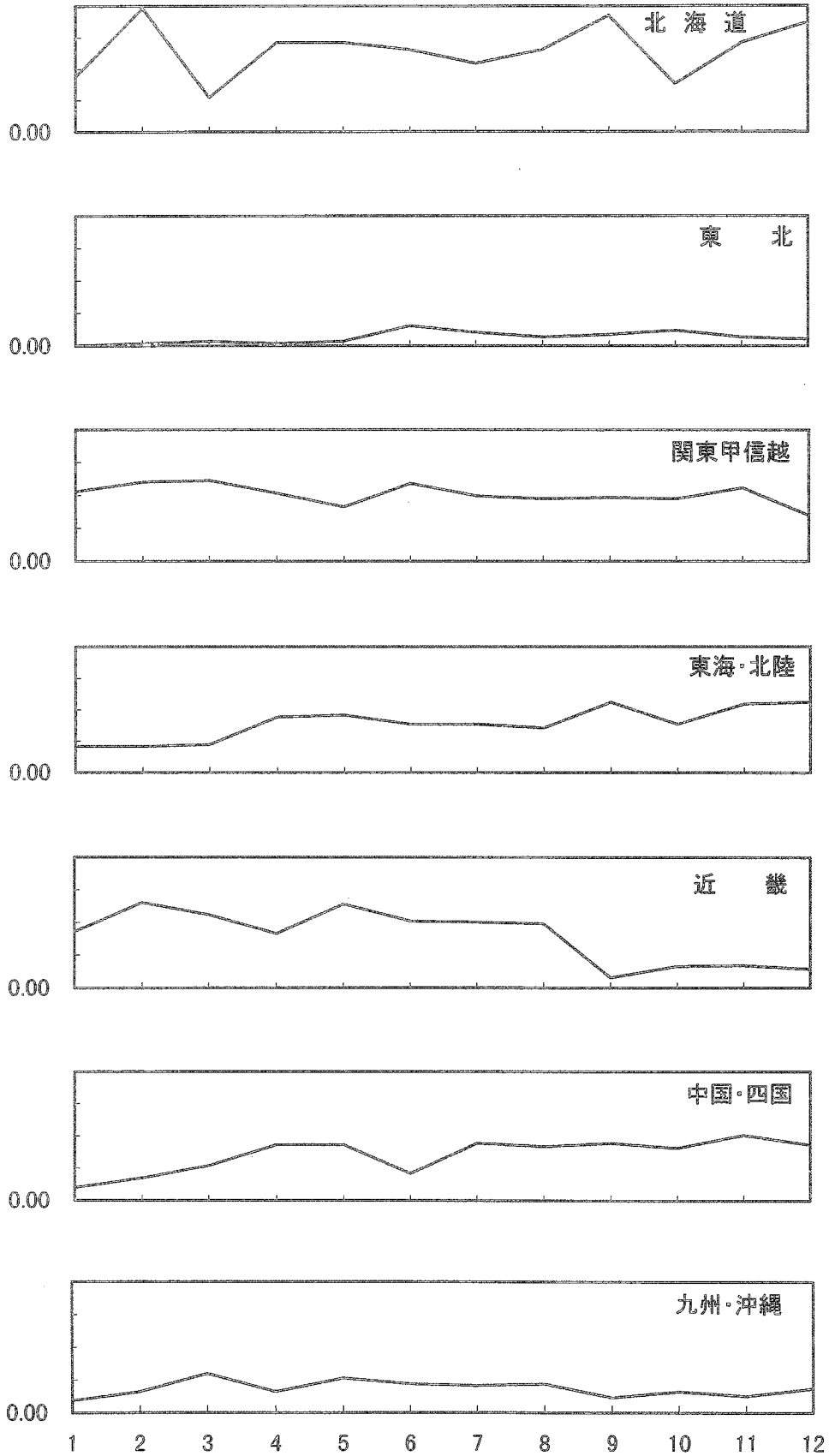


図1-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of viral hepatitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

ウイルス肝炎



MAX=1.06 平成8年

図1-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of viral hepatitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.

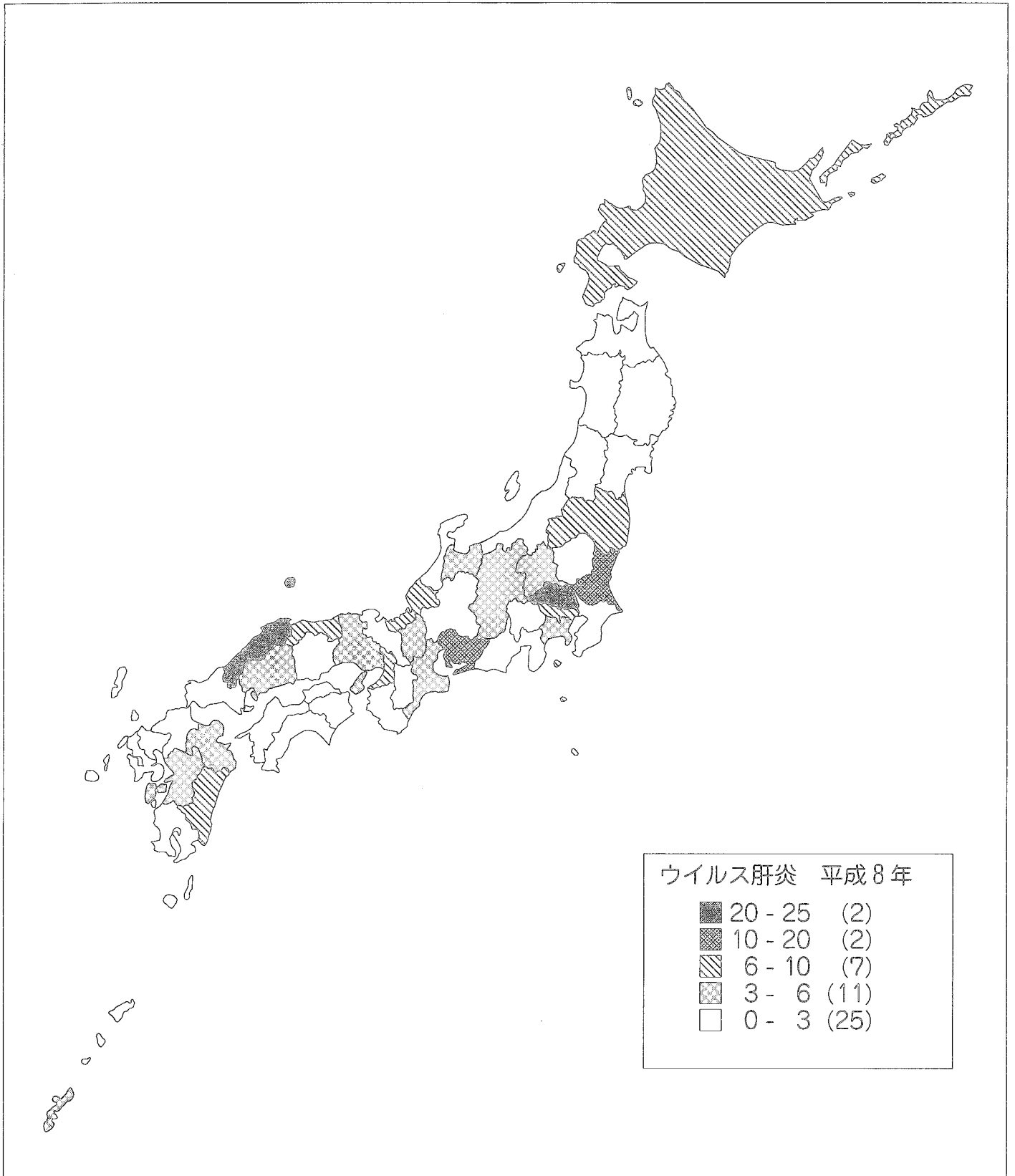


図2-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis A per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

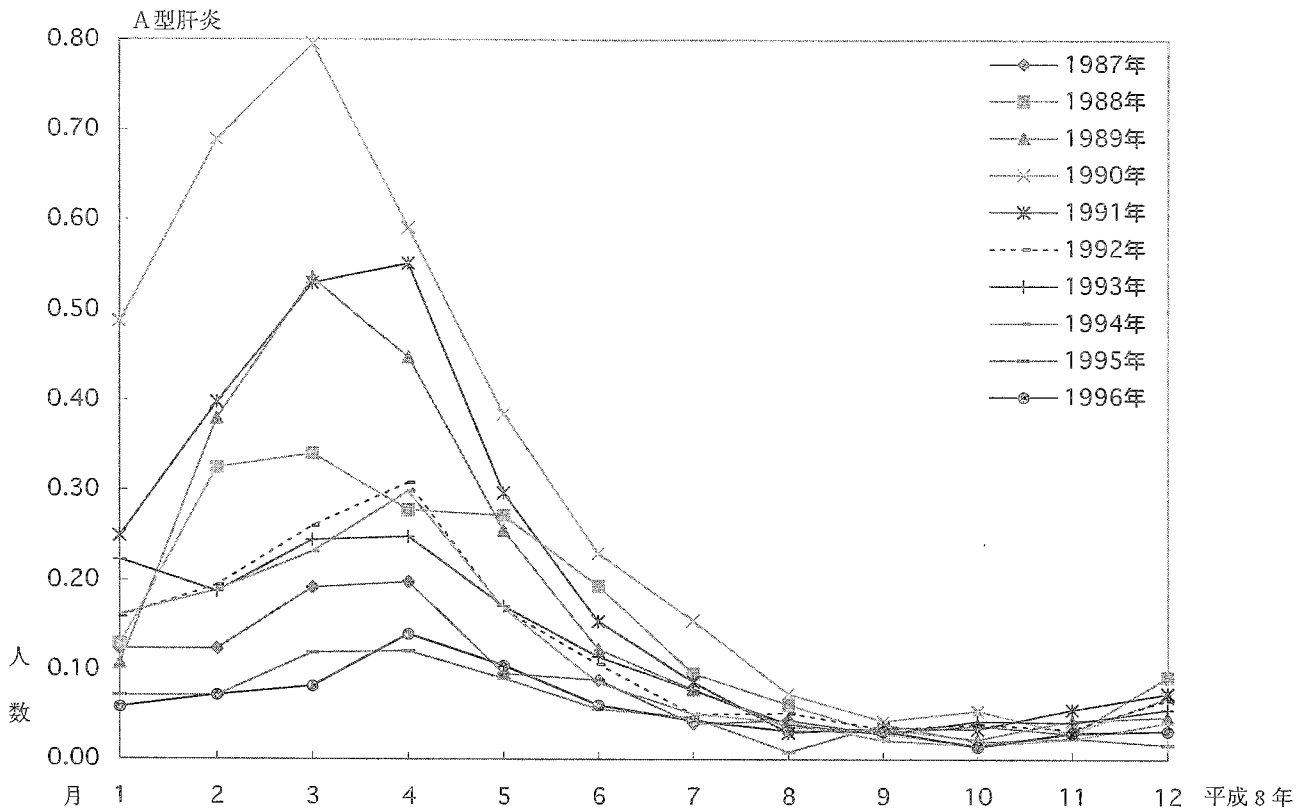


図2-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of hepatitis A, Japan, 1995-1996.

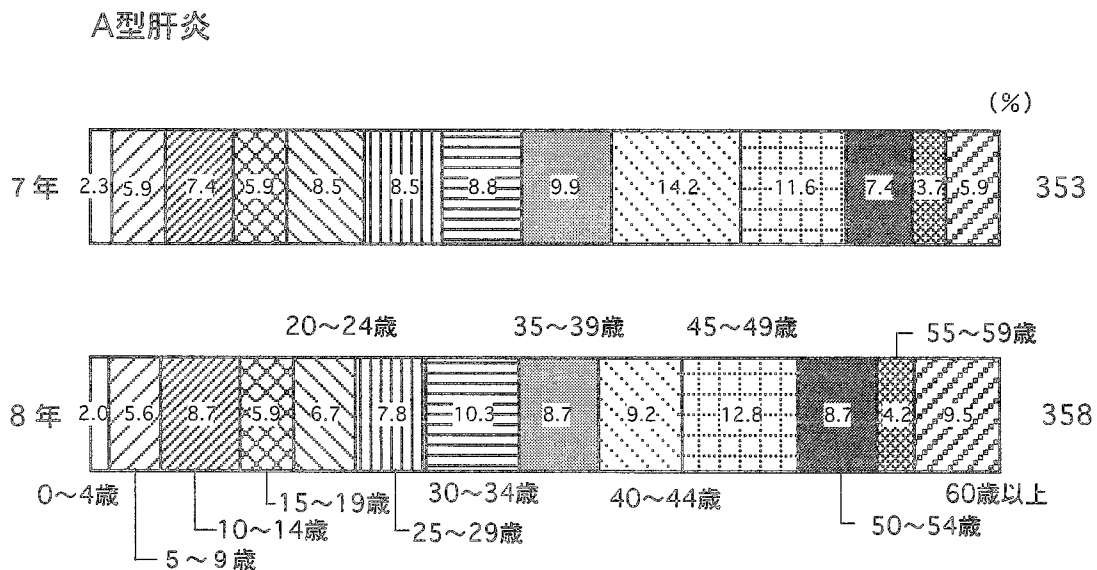


図2-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis A per reporting clinic, by geographical area, 1996.

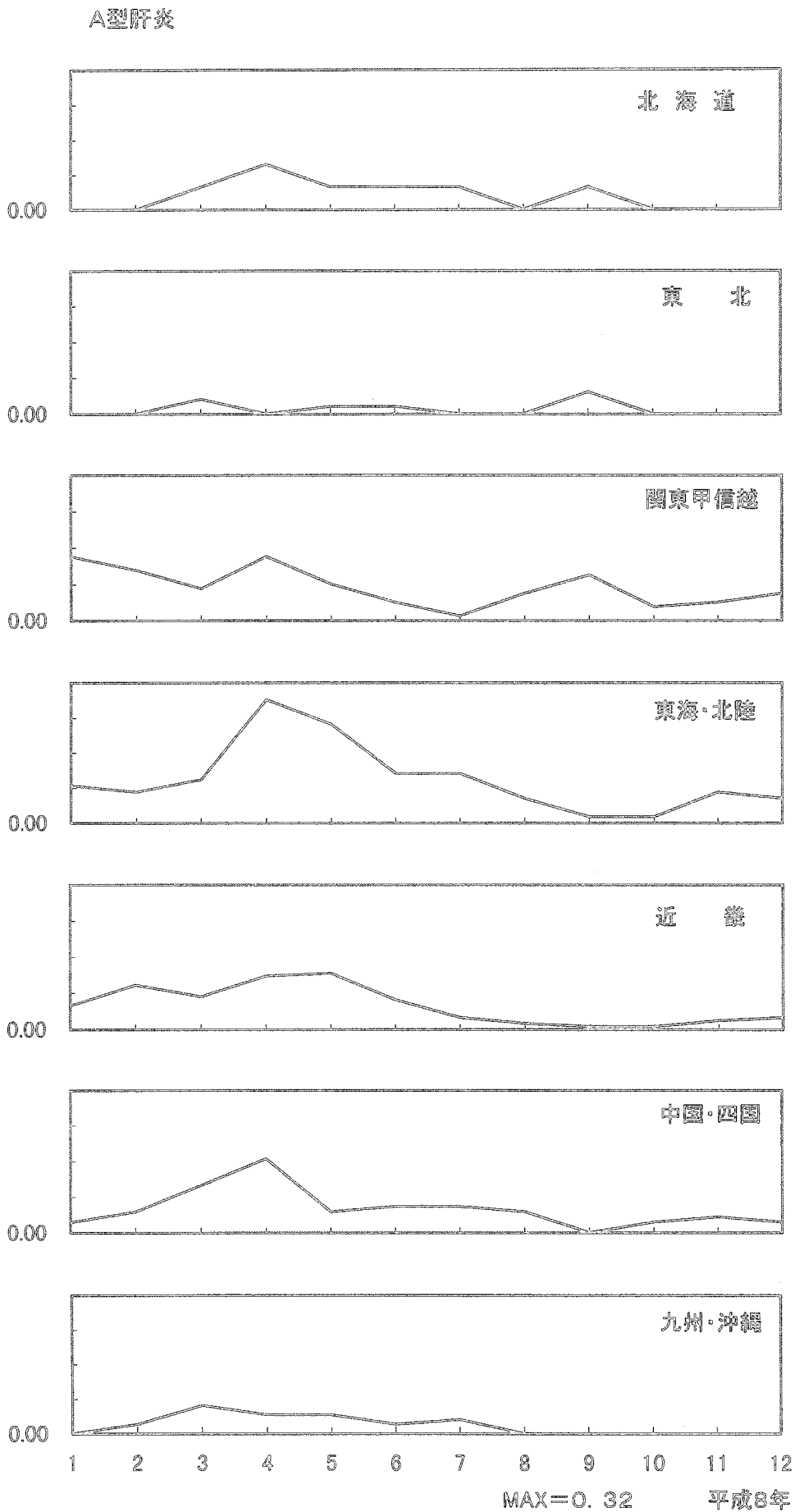


图2-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of hepatitis A per reporting hospital, by prefecture, 1996.

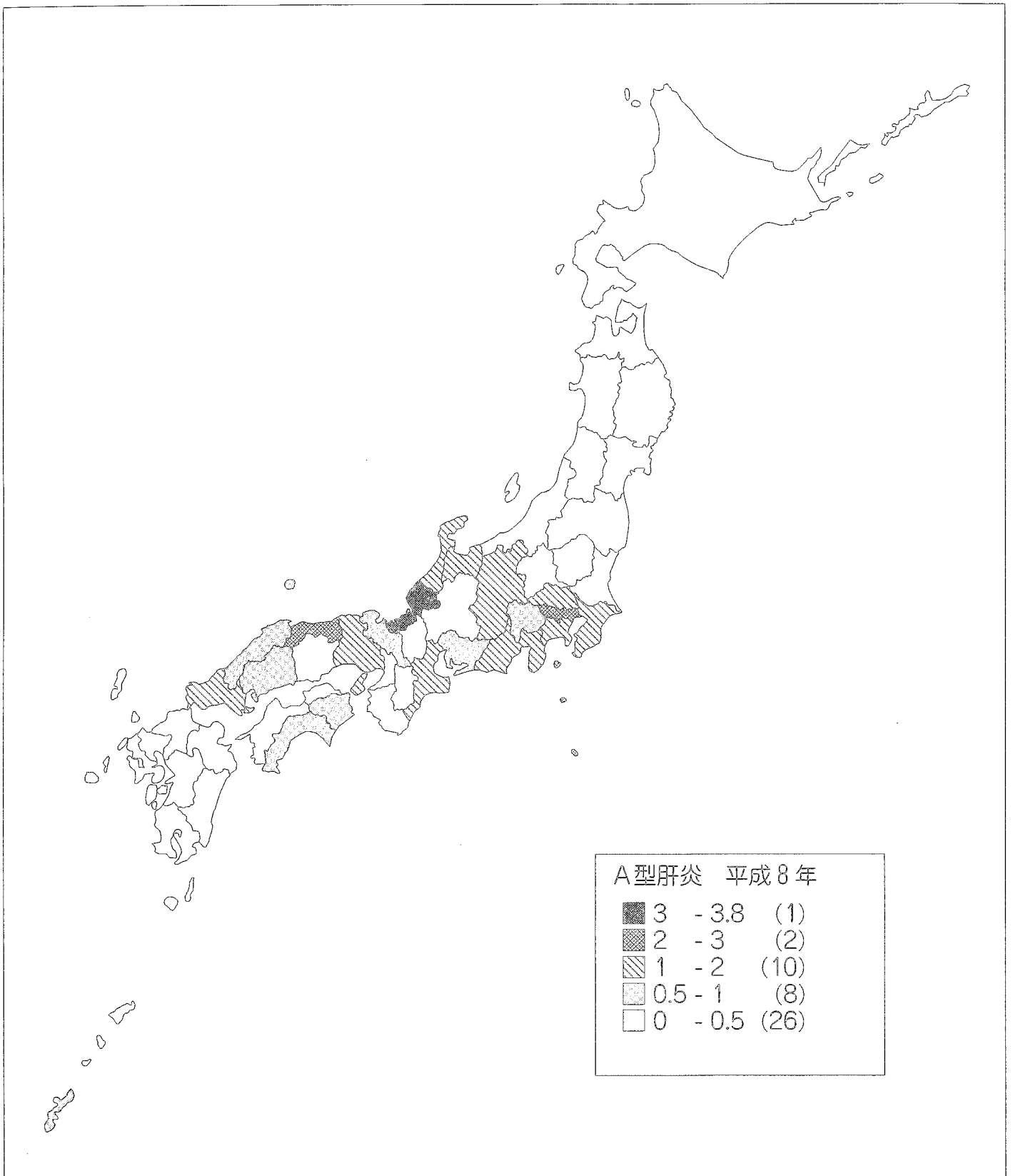


图3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis B per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

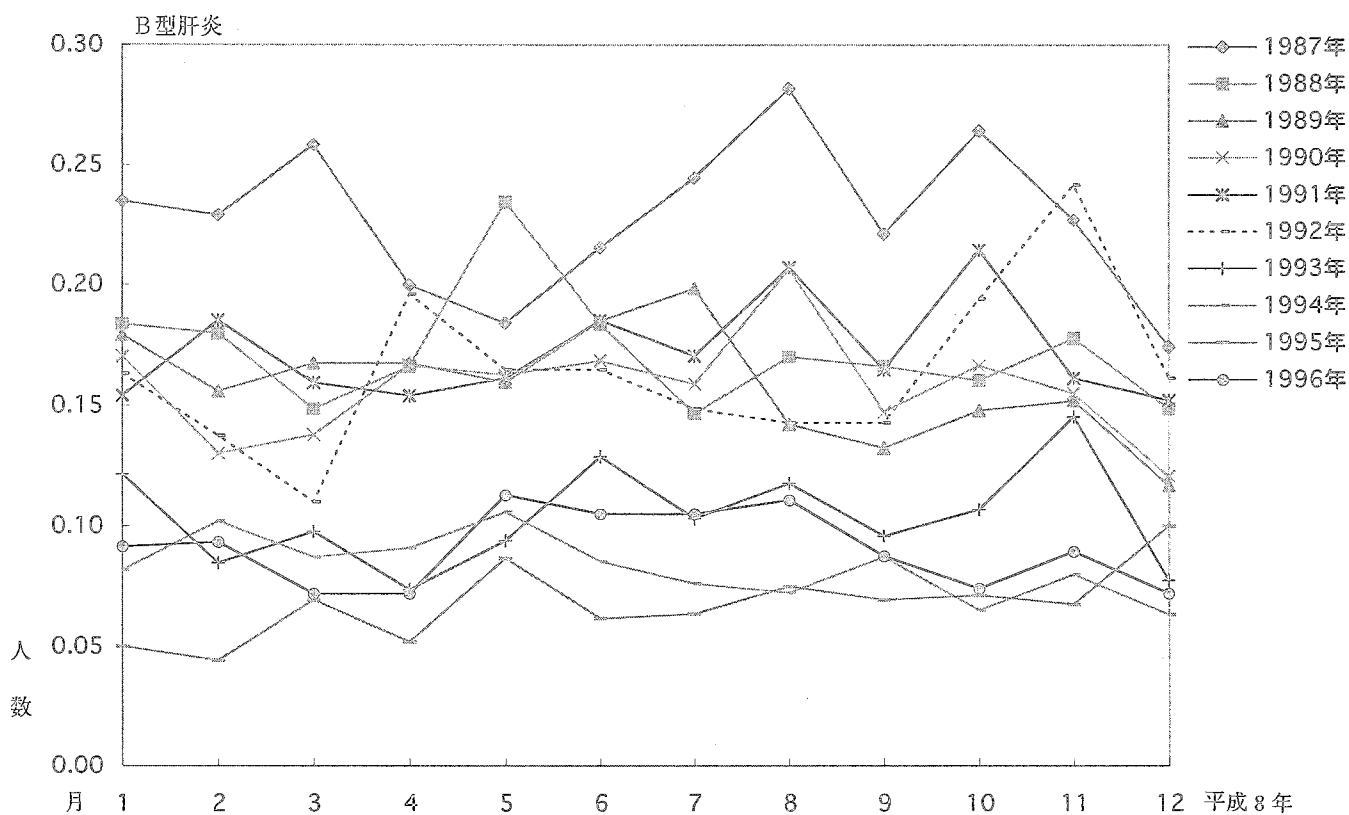


图3-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of hepatitis B, Japan, 1995-1996.

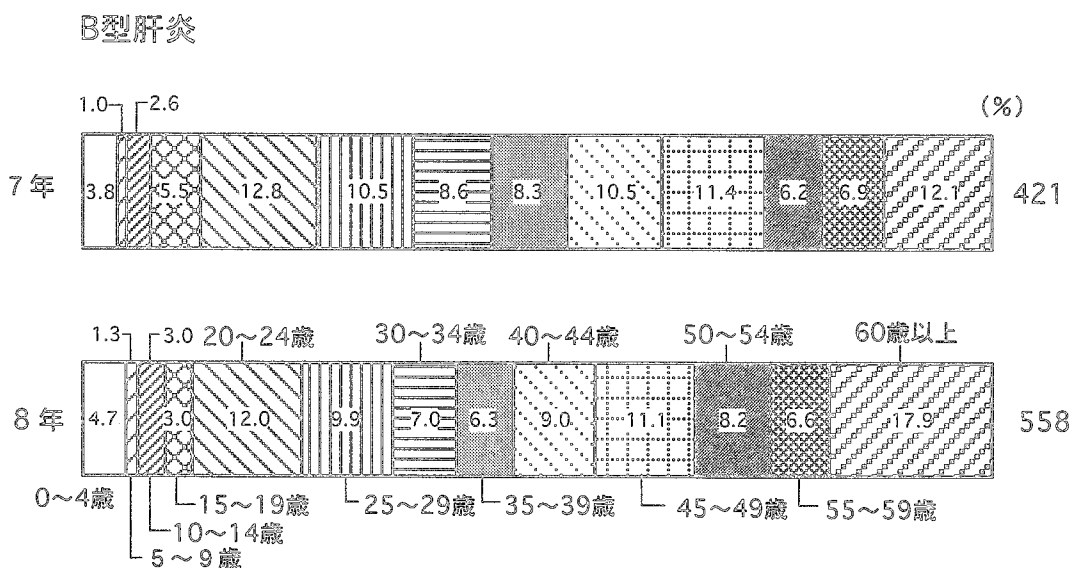


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of hepatitis B per reporting clinic, by geographical area, 1996.

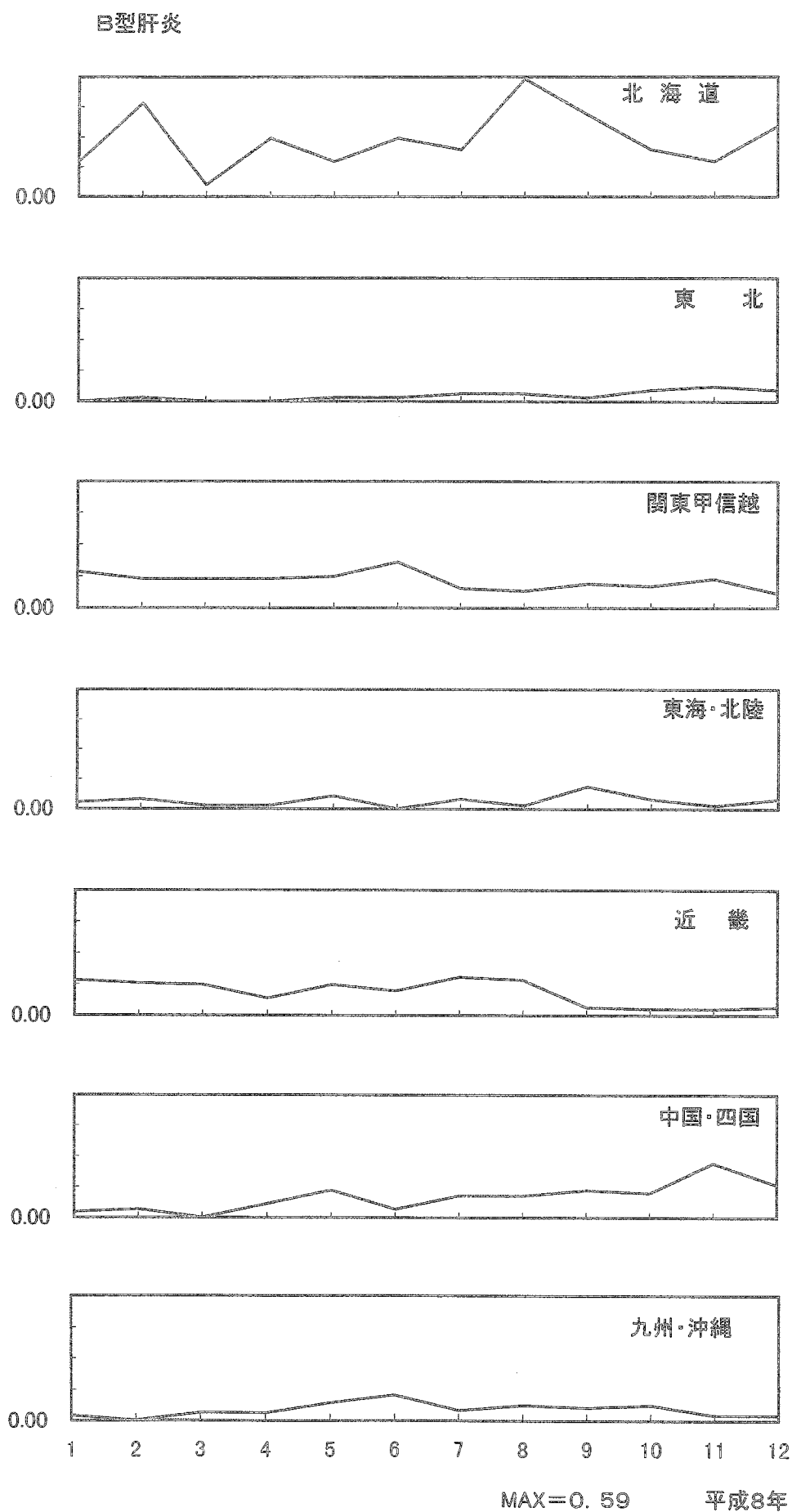


図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of hepatitis B per reporting hospital, by prefecture, 1996.

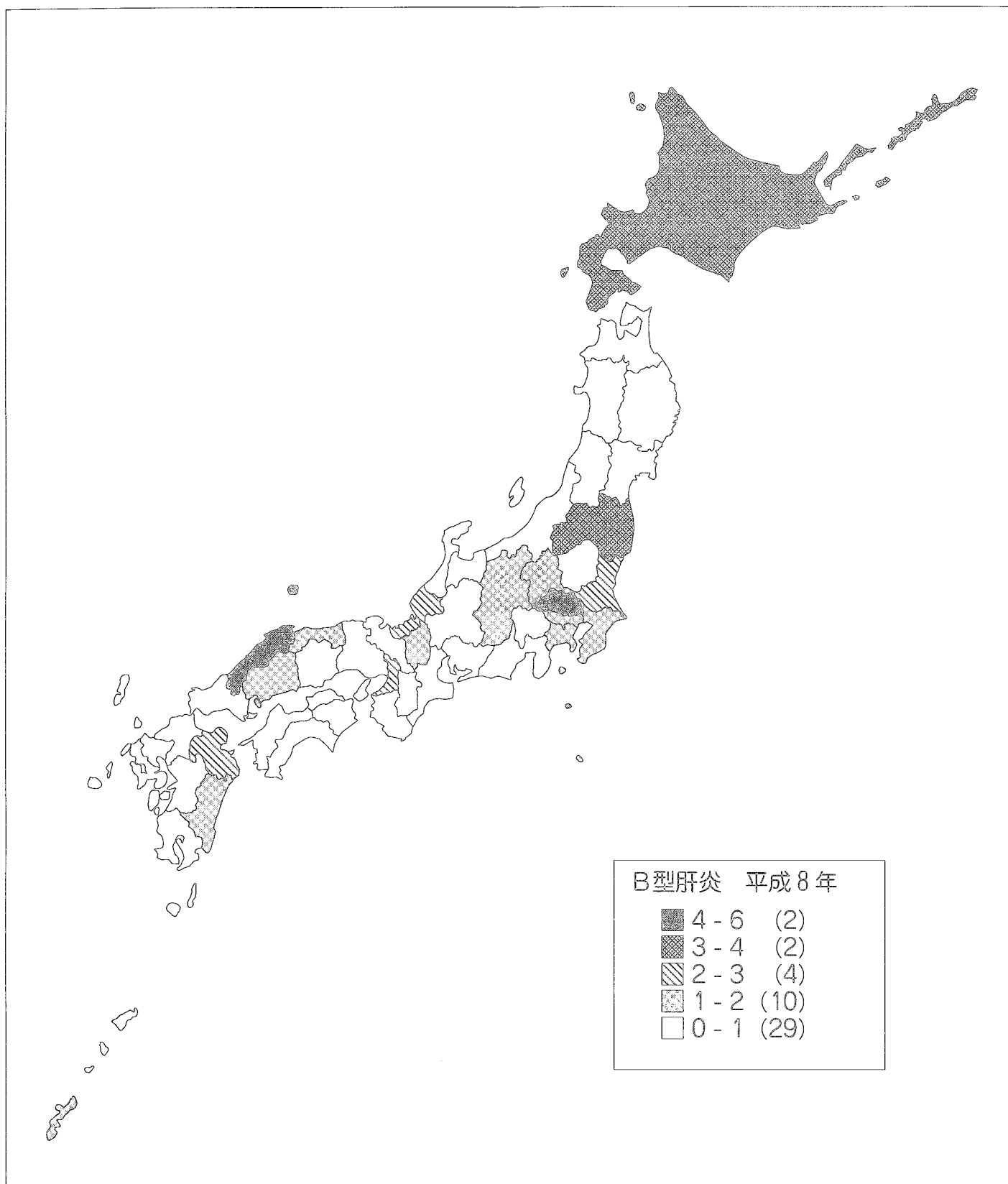


図4-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of non-A, non-B hepatitis per reporting hospital, Japan, 1987-1996.

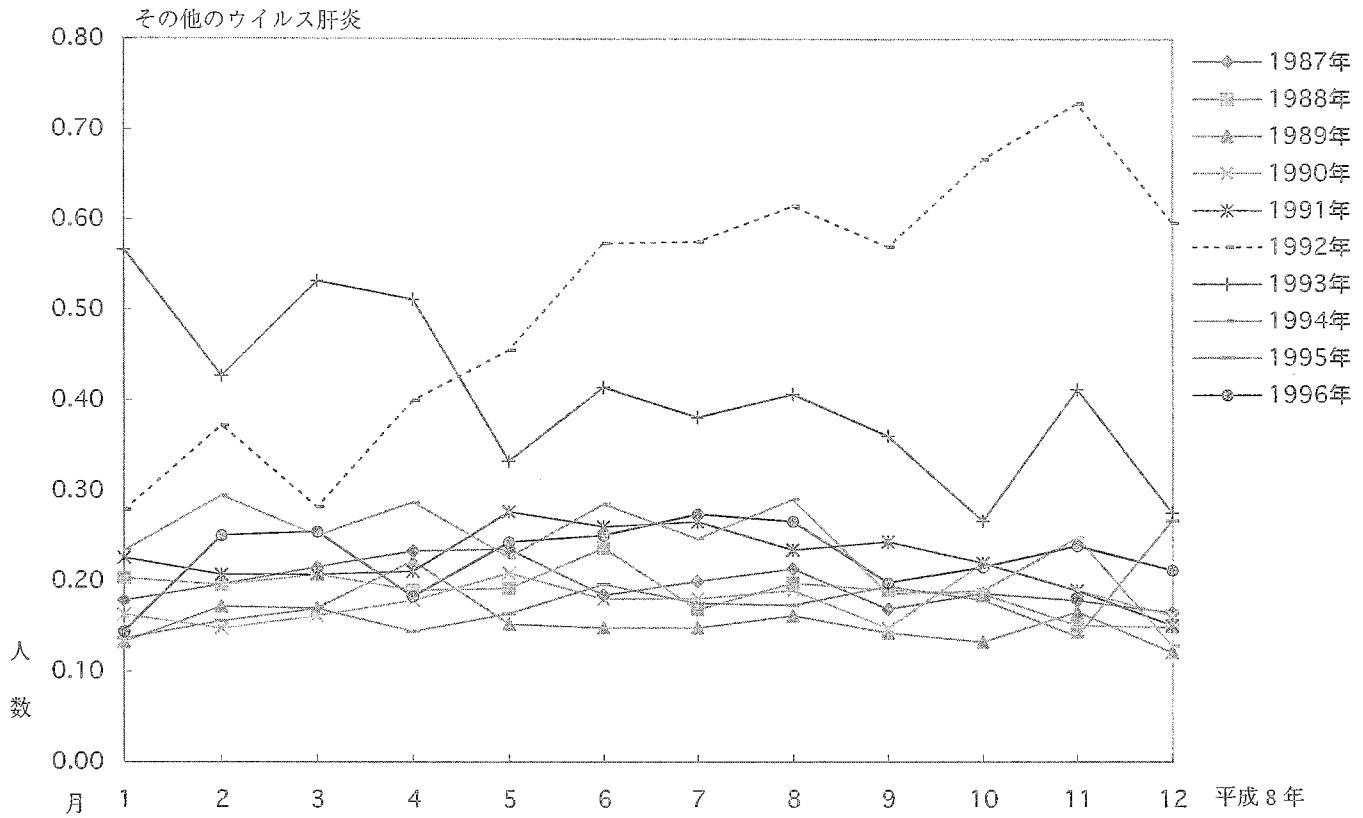


図4-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of non-A, non-B hepatitis, Japan, 1995-1996.

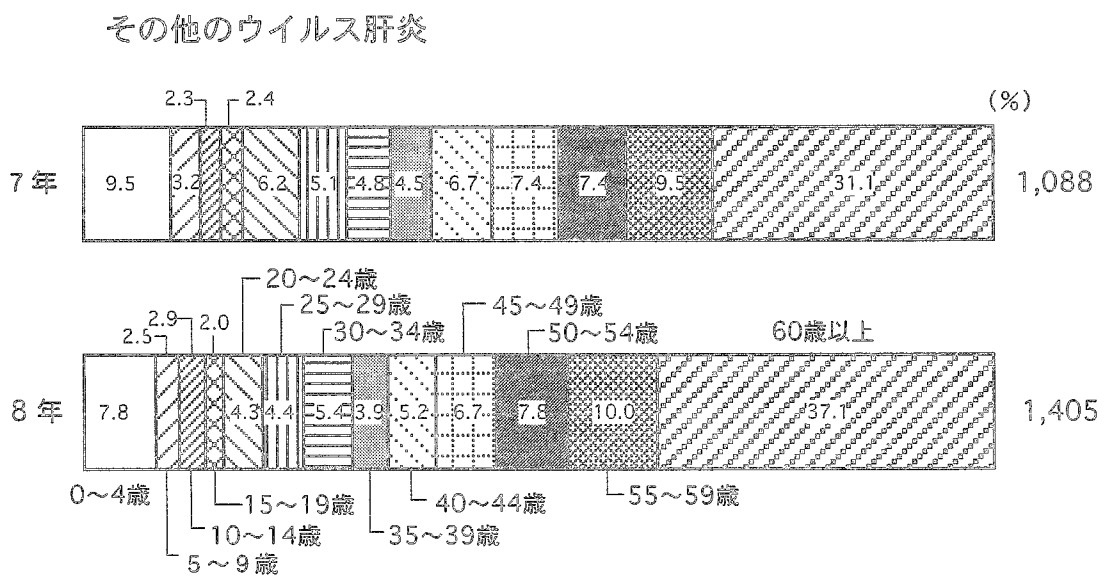


図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of non-A, non-B hepatitis per reporting hospital, by geographical area, 1996.

その他のウイルス肝炎

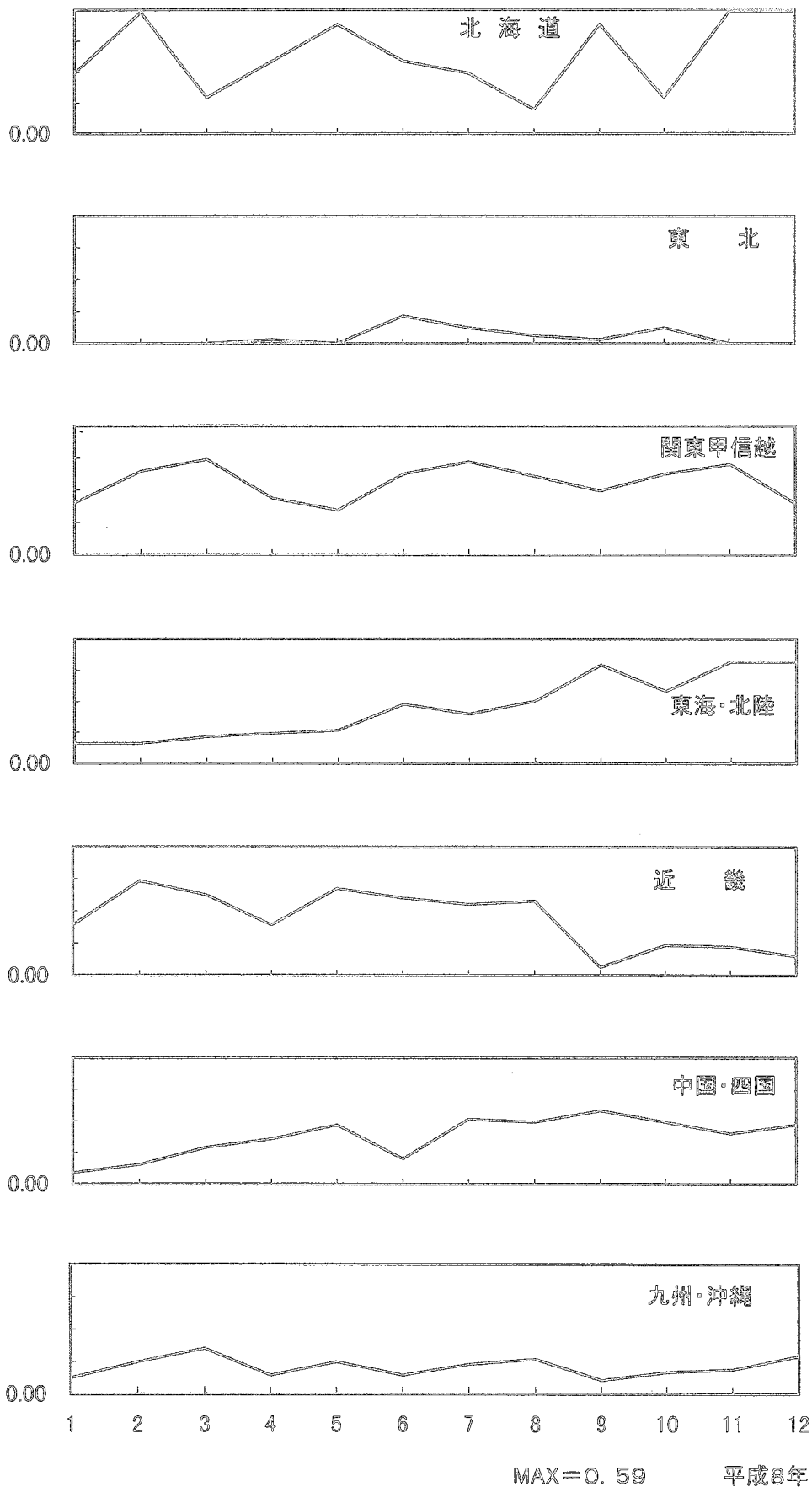
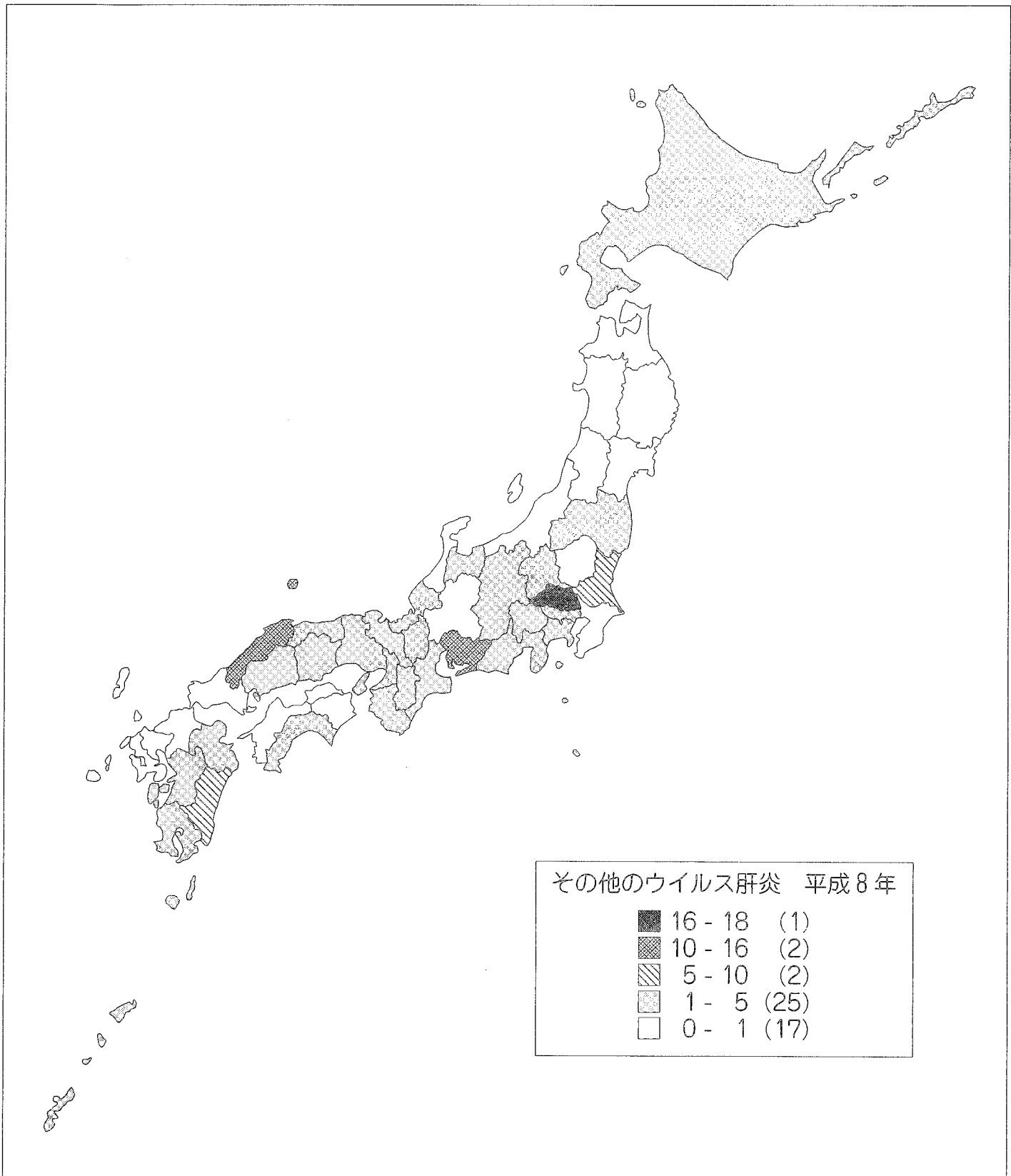


図4-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of non-A, non-B hepatitis per reporting hospital, by prefecture, 1996.



IV. 性感染症

1. 淋病様疾患

(男性)

1992年度で著しく下降した発生数が95年夏頃から上昇傾向を示し始めたが、その傾向は96年も継続している。96年のカーブでのみに限ってみると夏が高く、その後やや下降しているかに見えるが、一般にSTDが夏に多いのは例年のことで、秋冬の下降傾向がそのまま来年に続く可能性は期待できない。

(女性)

男性と比べて報告症例数が少ないが、症例数の推移は男性でみられたものと同様な所見である。

2. 陰部クラミジア感染症

(男性)

96年初めやや増加傾向があるように見えたが、その後はほぼ昨年並みであり、全体として94年来みせていた増加傾向は頭打ちの様に見えるが、今後の観察を要するところである。

(女性)

男性での淋病様疾患と同様に96年は明らかに増加傾向を示している。

3. 陰部ヘルペス

(男性)

極めて僅かずつであるが、この92年以来段々と、報告症例数が下降している。

(女性)

男性とは異なり、昨年夏頃から徐々に上昇傾向がみられていたが、本年に入るとさらにその増加傾向がよりはっきりと認められるようになってきている。

4. 尖圭コンジローム

男性、女性とも全体として症例数が少ないこともあるが、極めて徐々にであるが、微減傾向にある。

5. トリコモナス症

男女とも（男性では症例数が著しく少ないが）全体としての症例数は減少傾向にあり、個人の衛生管理の行き届いている本邦では、トリコモナス症はSTDとしての性格はかなり低くなってきていると言ってよい。

図1 全国淋病様疾患に対する性感染症発生比率

Ratio of sexually transmitted disease cases to gonorrhoea cases, Japan, 1996.

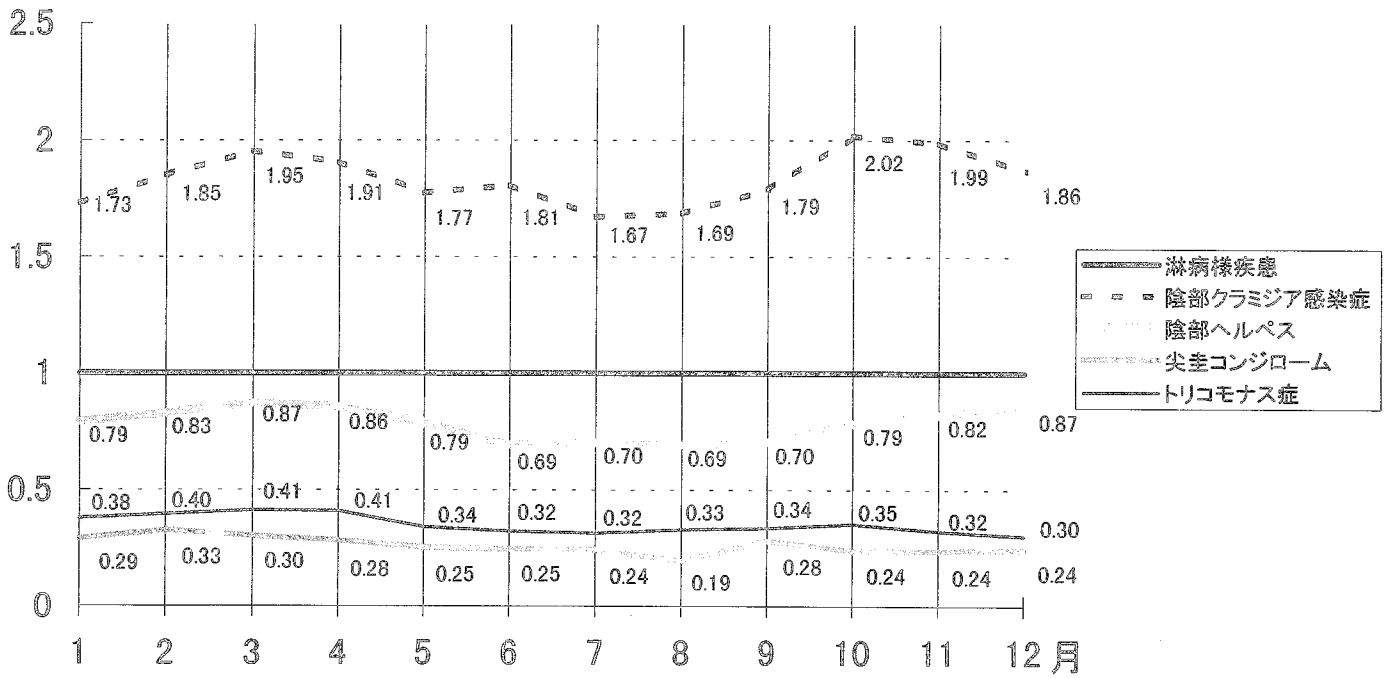
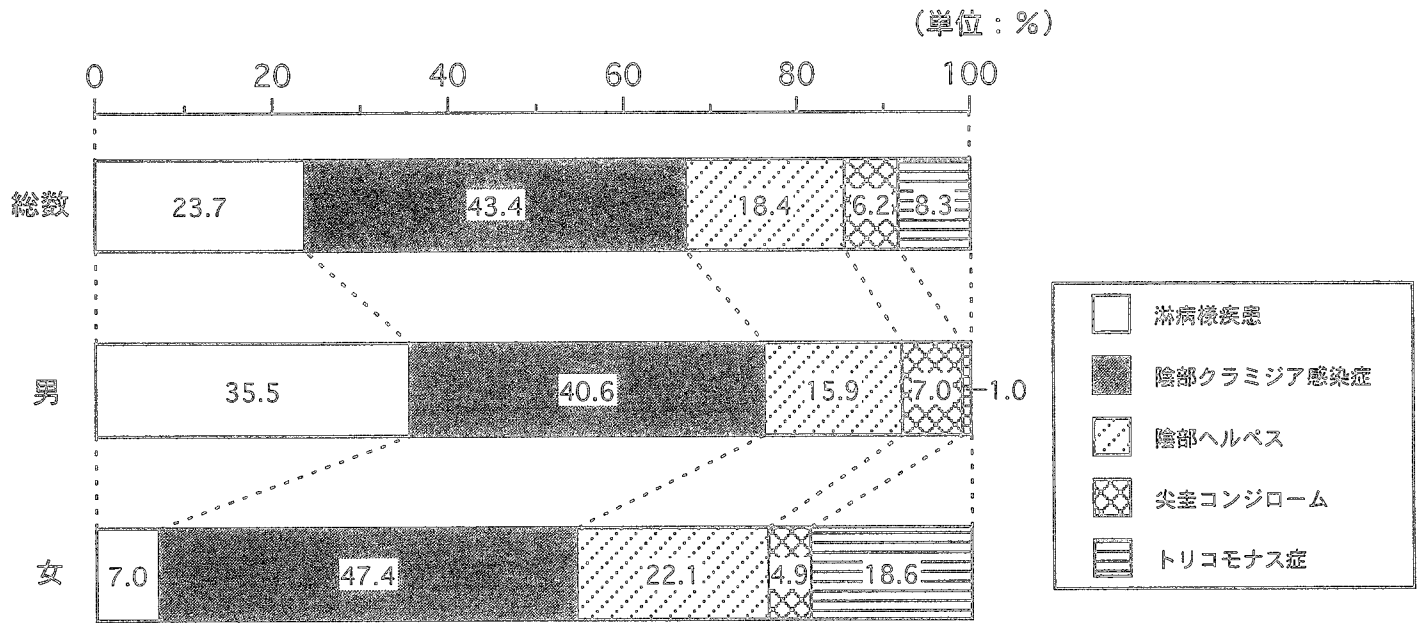


図2 平成8年、全国性別疾患発生割合

Proportion of reported cases of sexually transmitted disease, Japan, 1996.



	総数	男	女
淋病様疾患	7,949	6,988	961
陰部クラミジア感染症	14,534	7,984	6,550
陰部ヘルペス	6,177	3,131	3,046
尖圭コンジローム	2,060	1,379	681
トリコモナス症	2,772	207	2,565

図3-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of gonorrhoea per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

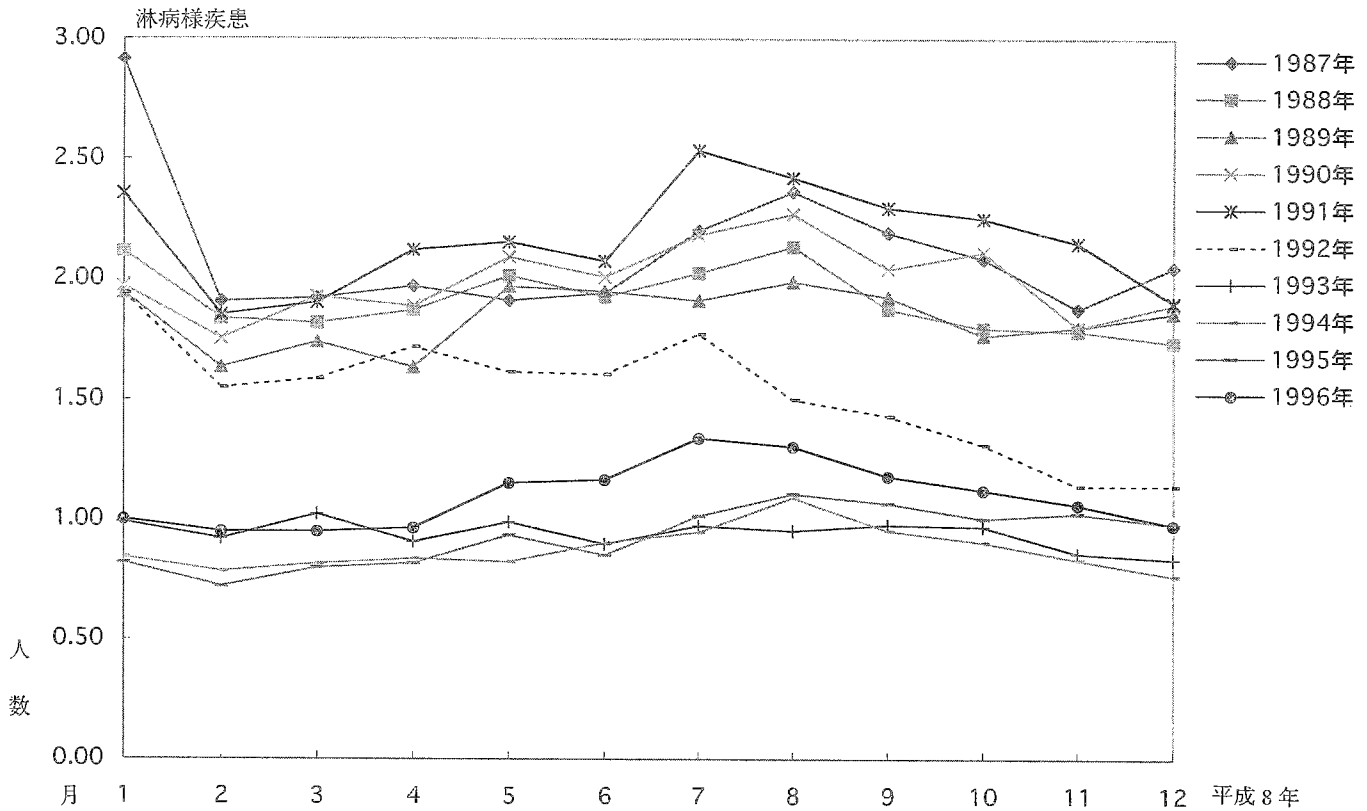


図3-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of gonorrhoea, Japan, 1995-1996.

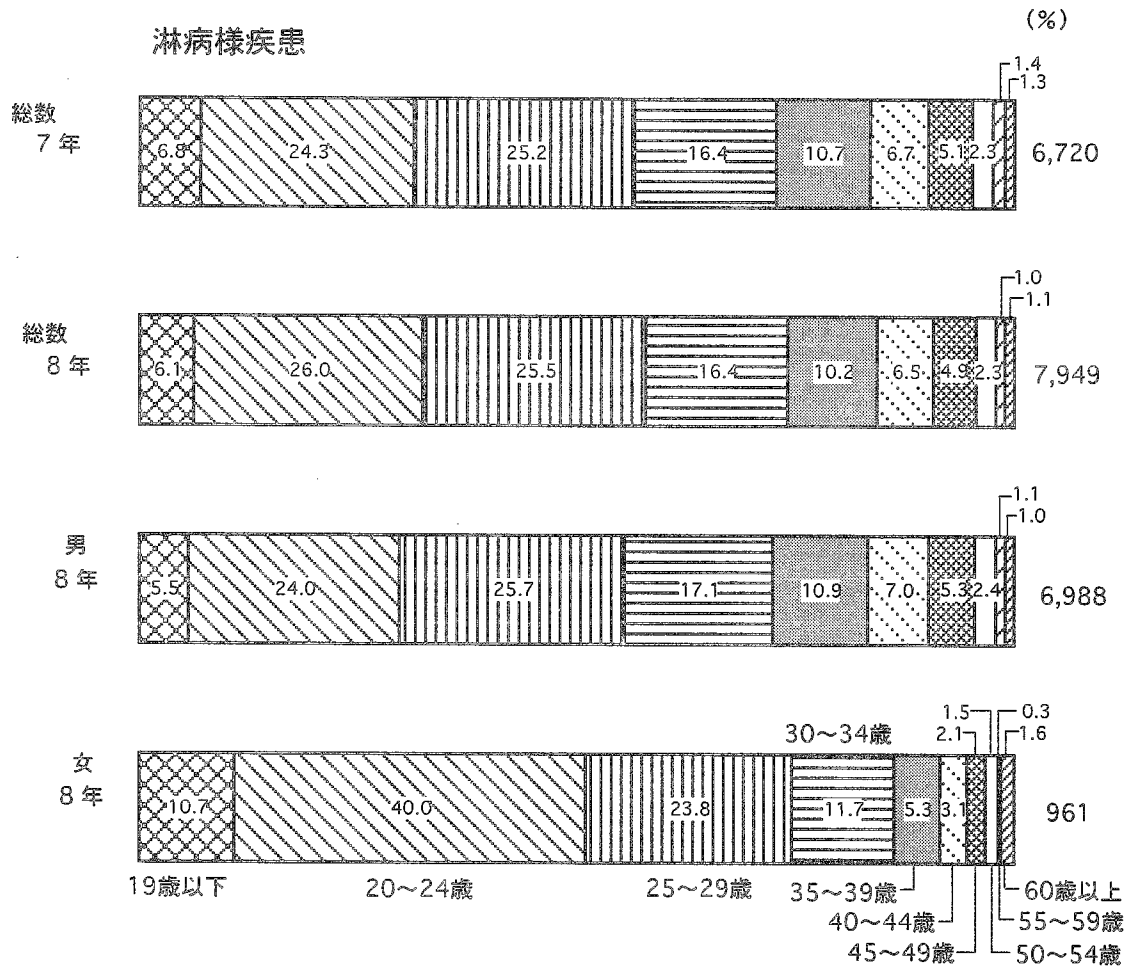
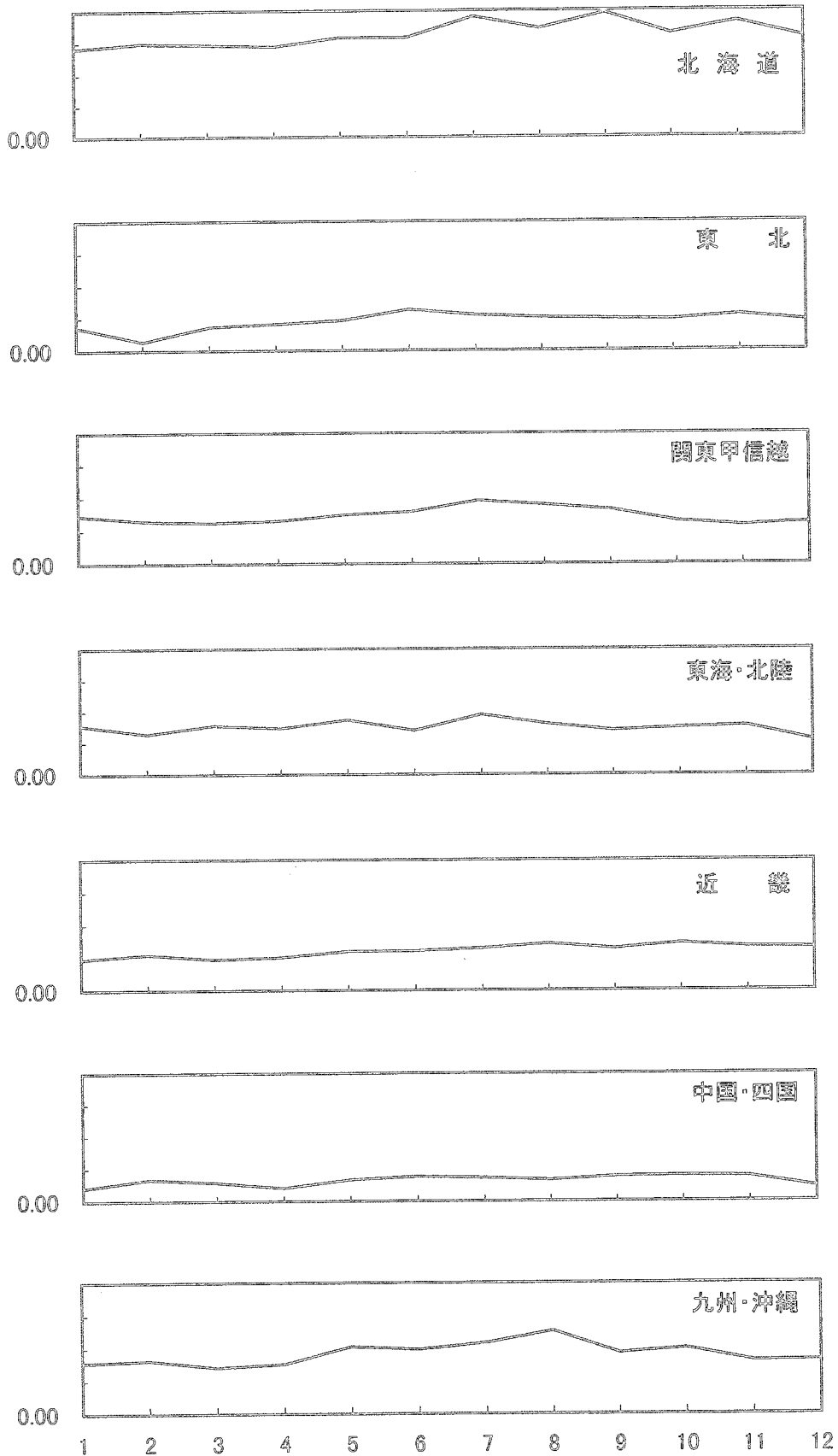


図3-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of gonorrhoea per reporting clinic, by geographical area, 1996.

淋病様疾患



MAX=3.13 平成8年

図3-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of gonorrhoea per reporting clinic, by prefecture, 1996.

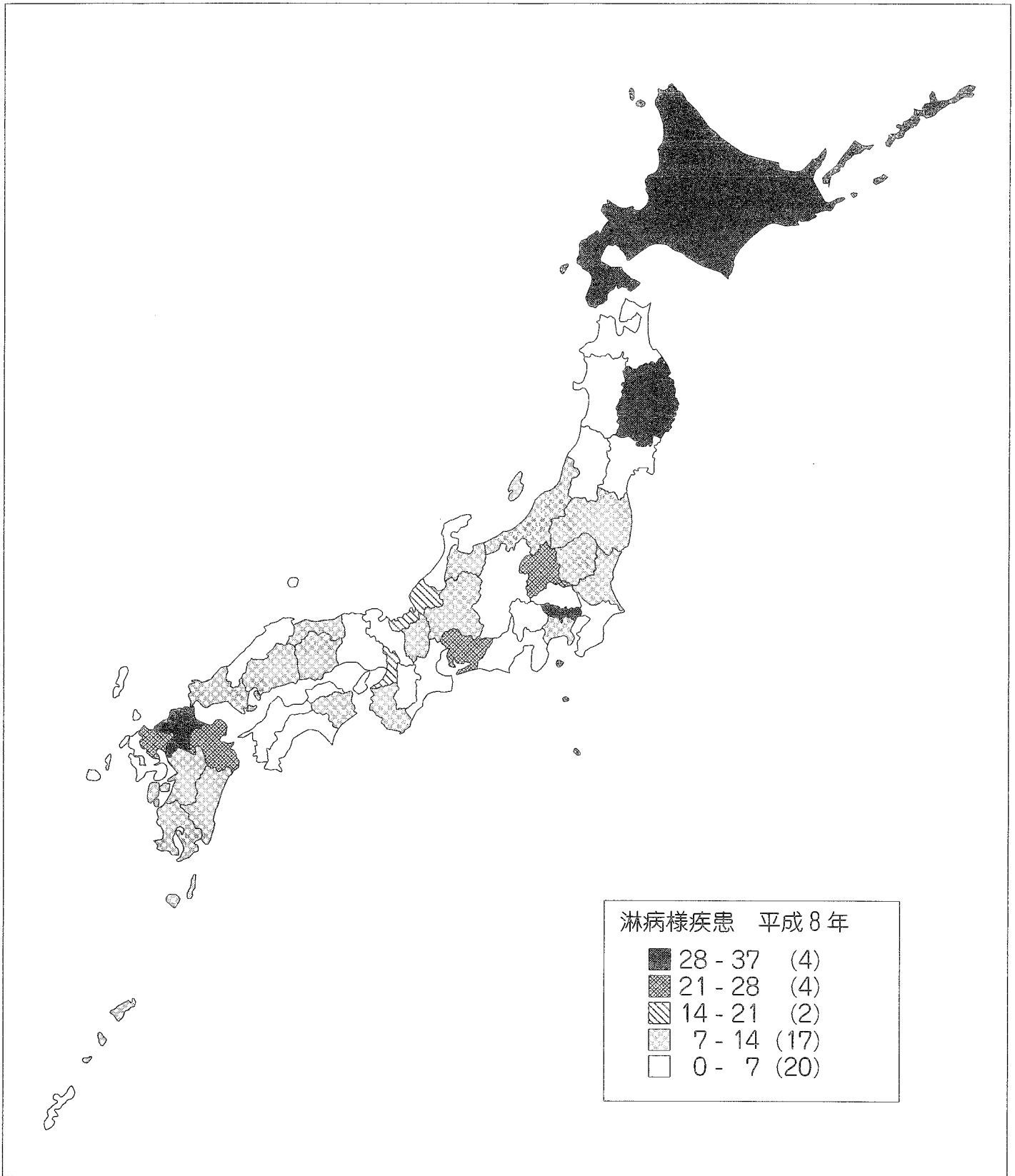


図4-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital chlamydial infection per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

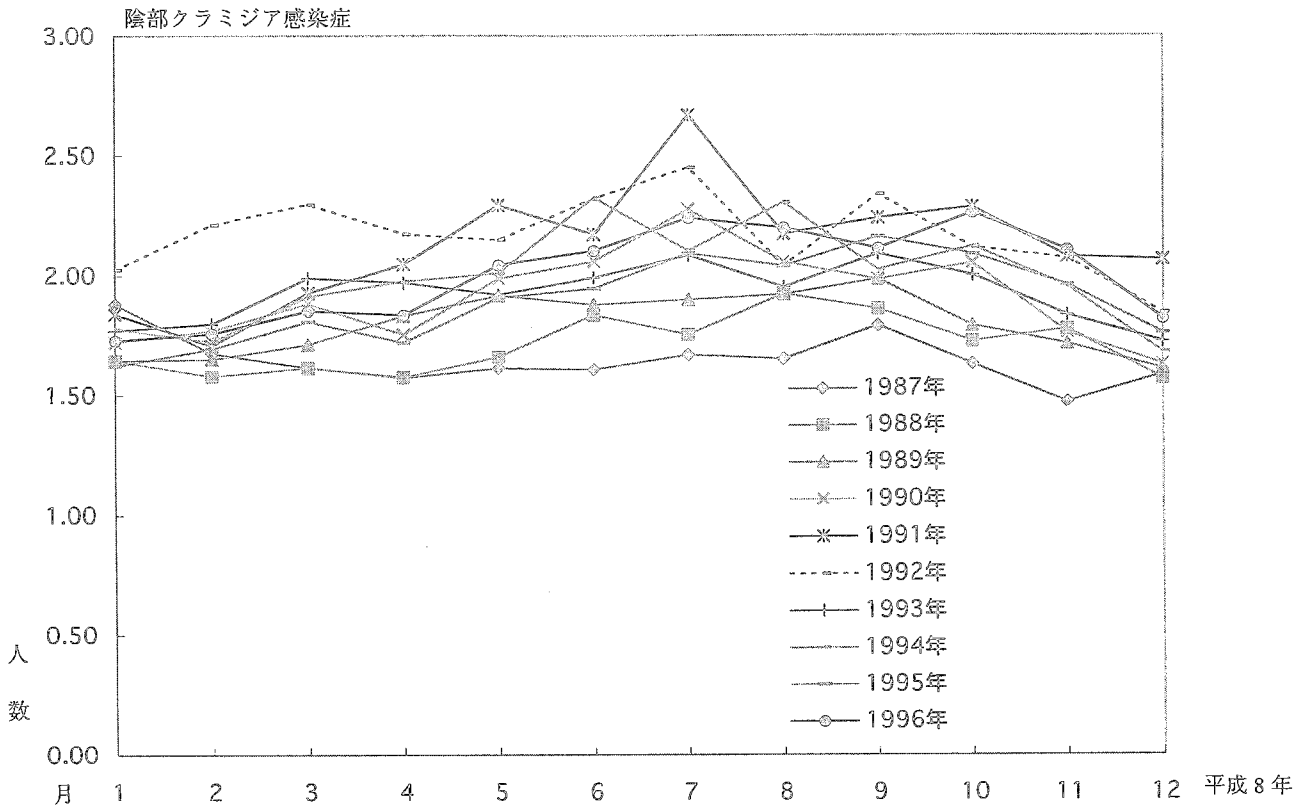


図4-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of genital chlamydial infection, Japan, 1995-1996.

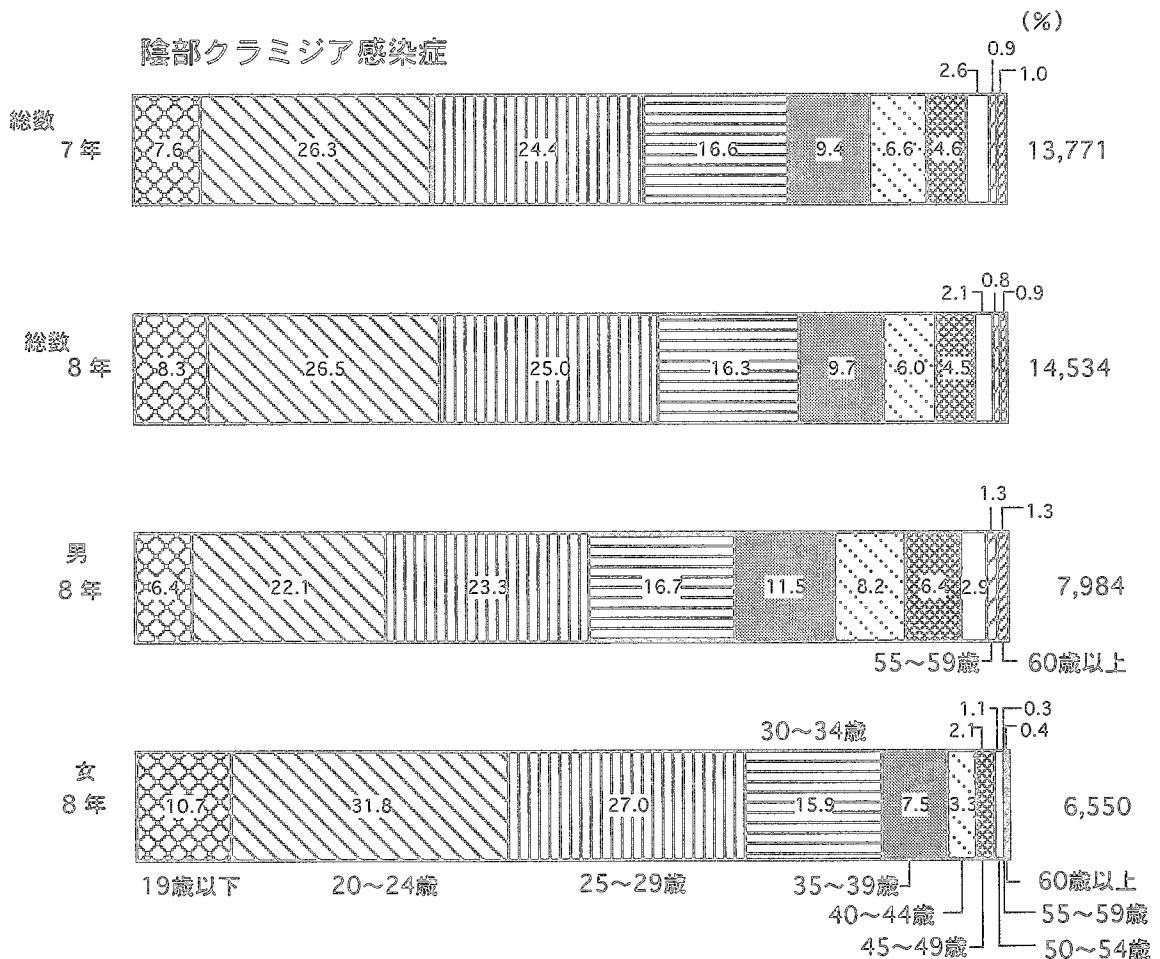


図4-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital chlamydial infection per reporting clinic, by geographical area, 1996.

陰部クラミジア感染症

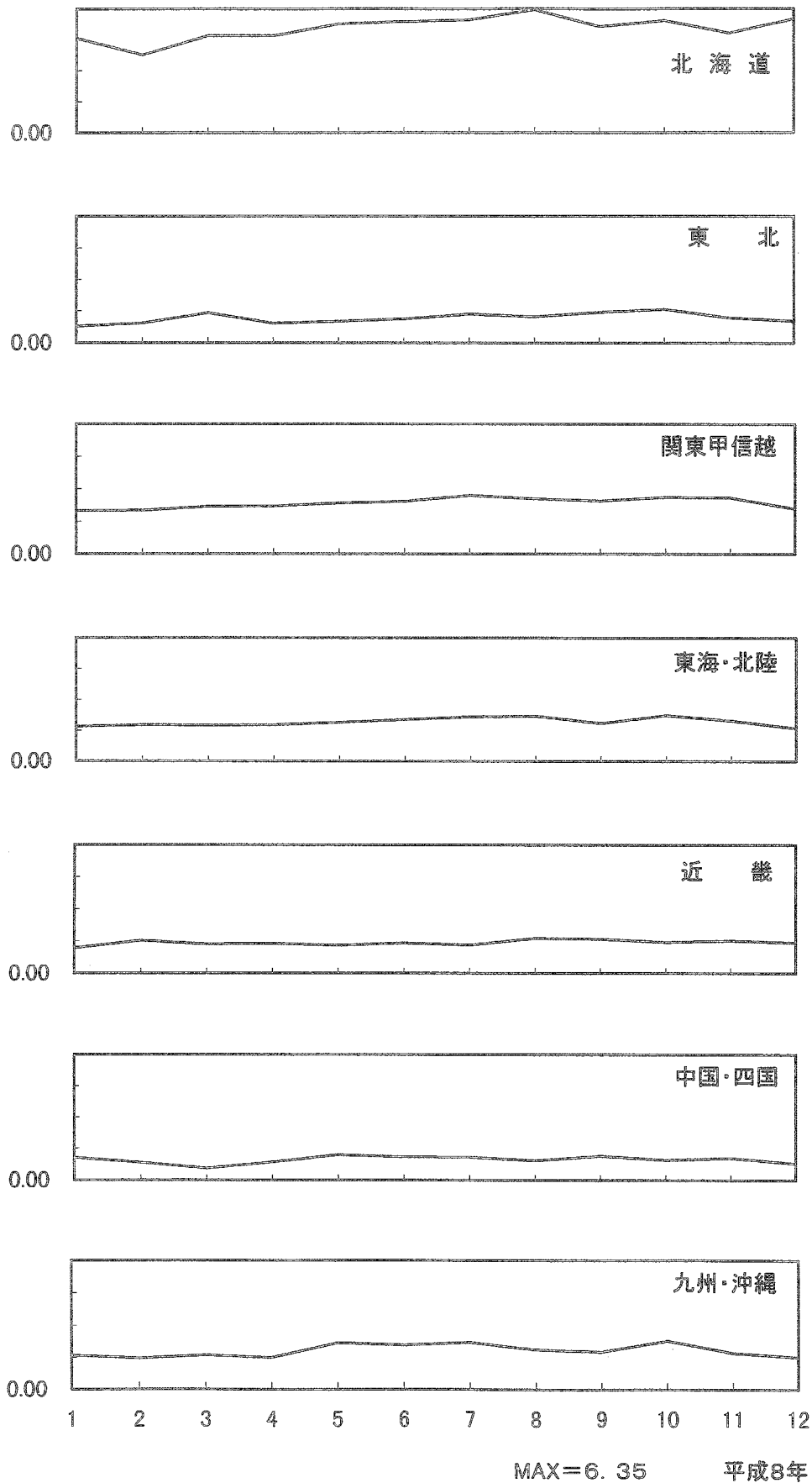


図 4-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of genital chlamydial infection per reporting clinic, by prefecture, 1996.

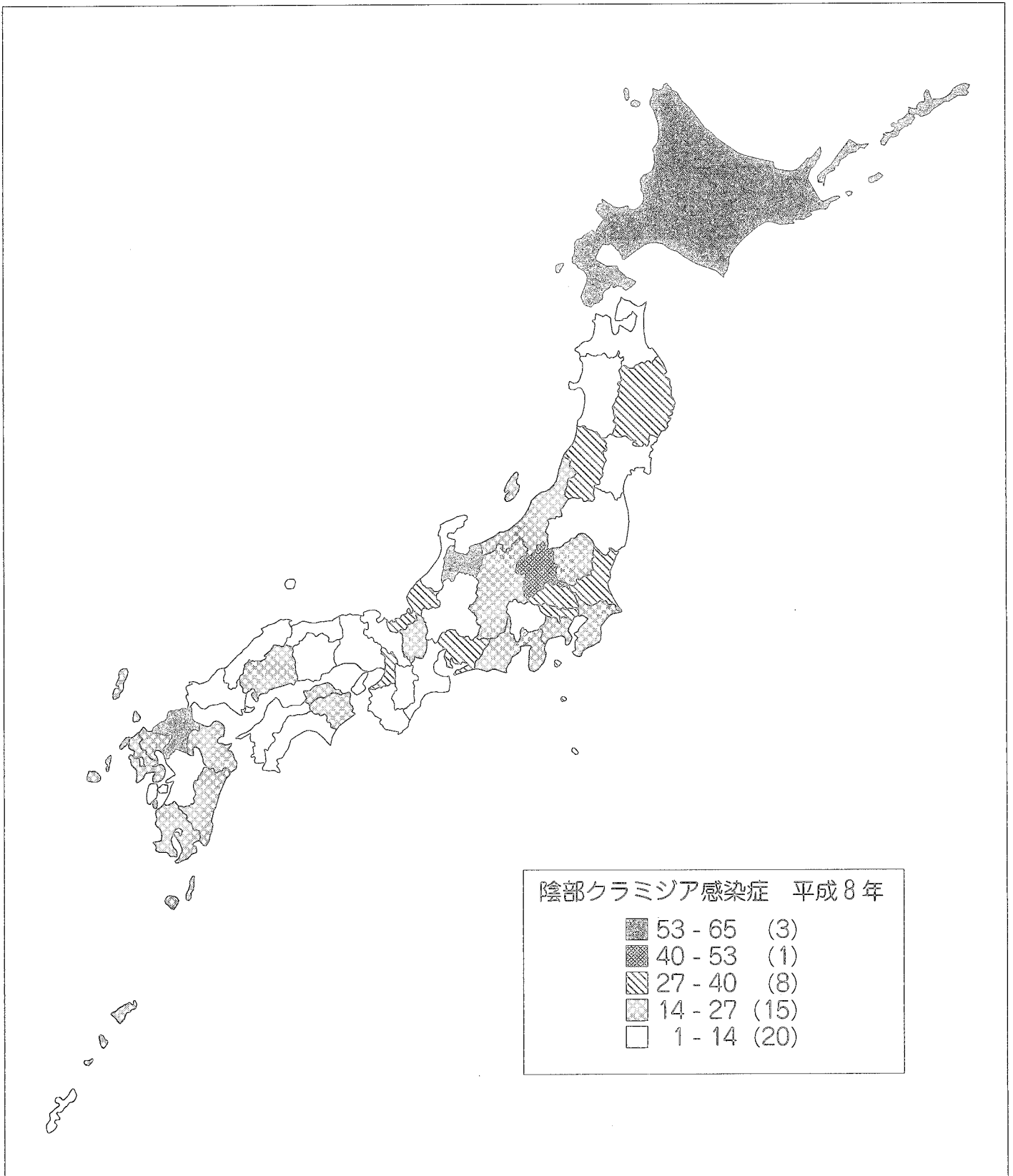
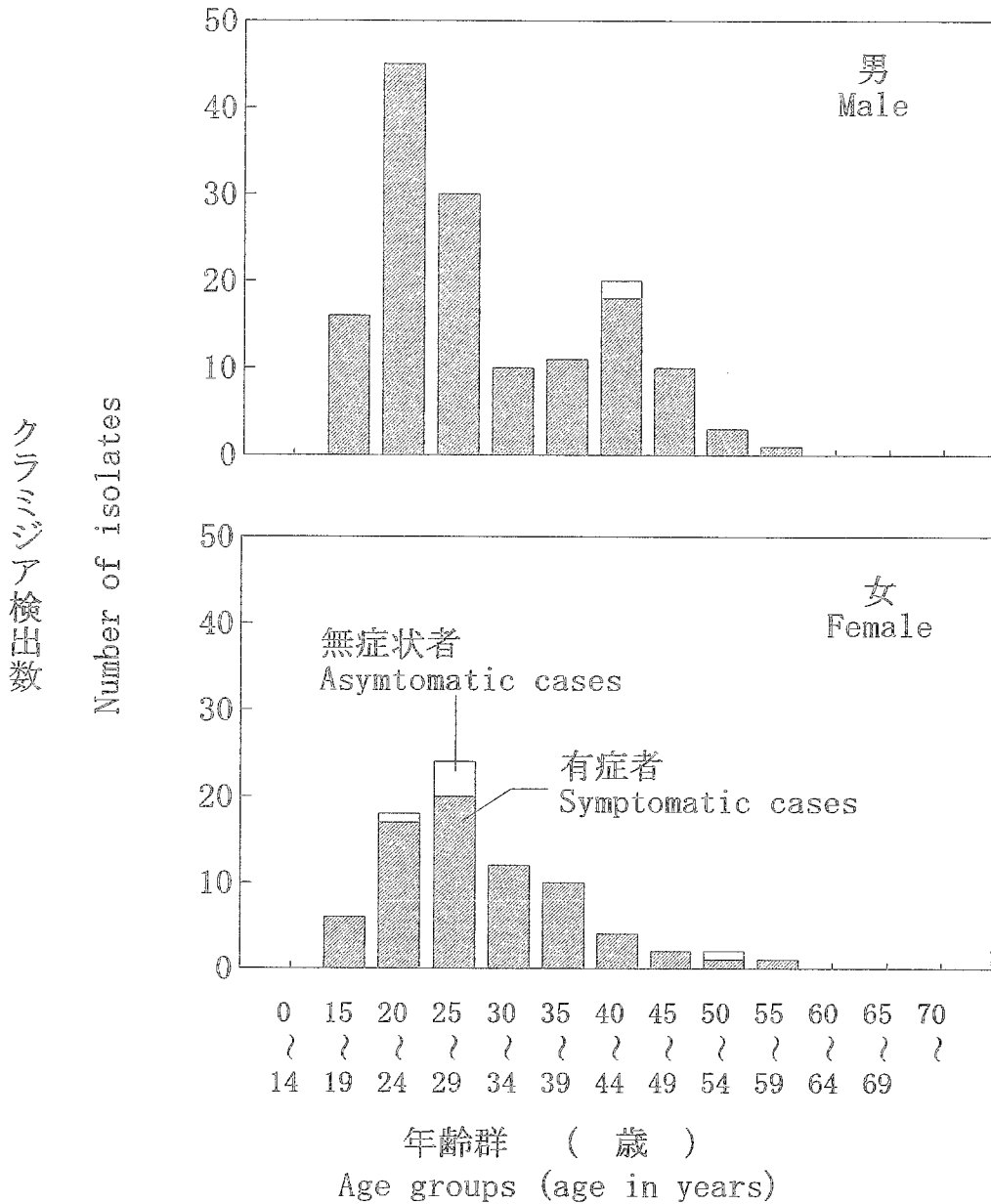


図4-5 泌尿生殖器由来の性別年齢別クラミジア検出状況、1996年

Detection of chlamydiae from genitourinary sources, by age and sex of cases, Japan, 1996.



注) 検体が泌尿生殖器由来の例を集計した
年齢不詳を除く
Chlamydia isolation from genitourinary sources
Excluding cases of unknown ages

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

図5-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital herpes per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

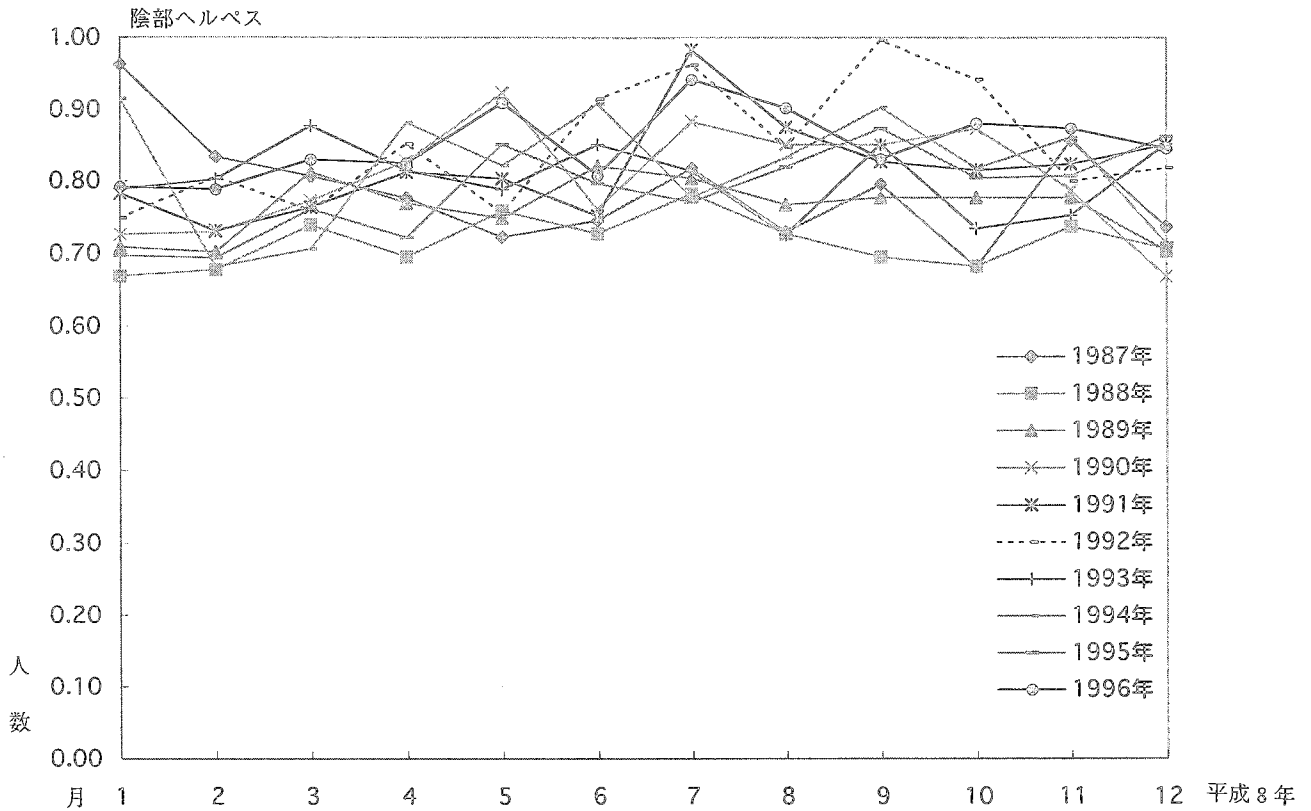


図5-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of genital herpes, Japan, 1995-1996.

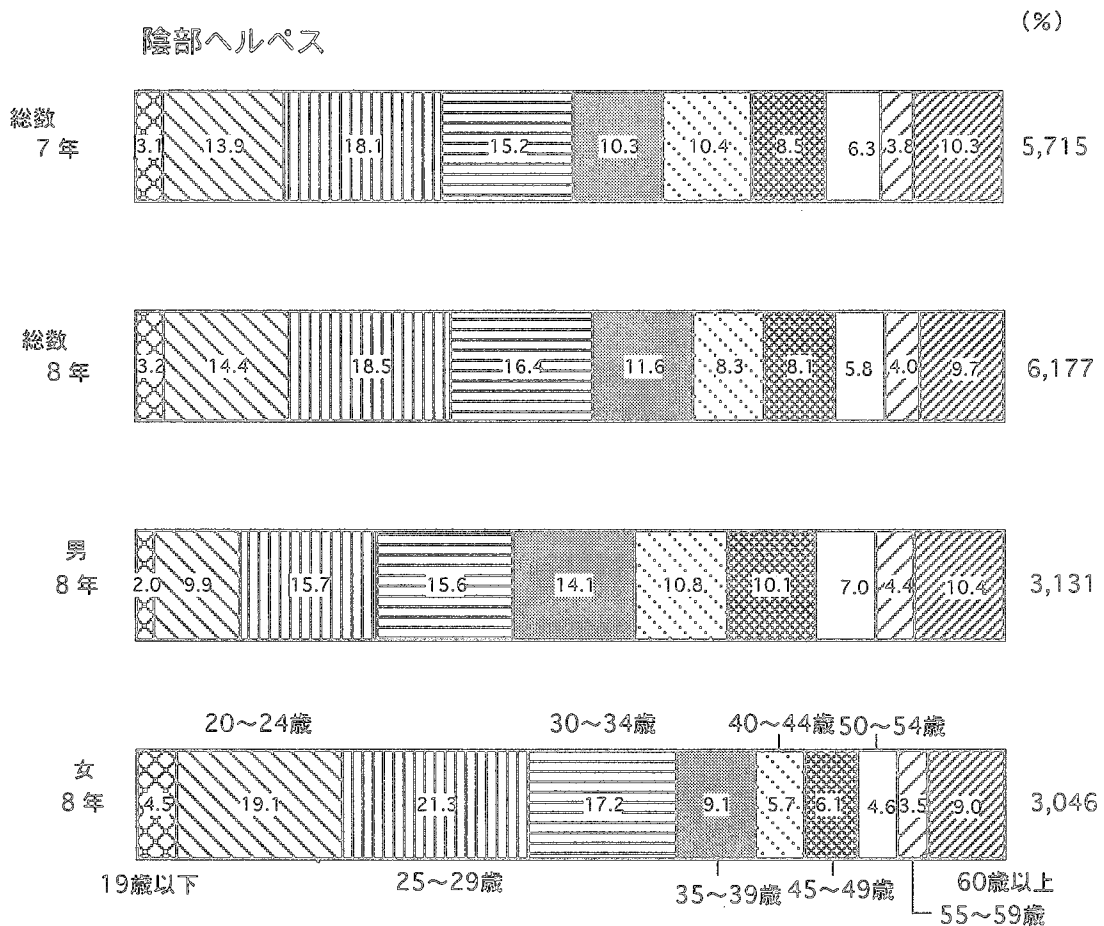


図5-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of genital herpes per reporting clinic, by geographical area, 1996.

陰部ヘルペス

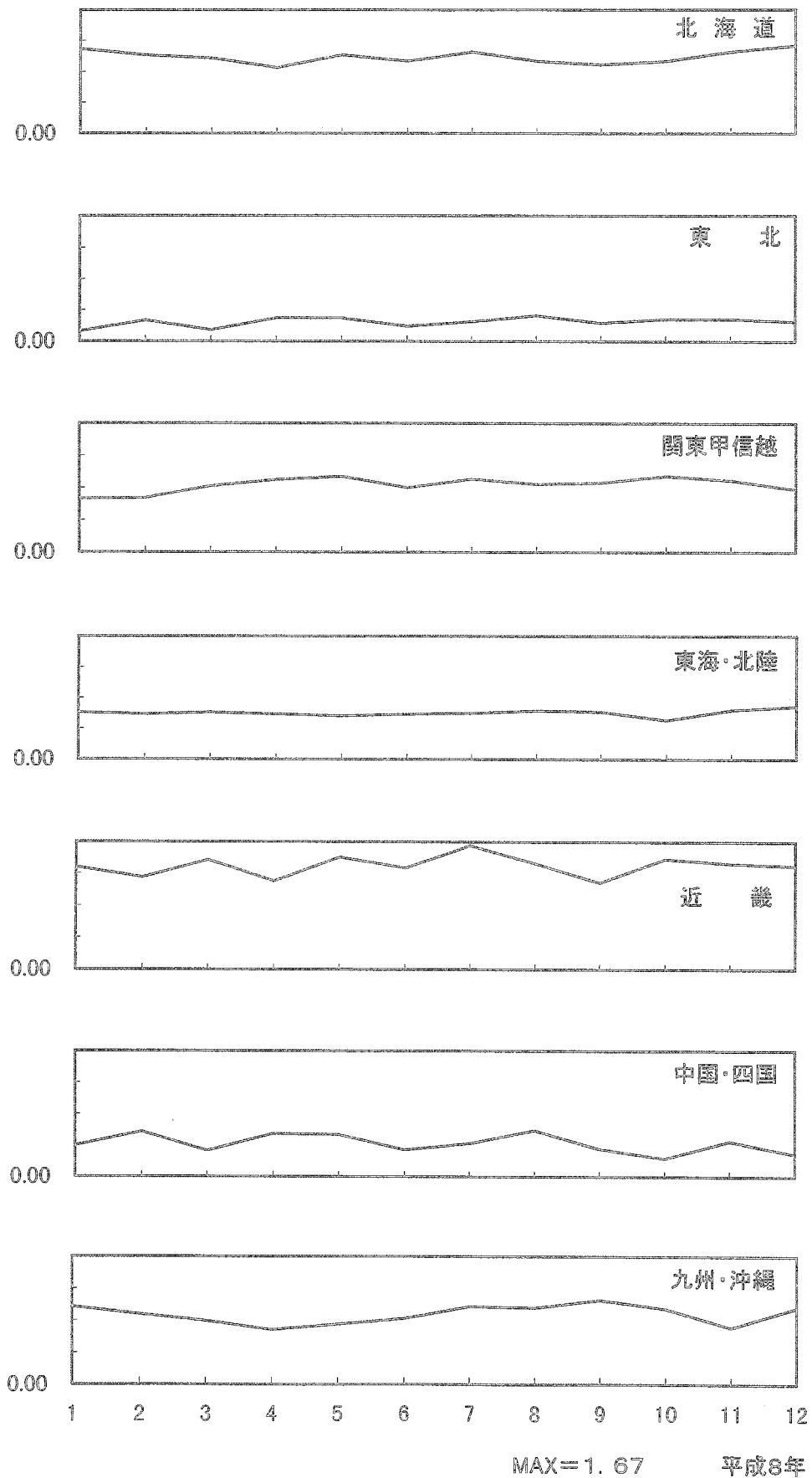


図5-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況
 Incidence of genital herpes per reporting clinic, by prefecture, 1996.

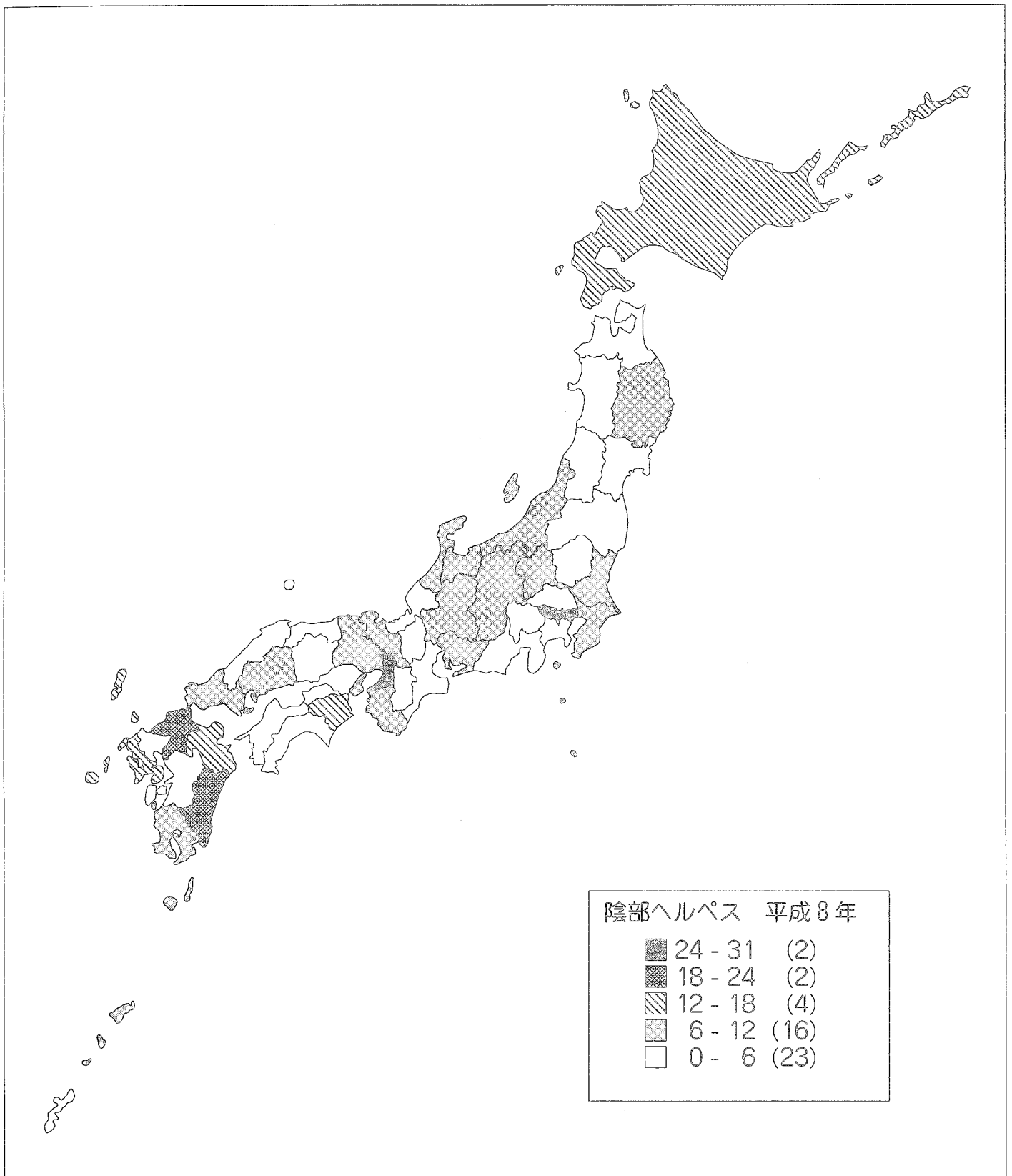
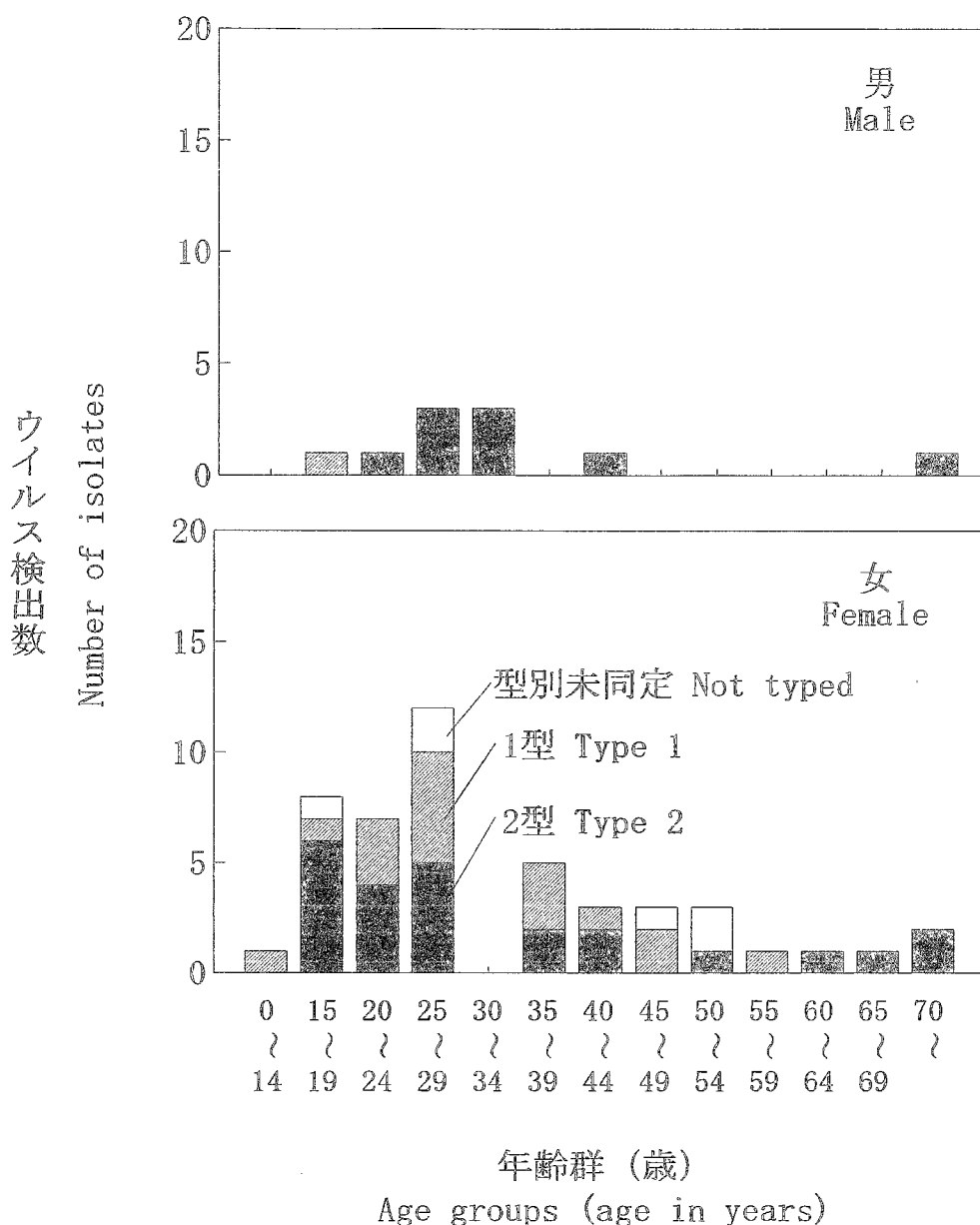


図5-5 泌尿生殖器由来の性別年齢別単純ヘルペスウイルス検出状況、1996年

Detection of herpes simplex viruses from genitourinary sources, by age and sex of cases, Japan, 1996.



注) 検体が陰部尿道頸管擦過 (分泌) 物の例を集計した
年齢不詳を除く
HSV isolation from genitourinary sources.
Excluding cases of unknown ages

(病原微生物検出情報)
(Infectious Agents Surveillance Report)

図6-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of condyloma acuminatum per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

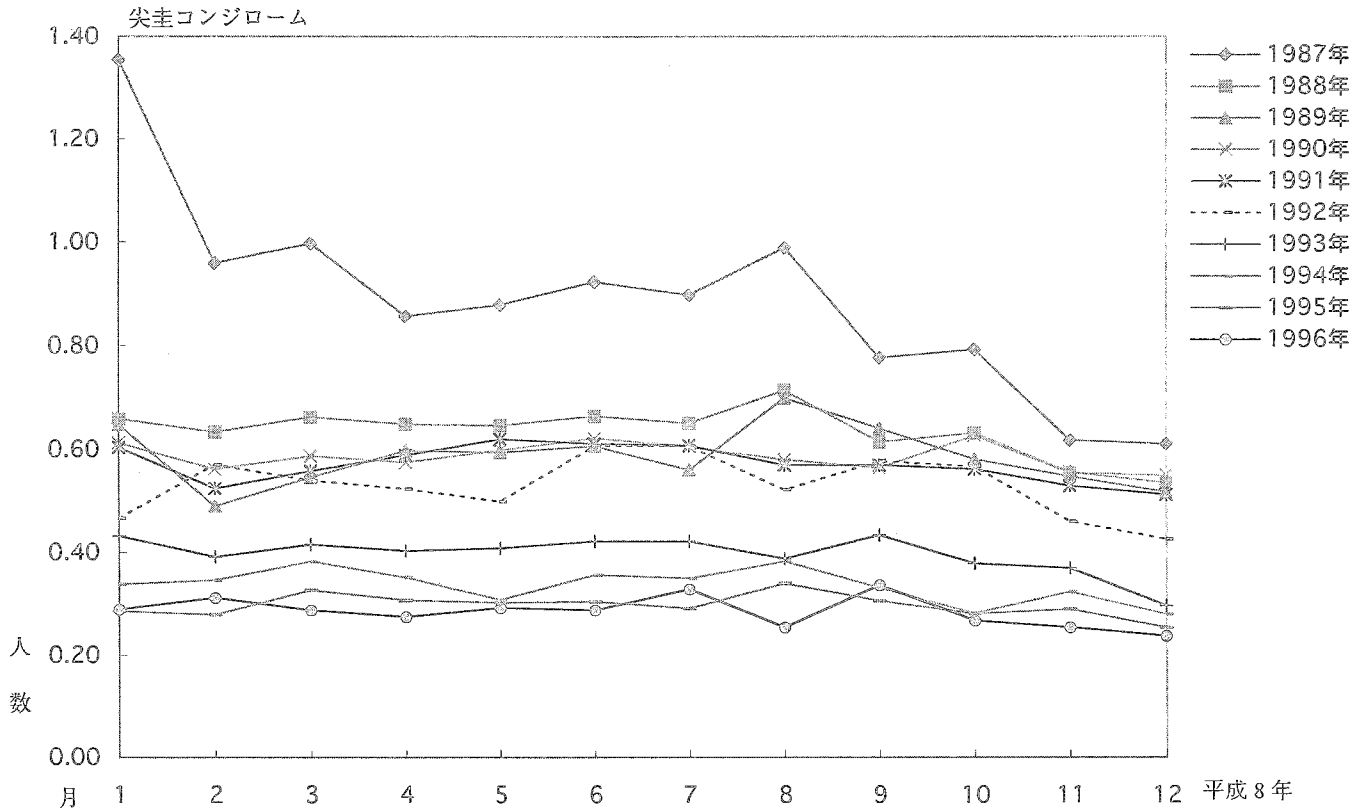


図6-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of condyloma acuminatum, Japan, 1995-1996.

(%)

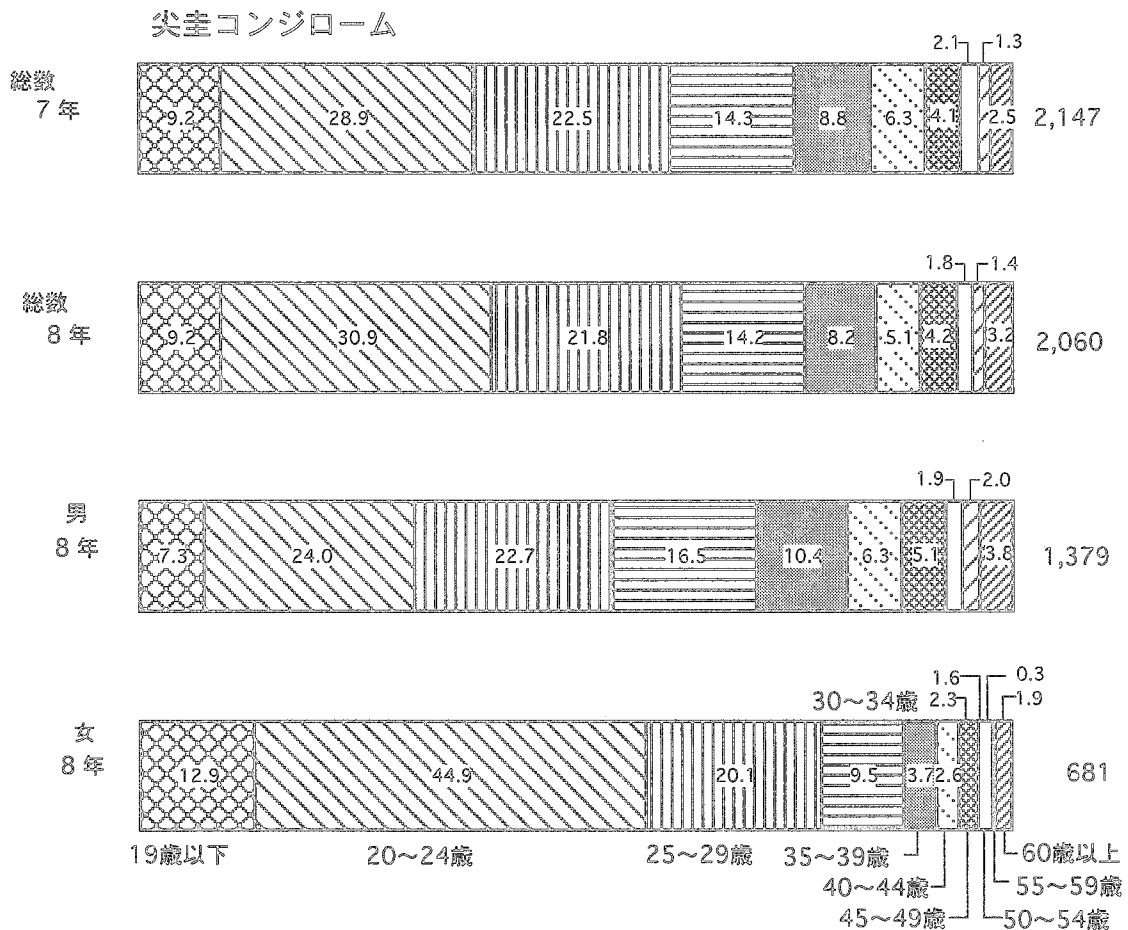
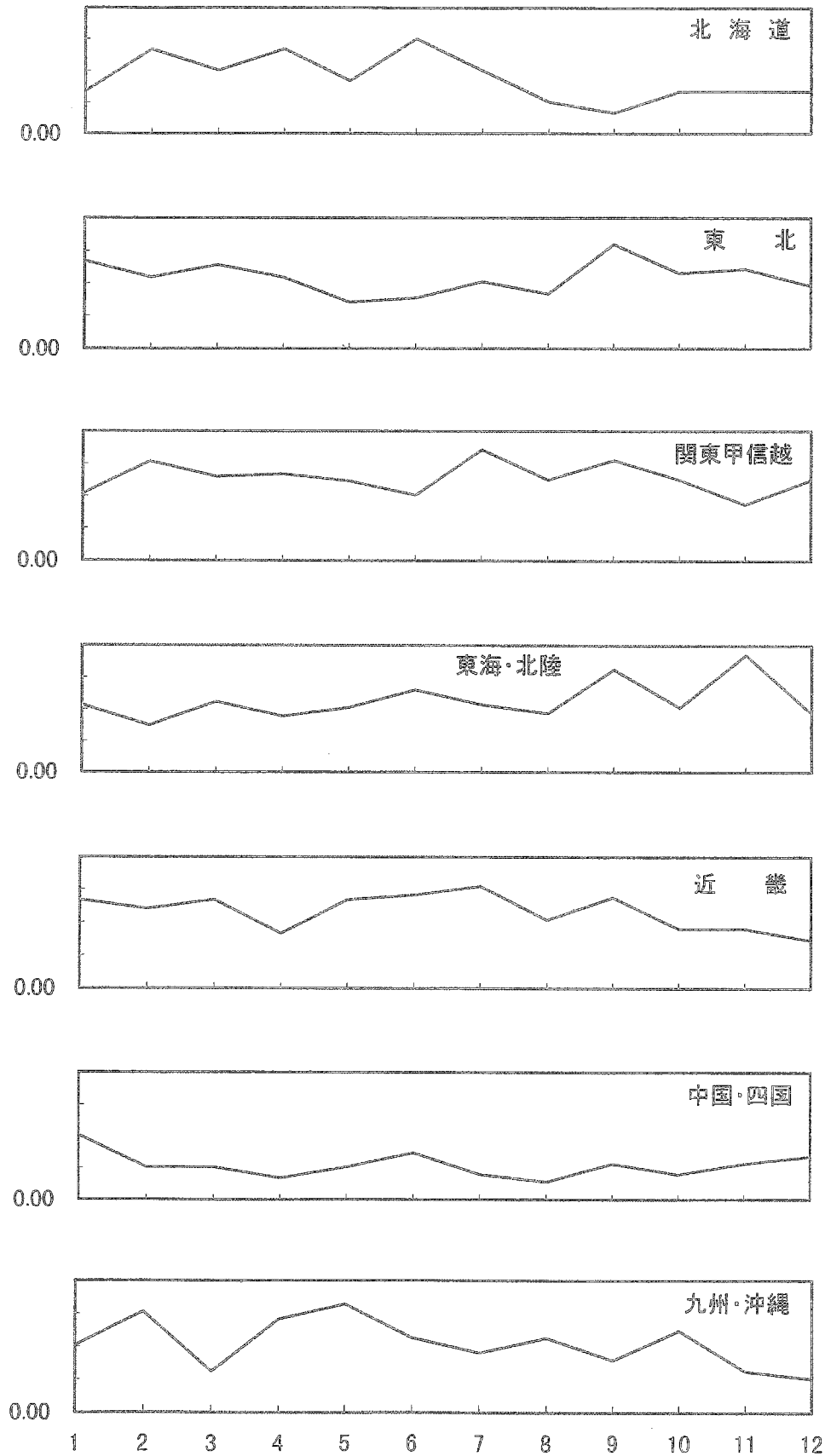


図6-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of condyloma acuminatum per reporting clinic, by geographical area, 1996.

尖圭コンジローム



MAX=0.48

平成8年

図6-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of condyloma acuminatum per reporting clinici, by prefecture, 1996.

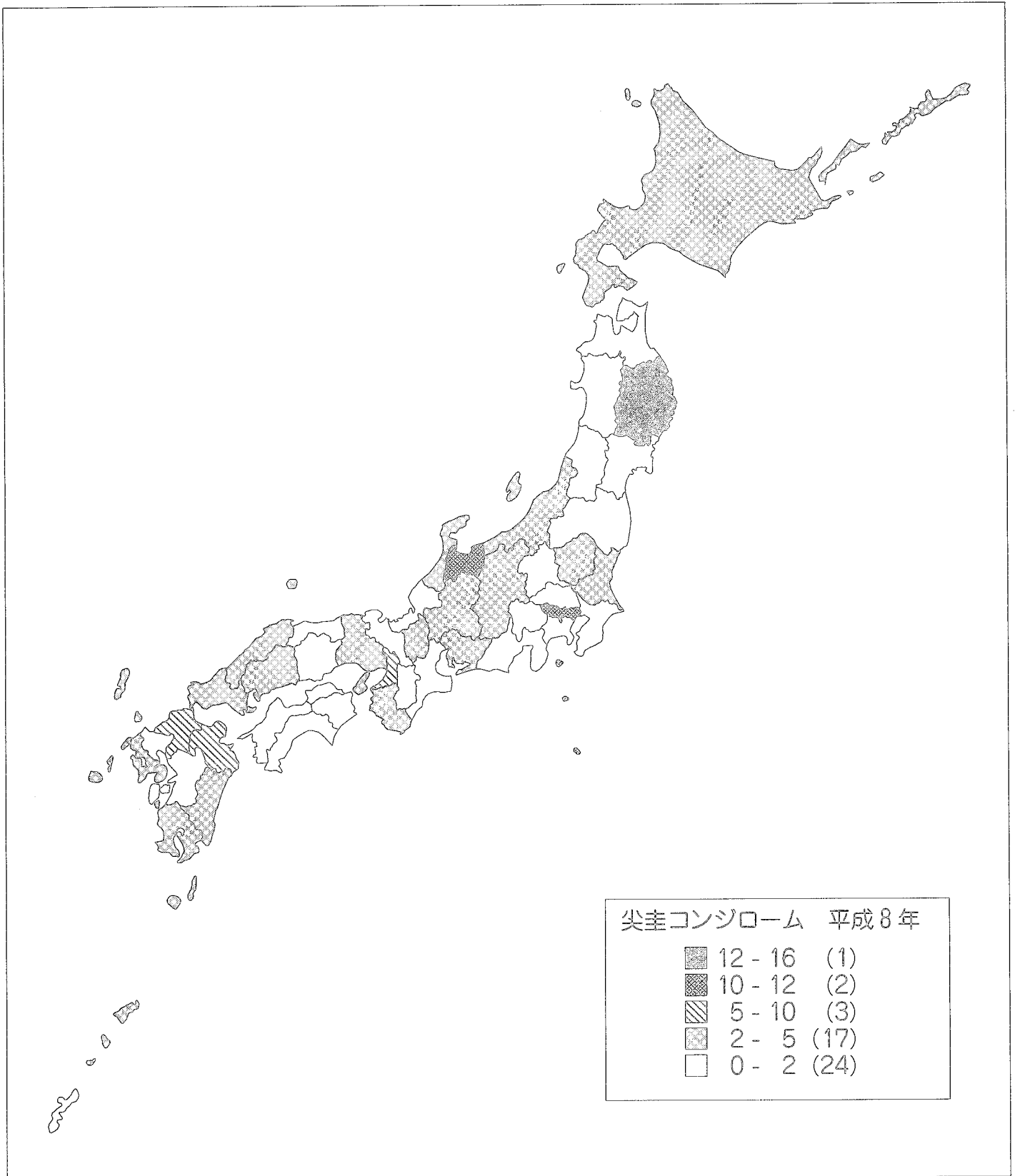


図7-1 全国一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of trichomoniasis per reporting clinic, Japan, 1987-1996.

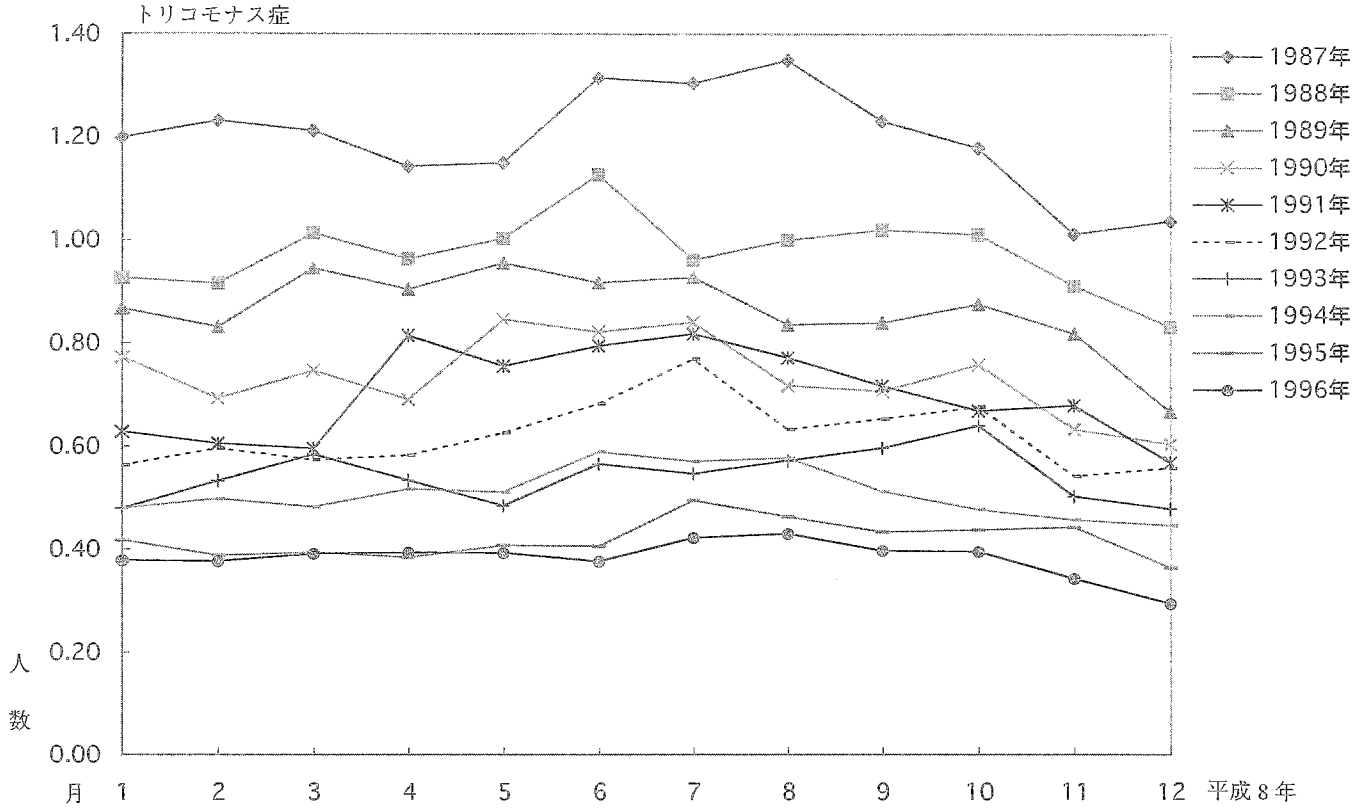


図7-2 年齢区分別患者発生状況

Age distribution of reported cases of trichomoniasis, Japan, 1995-1996.

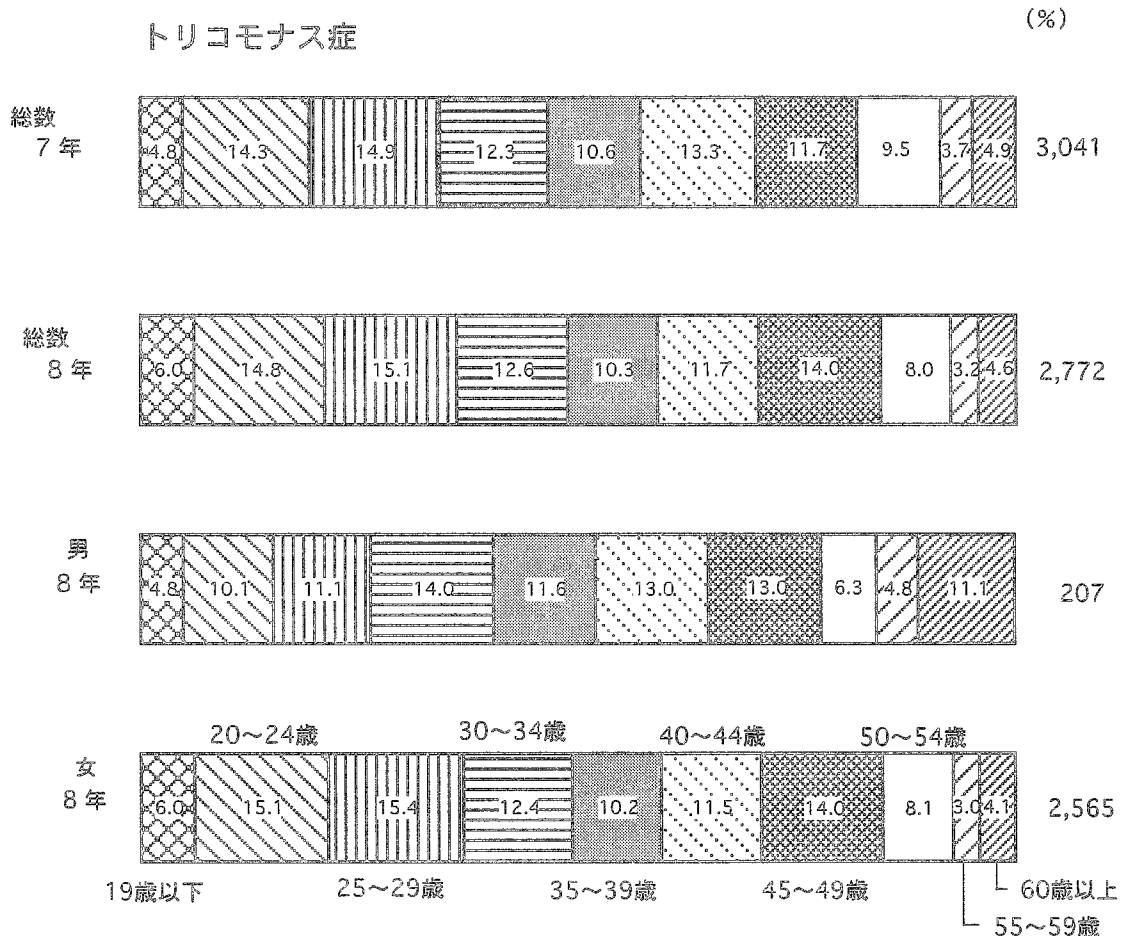
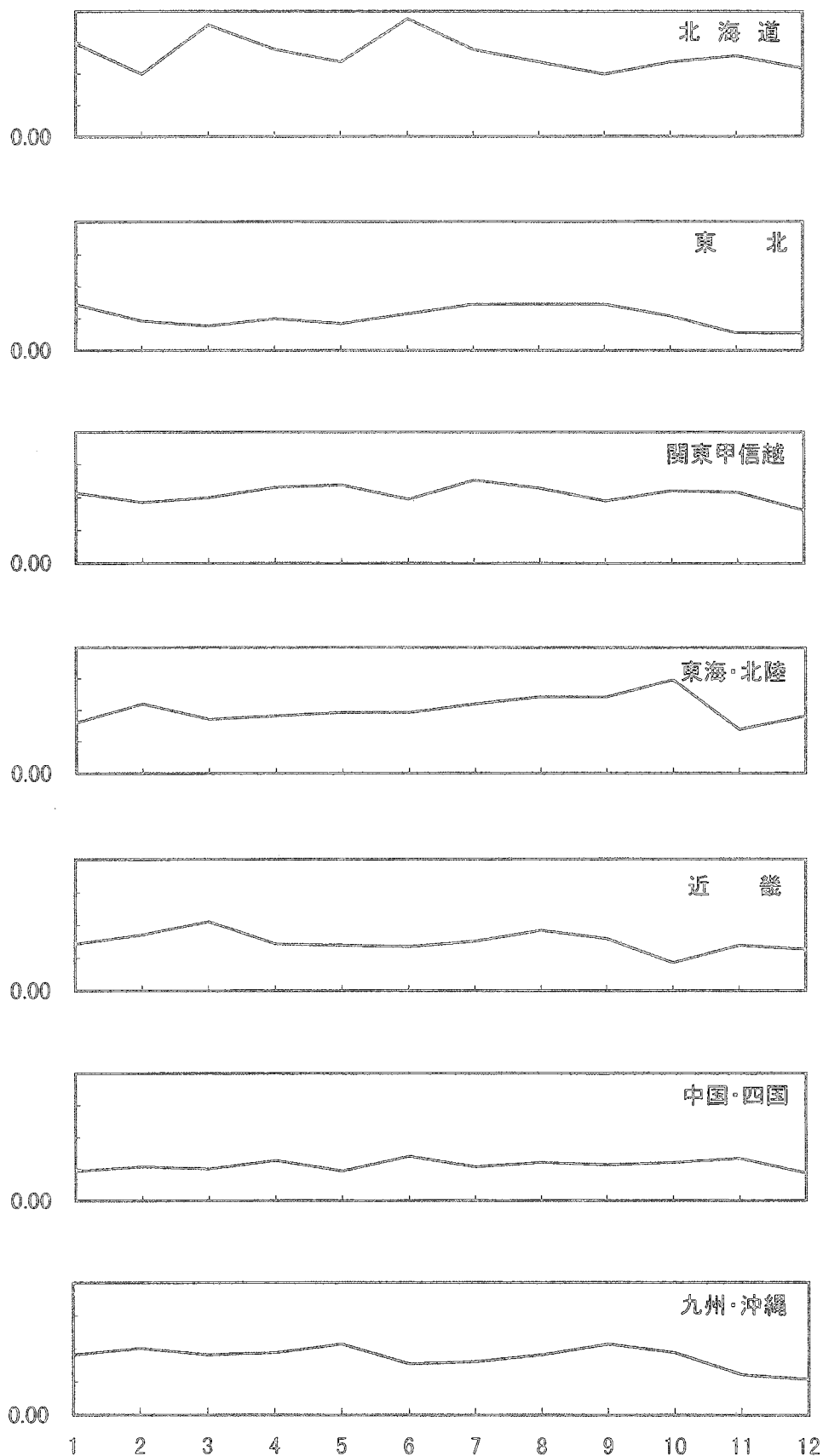


図7-3 ブロック別一定点医療機関当たり患者発生数の推移

Monthly reported cases of trichomoniasis per reporting clinic, by geographical area, 1996.

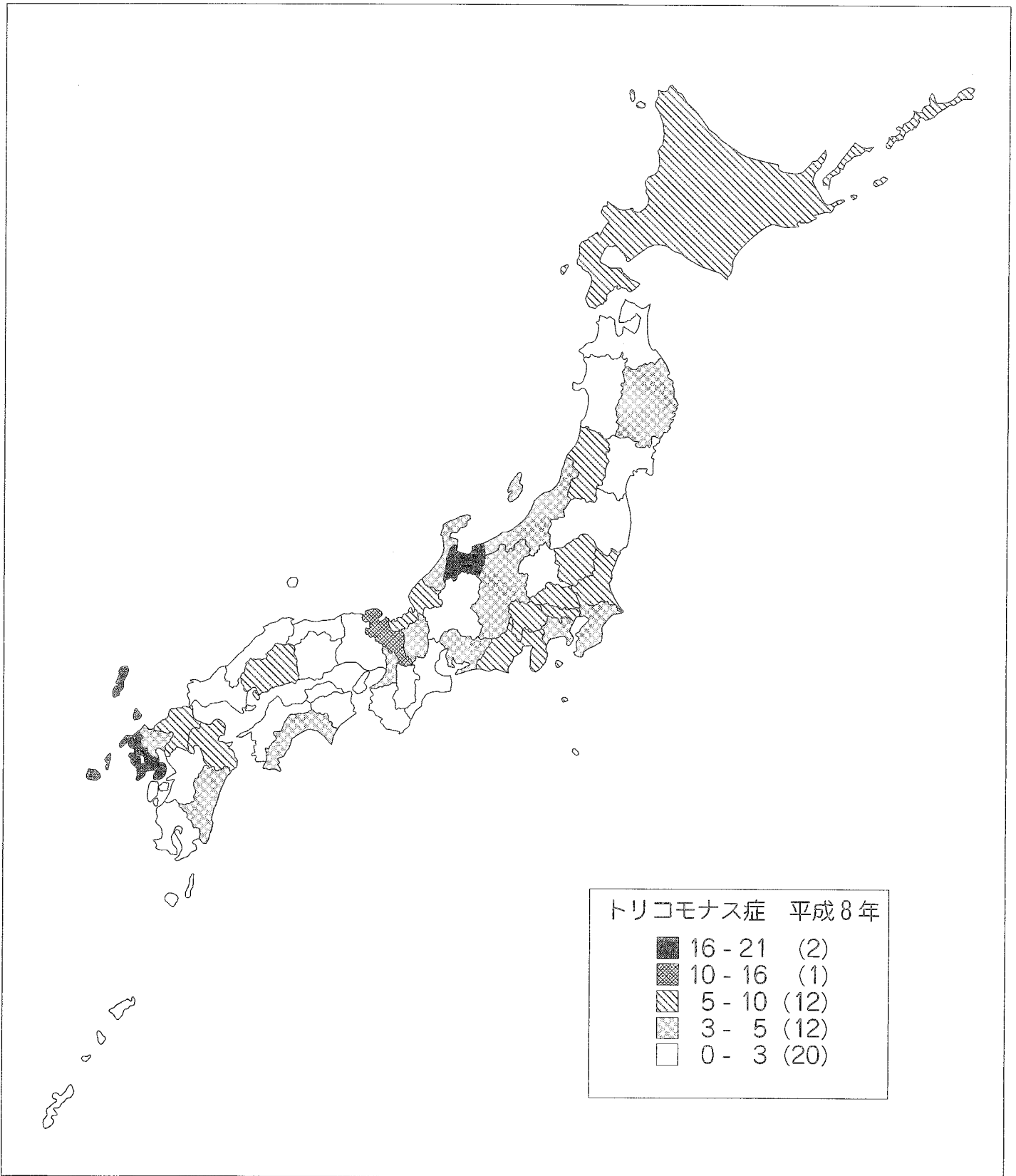
トリコモナス症



MAX=0.83 平成8年

図7-4 地域別一定点医療機関当たりの年間患者発生状況

Incidence of trichomoniasis per reporting clinic, by prefecture, 1996.



第2章 病原体情報について

1. 情報収集還元システム

本報告書に掲載された病原体情報は「微生物検査情報のシステム化に関する研究」班（1979～1982、班長：井上裕正・愛知県衛生研究所長・当時）によって確立されたシステムにより収集されたものである。本システムは、感染症サーベイランス事業の発足にあたって本事業の検査情報を受けもつ部門として位置づけられた。一般に検査情報の報告は患者発生情報より遅れるのがふつうで、またその収集のためには技術的および専門的な対応が要求される。このため、本システムは患者情報とは別に、二つの運営委員会、すなわち、国立感染症研究所（感染研、旧国立予防衛生研究所）・病原体情報委員会と衛生微生物技術協議会・検査情報委員会のもとで運営され、情報センター業務は感染研・感染症情報センター内に置かれた病原微生物検出情報事務局（感染研・事務局）が平常業務として担当している。本報告書は感染研・事務局において集計、作表され、上記感染研・病原体情報委員会の下部組織である編集小委員会において編集されたものである。

情報の内容と収集

検査情報が報告される病原体は、ウイルス、リケッチア、クラミジア、細菌、真菌、スピロヘータ、原虫である。集計は便宜上、病原細菌（真菌、クラミジア、スピロヘータ、原虫を含む）とウイルス（リケッチア、クラミジア、マイコプラズマを含む）の2群に大きく分けて取り扱っている。

病原細菌については4系統の機関から検査情報が収集され、別々に集計されている。すなわち、1. 地方衛生研究所（地研）および保健所、2. 一般医療機関、3. 検疫所、4. 伝染病院である。それぞれの機関は独自の検査目的をもつために、検査対象とする病原細菌の種類が異なる。

地研・保健所からは公衆衛生の立場から、伝染病流行や集団食中毒発生時の調査、食品の安全性検査、環境汚染調査、サーベイランス事業の病原体検査など、行政目的をもって実施される検査の成績が主として報告される。これに対し、一般医療機関からは疾病の診断および治療を目的とした検査の成績が報告される。

地研は地域の検査情報センターとしての役割を担当し、地研で行った検査の成績だけではなく地区内の保健所および協力医療機関で行った病原細菌検査の成績を収集し、地研・保健所集計（病原微生物検出報告書書式3A、324～325ページ様式6）および医療機関集計（書式3B、326～327ページ様式7）にまとめて月ごとに感染研に送付している。サルモネラとA群レンサ球菌についてはさらに血清型別の成績を年ごとにまとめて集計し送付している。地研・保健所集計用の書式3Aでは菌別検出数だけでなく、流行・集団発生情報、食品検査情報、環境汚染調査情報、EHEC/VTEC情報、*Vibrio cholerae* 0139情報、重要と思われる症例・まれな症例に関する情報、その他の情報も報告している。医療機関集計用の書式3Bでは1990年から報告を分離材料別に区分し、各分離材料において、病因である可能性の高い病原細菌に限定して検出数を集計し報告している。また、重要と思われる症例・まれな症例に関する個別の情報、EHEC/VTEC情報、*Vibrio cholerae* 0139情報、検出された*S. aureus*のメチシリン感受性の内訳も報告している。

検疫所からは海外旅行者（輸入例）の法定伝染病、とくに腸管感染症を対象とした検査の成績と、さらに*Vibrio cholerae* 0139情報、EHEC/VTEC情報も報告される。厚生省生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室が各検疫所の検出数を収集し、月ごとに感染研に送付している。

伝染病院からは感染性腸炎で入院した保菌者を含むすべての症例の病原診断を目的とした検査の成績が、年齢、臨床症状、推定感染地、薬剤感受性試験成績などの詳細な情報とともに報告される。各症例の検出病原体ごとに1枚の個票が作成され、月ごとに各病院から直接感染研に送付される。

さらに腸チフス・パラチフスA菌に関しては上記4系統の検出報告とは別に、厚生省公衆衛生局長通知「腸チフス対策の推進について」（衛発第788号、1966年11月16日）によって、発生情報が収集され、これにもとずいて各機関から提出された分離菌株のファージ型別試験が感染研・細菌部外来性細菌室で実施され、その成績が報告されている。

ウイルスについては地研から、病原診断を目的とした検査（感染症サーベイランス事業による病原

体検査を含む)、伝染病流行予測事業、地研独自の定点観測調査・特定研究などによる検査の成績が報告される。これ以外に一部の国立病院および民間検査所からも病原診断を目的とした検査の成績が報告される。分離・検出されたウイルスごとに1枚の簡票(病原微生物検出報告書書式1、328ページ様式8)を作成し、検査終了次第随時、各機関から直接感染研に送付される。書式1では、検体提供者の居住地、年齢、臨床症状、検体採取年月日、検査材料の種類、検査方法などが報告される。

情報提供機関

本システムでは全国47都道府県の地研および24の政令市の地研が検査情報を提供している。1996年中に、病原細菌検出報告には地研の他に32都道府県市における合計371保健所、36都道府県市における合計273の医療機関、16検疫所、13都市における合計16の伝染病院の協力があつた。協力医療機関数は県または市によって異なるが数機関の地域が多い。さらに1996年は、地研の他に2国立病院と2民間検査所からウイルス検出報告が提供された。各協力機関名は154～159ページに記載した。

情報の還元と利用

収集された病原体情報は感染研・事務局において集計、作表された上、「病原微生物検出情報・月報(IASR)」に掲載され、関係各方面に配布されている。また病原体情報と感染症サーベイランス事業の患者発生情報を併せて解析した特集記事が、上記IASRに毎月掲載されている(160ページ～183ページ参照)。1979～1982年の4年間は各年の情報が「病原微生物検出情報年報」(病原微生物検出情報のシステム化に関する研究班)として発行された。1983年以降は本感染症サーベイランス事業年報に毎年掲載されると共に、Japanese Journal of Medical Science and Biology, Supplementとして英語版の年報が発行されている。

さらにウイルス検出報告のうち、インフルエンザウイルスの情報は、WHO インフルエンザ協力センター(感染研・ウイルス第一部)を通じてWHO Influenza Centerに報告されている。

病原体情報の利用上の注意

本報告書の病原体情報は、主に病原診断あるいは公衆衛生上の目的で実施された病原微生物検査によって検出された病原体に関する集計である。本報告書に掲載された病原体情報の解析、引用にあたっては、下記の点を考慮する必要がある。

(1) 陽性例のみの報告である。

本システムでは検出陽性例についての報告のみが収集されており、実施された検査件数、または陰性例に関する情報は収集されていない。報告された検出数は実施された検査の総数を反映している場合とそうでない場合がある。地域別の比較などを行う場合、このことを考慮する必要がある。

(2) 疾病、臨床症状との関連が特定できない場合がある。

検査室診断の一般的問題として、疾病または病原体によっては、検出された病原体が疾病または臨床症状の直接の原因であると特定できない場合がある。一般に、髄液、血液、水疱、生検、剖検材料など、病巣材料から病原体が検出されたときは疾病との関連がほぼ確定的であるが、糞便、咽頭ぬぐい液、尿などからの検出の場合、しばしば当該疾患と直接関係のない潜在感染、不顕性感染、あるいはたまたま居合わせた病原体が検出される場合がある。したがって、検出病原体と疾病または臨床症状との関連は、流行状況、検査材料、検出方法など、その他の検査成績と照合の上、個別に検討を要する場合がある。

(3) 同一人からの検出が複数機関から重複して報告される場合がある。

各機関から提出される検査報告のうち、とくに法定伝染病に関しては、同一人からの病原体検出が複数の機関から重複して報告される場合があり、この重複を除外する作業は行っていない。したがってこれらの病原体については、それぞれの機関からの報告数を合計することは意味がない。

(4) 過去の年の検出数は「年報」の数字によっている。

本章の記載において、過去の年の検出数が引用される場合は各年に発行された「年報」の数字によ

った。一方、感染研・事務局の集計ファイルは過去の年についても追加情報によって逐次更新されているので、本章中の集計数は最新ファイルのそれと一致しないことがある。この不一致は病原細菌検出報告では例外的であるが、ウイルス検出報告についてはほとんどの年の場合にみられている。ただし、全体の動向に影響を与えるほど大きい変更に至ってはいない。参考資料として1997年9月末日における1991～1996年の検出報告数を、283～291および308～309ページに掲載した。

協力機関一覧 1996年

協力地方衛生研究所

List of prefectural and municipal public health institutes participating in the reporting system, 1996

Code number	県・市	Prefecture /city	地方衛生研究所	Institute
011	北海道	Hokkaido P.	北海道立衛生研究所	Hokkaido Institute of Public Health
012	札幌市	Sapporo C.	札幌市衛生研究所	Sapporo City Institute of Public Health
013	函館市	Hakodate C.	函館市衛生試験所	Hakodate City Institute of Public Health Research
021	青森県	Aomori P.	青森県環境保健センター	Aomori Prefectural Institute of Public Health
031	岩手県	Iwate P.	岩手県衛生研究所	Iwate Prefectural Institute of Public Health
041	宮城県	Miyagi P.	宮城県保健環境センター	Miyagi Prefectural Institute of Public Health and Environment
042	仙台市	Sendai C.	仙台市衛生研究所	Sendai Municipal Institute of Public Health
051	秋田県	Akita P.	秋田県衛生科学研究所	Akita Prefectural Institute of Public Health
061	山形県	Yamagata P.	山形県衛生研究所	Yamagata Prefectural Institute of Public Health
071	福島県	Fukushima P.	福島県衛生公害研究所	Fukushima Institute of Health
081	茨城県	Ibaraki P.	茨城県衛生研究所	Ibaraki Prefectural Institute of Health
091	栃木県	Tochigi P.	栃木県保健環境センター	Tochigi Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
101	群馬県	Gunma P.	群馬県衛生環境研究所	Gunma Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences
111	埼玉県	Saitama P.	埼玉県衛生研究所	Saitama Institute of Public Health
121	千葉県	Chiba P.	千葉県衛生研究所	Public Health Laboratory of Chiba Prefecture
122	千葉市	Chiba C.	千葉市環境保健研究所	Chiba City Institute of Health
131	東京都	Tokyo M.	東京都立衛生研究所	Tokyo Metropolitan Research Laboratory of Public Health
141	神奈川県	Kanagawa P.	神奈川県衛生研究所	Kanagawa Prefectural Public Health Laboratory
142	横浜市	Yokohama C.	横浜市衛生研究所	Yokohama City Institute of Health
143	川崎市	Kawasaki C.	川崎市衛生研究所	Public Health Research Institute of The City of Kawasaki
144	横須賀市	Yokosuka C.	横須賀市衛生試験所	Yokosuka City Institute of Public Health
151	新潟県	Niigata P.	新潟県保健環境科学研究所	Niigata Prefectural Research Laboratory for Health and Environment
152	新潟市	Niigata C.	新潟市衛生試験所	Niigata City Institute of Public Health
161	富山県	Toyama P.	富山県衛生研究所	Toyama Institute of Health
171	石川県	Ishikawa P.	石川県保健環境センター	Ishikawa Research Laboratory for Public Health and Environment
181	福井県	Fukui P.	福井県衛生研究所	Fukui Prefectural Institute of Public Health
191	山梨県	Yamanashi P.	山梨県衛生公害研究所	Yamanashi Institute for Public Health
201	長野県	Nagano P.	長野県衛生公害研究所	Nagano Research Institute for Health and Pollution
211	岐阜県	Gifu P.	岐阜県保健環境研究所	Gifu Prefectural Health and Environmental Research Center
212	岐阜市	Gifu C.	岐阜市衛生試験所	Hygienic Laboratory of Gifu City
221	静岡県	Shizuoka P.	静岡県環境衛生科学研究所	Shizuoka Institute of Environment and Hygiene
222	静岡市	Shizuoka C.	静岡市衛生試験所	Shizuoka City Institute of Public Health
223	浜松市	Hamamatsu C.	浜松市衛生試験所	Hamamatsu City Institute of Public Health
231	愛知県	Aichi P.	愛知県衛生研究所	Aichi Prefectural Institute of Public Health
232	名古屋市	Nagoya C.	名古屋市衛生研究所	Nagoya City Health Research Institute
241	三重県	Mie P.	三重県科学技術振興センター衛生研究所	Institute of Public Health, Mie Prefectural Science and Technology Promotion Center
251	滋賀県	Shiga P.	滋賀県立衛生環境センター	Shiga Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

261	京都府	Kyoto P.	京都府保健環境研究所	Kyoto Prefectural Institute of Hygienic and Environmental Sciences
262	京都市	Kyoto C.	京都市衛生公害研究所	Kyoto City Institute of Health and Environmental Sciences
271	大阪府	Osaka P.	大阪府立公衆衛生研究所	Osaka Prefectural Institute of Public Health
272	大阪市	Osaka C.	大阪市立環境科学研究所	Osaka City Institute of Public Health and Environmental Sciences
273	堺市	Sakai C.	堺市衛生研究所	Sakai City Institute of Public Health
281	兵庫県	Hyogo P.	兵庫県立衛生研究所	Public Health Institute of Hyogo Prefecture
282	神戸市	Kobe C.	神戸市環境保健研究所	Public Health Research Institute of Kobe City
283	姫路市	Himeji C.	姫路市環境衛生研究所	Himeji City Research Institute of Public Health
284	尼崎市	Amagasaki C.	尼崎市立衛生研究所	Amagasaki City Institute of Public Health
281	奈良県	Nara P.	奈良県衛生研究所	Nara Prefectural Institute of Public Health
301	和歌山県	Wakayama P.	和歌山県衛生公害研究センター	Wakayama Prefectural Research Center of Environment and Public Health
302	和歌山市	Wakayama C.	和歌山市衛生研究所	Wakayama City Institute of Public Health
311	鳥取県	Tottori P.	鳥取県衛生研究所	Tottori Prefectural Public Health Laboratory
321	島根県	Shimane P.	島根県衛生公害研究所	Shimane Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
331	岡山県	Okayama P.	岡山県環境保健センター	Okayama Prefectural Institute for Environmental Science and Public Health
341	広島県	Hiroshima P.	広島県保健環境センター	Hiroshima Prefectural Health and Environmental Center
342	広島市	Hiroshima C.	広島市衛生研究所	Hiroshima City Institute of Public Health
351	山口県	Yamaguchi P.	山口県衛生公害研究センター	Yamaguchi Prefectural Research Institute of Health
361	徳島県	Tokushima P.	徳島県保健環境センター	Tokushima Prefectural Institute of Public Health and Environmental Sciences
371	香川県	Kagawa P.	香川県衛生研究所	Kagawa Prefectural Institute of Public Health
381	愛媛県	Ehime P.	愛媛県立衛生研究所	Ehime Prefectural Institute of Public Health
391	高知県	Kochi P.	高知県衛生研究所	Public Health Institute of Kochi Prefecture
401	福岡県	Fukuoka P.	福岡県保健環境研究所	Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences
402	福岡市	Fukuoka C.	福岡市保健環境研究所	Fukuoka City Institute of Public Health
403	北九州市	Kitakyushu C.	北九州市環境科学研究所	Kitakyushu City Institute of Environmental Sciences
411	佐賀県	Saga P.	佐賀県衛生研究所	Saga Prefectural Institute of Public Health
421	長崎県	Nagasaki P.	長崎県衛生公害研究所	Nagasaki Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
422	長崎市	Nagasaki C.	長崎市保健環境試験所	Nagasaki Municipal Public Health and Environment Laboratory
431	熊本県	Kumamoto P.	熊本県保健環境科学研究所	Kumamoto Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science
432	熊本市	Kumamoto C.	熊本市環境総合研究所	Kumamoto City Environmental Research Institute
441	大分県	Oita P.	大分県衛生環境研究センター	Oita Prefectural Institute of Health and Environment
451	宮崎県	Miyazaki P.	宮崎県衛生環境研究所	Miyazaki Prefectural Institute for Public Health and Environment
461	鹿児島県	Kagoshima P.	鹿児島県衛生研究所	Kagoshima Prefectural Institute of Public Health
471	沖縄県	Okinawa P.	沖縄県衛生環境研究所	Okinawa Prefectural Institute of Health and Environment

P. : Prefecture C. : City M. : Metropolitan

協力検疫所

List of quarantine stations participating in the reporting system, 1996

018	小樽検疫所千歳空港出張所	Chitose Airport Detached Office, Otaru Quarantine Station
025	仙台検疫所青森空港出張所	Aomori Airport Detached Office, Sendai Quarantine Station
041	仙台検疫所仙台空港出張所	Sendai Airport Detached Office, Sendai Quarantine Station

1 2 1	成田空港検疫所	Narita Airport Quarantine Station
1 2 2	東京検疫所千葉検疫所支所	Chiba Quarantine Station Branch Office, Tokyo Quarantine Station
1 3 1	東京検疫所東京空港支所	Tokyo Airport Branch Office, Tokyo Quarantine Station
2 3 4	名古屋検疫所名古屋空港出張所	Nagoya Airport Detached Office, Nagoya Quarantine Station
2 7 3	関西空港検疫所	Kansai Airport Quarantine Station
3 3 2	神戸検疫所水島支所岡山空港出張所	Okayama Airport Detached Office, Kobe Quarantine Station
3 4 4	広島検疫所広島空港出張所	Hiroshima Airport Detached Office, Hiroshima Quarantine Station
3 7 2	広島検疫所高松空港出張所	Takamatsu Airport Detached Office, Hiroshima Quarantine Station
4 0 2	福岡検疫所	Fukuoka Quarantine Station
4 0 3	福岡検疫所福岡空港出張所	Fukuoka Airport Detached Office, Fukuoka Quarantine Station
4 3 1	福岡検疫所熊本空港出張所	Kumamoto Airport Detached Office, Fukuoka Quarantine Station
4 6 1	福岡検疫所鹿児島空港出張所	Kagoshima Airport Detached Office, Fukuoka Quarantine Station
4 7 2	那覇検疫所那覇空港支所	Naha Airport Branch Office, Naha Quarantine Station

病院。大学。民間検査所

List of participating laboratories other than prefectural and municipal public health institutes in the virus reporting system, 1996

6 0 2	国立京都病院	Kyoto National Hospital Virus Research Center
6 0 7	国立仙台病院	Sendai National Hospital Virus Research Center
6 0 4	エスアールエル	SRL, Inc.
6 1 1	三菱化学ビーシーエル	Mitsubishi Kagaku Bio-Clinical Laboratories, Inc.

協力都市立伝染病院

List of Infectious Diseases Hospitals participating in the reporting system, 1996

市立札幌病院南ヶ丘分院	Minamigaoka Branch of Sapporo City General Hospital
仙台市立病院	The Sendai City Hospital
千葉市立病院	Chiba Municipal Hospital
東京都立豊島病院	Tokyo Metropolitan Toshima General Hospital
東京都立駒込病院	Tokyo Metropolitan Komagome General Hospital
東京都立墨東病院	Tokyo Metropolitan Bokuto General Hospital
東京都立荏原病院	Tokyo Metropolitan Ebara General Hospital
川崎市立川崎病院	Kawasaki Municipal Hospital
横浜市立市民病院	Yokohama Municipal Citizen's Hospital
名古屋市立東市民病院	Nagoya City Higashi General Hospital
京都市立病院	Kyoto City Hospital
大阪市立総合医療センター。感染症センター	Infectious Disease Center of Osaka City General Hospital
神戸市立中央市民病院	Kobe Municipal Central Hospital
広島市立舟入病院	Hiroshima City Funairi Hospital
北九州市立医療センター	Kitakyushu Municipal Medical Center
福岡市立子ども病院感染症センター	Medical Center for Sick Children and Infectious Disease Fukuoka City

協力医療機関

札幌医科大学附属病院、北海道大学医学部附属病院、国立札幌病院、市立札幌病院、札幌臨床検査センター、勤医協中央病院、N T T 札幌病院、大給臨床検査所、五所川原市立西北中央病院、むつ総合病院、八戸市立市民病院、弘前市医師会成人病検診センター、青森県立中央病院、平鹿総合病院、山本組合総合病院、鶴岡市立荘内病院、山形県立新庄病院、北村山公立病院、山形県立中央病院、篠田総合病院、至誠堂総合病院、小白川至誠堂病院、東北中央病院、山形市立病院済生館、山形市医師会市民保健センター、山形大学医学部附属病院、山形県立河北病院、米沢市立病院、長井市立総合病院、南陽市立総合病院、公立高島病院、三友堂病院、済生会宇都宮病院、栃木県南総合病院、珪肺労災病院、がんセンター東毛病院、館林厚生病院、伊勢崎市民病院、前橋赤十字病院、群馬中央総合病院、国立高崎病院、原町赤十字病院、富岡厚生病院、川口市市民病院、防衛医科大学病院、亀田総合病院、千葉市立病院、頸南病院、長岡赤十字病院、県立ガンセンター新潟病院、新潟市市民病院、黒部市民病院、上市厚生病院、県立中央病院、富山市民病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、富山医薬大附属病院、新湊市市民病院、高岡市市民病院、厚生連高岡病院、市立砺波総合病院、北陸中央病院、金沢医科大学病院、社会保険鳴和総合病院、石川県立中央病院、金沢市立病院、金沢赤十字病院、市立輪島病院、石川県医師会臨床検査センター、石川県予防医学協会、石丸研究所微生物検査センター、エスアールエル北陸、松任石川中央医療施設組合公立松任石川中央病院、国民健康保険小松市市民病院、加賀山中医療施設組合公立加賀中央病院、北陸メディカルサイエンス、ファルコバイオシステムズ、福井県立病院、福井市医師会臨床検査センター、福井赤十字病院、公立小浜病院、山梨県立中央病院、甲府市立甲府病院、甲府共立病院、巨摩共立病院、山梨厚生病院、富士吉田市立病院、沼津市立病院、国立東静岡病院、富士中央病院、富士宮市立病院、総合病院清水厚生病院、共立蒲原総合病院、県立総合病院、県立こども病院、静岡赤十字病院、焼津市立総合病院、市立島田市民病院、榛原総合病院、共立菊川病院、磐田市立総合病院、浜松赤十字病院、遠州総合病院、聖隷浜松病院、寺村小児科病院、静岡厚生病院、藤枝市立志太総合病院、祖父江内科医院、静岡済生会総合病院、社会保険桜ヶ丘総合病院、静岡市立静岡病院、豊橋市民病院、愛知県厚生農業協同組合連合会更生病院、市立岡崎病院、名古屋市立東市民病院、名古屋市立城北病院、名古屋市立城西病院、名古屋市立緑市民病院、名古屋市立守山市民病院、名古屋市立大学病院、大津市民病院、公立甲賀病院、近江八幡市民病院、長浜赤十字病院、大阪府立羽曳野病院、市立泉佐野病院、松下記念病院、箕面市立病院、市立吹田市民病院、市立堺病院、ちぬが丘診療所、加納医院、山手医院、佐道医院、八木医院、梅沢医院、広永医院、山口医院、天川医院、かわの医院、吉村医院、岸田医院、貴田医院、溝口医院、岡藤小児科、吉川産婦人科医院、森脇医院、播磨病院、姫路赤十字病院、甲南病院、兵庫県予防医学協会、神戸海星病院、神鋼病院、神戸労災病院、神戸大学医学部附属病院、社会保険神戸中央病院、神戸市医師会医療センター、川崎病院、三菱神戸病院、市立西市民病院、県立こども病院、須磨赤十字病院、国立神戸病院、姫路市立御立病院、上原口医院、伊藤医院、野沢医院、野村医院、多米医院、浜本医院、近藤医院、深江医院、北中医院、前田医院、南川医院、西田医院、瀬尾医院、安室医院、横田医院、柳井医院、白井医院、田中医院、森川医院、河本医院、人羅医院、岩崎医院、中村医院、高島医院、戸堂医院、県立奈良病院、県立五条病院、土庫病院、県立奈良医大附属病院、天理よろず相談所病院、吉田病院、奈良市医師会検査センター、大和高田市立病院、国立奈良病院、県立三室病院、社会保険紀南総合病院、鳥取県立中央病院、鳥取県立厚生病院、博愛病院、鳥根県立中央病院、松江赤十字病院、倉敷中央病院、岡山済生会病院、総合病院岡山赤十字病院、三菱水島病院、津山中央病院、笠岡第一病院、川崎医科大学附属病院、広島市立舟入病院、国立呉病院、国立福山病院、広島大学医学部中央検査部、県立広島病院、広島赤十字。原爆病院、広島市民病院、広島市立安佐市民病院、広島総合病院、府中総合病院、広島共立病院、マツダ病院、日本鋼管福山病院、広島市医師会臨床検査センター、福山市医師会臨床検査センター、福山市民病院、中国中央病院、三原赤十字病院、国立療養所広島病院、呉市医師会臨床検査センター、尾道総合病院、中国労災病院、双三中央病院、安芸地区医師会臨床検査センター、三原市医師会臨床検査センター、公立みつぎ病院、尾道市民病院、山口県立中央病院、香川県立中央病院、高松赤十字病院、高松市民病院、社会保険栗林病院、香川県厚生農業協同組合連合会屋島総合病院、国立善通寺病院、佐賀県立病院好生館、社会保険佐賀病院、国立佐賀病院、国立療養所東佐賀病院、唐津赤十字病院、国立嬉野病院、佐賀県医師会成人病予防センター、長崎大学医学部附属病院、長崎市立病院成人病センター、大村市立病院、佐世保共済病院、佐世保総合病院、国立熊本病院、熊本市民病院、大分医科大学附属病院、大分県立病院、大分県立三重病院、大分県厚生連鶴見病院、

大分赤十字病院、沖縄県立名産病院、沖縄県立那覇病院、沖縄県立南部病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院、
那覇市立病院、中頭病院、沖縄県立中部病院

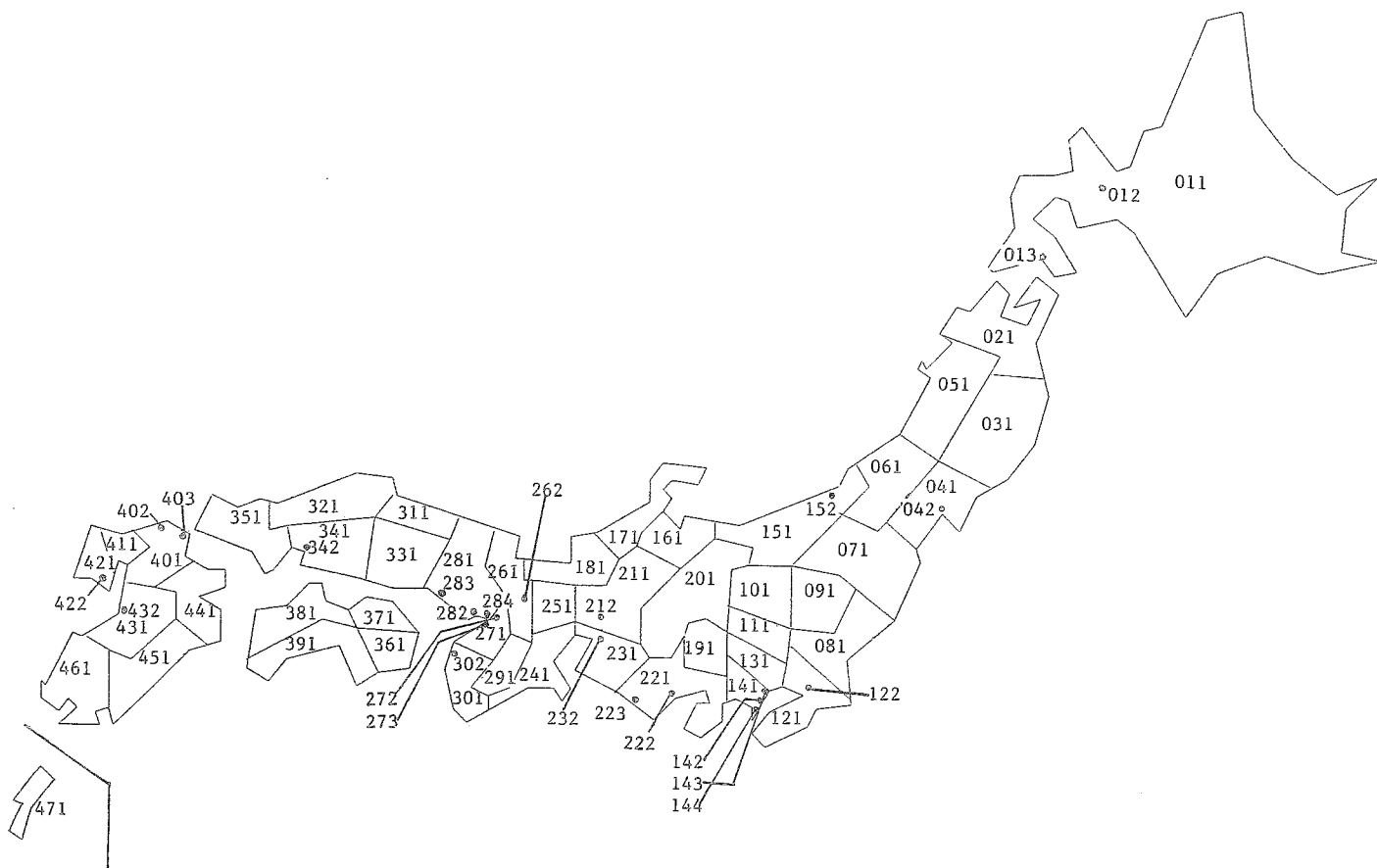
協力保健所

江別保健所、千歳保健所、当別保健所、渡島保健所、木古内保健所、森保健所、八雲保健所、江差保健所、今金保健所、
俱知安保健所、岩内保健所、余市保健所、夕張保健所、由仁保健所、美唄保健所、滝川保健所、岩見沢保健所、芦別保健
所、砂川保健所、深川保健所、旭川保健所、名寄保健所、士別保健所、天塩保健所、高良野保健所、留萌保健所、稚内保
健所、遠藤保健所、紋別保健所、北見保健所、美幌保健所、網走保健所、室蘭保健所、苫小牧保健所、釧路保健所、静内
保健所、帯広保健所、広尾保健所、新得保健所、池田保健所、本別保健所、釧路保健所、標茶保健所、根室保健所、中標
津保健所、函館保健所、青森保健所、弘前保健所、八戸保健所、十和田保健所、五所川原保健所、三沢保健所、むつ保健
所、黒石保健所、七戸保健所、三戸保健所、鯉ヶ沢保健所、仙南保健所、塩竈保健所、大崎保健所、栗原保健所、石巻保
健所、気仙沼保健所、山形保健所、寒河江保健所、村山保健所、新庄保健所、米沢保健所、長井保健所、鶴岡保健所、酒
田保健所、宇都宮保健所、鹿沼保健所、今市保健所、真岡保健所、栃木保健所、小山保健所、矢板保健所、大田原保健所、
烏山保健所、佐野保健所、足利保健所、中央保健所、戸田、藤保健所、川口保健所、大宮保健所、朝霞保健所、鴻巣保健
所、草加保健所、川越保健所、所沢保健所、飯能保健所、東松山保健所、秩父保健所、本庄保健所、熊谷保健所、深谷保
健所、寄居保健所、行田保健所、加須保健所、春日部保健所、越谷保健所、幸手保健所、吉川保健所、狭山保健所、習志
野保健所、船橋保健所、市川保健所、松戸保健所、柏保健所、野田保健所、佐倉保健所、佐原保健所、魏子保健所、八日
市場保健所、松尾保健所、東金保健所、茂原保健所、勝浦保健所、鴨川保健所、館山保健所、木更津保健所、市原保健所、
千葉市保健所、千代田区神田保健所、中央区中央保健所、港区芝保健所、新宿区四谷保健所、文京区衛生試験所、台東区
下谷保健所、墨田区向島保健所、江東区城東保健所、江東区深川保健所、品川区衛生試験所、目黒区衛生試験所、大田区
衛生試験所、世田谷区世田谷保健所、渋谷区渋谷保健所、中野区衛生試験所、杉並区衛生試験所、豊島区池袋保健所、豊
島区長崎保健所、北区衛生試験所、荒川区荒川保健所、板橋区検査センター、練馬区衛生試験所、足立区衛生試験所、葛
飾区葛飾北保健所、江戸川区江戸川保健所、三鷹保健所、八王子保健所、田無保健所、鳥しよ保健所大鳥出張所、三宅出
張所、八丈出張所、小笠原出張所、鶴見保健所、神奈川保健所、西保健所、中保健所、南保健所、港南保健所、保土ヶ谷
保健所、旭保健所、磯子保健所、金沢保健所、港北保健所、緑保健所、栄保健所、泉保健所、瀬谷保健所、新栄田保健所、
長岡保健所、三条保健所、六日町保健所、上越保健所、新津保健所、相川保健所、黒部保健所、魚沼保健所、上市保健所、
富山保健所、八尾保健所、小杉保健所、高岡保健所、氷見保健所、福野保健所、小矢部保健所、小松保健所、七尾保健所、
輪島保健所、金沢市保健公害部衛生検査課、甲府保健所、日下部保健所、石和保健所、身延保健所、小笠原保健所、重
岡保健所、吉田保健所、大月保健所、佐久保健所、小諸保健所、上田保健所、諏訪保健所、岡谷保健所、伊那保健所、飯
田保健所、木曾保健所、松本保健所、豊科保健所、大町保健所、篠ノ井保健所、更埴保健所、須坂保健所、中野保健所、長
野保健所、飯山保健所、下田保健所、島田保健所、熱海保健所、掛川保健所、修善寺保健所、磐田保健所、沼津保健所、
天竜保健所、富士保健所、三ヶ日保健所、富士宮保健所、浜名保健所、清水保健所、藤枝保健所、静岡市中央保健所、静
岡市南保健所、浜松市保健所、豊橋保健所、岡崎保健所、一宮保健所、瀬戸保健所、半田保健所、春日井保健所、豊川保
健所、津島保健所、碧南保健所、刈谷保健所、豊田保健所、安城保健所、西尾保健所、蒲郡保健所、江南保健所、尾西保
健所、小牧保健所、稲沢保健所、新城保健所、知多保健所、師勝保健所、美浜保健所、足助保健所、設楽保健所、田原保
健所、大津保健所、草津保健所、水口保健所、八日市保健所、八幡保健所、彦根保健所、長浜保健所、木之本保健所、今
津保健所、宿院保健所、金岡保健所、泉北保健所、鳳保健所、西宮保健所、高砂保健所、和田山保健所、芦屋保健所、加
西保健所、柏原保健所、伊丹保健所、社保健所、鶴山保健所、塚原保健所、龍野保健所、洲本保健所、川西保健所、赤穂
保健所、津名保健所、三田保健所、福崎保健所、三原保健所、明石保健所、佐用保健所、加古川保健所、山崎保健所、西
脇保健所、豊岡保健所、三木保健所、浜坂保健所、姫路市中央保健所、姫路市西保健所、尼崎市中央保健所、尼崎市東保
健所、尼崎市西保健所、尼崎市北保健所、鳥取保健所、倉吉保健所、米子保健所、海田保健所、可部保健所、廿日市保健

所、東広島保健所、竹原保健所、三原保健所、尾道保健所、福山保健所、府中保健所、三次保健所、庄原保健所、北九州市門司保健所、北九州市小倉北保健所、北九州市小倉南保健所、北九州市戸畑保健所、北九州市八幡東保健所、北九州市八幡西保健所、北九州市若松保健所、佐賀保健所、神埼保健所、鳥栖保健所、小城保健所、唐津保健所、伊万里保健所、武雄保健所、鹿島保健所、長崎保健所、諫早保健所、大村保健所、島原保健所、小浜保健所、大瀬戸保健所、吉井保健所、松浦保健所、平戸保健所、福江保健所、有川保健所、壱岐保健所、厳原保健所、長崎市中央保健所、長崎市北保健所、佐世保市保健所、熊本中央保健所、宇土保健所、玉名保健所、八代保健所、荒尾保健所、水保保健所、山鹿保健所、人吉保健所、菊池保健所、本渡保健所、阿蘇保健所、牛深保健所、御船保健所、松橋保健所、名護保健所、石川保健所、コザ保健所、沖縄中央保健所、南部保健所、宮古保健所、八重山保健所

協力地方衛生研究所所在地

Prefectural and municipal public health institutes participating in the reporting system



病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 1 (No.203)
1997年1月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

当面のポリオ予防対策3, エコーウイルス20型の分離:和歌山県3, アデノウイルス7型による急性呼吸器疾患散発事例:大阪府4, 神経症状を伴ったロタウイルス胃腸炎症例:千葉県4, 4小学校におけるETEC O25による集団食中毒事例:横浜市5, つつが虫病DNA診断6, 1995年つつが虫病・紅斑熱患者集計報告7, ポリオ:中国9, インフルエンザ:世界9, ウマモーターウイルスの自然宿主:オーストラリア9, 未殺菌アップルジュースによるEHEC O157:H7糞発:米国10, HIV/AIDS流行最新状況:世界10, AIDS世界の情勢11

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検査所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> 日本のポリオ 1962~1995

図1. 急性灰白髄炎届出患者数の推移, 1947-1994 (伝染病統計)

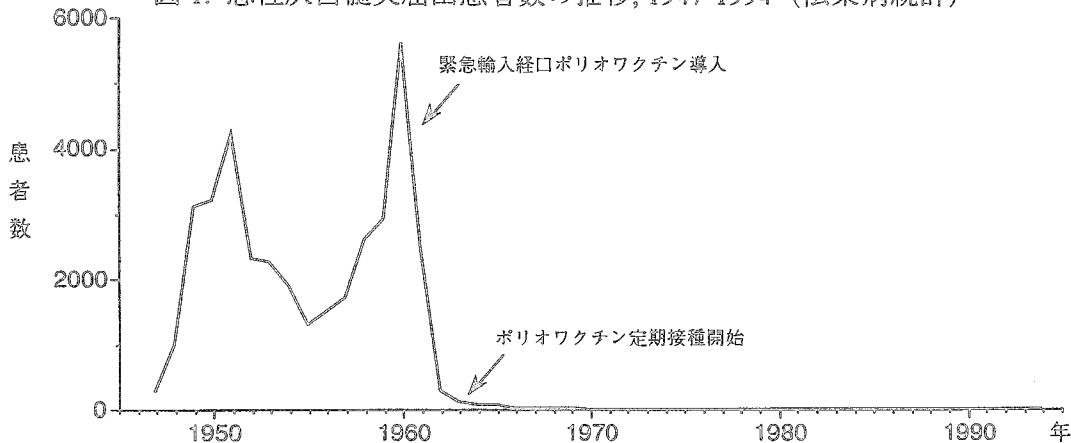


表1. 定型ポリオ患者数, 1962~1995年

年	定型ポリオ患者数		分離されたポリオウイルスの型別内訳						
	合計	ウイルス分離を実施	ポリオウイルス陽性	1	2	3	1,3	2,3	1,2,3
1962	63	27	6	-	1	3	-	2	-
1963	20	19	3	-	-	3	-	-	-
1964	25	17	8	-	2	2	-	4	-
1965	27	18	8	1	1	2	1	3	-
1966	21	15	9	-	2	5	-	2	-
1967	16	15	8	-	2	3	-	3	-
1968	13	12	10	1*	6	2	-	1	-
1969	14	13	8	1	4	2	-	1	-
1970	5	5	3	-	2	1	-	-	-
1971	2	2	2	-	1	1*	-	-	-
1972	2	2	2	-	1	-	-	1	-
1973	6	6	5	-	4	1	-	-	-
1974	3	3	2	-	2	-	-	-	-
1975	1	1	1	-	-	-	-	-	1
1976	1	1	0	-	-	-	-	-	-
1977	2	2	2	-	2	-	-	-	-
1978	1	1	1	-	-	-	-	1	-
1979	1	1	1	-	1	-	-	-	-
1980	4	4	4	1*	1	-	-	2	-
1981	4	4	2	-	1	-	-	1	-
1982	0	0	0	-	-	-	-	-	-
1983	2	2	1	-	1	-	-	-	-
1984	0	0	0	-	-	-	-	-	-
1985	1	1	1	-	1	-	-	-	-
1986	1	1	1	-	-	1	-	-	-
1987	0	0	0	-	-	-	-	-	-
1988	0	0	0	-	-	-	-	-	-
1989	0	0	0	-	-	-	-	-	-
1990	0	0	0	-	-	-	-	-	-
1991	1	1	1	-	-	-	-	1	-
1992	2	2	2	-	-	2	-	-	-
1993	3	3	3	-	2	1	-	-	-
1994	1	1	1	1	-	-	-	-	-
1995	0	0	0	-	-	-	-	-	-

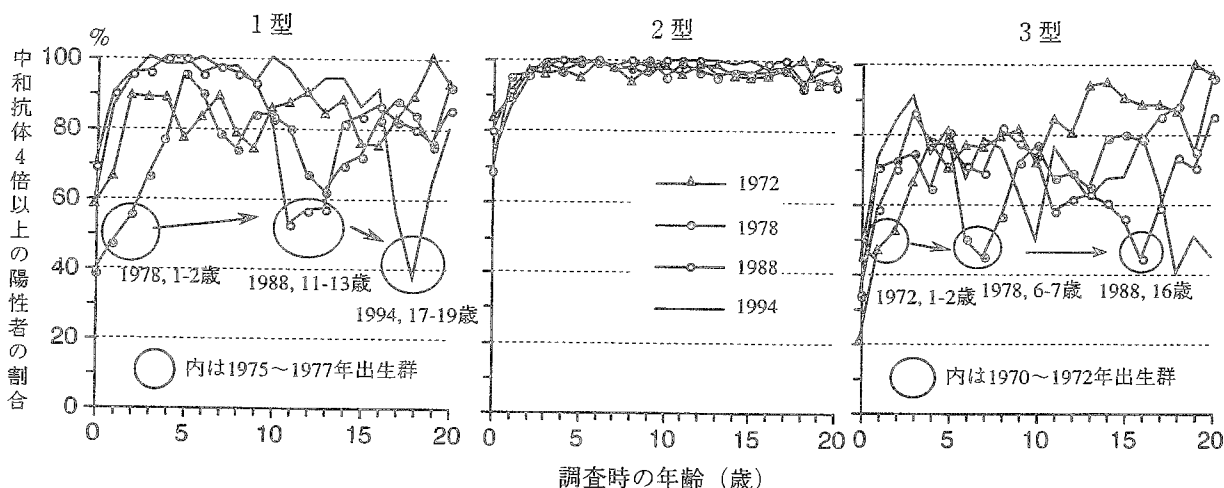
*非ワクチン株

(伝染病流行予測調査)

日本におけるポリオ患者の全国規模での実態は、1947年「伝染病届出規則」制定以来正式に把握された。1949年頃より全国各地でポリオの流行が報告された。1960年には北海道を中心に大流行し、1年間の患者が5,000名を超えた。1961年には輸入生ワクチンの緊急投与が行われ、1963年からは定期接種が始まった。その結果、ポリオ患者は激減し、現在まではほぼ完全に制圧されている(図1)。わが国ではポリオ生ワクチンは2回接種で、春と秋に一斉投与方式で行われている。

生ワクチン投与開始後1962年から、厚生省伝染病流行予測調査が実施されてきた。これは、各都道府県の協力を得て、感染源調査と感受性調査の両面からポリオ患者の発生の可能性を監視するものである。感染源調査は、健康小児糞便からのポリオウイルスの分離試験を、生ワクチン投与時期から2カ月以上経過した時点で行い、野生株ポリオウイルスの侵入を監視する。さらに定型的なポリオ様麻痺患者については、ウイルス学的、血清学的に確認検査を行ってきた。流行予測調査あるいは麻痺患者材料からポリオウイルスが分離された場合は、そのウイルスがワクチン由来株であるか野生株であるかの鑑別を行っている。感受性調査は一般健康者のポリオウイルスに対する中和抗

図2. ポリオ抗体保有状況の推移, 1972~1994年 (伝染病流行予測調査)



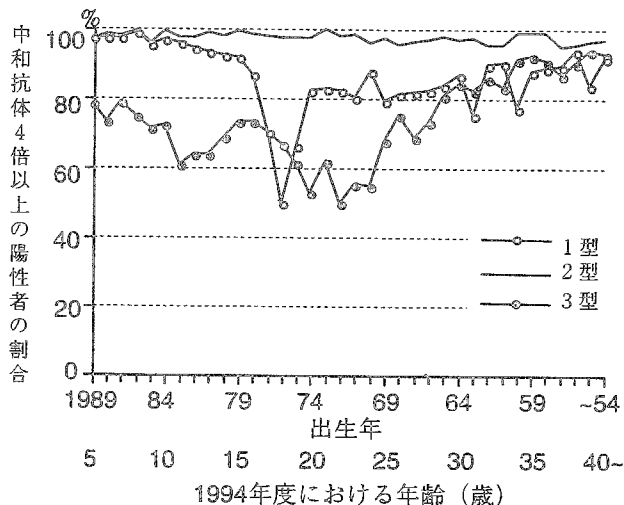
体保有状況を継続的に追跡し、予防接種の効果と集団の免疫状況を監視している。以下に1962~1995年の流行予測調査結果をまとめた。

(1) 感染源調査：これまでの健康小児からのウイルス分離試験(約76,000検体)において、野生株のポリオウイルスが分離された例はない。

定型的なポリオ様麻痺患者についての検査結果を表1に示した。34年間で95症例由来の120株のうち、野生株は、1型2株、3型1株の計3株のみで、その他はすべてワクチン由来株が毒力復帰したと考えられた。1991年以降接触症例(contact case)が3例報告された(本月報 Vol. 14, No. 12, Vol. 15, No. 1参照)。定型ポリオ様麻痺以外の患者からの野生株の分離は、1984年に愛知県(7歳女児, 脳炎, 咽頭拭い液)の1型1例(本月報 Vol. 6, No. 1参照)と1993年に滋賀県(13歳男児, 上気道炎, 咽頭拭い液)の3型1例(本月報 Vol. 14, No. 11参照)がある。

(2) 感受性調査：ポリオウイルスに対する抗体保有状況は、生ワクチン投与前の1961年の調査では、いずれの型に対しても加齢とともに上昇する自然感染特有のパターンを示していた。生ワクチン緊急投与後の1963年にはすべての年齢群で高い抗体陽性率を示した。図2に1972~94年の抗体保有状況(中和抗体1:4倍以上)の推移を示す。1972年の調査では、ワクチン投与後の抗体獲得率(1~2歳での抗体保有率)は1, 2型は十分高かったが、3型は低かった。1978年の調査では、3型の抗体獲得率は改善されたが、逆に1型が低かった。1988年の調査では、1型についても改善された。しかし、1972年調査時に3型抗体獲得率が低かった集団と1978年調査時に1型抗体獲得率が低かった集団では年齢が高くなった1994年調査時でも低い抗体保有率のままであった(図2大きい丸印で示す)。抗体獲得がワクチン接種のみに依存する状況を示している。2型についてはどの調査時点でも、全年齢で高い抗体保有率を示した。

図3. 出生年別ポリオ抗体保有状況 (1991~94年度伝染病流行予測調査)



今回、特定の年齢での抗体保有率を明確にするため、1991~94年の4年分の感受性調査結果(計7,306検体)を集計した。各調査対象者について1994年度での年齢を計算し、5歳以上の各年齢における1:4倍以上の中和抗体保有状況を図3に示した。1型に対する抗体保有率は18歳では約50%である。また、3型に対する抗体保有率は22歳では約50%である。

1型は特にポリオ流行地においてポリオ患者から分離されることが多い。厚生省では1型抗体保有率の低い年齢群(1975~77年生まれに相当)に対して、ポリオの野生株がいまだに存在している国へ渡航する場合には、ワクチン追加接種を受けるよう勧告した(本号3ページ参照)。

わが国のワクチン接種率は1981年以降は90%以上を維持している。現在のワクチンによる抗体獲得率は、1, 2型がほぼ100%, 3型が90%である。今後も生ワクチンの免疫賦与能と神経毒力(麻痺)復帰は常に監視する必要がある。

病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 2 (No.204)
1997年2月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
<http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html>

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-edc@nih.go.jp

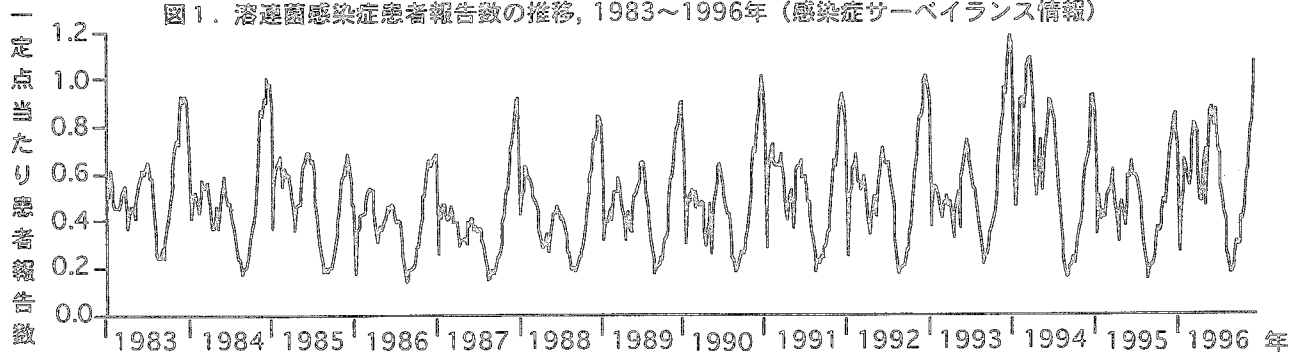
(禁、無断転載)

劇症型 A 群レンサ球菌感染症: 診断基準 3, 1994 & 1995 年疫学調査 4, 溶レン菌レファレンスシステムセンター窓口 5, O157: H7 糞発: 若手県 6, *V. mimicus* 食中毒: 新潟県 6, 今シーズン早期に発生したインフルエンザの流行: 福島県 7, エコー11流行: 高知県 7, エコー21分離例: 鳥取県 8, 胃腸炎乳幼児からのアデノ31分離: 広島市 8, インフルエンザ世界の情勢 9, 高齢者の肺炎球菌 & インフルエンザワクチン接種率: 米国 9, リコールされたインフルエンザワクチンに対する抗体応答の低下: 米国 10, 日本のエイズ患者・HIV 感染者の状況 10, テフス菌・パラチフス菌フェージ型別成績 19

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染症腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> 溶連菌感染症 1995現在

図1. 溶連菌感染症患者報告数の推移, 1983~1996年 (感染症サーベイランス情報)



溶血レンサ球菌の感染によって起こる種々の病態のうち、感染症サーベイランスの対象となっている溶連菌感染症は主として A 群レンサ球菌による咽頭炎である。溶連菌感染症の定点医療機関からの患者報告総数は、1994 年は 80,095、1995 年は 60,007 であった。一定点当たり年間報告数は 1987 年に最低値 21.1 を記録して以来、1991 年に 27.7、1992 年に 28.3、1993 年に 29.0 と増加していたが、1994 年の 33.0 をピークに、1995 年は 24.6 に減少した。一定点当たり患者報告数のパターンは、1993 年後半～1994 年前半にかけて感染症サーベイランス開始以来最大の流行となり、従来の 10～12 月に高いピーク、1～3 月および 5～7 月に低いピークを繰り返す、いわゆる“高一低一低の 3 峰性”のパターンが崩れたが、1995 年には例年通りのパターンに戻った (図 1)。

病原微生物検出情報では 1990 年 1 月以降、医療機関から検体材料別に病原菌検出報告を収集している。1994 年に検出された A 群レンサ球菌は、咽頭および鼻咽喉材料から 13,055、喀痰、気管吸引液および下気道材料から 820 であった。1995 年の検出数はそれぞれ 7,704、676 で、患者報告数と同様、1990 年以来増加していた検出数が 1995 年初めて減少に転じた。

病原微生物検出情報における 1988 年 1 月～1995 年 12 月の地研・保健所による A 群レンサ球菌 T 型別を月別および年別に図 2、表 1 に示した。A 群レンサ球菌検出数の合計は感染症サーベイランス情報の患者報告

(図 1) と同様、3 峰性のパターンを示している (次ページ図 2)。1988 年～1995 年までに T 型別を実施した A 群レンサ球菌の年間報告数は 1,271～2,556 であった (次ページ表 1)。各年別の T 型の検出割合をみると、主に検出されるものは T1、T4、T12 で、この 3 つの型で各年の 50% 以上を占めている。

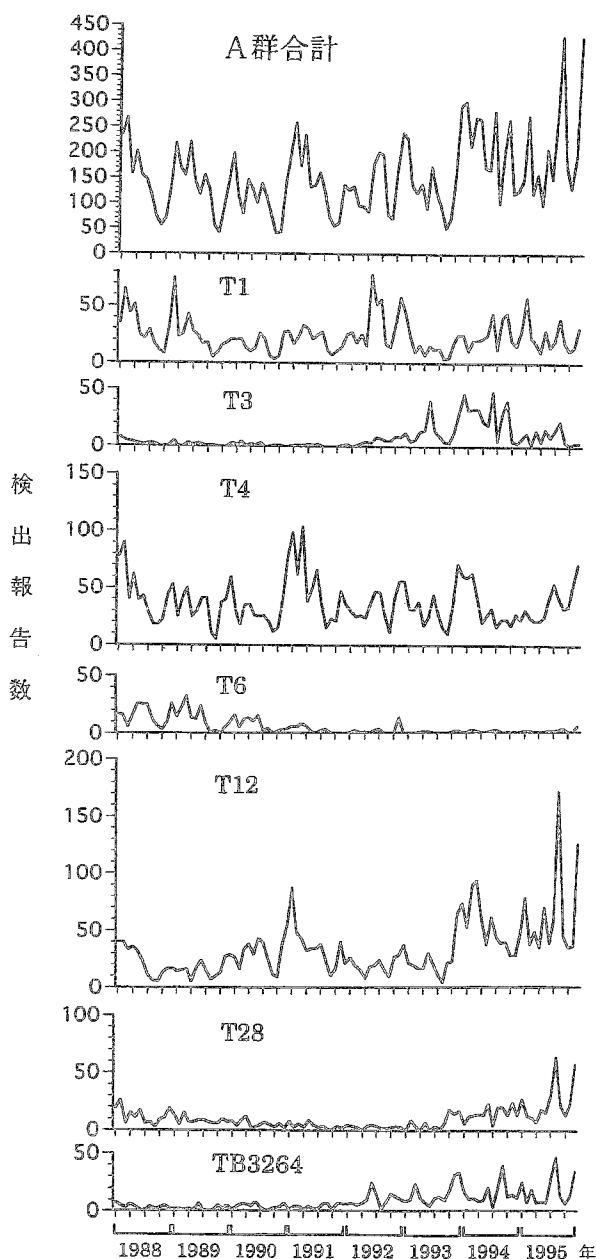
これらの型の年次変動として、T1 型は 1988 年、1992 年に、T4 型は 1989 年、1991 年に、T12 型は 1990 年および 1995 年あるいはそれ以降にピークを示す傾向にあるが、急激な変化は示してはいない。一方、T3 型は 1991 年～1993 年および 1994 年にかけて 1% から 11% に急激に検出率の増加がみられ、また、逆に T6 型は、1989 年～1991 年および 1992 年にかけて 11% から 1～2% に急激に減少している。T28 型は 1993 年～1995 年にかけて徐々に増加する傾向にある。また、TB3264 型は 1992 年～1993 年にかけて徐々に増加する傾向から、1994 年および 1995 年は 7～8% 程度で安定している (次ページ表 1)。

劇症型 A 群レンサ球菌感染症: 近年、欧米をはじめ日本においても劇症型 A 群レンサ球菌感染症 (TSLs: toxic shock-like syndrome) いわゆる“人喰いバクテリア”による劇症型感染症が問題になっている。劇症型感染症の出現の理由が、宿主側の免疫状態の変化あるいは菌側の病原因子の変化で証明されようとしているが、いまだ確定していない。

表1. A群レンサ球菌T型別年間検出報告数, 1988~1995年(地研・保健所集計)

血清型	1988 (%)	1989 (%)	1990 (%)	1991 (%)	1992 (%)	1993 (%)	1994 (%)	1995 (%)	計 (%)
T1	413 (22.5)	248 (19.5)	194 (15.0)	244 (14.8)	437 (24.8)	175 (10.0)	302 (13.0)	286 (11.2)	2,299 (15.9)
T3	34 (1.9)	13 (1.0)	14 (1.1)	11 (0.7)	65 (3.7)	194 (11.1)	276 (11.8)	102 (4.0)	709 (4.9)
T4	536 (29.3)	406 (31.9)	363 (28.0)	597 (36.2)	423 (24.0)	404 (23.1)	369 (15.8)	448 (17.5)	3,546 (24.5)
T6	188 (10.3)	141 (11.1)	84 (6.5)	31 (1.9)	21 (1.2)	4 (0.2)	6 (0.3)	13 (0.5)	488 (3.4)
T11	26 (1.4)	18 (1.4)	22 (1.7)	40 (2.4)	50 (2.8)	65 (3.7)	71 (3.0)	87 (3.4)	379 (2.6)
T12	271 (14.8)	192 (15.1)	364 (28.1)	427 (25.9)	244 (13.8)	318 (18.2)	613 (26.3)	772 (30.2)	3,201 (22.1)
T18	27 (1.5)	24 (1.9)	18 (1.4)	12 (0.7)	34 (1.9)	63 (3.6)	145 (6.2)	56 (2.2)	379 (2.6)
T28	149 (8.1)	101 (7.9)	67 (5.2)	49 (3.0)	39 (2.2)	80 (4.6)	175 (7.5)	302 (11.8)	962 (6.7)
TB3264	44 (2.4)	28 (2.2)	46 (3.6)	45 (2.7)	120 (6.8)	175 (10.0)	174 (7.5)	210 (8.2)	842 (5.8)
その他	144 (7.9)	100 (7.9)	123 (9.5)	195 (11.8)	330 (18.7)	274 (15.6)	201 (8.6)	280 (11.0)	1,647 (11.4)
合計	1,832 (100)	1,271 (100)	1,295 (100)	1,651 (100)	1,763 (100)	1,752 (100)	2,332 (100)	2,556 (100)	14,452 (100)

図2. A群レンサ球菌の主要T血清型月別検出状況(地研・保健所集計)



1992年に日本で初めての劇症型A群レンサ球菌感染症例の報告があって以来、劇症型感染症についてのサーベイランスを開始した(診断基準は本号3ページ参照)。主に各地方衛生研究所を経て国立予防衛生研究所に報告された劇症型A群レンサ球菌感染症例は、1994年に13症例(千葉3, 広島2, 山形1, 神奈川1, 静岡1, 兵庫1, 鳥取1, 高知1, 熊本1, 大分1), 1995年に12症例(千葉2, 静岡2, 徳島2, 秋田1, 愛知1, 奈良1, 高知1, 佐賀1, 宮崎1)であった。1992年以降に国立予防衛生研究所に報告された劇症型A群レンサ球菌感染症を起こした菌株でTおよびM型別を調査した29症例中(患者平均年齢48歳), T1(M1)型は8症例, T3(M3)型は12症例で, 全体の69%を占めていた。これらの結果は, CDCが1990年にアメリカにおける劇症型A群レンサ球菌感染症を起こした株のうちM1, M3型が80%近くを占めると報告しているが, それと一致するものであった(Y. Inagaki, T. Konda et al., *Epidemiol. Infect.*, in press)。

A群レンサ球菌感染症を起こす主な型は, 先に述べたようにT1, T4, T12型であるが, これらが必ずしも劇症型を起こす主な型とはなっていない。また, 1993年~1994年にT3型菌の分離率が急激に増加するに従い, T3型で劇症型A群レンサ球菌感染症を示す症例が見られてきた傾向にあったが, これらの因果関係をはっきりさせるためにさらなる詳細な調査が期待される。

速報: 感染症サーベイランス情報によると, 1996年10~12月に溶連菌感染症の患者報告数は大きく増加した。第48週(11月24~30日)に一定点当たり1.00人を超え, 第50週(12月8~14日)には1.13人となり, 前2年同期を上回り, 1993年に次ぐ高いピークとなった(図1)。

病原微生物検出情報

月報

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

Vol.18 No. 3 (No.205)

1997年3月発行

国立予防衛生研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 国立予防衛生研究所感染症疫学部内
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

幼稚園と専業所における *S. Enteritidis* 大型食中毒: 和歌山市 3, *S. Enteritidis* による死亡例: 大阪市 5, 感染性胃腸炎患児からの SRSV 検出: 香川県 5, 北海道のライム病の発情 6, エコープール抗血清 EP-95 使用状況 7, 感謝祭の夕食が原因で発生したサルモネラ症: 米國 7, レジオネラ症集団発生: スペイン 8, 1994年世界のヒトベスト 8, MRSA サーベイランス: フランス & 英國 8, インフルエンザ 1996/97 シーズン遠報: 米國 8, 麻疹性ポリオ: 米國 9, 霊長類スプーマウイルスの職業感染: 米國 9, 空港マラリア死亡例: スイス 9, 輸入マラリア: 米國 10, 日本における HIV 感染の状況 (1996年未発表) 10

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関及び国立予防衛生研究所における検査成績を事務局において集計したものである。

<特集> サルモネラ 1994~1996

厚生省統計情報部の「食中毒統計」年報によると、細菌性食中毒患者数は、1994年に29,513、1995年は22,329であり、1993年の19,089に比べ増加した。これらのうち、サルモネラによる患者の割合は1993年が36% (6,954名)であったのに引き続き、1994年が49% (14,410名)、1995年が36% (7,996名)であり、病

因物質別では依然として第1位を占めている。1994年および1995年は事件数では腸炎ピブリオに次いで第2位となったが、1事件あたりの患者数は腸炎ピブリオがそれぞれの年で26および23名であるのに対し、サルモネラの方が70および45名と多く、これは従来の傾向と変わりなかった。

図 1. ヒト由来サルモネラ年別検出状況, 1986~1995年 (地研・保健所集計)

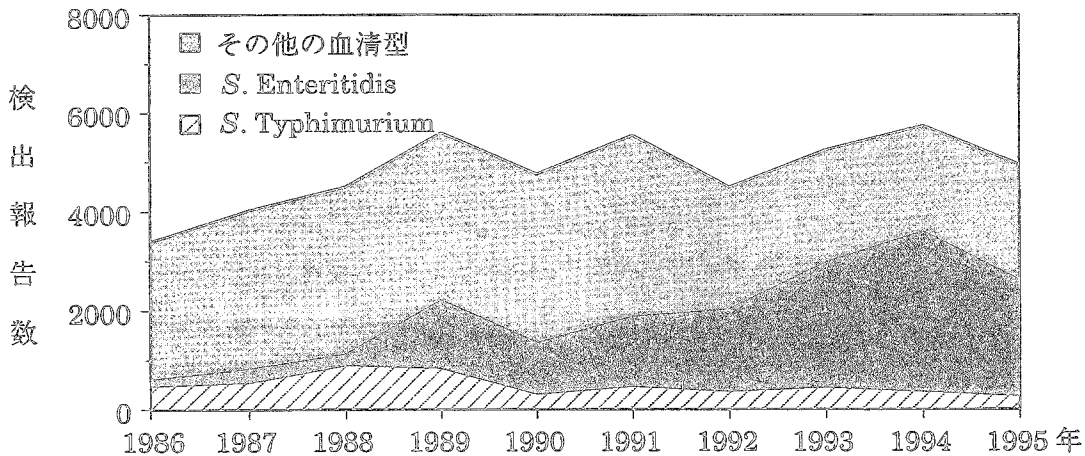


表 1. サルモネラ集団発生 (血清型別事件数: 患者数10名以上、病原微生物検出情報の遠報による)

O群	1993年		1994年		1995年		1996年*	
	血清型	事件数	血清型	事件数	血清型	事件数	血清型	事件数
O4	<i>S. Typhimurium</i>	11	<i>S. Typhimurium</i>	5	<i>S. Typhimurium</i>	5	<i>S. Typhimurium</i>	4
	<i>S. Haiifa</i>	4	<i>S. Paratyphi B</i>	3	<i>S. Chester</i>	1	<i>S. Heidelberg</i>	3
	<i>S. Paratyphi B</i>	1	<i>S. Stanley</i>	1				
	<i>S. Stanley</i>	1						
	型不明	1	型不明	4	型不明	1		
O7	<i>S. Thompson</i>	4	<i>S. Singapore</i>	2	<i>S. infantis</i>	5	<i>S. Montevideo</i>	2
	<i>S. Potsdam</i>	1	<i>S. Thompson</i>	1	<i>S. Montevideo</i>	2	<i>S. Singapore</i>	2
	<i>S. Virchow</i>	1	<i>S. infantis</i>	1	<i>S. Thompson</i>	1	<i>S. infantis</i>	1
					<i>S. Virchow</i>	1	<i>S. Virchow</i>	1
	型不明	2	型不明	2	型不明	1	型不明	1
O8	<i>S. Litchfield</i>	1	<i>S. Litchfield</i>	1	<i>S. Hadar</i>	3	<i>S. Litchfield</i>	1
			<i>S. Hadar</i>	1	<i>S. Litchfield</i>	1	<i>S. Hadar</i>	1
			型不明	1				
O9	<i>S. Enteritidis</i>	41	<i>S. Enteritidis</i>	75	<i>S. Enteritidis</i>	69	<i>S. Enteritidis</i>	84
	<i>S. Dublin</i>	1			<i>S. Dublin</i>	1		
	型不明	5	型不明	7	型不明	4	型不明	6
O3, 10			<i>S. Weltevreden</i>	3	<i>S. Weltevreden</i>	1	<i>S. Anatum</i>	1
O16	<i>S. Gaminara</i>	1					型複数分離**	1
	計	75		107		97		110

* 1996年、遠報による暫定数

** *S. infantis* (5), *S. Tennessee* (1), *S. Enteritidis* (14), *S. Eastbourne* (3)

表 2. わが国で高頻度に分離されるサルモネラ血清型 (1991~1995年)

順位	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年
1	<i>S. Enteritidis</i> 1,388	<i>S. Enteritidis</i> 1,644	<i>S. Enteritidis</i> 2,499	<i>S. Enteritidis</i> 3,202	<i>S. Enteritidis</i> 2,316
2	<i>S. Thompson</i> 670	<i>S. Typhimurium</i> 368	<i>S. Typhimurium</i> 452	<i>S. Typhimurium</i> 369	<i>S. Typhimurium</i> 279
3	<i>S. Typhimurium</i> 471	<i>S. Montevideo</i> 291	<i>S. Thompson</i> 181	<i>S. Infantis</i> 202	<i>S. Hadar</i> 192
4	<i>S. Hadar</i> 323	<i>S. Tennessee</i> 169	<i>S. Litchfield</i> 141	<i>S. Thompson</i> 154	<i>S. Infantis</i> 169
5	<i>S. Braenderup</i> 267	<i>S. Thompson</i> 162	<i>S. Infantis</i> 124	<i>S. Hadar</i> 110	<i>S. Thompson</i> 167
6	<i>S. Montevideo</i> 165	<i>S. Hadar</i> 154	<i>S. Hadar</i> 120	<i>S. Litchfield</i> 107	<i>S. Montevideo</i> 91
7	<i>S. Litchfield</i> 156	<i>S. Infantis</i> 152	<i>S. Virchow</i> 103	<i>S. Montevideo</i> 70	<i>S. Litchfield</i> 87
8	<i>S. Infantis</i> 148	<i>S. Braenderup</i> 147	<i>S. Braenderup</i> 97	<i>S. Agona</i> 63	<i>S. Braenderup</i> 80
9	<i>S. Oranienburg</i> 130	<i>S. Litchfield</i> 85	<i>S. Newport</i> 82	<i>S. Anatum</i> 62	<i>S. Anatum</i> 68
10	<i>S. Potsdam</i> 123	<i>S. Blockley</i> 66	<i>S. Typhi</i> 73	<i>S. Paratyphi B</i> 62	<i>S. Senftenberg</i> 64
11	<i>S. Tennessee</i> 119	<i>S. Agona</i> 64	<i>S. Agona</i> 61	<i>S. Braenderup</i> 61	<i>S. Newport</i> 62
12	<i>S. Agona</i> 109	<i>S. Bareilly</i> 53	<i>S. Anatum</i> 59	<i>S. Singapore</i> 54	<i>S. Agona</i> 60
13	<i>S. Virchow</i> 85	<i>S. Anatum</i> 48	<i>S. Senftenberg</i> 59	<i>S. Virchow</i> 50	<i>S. Bareilly</i> 54
14	<i>S. Cerro</i> 80	<i>S. Heidelberg</i> 44	<i>S. Bareilly</i> 57	<i>S. Newport</i> 44	<i>S. Virchow</i> 48
15	<i>S. Blockley</i> 75	<i>S. Typhi</i> 41	<i>S. Montevideo</i> 56	<i>S. Weltevreden</i> 43	<i>S. Heidelberg</i> 44
		<i>S. Virchow</i> 41			
その他	1,241	その他 956	その他 1,099	その他 1,096	その他 1,168
合計	5,550	4,485	5,254	5,749	4,949

表 3. *Salmonella* Enteritidis のファージ型分布 (集団発生事件数)

年	ファージ型															検査事件数		
	1	3	4	5	5a	6	7	8	9	9a	12	13a	14b	22	34		UT	Mix
1990	2	-	26	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	12	-	3	46
1991	1	2	25	-	1	-	-	3	1	-	-	-	-	-	17	2	6	58
1992	35	1	48	-	-	1	-	6	9	1	-	-	-	-	6	1	2	110
1993	43	2	31	-	-	-	-	2	-	2	1	-	1	-	11	-	1	94
1994	41	-	31	1	1	-	-	2	4	-	-	2	-	3	3	4	3	95
1995	30	4	27	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	3	5	85
1996*	21	1	16	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	44
合計	175	10	206	15	2	3	1	18	14	4	1	2	1	3	50	12	15	528

* 1997年1月31日現在受理分

(予研細菌部外来性細菌室)

UT : 既知のすべてのファージに感受性のないもの

Mix : 複数のファージ型が検出された事件

他方、全国の地研・保健所から報告されたサルモネラの検出数は、病原微生物検出情報で集計される病原菌のうちで最も多く、1986~1995年のヒト由来のサルモネラ検出数の推移をみると、1986~1989年に増加した後、多少の変動があるものの、その検出総数はほぼ横ばい状態が続いている(図1)。しかし血清型の推移では *Salmonella* Enteritidis の増加傾向と、*S. Typhimurium* およびその他の血清型検出数の減少傾向が続いている。

この傾向はサルモネラ集団発生の原因となった血清型の分布からも明らかである。1993~1996年に病原微生物検出情報に報告されたサルモネラ集団発生のうち、患者数10名以上の事件から検出された血清型は10~12種類であった。そのうち、*S. Enteritidis* による集団発生事件数は、1993年41(55%)、1994年75(70%)、1995年69(71%)、1996年84(76%)であり、増加傾向が続いていることが示された(表1)。

S. Enteritidis の増加は、わが国においてヒトから高頻度に分離された上位15サルモネラ血清型からも明白である(表2)。*S. Enteritidis* のサルモネラ検出総数に占める割合は1988年の5%から1989年の24

%への激増以来、年々徐々に増加して来た(本報 Vol. 16, No. 1 参照)。1993年に47%と高率に検出された後、1994年56%、1995年47%と推移している。

さらに、国立予防衛生研究所に送付された *S. Enteritidis* のうち集団発生事件由来の菌株のファージ型(PT)別結果は以下のとおりである(表3)。1990年~1996年の全体的な傾向としては、PT1が1992年に32%(35/110)に増加した後平均で41%の検出率を示し、PT4は1990年に57%(26/46)に急増した後平均で40%を示す一方で、PT34は1990年に26%(12/46)であったものが次第に減少し、1996年には検出されなかった。したがって、PT1およびPT4の占める割合をあわせると1996年には84%に達し、両者のファージ型の菌株が蔓延している状態が推察される。しかしながら、散発事例および環境由来株のファージ型は多種類に及び、今後それらのファージ型の菌株が増加してくる可能性も否定できない。

S. Enteritidis の高い検出率が続く以上、その動向を知るうえでも疫学的情報を含めた詳細な情報収集が不可欠であろう。

病原微生物検出情報



Vol.18 No. 4 (No.206)
1997年4月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

国立感染症研究所
感染症情報センター
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課
事務局 感染症情報センター感染症情報室
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-odc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

アデノウイルス7型 死亡例:長崎県3, VAHS:川崎市3, 急性呼吸器疾患:北海道4, 集団発生後の血清抗体調査:山梨県4, 1996年の流行:愛知県5, 腐肉食生によるO157:H7感染:山形県6, わが国におけるカンピロバクター血清型別状況6, O157集発:スコットランド7, 未熟菌アップルサイダーによるO157:H7とCryptosporidium集発:米国7, 腺ペスト:ザンビア8, レジオネラ症:米国8, 英国8, 台湾8, Q熱集発:ドイツ8, ヒトエールリキア症:米国9, ダニ麻痺:米国9, 1996年AIDS最新情報:米国10, 小児AIDS:米国10, 日本のエイズ患者・HIV感染者の状況10, チフス菌・パラチフス菌のファージ型別成績17

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

1997年4月1日付で国立予防衛生研究所は国立感染症研究所に名称変更となり、さらに内部の組織再編で感染症疫学部は感染症情報センターに変わりました。

<特集> アデノウイルス7型 1995.4~1996.12

1980年に病原微生物検出情報の収集を開始して以来、報告が稀であったアデノウイルス7型が1995年4月以降相次いで分離され始めた。1996年に入って心臓、肺に基礎疾患を持つ小児の肺炎死亡例からアデノウイルス7型が分離されたことが明らかとなり、日本におけるEmerging Infectious Diseaseの様相を呈してきた。このため厚生省は1996年4月8日付けで注意を促す事務連絡を出した(本報Vol.17, No.5, 6ページ参照)。本報でも1996年2月までの分離状況を昨年5月に特集した(Vol.17, No.5参照)。その後も病原微生物検出情報への分離報告が続き、小児感染症関連の学会などでも各地の医療機関よりアデノウイルス7型感染重症例の報告が発表されており、引き続き本ウイルスの動向に注意を払う必要がある。本特集では1995年以降のアデノウイルス7型分離状況を

改めて報告し、関係者の注意を喚起したい。

1995年4月~1996年12月に30機関で274例からアデノウイルス7型が分離された。1995年に報告がなかった九州でも1996年には分離されている(表1)。

アデノウイルス7型が分離された検体の種類は鼻咽喉ぬぐい液212, 便72, 眼ぬぐい液30, 尿4, 肺・気管支由来の材料3, 胸水1で(同一患者で異なる種類の検体から分離された例を含む), 検出方法は全例培養細胞による分離である。うち8例は電子顕微鏡(EM)による直接検出またはELISAによる抗原検出でも陽性とされている(EM+ELISA 4例, EM 2例, ELISA 2例)。中和試験による分離ウイルスの型別同定では7型は同じB亜属の3型および11型との間で交差反応がみられる場合があり、注意を要する(本号5ページ参照)。

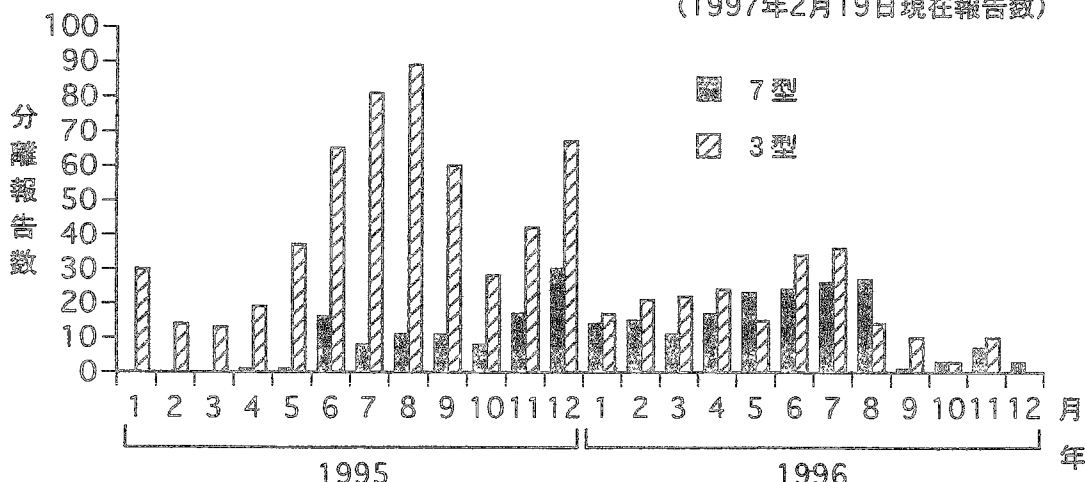
表1. 月別報告機関別アデノウイルス7型分離報告数, 1995年4月~1996年12月

報告機関	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
北海道PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	2	3	3	-	-	-	-	18
札幌市PBI	-	-	-	-	-	-	1	2	5	1	6	1	-	-	3	1	-	-	1	5	2	28
秋田県PBI	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県PBI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県PBI	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
横浜市PBI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
川崎市PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	1	-	-	5
山梨県PBI	-	-	11*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
静岡県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県PBI	-	-	-	-	-	-	-	2	8	3	3	2	-	1	-	6	7	-	-	-	-	32
滋賀県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
京都府PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府PBI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	4	4	-	-	-	-	13
神戸市PBI	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県PBI	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	7
鳥取県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	5	3	2	-	-	-	-	13
島根県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	1	-	1	-	6
岡山県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
広島県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
広島市PBI	-	1	1	4	3	8	5	9	12	8	4	6	7	5	6	5	7	-	1	1	-	93
香川県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県PBI	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
長崎県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
宮崎県PBI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	2
IA7-RI	1	-	2	3	-	1	1	4	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
三菱化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2
合計	1	1	16	8	11	11	8	17	30	14	15	11	17	23	24	26	27	1	3	7	3	274

PBI: 地方衛生研究所 *集団発生例

(1997年2月19日現在報告数)

図1. アデノウイルス7型・3型月別分離報告数, 1995年1月～1996年12月
(1997年2月19日現在報告数)



アデノウイルス7型は、3型と同様に結膜、咽頭、肺、腸管など多臓器で増殖するため多彩な症状を起こす。アデノウイルスの中でこれまで日本で最も多数分離されている3型と対比させるため、1995～96年のアデノウイルス7型と3型の月別分離報告数を図1に示した。7型は1995年4月以降毎月分離されているが、季節性ははっきりしない。一方、3型は例年夏季を中心に分離されている。

1995～96年にアデノウイルス7型と3型が分離された274例および751例の年齢と臨床診断名を表2に示した。0～14歳の7型分離例中臨床診断名が記載されていた176例では、呼吸器疾患が137（78%）と大半を占める。この中には、肺炎20例および呼吸不全を起こした重症例2例（本号3ページ参照）や兄弟例の報告（本号4ページ参照）が含まれている。消化器疾患は20（11%）、不明熱・熱性けいれん16（9.1%）で、その他には出血性膀胱炎1、VAHS（ウイルス関連血球貪食症候群）1（本号3ページ参照）が含ま

ている。一方、15歳以上の7型分離例38例では流行性角結膜炎とインフルエンザ様疾患（集団発生例11例を含む：本月報 Vol. 17, No. 5, 3 ページおよび本号4 ページ参照）がほとんどであった。低年齢では呼吸器疾患が主で、成人では眼疾患がみられるという傾向は3型と共通しているが、7型分離例では高熱を呈する例が多く、40℃以上の割合が35%であった（3型分離例では27%）。

高熱が続く肺炎患者を診察した場合はアデノウイルス7型感染を疑い（本月報 Vol. 18, No. 1, 4 ページおよび本号3 ページ参照）、一般的な院内感染防止対策のほか、便および咽頭ぬぐい液からのアデノウイルス抗原検出 ELISA による迅速診断（型別同定のためにはウイルス分離が必要）を実施し、病室を分ける、特に患者の便の取り扱いに注意するなど、心肺機能に基礎疾患があったり、免疫が低下している小児へのウイルス伝播を阻止する対策を講じることが望まれる。

表2. アデノウイルス7型・3型分離例の年齢と臨床診断名, 1995年1月～1996年12月

臨床診断名	アデノウイルス7型分離例の年齢(歳)										アデノウイルス3型分離例の年齢(歳)												
	0	5	10	15	20	30	40	50	60	不	合	0	5	10	15	20	30	40	50	60	不	合	
呼吸器疾患	4	9	14	19	29	39	49	59			明計	4	9	14	19	29	39	49	59			明計	
かぜ症候群	30	20	5	-	-	-	-	-	-	1	56	109	86	14	1	1	2	-	-	-	-	2	215
インフルエンザ様疾患	11	5	2	10	6	2	-	-	-	-	36	30	39	7	-	1	2	-	-	-	-	-	79
肺炎	17	2	1	-	-	-	-	-	-	3	23	11	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	15
気管支炎	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9	27	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	32
異型肺炎	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	5	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	9
呼吸不全	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	12	6	2	-	1	-	-	-	-	1	22	49	31	3	-	1	1	-	-	-	-	-	85
その他の呼吸器疾患	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	12	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
眼疾患																							
流行性角結膜炎	-	-	-	2	5	4	2	-	4	1	18	1	8	2	1	8	13	2	5	4	-	44	
急性結膜炎	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
消化器疾患																							
感染性胃腸炎	13	1	1	-	-	-	-	-	-	1	16	9	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
乳児嘔吐下痢症	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
腸重積	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明熱・熱性けいれん	12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	16	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
出血性膀胱炎	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウイルス関連血球貪食症候群	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	7	19	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	27
記載なし	33	10	4	-	-	-	-	-	-	5	52	93	65	11	1	4	5	1	-	1	11	192	
合計	154	54	15	12	12	7	3	0	4	13	274	375	264	40	4	15	23	3	6	5	16	751	

(1997年2月19日現在報告数)

病原微生物検出情報

月刊

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

Vol.18 No. 5 (No.207)
1997年5月発行

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 感染症情報センター

〒162 新宿区戸山1-23-1

Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177

E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

百日咳の血清疫学調査 3. 今シーズン後期のインフルエンザ B 型流行: 大阪府 4. 特養老人ホームのインフルエンザ
機感染集団発生: 岡山県 5. 入院患者に多発した SRSV 感染: 富山県 6. 1996 年冬の手足口病患者等からの CA10
分離: 鳥根県 6. 急性骨髄性白血病に合併した *T. foetus* 脳脊髄膜炎症例 7. *N. fowleri* によるアメーバ性脳膜炎
症例 8. 広原性血線虫発生状況 8. 接種方式変更による百日咳予防効果への影響: 茨城県 10. Hib 結合型と無細胞百日
咳ワクチンの混用併用: 米国 10. ジフテリアの流行: 旧ソ連 10. コレラ: ボリビア. プルンジ 11. 腸チフス: タ
ジキスタン 11. レジオネラ症: デンマーク 11. 冷凍イチゴ関連 A 型肝炎: 米国 12. ポリオ流行とワクチン追加接種:
アルバニア 12. 中学校の伝染性紅斑流行: 台湾 12. 1997/98 シーズン用インフルエンザワクチン推奨株: WHO 12

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検査所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> 百日咳 1982~1996

日本における百日咳は、約 4 年毎の流行を繰り返しながら、その患者数と死者数は 1974、75 年のワクチン接種後死亡事故まで急速に減少していったが、1975 年のワクチン接種一時中止とその後のワクチン接種率の低下によって、1976~81 年に全国的な百日咳の流行が起こった。1981 年に、無毒化した PT (百日咳毒素) と FHA (繊維状赤血球凝集素) 抗原が主成分で副反応を軽減した改良百日咳ワクチン (沈降精製百日せきワクチン, Acellular pertussis vaccine) の接種が開始され、ワクチン接種率が向上したこと (M. Kimura, Develop. Biol. Standard., Vol. 73, p.5-9, 1991) によって、その届出患者数は再び減少していった (図 1)。

しかし 1975 年以降、百日咳ワクチンの集団接種における投与開始年齢は 2 歳以上であった。1988 年 12 月に厚生省は、百日咳の予防接種は個別接種を基本とし、集団接種においても生後 3 カ月から接種開始ができることを通知した。さらに 1994 年に予防接

図 1. 百日咳届出患者数及び死者数の推移, 1947~1995年 (厚生省伝染病統計・人口動態統計)

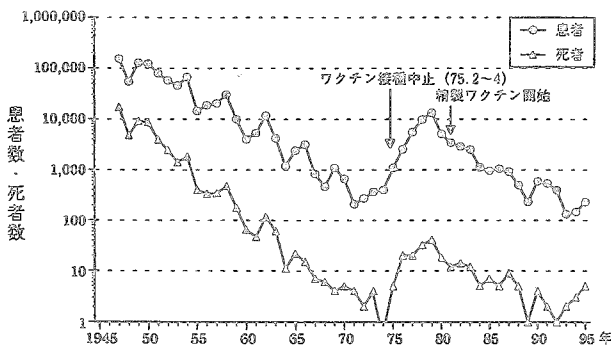


図 2. 百日咳様疾患患者報告数の推移, 1982~1996年 (感染症サーベイランス情報)

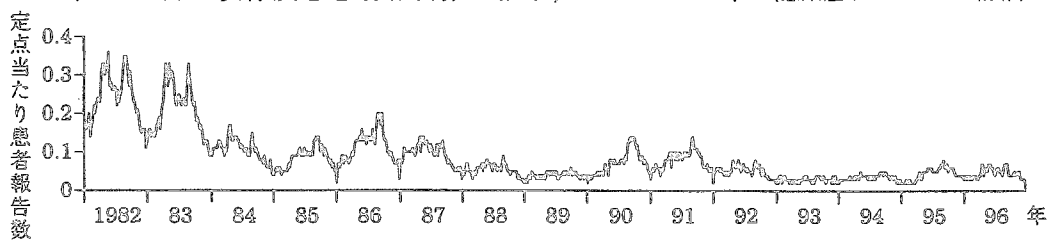
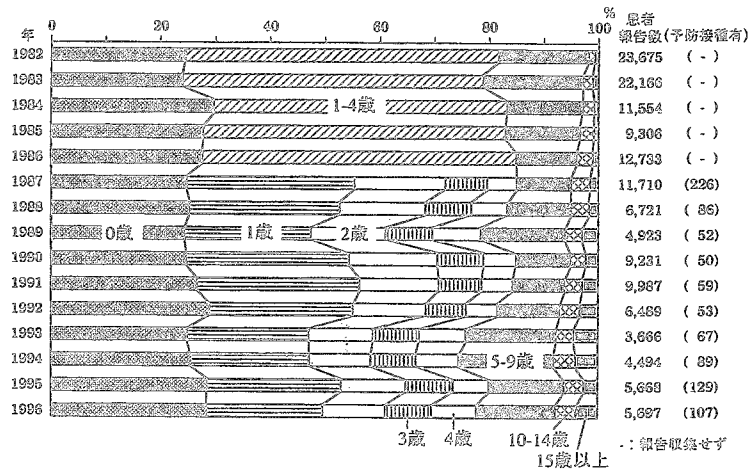


図 3. 百日咳様疾患患者年齢分布の年別比較, 1982~1996年 (感染症サーベイランス情報)



種法が改正され、沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン (DaPT ワクチン) の予防接種は強制的集団接種から勧奨の個別接種に大きく変更され、DaPT ワクチンの標準的な接種年齢は生後 3~12 カ月となった。

感染症サーベイランス情報の百日咳様疾患の週別患者発生状況を図 2 に示した。1982~83 年には 4~5 月と 8~9 月にピークが見られたが、その後は患者発生数の減少とともに明確なピークはなくなり、患者発生が比較的多かった 1986、1990、1991 年の 8~9 月に小さな山が見られたのみになった (図 2)。年間の患者報告数は、1982 年には一定点当たり 12.59 (全定点報告数 23,675) で、徐々に減少しながら約 4 年毎に増加するというパターンを示し、1993 年には 1.51 (3,666) と最少となった。その変動パターンは、図 1 の届出患者数と同様であった。

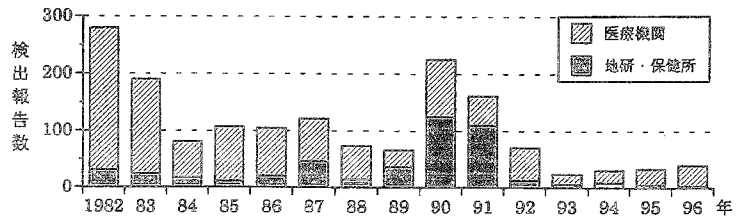
感染症サーベイランス情報の年間患者報告数は、伝

染病予防法に基づく届出患者数の約20倍も多く、全国に換算すると現在でも年間数万例の患者が発生していると推定される。前ページ図3に示すように百日咳様疾患患者の大部分は乳幼児で、1歳以下の年齢群が半数を占め、その比率は患者発生数が比較的多い年に高くなる傾向があった。また近年、10歳以上の比率が若干増加する傾向が見られた。

病原微生物検出情報に報告された百日咳菌の年別検出数は、患者数の増減パターンと類似した傾向であった(図4)。その菌検出は31都府県と6市の地方衛生研究所(地研)・保健所および医療機関から報告されていることから、百日咳菌はほぼ全国的に分布していると推定される。なお、病原微生物検出情報では百日咳菌血清型別の情報は収集していないが、木村ら(感染症誌, 70巻, 19~28ページ, 1996)の1988~92年全国調査によれば、因子1, 3を含む型が優占(98%)していた。

伝染病流行予測調査によると、百日咳の防御抗原(PTおよびFHA)に対する一般健康者血清中のELISA抗体保有状況は、各年齢群ともにワクチン接種者が未接種者に比較して有意に高い保有率を示した(図5)。1990, 1994, 1995年の抗体保有率を比較すると(図6)、抗PTおよび抗FHA抗体ともに2歳以下の年齢で年々

図4. 百日咳菌の年別検出状況, 1982~1996年(病原微生物検出情報)



上昇しており、例えば1歳の抗PT抗体保有率は1990年17%から1994年39%、さらに1995年55%へと高率に推移している。この結果は1988年の厚生省通知ならびに1994年の予防接種法改正によって1歳以下のワクチン接種率(I期2回以上接種)が上昇したこと(1990年5.6%, 1994年23%, 1995年33%)を反映していると考えられる。

感染症サーベイランス情報に1987~1996年の10年間に報告された百日咳様疾患患者中、予防接種歴ありと報告されたのは1.3%(918/68,586)であり、また、木村ら(同上, 1996)が菌分離陽性百日咳患者中I期2回以上のワクチン接種歴がある者はわずかに1.8%と報告していることから、日本での百日咳に対する重要な予防対策は、乳幼児へのワクチン接種であると考えられる。今回の予防接種法改正がワクチン接種率、抗体保有率ならびに百日咳患者数にどのような影響を及ぼすのか、今後も継続的な調査が重要である。

図5. 百日咳ワクチン接種歴別の年齢群別ELISA抗体保有状況 (伝染病流行予測調査・1995年度)

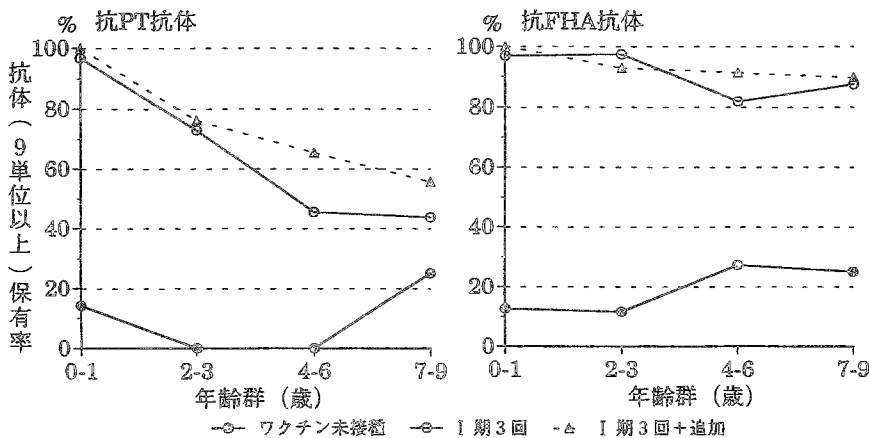
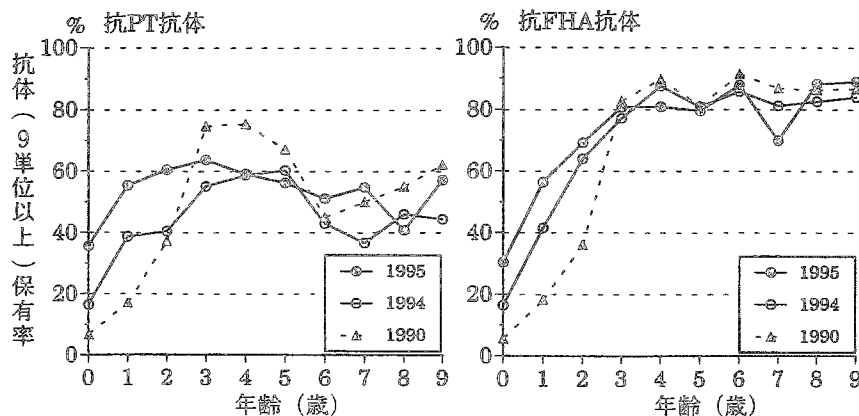


図6. 百日咳ELISA抗体保有状況の年別比較 (伝染病流行予測調査)



病原微生物検出情報

月報

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

Vol. 18 No. 6 (No. 208)

1997年6月発行

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
エイズ結核感染症課

事務局 感染症情報センター

〒162 新宿区戸山1-23-1

Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177

E-mail iasr-edc@nih.go.jp

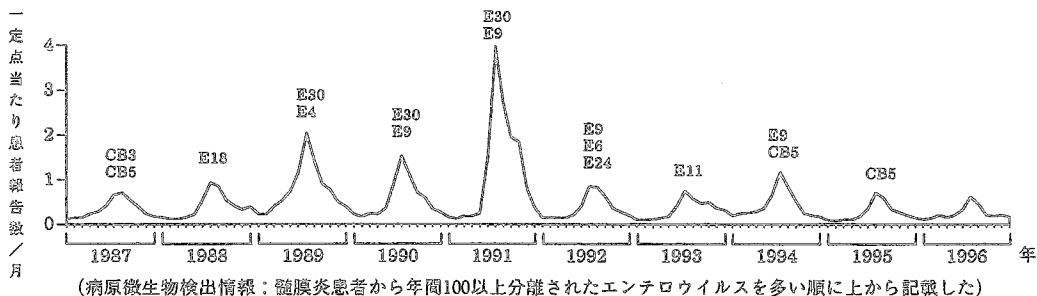
(禁、無断転載)

脳死状態患者からのインフルエンザB型分離:千葉県3, 4月後半小中学校でのB型インフルエンザ感染:広島県3, 特養老人ホーム入居者からのA/H3型ウイルス分離:広島県4, 老人保健施設内でのSRSV感染:秋田県5, 子牛が感染源と考えられたEHEC O103:H2家族内感染:秋田県6, 学校給食による大規模S. Enteritidis食中毒:福岡県7, 4種血清型のS. flexneriが同時に検出された海外旅行者下痢症例:東京都8, モンキーボックスのヒトへの感染:ザイール8, ヒト畜犬類:米国8, 多剤耐性S. Typhimurium:米国9, 髄膜炎菌性髄膜炎:西アフリカ10, 非流行地における三日輪マラリア:米国10, 日本のエイズ・HIV感染者の状況10, チフス・パラチフスのフェージ型別成績21, インフルエンザB型分離と同定26

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> 無菌性髄膜炎 1996

図1. 無菌性髄膜炎患者報告数の推移と主な病原ウイルス, 1987~1996年 (感染症サーベイランス情報)



厚生省感染症サーベイランス事業では、約500の病院定点が無菌性髄膜炎患者発生状況を毎月報告するとともに検査材料を採取し、地方衛生研究所(地研)が髄膜炎の病原体サーベイランスのため、ウイルス分離同定を行って、その結果を病原微生物検出情報に報告している。

無菌性髄膜炎の患者は例年夏を中心に増加し、その病原体としてエコーウイルス(E)、コクサッキーB群(CB)ウイルスなどのエンテロウイルスが分離されるが、各年に分離される主な血清型は入れ替わっている(図1)。これまでにエンテロウイルスの動向を監視することによって、1989~1991年にE30が全国的な大流行を起こしたこと(本月報Vol. 12, No. 8, Vol. 13, No. 8参照)や、E30(1983年)(本月報Vol. 4, No. 10参照)、E6(1985年)(本月報Vol. 7, No. 7参照)、E7(1986年)(本月報Vol. 8, No. 1参照)が急増して突発型の流行を起こしたことが明らかとなっている。

1996年の無菌性髄膜炎患者報告数は1,519人(一定点医療機関当たり2.98人)で、1995年の1,619人(同3.14人)を下回り過去最低であった。患者の年齢は0~4歳44%, 5~9歳38%, 10~14歳11%, 15歳以上7.6%で、0歳の割合(18%)が前年同様大きかった(図2)。

1996年は髄膜炎患者296例からのウイルス分離が報告されている(1997年5月20日現在報告数)。例年と異なり、1996年は特定の血清型のエンテロウイルスの大きな流行がなかったため100を超える型はみられず(図1)、E7が67(23%), CB4が42(14%)であっ

図2. 無菌性髄膜炎患者の年齢, 1987~1996年 (感染症サーベイランス情報)

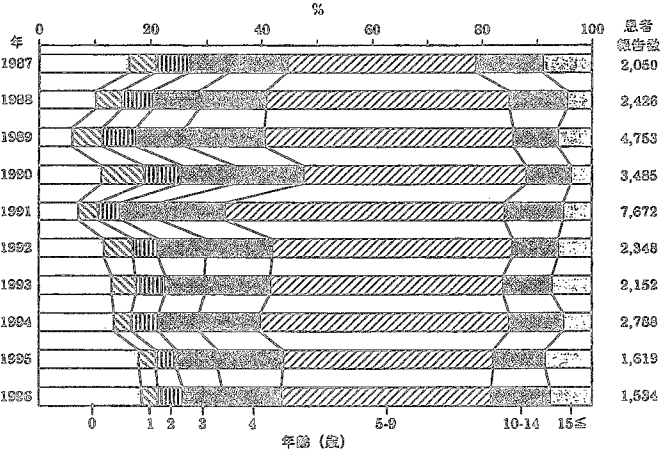


表1. ウイルス分離報告, 1996年

ウイルス	髄膜炎患者からの分離報告数	報告総数
エンテロ E7	67	236
その他のエコー	51	143
CB4	42	319
CB5	26	91
その他のCB	31	216
CA	11	676
ポリオ, EV71	8	140
ムンプス	40	201
その他	20	7,406
合計	296	9,418

(病原微生物検出情報: 1997年5月20日現在報告数)

た(表1)。1995年に髄膜炎患者からの分離報告が多かったCB5(269→26)、CB3(80→5)は減少した(本月報Vol. 17, No. 3参照)。

E7は1995年夏以降、10月まで増加が続いていた

図3. E7, CB5, CB4ウイルス月別分離報告数の推移, 1995年1月～1996年12月
(病原微生物検出情報: 1997年5月20日現在報告数)

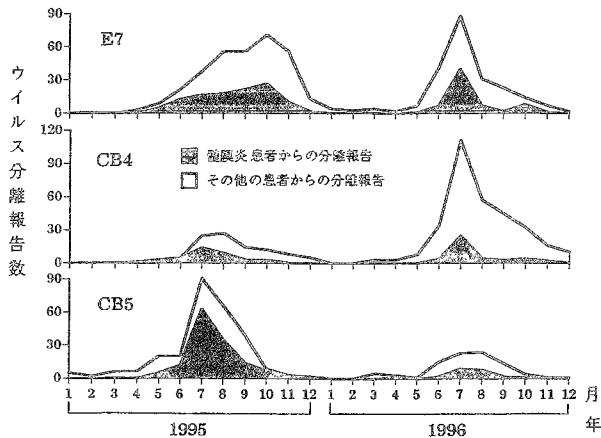
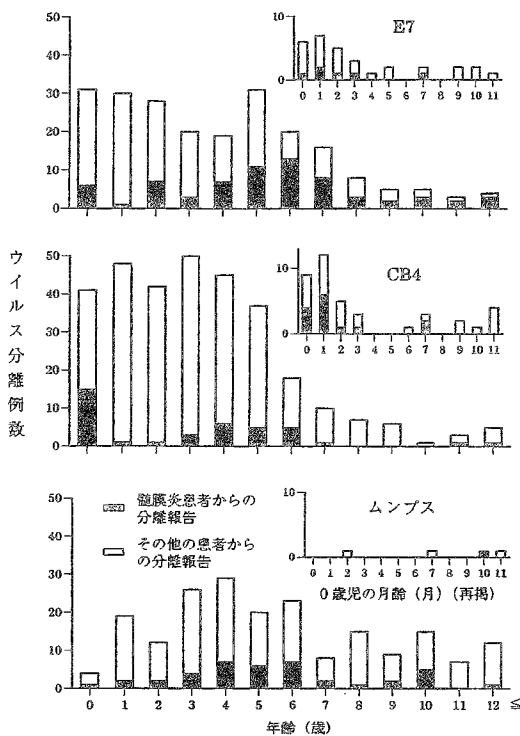


図4. E7, CB4, ムンプスウイルス分離例の年齢, 1996年
(病原微生物検出情報, 1997年5月20日現在報告数)



め(図3), その動向に注目していたところ(本月報 Vol. 17, No. 3 参照), 1996年も7月をピークに23機関から226の分離が報告された。1995年は中国・四国, 九州からの報告が多かったのに対し, 1996年は近畿(本月報 Vol. 17, No. 11 参照), 東海からの報告が多かった(表2)。これに対し, CB4は報告総数では1996年に分離されたエンテロウイルス中最も多く, 319の報告が全国(37機関)からあった(表2)。

エンテロウイルスによる髄膜炎の場合と異なり, ムンプス髄膜炎の場合は臨床診断のみで病原を推定するため, 髄膜炎患者からのムンプスウイルス分離報告は少ない。1996年の報告数は40(14%)で, 例年同様であった(表1, 本月報 Vol. 15, No. 9 参照)。

図4にE7, CB4, ムンプスウイルスが分離された小児の年齢および乳児の月齢を示した。1996年のCB4

表2. 報告機関別 E7, CB4 分離報告数

報告機関	E7		CB4	
	1995年	1996年	1995年	1996年
福島県PHI	30	15	10	22
茨城県PHI	-	-	-	3
栃木県PHI	1	-	-	-
群馬県PHI	1	-	5	9
埼玉県PHI	-	-	-	3
千葉県PHI	-	-	-	2
埼玉県PHI	2	7	1	12
川崎市PHI	1	-	-	5
新潟県PHI	4	-	18	-
富山県PHI	-	-	-	11
石川県PHI	-	-	-	6
福井県PHI	-	8	-	3
長野県PHI	2	8	3	8
岐阜県PHI	-	10	-	2
静岡県PHI	2	4	-	-
愛知県PHI	1	39	-	21
三重県PHI	1	-	4	-
滋賀県PHI	2	34	-	26
京都府PHI	1	-	10	7
京都市PHI	4	-	-	7
大阪府PHI	1	15	1	3
大阪市PHI	4	5	1	7
兵庫県PHI	6	2	-	6
神戸市PHI	-	9	-	1
奈良県PHI	3	16	-	15
和歌山県PHI	-	14	-	-
鳥取県PHI	83	14	2	29
島根県PHI	40	7	34	14
岡山県PHI	1	8	-	4
広島県PHI	26	-	2	2
広島市PHI	19	-	3	5
徳島県PHI	1	-	-	4
香川県PHI	4	4	2	12
愛媛県PHI	10	3	1	29
高知県PHI	1	-	-	-
福岡県PHI	4	-	-	2
福岡市PHI	3	1	-	2
北九州市PHI	1	-	-	-
佐賀県PHI	10	-	-	11
長崎県PHI	18	-	-	1
熊本県PHI	6	-	-	7
大分県PHI	11	-	-	13
宮崎県PHI	-	1	-	-
沖縄県PHI	2	-	-	-
国立山台病院	2	1	-	4
エスアールエル	11	-	2	-
三菱化学BCL	6	1	1	1
合計	325	226	100	319

PHI: 地方衛生研究所
(病原微生物検出情報: 1997年5月20日現在報告数)

分離例では, 髄膜炎は0歳が多いのに対し1~2歳が少なく, さらに0歳の月齢を詳しくみると, 0~1カ月の割合が多く, 2カ月以上は少ない。このパターンは1995年に分離報告が多かったCB5も同様で(本月報 Vol. 17, No. 3 参照), CBの特徴である(本月報 Vol. 16, No. 8 参照)。これとは対照的にムンプスウイルス分離例では0歳が少なかった。

上記の他に, 報告数は少なかったが, 1996年に地研の病原体サーベイランスによって分離された髄膜炎関連ウイルスについて注目されるものを以下に述べる。大阪ではエンテロウイルス流行季をはずれた3月にE4による局地的な髄膜炎の流行がみられ, 小学校の学校閉鎖・学級閉鎖があった(本月報 Vol. 17, No. 6 参照)。また, 1988年以降8年間報告がなかったE20が和歌山で6(うち0, 7, 8歳の髄膜炎患者から3)(本月報 Vol. 18, No. 1 参照), 1991年以降5年間報告がなかったE21が島根などで6(うち7, 9歳の髄膜炎患者から2)分離されている(本月報 Vol. 18, No. 2 参照)。

エンテロウイルスサーベイランスを実施する上で, 血清型別用抗血清は不可欠である。市販されている抗血清の不十分な点を補う目的で, 国立感染症研究所と地研がエコーウイルス同定用抗血清プールを作製, 試用している(本月報 Vol. 18, No. 3 参照)。

病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 7 (No.209)
1997年7月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
結核感染症課

事務局 感染症情報センター

〒162 新宿区戸山1-23-1

Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177

E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

EHEC O157: H7のPFGEによる解析3, STEC O103: H2 家族内感染: 青森県6, 国内多地域で同時期に発生したEPEC O169: H41 海外団体旅行者下痢症5, 海外遊覧下痢症患者からのウイルス分離: 愛知県6, 海外リゾート地帰りの重症マラリア7, ヘルパンギーナ患者からのCA2分離: 大分県7, 手足口病患者からのEV71の分離: 愛媛県8, インフルエンザウイルスB型変異株検出: 京都市8, 腸胃食道虫人体感染10, ハンタウイルスヒト-ヒト伝播: アルゼンチン10, レジオネラ症院内感染: 米田10, *C. ulcerans*による呼吸器ジフテリア症: 米田11, ヒトジカゲでの経産期オウム病: 米田11, 移民・海外旅行者マラリア: 米田11, サイクロスボーン産菌集: 米田12

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> Vero毒素産生性大腸菌（腸管出血性大腸菌）感染症 1996～1997. 6

Vero毒素産生性大腸菌（Verocytotoxin-producing *Escherichia coli*: VTEC）は、産生されるVero毒素が志賀赤痢菌の産生する志賀毒素と非常によく似ていることより志賀毒素産生性大腸菌（Shiga toxin-producing *E. coli*: STEC）、または出血性大腸炎（hemorrhagic colitis）を起こすことより腸管出血性大腸菌（entero-

hemorrhagic *E. coli*: EHEC）と呼ばれている。当該菌による感染症は世界的にも問題になっているが、わが国においても1996年5月以降、集団および散发事例が多発した。厚生省食品保健課の報告によると、1996年の有症者数は9,451名、入院患者数1,808名、死者数12名となっている。

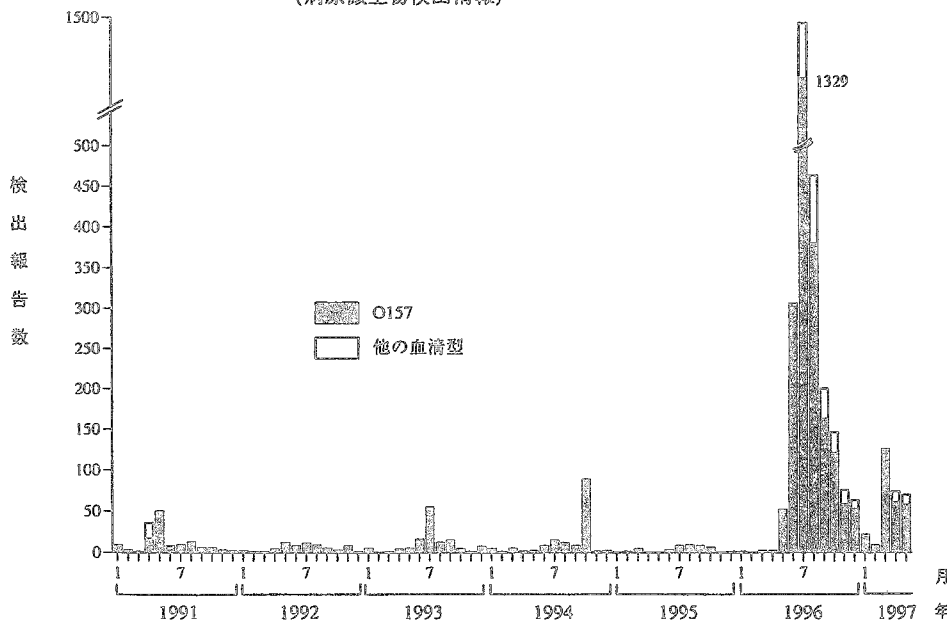
表1. Vero毒素産生性大腸菌O157: H7による集団発生（有症者数10名以上のもの）、1996年（厚生省生活衛生局食品保健課）

発生地	発生日	有症者数	(死者数)	発生施設	毒素型	PFGEタイプ	菌陽性者数
岡山県邑久町	5～6月	468	(2)	小学校	VT1+VT2	Ic	39
岐阜県岐阜市	6月	379		小学校	VT1+VT2	Ib	133
広島県京町	6月	185		小学校	VT1+VT2	Ia	不明
愛知県春日井市	6月	21		保育園	VT1+VT2	Ib	17
福岡県福岡市	6月	48		保育園	VT1+VT2	Ia	22
岡山県新見市	6月	364		小学校	VT1+VT2	Ib	不明
大阪府河内長野市	6月	49		(保育園)	VT1+VT2	Ib	21
東京都港区	6月	191		仕出し弁当屋	VT1+VT2	II d	不明
群馬県境町	6～7月	138		小学校	VT2	IV	10
大阪府堺市	7月	5,727	(3)	小学校	VT1+VT2	II a	1,682
大阪府羽曳野市	7月	98		老人ホーム	VT1+VT2	II a	32
京都府京都市	7月	74	(1)	会社	VT1+VT2	II a	4
和歌山県橋本町	7月	16		老人ホーム	VT1+VT2	II a	12
和歌山県御坊市	7～8月	20		老人ホーム	VT1+VT2	II a	18
岩手県盛岡市	9月	47		小学校	VT1+VT2	II j	185
北海道帯広市	10月	157		幼稚園	VT2	III h	169

*感染症研究所細菌部

**病原微生物検出情報への報告（無症者からの菌の分離も含む）

図1. Vero毒素産生性大腸菌月別検出状況、1991年1月～1997年5月（病原微生物検出情報）



有症者数10名以上の1996年の16事例の集団発生状況を表1に示す（本誌Vol. 17, No. 8も参照）。小学校、保育園、老人ホーム等を発生施設としており、そこで提供された給食が汚染原因と推定されたものが多い。その中で、岐阜市のサラダ、盛岡市のサラダおよびシーフードソース、帯広市のサラダから菌が分離され、それが汚染原因食品と特定された。また、堺市の事例では疫学調査からカイワレ大根が汚染食品として推定された。これらの集団事例から分離された菌は、すべて血清型O157: H7で、毒素型はVT2による2事例を除き残り14事例すべてVT1+VT2であった（表1）。O157: H7菌の遺伝子型をXbaI制限酵素切断後のパルスフィールド電気泳動（PFGE）により解析すると、集団事例を中心に分けると大きくI～VIの6つの型に分類

表2. Vero毒素産生性大腸菌の血清型と毒素型

血清型	1991~1995年				1996年				1997年		
	VT1	VT2	VT1+VT2	不明	VT1	VT2	VT1+VT2	不明	VT1	VT2	VT1+VT2
O157:H7	5	62	355	14	8	290	2,009	-	1	16	156
O157:H-	-	7	11	1	-	27	11	-	-	3	20
O157:HNT	-	5	11	5	3	29	308	2	-	1	4
O1:H20	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
O1:H-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
O1:HNT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
O6:H34	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
O18:H2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
O18:H-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
O26:H7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
O26:H11	8	-	-	-	96	1	7	-	7	-	-
O26:H-	1	-	1	-	19	-	1	-	-	-	-
O26:HNT	2	-	-	-	19	1	-	-	2	-	-
O103:H2	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
O111:H-	3	3	15	1	14	-	3	-	3	-	1
O111:HNT	-	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-
O114:H19	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-
O114:H-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
O114:HNT	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
O115:H10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
O118:H2	-	-	-	-	134	-	-	-	-	-	-
O119:HNT	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
O128:H2	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
O128:H-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
O145:H-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
O150:H3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
OUT:H2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
OUT:H4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
OUT:H7	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
OUT:H16	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
OUT:H19	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OUT:H21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
OUT:H-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
OUT:HNT	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
計	27	82	395	21	307	359	2,352	3	13	23	183

(病原微生物検出情報：1997年6月5日現在報告数)

表3. Vero毒素産生性大腸菌検出例の年齢と臨床症状

A. 1996年

	年齢 (歳)						計
	≤1	2-5	6-15	16-39	≥40	不明	
検出例数	151	410	1,359	297	305	499	3,021
EHEC O157	110	338	1,193	280	293	473	2,687
HUS	3	14	3	2	4	-	26
血便	38	114	97	69	111	-	429
下痢	51	172	217	132	144	4	730
腹痛	12	73	116	89	87	4	381
発熱	22	38	40	22	15	-	137
無症状	8	60	107	77	85	7	344
記載なし	20	60	842	39	30	456	1,447
他の血清型	41	72	166	17	12	26	334
HUS	1	-	1	-	-	-	2
血便	16	12	2	-	1	2	33
下痢	30	39	23	10	7	3	112
腹痛	5	15	17	4	5	-	46
発熱	7	9	4	1	3	-	24
無症状	4	14	2	6	5	4	35
記載なし	3	7	139	2	-	19	170

B. 1997年 (遠報)

	年齢 (歳)						計
	≤1	2-5	6-15	16-39	≥40	不明	
検出例数	12	43	48	55	59	2	219
EHEC O157	9	40	45	50	55	2	201
HUS	-	4	3	2	1	-	10
血便	3	19	15	10	17	-	64
下痢	2	14	23	14	15	1	74
腹痛	-	7	12	6	8	1	34
発熱	-	2	2	3	-	-	7
無症状	3	7	6	27	26	1	70
記載なし	2	2	2	1	3	-	10
他の血清型	3	3	3	5	4	-	18
HUS	-	-	-	-	-	-	-
血便	1	-	1	-	1	-	3
下痢	-	2	2	1	1	-	6
腹痛	-	-	2	-	-	-	2
発熱	-	-	2	-	-	-	2
無症状	2	-	-	3	2	-	7
記載なし	-	1	-	-	1	-	2

(病原微生物検出情報：1997年6月5日現在報告数)

できた (各型の中での変化を a, b 等のアルファベットで表してある)。さらに家族内発生例, 散発事例を含む O157:H7 約 1,700 株の PFGE の解析を加えると, 200 以上のパターンに分けることができ, 多種の遺伝子型の菌により汚染されている現状が明らかになった (J. Clin. Microbiol. Vol. 35, p.1675, 1997 および本号 3 ページ参照)。

病原微生物検出情報に報告された VTEC 検出状況を図 1 に示す。1991~1995 年まで毎年 100 前後の検出報告数であったが (本月報 Vol. 17, No. 1 参照), 1996 年は 3,021, 1997 年 (6 月 5 日現在) は 219 が報告されている。そのうち 1996 年の O157 は 2,687, non-O157 は 334, 1997 年の O157 は 201, non-O157 は 18 であった。1996 年のピークは 7 月にみられるが, これは大阪府堺市およびその近傍 (和歌山県, 京都市, 大阪府羽曳野市) で発生した集団事例および同時期, 同地域でみられた散発事例を反映したものである。これらのほとんどは PFGE IIa 型であった (表 1)。

検出された VTEC の血清型および毒素型を表 2 に示した。1996 年および 1997 年に最も多く分離された血清型は O157:H7 で, それぞれ 76% (2,307/3,021), 79% (173/219) を占め, 1991~1995 年までと同じ傾向であった (本月報 Vol. 17, No. 1 参照)。non-O157 については, O26:H11, O26:H-, O26:HNT, O111:H-, O118:H2 等が分離されているが, 1996 年の特徴は O118:H2 が増加したことである (本月報 Vol. 17, No. 10 参照)。しかし, 1997 年に入ってはまだ分離されていない。O157:H7 は VT1+VT2 の両毒素を保持している率が高いが (90% 前後), 他の血清型のは VT1 単独の傾向を示す。特に, 分離された O118:H2 (134 株) はすべて VT1 単独産生菌であった。

1996 年の VTEC 検出症例 3,021 の年齢分布は 15 歳以下が全体の 76% を占め (表 3 A), 1995 年以前 (86%) より低下していた (本月報 Vol. 17, No. 1 参照)。この傾向は 1997 年 (6 月 5 日現在) もみられる (47%) (表 3 B)。VTEC 感染が必ずしも若年層に限られなくなってきた傾向にある。

本年に入ってから発生事例は, 家庭を発生場所としたものがほとんどであるが, 3 月には関東南部および東海地域において明らかな時間的, 地理的集積性が認められる発生があった。このうち, 愛知県および神奈川県 (横浜市) の事例では残余のカイワレ大根から O157 が検出されるなど, その関与が疑われた。また, 6 月下旬に岡山市の病院で給食が原因と推測される集団事例が発生している。夏場にかけてさらなる警戒が必要である。

病原微生物検出情報

月報

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)

<http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html>

調理パンの自家製マヨネーズによる *S. Enteritidis* 食中毒: 群馬県 3, EHEC O157 感染による老人の呼吸不全症例: 奈良県 3, 愛知ウイルスが検出された胃腸炎集団発生: 愛知県 4, 肺炎で死亡した小児からのアデノ7型の PCR による検出 4, カナリア諸島における EHEC O157 集団感染の全般的協力による確認 5, 周産期 B 群溶連菌感染症の減少: 米国 5, *Y. enterocolitica* で汚染された赤血球製剤の輸血: 米国 6, ライム病: 米国 6, HIV/AIDS の現状: 台湾 6, 世界 7, AIDS 世界の情勢: 7, 1996 年国内におけるコレラ発生状況 8, チフス菌・パラチフス菌のフェージ型別成績 17, エコーウイルス 9 型分離速報: 岩手県 19

Vol. 18 No. 8 (No. 210)

1997年8月発行

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
結核感染症課

事務局 感染症情報センター

〒162 新宿区戸山1-23-1

Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177

E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> わが国における蜂刺症

従来、本誌の特集記事の主題は、感染症サーベイランス事業の対象疾病を主としてきたが、平成9年4月の研究所の名称変更・一部組織再編を機に、今後は当研究所が関わっている他の重要な疾病をも扱うこととした。今月の特集は、感染症ではないが、昆虫医学部が関係している蜂刺症(はちししょう)を取り上げた。

1. 蜂刺症の現状

わが国では、蜂刺症の対象となる蜂類としては、スズメバチ類16種、アシナガバチ類11種、ミツバチ類2種、マルハナバチ類14種が知られている。このようにわが国に生息するハチ類は米国や欧州諸国の種類数と比べてはるかに多く、このことがハチ毒の種類を多くし、ハチ毒アレルギーの問題を複雑にしている。

現在までに厚生省に届けられた蜂刺症による死亡者の統計によると、年変動があるものの毎年30~40名が蜂刺症の犠牲になっている。1984年には73名を数え、今までの統計上最多数となっている(表1)。また、1994年も44名で、毒蛇咬傷による死亡数(過去3年の平均で10.7人)よりはるかに多い。月別蜂刺症発生状況をまとめた長野県佐久総合病院の報告によると、受診患者のピークは8月に見られ、全体の約9割が7~9月に集中している。この時期はスズメバチ、アシナガバチ類では巣のサイズが最大規模に達しており、働きバチの巣を守る防衛行動も高まっている。各都道府県からの報告を厚生省がまとめた衛生害虫発生状況の統計では、ハチ類の相談および駆除依頼件数は、シラミ類、ダニ類、ネズミ類などに関する件数を超えて、過去3年間トップを占めており、10年前と

比べ約9倍に増加している(図1)。このような急激なハチ類発生数の増加傾向は、都市部近郊において人の居住地域がスズメバチやアシナガバチ類の生息域に隣接または入り込んだこと、以前と比べアウトドア・スポーツ人口の増加等による人の野外活動が盛んになったこと、小型、中型スズメバチ類の重要な天敵であるオオスズメバチの数が都市部近郊で最近減少している等の諸要因が関わっていると考えられる。

2. 蜂刺症はどのような場面で起こっているか

蜂刺症による死亡症例の統計は全国的に把握されている。今までに報告されている死亡症例では、庭木の剪定作業中に数匹のセグロアシナガバチに刺されてショック症状を呈し死亡した例、キノコ狩りに出かけ大型スズメバチに数10カ所刺されて意識消失しそのまま死亡した例、林業関係者が収穫調査中に突然スズメバチの攻撃を受けて意識を消失し、医療機関に搬送された時点で心停止状態に陥りそのまま死亡した例などであ

図1. ハチ類に関する相談および駆除依頼件数の年別推移(厚生省人口動態統計)

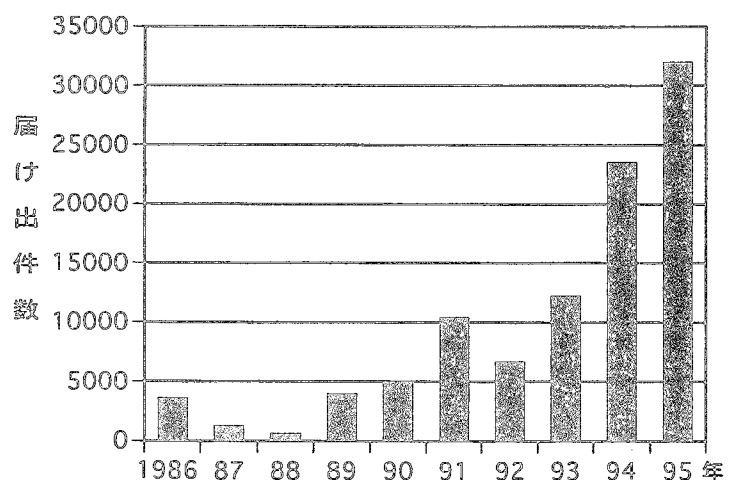


表1. 全国の蜂刺症による年別死亡者数(厚生省人口動態統計)

年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995
人	45	73	31	46	44	35	26	45	33	31	16	44	31

表2. 年齢および性別からみた蜂刺症による死亡者数 (厚生省人口動態統計)

年	死亡者総数	0~19歳	20~30歳	>40歳	男/女
1993	16	1	2	13	12/4
1994	44	0	2	42	32/12
1995	31	0	0	31	23/8

表3. ハチ類の毒液中に含まれる主な成分

毒成分	ミツバチ	スズメバチ類	アシナガバチ類
(酵素類)			
Phospholipase A ₂	+	+	-
A ₁	-	+	+
B	+	+	+
Hyaluronidase	+	+	+
Acid phosphatase	+	N	-
Protease	N	+	N
Lipase	-	N	+
Esterase	+	N	+
(ペプチド類)			
Melittin	+	-	-
Apamin	+	-	-
Kinins	-	+	+
Mastoparans	-	+	+
Vespid neurotoxins	-	+	N
(低分子類)			
Histamine	+	+	+
Dopamine	+	+	+
Serotonin	+	+	+

+ : 存在する, - : 存在しない, N : 不明

る。大部分の症例は致死量を超えた毒液の注入による死亡ではなく、IgE抗体が関係したI型アレルギーが原因と考えられる。これらの例の場合、健康な人に突然訪れる死であり、また多くの症例では数10分から数時間で致死することから悲惨である。なお、死亡症例の大部分は40歳以上の中高年層に多いのが特徴的で、男性死亡者数は女性の3倍である(表2)。

重症例では、山間部での地質調査の仕事に突然キロスズメバチに14カ所刺され約20分間意識を失った例、トラックの運転士が自宅から出勤時にホソアシナガバチに腕を1カ所刺され、約10分後運転中に意識が朦朧となって路線バスと正面衝突をした例、クロスズメバチに背中を3カ所刺されて全身の蕁麻疹、呼吸困難を起こして救急外来で治療した例、自動車運転中に窓から飛び込んだアシナガバチに首筋を刺され頸部全体に浮腫が起り呼吸困難に陥った例などさまざまな症例がある。これらの症例を分析すると蜂刺症は我々の生活の中で普通に起こりうることを示しており、また、農林業従事者がハイリスクを負っている事が理解できる。

3. ハチ毒アレルギー、治療およびその対策

ハチ類の毒成分は大別すると酵素類、ペプチド類、低分子物質の3つが知られている(表3)。これらの成分は結合組織破壊、血圧降下、細胞膜透過性亢進、痛み、平滑筋収縮などを起こすことが知られており、蜂刺されによる毒液注入によってこれらの物質が総合

的に働いて激しい諸症状が出現する。I型アレルギー患者は過去に同じ種または近縁の種のハチに刺された経験を持つ場合が多い。毒液中の酵素類はハチ類で部分的に共通したアミノ酸配列を持つことから、ある種の毒成分に対してIgE抗体を持つ人は複数種のハチ毒に対するアナフィラキシーの惹起にも十分注意する必要がある。

蜂刺症の治療には抗ヒスタミン剤を含むステロイド軟膏を刺傷部に塗布し、冷湿布をする。全身症状の強い場合は抗ヒスタミン剤やステロイド剤を内服する。ショック症状が認められた場合は、エピネフリンを0.3~1.0mg皮下注射し、気道確保、血管確保、気管支拡張剤とステロイド剤の投与および不整脈対策を行う。なお、一部の医療機関でハチ毒アレルギーの既往歴のある人に減感作療法が行われているが、減感作用に輸入されたアレルゲンはまだ認可されておらず、治験的に行われている。米国ではハチ毒アレルギーの人が全人口の1~3%ほどいると推定されている。近年、わが国の都市部でのスズメバチ類の増加傾向等を考えると適切なハチ毒アレルギーの診断および治療対策を立てる必要がある。

なお、予防対策としては、野外活動中にスズメバチ類の巣と突発的に遭遇し、見張りのハチに威嚇や攻撃を受けた場合、大声で騒いだり、腕でハチ類を追い払う事は厳禁である。姿勢を低くして巣から速やかに離れる事が重要である。

病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 9 (No.211)
1997年9月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
結核感染症課

事務局 感染症情報センター
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

人から鳥インフルエンザウイルス A(H5N1) 分離3, 日本初のセアカゴケグモ咬症例: 大阪府3, S. Enteritidis 食中毒全国実態調査5, EHECのスクリーニング法7, Non-O157 EHECの解析: 秋田県8, パラインフルエンザ分離状況: 横浜市9, ウイルス分離遠隔: 山形県(エコー9)10, 福島県(エコー30)11, 鳥根県(SRSV)11, 和歌山県(アデノ7)11, 大分県(CA16)12, EHEC O157:H7感染: アルファルファ関連・米国12, 冷凍牛挽き肉関連・米国12, バンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌: 日本13, 米国13, 結核の現状: 米国13, レプトスピラ病: コスタリカ14, サイクロスポーラ症発症: 米国14, 針刺事故によるマラリア感染死例15, デング: シンガポール15, 台湾15, 日本のエイズ・HIV感染者の状況15

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> つつが虫病 1991~1995

つつが虫病はダニ媒介性のリケッチアによる感染症で、古来から新潟、山形、秋田県の日本海沿岸の河川敷で夏季に発生する風土病とされていた(古典型つつが虫病)。一方、第二次大戦後の1948年秋にわが国に駐留していた米軍兵士が富士裾野でつつが虫病に罹患し、その後同様な疾患が伊豆七島(七島熱)、千葉(二十日熱)、香川(うまやど熱)などでも存在していることが明らかにされた。古典型つつが虫病の主な媒介ダニはアカツツガムシ(*Leptotrombidium akamushi*)であるが、戦後明らかにされたつつが虫病(新型つつが虫病)はタテツツガムシ(*L. scutellare*)およびフトゲツツガムシ(*L. pallidum*)によって主に媒介される。タテツツガムシは晩秋から冬にかけて関東以西のつつが虫病を、フトゲツツガムシは春と秋から冬に主として東北、北陸地方のつつが虫病を媒介する。

伝染病予防法に基づくつつが虫病の届出制度は1950年に開始された。当時は大部分が古典型つつが虫病で患者数は年間100名程度であったが、その後急速に減少し1965~75年の間は10名程度になった。しかし、1980年頃より新型つつが病患者が急増し、1984年には957となった。その後やや減少したものの、1990年には941まで増加した。1992年以降ふたたび減少傾向にあるが、現在でも年間数百名の患者が発生しており、死者も毎年数名報告されている(図1)。

厚生省統計による1991~95年のつつが病患者は、北海道(1993年の1例は道外で感染)、滋賀、奈良、香川、沖縄を除く全国各地で報告されている。患者数は年次に従い減少しているが、患者発生地域は拡大傾向にある。また、死者は秋田、鹿児島など12都府県から16(男10, 女6で、年齢は50~59歳が男2, 女2; 60~69歳が男3, 女2; 70~79歳が男2, 女1; 80歳以上が男3, 女1)報告されている(表1)。1991~95年の5年間の都道府県別人口10万人当たりの平均つ

表1. つつが虫病患者地域別・年別発生数, 1991~1995年

	1991年		1992年		1993年		1994年		1995年	
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者
北海道	-	-	-	-	1	*	-	-	-	-
青森	9	12	14	1	13	22				
岩手	7	5	6	4	4	10	1			
宮城	11	4	10	4	4	8				
秋田	74	59	2	38	1	24	44			
山形	19	11	11	10	9	15				
福島	42	34	1	12	34	35				
茨城	5	6	1	4	3					
栃木	7	1	3	6	4					
群馬	31	21	1	13	12	9				
埼玉	1	1	4	1	2					
千葉	88	73	41	41	50					
東京	36	13	11	24	1	10				
神奈川	84	52	25	40	27	1				
新潟	89	38	28	32	53					
富山	15	15	9	5	6					
石川	-	-	-	2	6					
福井	-	-	-	-	-					
山梨	-	1	-	-	-					
長野	16	1	7	12	3	9				
岐阜	48	22	25	17	21					
静岡	19	5	5	19	7					
愛知	1	10	5	6	1					
三重	11	12	3	8	8					
滋賀	-	-	-	-	-					
京都	2	1	2	2	1	4				
大阪	-	-	-	-	-	1				
兵庫	5	1	1	-	2	1				
奈良	-	-	-	-	-	2				
和歌山	4	-	1	22	8					
鳥取	-	1	-	-	1					
島根	4	1	1	3	7	1				
岡山	2	2	2	-	-					
広島	2	1	1	10	3					
山口	-	1	1	-	-					
徳島	1	2	1	2	1					
香川	-	-	-	-	-					
愛媛	-	-	1	1	1					
高知	-	-	1	-	1					
福岡	8	-	2	4	2					
佐賀	5	6	12	8	2					
長門	21	22	30	18	12					
熊本	21	9	11	8	9					
大分	40	21	35	43	23					
宮崎	131	96	126	90	51					
鹿児島	120	130	213	131	54					
沖縄	-	-	-	-	-					
合計	937	1	704	4	712	4	652	4	529	3

註: 死者は再掲 *北海道外で感染したもの (患者数は厚生省統計情報部「伝染病統計」より、死亡数は同「人口動態統計」より)

図1. つつが病患者年別発生数および死亡数, 1965~1995年

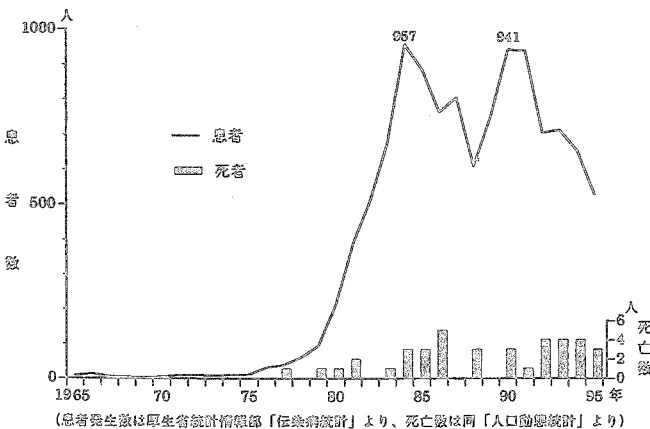
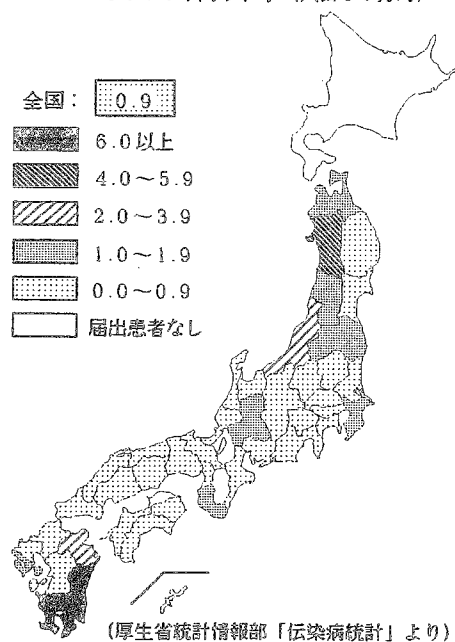


図2. 都道府県別にみた「つつが虫病」罹患率
1991～1995年間の平均（人口10万対）

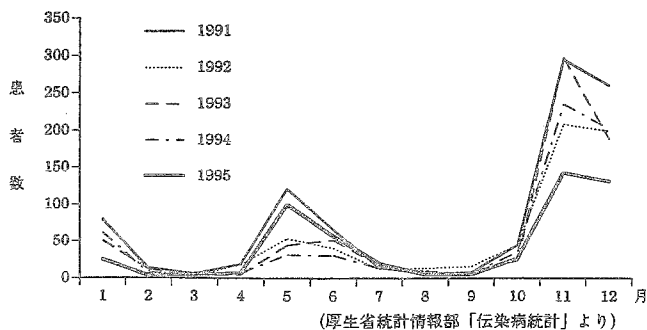


（厚生省統計情報部「伝染病統計」より）

つつが虫病罹患率は鹿児島、宮崎で最も高く、次いで秋田、新潟、大分となっている（図2）。また、月別にみたつつが虫病患者発生数はいずれの年も5月と11月にピークがある（図3）。5月のピークは主として東北、北陸、11月のピークは関東以西での発生を示しているが、1991～94年までは11月の発生数が5月の発生数を大きく上回っているのに対して、1995年では5月の発生数が増加し、11月が減少している。

衛生微生物技術協議会検査情報委員会に設置されているつつが虫病小委員会（以下委員会）では全国地方衛生研究所（地研）の協力により1989年からつつが虫病様患者情報を収集している。1991～95年までに地研から報告された2,512例について年齢・性別（1991

図3. 月別にみた「つつが虫病」患者数、1991～1995年



（厚生省統計情報部「伝染病統計」より）

年は集計せず）、感染推定場所および感染時の作業内容を中心にまとめた（本月報 Vol. 13, No. 11, Vol. 14, No. 12, Vol. 15, No. 12, Vol. 16, No. 12, Vol. 18, No. 1 参照）。つつが虫病患者報告数は男女ともほぼ同数であるが、年齢層別にみると男性では60～69歳が最も多く、次いで50～59歳であるが、女性では60～69歳に次いで70～79歳が多く、女性で高齢傾向にある。感染推定場所および作業内容についてみると、無記載が全体のおよそ1/4を占めているが、記載例ではいずれの年も感染場所は山地が多く、ついで農地である。また、作業内容では農作業が多く、次いで山作業となっている（表2）。

つつが虫の確定診断は1983（昭和58）年の公衆衛生局保健情報課長通知「つつが虫の多発について」ではつつが虫病リケッチャ3株（Gilliam, Kato, Karp）を抗原とする補体結合反応（CF）による抗体測定としている。しかし、CFは抗補体作用があると低力価の抗体測定が出来ないこと、感染の急性期を示すIgM抗体の測定が不可能であることなどから、公衆衛生微生物検査における精度管理に関する研究班「リケッチャ感染症の試薬の精度管理に関する委員会」（委員長：太田原美作雄）は蛍光抗体法（IF）または免疫ペルオキシダーゼ（IP）を推奨している（本月報 Vol. 8, No. 11, 1987 参照）。1991～95年の地研からの報告では、つつが虫の血清診断で確定された症例の82%がIF、16%がIPで、CFは1%であった。一方、臨床症状でつつが虫病を疑いながら、ベア血清が得られないために抗体の有意な上昇が確認できず、判定保留となった例も全検査例のおよそ20%あることも明らかにされた。委員会ではこのような保留例については急性期の血液（血餅）からのPCRによるリケッチャ遺伝子の検出を奨励している（本月報 Vol. 18, No. 1, 1997 参照）。

表2. つつが虫病患者の感染推定場所と作業内容

	感染推定場所					合計
	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年*	
山地	207	139	191	187	170	894
農地	155	112	154	118	89	628
野原	16	28	29	25	-	98
河川敷	21	14	9	14	14	72
その他	66	42	52	42	22	224
無記載	115	122	138	92	129	596
合計	580	457	573	478	424	2,512

*1995年は場所の平地は農地として、また海岸はその他として集計した。

	感染時の作業内容					合計
	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年*	
山作業	102	53	86	70	46	357
農作業	179	125	193	156	142	795
行楽	39	51	36	26	25	177
その他	107	85	92	112	126	522
無記載	153	143	166	114	85	661
合計	580	457	573	478	424	2,512

*1995年は作業内容の工事および山菜等採取はその他に含めた。

（衛生微生物技術協議会検査情報委員会つつが虫病小委員会）

病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 10 (No.212)
1997年10月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
<http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html>

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
結核感染症課

事務局 感染症情報センター

〒162 新宿区戸山1-23-1

Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177

E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

厚生福祉施設のA型肝炎集発：大阪府3，養護中のA型肝炎ウイルス検査3，特養老人ホームのA香港型インフルエンザ流行とワクチン効果4，1996/97シーズンインフルエンザ流行状況と1997/98シーズン用ワクチン株5，水災による小学校のS Enteritidis食中毒：長崎県7，仕出し弁当によるY. enterocolitica食中毒：徳島県8，ETEC O25:H20による集団下痢症連続発生：埼玉県9，ピルハルツ吐血嘔虫と旋毛虫重複感染10，アデノ40/41型感染：奈良県10，エコー25型小流行：鳥取県11，バンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌：米国11，レジオネラ症：ヨーロッパ11，百日咳：米国11，オランダ12，ライ症候群：米国12，日本のコレラ発生速報12，日本のエイズ・HIV感染者の状況13，チブス菌・パラチブス菌ファージ型別成績27

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> A型肝炎，1987～1996

図1. A型肝炎患者報告数の推移，1987～1996年（感染症サーベイランス情報）

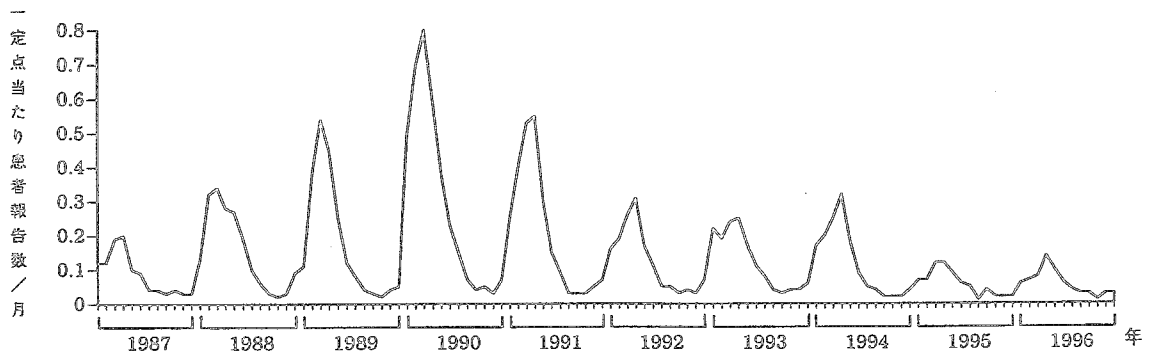
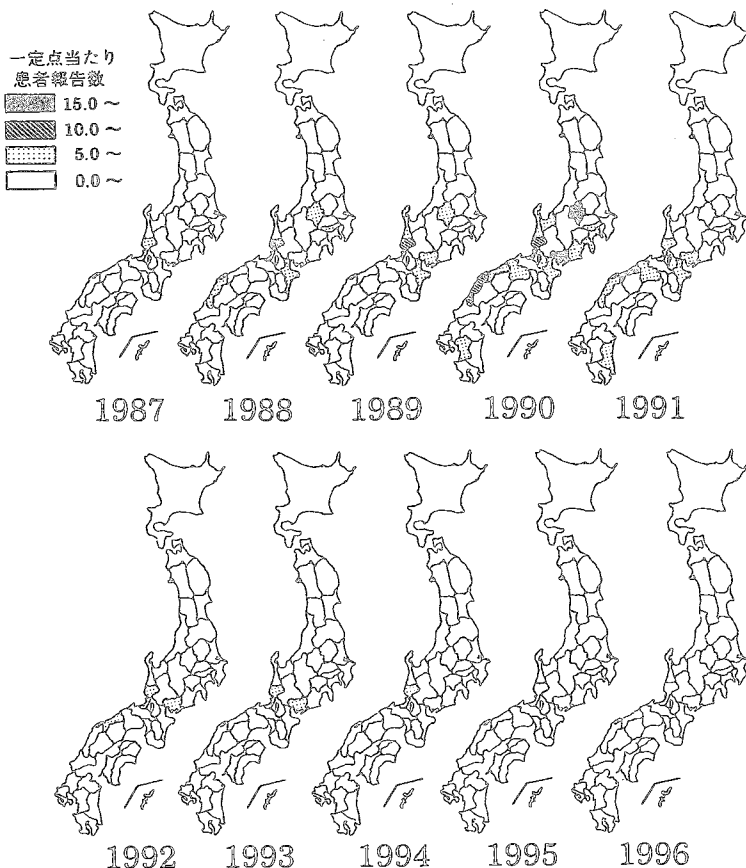


図2. 都道府県別A型肝炎患者発生状況，1987～1996年（感染症サーベイランス情報）



A型肝炎の病原であるA型肝炎ウイルス(HAV)はピコルナウイルス科ヘパトウイルス属に分類され、血清型は1種類であるが、遺伝子型はI～VII型に分けられる。ヒトからはI、III型が主に検出される。HAV感染の特徴としては、小児では不顕性～軽症ですむことが多いが、成人は重症化しやすいことが挙げられる。また、発症前にウイルスが排泄されるので、家族内感染が起こりやすい(本月報Vol.12, No.12参照)。HAVの分離培養は非常に困難であるため、A型肝炎の確定診断には通常、患者の急性期血清中のIgM抗体をELISAで検出する。

本疾患は1987年から厚生省感染症サーベイランス事業対象疾病となり、全国の約500の病院定点から毎月の患者発生状況が報告されている。A型肝炎は毎年冬から春に増加し、夏に減少する(図1)。1987年～1996年の年間報告患者数は353～1,881人(病院定点当たり0.69～3.60人)で、1990年の報告が最も多かった。

各年の都道府県別のA型肝炎患者発生状況を図2に示した。1988年には福井県(定点当たり15.33人)、1990年には愛知県(21.92人)、群馬県(15.60人)、

1991年には鳥取県（15.70人）での報告が多かった。1995～96年は全国的に患者発生が少なかった。

1990年をピークとする愛知県での患者多発時の調査では大部分は散発例であったが、親から子、子から親への家族内二次感染も多くみられた（本報 Vol. 12, No. 12, 1991参照）。また、同時期の愛知、三重、静岡3県での分子疫学調査では、I型の亜型IA型に属するが、一部の塩基配列が異なる多種類の株が検出され、世界各地で検出された株との比較から、国外から持ち込まれた可能性が推定された（J. Gen. Virol. 73:1365-1377, 1992）。愛知県ではその後もIA型が主に検出されている（本号3ページ参照）。

この他、病原微生物検出情報への報告では乳幼児保育施設関連の集団発生（本報 Vol. 11, No. 7, 1990参照）、福祉施設での集団発生（本報 Vol. 17, No. 3, 1996および本号3ページ参照）、寿司店やレストランで調理時に食品が汚染され、その食品を介すると推定された患者多発（本報 Vol. 15, No. 5, 1994およびVol. 16, No. 10, 1995参照）などの小規模集団発生例がある。なお、欧米では血液製剤によるA型肝炎の感染も報告されている（CDC, MMWR, 45, No. 2, 29, 1996）。

A型肝炎患者の年齢分布をみると（図3）、1987年にサーベイランスを開始した当初は5～14歳および35～44歳の割合が大きかったが、1990年代に入ってから45歳以上の患者の割合が増加傾向にある。

一般住民の1973, 1984, 1994年の年齢別HAV抗体保有状況が調べられている。感染症研究所血清銀行などに保存されている検体を用いてELISAで抗体測定した成績を比較すると（図4）、調査間隔年数に相当して抗体保有率曲線が高年齢側にシフトしており、わが国のHAV抗体保有率は年々低下している（Jpn. J. Med. Sci. Biol., 40:119-130, 1987およびJpn. J. Med. Sci. Biol. 投稿中）。1994年の40歳未満の抗体保有率は1%以下であり、40歳以上では年齢に伴い上昇し、65歳以上は90%であった。「難治性の肝疾患研究班」（班長：小俣政男）はA型劇症肝炎が1992年頃から増加傾向にあることを指摘しており、今後、中高年の患者の増加傾向に伴う重症例の増加が予想される。

米国CDCは海外旅行者をはじめとして高リスク群に対するA型肝炎ワクチン接種を勧めている（CDC, MMWR, 46, RR15, 1996）。わが国では従来γ-グロ

図3. A型肝炎患者の年齢, 1987～1996年（感染症サーベイランス情報）

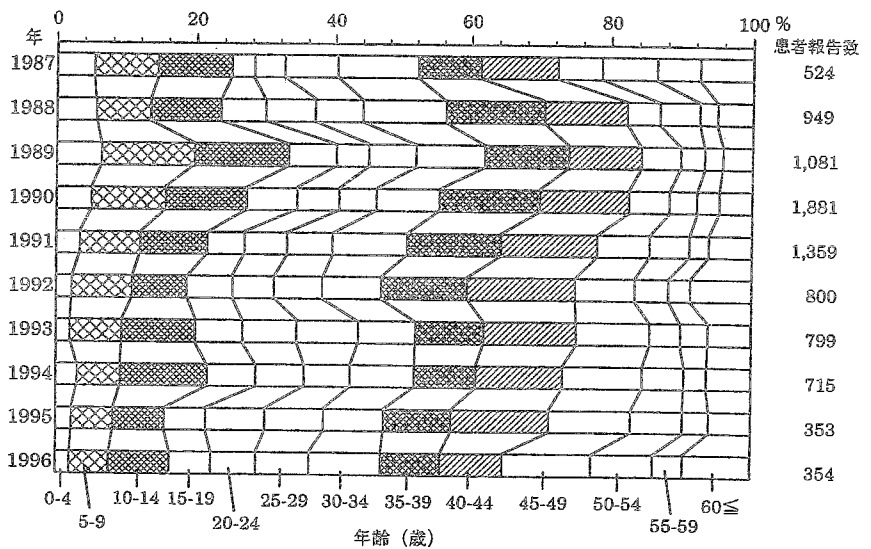
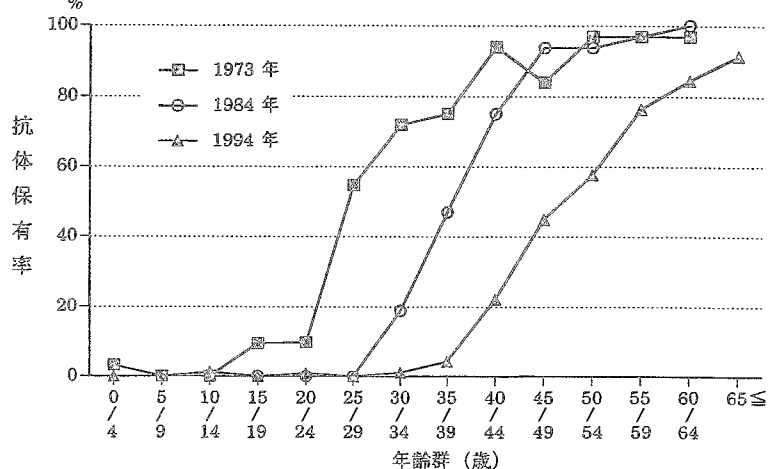


図4. A型肝炎抗体保有状況の推移, 1973～1994年



(Taylor-Wiedeman et al. Jpn. J. Med. Sci. Biol., 40:119-130, 1987)
(Kiyohara et al. Jpn. J. Med. Sci. Biol. 投稿中)

ブリンが唯一の予防法として用いられていたが、1994年に国産の不活化ワクチン（凍結乾燥品。アジュバント、防腐剤を含まず）が認可され、16歳以上に任意ワクチンとして接種することができるようになった。海外では現在でもアジア、中近東、アフリカ、南米などにHAVが常在しており、これらのHAV汚染地域への渡航者、特に1カ月以上滞在する成人に予防接種が勧められる。また、施設内などにおける感染拡大の予防にも有効である。

病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 11 (No.213)
1997年11月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
結核感染症課

事務局 感染症情報センター
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

熱帯熱マラリア治療の変遷 3, 弁当による A 群レンサ球菌集団感染: 福岡市 4, S. Enteritidis 死亡例: 山梨県 4, 学校給食による食中毒: 熊本府 5, カンピロバクター集団食中毒: 奈良県 6, EHEC O26 集団下痢症: 横須賀市 7, 海外渡航歴のないコレラ発生状況と対応方針 8, CA24v による AHC の家族内流行: 岡山県 9, HSV 2 による新生児ヘルペス死亡例 10, エコー30 による無菌性髄膜炎: 神戸市 11, 岡山県 11, CB 3 の縦局流行: 香川県 11, CA 6 の分離: 千葉県 12, 世界のマラリア 12, 肺炎球菌・インフルエンザワクチン接種機会喪失: 米国 14, 男性同性愛者の淋病 14, レジオネラ症: 台湾 14, 水道に伴った劇症型 A 群レンサ球菌感染症発生: 米国 14, インフルエンザ世界の状況 15, 死亡統計: 米国 15

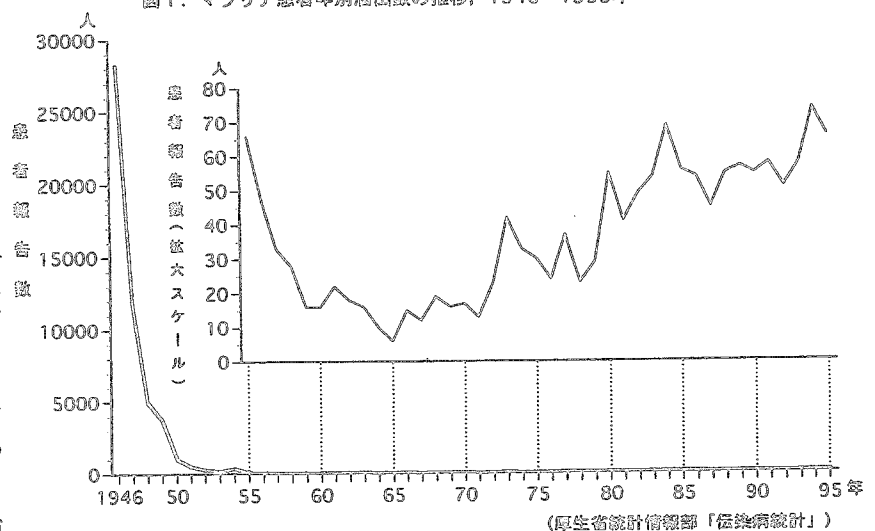
本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健課検査所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> 日本におけるマラリア

マラリアは世界中で毎年 3～5 億人が罹患しており、150～270 万人が死亡していると推定されている疾患である(本号 12 ページ参照)。ヒトにマラリアを起こす原因微生物として三日熱マラリア原虫 *Plasmodium vivax*, 四日熱マラリア原虫 *P. malariae*, 熱帯熱マラリア原虫 *P. falciparum* および卵形マラリア原虫 *P. ovale* の 4 種類の原虫が知られており、それぞれが引き起こす疾患を三日熱マラリア、四日熱マラリア、熱帯熱マラリア、卵形マラリアとよぶ。これら 4 疾患は各々の病態に差がみられるが、大きく分けると、その経過が悪性で早期に適切な治療がなされなければ死亡する危険性の高い熱帯熱マラリアと、比較的穏やかな経過をとる他の 3 種のマラリアとにわけることができる。前者を悪性マラリア、後者を良性マラリアとよぶこともある。主として熱帯、亜熱帯地方に分布し、所によっては流行域が拡大しつつある地域もある。これら 4 疾患はハマダラカによって媒介される。ここでは国内の輸入マラリアおよび少数ではあるが国内感染例について概観する。

輸入マラリアとは海外で感染し国内において発症するマラリアをいう。一方、わが国では過去に土着マラリアとして主として三日熱マラリアの流行がみられ、

図 1. マラリア患者年別届出数の推移, 1946～1995年



また南西諸島の一部には熱帯熱マラリアの流行があった。図 1 に厚生省伝染病統計によるマラリア患者数の推移を示す。戦前には年間約 2 万人の土着マラリア患者の発生がみられていたものと推定される。1946 年には戦争中海外で感染した多くの人達の帰国に伴い 3 万人近い患者がみられた。しかし、幸いにも国内でマラリアが再流行することもなく患者数は急速に減少し、1960 年頃には土着マラリアは消滅したものと考えられている。そのため、後で記す少数の特殊な伝播様式による国内感染事例がみられるものの、これ以降の症例は輸入マラリアとみなされている。実際、近年国内で

表 1. 国内におけるマラリア患者数の推移, 1986～1995年

年	熱帯熱	三日熱	四日熱	卵形	混合感染	不明	合計	[外国人]	届出数 ^{*)}
1986	27 (1)	51	0	3	2	5	88	[23]	54
1987	19 (0)	45	1	4	2	9	90	[16]	45
1988	30 (0)	51	1	3	1	1	87	[24]	55
1989	37 (0)	63	4	0	3	5	112	[35]	57
1990	40 (1)	62	0	3	5	6	116	[28]	55
1991	43 (2)	63	3	0	3	2	114	[41]	58
1992	28 (1)	70	0	3	4	9	112	[38]	51
1993	40 (0)	60	2	5	3	2	112	[27]	58
1994	46 (2)	39	3	4	5	7	104	[28]	74
1995	51 (1)	56	1	5	4	0	117	[30]	66
計	359 (8)	560	15	30	32	46	1,042	[290]	573
%	34.5	53.7	1.4	2.9	3.1	4.4	100	[27.8]	

(): 死亡例再掲, []: 再掲, *) 厚生省伝染病統計 (「熱帯病治療薬の開発研究班」の調査による)

表2. マラリア患者の推定感染国と原虫種 (1994年)

原虫種	推定感染国 (患者数)
熱帯熱マラリア 46例 (24ヵ国*)	アフリカ (7)*, タンザニア (4), マリ (3), ニジェール (2), ガーナ (2), コートジボアール (2), インドネシア (2), インド (2), パプアニューギニア (2), ガボン (1), スーダン (1), ケニア (1), ケニア/ウガンダ (1)*, セネガル (1), セネガル/マリ (1)*, ザンビア (1), コンゴ (1), ザール (1), マラウイ (1), チャド (1), マダガスカル (1), ミャンマー (1), タイ (1), タイ/ミャンマー (1)*, タイ/ラオス (1)*, ラオス (1), マレーシア (1), ソロモン諸島 (1), イラン (1)
三日熱マラリア 39例 (12ヵ国*)	インド (11), パプアニューギニア (4), インドネシア (4), スリランカ (2), タイ (2), ミャンマー (1), インド/タイ (1)*, バングラディッシュ (1), タイ/カンボジア (1)*, ベトナム (1), 東南アジア (1)*, ソロモン諸島 (1), マダガスカル (1), タンザニア (1), トーゴ (1), メキシコ/ガテマラ (1)*, カメルーン/ホンジュラス (1)*, 不明 (4)
卵形マラリア 4例 (3ヵ国*)	ガーナ (1), マリ (1), マダガスカル (1), アフリカ (1)*
四日熱マラリア 3例 (2ヵ国*)	カメルーン (1), インド (1), 不明 (1)*
混合感染 5例 (3ヵ国*)	インド (熱帯熱/三日熱: 2), ミャンマー (熱帯熱/三日熱: 1), ナイジェリア (熱帯熱/四日熱: 1), アフリカ (熱帯熱/三日熱: 1)*
不明 7例 (5ヵ国)	インド (2), ソロモン諸島 (2), マラウイ (1), ガーナ (1), ブラジル (1)

*感染国特定不能、*感染国特定不能例を除く

(「熱帯病治療薬の開発研究班」の調査による)

みられるマラリア患者にはマラリア流行地域への渡航歴、あるいは居住歴が認められる。

厚生省「熱帯病治療薬の開発研究班」(代表・慈恵医大 大友弘士教授)の調査による最近10年間のマラリア患者数の推移を前ページ表1に示す。ここ数年、年間120例前後の患者発生が確認されている。届出されている患者数はこの約半数である。熱帯熱マラリア患者のなかには不幸にも死亡例もみられる。種別にみると三日熱マラリアが最も多く約50%を占め、次いで熱帯熱マラリアが30~40%みられる。重症化しやすい熱帯熱マラリア患者数が増加傾向にあることは注意を要する。マラリア流行地に出かける日本人の数は年々増加しているものと考えられ、一方でマラリア流行地域から入国する外国人の数も多い。そのため今後の患者数の推移は予断を許さない。これら患者の推定感染地を表2に示した。

最近の国内感染例を表3に示す。輸血、針刺し事故などから感染していると推定される例があるほか、空港周辺に住む老女が感染した、いわゆる空港マラリアと考えられる事例もあった。空港マラリアとは航空機

によって短時間で感染蚊がマラリア流行地から非流行地に運ばれ、飛行場周囲の人がマラリアに感染する事例をいう。欧米諸国においても同様の症例報告が散見される(本報 Vol. 18, No.3 参照)。

マラリアの診療に経験のある医療関係者が日本国内にはきわめて少ないため、診断、治療の遅れから重症化する例がみられる。海外帰国者の発熱性疾患を診る際に、常にマラリアを鑑別疾患の一つとして念頭におきながら診療することが重要である。潜伏期がかなり長期に及ぶこともある。患者はマラリア特有の高熱を示さず感冒様症状を訴えて医療機関を受診することもある。特に熱帯熱マラリアでは診断、治療の遅れが患者の予後を大きく左右するため、早期診断、早期治療がなされねばならない。マラリアを少しでも疑ったならば血液塗抹標本を作製しギムザ染色を行い、赤血球内に寄生しているマラリア原虫を顕微鏡的に確認することが必須である。その際に

血液から感染する他の疾患の可能性もあるため、血液の取り扱いには細心の注意を払わねばならない。この方法は最も手技が容易でしかも短時間で診断が下せる点で優れているものの、形態学的な診断のため多少の経験を必要とするという難点がある。もしマラリア原虫の同定に疑問があるならば、最寄の感染症専門医または寄生虫病専門家にアドバイスを求めるべきである。熱帯性の発熱性疾患のなかには感染力が強く重症化しやすい細菌性およびウイルス性疾患が多いことから、マラリアが否定されたとしても常に他の感染症(腸チフス、デング熱、黄熱、ウイルス性出血熱等)との鑑別診断に努めねばならない。

国内で認可されている抗マラリア剤はスルファドキシシンとピリメサミンの合剤およびキニーネの2種類のみである。それ以外の抗マラリア薬は上記「熱帯病治療薬の開発研究班」から治験薬の形で入手できる(本号3ページ参照)。マラリア原虫が薬剤耐性を持っている場合もあり、治療に際して血液中のマラリア原虫の消長を注意深く追う必要がある。

表3. 最近におけるマラリアの国内感染例

No.	発生年	症例	原虫種	(推定)感染要因	転帰	発生地	国籍
1	1971	83歳, 女	三日熱	空港マラリア	治癒	東京	日本
2	1973	21歳, 女	熱帯熱	針刺し事故	死亡	奈良	日本
3	1974	55歳, 男	三日熱	不明	治癒	神奈川	日本
4	1975	39歳, 男	三日熱	輸血マラリア	治癒	愛知	日本
5	1976	61歳, 男	三日熱	不明	治癒	東京	日本
6	1981	生後14日, 女	三日熱	先天感染	治癒	滋賀	ベトナム*
7	1983	生後19日, 男	三日熱	交換輸血	治癒	神縄	ベトナム*
8	1983	35歳, 男	熱帯熱	針刺し事故	治癒	神奈川	日本
9	1983	45歳, 女	卵形	血小板輸血	治癒	神奈川	日本
10	1985	60歳, 男	三日熱	血小板輸血	治癒	大阪	日本
11	1991	70歳, 女	熱帯熱	血小板輸血	死亡	東京	日本

* 親(難民)の国籍

(「熱帯病治療薬の開発研究班」の調査による)

病原微生物検出情報

月報

Vol.18 No. 12 (No.214)
1997年12月発行

Infectious Agents Surveillance Report (IASR)
http://www.nih.go.jp/yoken/iasr/index-j.html

国立感染症研究所
厚生省保健医療局
結核感染症課

事務局 感染症情報センター
〒162 新宿区戸山1-23-1
Tel 03(5285)1111 Fax 03(5285)1177
E-mail iasr-edc@nih.go.jp

(禁、無断転載)

新型インフルエンザ対策 3, C 群ロタウイルス 4, アストロウイルス 5, 伝染性紅斑 6, エコーウイルス 分離 7, 兵庫 7, 滋賀 8, 青森 8, AHC からの CA24v 分離 8, 肺炎マイコプラズマ 9, 肺炎球菌 9, A 群レンサ球菌 9, 海外旅行者の C. coli 10, EHEC O157:H7 11, V. cholerae O10 食中毒 12, S. Saintpaul 食中毒 12, S. Enteritidis 食中毒 13, 長野 13, 広島市 14, 帰国時のマラリア検査 14, 大規模門虫 感染 15, インフルエンザ: 世界 16, 米国 16, ハイリスクワクチン接種: 英国 16, サル痘: 旧ザイル 17, 髄膜炎 17, 消化性潰瘍: 米国 17, レプトスピラ病: インド 18, ベスト: マラウイ 18, AIDS 発症 & 死亡数の変化: 英国 18, 日本のエイズ患者・HIV 感染者 18, テフス菌・パラテフス菌フェージ型別成績 31

本誌に掲載した統計資料は、衛生微生物技術協議会、感染性腸炎研究会、生活衛生局食品保健検疫所業務管理室などを通じて収集された各地の地方衛生研究所、医療機関、検疫所、一部伝染病院、民間検査所など協力検査機関および国立感染症研究所における検査成績を感染症情報センターにおいて集計したものである。

<特集> インフルエンザ 1996/97

昨シーズン (1996/97) のインフルエンザについて、全国約2,500の小児科・内科定点から報告されたインフルエンザ様患者の発生状況、全国約60の地方衛生研究所などから国立感染症研究所感染症情報センター (IDSC) に報告されたインフルエンザウイルス分離数およびインフルエンザ重症合併症例などについてまとめた。

感染症サーベイランス情報による1994/95, 1995/96, 1996/97の3シーズンのインフルエンザ様疾患患者の

発生状況を図1に示した。昨シーズンは1996年第49週 (12/1~7) から患者の報告が増えはじめ、第52週 (12/22~28) にかけてその数は急増し、本症が1987年にサーベイランスの対象疾病となって以来、この時期としては最多の患者発生となったが、大流行につながることはなく、1997年第4週 (1/19~25) にピークとなり、第9週 (2/23~3/1) にかけて減少傾向となった。しかし、昨シーズンは例年と異なり3~4月にも患者発生が横ばい状態で続いた後、緩やかに減少した。

図1. インフルエンザ様疾患患者報告数の推移, 1994年第4四半期~1997年第3四半期 (感染症サーベイランス情報)

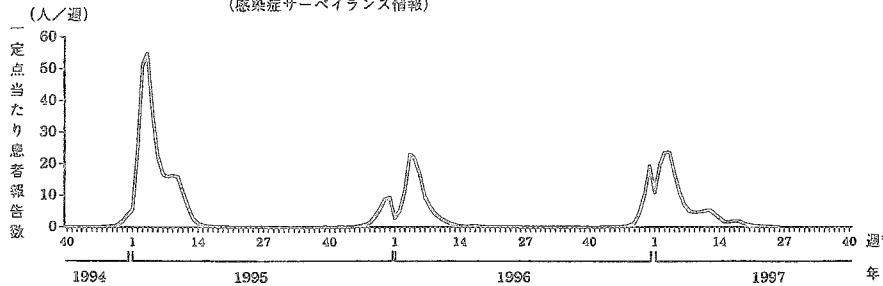


図2. 週別インフルエンザウイルス分離報告数の推移, 1994年第4四半期~1997年第3四半期 (病原微生物検出情報: 1997年11月21日現在報告数)

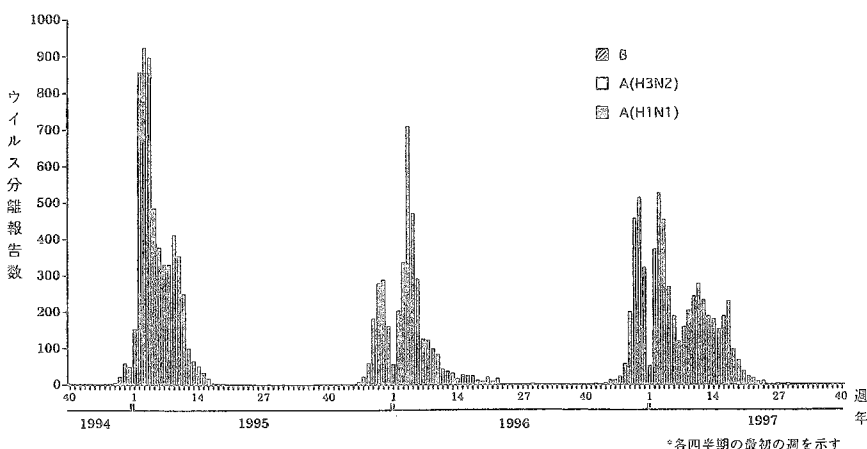


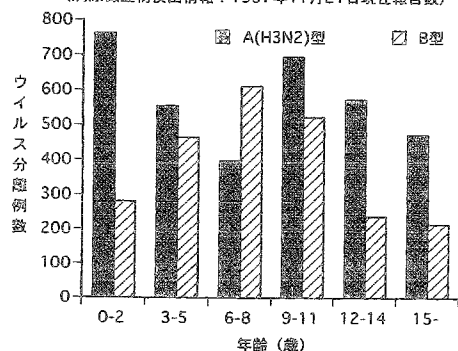
表1. インフルエンザウイルス分離報告数, 1987/88シーズン~1996/97シーズン

型	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92	92/93	93/94	94/95	95/96	96/97
A(H1N1)	6	1,499	-	248	2,017	-	2	115	3,317	-
A(H3N2)	705	46	2,035	2,045	866	2,382	1,765	3,752	415	3,503
B	1,098	33	1,586	579	48	2,464	189	1,920	11	2,367
A HN 未同定	-	9	-	1	10	9	-	-	21	8
C	1	6	-	5	-	6	-	-	8	-
合計	1,810	1,593	3,621	2,878	2,941	4,861	1,956	5,787	3,772	5,878

各シーズン9月~翌年8月の報告数 (病原微生物検出情報: 1997年 11月21日現在報告数)

分離されたインフルエンザウイルスについて、図1と同様3シーズンの週別報告数をまとめたものが図2, 過去10シーズンの型別報告数をまとめたものが表1である。なおIDSCへのウイルス分離報告には感染症サーベイランス定点医療機関で採取された検体以外に、幼稚園・小中学校などにおける集団発生時の調査などで採取した検体からの分離成績も含まれている。図2・表1からわかるように、1994/95シーズンは前半はA香港 (H3N2) 型、後半はB型の流行で、これに少数のAソ連 (H1N1) 型が含まれていた。1995/96シーズンはA(H1N1) 型が流行の中心で、A(H3N2) 型がこれに少数かぶさるようになり後半まで残り、B型の分離は少数例にとどまった。1996/97シーズンの前半はA(H3N2) 型、後半はB型が主流の流行で、B

図3. インフルエンザウイルス分離例の年齢, 1996/97シーズン
(病原微生物検出情報: 1997年11月21日現在報告数)



型は7月まで続けて分離された。昨シーズンのインフルエンザウイルス分離報告数は合計5,861で過去最高の報告数であったが、A(H1N1)型は全く分離されなかった。2月に大阪で分離されたB型はB/Victoria/2/87様変異株で(本月報 Vol. 18, No. 5 参照), 4~6月には岡山, 広島(本月報 Vol. 18, No. 6 参照), 京都市(本月報 Vol. 18, No. 7 参照)からも同様のB型変異株分離の報告があった。なおB/Victoria/2/87様変異株は1995/96シーズンに中国南部で分離されていた。

1997/98シーズン用のわが国のワクチン株は, これらの結果を考慮に入れた上で, A/北京/262/95 (H1N1), A/武漢/359/95 (H3N2), B/三重/1/93, B/広東/05/94 (B/Victoria/2/87類似株) の4株を用いることになった(本月報 Vol. 18, No. 10 参照)。

昨シーズンのウイルス分離例について年齢別の分布をみると, A(H3N2)型分離例の年齢は0~2歳と9~11歳の二つのピークを示した(図3)。1996年12月以前には年長者からの分離が多く, 1997年1月以降は年少者からの分離が多かった。B型分離例については6~8歳をピークに学童が多い傾向がみられた。

インフルエンザの重篤な合併症として中枢神経系・循環器系障害などがあり, ウイルスが分離同定されたこれらの重症合併例について, IDSCへの報告が近年増加している(本月報 Vol. 17, No. 11 参照)。昨シーズンには, 脳症10例, 脳炎7例, 心筋炎・心膜炎2例, ライ症候群1例が報告され(表2), この中には死亡1例, 脳死状態の1例(本月報 Vol. 18, No. 6 参照)が含まれている。ウイルスの検出方法として, RT-PCRによって髄液中のインフルエンザウイルス遺伝子を検出した1例もこの報告の中に含まれている。なおこれらの重症例は年齢不明の1例を除いてすべて0~12歳の小児であり, ことに2歳以下の乳幼児が約半数を占めていた。

高齢者ではインフルエンザは重症化しやすく, 肺炎などを合併して死に至る場合もあり, 流行期には疫学的に超過死亡*現象があることが知られている。わが国ではこれまで高齢者のインフルエンザに関する調査が少なかったが, 昨シーズンには岡山, 広島市, 東京

表2. 脳炎、脳症、循環器障害などが報告されたインフルエンザウイルス分離例, 1996/97シーズン

採取年月	検体	検体	診断名/症状	年齢
1996.	12 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	1歳
	12 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	6歳
	12 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	不明
1997.	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症(死亡)	5歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	ライ症候群	4歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症、循環器障害	1歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	2歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	1歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳炎	3歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	1歳
	1 A(H3N2)	肺・気管支	脳炎	8歳
	1 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	4歳
	2 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	2歳
	2 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	3歳
	2 A(H3N2)	鼻咽喉	心筋炎・心膜炎	2カ月
	2 A(H3N2) *	髄液	脳症	12歳
	3 A(H3N2)	鼻咽喉	脳症	9歳
	3 B	肺・気管支	心筋炎・心膜炎(脳死状態)	10歳
	3 B	鼻咽喉	脳症	1歳
	5 B	鼻咽喉	脳炎	2歳

*RT-PCRにより検出(病原微生物検出情報: 1997年11月21日現在報告数)

の特別養護老人ホームにおけるインフルエンザの流行・集団発生例がIASRに報告された(本月報 Vol. 18, No. 5, No. 6, No. 10 参照)。欧米では65歳以上の高齢者にはインフルエンザシーズン前にワクチンの接種を積極的に勧めている(本号16ページ, MMWR Vol. 46, RR-9 参照)。わが国でも高齢者の任意接種は可能であるが, その効果と安全性に関してさらに詳細な検討がなされようとしている。

1997年5月に香港で肺炎およびライ症候群を呈して死亡した3歳児の咽頭よりインフルエンザA(H5N1)型ウイルスが分離されたとの報告がある。H5N1はトリのインフルエンザウイルスとして知られているが, ヒトから分離されたのは初めてである。日本を含む国際的な協力調査の結果, 患者周辺で同型のウイルスの人→人への感染は認められなかった(本月報 Vol. 18, No. 9 参照)。現在世界的に流行中のH3N2は30年間, H1N1は20年間にわたって続いていることに加えて, トリやブタのインフルエンザウイルスとヒトのインフルエンザウイルスの遺伝子が交雑すること, トリのインフルエンザウイルスが直接ヒトに侵入する可能性もあることなどより, H5N1のヒトからの分離は世界中から注目された。わが国では新型インフルエンザの出現とその流行に備えるため厚生省内に新型インフルエンザ対策検討会が設置され, サーベイランスの充実とワクチン接種を対策の基本とするガイドラインがこのほど提出された(本号3ページ参照)。

今シーズンのウイルス分離速報: 12月8日現在, 日本での分離報告はまだない。香港ではかぜ症状の幼児から(11月8日採取)2株目のA(H5N1)型ウイルスが分離された。香港特別行政区政府はその後54歳男性(死亡), 13歳女子(重体)からのH5N1分離を発表した。

*超過死亡: インフルエンザの流行があった場合に, インフルエンザの流行がなかったと想定した場合に較べての死亡数の増加。

第3章 患者情報集計

1. 平成8年 全国、週別・疾病別報告数及び一定点当たり報告数

Reported cases from clinics and hospitals, by week and disease, 1986.

週 数	1. 麻疹 measles		2. 風しん rubella		3. 水痘 chickenpox		4. 流行性耳下腺炎 mumps		5. 百日せき pertussis		6. 溶連菌感染症 streptococcal infection		7. 異型肺炎 atypical pneumonia		8. 感染性胃腸炎 infectious gastroenteritis	
	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence	報告数 reported cases	一定点 当り incidence
1週	23038	9.44	26782	10.98	190340	78.01	112843	46.25	5661	2.32	74867	30.68	26746	10.96	397027	162.72
2週	255	0.10	151	0.06	5474	2.24	1338	0.55	64	0.03	546	0.26	373	0.15	5742	2.35
3週	385	0.14	237	0.10	6097	2.50	2048	0.84	84	0.03	1121	0.46	506	0.21	8921	3.56
4週	303	0.12	213	0.09	4959	1.87	1296	0.53	84	0.03	1282	0.53	477	0.20	9081	3.72
5週	401	0.16	230	0.09	4977	2.04	1154	0.47	89	0.04	1586	0.65	476	0.20	10645	4.36
6週	369	0.15	230	0.09	3863	1.58	1553	0.64	93	0.04	1522	0.62	508	0.21	11158	4.57
7週	387	0.16	234	0.10	4032	1.65	1522	0.64	107	0.04	1406	0.56	468	0.19	11671	4.78
8週	515	0.21	316	0.13	3786	1.55	1515	0.62	72	0.03	1323	0.54	449	0.18	11905	4.68
9週	485	0.20	385	0.16	4123	1.69	1647	0.67	67	0.03	1497	0.61	468	0.19	13356	5.47
10週	606	0.25	491	0.20	4034	1.65	1667	0.68	94	0.04	1771	0.73	442	0.18	15255	6.25
	635	0.26	599	0.25	4224	1.73	1901	0.78	95	0.04	1962	0.80	405	0.17	16256	6.66
11週	657	0.27	706	0.29	4179	1.71	1925	0.79	86	0.04	1907	0.78	401	0.16	16396	6.72
12週	716	0.29	777	0.32	4851	1.78	1856	0.76	81	0.03	1849	0.76	399	0.16	13433	5.51
13週	820	0.34	807	0.33	4405	1.81	2199	0.90	81	0.03	1464	0.60	353	0.14	10950	4.49
14週	933	0.34	920	0.38	4512	1.85	2188	0.90	97	0.04	1178	0.48	366	0.15	8679	3.56
15週	778	0.32	874	0.36	4251	1.74	2209	0.91	96	0.04	1154	0.47	379	0.16	8196	3.36
16週	826	0.34	800	0.33	3867	1.58	1894	0.78	164	0.07	1561	0.64	355	0.15	9773	4.01
17週	884	0.36	1049	0.43	4157	1.70	1812	0.74	167	0.07	1686	0.69	420	0.17	9900	4.06
18週	811	0.33	792	0.32	3296	1.35	1596	0.65	86	0.04	1111	0.46	301	0.12	9264	2.57
19週	1074	0.44	1367	0.56	5644	2.31	2334	0.95	145	0.06	1546	0.63	409	0.17	7818	3.20
20週	963	0.39	1431	0.59	5299	2.17	2275	0.93	135	0.06	2077	0.85	426	0.17	8687	3.56
21週	1001	0.41	1403	0.57	5934	2.43	2213	0.91	130	0.05	2124	0.87	427	0.17	9013	3.69
22週	911	0.37	1869	0.77	6003	2.46	2704	1.11	153	0.06	2102	0.86	476	0.20	7586	3.11
23週	934	0.38	1513	0.52	5827	2.39	2757	1.13	157	0.06	1942	0.80	448	0.18	6998	2.75
24週	762	0.31	1331	0.55	5358	2.20	2768	1.13	141	0.06	2086	0.86	448	0.19	6823	2.80
25週	669	0.27	1244	0.51	4889	2.00	2706	1.11	147	0.06	1697	0.70	462	0.19	6777	2.78
26週	665	0.27	1131	0.46	4415	1.81	2732	1.14	113	0.05	1631	0.67	408	0.17	6212	2.55
27週	582	0.24	827	0.34	3613	1.48	3037	1.24	105	0.04	1318	0.54	416	0.17	4983	2.04
28週	526	0.22	651	0.27	3746	1.54	3052	1.25	121	0.05	1219	0.50	439	0.18	4927	2.02
29週	509	0.21	535	0.22	2731	1.12	2983	1.22	138	0.05	1041	0.43	459	0.19	5289	2.17
30週	416	0.17	466	0.19	3677	1.51	3151	1.29	142	0.06	955	0.39	539	0.22	6352	2.60
31週	409	0.17	311	0.13	2262	0.93	3116	1.28	122	0.05	653	0.27	490	0.20	5941	2.43
32週	341	0.14	243	0.10	2390	0.98	2786	1.14	114	0.05	554	0.23	485	0.20	4621	1.89
33週	321	0.13	141	0.06	1455	0.50	2262	0.93	90	0.04	398	0.16	409	0.17	2835	1.16
34週	259	0.11	139	0.06	1862	0.76	2306	0.95	144	0.06	436	0.18	452	0.19	3379	1.38
35週	229	0.09	143	0.06	1253	0.51	1992	0.82	145	0.06	511	0.21	521	0.18	3281	1.34
36週	181	0.07	95	0.04	1271	0.52	1574	0.65	159	0.07	599	0.25	392	0.16	3427	1.40
37週	116	0.05	117	0.05	1188	0.49	1704	0.65	164	0.07	745	0.31	432	0.18	3067	1.26
38週	121	0.05	97	0.04	1121	0.46	1499	0.61	101	0.04	701	0.29	416	0.17	2933	1.20
39週	77	0.03	97	0.04	1343	0.55	1663	0.68	108	0.05	727	0.30	477	0.20	2834	1.15
40週	78	0.03	78	0.03	1159	0.47	1841	0.75	93	0.04	977	0.40	511	0.21	3050	1.26
41週	90	0.04	74	0.03	1586	0.64	1564	0.64	98	0.04	958	0.39	479	0.20	2854	1.17
42週	79	0.03	87	0.04	1655	0.68	2194	0.90	107	0.04	1098	0.45	568	0.23	3173	1.30
43週	92	0.04	106	0.04	1893	0.78	2093	0.86	110	0.05	1415	0.58	631	0.26	3179	1.30
44週	97	0.04	107	0.04	2205	0.90	2320	0.93	104	0.04	1494	0.61	708	0.29	3680	1.51
45週	103	0.04	136	0.06	2580	1.05	2323	0.95	106	0.04	1585	0.65	658	0.27	3901	1.60
46週	117	0.05	115	0.05	2880	1.22	2200	0.90	98	0.04	1899	0.78	723	0.30	4909	2.01
47週	118	0.05	127	0.05	2983	1.22	2217	0.91	102	0.04	1999	0.82	851	0.35	5613	2.30
48週	130	0.05	141	0.06	4265	1.75	2903	1.19	74	0.03	2519	1.03	1006	0.41	7439	3.05
49週	102	0.04	156	0.06	4124	1.69	2680	1.10	75	0.03	2621	1.07	911	0.37	9108	3.73
50週	118	0.05	213	0.09	5083	2.08	2712	1.11	69	0.03	2806	1.15	984	0.40	11771	4.82
51週	110	0.05	246	0.10	5087	2.08	2900	1.19	82	0.03	2617	1.07	911	0.37	14057	5.76
52週	141	0.06	234	0.10	5312	2.18	2602	1.07	57	0.02	1779	0.73	875	0.36	13237	5.42

9. 乳児嘔吐下痢症 infantile vomiting and diarrhea		10. 手足口病 hand-foot-and-mouth disease		11. 伝染性紅斑 erythema infectiosum		12. 突発性発しん exanthem subitum		13. ヘルパンギーナ herpangina		14. インフルエンザ influenza		15. MLIS (川崎病) acute febrile mucocutaneous lymphnode syndrome		16. 咽頭結核(小・内) pharyngo-conjunctival fever (pediatrics and internal medicine)	
報告数	発症数	報告数	発症数	報告数	発症数	報告数	発症数	報告数	発症数	報告数	発症数	報告数	発症数	報告数	発症数
75994	31.15	24574	10.07	37743	15.47	83738	34.32	96631	39.60	353307	145.00	1357	0.56	5906	2.42
1514	0.66	61	0.02	280	0.11	837	0.34	70	0.03	6917	2.83	14	0.01	31	0.01
2525	0.95	75	0.03	480	0.20	1660	0.68	76	0.03	12471	5.11	29	0.01	61	0.02
1969	0.77	77	0.03	561	0.23	1656	0.68	153	0.07	26988	11.06	29	0.01	36	0.02
2141	0.80	79	0.03	683	0.26	1528	0.63	134	0.05	56160	23.02	37	0.02	35	0.01
2430	1.00	83	0.03	587	0.24	1468	0.60	68	0.03	52591	21.52	30	0.01	37	0.02
2724	1.12	78	0.03	471	0.19	1406	0.58	145	0.06	39613	16.32	30	0.01	52	0.02
2854	1.16	57	0.02	485	0.19	1344	0.55	92	0.04	23989	9.46	40	0.02	39	0.02
3291	1.35	69	0.03	429	0.18	1492	0.61	85	0.03	15412	6.32	34	0.01	65	0.03
3629	1.49	65	0.03	513	0.21	1544	0.63	76	0.03	10261	4.21	35	0.01	43	0.02
3928	1.61	70	0.03	585	0.24	1526	0.63	88	0.04	6819	2.79	47	0.02	35	0.01
4068	1.67	93	0.04	575	0.24	1541	0.63	92	0.04	4771	1.96	37	0.02	30	0.01
3950	1.45	85	0.03	607	0.25	1469	0.60	92	0.04	2772	1.14	20	0.01	40	0.02
3021	1.24	107	0.04	757	0.31	1586	0.65	118	0.05	1664	0.68	36	0.01	36	0.01
2486	1.02	69	0.03	764	0.31	1636	0.67	107	0.04	923	0.34	26	0.01	51	0.02
2535	1.04	121	0.05	890	0.36	1660	0.68	125	0.05	439	0.16	33	0.01	63	0.03
2393	0.98	105	0.04	1039	0.43	1631	0.67	152	0.06	774	0.32	30	0.01	71	0.03
2126	0.87	128	0.05	1257	0.52	1519	0.62	152	0.06	1052	0.43	31	0.01	131	0.05
1948	0.55	105	0.04	887	0.29	1151	0.47	170	0.07	493	0.20	33	0.01	97	0.04
1457	0.60	137	0.06	856	0.35	1513	0.62	274	0.11	327	0.13	23	0.01	111	0.05
1367	0.56	243	0.10	1139	0.47	1690	0.69	559	0.23	335	0.14	31	0.01	142	0.06
1294	0.53	301	0.12	1192	0.49	1649	0.68	880	0.36	260	0.11	26	0.01	146	0.06
992	0.41	414	0.17	1554	0.64	1740	0.71	1567	0.64	215	0.09	18	0.01	171	0.07
739	0.30	471	0.19	1167	0.48	1738	0.71	147	0.06	147	0.06	19	0.01	201	0.08
637	0.26	617	0.25	1254	0.51	1667	0.68	4060	1.66	95	0.03	30	0.01	205	0.08
645	0.26	1003	0.41	1303	0.53	1715	0.70	6380	2.61	111	0.05	30	0.01	254	0.10
581	0.24	1382	0.57	1352	0.55	1705	0.70	8496	3.43	60	0.03	45	0.02	265	0.11
447	0.18	1560	0.64	1423	0.58	1672	0.69	83	0.03	263	0.03	26	0.01	283	0.12
400	0.16	1671	0.68	1295	0.53	1597	0.65	11225	4.60	85	0.03	28	0.01	283	0.12
370	0.15	1567	0.64	1228	0.50	1473	0.60	10647	4.36	66	0.04	27	0.01	270	0.11
429	0.18	1691	0.69	803	0.33	1764	0.72	10180	4.17	34	0.01	22	0.01	331	0.14
397	0.16	1243	0.51	704	0.29	1692	0.69	7537	3.09	52	0.02	24	0.01	330	0.14
330	0.14	807	0.33	480	0.20	1556	0.64	4958	1.99	39	0.02	26	0.01	323	0.13
231	0.09	495	0.20	378	0.15	1310	0.54	2799	1.15	10	0.00	15	0.01	281	0.12
264	0.11	411	0.17	409	0.17	1629	0.67	2075	0.85	17	0.01	15	0.01	201	0.08
271	0.12	459	0.19	435	0.19	1875	0.77	1503	0.62	20	0.01	34	0.01	151	0.06
282	0.12	506	0.21	524	0.21	1957	0.80	1268	0.53	21	0.01	27	0.01	150	0.06
229	0.09	555	0.23	421	0.17	1921	0.79	1034	0.42	50	0.02	21	0.01	102	0.04
239	0.10	498	0.20	372	0.15	1753	0.72	780	0.32	72	0.03	19	0.01	96	0.04
265	0.11	447	0.18	294	0.12	1727	0.71	679	0.28	72	0.03	24	0.01	72	0.03
317	0.13	458	0.19	340	0.14	1779	0.73	582	0.24	39	0.02	12	0.01	66	0.03
298	0.12	470	0.20	363	0.15	1758	0.72	441	0.18	51	0.02	12	0.01	35	0.01
360	0.15	411	0.17	419	0.17	1677	0.69	373	0.15	102	0.04	24	0.01	33	0.01
399	0.16	509	0.21	458	0.19	1677	0.71	323	0.13	155	0.06	18	0.01	26	0.01
461	0.19	549	0.22	468	0.19	1610	0.66	309	0.13	174	0.07	18	0.01	28	0.01
500	0.20	556	0.23	403	0.17	1570	0.64	283	0.12	193	0.08	9	0.00	26	0.01
690	0.28	585	0.24	519	0.21	1689	0.69	278	0.11	252	0.10	15	0.01	28	0.01
791	0.32	622	0.25	596	0.24	1551	0.64	273	0.11	407	0.17	21	0.01	30	0.01
1270	0.52	585	0.24	621	0.25	1810	0.74	282	0.12	1070	0.44	20	0.01	29	0.01
1703	0.70	581	0.24	704	0.30	1691	0.69	289	0.12	3058	1.25	26	0.01	48	0.02
2351	0.96	590	0.24	817	0.33	1679	0.69	299	0.12	10865	4.45	24	0.01	99	0.04
3226	1.32	439	0.18	960	0.39	1669	0.68	274	0.11	25326	10.38	26	0.01	64	0.03
3416	1.40	299	0.12	827	0.34	1519	0.62	277	0.11	46733	19.15	23	0.01	83	0.03

17. 咽頭結核熱(眼)		18. 流行性角結膜炎		19. 急性出血性結膜炎	
pharyngo-conjunctival fever (ophthalmology)		epidemic keratoconjunctivitis		acute hemorrhagic conjunctivitis	
報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
総数	incidence	reported cases	incidence	reported cases	incidence
1週	739	2.35	63.70	429	1.37
2週	9	0.03	1.35	9	0.03
3週	13	0.04	1.36	22	0.07
4週	9	0.03	1.35	13	0.04
5週	11	0.04	1.34	13	0.04
6週	5	0.02	1.29	6	0.02
7週	7	0.02	1.26	5	0.02
8週	10	0.03	1.18	12	0.04
9週	2	0.01	1.30	7	0.02
10週	6	0.02	1.13	8	0.03
11週	14	0.04	1.21	10	0.03
12週	8	0.03	1.09	8	0.03
13週	8	0.03	2.99	7	0.02
14週	7	0.02	0.91	13	0.04
15週	4	0.01	1.00	8	0.03
16週	14	0.04	0.99	10	0.03
17週	12	0.04	1.12	10	0.03
18週	10	0.03	3.52	14	0.04
19週	8	0.03	1.12	10	0.03
20週	16	0.05	0.75	10	0.03
21週	26	0.08	1.21	5	0.02
22週	13	0.04	1.29	10	0.03
23週	18	0.06	1.06	9	0.03
24週	21	0.07	1.39	11	0.04
25週	17	0.05	1.32	11	0.04
26週	20	0.06	1.27	15	0.05
27週	14	0.04	1.27	6	0.02
28週	29	0.09	1.29	5	0.02
29週	33	0.11	1.34	6	0.02
30週	27	0.09	1.41	3	0.01
31週	31	0.10	1.36	13	0.04
32週	39	0.12	1.69	7	0.02
33週	34	0.11	1.75	19	0.06
34週	19	0.06	1.87	7	0.02
35週	15	0.05	1.58	2	0.01
36週	16	0.05	1.99	2	0.01
37週	15	0.05	1.58	7	0.02
38週	4	0.01	1.47	2	0.01
39週	10	0.03	1.10	10	0.03
40週	3	0.01	0.94	7	0.02
41週	8	0.03	1.04	9	0.03
42週	15	0.05	1.05	12	0.04
43週	15	0.05	1.03	3	0.01
44週	13	0.04	1.17	5	0.02
45週	13	0.04	1.07	6	0.02
46週	17	0.05	1.12	3	0.01
47週	8	0.03	0.94	5	0.02
48週	14	0.04	1.03	3	0.01
49週	7	0.02	0.93	1	0.00
50週	16	0.05	1.18	5	0.02
51週	15	0.05	1.20	9	0.03
52週	15	0.05	0.99	10	0.03
53週	8	0.03	1.18	3	0.01
54週	13	0.04	0.80	6	0.02
55週	13	0.04	2.51	-	-

2. 平成8年 全国、疾病別・月別・性別報告数及び一定点当たり報告数(総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by month, disease and sex, 1996. (Total)

1. MCLS(川崎病) acute febrile mucocutaneous lymphnode syndrome	報告数 reported cases	96年		95年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		総数	定点当たり incidence	総数	定点当たり incidence												
2. ウイルス肝炎 viral hepatitis	報告数	2321	151	214	203	237	177	210	203	237	214	217	210	163	156	184	162
	定点当たり incidence	4.51	0.29	0.42	0.39	0.46	0.34	0.41	0.39	0.46	0.42	0.42	0.41	0.32	0.30	0.36	0.31
3. A型肝炎 hepatitis A	報告数	358	30	37	42	54	47	72	63	54	31	22	16	16	7	15	16
	定点当たり incidence	0.70	0.06	0.07	0.14	0.10	0.09	0.12	0.12	0.10	0.06	0.04	0.03	0.03	0.01	0.03	0.03
4. B型肝炎 hepatitis B	報告数	550	47	48	37	58	45	37	27	45	54	54	57	45	38	46	37
	定点当たり incidence	1.08	0.09	0.09	0.07	0.11	0.09	0.07	0.05	0.11	0.10	0.10	0.11	0.09	0.07	0.09	0.07
5. その他のウイルス肝炎 non-A non-B hepatitis	報告数	1405	74	129	94	125	85	131	94	125	129	141	137	102	111	123	109
	定点当たり incidence	2.73	0.14	0.25	0.18	0.24	0.24	0.25	0.18	0.24	0.25	0.27	0.27	0.20	0.22	0.24	0.21
6. 髄膜炎 meningitis	報告数	1824	74	95	98	129	109	120	98	129	197	344	261	127	120	137	122
	定点当たり incidence	3.54	0.14	0.18	0.19	0.25	0.21	0.23	0.19	0.25	0.38	0.67	0.51	0.25	0.23	0.27	0.24
7. 細菌性髄膜炎 septic meningitis	報告数	267	16	26	15	25	15	17	13	25	24	20	19	22	16	30	37
	定点当たり incidence	0.52	0.03	0.05	0.03	0.05	0.03	0.03	0.03	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.03	0.06	0.07
8. 無菌性髄膜炎 aseptic meningitis	報告数	1557	58	69	83	104	94	103	83	104	173	324	242	105	104	107	85
	定点当たり incidence	3.02	0.11	0.13	0.16	0.20	0.18	0.20	0.16	0.20	0.34	0.63	0.47	0.20	0.20	0.21	0.17
		3.14	0.09	0.07	0.10	0.18	0.35	0.11	0.10	0.18	0.35	0.72	0.59	0.33	0.27	0.19	0.14

	報告数 reported cases	96年 95年	総 数											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
9. 脳・脊髄炎 encephalomyelitis	報告数 reported cases	96年 95年	182 184	24 28	17 25	15 16	8 21	17 11	19 13	9 13	14 11	13 13	22 10	
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.35 0.36	0.05 0.05	0.03 0.05	0.03 0.03	0.02 0.04	0.03 0.02	0.04 0.03	0.02 0.03	0.03 0.02	0.03 0.03	0.04 0.02	
10. 髄炎 encephalitis	報告数 reported cases	96年 95年	121 103	11 10	11 10	11 11	8 14	15 3	11 10	7 7	10 5	9 10	10 6	
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.23 0.20	0.02 0.02	0.02 0.02	0.02 0.02	0.02 0.03	0.03 0.01	0.02 0.02	0.01 0.01	0.02 0.01	0.02 0.02	0.02 0.01	
11. 髄症 encephalopathy	報告数 reported cases	96年 95年	42 68	11 15	3 14	2 3	- 6	2 2	4 6	1 4	3 5	3 3	8 4	
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.08 0.13	0.02 0.03	0.01 0.03	0.01 0.01	- 0.01	0.00 0.00	0.01 0.01	0.00 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01	0.02 0.01	
12. ライ症候群 Reye syndrome	報告数 reported cases	96年 95年	7 6	2 3	1 -	- 2	- -	- -	1 -	1 -	- -	- -	2 -	
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.01 0.01	0.00 0.01	0.00 0.00	- 0.00	- -	- -	0.00 0.00	- 0.00	- 0.01	- 0.01	0.00 0.01	
13. 脊髄炎 myelitis	報告数 reported cases	96年 95年	12 7	- -	2 1	2 -	- 1	- 1	3 1	1 1	1 1	1 -	2 -	
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.02 0.01	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	- 0.00	- 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
14. 淋病様疾患 gonorrhoea	報告数 reported cases	96年 95年	7949 6720	604 493	573 435	573 481	582 492	696 564	704 513	809 613	787 668	713 645	641 619	
	定点点当たり incidence	96年 95年	13.16 11.13	1.00 0.82	0.95 0.72	0.95 0.80	0.96 0.81	1.15 0.93	1.17 0.85	1.34 1.01	1.30 1.11	1.18 1.07	1.06 1.02	
15. 陰部クラミジア感染症 genital chlamydial infection	報告数 reported cases	96年 95年	14534 13771	1044 979	1061 1022	1119 1092	1109 1038	1235 1152	1271 1176	1353 1264	1327 1232	1276 1306	1273 1184	
	定点点当たり incidence	96年 95年	24.06 22.80	1.73 1.62	1.76 1.69	1.85 1.81	1.84 1.72	2.04 1.91	2.10 1.95	2.24 2.09	2.20 2.04	2.11 2.16	2.11 1.96	
16. 陰部ヘルペス genital herpes	報告数 reported cases	96年 95年	6177 5715	476 421	476 419	501 460	498 436	549 514	488 481	569 466	545 495	502 528	528 488	
	定点点当たり incidence	96年 95年	10.23 9.46	0.79 0.70	0.79 0.69	0.83 0.76	0.82 0.72	0.91 0.85	0.81 0.80	0.94 0.77	0.90 0.82	0.83 0.87	0.87 0.81	
17. 尖圭コンジローム condyroma acuminatum	報告数 reported cases	96年 95年	2060 2147	174 172	188 168	173 197	165 185	176 182	173 183	198 175	153 205	203 184	153 174	
	定点点当たり incidence	96年 95年	3.41 3.55	0.29 0.28	0.31 0.28	0.29 0.33	0.27 0.31	0.29 0.30	0.29 0.30	0.33 0.29	0.25 0.34	0.34 0.30	0.25 0.25	
18. トリコモナス症 trichomoniasis	報告数 reported cases	96年 95年	2772 3041	228 252	227 234	236 238	238 232	237 246	227 245	255 299	260 280	240 262	207 268	
	定点点当たり incidence	96年 95年	4.59 5.03	0.38 0.42	0.38 0.39	0.39 0.39	0.39 0.38	0.39 0.41	0.38 0.41	0.42 0.50	0.43 0.46	0.40 0.43	0.34 0.44	

2. 平成8年 全国、疾病別・月別・性別報告数及び一定点当たり報告数(男)

Reported cases from clinics and hospitals, by month, disease and sex, 1996. (Male)

		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1. 急性(川崎病) acute febrile mucocitaneous lymphnode syndrome	報告数 reported cases	96年 95年	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	定點当たり incidence	96年 95年	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	報告数 reported cases	96年 95年	78 62	113 92	106 106	101 90	127 96	107 94	127 89	127 79	88 90	74 92	69 72	92 105	
	定點当たり incidence	96年 95年	0.15 0.12	0.22 0.16	0.21 0.21	0.20 0.17	0.25 0.19	0.21 0.18	0.25 0.17	0.25 0.15	0.17 0.15	0.14 0.18	0.17 0.14	0.18 0.20	
	報告数 reported cases	96年 95年	174 154	11 15	25 20	32 32	27 32	28 24	15 14	13 15	11 3	6 6	7 9	6 3	
2. ウイルス肝炎 viral hepatitis	報告数 reported cases	96年 95年	1231 1057	78 62	113 92	106 106	101 90	127 96	107 94	127 89	127 79	88 90	74 92	92 105	
	定點当たり incidence	96年 95年	2.39 2.05	0.15 0.12	0.22 0.16	0.21 0.21	0.20 0.17	0.25 0.19	0.21 0.18	0.25 0.17	0.25 0.15	0.17 0.15	0.14 0.18	0.17 0.20	
	報告数 reported cases	96年 95年	315 258	27 15	28 14	19 20	18 19	29 26	31 18	28 24	39 22	30 25	14 22	24 19	28 34
	定點当たり incidence	96年 95年	0.61 0.50	0.05 0.03	0.05 0.04	0.04 0.04	0.03 0.04	0.06 0.05	0.06 0.03	0.05 0.05	0.08 0.04	0.06 0.05	0.03 0.04	0.05 0.04	0.05 0.07
	報告数 reported cases	96年 95年	742 615	40 32	70 48	64 54	56 39	70 46	61 62	86 50	77 54	48 54	54 64	58 44	58 68
5. その他のウイルス肝炎 non-A non-B hepatitis	報告数 reported cases	96年 95年	1.44 1.19	0.08 0.06	0.14 0.09	0.12 0.10	0.11 0.08	0.14 0.09	0.12 0.12	0.17 0.10	0.15 0.10	0.10 0.12	0.11 0.09	0.11 0.13	
	定點当たり incidence	96年 95年	1.44 1.19	0.08 0.06	0.14 0.09	0.12 0.10	0.11 0.08	0.14 0.09	0.12 0.12	0.17 0.10	0.15 0.10	0.10 0.12	0.11 0.09	0.11 0.13	
	報告数 reported cases	96年 95年	1177 1203	51 42	65 30	76 46	64 42	79 73	138 149	223 257	174 212	87 112	72 113	76 67	72 60
	定點当たり incidence	96年 95年	2.29 2.34	0.10 0.08	0.13 0.06	0.15 0.09	0.12 0.06	0.15 0.14	0.27 0.29	0.43 0.50	0.34 0.41	0.17 0.22	0.14 0.22	0.15 0.13	0.14 0.12
	報告数 reported cases	96年 95年	163 139	12 11	19 12	11 10	8 5	15 10	15 18	10 10	11 9	18 7	8 21	21 11	15 15
6. 感染性髄膜炎 septic meningitis	報告数 reported cases	96年 95年	0.32 0.27	0.02 0.02	0.04 0.02	0.02 0.02	0.02 0.01	0.03 0.02	0.03 0.03	0.02 0.02	0.02 0.02	0.02 0.04	0.04 0.02	0.03 0.03	
	定點当たり incidence	96年 95年	1014 1064	39 31	46 18	65 36	56 37	64 63	123 131	213 247	163 203	69 105	64 92	55 56	57 45
	報告数 reported cases	96年 95年	1.97 2.07	0.06 0.06	0.09 0.03	0.13 0.07	0.11 0.07	0.12 0.12	0.24 0.25	0.41 0.48	0.32 0.39	0.13 0.20	0.12 0.16	0.11 0.11	0.11 0.09
	定點当たり incidence	96年 95年	1.97 2.07	0.06 0.06	0.09 0.03	0.13 0.07	0.11 0.07	0.12 0.12	0.24 0.25	0.41 0.48	0.32 0.39	0.13 0.20	0.12 0.16	0.11 0.11	0.11 0.09
	報告数 reported cases	96年 95年	1014 1064	39 31	46 18	65 36	56 37	64 63	123 131	213 247	163 203	69 105	64 92	55 56	57 45
8. 無菌性髄膜炎 aseptic meningitis	報告数 reported cases	96年 95年	1.97 2.07	0.06 0.06	0.09 0.03	0.13 0.07	0.11 0.07	0.12 0.12	0.24 0.25	0.41 0.48	0.32 0.39	0.13 0.20	0.12 0.16	0.11 0.11	0.11 0.09
	定點当たり incidence	96年 95年	1.97 2.07	0.06 0.06	0.09 0.03	0.13 0.07	0.11 0.07	0.12 0.12	0.24 0.25	0.41 0.48	0.32 0.39	0.13 0.20	0.12 0.16	0.11 0.11	0.11 0.09
	報告数 reported cases	96年 95年	1014 1064	39 31	46 18	65 36	56 37	64 63	123 131	213 247	163 203	69 105	64 92	55 56	57 45
	定點当たり incidence	96年 95年	1.97 2.07	0.06 0.06	0.09 0.03	0.13 0.07	0.11 0.07	0.12 0.12	0.24 0.25	0.41 0.48	0.32 0.39	0.13 0.20	0.12 0.16	0.11 0.11	0.11 0.09
	報告数 reported cases	96年 95年	1014 1064	39 31	46 18	65 36	56 37	64 63	123 131	213 247	163 203	69 105	64 92	55 56	57 45

9. 脳・脊髄炎 encephalomyelitis	報告数 reported cases	96年		95年		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		報告数	定点点当り	報告数	定点点当り												
	108	108	0.21	107	0.21	10	9	7	6	10	11	5	11	6	11	7	15
						18	14	8	12	1	8	7	13	6	7	7	6
						0.02	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.03
						0.03	0.01	0.02	0.02	0.00	0.02	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01
10. 髄炎 encephalitis	報告数	75	6	67	4	4	6	5	6	9	8	4	6	5	9	5	8
						8	4	8	10	-	4	6	9	3	3	6	6
						0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02
						0.02	0.01	0.02	0.02	-	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
11. 脳脊 encephalopathy	報告数	21	6	35	4	6	1	-	-	1	2	1	2	-	2	2	4
						8	10	-	2	1	3	1	4	2	3	1	-
						0.01	0.00	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.01
						0.02	0.02	-	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	-
12. ライ症候群 Reye syndrome	報告数	4	-	3	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
						2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
						0.00	0.00	-	-	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	0.00
						0.01	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
13. 脊髄炎 myelitis	報告数	8	-	2	-	-	1	2	-	-	1	-	2	1	-	-	2
						-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
						0.00	0.00	-	-	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	0.00
						0.01	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-
14. 淋病結核菌 gonorrhoea	報告数	6988	515	5953	443	510	377	429	502	590	637	693	704	626	595	568	513
						443	377	429	432	491	466	552	564	579	529	555	516
						0.89	0.85	0.84	0.83	0.98	1.05	1.15	1.17	1.04	0.99	0.94	0.85
						0.73	0.62	0.71	0.72	0.81	0.77	0.91	0.97	0.96	0.88	0.92	0.85
15. 尿道クラミジア感染症 genital chlamydia infection	報告数	7984	583	7762	574	622	552	574	614	656	718	762	745	687	717	685	616
						539	552	574	580	664	670	723	719	736	717	680	600
						0.96	0.97	1.03	1.02	1.09	1.19	1.26	1.23	1.14	1.19	1.13	1.02
						0.89	0.91	0.95	0.97	1.10	1.11	1.20	1.19	1.22	1.19	1.13	0.99
16. 陰部ヘルペス genital herpes	報告数	3131	248	3152	246	276	249	263	247	282	256	280	261	252	259	256	243
						246	249	263	239	292	273	255	273	286	274	234	268
						0.44	0.41	0.46	0.41	0.47	0.42	0.48	0.43	0.42	0.43	0.42	0.40
						0.41	0.41	0.44	0.40	0.48	0.45	0.42	0.45	0.47	0.45	0.39	0.44
17. 尖圭コンジローム condylooma acuminatum	報告数	1379	128	1421	122	115	107	123	116	112	118	121	97	135	115	116	92
						122	107	123	123	117	125	106	147	128	99	117	107
						0.19	0.21	0.19	0.19	0.19	0.20	0.20	0.16	0.22	0.19	0.19	0.15
						0.20	0.18	0.20	0.20	0.19	0.21	0.18	0.24	0.21	0.16	0.19	0.18
18. トリコモナス症 trichomoniasis	報告数	207	15	207	14	21	15	18	14	21	17	18	30	16	15	13	13
						13	13	18	14	14	17	25	30	22	20	25	13
						0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.03	0.05	0.03	0.02	0.02	0.02
						0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.04	0.02	0.04	0.03	0.04	0.02

2. 平成8年 全国、疾病別・月別・性別報告数及び一定点当たり報告数(女)

Reported cases from clinics and hospitals, by month, disease and sex, 1996. (Female)

	報告数 reported cases	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1. 痢疾(川崎病) acute febrile mucocutaneous lymphnode syndrome	報告数 reported cases	73	101	102	102	110	107	90	93	75	82	95	70
	定点当たり incidence	0.14	0.20	0.20	0.20	0.21	0.21	0.17	0.16	0.15	0.16	0.18	0.14
	報告数 reported cases	184	22	17	45	26	16	9	5	6	1	8	10
	定点当たり incidence	0.36	0.04	0.03	0.09	0.05	0.03	0.02	0.01	0.01	0.00	0.02	0.02
	報告数 reported cases	243	20	18	19	29	23	26	18	15	24	22	9
	定点当たり incidence	0.32	0.02	0.03	0.02	0.04	0.03	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.02
	報告数 reported cases	653	34	67	38	55	66	55	60	54	57	65	51
	定点当たり incidence	1.29	0.07	0.13	0.07	0.11	0.13	0.11	0.12	0.10	0.11	0.13	0.10
	報告数 reported cases	602	23	42	27	41	58	107	82	38	46	61	46
	定点当たり incidence	1.17	0.04	0.08	0.05	0.08	0.11	0.21	0.16	0.07	0.09	0.12	0.09
	報告数 reported cases	96	4	6	5	8	9	9	7	4	8	9	20
	定点当たり incidence	0.21	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	0.02	0.04
	報告数 reported cases	506	19	36	22	33	49	98	75	34	38	52	28
	定点当たり incidence	1.08	0.03	0.04	0.03	0.06	0.10	0.24	0.20	0.13	0.09	0.08	0.05

	報告数 reported cases	96年 95年	1月 14 10	2月 8 11	3月 8 8	4月 2 9	5月 7 5	6月 7 3	7月 1 6	8月 8 4	9月 3 7	10月 3 4	11月 6 6	12月 7 4
9. 腮・脊髄炎 encephalomyelitis	報告数 reported cases	96年 95年	74 77	0.03 0.02	0.02 0.02	0.00 0.02	0.01 0.01	0.01 0.01	0.00 0.01	0.02 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.14 0.15	0.02 0.02	0.02 0.02	0.00 0.02	0.01 0.01	0.01 0.01	0.00 0.01	0.02 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01	0.01 0.01
10. 脳炎 encephalitis	報告数 reported cases	96年 95年	46 36	7 2	5 6	2 4	6 3	6 2	5 5	5 1	2 4	1 2	4 4	2 2
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.09 0.07	0.01 0.01	0.01 0.01	0.00 0.01	0.01 0.01	0.01 0.00	0.01 0.01	0.01 0.00	0.00 0.01	0.00 0.00	0.01 0.01	0.00 -
11. 脳症 encephalopathy	報告数 reported cases	96年 95年	21 33	5 7	2 4	- 4	1 1	1 1	1 1	2 2	1 2	1 2	1 2	4 4
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.04 0.06	0.01 0.01	0.00 0.01	- 0.01	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.01 0.01	0.01 0.01
12. ライ症候群 Reye syndrome	報告数 reported cases	96年 95年	3 3	2 1	- 2	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 -
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.01 0.01	0.00 0.00	- 0.00	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	0.00 -
13. 脊髄炎 myelitis	報告数 reported cases	96年 95年	4 5	- 1	- 1	- 1	- 1	- -	- -	1 1	1 1	1 -	1 -	- -
	定点点当たり incidence	96年 95年	0.01 0.01	0.00 0.00	- 0.00	- -	- -	- -	- -	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.01 0.01
14. 淋病様疾患 gonorrhoea	報告数 reported cases	96年 95年	951 767	69 50	58 58	80 60	195 73	67 47	116 61	83 84	87 66	82 77	73 64	77 75
	定点点当たり incidence	96年 95年	1.59 1.27	0.10 0.08	0.10 0.09	0.13 0.10	0.18 0.12	0.11 0.08	0.19 0.10	0.14 0.14	0.14 0.11	0.14 0.13	0.12 0.11	0.13 0.12
15. 陰部クラミジア感染症 genital chlamydial infection	報告数 reported cases	96年 95年	6550 6009	465 440	478 470	495 450	579 488	553 506	591 541	582 513	589 570	649 545	588 504	484 463
	定点点当たり incidence	96年 95年	10.84 9.95	0.77 0.73	0.79 0.78	0.82 0.75	0.95 0.81	0.92 0.84	0.98 0.90	0.95 0.85	0.98 0.94	1.07 0.90	0.97 0.83	0.80 0.77
16. 陰部ヘルペス genital herpes	報告数 reported cases	96年 95年	3046 2563	215 175	228 170	251 197	257 222	232 208	281 211	284 222	250 242	273 212	272 254	268 253
	定点点当たり incidence	96年 95年	5.04 4.24	0.36 0.29	0.38 0.28	0.42 0.33	0.44 0.37	0.38 0.34	0.47 0.35	0.47 0.35	0.47 0.37	0.45 0.35	0.45 0.42	0.44 0.42
17. 尖圭コンジローム condyloma acuminatum	報告数 reported cases	96年 95年	681 726	60 50	60 51	49 52	64 65	55 58	77 69	56 58	68 56	46 70	37 57	51 46
	定点点当たり incidence	96年 95年	1.13 1.20	0.10 0.08	0.10 0.10	0.08 0.10	0.11 0.11	0.09 0.10	0.13 0.11	0.09 0.10	0.11 0.09	0.08 0.12	0.06 0.09	0.08 0.08
18. トリコモナス症 trichomoniasis	報告数 reported cases	96年 95年	2565 2834	214 239	212 221	224 218	216 232	210 228	237 214	230 267	224 240	224 245	194 243	165 207
	定点点当たり incidence	96年 95年	4.25 4.69	0.35 0.40	0.35 0.37	0.37 0.36	0.36 0.38	0.35 0.38	0.39 0.45	0.38 0.44	0.37 0.40	0.37 0.41	0.32 0.40	0.27 0.34

3. 平成8年 都道府県別・疾病別年間報告数及び一定点当たり報告数

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture and disease, 1996.

病名	脳しん		水痘		流行性耳下腺炎		百日せき		流行性感冒		急性胃腸炎			
	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り		
総数	23038	10.98	190340	78.01	112843	46.25	5661	2.32	74867	30.86	26746	10.96	397027	162.72
北海道	4275	35.33	12151	100.42	8485	70.12	255	2.11	9525	78.72	1493	12.26	9659	71.56
青森県	34	1.13	3009	100.30	810	27.00	45	1.50	745	24.63	237	7.90	1369	46.30
岩手県	50	1.79	2955	105.54	1436	51.29	52	1.86	1202	42.93	397	14.18	2509	89.61
宮城県	28	0.61	2905	63.15	776	16.87	43	0.93	2046	44.43	476	10.35	6389	138.89
秋田県	32	1.33	1935	89.63	1841	76.71	52	2.17	1204	50.17	276	11.50	1108	110.88
山形県	4	0.15	3208	116.81	1720	63.70	114	4.22	1204	85.61	488	18.07	7978	295.48
福島県	230	4.89	4815	198.19	1203	25.60	267	5.68	1215	25.55	872	18.55	5006	106.51
茨城県	1194	14.57	3692	73.31	2293	46.80	48	0.98	861	17.37	611	12.47	9414	192.12
栃木県	648	13.79	3068	65.28	971	20.66	49	1.04	1318	28.04	287	6.11	3186	67.79
群馬県	91	2.84	2953	92.28	2555	79.84	55	1.72	1217	39.03	279	8.72	3179	99.34
埼玉県	560	7.09	6662	83.27	5772	72.15	205	2.57	4338	54.22	963	12.04	17587	219.59
千葉県	153	2.13	6811	94.60	4160	57.78	179	2.49	3142	43.64	533	7.40	10478	145.53
東京都	574	4.16	7912	97.33	5662	41.03	143	1.04	2499	17.46	946	6.86	28069	265.40
神奈川県	347	2.22	10253	65.72	6874	44.06	150	0.96	2429	15.57	928	5.95	20448	131.08
新潟県	35	0.38	1828	56.70	1828	20.09	68	0.75	2816	39.95	494	5.32	13630	151.98
富山県	823	29.67	1987	89.86	570	27.14	93	4.43	1417	47.48	208	9.20	2421	115.29
石川県	180	6.92	1806	73.31	1066	41.00	62	2.38	786	30.23	84	3.23	3422	131.62
福井県	83	4.37	1892	89.05	1108	58.32	89	4.66	685	36.05	189	9.95	2016	106.11
岐阜県	14	0.37	1538	40.47	503	13.24	8	0.21	908	23.89	196	5.16	6400	166.42
山梨県	127	3.02	3853	91.74	1346	32.05	54	1.29	1517	36.12	237	5.16	8070	162.14
長野県	595	15.66	3208	84.42	2322	61.11	88	2.32	1182	31.11	888	23.37	2915	76.71
静岡県	58	1.18	4712	96.16	2890	58.98	125	2.55	1636	34.45	1209	24.67	10776	219.92
愛知県	947	8.16	9114	78.57	6377	56.70	289	2.49	3414	28.43	1732	14.94	23748	178.86
三重県	93	1.66	4988	87.29	3492	62.36	70	1.25	1343	23.90	957	17.27	12320	228.93
滋賀県	178	8.09	2122	96.45	1829	74.05	67	3.05	563	25.59	260	11.62	2603	118.32
京都府	476	6.10	4755	60.97	2461	31.55	150	1.92	1639	21.01	655	8.40	21110	270.64
大阪府	1394	7.99	8288	49.63	5613	33.61	364	2.16	2524	15.41	2245	13.44	24584	147.31
兵庫県	2407	15.43	16336	66.26	8361	54.80	387	2.46	3282	21.04	1217	7.80	27886	177.47
奈良県	37	1.37	1335	49.44	1426	52.81	23	0.85	410	19.19	213	7.39	1768	102.52
和歌山県	307	11.81	2597	59.88	1413	54.35	62	2.38	574	22.08	159	6.12	3495	134.42
鳥取県	85	5.67	1378	85.20	563	37.53	26	1.73	744	49.60	219	14.60	3473	231.53
徳島県	105	4.38	1886	78.58	2378	90.08	64	2.67	458	19.09	263	10.96	4751	197.96
岡山県	589	16.36	2614	72.61	1237	34.36	92	2.56	1013	28.14	238	8.00	6101	169.47
広島県	1668	31.49	3937	74.28	2077	39.19	142	2.68	1558	28.40	542	10.23	9358	176.57
山口県	762	14.65	4420	85.00	2071	39.83	58	1.12	1480	28.46	805	15.48	10920	210.00
香川県	273	18.20	1258	83.87	298	19.87	18	1.20	211	14.07	118	7.87	1540	192.67
愛媛県	427	19.79	1682	70.08	1016	42.33	117	4.88	420	17.50	548	22.83	3942	164.35
高知県	1307	45.07	2645	81.21	870	33.45	75	2.82	647	22.31	232	8.00	4991	175.55
福岡県	643	19.40	2961	88.78	883	26.76	127	3.85	2169	65.73	298	9.06	4997	151.42
佐賀県	589	11.55	5038	98.78	2539	49.78	358	7.02	1403	27.51	1118	21.82	11607	231.51
熊本県	128	7.11	1414	78.56	1307	72.61	61	3.39	313	17.39	136	7.56	691	36.39
鹿嶋県	117	2.49	3458	73.57	2263	48.15	82	1.74	688	14.64	251	5.34	6297	133.98
宮崎県	506	10.33	4926	100.53	4089	93.04	59	1.20	841	17.16	458	9.35	6926	139.31
大分県	297	11.00	3872	143.41	1261	33.89	180	7.04	1667	61.74	634	23.48	7130	264.07
宮崎県	67	3.27	2675	97.57	1261	34.08	104	2.81	1686	46.57	507	13.70	10867	278.57
鹿児島県	52	2.58	2675	74.31	1027	28.53	387	10.75	537	14.92	328	9.11	16217	283.81
沖縄県	71	2.84	3245	129.80	606	24.24	43	1.72	266	10.64	230	11.20	983	39.32
埼玉県	737	23.77	2846	91.81	1500	48.39	58	1.87	2335	75.32	880	28.39	7649	246.74
千葉県	18	0.82	1117	50.77	156	7.09	7	0.32	937	42.59	132	6.00	1949	86.59
東京都	14	1.40	1772	77.20	673	67.30	6	0.80	220	22.00	132	6.80	1571	157.10
神奈川県	140	2.26	4017	64.79	2397	38.66	63	1.02	742	11.97	479	7.73	7267	116.24
新潟県	97	2.81	1787	57.65	757	24.42	40	1.29	997	29.26	121	3.90	3361	168.42
富山県	363	5.47	3943	54.90	2032	19.03	125	1.79	1542	22.03	394	5.63	12522	178.99
石川県	312	6.37	2419	49.37	957	29.53	95	1.94	550	11.22	278	5.67	10915	222.76
福井県	748	13.12	3121	54.75	2276	36.93	186	3.26	1493	26.19	518	9.09	7959	139.63
岐阜県	507	5.90	3033	35.27	2314	29.91	88	1.02	616	19.49	240	2.79	9887	114.97
静岡県	412	20.60	1289	64.95	895	44.75	47	2.35	391	19.55	150	7.50	2854	142.70
愛知県	140	12.73	1003	91.18	316	26.13	105	9.35	1971	19.82	135	12.27	2654	179.18
和歌山県	164	9.65	1661	97.71	508	29.88	170	10.00	393	23.12	456	26.82	3700	217.95

乳児嘔吐下痢 累積報告数	手足口病 累積報告数	伝染性紅斑 累積報告数	変異性感冒 累積報告数	ヘルパンギーナ 累積報告数	インフルエンザ 累積報告数	MCLS (川崎病) 累積報告数	咽頭結核熱 累積報告数	(小・内) 定点当り
総 数	75994	37743	83738	96631	353807	1357	5906	2.42
北海道	2420	2787	3682	3842	7386	46	69	0.57
青森県	388	552	895	1127	5485	21	2	0.07
岩手県	268	984	803	616	5986	16	3	0.11
宮城県	1588	1136	1612	1764	7255	11	89	1.38
秋田県	440	34.5	782	31.75	5359	30	33	1.38
山形県	1181	835	1489	1081	7069	12	29	1.07
福島県	1294	1081	1268	2201	12043	20	28	0.53
茨城県	897	1080	1268	1962	7720	25	33	1.69
栃木県	757	370	1124	1951	5508	30	26	0.55
群馬県	864	317	1204	1687	5538	9	30	0.94
埼玉県	1938	1680	3520	4638	20170	44	22	2.77
千葉県	1060	1191	2410	3988	12152	22	91	1.26
東京都	4924	2814	4041	7160	18014	69	195	1.41
神奈川県	2406	3043	5244	3327	16764	32	324	2.08
新潟県	1278	1709	1943	3009	16302	29	47	0.52
富山県	949	639	810	1360	5317	9	1	0.05
石川県	348	322	803	515	8526	11	14	0.54
福井県	348	132	550	554	251.00	18	6	0.32
山梨県	190	489	601	468	5560	3	30	0.79
長野県	1477	632	1578	1347	7673	25	215	5.12
岐阜県	1849	252	888	785	4651	39	73	1.92
静岡県	1947	737	2508	2841	8457	125	310	6.38
愛知県	3793	1434	4268	4105	17957	93	380	3.28
三重県	2504	44.71	2380	2560	12022	65	118	2.11
滋賀県	573	835	744	1638	74.45	17	1033	46.95
京都府	3229	824	2310	1372	115.50	38	42	0.54
大阪府	22.28	1021	4264	4435	10955	69	324	1.84
兵庫県	3994	1353	4853	4591	9919	52	308	1.97
奈良県	238	246	509	486	3347	5	16	0.59
和歌山県	940	73	1086	861	2379	24	48	1.85
鳥取県	385	99	584	738	269	4	18	1.20
島根県	617	320	973	549	2580	12	108	4.50
岡山県	1460	103	1140	1094	1855	13	25	0.69
広島県	2082	732	1492	1492	4398	37	206	3.89
山口県	2364	891	2180	3178	11767	106	106	2.04
徳島県	508	47	526	659	2151	22	14	0.93
香川県	921	162	1299	1063	4739	27	234	9.75
愛媛県	54.00	313	1371	1412	3688	16	234	8.07
高知県	923	105	1169	1212	4669	42	186	5.70
福岡県	5431	1731	2871	3439	9199	38	114	2.24
佐賀県	925	279	968	656	1858	5	1	0.06
熊本県	1990	787	1486	1642	5828	18	43	0.81
鹿児島県	2798	682	2837	3436	6846	23	220	4.49
宮崎県	2489	1057	2054	2768	925.33	31	64	2.37
宮崎県	3136	507	1483	2043	10320	13	105	2.84
鹿児島県	1296	140	1058	1226	9188	5	40	1.11
沖縄県	139	44	402	180	450	25	-	-
指定都市(再掲)								
札幌市	1765	857	1545	1304	2219	30	61	1.97
仙台市	230	508	579	640	2628	3	29	1.32
宇都宮市	1140	1078	321	195	1870	3	3	0.30
新潟市	359	524	1047	2487	7889	12	189	3.05
川崎市	1123	705	1979	1712	2590	8	81	2.61
名古屋市	1410	395	806	2251	9225	26	136	1.94
京都市	305	266	339	815	5388	16	26	0.53
神戸市	670	472	1154	1799	4924	52	195	3.42
広島市	670	482	887	1517	4409	6	94	1.09
福岡市	1149	233	568	493	865	6	33	1.65
福岡市	1981	666	789	985	2460	11	27	1.59

道 府 県	咽頭結核熱		(眼)		流行性角結膜炎		急性結膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	739	2.35	20002	63.70	429	1.37		
北海道	8	0.33	397	16.54	9	0.38		
青森県	1	0.20	375	75.00	-	-		
岩手県	140	28.00	231	46.20	8	1.60		
宮城県	38	7.60	143	28.60	16	3.20		
秋田県	2	0.40	119	23.80	4	0.80		
山形県	1	0.20	309	61.80	2	0.40		
福島県	-	-	399	79.80	5	1.00		
茨城県	1	0.14	454	64.86	4	0.57		
栃木県	1	0.20	203	40.60	4	0.80		
群馬県	2	0.50	229	57.25	18	4.50		
埼玉県	19	2.38	266	33.25	4	0.50		
千葉県	9	1.13	535	66.88	26	3.25		
東京都	42	3.00	827	59.07	17	1.21		
神奈川県	54	3.86	394	28.14	6	0.43		
新潟県	10	1.11	417	45.33	3	0.33		
富山県	-	-	39	13.00	6	2.00		
石川県	-	-	135	33.75	-	-		
福井県	1	0.20	30	6.00	3	0.60		
山梨県	3	1.00	99	19.80	11	2.20		
長野県	5	1.00	301	60.20	4	0.80		
岐阜県	3	0.60	121	24.20	2	0.40		
静岡県	169	33.80	189	37.80	2	0.40		
愛知県	128	11.64	431	39.18	8	0.73		
三重県	52	7.43	113	16.14	9	1.29		
滋賀県	1	0.25	115	28.75	4	1.00		
京都府	1	0.17	188	31.33	5	0.83		
大阪府	33	1.38	642	26.75	24	1.00		
兵庫県	13	0.66	935	49.21	9	0.47		
奈良県	-	-	16	5.33	-	-		
和歌山県	28	7.00	183	45.75	-	-		
鳥取県	-	-	112	37.33	3	1.00		
徳島県	5	1.25	252	63.00	29	7.25		
岡山県	11	2.20	230	46.00	1	0.20		
広島県	4	0.57	657	93.86	10	1.43		
山口県	6	1.20	332	66.40	5	1.00		
徳島県	29	5.80	109	21.80	1	0.20		
香川県	6	2.00	370	123.33	-	-		
愛媛県	5	1.25	360	90.00	9	2.25		
高知県	9	1.80	752	150.40	2	0.40		
福岡県	3	0.33	1525	169.44	4	0.44		
佐賀県	2	0.67	342	114.00	1	0.33		
熊本県	-	-	1057	264.25	49	12.25		
大分県	44	8.80	918	183.60	23	4.60		
宮崎県	6	1.50	115	28.75	5	1.25		
鹿児島県	2	0.50	507	126.75	1	0.25		
沖縄県	2	0.40	296	59.20	16	3.20		
指定都市 (再掲)	6	1.50	3253	542.17	57	9.50		
札幌市	7	0.78	318	35.33	6	0.67		
仙台市	32	10.67	49	16.33	2	0.67		
宇都宮市	40	8.00	2	2.00	1	1.00		
新潟市	-	-	84	16.80	-	-		
川崎市	118	19.67	152	25.33	2	0.67		
名古屋市	-	-	98	32.67	6	1.00		
京都市	12	1.08	313	26.45	4	1.33		
大阪市	6	0.67	251	27.89	12	1.09		
神戸市	-	-	41	13.67	3	0.33		
広島市	-	-	134	67.00	2	0.67		
北九州市	-	-	747	249.00	1	0.50		
福岡市	-	-	-	-	2	0.67		

4. 平成8年 都道府県別・疾病別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture, disease and sex, 1996. (Total)

MCLS 累積報告数	(川崎病) 定点当り	ウイルス肝炎		A型肝炎		B型肝炎		その他の肝炎		感染性髄膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
		累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り
総数	3,43	2321	4.51	358	0.70	558	1.08	1405	2.73	1824	3.54	267	0.52	1557	3.02
北海道	50	144	8.47	7	0.41	59	3.47	78	4.59	7	0.41	1	0.06	6	0.35
青森県	11	3	0.73	2	0.13	-	-	1	0.07	57	3.80	13	0.87	44	2.93
岩手県	16	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	6	1.20	3	0.60	3	0.60
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	7	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	45	2.50	-	0.50	36	2.00
宮城県	36	7	0.39	1	0.06	3	0.17	3	0.17	1	0.20	9	-	1	0.20
岩手県	2	32	6.40	2	0.40	15	3.00	15	3.00	1	0.14	-	-	1	0.14
青森県	13	82	11.71	1	0.20	17	2.43	65	9.29	7	1.40	-	-	7	1.40
岩手県	24	1	0.20	1	0.20	8	1.60	15	3.00	68	13.60	17	3.40	51	10.20
宮城県	58	24	4.80	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	43	194	24.25	9	1.13	43	5.38	142	17.75	57	7.13	21	2.63	36	4.50
青森県	71	19	8.88	8	1.06	9	1.13	2	0.25	54	6.75	9	1.12	45	5.63
岩手県	131	127	7.28	37	2.06	26	1.44	64	3.56	81	4.50	22	1.22	59	3.28
青森県	125	96	6.94	22	1.22	21	1.17	53	2.94	60	3.33	18	1.00	42	2.33
岩手県	29	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	6	1.00	2	0.33	4	0.67
宮城県	14	19	4.83	6	1.20	13	2.60	13	2.60	8	1.60	1	0.20	7	1.40
岩手県	15	9	3.00	6	3.80	3	0.50	14	2.80	8	1.60	3	0.60	5	1.00
青森県	19	43	8.60	4	0.50	10	0.50	8	1.00	49	9.80	3	0.60	46	9.20
岩手県	25	16	3.13	4	2.00	4	0.50	8	1.00	22	2.75	5	0.63	17	2.13
宮城県	29	18	5.80	5	1.00	7	1.40	6	1.20	8	1.60	5	1.00	3	0.60
岩手県	14	7	2.80	2	0.40	1	0.20	4	0.80	8	1.60	3	0.15	8	1.60
青森県	70	54	11.77	21	1.05	7	0.35	26	1.30	52	2.60	3	0.15	49	2.45
岩手県	15	153	4.10	12	0.92	4	0.31	137	10.54	8	0.62	1	0.08	7	0.54
宮城県	41	34	3.40	19	1.90	11	1.10	11	1.10	16	1.60	1	0.10	15	1.50
青森県	8	23	4.60	1	0.20	8	1.60	14	2.80	45	9.00	-	-	45	9.00
岩手県	33	24	2.18	8	0.73	15	1.36	15	1.36	51	4.64	7	0.64	44	4.00
宮城県	66	473	7.51	22	0.35	140	2.22	311	4.94	138	2.19	19	0.30	119	1.89
岩手県	81	161	3.50	65	1.41	28	0.61	68	1.48	187	4.07	26	0.57	161	3.50
青森県	32	12	2.00	-	-	-	-	12	2.00	70	11.67	3	0.50	67	11.17
岩手県	30	5	1.00	-	-	-	-	5	1.00	34	6.80	4	0.80	30	6.00
青森県	42	88	8.80	22	2.20	17	1.70	49	4.90	31	3.10	4	0.40	27	2.70
岩手県	9	129	21.50	4	0.67	34	5.67	91	15.17	13	2.17	3	0.60	13	2.17
宮城県	34	6	1.20	1	0.20	5	1.00	5	1.00	24	4.80	3	0.60	21	4.20
青森県	86	81	3.86	12	0.57	33	1.57	35	1.71	155	7.38	11	0.80	144	6.86
岩手県	28	9	1.80	5	1.00	1	0.20	3	0.60	21	4.20	2	0.40	17	3.40
宮城県	13	3	0.60	3	0.60	1	0.20	35	7.00	43	7.00	2	0.40	33	6.60
岩手県	26	3	0.50	1	0.17	1	0.17	1	0.17	43	7.17	5	0.33	38	6.33
青森県	17	3	0.60	6	0.50	3	0.25	2	0.40	12	2.40	2	0.17	12	2.40
岩手県	34	24	2.00	2	0.10	8	0.38	15	1.25	12	1.00	-	-	10	0.83
宮城県	183	29	1.38	2	0.10	-	-	19	0.90	-	-	-	-	-	-
青森県	15	9	1.00	5	0.33	-	-	4	0.27	24	1.60	4	0.27	20	1.33
岩手県	30	6	0.86	1	0.14	-	-	5	0.71	20	2.86	5	0.71	15	2.14
宮城県	77	40	5.92	4	0.31	7	0.54	29	2.23	163	12.54	15	1.15	148	11.38
青森県	16	35	3.89	3	0.33	21	1.22	11	1.22	34	3.78	2	0.22	32	3.56
岩手県	7	30	7.30	1	0.25	5	1.25	24	6.00	2	0.50	1	0.25	1	0.25
宮城県	17	13	2.60	1	0.25	1	0.20	12	2.40	20	4.00	5	1.00	15	3.00
青森県	16	30	4.29	5	0.71	8	1.14	17	2.43	61	8.71	8	1.14	53	7.57
指定都市(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	-	2	2.00	1	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
仙台市	-	43	7.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横滨市	61	12.20	8.40	18	3.60	8	1.60	16	3.20	24	4.80	6	1.20	18	3.60
名古屋市	13	1.86	0.57	4	0.57	-	-	5	0.71	5	0.71	8	1.60	5	0.71
京都市	30	5.00	1.33	1	0.17	-	-	7	1.17	25	4.17	7	1.17	18	3.00
神戸市	-	-	0.89	8	0.29	8	0.29	9	0.32	61	2.18	8	0.29	53	1.89
広島市	26	1.86	2.21	11	0.79	8	0.57	12	0.86	45	3.21	8	0.57	37	2.64
北九州市	72	10.29	6.57	5	0.71	21	3.00	20	2.86	130	18.57	4	0.57	126	18.00
福岡市	16	5.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	83	13.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

総数	脳・髄膜炎		肺炎		腸症		ライ症候群		髄膜炎	
	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り
北海道	1	0.06	121	0.23	42	0.08	7	0.01	12	0.02
青森県	4	0.27	4	0.06	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	0.27	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
山形県	9	0.50	4	0.22	3	0.17	1	0.06	1	0.06
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	3	0.60	1	0.20	1	0.20	-	-	1	0.20
栃木県	5	1.00	4	0.80	1	0.20	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	7	0.88	6	0.75	1	0.13	-	-	-	-
千葉県	20	1.11	11	0.61	7	0.39	2	0.11	-	-
東京都	16	0.89	10	0.56	3	0.17	1	0.06	2	0.11
神奈川県	7	1.17	6	1.00	1	0.17	-	-	-	-
新潟県	3	0.60	3	0.60	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	3	0.60	1	0.20	1	0.20	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.10	-	0.10	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	2	0.15	-	-	-	-	-	-
三重県	6	0.60	2	0.20	2	0.20	-	-	2	0.20
滋賀県	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
京都府	5	0.45	3	0.27	1	0.09	-	-	1	0.09
大阪府	7	0.11	5	0.08	1	0.02	-	-	1	0.02
兵庫県	15	0.33	12	0.25	2	0.04	-	-	1	0.02
奈良県	3	0.83	1	0.17	3	0.50	1	0.17	-	-
和歌山県	2	0.40	-	0.17	1	0.20	1	0.20	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	3	0.60	-	-	1	0.20	-	-	1	0.20
岡山県	7	1.40	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	7	1.40	4	0.33	1	0.20	1	0.20	-	-
山口県	2	0.40	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-
徳島県	6	1.00	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-
香川県	1	0.20	5	0.83	1	0.17	-	-	-	-
高知県	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	6	0.86	2	0.29	4	0.57	-	-	-	-
熊本県	12	0.92	9	0.66	3	0.23	-	-	-	-
鹿児島県	5	0.56	5	0.56	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
沖縄県	6	0.86	4	0.57	1	0.14	-	-	1	0.14
指定都市(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-
仙台市	5	0.83	4	0.67	1	0.17	-	-	-	-
宇都宮市	5	1.00	2	0.40	2	0.40	1	0.20	-	-
新潟市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎市	3	0.50	2	0.33	-	-	-	-	1	0.17
名古屋市	5	0.50	4	0.14	-	-	-	-	-	-
京都市	7	0.50	6	0.43	1	0.04	-	-	1	0.07
大阪市	6	0.86	6	0.86	-	-	-	-	-	-
神戸市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北九州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

総 数	淋病・梅毒		陰クラミジア		陰部ヘルペス		コンジローム		トリコモナス		B型肝炎		その他の肝炎		再掲・輸血後	
	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り
北海道	720	31.30	1487	64.65	293	12.74	63	2.74	160	6.96	1	0.00	-	-	-	-
青森県	34	3.78	42	4.67	51	5.67	11	1.22	4	0.44	-	-	-	-	-	-
岩手県	301	30.10	315	31.50	97	9.70	158	15.80	40	4.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	43	3.31	86	6.62	11	0.85	6	0.46	14	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	24	3.00	6	0.75	4	0.50	19	2.38	-	-	-	-	-	-
山形県	53	5.89	299	33.22	15	1.67	12	1.33	65	7.22	-	-	-	-	-	-
福島県	81	7.36	122	11.09	8	0.73	13	1.18	23	2.09	-	-	-	-	-	-
茨城県	137	7.61	667	37.06	127	7.06	38	2.11	120	6.67	-	-	-	-	-	-
栃木県	117	10.64	275	25.00	29	2.64	32	2.91	56	5.09	-	-	-	-	-	-
群馬県	297	21.21	689	49.21	98	7.00	17	1.21	27	1.93	-	-	-	-	-	-
埼玉県	109	4.74	909	39.52	76	3.30	30	1.30	147	6.39	-	-	-	-	-	-
千葉県	91	6.07	250	16.67	66	6.40	25	1.67	72	4.80	-	-	-	-	-	-
東京都	1330	33.25	1597	39.82	1227	30.67	473	11.82	339	8.47	-	-	-	-	-	-
神奈川県	325	9.03	791	21.97	134	3.72	45	1.25	147	4.08	-	-	-	-	-	-
新潟県	175	10.29	214	16.12	121	7.12	53	3.12	60	3.53	-	-	-	-	-	-
石川県	54	7.71	375	53.57	54	7.71	37	5.23	143	20.43	-	-	-	-	-	-
富山県	25	2.50	120	12.00	75	7.50	37	3.70	44	4.40	-	-	-	-	-	-
福井県	61	15.25	111	27.75	18	4.50	3	0.75	33	8.25	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.25	6	1.50	14	3.50	4	1.00	32	8.00	-	-	-	-	-	-
長野県	42	3.50	230	19.17	122	10.17	42	3.50	53	4.42	-	-	-	-	-	-
岐阜県	115	8.21	87	6.21	120	8.57	44	3.14	14	1.00	-	-	-	-	-	-
静岡県	6	2.00	47	15.67	8	2.67	1	0.33	19	6.33	-	-	-	-	-	-
愛知県	847	26.47	1189	37.16	309	9.66	123	3.84	156	4.88	-	-	-	-	-	-
三重県	83	6.38	96	7.38	57	4.38	14	1.08	34	2.62	-	-	-	-	-	-
滋賀県	91	13.00	108	15.43	18	2.57	14	2.00	22	3.14	-	-	-	-	-	-
京都府	33	1.83	166	9.22	109	6.06	19	1.06	182	10.11	-	-	-	-	-	-
大阪府	899	19.98	1330	29.56	1391	30.91	281	6.24	156	3.47	-	-	-	-	-	-
兵庫県	198	6.83	356	12.28	255	8.79	69	2.38	61	2.10	-	-	-	-	-	-
奈良県	4	1.00	13	3.25	7	1.75	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
和歌山県	70	7.78	56	6.22	94	10.44	22	2.44	15	1.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	22	7.33	7	2.33	5	1.67	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
香川県	77	7.70	51	12.75	7	1.75	10	2.50	4	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	139	7.32	333	17.53	22	2.20	7	0.70	4	0.40	-	-	-	-	-	-
広島県	57	7.13	94	11.75	143	7.53	43	2.26	147	7.74	-	-	-	-	-	-
山口県	31	7.75	86	21.50	68	8.50	23	2.88	9	1.13	-	-	-	-	-	-
徳島県	36	5.14	109	15.57	21	3.00	5	1.25	15	2.14	-	-	-	-	-	-
愛媛県	21	2.63	29	3.63	20	2.50	10	1.63	15	2.14	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.20	35	7.60	17	3.40	13	1.63	20	4.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	553	36.87	907	60.47	337	22.47	108	7.20	100	6.67	-	-	-	-	-	-
佐賀県	130	21.67	152	25.33	12	2.00	8	1.33	29	4.83	-	-	-	-	-	-
長崎県	30	4.29	108	15.43	112	16.00	18	2.57	113	16.14	-	-	-	-	-	-
熊本県	123	24.60	75	15.00	69	4.60	14	0.93	10	0.67	-	-	-	-	-	-
大分県	33	8.25	61	15.25	71	14.20	25	5.00	39	7.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	120	10.00	181	15.08	85	7.08	30	3.75	14	3.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	26	6.50	17	4.25	1	0.25	4	1.00	7	0.58	-	-	-	-	-	-
指定都市(再掲)																
札幌市	600	75.00	834	104.25	224	28.00	48	6.00	72	9.00	-	-	-	-	-	-
仙台市	18	4.50	51	12.75	16	8.00	1	0.25	1	0.50	-	-	-	-	-	-
宇都宮市	7	3.50	21	10.50	59	3.28	14	0.78	7	0.39	-	-	-	-	-	-
千葉市	127	7.06	79	4.39	46	6.57	18	2.57	51	7.29	-	-	-	-	-	-
川崎市	39	5.57	443	63.29	134	10.31	28	2.15	10	0.77	-	-	-	-	-	-
名古屋市	559	43.00	540	41.54	75	6.25	10	0.83	82	6.83	-	-	-	-	-	-
京都市	19	1.58	74	6.17	198	70.47	217	12.76	116	6.82	-	-	-	-	-	-
大阪市	676	39.76	1038	61.06	139	15.44	22	2.44	15	1.67	-	-	-	-	-	-
神戸市	55	6.11	120	13.33	83	9.22	27	3.00	20	2.22	-	-	-	-	-	-
広島市	116	12.89	165	18.33	88	22.00	20	5.00	8	2.00	-	-	-	-	-	-
北九州市	55	13.75	44	11.00	199	39.80	77	15.40	47	9.40	-	-	-	-	-	-
福岡市	401	80.20	741	148.20	199	22.00	77	15.40	47	9.40	-	-	-	-	-	-

4. 平成8年 都道府県別・疾病別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(男)

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture, disease and sex, 1996. (Male)

MCLS 県報告数	(川崎府)		A型肝炎		B型肝炎		その他の肝炎		感染性髄膜炎		細菌性髄膜炎				
	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数	一定点当り	報告数			
総 数	-	1231	2.39	174	0.34	315	0.61	742	1.44	1177	2.29	163	0.32	1014	1.97
北海道	-	81	4.76	6	0.35	36	2.12	39	2.29	6	0.35	1	0.06	5	0.29
青森県	-	2	0.13	1	0.07	-	-	1	0.07	39	2.60	10	0.67	29	1.93
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	2	0.40	1	0.20
宮城県	-	1	0.20	1	0.20	1	0.06	2	0.11	28	1.56	6	0.33	22	1.22
山形県	-	4	0.22	1	0.06	9	1.80	4	0.80	1	0.20	-	-	1	0.20
福島県	-	13	2.60	-	-	8	1.14	30	4.29	1	0.14	-	-	1	0.14
茨城県	-	38	5.43	-	-	-	-	3	0.60	3	0.60	-	-	3	0.60
栃木県	-	12	2.40	1	0.20	3	0.60	8	1.60	44	8.80	10	2.00	34	6.80
埼玉県	-	107	13.38	4	0.50	27	3.38	76	9.50	41	5.13	17	2.13	24	3.00
千葉県	-	10	1.25	4	0.50	5	0.63	1	0.13	28	3.50	6	0.75	22	2.75
東京都	-	73	4.06	19	1.06	19	1.06	35	1.94	55	3.06	15	0.83	40	2.22
神奈川県	-	36	2.00	9	0.50	5	0.28	22	1.22	37	2.06	11	0.61	26	1.44
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33	-	-	2	0.33
富山県	-	11	2.20	4	0.80	2	0.40	7	1.40	5	1.00	1	0.20	5	1.00
石川県	-	4	0.80	2	0.40	2	0.40	9	1.60	6	1.00	2	0.40	3	0.60
福井県	-	23	4.50	9	1.80	6	1.20	3	0.60	30	6.00	1	0.20	29	5.80
山梨県	-	16	0.75	2	0.25	1	0.13	3	0.38	18	2.25	5	0.63	13	1.63
長野県	-	13	2.60	1	0.20	6	1.20	6	1.20	8	1.60	5	1.00	3	0.60
岐阜県	-	4	0.80	1	0.20	1	0.20	2	0.40	5	1.00	-	-	5	1.00
静岡県	-	30	1.50	9	0.45	4	0.20	17	0.85	35	1.75	2	0.10	33	1.65
愛知県	-	90	6.92	7	0.54	2	0.15	81	6.23	2	0.15	1	0.08	1	0.08
三重県	-	21	2.10	9	0.90	4	0.40	8	0.80	13	1.30	1	0.10	12	1.20
滋賀県	-	9	1.80	3	0.60	3	0.60	6	1.20	35	7.00	-	-	35	7.00
京都府	-	10	0.91	4	0.36	-	-	6	0.55	33	3.00	4	0.36	29	2.64
大阪府	-	265	4.21	15	0.24	81	1.29	189	2.68	96	1.52	11	0.17	85	1.35
兵庫県	-	85	1.85	32	0.70	19	0.41	7	1.17	49	0.17	2	0.33	47	1.76
奈良県	-	7	1.17	-	-	-	-	1	0.20	24	4.80	3	0.60	21	4.20
和歌山県	-	1	0.20	-	-	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-	2	0.40
鳥取県	-	42	4.20	7	0.70	11	1.10	24	2.40	21	2.10	2	0.20	19	1.90
徳島県	-	66	11.00	2	0.33	18	3.00	46	7.67	7	1.17	2	0.30	7	1.17
香川県	-	4	0.80	4	0.80	4	0.80	4	0.80	22	4.40	3	0.60	19	3.80
岡山県	-	38	1.81	6	0.29	16	0.76	16	0.76	98	4.67	4	0.19	94	4.48
広島県	-	6	1.20	4	0.80	1	0.20	1	0.20	16	3.20	3	0.60	13	2.60
山口県	-	3	0.60	3	0.60	-	-	25	5.00	2	0.40	2	0.40	23	4.60
徳島県	-	2	0.33	1	0.17	1	0.17	1	0.17	6	1.20	4	0.67	24	4.80
高知県	-	1	0.20	1	0.20	1	0.20	7	0.58	9	0.75	2	0.17	7	0.58
福岡県	-	15	0.71	1	0.08	2	0.10	12	0.57	9	0.75	-	-	7	0.58
佐賀県	-	6	0.40	3	0.20	-	-	3	0.20	18	1.20	3	0.20	15	1.00
長崎県	-	4	0.57	1	0.14	-	-	3	0.43	11	1.57	1	0.14	10	1.43
熊本県	-	18	1.38	1	0.08	2	0.15	15	1.15	109	8.38	9	0.69	100	7.69
大分県	-	22	2.44	2	0.22	13	1.44	7	0.78	19	2.11	-	-	19	2.11
宮崎県	-	17	4.25	1	0.25	4	1.00	12	3.00	14	2.80	2	0.40	12	2.40
鹿児島県	-	9	1.80	1	0.20	3	0.43	8	1.60	37	5.29	3	0.43	34	4.86
沖縄県	-	13	1.86	-	-	-	-	10	1.43	-	-	-	-	-	-
指定都市(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	-	2	2.00	1	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
仙台市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇都宮市	-	17	3.40	8	1.60	2	0.40	7	1.40	13	2.17	2	0.33	11	1.83
川崎市	-	3	0.83	3	0.43	-	-	4	0.67	19	3.60	6	1.20	12	2.40
名古屋市	-	5	0.83	1	0.17	-	-	4	0.67	19	3.17	4	0.67	15	2.50
京都市	-	16	0.57	6	0.21	5	0.18	2	0.14	41	1.46	5	0.18	36	1.29
大阪市	-	14	1.00	5	0.36	7	0.50	5	0.14	41	1.46	5	0.18	36	1.29
神戸市	-	23	3.29	3	0.43	11	1.57	9	1.29	84	12.00	1	0.14	83	11.86
北九州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

総数	脳・脊髄炎		肺炎		腸症		ライ症候群		髄膜炎	
	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り
108	0.21	75	0.15	21	0.04	4	0.01	8	0.02	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.07	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.28	3	0.17	1	0.06	-	-	1	0.06	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.60	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.38	2	0.25	1	0.13	-	-	-	-	-
14	0.78	8	0.44	4	0.22	2	0.11	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	0.50	6	0.33	3	0.17	-	-	-	-	-
5	0.83	5	0.83	-	-	-	-	-	-	-
2	0.40	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.60	1	0.20	1	0.20	-	-	1	0.20	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.10	2	0.10	-	-	-	-	-	-	-
1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	-	-	-
5	0.20	2	0.20	2	0.20	-	-	1	0.10	-
1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-
4	0.36	2	0.18	1	0.09	-	-	1	0.09	-
6	0.10	5	0.08	-	-	-	-	1	0.02	-
11	0.24	10	0.22	-	-	-	-	1	0.02	-
1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1.00	3	0.40	3	0.60	1	0.20	1	0.20	-
2	0.40	2	0.20	-	-	-	-	-	-	-
2	0.33	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-
1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-
1	0.06	1	0.06	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	1	0.14	1	0.14	-	-	-	-	-
6	0.46	5	0.38	1	0.08	-	-	-	-	-
2	0.22	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-
1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-
3	0.43	2	0.29	1	0.14	-	-	-	-	-
1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-
1	0.67	3	0.50	1	0.17	-	-	-	-	-
3	0.60	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-	-
2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-
4	0.14	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-
7	0.50	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定都市 (再掲)										
札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-
仙台市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.67	3	0.50	1	0.17	-	-	-	-	-
3	0.60	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-	-
横濱市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.25	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-
川崎市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.33	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-
4	0.14	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-
7	0.50	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名古屋市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.14	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-
7	0.50	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神戸市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	0.50	6	0.43	-	-	-	-	-	-	-
2	0.29	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

総 数	淋病・梅毒		陰クラミジア		陰部ヘルペス		コンジローラム		トリコモナス		B型肝炎		その他の肝炎		再掲・輸血症		
	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	県報告数	定点当り	
北海道	6988	11.57	7984	13.22	3131	5.18	1379	2.28	207	0.34	1	0.00	1	0.00			
青森県	691	30.04	1198	52.09	245	10.70	55	2.39	25	1.09							
岩手県	33	3.57	20	2.22	36	4.00	10	1.11	3	0.33							
宮城県	297	29.70	174	17.40	52	5.20	101	10.10	1	0.10							
秋田県	40	3.08	73	5.82	7	0.54	2	0.15									
山形県	48	5.33	125	13.89	1	0.11	6	0.67	2	0.22							
福島県	78	7.09	54	4.91	3	0.27	7	0.64									
茨城県	130	7.22	292	16.22	85	4.72	25	1.39	14	0.78							
栃木県	108	9.82	94	8.55	9	0.82	26	2.36									
群馬県	270	19.29	580	41.43	80	5.71	17	1.21									
埼玉県	106	4.61	176	7.65	27	1.17	13	0.57	8	0.35			1	0.04			
千葉県	84	5.60	107	7.13	53	3.53	19	1.27	8	0.53							
東京都	970	24.25	986	24.65	493	10.07	283	7.32	12	0.30							
神奈川県	316	8.78	203	5.64	65	1.81	27	0.75	3	0.08							
新潟県	153	9.00	144	8.47	34	2.00	24	1.41	5	0.29							
富山県	37	5.29	126	18.00	13	1.86	12	1.71	1	0.14							
石川県	25	2.50	57	6.70	33	3.30	29	2.90	2	0.20							
福井県	60	15.00	37	9.25	8	2.00	4	1.00									
山梨県	1	0.25			10	2.50	29	2.42									
長野県	41	3.42	39	3.25	36	3.00											
岐阜県	111	7.93	76	5.43	63	4.50	39	2.79	2	0.14							
静岡県	15	1.67	17	5.87			1	0.33									
愛知県	917	25.53	811	25.34	221	6.91	96	3.00	14	0.44							
三重県	75	5.77	58	4.46	17	1.31	11	0.85	1	0.08							
滋賀県	91	13.00	74	10.57	17	2.43	14	2.00	1	0.14							
京都府	27	1.50	44	2.44	34	1.89	5	0.28	15	0.83							
大阪府	652	14.49	866	19.24	736	16.36	192	4.27	17	0.38							
兵庫県	193	6.66	145	5.00	104	3.59	60	2.07	6	0.21							
奈良県	4	1.00	11	2.75	4	1.00	4	1.00									
和歌山県	69	7.67	55	6.11	65	7.22	19	2.11	5	0.56							
徳島県	21	7.00	6	2.00	3	1.00			2	0.67							
香川県	25	6.25	43	10.75	7	1.75	9	2.25	2	0.50							
岡山県	135	7.30	85	6.50	16	1.60	6	0.60	1	0.10							
広島県	15	7.11	127	6.89	51	2.68	34	1.79	10	0.53							
山口県	51	6.38	38	4.75	53	6.63	13	1.63	4	0.50							
徳島県	15	3.75	82	20.50	64	16.00	4	1.00									
香川県	32	4.57	21	3.00	13	1.86	6	0.86	2	0.29							
愛媛県	20	2.50	28	3.50	17	2.13	12	1.50									
高知県	1	0.20	1	0.20													
福岡県	473	31.53	468	31.20	202	13.47	74	4.93									
佐賀県	120	20.00	130	21.67	9	1.50	8	1.33	5	0.83							
熊本県	30	4.29	6	0.66	40	5.71	3	0.43									
大分県	173	11.53	41	2.73	45	3.00	12	0.80									
宮崎県	123	24.60	73	14.60	63	12.60	23	4.60	33	6.60							
鹿児島県	27	6.75	27	6.75	21	5.25	10	2.50	1	0.25							
沖縄県	111	9.25	141	11.75	64	5.33	25	2.08									
沖縄県	26	6.50	15	3.75	1	0.25	4	1.00									
指定都市(再掲)																	
札幌市	578	72.25	786	98.25	199	24.86	43	5.38	24	3.00							
仙台市	18	4.50	51	12.75	12	6.00	1	0.25									
宇都宮市	7	3.50	17	8.50	45	2.50	9	0.50	3	0.17							
新潟市	122	6.78	67	3.72	12	1.71	11	1.57									
川崎市	38	5.43	30	4.29	104	8.00	23	1.77	2	0.15							
横浜市	546	42.00	487	37.46	33	2.75	4	0.33	3	0.25							
名古屋市	15	1.25	30	2.50	573	35.71	132	7.76	5	0.29							
京都市	435	25.59	584	34.35	30	3.71	19	2.11	1	0.11							
神戸市	53	5.89	40	4.44	30	3.33	24	2.67	4	0.44							
大阪市	112	12.44	91	10.11	40	4.44	16	4.00	8	0.89							
広島市	52	13.00	43	10.75	64	16.00	16	4.00									
北九州市	52	13.00	43	10.75	64	16.00	16	4.00									
福岡市	328	65.60	361	72.20	102	20.40	52	10.40									

4. 平成8年 都道府県別・疾病別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(女)

Reported cases from clinics and hospitals, by prefecture, disease and sex, 1996. (Female)

MCLS 累積報告数	(川崎病)		ウイルス肝炎		A型肝炎		巨型肝炎		その他の肝炎		感染性髄膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数	一定点当り	累積報告数
総数	-	1090	2.12	184	0.36	243	0.47	663	1.29	602	1.17	96	0.19	506	0.96	-
北海道	-	63	3.71	1	0.05	23	1.35	39	2.29	1	0.06	-	-	1	0.06	-
青森県	-	1	0.07	-	0.07	-	-	-	-	18	1.20	3	0.20	15	1.00	-
岩手県	-	1	0.20	-	0.20	-	-	-	-	3	0.80	1	0.20	2	0.40	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	3	0.17	-	-	2	0.11	1	0.06	17	0.94	3	0.17	14	0.78	-
福島県	-	19	3.80	2	0.40	6	1.20	11	2.06	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	44	6.29	9	1.29	9	1.29	35	5.00	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	0.20	1	0.20	5	1.00	7	1.40	4	0.80	4	0.80	4	0.80	-
群馬県	-	12	2.40	-	-	5	1.00	7	1.40	24	4.80	7	1.40	17	3.40	-
埼玉県	-	87	10.88	5	0.63	16	2.00	66	8.25	16	2.00	4	0.50	12	1.50	-
千葉県	-	9	1.13	4	0.50	4	0.50	1	0.13	26	3.25	3	0.38	23	2.88	-
東京都	-	54	3.00	18	1.00	7	0.39	29	1.61	26	1.44	7	0.39	19	1.06	-
神奈川県	-	60	3.33	13	0.72	16	0.89	31	1.72	23	1.28	7	0.39	16	0.89	-
新潟県	-	1	0.17	1	0.17	-	-	6	1.20	4	0.67	2	0.33	2	0.33	-
富山県	-	8	1.60	2	0.40	-	-	-	-	2	0.40	2	0.40	2	0.40	-
石川県	-	5	1.00	4	0.80	1	0.20	6	1.20	3	0.60	1	0.20	2	0.40	-
福井県	-	20	4.00	10	2.00	4	0.80	6	1.20	19	3.80	2	0.40	17	3.40	-
山梨県	-	10	1.25	2	0.25	3	0.38	5	0.63	4	0.50	4	0.50	4	0.50	-
長野県	-	5	1.00	4	0.80	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	3	0.60	1	0.20	-	-	2	0.40	3	0.60	-	-	3	0.60	-
静岡県	-	24	1.20	12	0.60	3	0.15	9	0.45	17	0.85	1	0.05	16	0.80	-
愛知県	-	63	4.95	5	0.38	2	0.15	56	4.31	6	0.46	-	-	6	0.46	-
三重県	-	13	1.30	10	1.00	5	1.00	3	0.30	3	0.30	-	-	3	0.30	-
滋賀県	-	14	2.80	1	0.20	5	1.00	8	1.60	10	2.00	-	-	10	2.00	-
京都府	-	14	1.27	4	0.36	1	0.09	9	0.82	18	1.64	3	0.27	15	1.36	-
大阪府	-	208	3.50	7	0.11	59	0.94	142	2.25	42	0.97	8	0.13	34	0.54	-
兵庫県	-	76	1.65	33	0.72	9	0.20	34	0.74	52	1.13	9	0.20	43	0.93	-
奈良県	-	5	0.83	-	-	-	-	5	0.83	21	3.50	1	0.17	20	3.33	-
和歌山県	-	4	0.80	-	-	-	-	4	0.80	10	2.00	1	0.20	9	1.80	-
鳥取県	-	46	4.60	15	1.50	6	0.60	25	2.50	10	1.00	2	0.20	8	0.80	-
島根県	-	63	10.50	2	0.33	16	2.67	45	7.50	6	1.00	-	-	6	1.00	-
岡山県	-	2	0.40	2	0.20	2	0.20	1	0.20	2	0.40	-	-	2	0.40	-
広島県	-	43	2.05	6	0.29	17	0.81	20	0.95	57	2.71	7	0.33	50	2.38	-
山口県	-	3	0.60	1	0.20	-	-	2	0.40	5	1.00	1	0.20	4	0.80	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	2.00	-	-	10	2.00	-
香川県	-	1	0.17	-	-	1	0.17	2	0.40	15	2.50	1	0.17	14	2.33	-
愛媛県	-	2	0.40	-	-	2	0.40	2	0.40	6	1.20	-	-	6	1.20	-
高知県	-	15	1.25	5	0.42	2	0.17	8	0.67	3	0.25	-	-	3	0.25	-
福岡県	-	14	0.67	1	0.05	6	0.29	7	0.33	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	3	0.20	2	0.13	-	-	1	0.07	5	0.40	1	0.07	5	0.33	-
熊本県	-	2	0.29	-	-	-	-	2	0.29	9	1.29	4	0.57	5	0.71	-
鹿児島県	-	22	1.69	3	0.23	5	0.38	14	1.06	54	4.15	6	0.46	48	3.69	-
宮崎県	-	13	1.44	1	0.11	8	0.89	4	0.44	15	1.67	2	0.22	13	1.44	-
大分県	-	13	3.25	1	0.25	1	0.25	12	3.00	2	0.50	-	-	1	0.25	-
鹿児島県	-	4	0.80	-	-	4	0.80	4	0.80	6	1.20	3	0.60	3	0.60	-
沖縄県	-	17	2.43	5	0.71	5	0.71	7	1.00	24	3.43	5	0.71	19	2.71	-
指定都市(再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇都宮市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎市	-	25	5.00	10	2.00	6	1.20	9	1.80	11	1.83	4	0.67	7	1.17	-
名古屋市	-	1	0.14	1	0.14	1	0.14	1	0.14	4	0.57	2	0.40	4	1.40	-
京都市	-	3	0.50	1	0.17	3	0.50	3	0.50	6	1.00	3	0.50	3	0.50	-
大阪市	-	17	1.21	2	0.07	3	0.11	4	0.14	20	0.71	3	0.11	17	0.61	-
神戸市	-	9	0.43	6	0.43	1	0.07	10	0.71	-	-	-	-	-	-	-
広島市	-	23	3.29	2	0.29	10	1.43	11	1.57	46	6.57	3	0.43	43	6.14	-
北九州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

種 別	脳・脊髄炎		髄 炎		肺炎		腸 症		ライ症候群		脊髄炎	
	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り
総 数	74	0.14	46	0.09	21	0.04	3	0.01	4	0.01		
北海道	1	0.06	1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	0.20	3	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	4	0.22	1	0.06	2	0.11	1	0.06	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.40	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.40	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	4	0.50	4	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	6	0.33	3	0.17	3	0.17	-	-	-	-	-	-
神奈川県	7	0.38	4	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	2	0.33	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	0.10	1	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.09	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.02	1	0.02	1	0.02	-	-	-	-	-	-
兵庫県	4	0.09	2	0.04	2	0.04	-	-	-	-	-	-
奈良県	4	0.67	1	0.17	3	0.50	-	-	-	-	-	-
和歌山県	2	0.40	1	0.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
広島県	4	0.19	4	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	2	0.40	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	4	0.67	4	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	4	0.57	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	-	-
熊本県	6	0.46	4	0.31	2	0.15	-	-	-	-	-	-
大分県	3	0.33	3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.43	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定都市 (再掲)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙台市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇都宮市	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟市	2	0.40	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎市	1	0.17	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-
名古屋市	1	0.17	1	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市	1	0.04	1	0.04	1	0.04	-	-	-	-	-	-
大阪市	4	0.57	4	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-
神戸市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北九州市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

総数	淋病様疾患		陰クラミジア		陰部ヘルペス		コンジローーム		トリコモナス		B型肝炎		その他の肝炎		再掲:輸血後	
	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り	累積報告数	定点当り
961	1.59	10.84	3046	5.04	681	1.13	2565	4.25	-	-	-	-	-	-	-	0.00
29	1.26	12.57	47	2.04	8	0.35	135	5.87	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.11	2.44	15	1.57	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.40	14.10	45	4.50	57	5.70	39	3.90	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.23	1.00	4	0.75	4	0.31	14	1.08	-	-	-	-	-	-	-	-
5	0.56	3.00	6	0.75	4	0.57	19	2.38	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.27	19.33	14	1.56	6	0.67	63	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-
7	0.39	6.18	5	0.45	6	0.55	21	1.91	-	-	-	-	-	-	-	-
9	0.82	20.83	42	2.33	13	0.72	106	5.89	-	-	-	-	-	-	-	-
27	1.93	16.45	20	1.82	6	0.55	56	5.09	-	-	-	-	-	-	-	-
		7.79	18	1.29	-	-	27	1.93	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.17	31.87	49	2.13	17	0.74	139	6.04	-	-	-	-	-	-	-	-
7	0.43	9.53	43	2.87	6	0.40	64	4.27	-	-	-	-	-	-	-	-
360	9.00	15.27	824	20.60	180	4.50	327	8.17	-	-	-	-	-	-	-	-
9	0.25	16.33	69	1.92	18	0.50	144	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
22	1.29	7.65	87	5.12	29	1.71	55	3.24	-	-	-	-	-	-	-	-
17	2.43	35.57	41	5.86	58	8.29	142	20.29	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.25	5.30	42	4.20	8	0.80	42	4.20	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.25	18.50	10	2.50	3	0.75	33	8.25	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.08	1.50	4	1.00	-	-	32	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-
		15.92	86	7.17	13	1.08	53	4.42	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.29	0.79	57	4.07	5	0.36	12	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.33	10.00	8	2.67	-	-	19	6.33	-	-	-	-	-	-	-	-
30	0.94	11.81	88	2.75	27	0.84	142	4.44	-	-	-	-	-	-	-	-
8	0.62	2.92	40	3.08	3	0.23	33	2.54	-	-	-	-	-	-	-	-
5	0.33	4.86	1	0.14	14	0.78	21	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-
247	5.49	6.78	75	14.56	89	1.98	167	9.28	-	-	-	-	-	-	-	-
5	0.17	10.31	655	14.56	9	0.31	139	3.09	-	-	-	-	-	-	-	0.03
1	0.11	0.50	3	0.75	9	0.33	55	1.90	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.11	29	3.22	3	0.33	10	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.33	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.50	2.00	6	0.60	1	0.25	2	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.21	0.90	92	4.84	9	0.47	3	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-
6	0.75	7.00	15	1.88	10	1.25	137	7.21	-	-	-	-	-	-	-	-
16	4.00	1.00	3	0.75	1	0.25	5	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-
4	4.00	12.57	8	1.14	4	0.57	13	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.13	0.13	3	0.38	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	0.13	6.80	17	3.40	4	0.80	20	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
80	5.33	29.27	135	9.00	34	2.27	100	6.67	-	-	-	-	-	-	-	-
10	1.67	3.67	3	0.50	-	-	24	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
8	0.53	14.57	72	10.29	15	2.14	113	16.14	-	-	-	-	-	-	-	-
6	1.50	2.27	24	1.60	2	0.13	10	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
9	0.75	1.00	8	1.60	5	0.40	6	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-
		3.33	59	14.75	2	1.25	13	3.25	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.50	21	1.75	5	0.42	7	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-
		0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	2.75	6.00	25	3.13	5	0.63	48	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.28	2.00	4	2.00	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1.00	0.67	14	4.86	5	0.28	4	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1.00	59.00	34	4.86	7	1.00	51	7.29	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.33	4.08	30	3.30	5	0.38	8	0.62	-	-	-	-	-	-	-	-
241	14.18	26.71	625	36.76	85	5.00	79	6.58	-	-	-	-	-	-	-	-
2	0.22	8.89	109	12.11	3	0.33	111	6.53	-	-	-	-	-	-	-	-
4	0.44	8.22	43	6.00	3	0.33	12	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-
3	0.75	0.25	24	6.00	4	1.00	8	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
73	14.60	76.00	97	19.40	25	5.00	47	9.40	-	-	-	-	-	-	-	-

指定都市(再掲)

札幌市
仙台市
千葉市
横浜市
名古屋市
京都市
大阪市
神戸市
広島市
北九州市
福岡市

5. 平成8年 疾病別・ブロック別年間報告数及び一定点当たり報告数

Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area and disease, 1996.

疾病名	総数	北海道		京 北 関東甲信越 京海・北陸		近 畿 中国		四国		九州・沖縄	
		県別報告数 定点当り	4275 35.33	378 1.87	3263 4.38	2579 7.94	4739 9.96	5908 21.02	1826 6.54	5908 21.02	1826 6.54
麻疹	23038 9.44	4275 35.33	378 1.87	3263 4.38	2579 7.94	4739 9.96	5908 21.02	1826 6.54	5908 21.02	1826 6.54	
風 し ん	26782 10.98	346 2.86	1859 9.20	13511 18.14	2245 6.91	4702 9.88	1932 7.09	2127 7.33	1932 7.09	2127 7.33	
水 痘	190340 78.01	12151 100.42	18627 92.21	51802 69.55	27407 84.33	29434 61.84	22661 80.72	28238 97.37	22661 80.72	28238 97.37	
流行性耳下腺炎	112843 46.25	8485 70.12	7786 38.54	31964 42.90	18025 55.46	21103 44.33	11483 40.90	13867 48.23	11483 40.90	13867 48.23	
百日せき髄膜炎	5661 2.32	255 2.11	573 2.64	960 1.29	816 2.51	1053 2.21	720 2.56	1284 4.43	720 2.56	1284 4.43	
溶連菌感染症	74867 30.68	9525 78.72	8729 43.21	20955 28.13	10515 32.35	9042 19.00	8700 30.96	7401 25.52	8700 30.96	7401 25.52	
鼻型肺炎	26746 10.96	1483 12.26	2746 13.59	5464 7.33	5278 16.24	4749 9.98	3314 11.79	3712 12.80	3314 11.79	3712 12.80	
感染性胃腸炎	397027 162.72	8659 71.56	25832 128.38	120641 161.93	55118 169.59	82246 172.79	50173 178.55	54258 187.10	50173 178.55	54258 187.10	
乳児嘔吐下痢症	75994 31.15	2420 20.00	5159 25.54	15851 21.28	11736 36.12	11795 24.78	10827 38.53	18204 62.77	10827 38.53	18204 62.77	
手足口病	24574 10.07	712 5.88	2120 10.50	8297 11.14	1447 4.45	1822 3.83	2570 9.15	7606 26.23	2570 9.15	7606 26.23	
伝染性紅斑	37743 15.47	2707 23.03	5537 27.41	13225 17.89	4853 13.39	3752 7.88	2762 9.83	5227 18.02	2762 9.83	5227 18.02	
突発性発疹	83738 34.32	3692 30.51	6803 33.71	22837 30.65	12207 37.56	2892 28.92	11256 40.06	13171 45.42	11256 40.06	13171 45.42	
ヘルパンギーナ	96631 39.60	3842 31.75	7362 36.45	32537 43.67	12720 39.14	13383 28.12	11397 40.56	15390 53.07	11397 40.56	15390 53.07	
インフルエンザ	353807 145.00	7366 61.04	42807 211.92	115401 154.90	57983 178.41	40714 85.53	37043 131.83	52473 180.94	37043 131.83	52473 180.94	
MCLS (川崎病)	1357 0.55	46 0.38	110 0.54	288 0.39	360 1.11	205 0.43	190 0.68	158 0.54	190 0.68	158 0.54	
咽頭結核菌 (小・内)	5906 2.42	69 0.57	181 0.90	1263 1.70	902 2.76	1771 3.72	1133 4.03	587 2.02	1133 4.03	587 2.02	
咽頭結核菌 (咽)	739 2.35	8 0.33	182 6.07	146 1.95	184 4.60	76 1.27	75 1.83	68 1.70	75 1.83	68 1.70	
流行性角結膜炎	20902 63.70	397 16.54	1576 52.53	3725 47.15	1038 25.95	2079 34.65	3174 77.41	8013 206.32	2079 34.65	3174 77.41	
急性出血性結膜炎	429 1.37	9 0.38	35 1.17	97 1.23	30 0.75	42 0.70	60 1.46	156 3.90	42 0.70	60 1.46	

6. 平成8年 疾病別・ブロック別・性別年間報告数及び一点当たり報告数(総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area, disease and sex, 1996. (Total)

MCLS (川崎病)	総数	北海道	東 京	北 関 東 甲 信 越	東 海 ・ 北 陸	近 畿	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄
果積報告数	1768	50	72	558	188	250	289	361
定 点 当 り	3.43	2.94	1.31	6.34	2.98	1.84	3.85	4.46
ウイルス肝炎	2321	144	44	576	319	698	346	192
定 点 当 り	4.51	8.47	0.80	6.57	5.06	5.13	4.61	2.37
A型肝炎	358	7	7	98	85	96	54	21
定 点 当 り	0.70	0.41	0.13	1.00	1.35	0.71	0.72	0.26
B型肝炎	588	59	18	135	29	177	90	50
定 点 当 り	1.08	3.47	0.33	1.53	0.46	1.30	1.20	0.62
その他のウイルス肝炎	1405	78	19	355	205	425	202	121
定 点 当 り	2.73	4.59	0.35	4.03	3.25	3.13	2.69	1.49
感染性髄膜炎	1824	7	109	364	149	525	346	324
定 点 当 り	3.54	0.41	1.98	4.14	2.37	3.86	4.61	4.00
細菌性髄膜炎	267	1	25	99	12	59	31	40
定 点 当 り	0.52	0.06	0.45	1.13	0.19	0.43	0.41	0.49
無菌性髄膜炎	1557	6	84	265	137	466	315	284
定 点 当 り	3.02	0.35	1.53	3.01	2.17	3.43	4.20	3.51
脳・脊髄炎	182	1	15	58	16	35	27	30
定 点 当 り	0.35	0.06	0.27	0.66	0.25	0.26	0.36	0.37
腦 炎	121	1	10	38	10	22	19	21
定 点 当 り	0.23	0.06	0.18	0.43	0.16	0.16	0.25	0.26
腦 症	42	-	3	14	3	8	6	8
定 点 当 り	0.08	-	0.05	0.16	0.05	0.06	0.08	0.10
ライ症候群	7	-	1	3	-	2	1	-
定 点 当 り	0.01	-	0.02	0.03	-	0.01	0.01	-
脊髄炎	12	-	1	3	3	3	1	1
定 点 当 り	0.02	-	0.02	0.03	0.05	0.02	0.01	0.01
淋病梅毒	7949	720	512	2624	1191	1295	411	1196
定 点 当 り	13.16	31.30	8.55	13.81	14.35	11.56	6.04	17.59
陰部クラミジア症	14534	1487	888	5688	2025	2029	838	1579
定 点 当 り	24.06	64.65	14.80	29.94	24.40	18.12	12.32	23.22
陰部ヘルペス	6177	293	188	2044	641	1874	370	767
定 点 当 り	10.23	12.74	3.13	10.76	7.72	16.73	5.44	11.28
尖圭コンジローム	2060	63	204	759	292	405	115	222
定 点 当 り	3.41	2.74	3.40	3.99	3.52	3.62	1.69	3.26
トリコモナス症	2772	160	165	1053	443	438	201	312
定 点 当 り	4.59	6.96	2.75	5.54	5.34	3.91	2.96	4.59

6. 平成8年 疾病別・ブロック別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数 (男)

Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area, disease and sex, 1996. (Male)

MCLS (川崎病)	総 数	地域別									
		北海道	青 島	北 海 道	東 海	北 陸	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
ウイルス肝炎	1231 2.39	81 4.76	20 0.36	295 3.35	183 2.90	377 2.77	171 2.28	104 1.28			
A型肝炎	174 0.34	6 0.35	3 0.05	40 0.45	41 0.65	51 0.38	24 0.32	9 0.11			
B型肝炎	315 0.61	36 2.12	10 0.18	74 0.84	19 0.30	103 0.76	48 0.64	25 0.31			
その他のウイルス肝炎	742 1.44	39 2.29	7 0.13	181 2.06	123 1.95	223 1.64	99 1.32	70 0.86			
感染性髄膜炎	1177 2.29	6 0.35	71 1.29	237 2.69	96 1.52	327 2.40	232 3.09	208 2.57			
細菌性髄膜炎	163 0.32	1 0.06	18 0.33	69 0.78	8 0.13	29 0.21	20 0.27	18 0.22			
無菌性髄膜炎	1014 1.97	5 0.29	53 0.95	168 1.91	88 1.40	298 2.19	212 2.83	190 2.35			
髄・脊髄炎	108 0.21	-	7 0.13	35 0.40	13 0.21	23 0.17	16 0.21	14 0.17			
脳 炎	75 0.15	-	5 0.09	24 0.27	8 0.13	18 0.13	9 0.12	11 0.14			
脳 症	21 0.04	-	1 0.02	8 0.09	3 0.05	1 0.01	5 0.07	3 0.04			
ライ 症候群	4 0.01	-	-	2 0.02	-	1 0.01	1 0.01	-			
脊髄炎	8 0.02	-	1 0.02	1 0.01	2 0.03	3 0.02	1 0.01	-			
淋病様疾患	698 11.57	691 30.04	496 8.27	2179 11.47	1130 13.61	1095 9.25	373 5.49	1083 15.93			
陰部クラミジア症	7984 13.22	1198 52.09	446 7.43	2621 13.79	1192 14.36	1195 10.67	431 6.34	901 13.25			
陰部ヘルペス	3131 5.18	246 10.70	99 1.65	802 4.22	355 4.28	960 8.57	224 3.29	445 6.54			
尖圭コンジローム	1379 2.28	55 2.39	126 2.10	477 2.51	188 2.27	290 2.59	84 1.24	159 2.34			
トリコモナス症	207 0.34	25 1.09	8 0.13	50 0.26	20 0.24	44 0.39	21 0.31	39 0.57			

6. 平成8年 疾病別・ブロック別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(女)
 Reported cases from clinics and hospitals, by geographical area, disease and sex, 1996. (Female)

MCL S (川崎病)	累積報告数 定点当り	総 数									
		北海道	東北	関東甲信越	東海	北陸	近畿	中国	四国	九州	沖縄
ウイルス肝炎	1090 2.12	63 3.71	24 0.44	283 3.22	136 2.16	321 2.36	175 2.33	88 1.09			
A型肝炎	184 0.36	1 0.06	4 0.07	48 0.55	44 0.70	45 0.33	30 0.40	12 0.15			
B型肝炎	243 0.47	23 1.35	8 0.15	61 0.69	10 0.16	74 0.54	42 0.56	25 0.31			
その他のウイルス肝炎	663 1.29	39 2.29	12 0.22	174 1.98	82 1.30	202 1.49	103 1.37	51 0.63			
感染性髄膜炎	602 1.17	1 0.06	38 0.69	127 1.44	53 0.84	153 1.13	114 1.52	116 1.43			
細菌性髄膜炎	96 0.19	-	7 0.13	30 0.34	4 0.06	22 0.16	11 0.15	22 0.27			
無菌性髄膜炎	506 0.98	1 0.06	31 0.56	97 1.10	49 0.78	131 0.96	103 1.37	94 1.16			
脳・脊髄炎	74 0.14	1 0.06	8 0.15	23 0.26	3 0.05	12 0.09	11 0.15	16 0.20			
脳 炎	46 0.09	1 0.06	5 0.09	14 0.16	2 0.03	4 0.03	10 0.13	10 0.12			
脳 症	21 0.04	-	2 0.04	6 0.07	-	7 0.05	1 0.01	5 0.06			
ライ症候群	3 0.01	-	1 0.02	1 0.01	-	1 0.01	-	-			
脊髄炎	4 0.01	-	-	2 0.02	1 0.02	-	-	1 0.01			
淋病様疾患	961 1.59	29 1.26	16 0.27	445 2.34	61 0.73	259 2.31	38 0.56	113 1.66			
陰部クラミジア症	6550 10.34	289 12.57	442 7.37	3057 16.14	833 10.04	834 7.45	407 5.99	678 9.97			
陰部ヘルペス	3046 5.04	47 2.04	89 1.48	1242 6.54	286 3.45	914 8.16	146 31	322 63			
尖圭コンジローム	681 1.13	8 0.35	178 1.30	282 1.48	104 1.25	115 1.03	31 0.46	63 0.93			
トリコモナス症	2565 4.25	135 5.87	157 2.62	1003 5.28	423 5.10	394 3.52	180 2.65	273 4.01			

7. 平成8年 疾病別・年齢階級別年間報告数及び一定点当たり報告数

Reported cases from clinics and hospitals, by age and disease, 1996.

	總 数	年齢階級 (Age Group)										15歳以上	
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~14	15歳以上				
麻しん様疾患	23038 9.44	2639 1.06	5754 2.36	3059 1.27	2318 0.95	2047 0.84	4369 1.80	2010 0.82	802 0.33	2047 0.84	4369 1.80	2010 0.82	802 0.33
風 し ん	26782 10.96	753 0.31	2317 0.95	2354 0.96	3055 1.25	4188 1.72	8893 3.69	2939 1.20	2183 0.89	2939 1.20	8893 3.69	2939 1.20	2183 0.89
水 痘	190340 78.01	17605 7.30	33247 13.63	32926 13.50	33385 13.68	30621 12.55	36846 15.14	3324 1.36	2084 0.85	3324 1.36	36846 15.14	3324 1.36	2084 0.85
流行性耳下腺炎	112843 46.25	624 0.26	4785 1.96	9154 3.75	15542 6.37	22303 9.14	49209 20.17	8590 3.52	2636 1.06	22303 9.14	49209 20.17	8590 3.52	2636 1.06
百日せき様疾患	5561 2.32	1619 0.66	1210 0.50	646 0.26	483 0.20	464 0.19	802 0.33	214 0.09	223 0.09	464 0.19	802 0.33	214 0.09	223 0.09
溶連菌感染症	74067 30.68	264 0.12	1373 0.56	3494 1.43	7607 3.12	13225 5.42	39902 16.35	6088 2.50	2984 1.16	13225 5.42	39902 16.35	6088 2.50	2984 1.16
異型肺炎	26746 10.96	440 0.18	1371 0.56	1770 0.73	2455 1.01	3405 1.40	10590 4.34	3873 1.59	2842 1.16	3405 1.40	10590 4.34	3873 1.59	2842 1.16
感染性胃腸炎	397027 162.72	15625 6.40	35050 14.36	36263 14.87	41047 16.82	47441 19.44	114806 47.13	47572 19.50	59023 24.19	47441 19.44	114806 47.13	47572 19.50	59023 24.19
乳児嘔吐下痢症	79594 31.15	30837 12.31	29115 11.93	10994 4.48	5008 2.42	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	24574 10.07	2058 0.84	6405 2.63	5126 2.10	3895 1.60	3000 1.23	3540 1.45	308 0.13	241 0.10	3540 1.45	308 0.13	241 0.10	
伝染性紅斑	37743 15.47	932 0.38	1570 0.64	2168 0.88	3808 1.48	5659 2.32	10818 4.42	3164 1.30	834 0.34	5659 2.32	10818 4.42	3164 1.30	834 0.34
感染性発疹	83738 34.32	74070 30.36	9089 3.72	489 0.18	106 0.04	0.02	-	-	-	106 0.04	489 1.97	9089 3.72	74070 30.36
ヘルパンギーナ	96631 39.60	9674 3.96	22077 9.05	18882 7.53	15659 6.42	12736 5.22	14950 6.13	1767 0.72	1406 0.56	12736 5.22	14950 6.13	1767 0.72	1406 0.56
インフルエンザ	353607 145.00	5840 2.43	17789 7.29	23158 9.49	30468 12.48	38308 15.70	109440 45.02	56145 23.01	17645 7.23	38308 15.70	109440 45.02	56145 23.01	17645 7.23
M.C.L.S (川崎病)	1357 0.56	315 0.13	383 0.16	195 0.08	152 0.06	114 0.05	128 0.05	39 0.02	21 0.01	114 0.05	128 0.05	39 0.02	21 0.01
咽頭扁桃炎 (小・内)	5906 2.42	440 0.18	964 0.38	904 0.37	981 0.40	901 0.37	1323 0.54	246 0.10	157 0.06	1323 0.54	246 0.10	157 0.06	
咽頭扁桃炎 (咽)	739 2.35	27 0.09	79 0.25	87 0.28	60 0.19	77 0.25	112 0.36	30 0.10	267 0.85	77 0.25	112 0.36	30 0.10	267 0.85
流行性角膜炎	20002 63.70	325 1.04	554 1.76	541 1.72	556 1.77	182 0.57	1709 5.70	1409 4.49	1261 4.02	182 0.57	1709 5.70	1409 4.49	1261 4.02
急性出血性結膜炎	429 1.37	4 0.01	7 0.02	12 0.04	15 0.05	23 0.07	45 0.14	30 0.10	21 0.07	45 0.14	30 0.10	21 0.07	

8. 平成8年 疾病別・年齢階級別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(総数)

Reported cases from clinics and hospitals, by age, disease and sex, 1996. (Total)

MCLS (川崎病)	累積報告数 定点当り	0歳		1歳		2歳		3歳		4歳		5~9歳		10~14		15歳以上		55~59	60歳以上
		総数	0~4歳	5~9歳	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60歳以上				
ウイルス肝炎	3.43	1768	523	483	265	148	135	148	196	151	151	145	156	202	187	192	187	192	655
	4.51	2321	143	62	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	655
A型肝炎	0.70	358	7	20	31	21	24	28	28	28	28	28	33	46	31	15	34	15	34
	0.70	358	0.01	0.04	0.06	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.06	0.09	0.06	0.03	0.07	0.03	0.07
B型肝炎	1.08	558	26	7	17	17	67	55	55	55	55	55	50	62	46	37	100	37	100
	1.08	558	0.05	0.01	0.03	0.03	0.13	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.12	0.09	0.07	0.19	0.07	0.19
その他のウイルス肝炎	2.73	1405	110	35	41	28	60	62	62	62	62	62	73	94	110	140	521	140	521
	2.73	1405	0.21	0.07	0.08	0.05	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.14	0.18	0.21	0.27	1.01	0.27	1.01
感染性髄膜炎	3.54	1824	382	85	91	124	179	624	111	166	166	166	30	31	40	24	28	12	28
	3.54	1824	0.74	0.17	0.18	0.24	0.35	1.21	0.22	0.32	0.32	1.16	0.09	0.06	0.05	0.05	0.05	0.02	0.05
細菌性髄膜炎	0.52	267	97	40	21	13	13	27	13	13	13	27	8	2	7	1	20	1	20
	0.52	267	0.19	0.08	0.04	0.03	0.03	0.05	0.03	0.03	0.03	0.05	0.02	0.00	0.01	0.00	0.04	0.00	0.04
無菌性髄膜炎	3.02	1557	285	45	70	111	166	597	166	166	166	166	39	29	17	11	8	11	8
	3.02	1557	0.55	0.09	0.14	0.22	0.32	1.16	0.32	0.32	0.32	1.16	0.08	0.06	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02
脳・脊髄炎	0.35	182	28	22	15	13	5	28	13	13	13	28	7	4	8	6	10	6	10
	0.35	182	0.05	0.04	0.03	0.03	0.01	0.05	0.03	0.03	0.03	0.05	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02
脳炎	0.23	121	19	11	8	5	1	18	8	8	8	18	5	3	8	5	9	5	9
	0.23	121	0.04	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02
脳症	0.08	42	7	10	6	6	2	6	6	6	6	6	4	4	4	4	4	4	4
	0.08	42	0.01	0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
ライ症候群	0.01	7	1	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1
	0.01	7	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
脊髄炎	0.02	12	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1
	0.02	12	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
淋病様疾患	13.16	7949	1	0.00	0.00	0.00	0.00	2024	485	2064	3.42	3.35	1304	811	519	181	82	82	85
	13.16	7949	0.00	0.00	0.00	0.00	3.42	3.35	3.35	3.35	3.35	3.35	2.16	1.34	0.86	0.65	0.36	0.14	0.14
陰部クラミジア症	24.06	14534	3	0.00	0.00	1.98	3845	3627	1193	6.37	6.00	6.00	2374	1410	865	649	120	120	131
	24.06	14534	0.00	0.00	1.98	6.37	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	3.93	2.33	1.43	1.07	0.50	0.20	0.22
陰部ヘルペス	10.23	6177	7	0.01	0.01	0.29	891	1141	173	1.48	1.89	1.89	1012	719	511	502	358	245	599
	10.23	6177	0.01	0.01	0.02	0.29	1.48	1.89	0.29	1.48	1.89	1.89	1.68	1.19	0.85	0.83	0.59	0.41	0.99
尖圭コンジローム	3.41	2080	10	0.02	0.00	0.29	637	450	175	1.05	0.75	0.75	293	168	105	86	37	29	66
	3.41	2080	0.02	0.00	0.00	0.29	1.05	0.75	0.29	1.05	0.75	0.75	0.49	0.28	0.17	0.14	0.06	0.05	0.11
トリコモナス症	4.59	2772	1	0.00	0.01	0.26	409	418	158	0.68	0.69	0.69	348	285	323	387	222	88	127
	4.59	2772	0.00	0.00	0.01	0.26	0.68	0.69	0.26	0.68	0.69	0.69	0.58	0.47	0.53	0.54	0.37	0.15	0.21

8. 平成8年 疾病別・年齢階級別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(男)

Reported cases from clinics and hospitals, by age, disease and sex, 1996. (Male)

MCLS (川崎病)	果類報告数 定点当り	年齢階級											55~59	60歳以上					
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5~9歳	10~14	15歳以上	15~19	20~24	25~29			30~34	35~39	40~44	45~49	50~54
ウイルス肝炎	総数	1231	36	46	33	72	81	90	62	97	125	101	87	101	125	101	87	101	322
	定点当り	2.39	0.15	0.09	0.06	0.14	0.16	0.17	0.12	0.19	0.24	0.20	0.17	0.20	0.24	0.17	0.20	0.20	0.63
A型肝炎	果類報告数 定点当り	174	5	12	9	14	13	17	12	20	20	13	8	17	20	13	8	17	17
	定点当り	0.34	0.01	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.02	0.04	0.04	0.03	0.02	0.02	0.04	0.03	0.02	0.02	0.03
B型肝炎	果類報告数 定点当り	315	12	4	8	31	31	26	20	35	45	31	18	31	45	31	18	31	44
	定点当り	0.61	0.02	0.01	0.02	0.06	0.06	0.05	0.04	0.07	0.09	0.06	0.03	0.07	0.09	0.06	0.03	0.03	0.09
その他のウイルス肝炎	果類報告数 定点当り	742	62	20	16	27	37	47	30	42	60	43	75	42	60	43	75	42	261
	定点当り	1.44	0.12	0.04	0.03	0.05	0.07	0.09	0.06	0.08	0.12	0.08	0.15	0.08	0.12	0.08	0.15	0.08	0.51
感染性髄膜炎	果類報告数 定点当り	1177	230	53	60	121	421	128	6	25	13	10	7	13	13	10	7	13	60歳以上
	定点当り	2.29	0.45	0.12	0.12	0.23	0.82	0.25	0.01	0.05	0.03	0.02	0.01	0.03	0.03	0.02	0.01	0.01	0.12
細菌性髄膜炎	果類報告数 定点当り	163	54	24	12	7	19	12	2	6	1	4	1	6	1	4	1	6	9
	定点当り	0.32	0.10	0.05	0.02	0.01	0.04	0.02	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.02
無菌性髄膜炎	果類報告数 定点当り	1014	176	29	48	114	402	116	4	19	12	6	6	12	12	6	6	12	3
	定点当り	1.97	0.34	0.06	0.09	0.22	0.78	0.23	0.01	0.04	0.02	0.01	0.01	0.04	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
脳・脊髄炎	果類報告数 定点当り	108	17	13	7	3	9	23	6	4	2	6	3	2	2	6	3	2	7
	定点当り	0.21	0.03	0.03	0.01	0.01	0.02	0.04	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
脳炎	果類報告数 定点当り	75	13	5	4	1	6	17	6	3	1	6	2	1	1	6	2	1	6
	定点当り	0.15	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	0.03	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01
脳症	果類報告数 定点当り	21	3	7	1	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当り	0.04	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00
ライ症候群	果類報告数 定点当り	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当り	0.01	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脊髄炎	果類報告数 定点当り	8	-	-	-	1	1	3	-	-	1	1	-	1	1	-	1	-	-
	定点当り	0.02	-	-	-	0.00	0.00	0.01	-	-	0.00	0.01	-	0.00	0.00	-	0.00	-	0.00
淋病様疾患	果類報告数 定点当り	6998	-	1	2	1680	1795	1192	35	489	760	371	489	371	489	167	79	167	60歳以上
	定点当り	11.57	-	0.00	0.00	2.78	2.97	1.97	1.26	0.81	1.26	0.81	0.81	0.81	0.28	0.13	0.13	0.12	0.12
陰部クラミア症	果類報告数 定点当り	7884	-	3	3	1764	1859	1333	920	651	920	514	651	920	230	100	230	102	
	定点当り	13.22	-	0.00	0.00	2.92	3.08	2.21	1.52	1.08	1.52	0.85	1.08	1.52	0.38	0.17	0.38	0.17	0.17
陰部ヘルペス	果類報告数 定点当り	3131	1	3	2	310	491	487	442	337	442	317	337	442	219	139	219	325	
	定点当り	5.18	0.00	0.00	0.09	0.51	0.81	0.81	0.73	0.56	0.73	0.52	0.56	0.73	0.36	0.23	0.36	0.54	0.54
尖圭コンジローム	果類報告数 定点当り	1379	7	2	1	331	313	228	143	87	143	70	87	143	26	27	26	27	53
	定点当り	2.28	0.01	0.00	0.15	0.55	0.52	0.36	0.24	0.14	0.24	0.12	0.14	0.24	0.04	0.04	0.04	0.04	0.09
トリコモナス症	果類報告数 定点当り	207	1	1	3	21	23	29	24	27	27	27	27	27	13	10	13	10	23
	定点当り	0.34	0.00	0.00	0.01	0.03	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02

8. 平成8年 疾病別・年齢階級別・性別年間報告数及び一定点当たり報告数(女)

Reported cases from clinics and hospitals, by age, disease and sex, 1996. (Female)

MCLS (川崎病)	累積報告数 定点当り	年齢階級											15歳以上	55~59	60歳以上	
		0~4歳	5~9歳	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54				60歳以上
ウイルス肝炎	1090 2.12	64 0.12	26 0.05	43 0.08	10~14 33 0.06	15~19 33 0.06	20~24 79 0.15	25~29 64 0.12	30~34 62 0.12	35~39 59 0.11	40~44 59 0.11	45~49 77 0.15	50~54 100 0.19	55~59 91 0.18	60歳以上 333 0.65	
A型肝炎	184 0.36	2 0.00	8 0.02	17 0.03	12 0.02	12 0.02	10 0.02	15 0.03	20 0.04	19 0.04	13 0.03	26 0.05	18 0.03	7 0.01	17 0.03	
B型肝炎	243 0.47	14 0.03	3 0.01	7 0.01	9 0.02	9 0.02	36 0.07	24 0.05	13 0.03	15 0.03	15 0.03	17 0.03	15 0.03	19 0.04	56 0.11	
その他のウイルス肝炎	663 1.29	48 0.09	15 0.03	19 0.04	12 0.02	12 0.02	33 0.06	25 0.05	29 0.06	25 0.05	31 0.06	34 0.07	67 0.13	65 0.13	260 0.50	
感染性髄膜炎	602 1.17	149 0.29	29 0.06	29 0.06	32 0.06	32 0.06	55 0.11	191 0.37	47 0.09	15~19 7 0.01	20~29 18 0.03	30~39 16 0.03	40~49 10 0.02	50~59 5 0.01	60歳以上 14 0.03	
細菌性髄膜炎	96 0.19	42 0.08	13 0.03	9 0.02	1 0.00	8 0.02	6 0.01	8 0.02	4 0.01	-	1 0.00	-	2 0.00	-	10 0.02	
無菌性髄膜炎	506 0.98	107 0.21	16 0.03	20 0.04	31 0.06	183 0.36	49 0.10	183 0.36	43 0.08	7 0.01	17 0.03	16 0.03	8 0.02	5 0.01	4 0.01	
脳・脊髄炎	74 0.14	11 0.02	9 0.02	8 0.02	5 0.01	19 0.04	2 0.00	19 0.04	4 0.01	3 0.01	3 0.01	2 0.00	2 0.00	3 0.01	3 0.01	
脳炎	46 0.09	6 0.01	6 0.01	3 0.01	1 0.00	12 0.02	-	12 0.02	3 0.01	3 0.01	2 0.00	2 0.00	2 0.00	3 0.01	3 0.01	
脳症	21 0.04	4 0.01	3 0.01	5 0.01	3 0.01	4 0.01	1 0.00	4 0.01	1 0.00	-	-	-	-	-	-	
ライ症候群	3 0.01	-	-	-	-	3 0.01	-	3 0.01	-	-	-	-	-	-	-	
脊髄炎	4 0.01	1 0.00	-	-	1 0.00	-	1 0.00	-	-	-	1 0.00	-	-	-	-	
神経様疾患	961 1.59	3 0.00	6 0.01	14 0.02	103 0.17	229 0.38	384 0.84	229 0.38	112 0.19	51 0.08	30 0.05	20 0.03	14 0.02	3 0.00	15 0.02	
陸部クワミアジア症	6550 10.84	3 0.00	-	-	685 1.13	1768 2.93	2082 3.45	1768 2.93	1041 1.72	490 0.81	214 0.35	135 0.22	69 0.11	20 0.03	29 0.05	
陰部ヘルペス	3046 5.04	6 0.01	4 0.01	10 0.02	116 0.19	650 1.08	591 0.96	650 1.08	525 0.87	277 0.46	174 0.29	185 0.31	139 0.23	106 0.18	273 0.45	
尖圭コンジローム	681 1.13	3 0.00	-	1 0.00	84 0.14	137 0.23	306 0.51	137 0.23	65 0.11	25 0.04	18 0.03	16 0.03	11 0.02	2 0.00	13 0.02	
トリコモナス症	2565 4.25	-	-	2 0.00	153 0.25	395 0.65	388 0.64	395 0.65	319 0.53	261 0.43	296 0.49	360 0.60	209 0.35	78 0.13	104 0.17	

第4章 感染症サーベイランス事業定点数



平成 8年 感染症サーベイランス事業定点数

総 数	総 数 3873	小児科・内科 2440	眼 科 314	病 院 515	性感染症 604
北海道	185	121	24	17	23
青森県	59	30	5	15	9
岩手県	48	28	5	5	10
宮城県	71	46	5	7	13
秋田県	42	24	5	5	8
山形県	59	27	5	18	9
福島県	68	47	5	5	11
茨城県	81	49	7	7	18
栃木県	68	47	5	5	11
群馬県	55	32	4	5	14
埼玉県	119	80	8	8	23
千葉県	103	72	8	8	15
東京都	210	138	14	12	40
神奈川県	224	156	14	18	36
新潟県	123	91	9	6	17
富山県	36	21	3	5	7
石川県	45	26	4	5	10
福井県	33	19	5	5	4
山梨県	55	38	5	8	4
長野県	64	42	5	5	12
岐阜県	62	38	5	5	14
静岡県	77	49	5	20	3
愛知県	172	116	11	13	32
三重県	86	56	7	10	13
滋賀県	38	22	4	5	7
京都府	113	78	6	11	18
大阪府	299	167	24	63	45
兵庫県	250	156	19	46	29
奈良県	40	27	3	6	4
和歌山県	44	26	4	5	9
鳥取県	31	15	3	10	3
島根県	38	24	4	6	4
岡山県	56	36	5	5	10
広島県	100	53	7	21	19
山口県	70	52	5	5	8
徳島県	29	15	5	5	4
香川県	40	24	3	6	7
愛媛県	46	29	4	5	8
高知県	55	33	5	12	5
福岡県	96	51	9	21	15
佐賀県	42	18	3	15	6
長崎県	65	47	4	7	7
熊本県	82	49	5	13	15
大分県	45	27	4	9	5
宮崎県	49	37	4	4	4
鹿児島県	58	36	5	5	12
沖縄県	42	25	6	7	4
(指定都市再掲)					
札幌市	54	31	9	6	8
仙台市	33	22	3	4	4
千葉市	14	10	1	1	2
横浜市	91	62	5	6	18
川崎市	46	31	3	5	7
名古屋市	96	70	6	7	13
京都市	70	49	3	6	12
大阪市	85	57	11	28	17
神戸市	118	86	9	14	9
広島市	45	20	3	13	9
北九州市	20	11	2	3	4
福岡市	26	17	3	3	5

第 5 章 病原体情報集計・病原細菌検出成績

第5章 病原細菌検出成績

1. 病原細菌検出状況総括、由来ヒト、1996年

1. The number of bacteria isolated from human sources, Japan, 1996

1-1. 地研・保健所、都市立伝染病院、検疫所

1-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers, infectious diseases hospitals and quarantine stations

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	地研・保健所 PREFECTURAL AND MUNICIPAL PUBLIC HEALTH INSTITUTE**	都市立伝染病院 INFECTIOUS DISEASES HOSPITAL	検疫所 QUARANTINE STATION
T O T A L	19086 (2001)	872 (497)	3759 (3759)
ESCHERICHIA COLI	5452 (587)	97 (37)	46 (46)
SHIGELLA			
SHIGELLA DYSENTERIAE	6 (4)	8 (8)	8 (8)
SHIGELLA FLEXNERI	83 (47)	63 (47)	59 (59)
SHIGELLA BOYDII	7 (5)	10 (7)	13 (13)
SHIGELLA SONNEI	312 (146)	286 (251)	271 (271)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	-	17 (12)	-
SALMONELLA			
SALMONELLA TYPHI	34 (20)	24 (19)	2 (2)
SALMONELLA PARATYPHI A	12 (8)	18 (14)	-
SALMONELLA GROUP O4	633 (118)	21 (7)	51 (51)
SALMONELLA GROUP O7	857 (61)	10 (1)	70 (70)
SALMONELLA GROUP O8	426 (43)	4 (2)	53 (53)
SALMONELLA GROUP O9	4274 (69)	66 (6)	90 (90)
SALMONELLA GROUP O9,46	2	1 (1)	-
SALMONELLA GROUP O3,10	152 (76)	4 (4)	64 (64)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	39 (10)	-	7 (7)
SALMONELLA GROUP O13	28 (3)	-	4 (4)
SALMONELLA GROUP O18	16	-	2 (2)
SALMONELLA OTHER GROUPS	51 (1)	1 (1)	4 (4)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	10	2	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	77	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT+	18 (12)	13 (10)	16 (16)
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT-	2 (2)	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	-	2	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	45 (28)	-	169 (169)
VIBRIO PARAHAEOLYTICUS	1065 (88)	36 (2)	590 (590)
VIBRIO FLUVIALIS	13 (4)	1	29 (29)
VIBRIO MIMICUS	4	-	8 (8)
AEROMONAS HYDROPHILA	25 (17)	6 (3)	78 (78)
AEROMONAS SOBRIA	45 (40)	8 (5)	189 (189)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	122 (118)	-	-
PLESIONONAS SHIGELLOIDES	366 (325)	12 (11)	1932 (1932)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	802 (36)	57 (13)	-
CAMPYLOBACTER COLI	17 (9)	3 (2)	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	174 (124)	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	328	4 (1)	1 (1)
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	354	3 (2)	-
BACILLUS CEREUS	33	-	-
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	55	57 (16)	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	57	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	2822	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	114	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	10	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	88	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	2	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	7	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	3	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	1	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	20	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	14	-	-
OTHERS*	10 (1)	38 (15)	3 (3)

** Including health centers

* その他の細菌の内訳 Others

地研・保健所集計 Prefectural and municipal public health institutes

Aeromonas caviae, *Klebsiella oxytoca*, *Mycobacterium avium*, *Pseudomonas aeruginosa*

都市立伝染病院 Infectious diseases hospitals

Aeromonas spp., *Vibrio furnissii*, *Campylobacter* spp., *Klebsiella oxytoca*, *Morganella morganii*, *Clonorchis sinensis*, *Cryptosporidium parvum*, *Diphyllobothrium latum*, *Diphyllobothrium nihonkaiense*, *Diphyllobothrium* sp., *Giardia lamblia*, *Heterophyes heterophyes*, *Taenia saginata*

検疫所 Quarantine stations

Vibrio furnissii

1-1. Continued

病原大腸菌の内訳

E. coli categorized by pathogenicity

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	地研・保健所 PREFECTURAL AND MUNICIPAL PUBLIC HEALTH INSTITUTE**	都市立伝染病院 INFECTIOUS DISEASES HOSPITAL	検疫所 QUARANTINE STATION
ENTEROINVASIVE E. COLI	47 (16)	3 (3)	9 (9)
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	1203 (422)	25 (19)	5 (5)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYP	1130 (99)	21 (11)	31 (31)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	2793 (3)	39 (1)	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	279 (47)	9 (3)	1 (1)

赤痢菌血清型別の内訳

Shigella serovars

	地研・保健所 PREFECTURAL AND MUNICIPAL PUBLIC HEALTH INSTITUTE**	都市立伝染病院 INFECTIOUS DISEASES HOSPITAL	検疫所 QUARANTINE STATION
S. DYSENTERIAE SEROVAR 1	-	1 (1)	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	3 (1)	6 (6)	6 (6)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	1 (1)	1 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	1 (1)	-	1 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	2 (2)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	1 (1)	2 (1)	2 (2)
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	10 (7)	6 (6)	7 (7)
S. FLEXNERI SEROVAR 1	1	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	30 (15)	24 (15)	20 (20)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	5 (4)	1 (1)	4 (4)
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	11 (1)	6 (6)	5 (5)
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	5 (3)	1 (1)	4 (4)
S. FLEXNERI SEROVAR 4	3 (2)	1 (1)	3 (3)
S. FLEXNERI SEROVAR 5A	-	1 (1)	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 6	10 (9)	5 (4)	11 (11)
S. FLEXNERI SEROVAR X	2 (1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	1 (1)	1 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4 (3)	15 (10)	2 (2)
S. BOYDII SEROVAR 1	-	-	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR 2	2 (1)	2 (1)	4 (4)
S. BOYDII SEROVAR 4	4 (3)	1 (1)	5 (5)
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR 11	-	-	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR 13	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	1 (1)	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	1 (1)	5 (3)	-
S. SONNEI	312 (146)	286 (251)	271 (271)

** Including health centers

1-2. 医療機関
1-2. General clinical institutions

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	分離材料				SPECIMEN			
	糞便	穿刺液1)	髄液2)	血液	咽頭3)	下気道4)	尿	陰部5)
	STOOL	FLUID	CSF	BLOOD	NASOPH.	L. RESP.	URINE	GENIT.
T O T A L	27827(63)	6330	261	5744(17)	36961	116376	151064	27195
ESCHERICHIA COLI	7182(9)	990	24	924	.	.	41981	.
SHIGELLA								
SHIGELLA FLEXNERI	28(9)
SHIGELLA SONNEI	51(16)
SALMONELLA								
SALMONELLA TYPHI	8(4)	.	.	24(14)
SALMONELLA PARATYPHI A	8(4)	.	.	8(3)
SALMONELLA SPP.	.	.	.	40
SALMONELLA GROUP O4	550(7)
SALMONELLA GROUP O7	526(2)
SALMONELLA GROUP O8	224(1)
SALMONELLA GROUP O9	2895(1)
SALMONELLA GROUP O9,46	8
SALMONELLA GROUP O3,10	36(1)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	15
SALMONELLA GROUP O13	15
SALMONELLA GROUP O18	11
SALMONELLA OTHER GROUPS	67
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	71
YERSINIA ENTEROCOLITICA	210
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	13
V. CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT*	1(1)
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	23(1)
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	1718(2)
VIBRIO FLUVIALIS	32
VIBRIO MIMICUS	9
AEROMONAS HYDROPHILA	211(1)
AEROMONAS SOBRIA	93(1)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	198
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	80(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	2426(1)
CAMPYLOBACTER COLI	60
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	4385(1)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	6400	1889	102	1651	.	44668	11854	.
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	.	994	.	2098	.	.	19724	.
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	190
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	1
BACILLUS CEREUS	80
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	2
STREPTOCOCCUS GROUP A	10608	815	.	.
STREPTOCOCCUS GROUP B	.	.	14	82	.	5277	.	9213
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	.	71	66	142	9672	7897	.	.
NEISSERIA GONORRHOEAE	1076
LISTERIA MONOCYTOGENES	.	.	4
MYCOBACTERIUM SPP.	.	24
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4814	.	.
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	.	510	.	.	.	12511	9959	.
ENTEROBACTER SPP.	5723	.
ENTEROCOCCUS SPP.	32507	.
ACINETOBACTER SPP.	2002	.
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	.	710	.	435	.	32344	20649	.
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	3	.	.
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	.	46	51	48	16644	7798	.	.
BORDETELLA PERTUSSIS	37	.	.	.
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	.	4	.	.	.	28	.	.
UREAPLASMA	304
ANAEROBES	.	1092	.	291	.	221	.	.
PLASMODIUM SPP.	.	.	.	1
CANDIDA ALBICANS	6665	13094
TRICHOMONAS VAGINALIS	583
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	2925

- 1) 穿刺液: 胸水、腹水、関節液など
FLUID : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)
- 2) 髄液
C S F : Cerebrospinal fluid
- 3) 咽頭: 咽頭および鼻咽喉からの材料
NASOPH. : Nasopharyngeal source
- 4) 下気道: 喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
L. RESP. : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)
- 5) 陰部: 陰部尿道頸管擦過(分泌)物
GENIT. : Genitourinary source

2. 病原細菌検出数の月別集計、由来ヒト、1996年

2. Isolation of bacteria from human sources, by month, Japan, 1996

2-1. 地研・保健所

2-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M A R	4 A P R	5 M A Y	6 J U N
T O T A L	19086(2001)	615(131)	543(89)	733(244)	1003(243)	1050(133)	2156(184)
ESCHERICHIA COLI	5452(587)	57(29)	82(26)	121(68)	104(62)	109(53)	511(74)
SHIGELLA							
SHIGELLA DYSENTERIAE	6(4)	1	-	-	1(1)	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	83(47)	5(4)	2(1)	3(2)	5(4)	1(1)	3
SHIGELLA BOYDII	7(5)	-	-	2(2)	-	2(1)	-
SHIGELLA SONNEI	312(146)	15(13)	6(4)	21(17)	114(13)	10(6)	24(18)
SALMONELLA							
SALMONELLA TYPHI	34(20)	5(3)	2(1)	2(2)	5(4)	1	5(3)
SALMONELLA PARATYPHI A	12(8)	1(1)	1	1(1)	2(1)	2(2)	1(1)
SALMONELLA GROUP O4	633(118)	26(2)	14	27(11)	26(6)	37(2)	35(3)
SALMONELLA GROUP O7	857(61)	29(5)	25	45(2)	43(5)	46(3)	63(8)
SALMONELLA GROUP O8	426(43)	5	11(1)	14(3)	18	34(7)	49(4)
SALMONELLA GROUP O9	4274(69)	26(4)	55(3)	29(5)	164(3)	186(8)	515(10)
SALMONELLA GROUP O9,46	2	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	152(76)	8(5)	4(2)	17(14)	7(6)	8(5)	11(4)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	39(10)	3	3	5(1)	2(1)	4(1)	2(1)
SALMONELLA GROUP O13	28(3)	2	2	1	1(1)	3	2(1)
SALMONELLA GROUP O18	16	-	-	1	-	1	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	51(1)	-	3	-	5	5	9(1)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	10	1	1	-	-	-	2
YERSINIA ENTEROCOLITICA	77	1	-	1	2	4	1
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	18(12)	-	-	1(1)	2(2)	1(1)	2(2)
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	2(2)	-	-	-	1(1)	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	45(28)	4(4)	3(3)	3(3)	1(1)	4(3)	4(2)
VIBRIO PARAHAEEMOLYTICUS	1065(88)	9(4)	5(4)	14(14)	6(6)	15(7)	80(4)
VIBRIO FLUVIALIS	13(4)	-	-	-	1(1)	-	-
VIBRIO MIMICUS	4	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	25(17)	2(2)	-	2(2)	10(8)	-	1
AEROMONAS SOBRIA	45(40)	6(5)	2(2)	4(3)	16(16)	-	1
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	122(118)	6(6)	3(3)	16(16)	10(10)	7(7)	13(13)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	366(325)	39(39)	13(12)	44(44)	80(79)	13(11)	17(15)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	802(36)	14(3)	12(1)	26(6)	74(2)	111(2)	186(10)
CAMPYLOBACTER COLI	17(9)	1	1(1)	1(1)	-	-	2(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	174(124)	4(2)	26(25)	34(26)	11(10)	15(13)	11(9)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	328	9	18	12	12	45	49
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	354	10	36	5	1	34	93
BACILLUS CEREUS	33	2	1	-	-	-	2
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	55	-	2	10	4	-	23
NEISSERIA GONORRHOEAЕ	57	6	4	2	1	3	3
STREPTOCOCCUS GROUP A	2822	294	191	251	250	329	406
STREPTOCOCCUS GROUP B	114	9	6	8	15	5	18
STREPTOCOCCUS GROUP C	10	-	2	2	-	1	2
STREPTOCOCCUS GROUP G	88	10	5	4	6	11	6
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	7	-	-	1	-	1	-
BORDETELLA PERTUSSIS	3	2	-	-	-	1	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	1	-	-	-	-	-	1
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	20	2	-	1	1	1	2
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	14	-	2	-	1	-	-
OTHERS	9	1	-	2	-	-	1
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity							
ENTEROINVASIVE E. COLI	47(16)	1	1	4	-	11(5)	1
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	1203(422)	30(21)	29(21)	55(50)	54(49)	47(39)	132(40)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	1130(99)	20(5)	49(2)	49(10)	31(4)	39(8)	92(31)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	2793(3)	1	-	2(1)	1	4	281
E. COLI OTHER/UNKNOWN	279(47)	5(3)	3(3)	11(7)	18(9)	8(1)	5(3)
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars							
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	3(1)	1	-	-	1(1)	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	2(2)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	1(1)	1(1)	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	10(7)	-	-	-	1(1)	-	2
S. FLEXNERI SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	30(15)	2(1)	1	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	5(4)	-	1(1)	1	1(1)	1(1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	11(1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	5(3)	1(1)	-	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	3(2)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	10(9)	1(1)	-	1(1)	2(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	2(1)	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4(3)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 2	2(1)	-	-	1(1)	-	1	-
S. BOYDII SEROVAR 4	4(3)	-	-	1(1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	1(1)	-	-	-	-	1(1)	-
S. SONNEI	312(146)	15(13)	6(4)	21(17)	114(13)	10(6)	24(18)

2-1. Continued

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J U L	A U G	S E P	O C T	N O V	D E C
T O T A L	3934(178)	2537(222)	2359(192)	1693(101)	1389(179)	1074(105)
ESCHERICHIA COLI	2253(69)	878(73)	478(43)	478(36)	207(30)	174(24)
SHIGELLA	-	1(1)	-	-	-	3(2)
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	1(1)	-	-	-	3(2)
SHIGELLA FLEXNERI	11(7)	13(11)	16(5)	7(1)	12(8)	5(3)
SHIGELLA BOYDII	1(1)	1	-	-	1(1)	-
SHIGELLA SONNEI	23(9)	33(30)	21(14)	29(14)	7(3)	9(5)
SALMONELLA	4(1)	-	6(4)	2(1)	2(1)	-
SALMONELLA TYPHI	-	1	2(1)	-	1(1)	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	1	2(1)	-	1(1)	-
SALMONELLA GROUP O4	66(5)	103(8)	67(4)	31(1)	177(72)	24(4)
SALMONELLA GROUP O7	96(4)	178(9)	99(5)	104(2)	63(5)	66(13)
SALMONELLA GROUP O8	44(7)	47(4)	98(5)	81(5)	22(4)	23(3)
SALMONELLA GROUP O9	634(9)	569(9)	880(7)	547(3)	438(4)	231(4)
SALMONELLA GROUP O9.46	-	-	-	2	-	-
SALMONELLA GROUP O3.10	19(13)	12(5)	26(8)	21(4)	9(4)	10(6)
SALMONELLA GROUP O1.3.19	1	5(2)	4(2)	3(1)	3(1)	4
SALMONELLA GROUP O13	4	1	4	1	4	3(1)
SALMONELLA GROUP O18	2	4	2	2	1	2
SALMONELLA OTHER GROUPS	3	1	15	5	3	2
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	2	2	-	-	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	9	26	12	11	7	3
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	4(3)	5(2)	2	-	1(1)	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	1(1)	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	6(3)	8(1)	6(5)	6(3)	-	-
VIBRIO PARAHAEOLYTICUS	230(4)	339(7)	267(6)	34(6)	34(11)	32(15)
VIBRIO FLUVIALIS	7	3(2)	1(1)	-	1	-
VIBRIO MIMICUS	1	-	-	3	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	1	2	5(3)	-	-	2(2)
AEROMONAS SOBRIA	2(2)	2(2)	10(10)	1	1	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	11(11)	23(20)	13(12)	9(9)	6(6)	5(5)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	34(29)	24(17)	62(51)	15(7)	15(14)	10(7)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	132(1)	59(3)	59(3)	40(1)	58(4)	31
CAMPYLOBACTER COLI	2	4(3)	4(1)	-	-	2(2)
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	16	16(13)	3(1)	15(7)	11(9)	12(9)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	59	31	41	27	13	12
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	26	2	29	47	14	57
BACILLUS CEREUS	-	17	6	1	4	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	9	4	1	1	-	1
NEISSERIA GONORRHOEAE	9	7	6	2	11	3
STREPTOCOCCUS GROUP A	188	97	95	161	242	318
STREPTOCOCCUS GROUP B	12	4	6	10	10	11
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	-	-	3
STREPTOCOCCUS GROUP G	6	8	6	11	6	9
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	1	-	-	1
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	2	-	-	-	3	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	4	3	2	2	-	2
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	2	3	1	2	1	2
OTHERS	-	1	-	2	1	1
病原大腸菌の内訳	E.coli categorized by pathogenicity					
ENTEROINVASIVE E.COLI	19(5)	4(2)	2(1)	1(1)	1	2(2)
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	500(52)	123(48)	125(31)	44(26)	47(28)	17(17)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	222(9)	262(12)	151(9)	68(5)	77(1)	70(3)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	1446(1)	414(1)	183	341	68	52
E.COLI OTHER/UNKNOWN	66(2)	75(10)	17(2)	24(4)	14(1)	33(2)
赤痢菌血清型別の内訳	Shigella serovars					
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	1
S.DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	1(1)	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	2(2)
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	-	2(2)	3(2)	1(1)	-	1(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	7(3)	4(2)	2(1)	2	11(8)	1
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	1(1)	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	1(1)	9	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	1(1)	-	-	2	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	2(2)	-	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 6	2(2)	2(2)	-	-	-	2(2)
S.FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	1(1)	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	2(2)	1(1)	1	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	1(1)	1	-	-	1(1)	-
S.BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	23(9)	33(30)	21(14)	29(14)	7(3)	9(5)

2-2. 検疫所
2-2. Quarantine stations

海外旅行者
Imported cases

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	O	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
	A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E
	L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C
T O T A L	3759	261	235	479	242	323	269	399	499	440	183	261	168
ESCHERICHIA COLI	46	2	3	6	5	4	3	-	3	13	2	1	4
SHIGELLA													
SHIGELLA DYSENTERIAE	8	1	-	-	1	-	2	-	1	2	-	-	1
SHIGELLA FLEXNERI	59	5	2	-	4	7	2	11	7	11	6	3	1
SHIGELLA BOYDII	13	1	1	2	1	2	-	1	1	2	1	-	1
SHIGELLA SONNEI	271	23	12	33	16	28	15	26	43	40	10	13	12
SALMONELLA													
SALMONELLA TYPHI	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	51	2	4	4	3	-	2	15	11	1	-	5	4
SALMONELLA GROUP O7	70	9	2	5	6	3	7	13	11	5	3	4	2
SALMONELLA GROUP O8	53	5	5	2	4	5	3	5	11	2	2	5	4
SALMONELLA GROUP O9	90	6	5	4	5	9	14	13	14	5	7	3	5
SALMONELLA GROUP O3,10	64	5	4	6	2	6	7	6	7	6	2	9	4
SALMONELLA GROUP O1,3,19	7	1	-	1	-	1	2	-	1	1	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	4	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	4	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	16	-	1	3	-	1	1	1	2	6	1	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	169	5	7	26	12	15	10	20	27	20	9	12	6
VIBRIO PARAHAEEMOLYTICUS	590	44	34	51	32	57	40	64	69	70	36	52	41
VIBRIO FLUVIALIS	29	1	-	4	3	5	1	5	3	3	-	2	2
VIBRIO MIMICUS	8	-	1	1	1	1	-	1	1	1	-	-	1
AEROMONAS HYDROPHILA	78	3	5	10	2	10	4	7	6	12	10	5	4
AEROMONAS SOBRIA	189	16	16	28	15	10	15	26	23	18	7	11	4
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	1932	132	132	292	126	157	138	186	255	221	87	135	71
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
OTHERS	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1

病原大腸菌の内訳	<i>E.coli</i> categorized by pathogenicity												
ENTEROINVASIVE E.COLI	9	1	-	1	-	1	2	-	-	2	-	-	2
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	5	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	31	1	3	5	5	3	1	-	3	7	1	-	2
E.COLI OTHER/UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars												
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	6	1	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-	1
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 7	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	7	-	1	-	-	1	-	2	1	2	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	20	3	-	-	1	-	2	2	3	6	1	2	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	4	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	5	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	3	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 5A	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	11	-	-	-	-	2	-	7	-	1	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	4	-	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	5	1	-	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S.BOYDII SEROVAR 14	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	271	23	12	33	16	28	15	26	43	40	10	13	12

2-3. 都市立伝染病院
2-3. Infectious diseases hospitals

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M A R	4 A P R	5 M A Y	6 J U N
T O T A L	872 (497)	57 (43)	35 (22)	89 (64)	50 (31)	57 (41)	69 (33)
ESCHERICHIA COLI	97 (37)	5 (4)	3 (2)	8 (8)	2 (1)	1 (1)	8 (2)
SHIGELLA							
SHIGELLA DYSENTERIAE	8 (8)	1 (1)	-	-	1 (1)	-	1 (1)
SHIGELLA FLEXNERI	63 (47)	8 (4)	2 (1)	3 (2)	3 (2)	6 (4)	2 (1)
SHIGELLA BOYDII	10 (7)	-	2 (2)	1 (1)	1 (1)	-	-
SHIGELLA SONNEI	286 (251)	23 (23)	10 (10)	40 (29)	20 (16)	21 (19)	20 (19)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	17 (12)	-	-	3 (3)	2 (2)	1 (1)	1
SALMONELLA							
SALMONELLA TYPHI	24 (19)	2 (1)	3 (2)	-	-	2 (2)	4 (2)
SALMONELLA PARATYPHI A	18 (14)	-	2 (2)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	3 (2)
SALMONELLA GROUP O4	21 (7)	-	-	1 (1)	-	1	2
SALMONELLA GROUP O7	10 (1)	-	-	1 (1)	-	1	-
SALMONELLA GROUP O8	4 (2)	-	-	-	-	-	2 (1)
SALMONELLA GROUP O9	66 (6)	2	-	3 (1)	3 (1)	3 (1)	7
SALMONELLA GROUP O9,46	1 (1)	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	4 (4)	-	-	-	1 (1)	1 (1)	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	1 (1)	-	-	-	-	1 (1)	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	1
V. CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA, CT+	13 (10)	1 (1)	-	2 (2)	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1	2	-	-	-	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	36 (2)	-	-	1 (1)	-	1 (1)	-
VIBRIO FLUVIALIS	1	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	6 (3)	-	-	-	1 (1)	-	-
AEROMONAS SOBRIA	8 (5)	1 (1)	2 (1)	-	-	1 (1)	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	12 (11)	-	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	57 (13)	5 (4)	2	7 (2)	5	3 (1)	8 (1)
CAMPYLOBACTER COLI	3 (2)	1	-	1 (1)	-	-	1 (1)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	4 (1)	-	-	-	-	-	1
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	3 (2)	-	-	2 (1)	-	-	-
ENTAMOEBA HISTOLYTICA	57 (16)	5 (3)	3 (1)	8 (4)	5 (1)	7 (3)	4
OTHERS	38 (15)	3 (1)	5	3 (2)	3 (1)	4 (2)	2 (1)
病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E. COLI	3 (3)	-	-	1 (1)	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	25 (19)	4 (3)	2 (2)	3 (3)	-	1 (1)	3 (1)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	21 (11)	1 (1)	-	4 (4)	2 (1)	-	1 (1)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	39 (1)	-	-	-	-	-	4
E. COLI OTHER/UNKNOWN	9 (3)	-	1	-	-	-	-
赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars						
S. DYSENTERIAE SEROVAR 1	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	6 (6)	1 (1)	-	-	1 (1)	-	1 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	2 (1)	-	-	1	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	6 (6)	-	1 (1)	-	-	1 (1)	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	24 (15)	7 (3)	1	1 (1)	1 (1)	1	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	1 (1)	-	-	-	-	1 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	6 (6)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 5A	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	5 (4)	-	-	1 (1)	-	2 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	1 (1)	1 (1)	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	15 (10)	-	-	-	2 (1)	1 (1)	1
S. BOYDII SEROVAR 2	2 (1)	-	-	-	1 (1)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 13	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 14	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	5 (3)	-	-	1 (1)	-	-	-
S. SONNEI	286 (251)	23 (23)	10 (10)	40 (29)	20 (16)	21 (19)	20 (19)

* 上記以外にロタウイルス 82(1)例、アデノウイルス 5例とSRSV 1例が報告された
In addition, rotaviruses, adenoviruses and SRSV were detected in 82(1), 5 and 1 case, respectively.

() : 海外旅行者分再掲
 () : imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J	A	S	O	N	D
	U	U	E	C	O	E
	L	G	P	T	V	C
T O T A L	114(43)	138(72)	111(71)	75(41)	36(16)	41(20)
ESCHERICHIA COLI	30(3)	12(5)	12(7)	8(1)	5(3)	3
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	1(1)	3(3)	1(1)	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	3(3)	8(7)	10(10)	7(7)	2	9(6)
SHIGELLA BOYDII	1	1(1)	1(1)	-	1(1)	2
SHIGELLA SONNEI	31(27)	39(37)	37(36)	27(21)	8(6)	10(8)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	1	2(2)	1(1)	2(1)	1	3(2)
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	2(1)	3(3)	3(3)	5(5)	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	1(1)	2(1)	1	1(1)	1	-
SALMONELLA GROUP O4	3	6	1(1)	1	6(5)	-
SALMONELLA GROUP O7	2	-	1	3	2	-
SALMONELLA GROUP O8	-	-	2(1)	-	-	-
SALMONELLA GROUP O9	9(1)	12(2)	13	6	4	4
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	1(1)	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	1(1)	-	-	-	-	1(1)
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	1	-	-	-	-
V. CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA, CT+	1(1)	2(1)	6(4)	-	-	1(1)
VIBRIO CHOLERAE NON-O1	-	1	-	-	-	1
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	6	21	7	-	-	-
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	1	-
AEROMONAS HYDROPHILA	1	1(1)	-	1	1	1(1)
AEROMONAS SOBRIA	-	3(1)	1(1)	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	4(3)	1(1)	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	10	5(2)	6(2)	2	1	3(1)
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2(1)	1	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	1(1)	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	6(1)	7(1)	4(1)	6(1)	1	1
OTHERS	3(2)	4(2)	3(1)	4(2)	2(1)	2
病原大腸菌の内訳 E.coli categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	1(1)	1(1)	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	3(2)	4(3)	1(1)	1(1)	2(2)	1
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	3(1)	2	4(3)	3	1	-
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	24	3	4(1)	1	1	2
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	2(1)	2(1)	3	1(1)	-
赤痢菌血清型別の内訳 Shigella serovars						
S. DYSENTERIAE SEROVAR 1	-	1(1)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	1(1)	2(2)	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	1(1)	2(2)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	2(2)	5(4)	3(3)	1(1)	1	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	2(2)	3(3)	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 5A	-	-	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	1(1)	-	-	-	-	1(1)
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	1(1)	2(2)	1	7(5)
S. BOYDII SEROVAR 2	1	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	-	1(1)	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 13	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	1(1)	-	1(1)	2
S. SONNEI	31(27)	39(37)	37(36)	27(21)	8(6)	10(8)

2-4. 医療機関

2-4. General clinical institutions

2-4-1. 分離材料：糞便

2-4-1. Specimen : Stool

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M A R	4 A P R	5 M A Y	6 J U N
T O T A L	27827 (63)	1025 (5)	1003 (1)	1138 (7)	1268 (12)	1362 (2)	2258 (3)
ESCHERICHIA COLI	7182 (9)	193 (2)	191 (1)	258	273	294	466 (1)
SHIGELLA							
SHIGELLA FLEXNERI	28 (9)	2 (1)	-	1	1 (1)	3	1
SHIGELLA SONNEI	51 (16)	-	4	6 (2)	10 (3)	2 (1)	3 (2)
SALMONELLA							
SALMONELLA TYPHI	8 (4)	2 (1)	-	-	2 (2)	1 (1)	1
SALMONELLA PARATYPHI A	8 (4)	1	-	2 (2)	2 (1)	-	-
SALMONELLA GROUP O4	550 (7)	16	18	12	27 (1)	23	44
SALMONELLA GROUP O7	526 (2)	18	6	18	23 (1)	19	23
SALMONELLA GROUP O8	224 (1)	6	3	6	8 (1)	13	23
SALMONELLA GROUP O9	2895 (1)	57	67	46	64 (1)	90	187
SALMONELLA GROUP O9,46	8	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	36 (1)	-	3	1	2 (1)	2	4
SALMONELLA GROUP O1,3,19	15	1	1	2	3	2	-
SALMONELLA GROUP O13	15	-	1	-	-	1	5
SALMONELLA GROUP O18	11	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	67	1	-	-	-	-	3
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	71	1	-	3	3	1	3
YERSINIA ENTEROCOLITICA	210	7	9	5	11	11	15
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	13	-	-	1	2	1	4
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	1 (1)	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	23 (1)	-	-	-	-	-	2
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	1718 (2)	2	3	7 (1)	2	3	54
VIBRIO FLUVIALIS	32	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	9	-	-	-	-	-	1
AEROMONAS HYDROPHILA	211 (1)	3	1	1	3	7	11
AEROMONAS SOBRIA	93 (1)	1	2	4	2	3	6
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	198	3	5	2	3	2	15
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	80 (1)	2 (1)	20	5	-	2	6
CAMPYLOBACTER JEJUNI	2426 (1)	72	98	84 (1)	99	160	326
CAMPYLOBACTER COLI	60	3	3	5	3	1	25
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	4385 (1)	142	133	153 (1)	245	223	468
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	6400	482	425	509	461	482	543
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	190	7	9	3	14	8	10
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	1	-	1	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	80	2	-	4	5	8	9
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	2	1	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity							
ENTEROINVASIVE E. COLI	187	3	9	5	4	7	12
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	813 (1)	21	17	31	22	28	44
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	3886 (4)	118 (2)	129 (1)	165	179	163	285 (1)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	315 (1)	-	-	-	1	7	21
E. COLI OTHER/UNKNOWN	1981 (3)	51	36	57	67	89	104
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars							
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	3 (1)	1	-	-	-	1	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	16 (5)	1 (1)	-	-	-	1	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	1 (1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	1	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	1	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	2 (1)	-	-	-	1 (1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4 (1)	-	-	1	-	1	-
S. SONNEI	51 (16)	-	4	6 (2)	10 (3)	2 (1)	3 (2)

2-4-1. Continued

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	7	8	9	10	11	12
	J	A	S	O	N	D
	U	U	E	C	O	E
	L	G	P	T	V	C
T O T A L	4257(3)	5050(9)	3736(6)	2547(4)	2492(9)	1691(2)
ESCHERICHIA COLI	1161	1308(2)	1075(2)	634	767	562(1)
SHIGELLA						
SHIGELLA FLEXNERI	3	6(3)	3(1)	3(1)	3(2)	2
SHIGELLA SONNEI	3(1)	6(3)	7(3)	8(1)	1	1
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	-	-	1	-	1	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	1	-	-	2(1)	-
SALMONELLA GROUP O4	85	138	52	42(1)	75(5)	18
SALMONELLA GROUP O7	94	139(1)	77	48	44	17
SALMONELLA GROUP O8	35	55	36	16	14	9
SALMONELLA GROUP O9	380	558	602	495	310	129
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	3	-	5	-
SALMONELLA GROUP O3,10	3	6	5	3	5	2
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	1	2	2	-	1
SALMONELLA GROUP O13	-	3	-	1	2	2
SALMONELLA GROUP O18	2	1	3	4	1	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	3	39	5	8	5	3
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	7	29	15	1	5	3
YERSINIA ENTEROCOLITICA	37	48	12	26	21	8
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	-	1	3	-	1	-
V. CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT*	-	-	-	-	-	1(1)
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	4	10	4	2(1)	1	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	339(1)	724	480	80	20	4
VIBRIO FLUVIALIS	7	8	9	4	1	3
VIBRIO MIMICUS	-	4	-	3	-	1
AEROMONAS HYDROPHILA	47	48	41	21	16(1)	12
AEROMONAS SOBRIA	18(1)	31	16	5	1	4
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	49	57	30	13	10	9
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	11	19	9	4	2	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	487	355	225	219	187	114
CAMPYLOBACTER COLI	7	7	3	1	2	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	754	731	403	421	422	290
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	688	686	566	543	537	478
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	21	19	38	20	25	16
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	11	12	11	10	6	2
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	1	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E. coli</i> categorized by pathogenicity						
ENTEROINVASIVE E. COLI	32	51	33	12	16	3
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	99	162	112(1)	89	100	88
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	629	640	565	315	437	261
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	126	81	38	21	9	11(1)
E. COLI OTHER/UNKNOWN	275	374(2)	327(1)	197	205	199
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars						
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	1(1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	1	5(2)	1	2	3(2)	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	1	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 6	1	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1	1(1)	-	-	-	-
S. SONNEI	3(1)	6(3)	7(3)	8(1)	1	1

2-4-2. 分離材料：穿刺液（胸水、腹水、關節液など）

2-4-2. Specimen : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	6330	471	489	475	458	535	542	548	552	578	587	563	532
ESCHERICHIA COLI	990	92	90	66	76	85	79	103	86	83	76	75	79
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	510	33	39	39	42	46	44	46	48	48	46	39	40
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	46	3	1	12	5	7	4	2	2	-	1	5	4
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	710	51	49	44	46	69	77	74	75	50	61	60	54
MYCOBACTERIUM SPP.	24	3	3	2	1	3	-	1	1	1	5	2	2
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1889	128	138	152	134	139	170	153	173	187	168	184	163
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE (-)	994	65	77	71	70	86	85	83	98	80	98	99	82
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	71	8	3	6	7	11	4	7	4	3	4	2	12
ANAEROBES	1092	88	89	83	77	89	79	79	65	122	128	97	96
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-

2-4-3. 分離材料：髄液

2-4-3. Specimen : Cerebrospinal fluid

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	261	19	19	20	16	26	19	14	17	14	36	38	23
ESCHERICHIA COLI	24	-	-	1	-	-	4	-	3	-	13	3	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	51	4	4	3	3	1	4	2	-	7	8	7	8
LISTERIA MONOCYTOGENES	4	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	102	7	7	7	5	14	8	9	10	1	10	20	4
STREPTOCOCCUS GROUP B	14	-	4	-	2	-	-	1	2	1	1	2	1
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	66	7	4	8	6	11	2	1	2	5	4	6	10

2-4-4. 分離材料：血液

2-4-4. Specimen : Blood

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	T	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	5744 (17)	438	426	408	462 (8)	470 (2)	469 (2)	585	480 (1)	506 (1)	552	494 (2)	454 (1)
ESCHERICHIA COLI	924	57	78	67	87	90	65	97	71	71	80	78	83
SALMONELLA TYPHI	24 (14)	4	-	1	7 (7)	2 (2)	3 (1)	2	1 (1)	1 (1)	1	1 (1)	1 (1)
SALMONELLA PARATYPHI A	8 (3)	1	1	-	2 (1)	-	1 (1)	1	-	1	-	1 (1)	-
SALMONELLA SPP.	40	4	5	-	3	4	1	4	4	5	5	2	3
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	48	4	4	1	2	-	5	4	2	5	9	8	4
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	435	25	45	20	33	31	31	56	32	39	38	50	35
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1651	106	112	147	111	158	126	143	163	147	181	135	124
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE (-)	2098	196	138	130	155	155	195	233	172	201	195	173	155
STREPTOCOCCUS GROUP B	82	5	9	1	9	6	5	6	9	3	9	8	12
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	142	16	10	19	15	11	8	15	7	5	9	11	16
ANAEROBES	291	20	24	22	38	14	29	24	19	28	25	27	21
PLASMODIUM SPP.	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-

2-4-5. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料

2-4-5. Specimen : Nasopharyngeal source

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D	
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	36961	2980	2941	3264	2905	4224	4149	3337	1813	1815	2366	3370	3797
BORDETELLA PERTUSSIS	37	2	2	1	2	14	3	3	3	5	2	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	16644	1427	1299	1402	1243	1829	1922	1724	937	858	1036	1352	1615
STREPTOCOCCUS GROUP A	10608	860	857	1063	838	1247	1146	776	404	423	627	1120	1247
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	9672	691	783	798	822	1134	1078	834	469	529	701	898	935

2-4-6. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

2-4-6. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D	
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	116376	9310	9610	10097	8841	11051	9953	10253	9938	9586	9618	9903	8216
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4814	166	304	376	310	477	364	448	558	457	405	440	429
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	12511	832	959	979	823	1125	1067	1298	1225	1330	1057	1059	757
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	7798	705	618	641	634	782	751	712	623	517	647	607	561
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	32344	2639	2498	2687	2316	2824	2754	2895	2847	2837	2854	2964	2229
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	44668	3767	4000	4126	3490	4268	3801	3720	3607	3503	3527	3676	3183
STREPTOCOCCUS GROUP A	815	65	64	95	56	133	79	58	66	50	50	52	47
STREPTOCOCCUS GROUP B	5277	486	437	463	456	500	449	397	403	364	452	463	407
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	7897	636	624	724	732	917	680	898	588	506	593	615	584
ANAEROBES	221	11	23	6	21	25	7	23	18	20	30	21	16
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	28	3	3	-	2	-	1	4	3	2	1	6	3

2-4-7. 分離材料：尿

2-4-7. Specimen : Urine

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D	
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	151064	11404	12013	12288	10783	13986	13610	14209	13823	13846	12423	12985	9694
ESCHERICHIA COLI	41981	3115	3256	3349	3197	4100	3882	3671	3866	3821	3310	3711	2703
ENTEROBACTER SPP.	5723	410	413	385	372	464	525	608	572	556	534	494	390
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	9959	697	732	769	596	837	919	964	994	1096	809	929	617
ACINETOBACTER SPP.	2002	130	128	140	161	196	182	236	212	185	157	163	112
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	20649	1597	1651	1558	1386	1799	1878	1814	2052	2070	1777	1784	1283
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	11854	911	981	1038	895	1066	1004	1009	1028	952	1055	1080	835
STAPHYLOCOCCUS COAGULASE(-)	19724	1525	1485	1512	1395	1785	1829	2169	1831	1753	1729	1480	1231
ENTEROCOCCUS SPP.	32507	2486	2733	2769	2349	3105	2828	3167	2717	2869	2573	2788	2123
CANDIDA ALBICANS	6665	533	634	788	432	634	563	571	551	544	479	556	400

2-4-8. 分離材料：陰部尿道頭管擦過（分泌）物

2-4-8. Specimen : Genitourinary source

	T	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
O	J	F	M	A	M	J	J	A	S	O	N	D	
A	A	E	A	P	A	U	U	U	E	C	O	E	
L	N	B	R	R	Y	N	L	G	P	T	V	C	
T O T A L	27195	1872	2168	2061	1785	2441	2462	2625	2551	2576	2522	2458	1674
NEISSERIA GONORRHOEAE	1076	78	66	62	72	96	81	107	106	114	113	103	78
STREPTOCOCCUS GROUP B	9213	808	795	707	815	863	857	881	804	799	853	866	565
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	2925	242	201	198	200	215	235	261	258	259	291	362	203
UREAPLASMA	304	14	26	12	19	37	21	28	61	31	28	18	9
CANDIDA ALBICANS	13094	886	1038	1041	806	1178	1227	1293	1263	1317	1192	1069	784
TRICHOMONAS VAGINALIS	583	44	42	41	73	52	41	55	59	56	45	40	35

2-4-9. 検出された *Staphylococcus aureus* のメチシリン感受性の内訳
 2-4-9. *Staphylococcus aureus* categorized by sensitivity to methicillin

	TOTAL	1月 JAN.	2月 FEB.	3月 MAR.	4月 APR.	5月 MAY	6月 JUN.	7月 JUL.	8月 AUG.	9月 SEP.	10月 OCT.	11月 NOV.	12月 DEC.
MRSA													
糞	3818	304	293	250	261	322	308	389	378	332	339	363	279
穿刺液	838	43	55	64	67	45	84	68	63	89	83	94	83
髄液	58	6	4	3	5	9	4	5	5	1	5	11	-
血液	963	63	72	97	65	89	59	98	95	83	96	76	70
下気道	27269	2237	2409	2507	2102	2579	2338	2280	2324	2166	2094	2321	1912
尿	7158	542	602	620	564	633	597	564	643	558	633	674	528
MSSA													
糞	2106	139	113	207	150	135	205	257	266	202	127	141	164
穿刺液	822	62	64	72	57	70	65	65	86	76	68	80	57
髄液	27	1	1	4	-	-	4	1	5	-	3	7	1
血液	524	32	34	37	30	52	56	35	54	53	59	37	45
下気道	10549	907	932	994	762	1037	823	981	827	734	859	981	812
尿	3051	221	245	285	195	293	276	298	261	229	251	294	203
未検査													
糞	476	39	19	52	50	25	30	42	42	32	77	33	35
穿刺液	229	23	19	16	10	24	21	20	24	22	17	10	23
髄液	17	-	2	-	-	5	-	3	-	-	2	2	3
血液	164	11	6	13	16	15	11	10	14	11	26	22	9
下気道	6750	623	659	625	626	652	640	459	456	603	574	374	459
尿	1645	148	134	133	136	140	131	147	124	165	171	112	104
S. aureus													
糞	6400	482	425	509	461	462	543	686	686	566	543	537	478
穿刺液	1889	128	138	152	134	139	170	153	173	187	168	184	163
髄液	102	7	7	7	5	14	6	9	10	1	10	20	4
血液	1651	106	112	147	111	156	126	143	163	147	181	135	124
下気道	44668	3767	4000	4126	3490	4268	3801	3720	3607	3503	3527	3676	3193
尿	11854	911	981	1036	895	1066	1004	1009	1028	952	1055	1080	835

FLUID : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)
 CSF : Cerebrospinal fluid
 L.RESP.: Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)
 MRSA : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (methicillin resistant *Staphylococcus aureus*)
 MSSA : メチシリン感受性黄色ブドウ球菌 (methicillin sensitive *Staphylococcus aureus*)

3. 病原細菌検出数の報告機関別集計、由来ヒト、1996年

3. Isolation of bacteria from human sources, by participating laboratory, Japan, 1996

3-1. 地研・保健所

3-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 154~159)

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TOTAL	1	1	1	2	3	4	4	5	6	7
合	北	礼	函	青	岩	宮	仙	秋	山	福
計	海	幌	館	森	手	城	台	田	形	島
	道	市	市	県	県	県	市	県	県	県
T O T A L	19086(2001)	446(2)	112(1)	82(1)	117	277(3)	105(3)	109(4)	104(1)	69 868(40)
ESCHERICHIA COLI	5452(587)	87	37	4	5	252	26(1)	64(2)	37(1)	4 140(28)
SHIGELLA										
SHIGELLA DYSENTERIAE	6(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	83(47)	1	-	-	-	-	-	-	1	-
SHIGELLA BOYDII	7(5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	312(146)	2	1	-	3(3)	2	1(1)	-	-	-
SALMONELLA										
SALMONELLA TYPHI	34(20)	-	-	-	1	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	12(8)	1(1)	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	633(118)	46	20	2	1	3	-	2	-	3(1)
SALMONELLA GROUP O7	857(61)	25	4	1	28	-	1	-	-	24
SALMONELLA GROUP O8	426(43)	17	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O9	4274(69)	146	7	69	70	2	2	7	3	56 87(3)
SALMONELLA GROUP O9,46	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	152(76)	2	-	-	-	-	-	-	-	1
SALMONELLA GROUP O1,3,19	39(10)	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	28(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	51(1)	2	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	10	-	1	-	-	-	-	-	-	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	77	63	-	-	-	-	-	-	-	3
V.CHOLERAEE O1:ELTOR OGAWA,CT+	18(12)	1(1)	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
V.CHOLERAEE O1:ELTOR OGAWA,CT-	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAEE NON-O1&O139	45(28)	-	2	-	-	-	2(1)	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	1085(88)	34	2	-	12	11	20	15	19	6 19
VIBRIO FLUVIALIS	13(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	25(17)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	45(40)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	122(118)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	366(325)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	802(36)	3	9	-	1	-	1	-	15	7(7)
CAMPYLOBACTER COLI	17(9)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	174(124)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	328	-	2	5	2	-	9	-	-	8
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	354	14	22	-	-	-	28	-	-	-
BACILLUS CEREUS	33	-	4	-	-	5	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	2822	2	-	-	-	-	13	16	26	513
STREPTOCOCCUS GROUP B	114	-	-	-	-	-	-	1	1	17
STREPTOCOCCUS GROUP C	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	88	-	-	-	-	-	-	2	2	27
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	20	-	-	-	-	-	-	-	-	16
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳	E.coli categorized by pathogenicity									
ENTEROINVASIVE E.COLI	47(16)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	1203(422)	12	5	2	-	-	1(1)	20(2)	1(1)	4(3)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	1130(99)	-	12	2	-	-	10	34	4	115(25)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	2793(3)	75	9	-	5	249	15	10	20	4 14
E.COLI OTHER/UNKNOWN	279(47)	-	11	-	-	3	-	-	12	7
赤痢菌血清型別の内訳	Shigella serovars									
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	3(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 7	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	10(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	30(15)	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	5(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	11(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	5(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 4	3(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	10(9)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR X	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR Y	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	4(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR UNKNOWN	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	312(146)	2	1	-	-	3(3)	2	1(1)	-	-

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	0	0	1	1	1	1	1	1	1
	8	9	0	1	2	2	3	4	4
	1	1	1	1	1	2	1	1	2
	茨	栃	群	埼	千	千	東	神	横
	城	木	馬	玉	葉	葉	京	奈	横
	県	県	県	県	県	市	都	川	市
	県	県	県	県	県	市	都	川	市
T O T A L	209(10)	159(15)	263(7)	1597(198)	1263(35)	34(12)	2306(944)	240(11)	668(15)
ESCHERICHIA COLI	94(1)	5(4)	171(5)	162(85)	53(3)	4	554(284)	32(1)	500(1)
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-	1	-	1
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	4(3)	4(2)	-	7(5)	3(2)	1(1)	16(11)	-	3
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	1(1)	-	-	3(3)	-	1
SHIGELLA SONNEI	6(3)	3(3)	2(2)	21(11)	112(10)	-	51(40)	4(4)	11(3)
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	1	-	-	3(3)	10(7)	2(2)	1	-	3
SALMONELLA PARATYPHI A	-	-	-	1(1)	1(1)	-	1	-	-
SALMONELLA GROUP 04	15	5	2	45(12)	35(7)	4(3)	145(63)	5(2)	14
SALMONELLA GROUP 07	17	14	45	75(5)	53	3(1)	180(30)	7(2)	16
SALMONELLA GROUP 08	9	6	5	31(7)	12	2(2)	83(21)	3	8(2)
SALMONELLA GROUP 09	34	65(1)	15	168(12)	89	7	345(29)	51(1)	20(1)
SALMONELLA GROUP 09,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 03,10	1	4(3)	4	18(11)	4(1)	1(1)	54(32)	-	3(1)
SALMONELLA GROUP 01,3,19	-	2	-	7(4)	3(1)	-	12(4)	-	1
SALMONELLA GROUP 013	1	3	-	1	1	-	7(2)	-	-
SALMONELLA GROUP 018	-	-	-	1	-	-	2	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	12	-	4	4(1)	-	18	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	2	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	1	-	-	1	-
V.CHOLERAE 01:ELTOR OGAWA,CT+	-	-	-	2(1)	2(1)	-	4(3)	-	-
V.CHOLERAE 01:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	-	-	1(1)	1(1)	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-01&0139	-	-	-	1(1)	2	-	18(13)	-	2(1)
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	15	5(2)	4	22(10)	47	5	190(31)	18(1)	43(2)
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	-	-	2(2)	1	-
VIBRIO MIMICUS	-	1	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	-	-	-	-	-	-	3(3)	3	-
AEROMONAS SOBRIA	-	-	-	-	-	-	6(5)	1	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	-	117(117)	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	-	-	29(29)	-	-	152(121)	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	3(3)	6	-	21	4	4(1)	144(6)	7	16(3)
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	-	-	10(5)	-	1(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	-	-	-	-	-	120(119)	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	-	-	15	3	16	-	35	-	9
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	24	-	-	-	-	18	25	12
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	-	-	12	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	30	3
STREPTOCOCCUS GROUP A	8	-	-	847	808	-	2	44	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	-	76	-	-	-	3	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	4	-	-	-	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	-	-	45	-	-	-	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	2	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	1
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	3	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity									
ENTEROINVASIVE E.COLI	-	-	-	-	-	-	20(14)	1	2
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	43(1)	-	17(4)	95(85)	9(2)	1	334(228)	1	439(1)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	21	2(2)	52(1)	-	10(1)	1	174(42)	18(1)	31
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	8	1	102	67	34	2	26	10	28
E.COLI OTHER/UNKNOWN	22	2(2)	-	-	-	-	-	2	-
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars									
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	1	-	1
S.DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	-	1(1)	-	-	-	-	4(2)	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	2(2)	3(1)	-	3(2)	1(1)	-	5(3)	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	1(1)	-	-	1	-	1(1)	1(1)	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	1(1)	-	-	1(1)	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	1(1)	-	-	2(2)	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	2(2)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	1(1)	-	-	2(2)	-	1
S.BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI	6(3)	3(3)	2(2)	21(11)	112(10)	-	51(40)	4(4)	11(3)

3-1. Continued-(2)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
	4	4	5	5	6	7	8	9	0	1	1
	3	4	1	2	1	1	1	1	1	1	2
	川	嶺	新	新	宮	石	福	山	長	岐	岐
	崎	須	潟	潟	山	川	井	梨	野	阜	阜
	市	賀	県	市	県	県	県	県	県	県	市
T O T A L	363(158)	114(25)	173(4)	36(1)	140(7)	267(2)	269(9)	154(2)	198(13)	148(2)	354(3)
ESCHERICHIA COLI	90(52)	36(14)	31	1(1)	91(4)	147	17(6)	8(1)	53	31	137
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	1(1)	2(1)	1(1)	-	5(1)	-	-	10	-	-	-
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	16(15)	-	-	-	-	-	-	1	3(2)	-	-
SALMONELLA	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	2(1)	-	-
SALMONELLA TYPHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	7(3)	2	3	7	7(2)	-	1(1)	1(1)	4(2)	35	5(3)
SALMONELLA GROUP O7	9(4)	2	1	3	18	-	-	-	2	3	1
SALMONELLA GROUP O8	7(1)	2(2)	1(1)	2	1	-	1(1)	-	20	3	-
SALMONELLA GROUP O9	29(4)	42	8	1	4	-	202(1)	132	50(1)	22	211
SALMONELLA GROUP O9,4,6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	5(5)	-	2(2)	-	-	-	-	-	2(1)	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	3(1)	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
SALMONELLA GROUP O18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	-	-	-	-	-	2(1)	-	-	-	1	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	3(2)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	57(9)	12	70	4	10	9	30	2	19(4)	49	-
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	4(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	7(7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	1(1)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIONOMAS SHIGELLOIDES	39(38)	4(4)	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	72(12)	-	11	1	-	-	18	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	9(4)	3	-	-	-	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	-	-	-	-	1	-	-	-	25	-	-
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	31	17	-	-	-	-	12	-	-
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAЕ	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	7	-	-	-	2	108	-	-	3	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E. coli</i> categorized by pathogenicity											
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	-	15(12)	1	1(1)	2(2)	-	6(6)	1(1)	1	1	-
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	20(14)	12(2)	28	-	16(1)	-	7	5	28	5	1
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	1	9	1	-	20	147	2	2	23	25	136
E. COLI OTHER/UNKNOWN	69(38)	-	-	-	53(1)	-	2	-	1	-	-
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars											
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	1(1)	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	1(1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	16(15)	-	-	-	-	-	-	1	3(2)	-	-

3-1. Continued-(3)

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	2	2	2	3	3	4	5	6	6	7	7	7	7	8	8
	1	2	3	1	2	1	1	1	2	1	2	3	1		
	静	静	浜	愛	名	三	滋	京	京	大	大	堺	兵		
	岡	岡	松	知	古	重	賀	都	都	阪	阪	庫	庫		
	県	市	市	県	屋	県	県	府	府	府	市	市	市	市	市
T O T A L	139(22)	32(29)	120(6)	209(9)	66(3)	213	447(8)	164	336	944(253)	377(6)	866	22		
ESCHERICHIA COLI	57(8)	3(2)	9	73	2(1)	61	65(2)	21	244	184(14)	163	779	15		
SHIGELLA															
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(2)	-	-	-		
SHIGELLA FLEXNERI	-	-	1	4(2)	-	-	-	-	-	15(15)	-	1	-		
SHIGELLA BOYDII	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SHIGELLA SONNEI	2	-	-	6(3)	-	2	4(3)	-	-	38(27)	1(1)	1	-		
SALMONELLA															
SALMONELLA TYPHI	1(1)	-	2(2)	1(1)	-	-	-	-	-	2(1)	-	-	-		
SALMONELLA PARATYPHI A	1(1)	-	1(1)	2(2)	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
SALMONELLA GROUP O4	5(2)	1(1)	3	18	3(2)	3	20	5	1	14(3)	3	4	-		
SALMONELLA GROUP O7	4(1)	10(10)	9	26(1)	20	3	26	2	3	38(5)	23	9	-		
SALMONELLA GROUP O8	3	2(1)	23	35	-	-	18	1	-	9(1)	-	5	-		
SALMONELLA GROUP O9	14(1)	1(1)	34	27	12	138	213	74	48	240(8)	83	15	7		
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
SALMONELLA GROUP O3,10	3(3)	-	-	7	-	-	1	-	-	14(5)	8(5)	2	-		
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-		
SALMONELLA GROUP O13	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-		
SALMONELLA GROUP O18	-	-	-	3	-	-	2	-	-	1	-	-	-		
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-		
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
V. CHOLERAEE O1:ELTOR OGAWA,CT+	1(1)	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	2(1)	-	-	-		
V. CHOLERAEE O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
VIBRIO CHOLERAEE NON-O1&O139	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7(7)	-	-	-		
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	32(3)	13(13)	22(1)	-	-	5	4	1	9	28	16	1	-		
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3(2)	-	1	-		
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
AEROMONAS HYDROPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11(11)	-	-	-		
AEROMONAS SOBRIA	-	-	2(1)	-	-	-	-	-	-	28(27)	-	-	-		
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	-	-	-	-	2(2)	1	1	126(124)	-	3	-	-		
CAMPYLOBACTER JEJUNI	-	-	11	-	-	28(1)	-	18	13	-	8	16	-		
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	4	1	-	-	28	-	5	-	3	3	3	3	-		
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	7	-	-	-	1	-	57	-	-	-	14	24	-		
BACILLUS CEREUS	-	-	1	-	-	-	-	5	2	2	-	-	-		
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-		
NEISSERIA GONORRHOEAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
STREPTOCOCCUS GROUP A	-	-	-	-	-	-	-	54	6	119	-	-	-		
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-		
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-		
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-		
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-		
BORDETELLA PERTUSSIS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-		
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity														
ENTEROINVASIVE E. COLI	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-		
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	2(2)	2(2)	-	-	1(1)	27	8(1)	1	3	32(14)	6	1	-		
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	-	-	3	-	1	18(1)	1	199	2	35	1	-	-		
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	4	1	6	73	-	33	33	13	41	150	122	777	15		
E. COLI OTHER/UNKNOWN	50(6)	-	-	-	-	-	4	6	-	-	-	-	-		
赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars														
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	3(3)	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	1	3(1)	-	-	-	-	-	4(4)	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	1	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3(3)	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-		
S. BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. SONNEI	2	-	-	6(3)	-	2	4(3)	-	-	38(27)	1(1)	1	-		

3-1. Continued-(4)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	8	8	8	9	0	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	2	3	4	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	
	神	姫	尼	奈	和	和	鳥	鳥	陶	広	山	徳	香	愛	高	
	戸	路	箇	良	歌	歌	取	浪	山	島	口	島	川	媛	知	
	市	市	市	県	山	山	県	県	県	市	県	県	県	県	県	
					県	市										
T O T A L	426(26)	57	28(1)	75	66	442	76(1)	26	222	109(41)	96(1)	74(3)	205	163	415(11)	
ESCHERICHIA COLI	26(4)	12	26(1)	57	51	9	50	10	60	50(26)	38	33(3)	97	41	76(10)	
SHIGELLA																
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	7(6)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
SALMONELLA																
SALMONELLA TYPHI	1	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	23(1)	-	-	2	-	1	2	-	-	3(3)	-	3	1	4	3	
SALMONELLA GROUP O7	11(2)	3	-	-	1	5	1	-	-	-	17	6	-	33	16	
SALMONELLA GROUP O8	5(1)	1	-	-	1	5	-	-	-	1(1)	1	3	-	1	4	
SALMONELLA GROUP O9	234(2)	32	1	10	11	392	5	-	154	31(2)	7	3	4	30	53	
SALMONELLA GROUP O9,46	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3(3)	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-
VIBRIO PARAHAEEMOLYTICUS	49(5)	5	1	4	2	-	15	-	8	12(3)	12	-	6	-	7(1)	
VIBRIO FLUVIALIS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	5(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	1	-	-	1	-	2	16	-	-	-	1	11	32	30	88	
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2(1)	-	-	1	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	24(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	11	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	25	1	-	-	-	-	-	-	2	15	8	38	7	13		
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	5	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	3		
BACILLUS CEREUS	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAЕ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	23	-	148	
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
病原大腸菌の内訳	<i>E.coli</i> categorized by pathogenicity															
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2	-	
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	-	6	1(1)	-	-	-	-	-	-	33(24)	-	2(2)	3	3	12(10)	
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	18(4)	-	3	-	-	35	-	-	-	-	11	15	47	26	52	
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	8	5	22	32	51	9	8	10	60	17(2)	27	16(1)	33	7	12	
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	-	-	25	-	-	7	-	-	-	-	-	-	3	-	
赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars															
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	7(6)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-

3-1. Continued-(5)

	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	0	0	0	1	2	2	3	3	4	5	6	7
	1	2	3	1	1	2	1	2	1	1	1	1
	福	福	北	佐	長	長	熊	熊	大	宮	鹿	沖
	岡	岡	九	賀	崎	崎	本	本	分	崎	児	縄
	県	市	州	県	県	市	県	市	県	県	島	県
			市									県
T O T A L	203(9)	239(21)	91(2)	96(6)	79	22	60	16	97(6)	322(9)	170	32
ESCHERICHIA COLI	18	80(12)	3(1)	33(2)	15	1	10	5	30(1)	31(6)	41	-
SHIGELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA DYSENTERIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
SHIGELLA BOYDII	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	8(8)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-
SALMONELLA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA TYPHI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 04	-	11(5)	-	1	26	8	-	-	9(1)	33	2	2
SALMONELLA GROUP 07	7	8	-	-	3	-	3	-	6	31	3	-
SALMONELLA GROUP 08	3	10(1)	-	1	-	-	-	-	12	64	4	-
SALMONELLA GROUP 09	59	92	47	15	33	-	25	5	23(2)	94	64	-
SALMONELLA GROUP 09.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP 03.10	-	1	-	-	-	-	-	-	2(1)	7(2)	-	-
SALMONELLA GROUP 01.3.19	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
SALMONELLA GROUP 013	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
SALMONELLA GROUP 018	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
V. CHOLERAЕ 01:ELTOR OGAWA, CT+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ 01:ELTOR OGAWA, CT-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-
VIBRIO PARAHAEOLYTICUS	3	4	2(1)	27(2)	1	11	5	-	-	7	2	-
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
AEROMONAS SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-	1	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	105(1)	19(1)	-	1(1)	-	2	-	-	9	40	7	-
CAMPYLOBACTER COLI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	-	8	-	2	-	-	-	-	-	4	25	-
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NEISSERIA GONORRHOEAЕ	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	-	-	37	-	-	-	-	-	-	-	1	30
STREPTOCOCCUS GROUP B	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP G	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-
OTHERS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity												
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	-	25(7)	-	2(2)	-	-	-	-	8(1)	10(5)	3	-
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	-	4(4)	1(1)	-	-	1	-	17	-	7	24	-
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	18	50	2	31	15	10	5	5	-	13	14	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars												
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	8(8)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-

3-2. 検疫所

3-2. Quarantine stations

(Refer to code map in page 154~159)

		海外旅行者 Imported cases																
		0	0	0	1	1	1	2	2	3	3	3	4	4	4	4		
TOTAL		8	5	1	1	2	1	4	3	2	4	2	2	3	1	1	2	
合計		千	青	仙	成	千	東	名	関	岡	広	高	福	徳	熊	鹿	那	
計		空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	空	
		港	港	港	港	港	港	空	港	港	港	港	港	港	港	空	港	
TOTAL		3759	2	4	21	1356	4	2	400	1742	3	8	4	1	206	1	2	3
ESCHERICHIA COLI		46	-	1	9	11	4	-	1	18	-	-	-	-	-	1	-	1
SHIGELLA																		
SHIGELLA DYSENTERIAE		8	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
SHIGELLA FLEXNERI		59	-	-	-	23	-	-	3	27	-	-	-	-	6	-	-	-
SHIGELLA BOYDII		13	-	-	-	6	-	-	-	6	-	-	-	-	1	-	-	-
SHIGELLA SONNEI		271	-	-	1	141	-	-	15	105	-	-	-	-	9	-	-	-
SALMONELLA																		
SALMONELLA TYPHI		2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4		51	-	-	-	1	-	-	22	17	-	-	-	-	11	-	-	-
SALMONELLA GROUP O7		70	-	-	-	14	-	-	25	22	-	1	1	-	7	-	-	-
SALMONELLA GROUP O8		53	-	-	1	9	-	-	25	12	1	2	1	-	2	-	-	-
SALMONELLA GROUP O9		90	-	-	1	31	-	-	25	22	-	2	-	-	9	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10		64	-	-	-	13	-	-	30	15	-	-	-	-	6	-	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19		7	-	-	-	2	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13		4	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18		2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS		4	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+		16	-	-	-	12	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139		169	-	-	1	97	-	-	14	49	-	-	-	-	8	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS		590	2	-	-	290	-	1	70	171	-	-	-	1	55	-	-	-
VIBRIO FLUVIALIS		29	-	-	-	12	-	-	-	14	-	-	-	-	3	-	-	-
VIBRIO MIMICUS		8	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA		78	-	1	-	1	-	-	-	74	1	-	-	-	-	1	-	-
AEROMONAS SOBRIA		189	-	-	-	9	-	1	-	179	-	-	-	-	-	-	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES		1932	-	2	8	672	-	-	166	989	1	2	1	-	88	-	1	2
STAPHYLOCOCCUS AUREUS		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
OTHERS		3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳		<i>E.coli</i> categorized by pathogenicity																
ENTEROINVASIVE E.COLI		9	-	-	1	1	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	1
ENTEROTOXIGENIC E.COLI		5	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE		31	-	-	8	9	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-
E.COLI OTHER/UNKNOWN		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤痢菌血清型別の内訳		<i>Shigella</i> serovars																
S.DYSENTERIAE SEROVAR 2		6	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 4		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 7		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A		2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B		7	-	-	-	3	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2A		20	-	-	-	9	-	-	2	8	-	-	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 2B		4	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 3A		5	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A		4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4		3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 5A		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 6		11	-	-	-	7	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN		2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 1		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 2		4	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 4		5	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 9		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 11		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S.BOYDII SEROVAR 14		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S.SONNEI		271	-	-	1	141	-	-	15	105	-	-	-	-	9	-	-	-

3-3. 医療機関
 3-3. General clinical institutions
 (Refer to code map in page 154~159)

3-3-1. 分離材料：糞便
 3-3-1. Specimen : Stool

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	4	5	6	7	8	9	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	
計	札幌 幌 市	青森 森 県	山形 形 県	栃木 木 県	群馬 馬 県	埼玉 玉 県	千葉 葉 県	千川 葉 市	新瀧 瀧 市	富山 山 県	石川 川 県	福井 井 県	山梨 梨 県		

T O T A L	27827(63)	3655	910	1573(1)	720	948(1)	84	398	116	7	811	1073(5)	2499	577(1)	131
ESCHERICHIA COLI	7182(9)	1074	2	424	55	392	7	78	16	7	46	155	1368	62	-
SHIGELLA															
SHIGELLA FLEXNERI	28(9)	1	1	6(1)	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	51(16)	2	4	4	-	-	-	-	2	-	-	3(3)	2	-	3
SALMONELLA															
SALMONELLA TYPHI	8(4)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	8(4)	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
SALMONELLA GROUP O4	550(7)	54	15	28	3	30	4	6	3	-	11	14(2)	26	7(1)	3
SALMONELLA GROUP O7	526(2)	38	8	31	3	23	1	2	4	-	8	22	42	8	3
SALMONELLA GROUP O8	224(1)	23	3	12	2	13	3	4	2	-	2	2	16	7	3
SALMONELLA GROUP O9	2895(1)	242	150	104	14	63	3	27	20	-	7	61	154	132	32
SALMONELLA GROUP O9,46	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	36(1)	3	1	1	-	-	1	-	-	-	1	1	11	1	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-
SALMONELLA GROUP O13	15	-	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	67	2	-	6	1	4	-	-	-	-	4	8	7	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	71	18	-	2	1	5	-	-	-	-	-	6	6	-	-
YERSINIA ENTEROCOLITICA	210	65	45	23	-	10	-	2	6	-	7	1	9	1	-
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	23(1)	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	1718(2)	66	110	178	11	23(1)	2	14	5	-	60	100	361	50	14
VIBRIO FLUVIALIS	32	5	2	2	-	1	-	1	-	-	3	-	1	1	-
VIBRIO MIMICUS	9	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	211(1)	26	2	15	3	7	-	22	-	-	9	11	6	-	-
AEROMONAS SOBRIA	93(1)	7	2	11	-	3	-	-	-	-	3	2	1	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	198	19	12	3	-	3	-	-	-	-	6	1	1	-	1
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	80(1)	6	3	8	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	2426(1)	147	14	138	62	24	5	44	16	-	55	66	228	42	14
CAMPYLOBACTER COLI	60	2	-	-	10	-	-	1	1	-	-	1	1	2	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	4385(1)	986	232	265	13	137	-	-	31	-	-	30	93	157	11
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	6400	787	301	307	540	205	58	166	7	-	498	584	136	101	47
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	190	73	-	-	-	2	-	31	-	-	83	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	80	8	-	1	-	-	-	-	-	-	7	-	7	-	-
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity														
ENTEROINVASIVE E. COLI	187	1	-	38	-	26	-	-	-	-	-	10	51	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	813(1)	320	-	53	4	125	-	-	4	-	-	32	44	4	-
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	3886(4)	303	-	142	51	224	7	72	1	-	46	72	1010	9	-
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	315(1)	14	2	8	-	10	-	1	11	7	-	9	5	5	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	1981(3)	436	-	185	-	7	-	5	-	-	-	32	258	44	-

赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars														
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	3(1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	16(5)	1	1	3(1)	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	4(1)	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	51(16)	2	4	4	-	-	-	-	2	-	-	3(3)	2	-	3

3-3-1. Continued-(1)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3
	2	3	3	5	7	7	8	8	8	9	0	1	2
	1	1	2	1	1	3	1	2	4	1	1	1	1
	静	愛	名	滋	大	堺	兵	神	尼	奈	和	鳥	島
	岡	知	古	賀	阪	市	庫	戸	崎	良	歌	取	根
	県	県	屋	県	府	市	県	市	市	県	山	島	県
			市								県		
T O T A L	373(10)	1866(4)	610(20)	378	735(9)	48	107(2)	648(3)	1(1)	1852	192	32	191(1)
ESCHERICHIA COLI	179(3)	494	103(4)	74	39	10	79(1)	47	1(1)	390	2	10	30
SHIGELLA													
SHIGELLA FLEXNERI	1(1)	-	1(1)	-	5(5)	-	-	1(1)	-	2	-	-	-
SHIGELLA SONNEI	1(1)	2(2)	6(4)	3	3(3)	-	-	3(2)	-	3	-	-	-
SALMONELLA													
SALMONELLA TYPHI	3(3)	1	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	1(1)	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	16	49	17(2)	6	23	1	5	30	-	44	1	-	6(1)
SALMONELLA GROUP O7	14	25	11(2)	3	23	4	5	35	-	50	5	2	7
SALMONELLA GROUP O8	7	26	14(1)	5	8	2	-	11	-	12	4	-	1
SALMONELLA GROUP O9	60	102	110(1)	67	185	16	9	134	-	266	37	1	9
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	-	-	2(1)	-	1	-	-	1	-	3	-	-	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	-	2	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O18	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	20	-	-	-	1	-	2	-	2	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	-	3	9	2	3	-	-	1	-	8	-	-	2
YERSINIA ENTEROCOLITICA	5	20	4	-	-	-	1	-	-	2	1	1	1
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	1	1	-	-	-	-	1(1)	2	-	1	-	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	28	63	12(1)	16	60	1	-	51	-	53	2	7	4
VIBRIO FLUVIALIS	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO MIMICUS	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	2	39	3	-	11(1)	-	-	1	-	2	3	-	9
AEROMONAS SOBRIA	2(1)	21	-	-	-	-	-	-	-	13	3	-	2
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	1	85	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	-	14(1)	1	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	49	200	145(1)	48	84	12	7	239	-	372	-	-	-
CAMPYLOBACTER COLI	1	18	15	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	-	100(1)	31	19	208	-	-	51	-	32	47	-	48
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	2	600	122	109	73	1	-	36	-	585	87	7	72
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳 <i>E.coli</i> categorized by pathogenicity													
ENTEROINVASIVE E. COLI	-	12	12	9	-	1	-	-	-	5	-	1	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	4	38	2	39	11	3	1(1)	4	-	6	-	3	-
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	-	271	87(4)	15	20	6	5	27	-	88	2	4	8
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	18	4	2	-	5	-	73	13	1(1)	57	-	2	-
E. COLI OTHER/UNKNOWN	157(3)	169	-	11	3	-	-	3	-	234	-	-	22
赤痢菌血清型別の内訳 <i>Shigella</i> serovars													
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	1(1)	-	3(3)	-	-	-	-	1	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
S. SONNEI	1(1)	2(2)	6(4)	3	3(3)	-	-	3(2)	-	3	-	-	-

3-3-1. Continued-(2)

() : 海外旅行者分再掲
 () : reported cases included in the total

	3	3	3	3	4	4	4	4	4
	3	4	5	7	0	1	2	3	4
	1	1	1	1	2	1	1	1	1
	岡	広	山	香	福	佐	長	熊	大
	山	島	口	川	岡	賀	崎	本	分
	県	県	県	県	市	県	県	県	県
T O T A L	977(1)	3750(2)	111	825	15	948	408	109(1)	149(1)
ESCHERICHIA COLI	228	1062	38	474	15	118	41	-	62
SHIGELLA									
SHIGELLA FLEXNERI	1	1	-	3	-	-	-	-	1
SHIGELLA SONNEI	2	7(1)	-	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA									
SALMONELLA TYPHI	-	1	-	-	-	-	1	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
SALMONELLA GROUP O4	23	71	1	12	-	22	4	7(1)	8
SALMONELLA GROUP O7	8	79	-	19	-	22	16	3	2
SALMONELLA GROUP O8	5	14	1	7	-	6	3	1	5
SALMONELLA GROUP O9	152	438	7	15	-	112	109	26	31
SALMONELLA GROUP O9.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3.10	-	7	-	-	-	1	-	1	-
SALMONELLA GROUP O1.3.19	4	1	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	4	-	-	-	3	-	-	1
SALMONELLA GROUP O18	-	1	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	2	-	8	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	-	-	1	-	2	-	-	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	3	1	-	1	-	-	-	-	1
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	6	6	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA, CT+	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	2	-	-	-	4	1	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	35	224	24	4	-	122	10	7	1
VIBRIO FLUVIALIS	-	5	3	1	-	1	-	2	-
VIBRIO MIMICUS	-	3	-	-	-	2	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	8	17	-	3	-	8	-	-	4
AEROMONAS SOBRIA	8	9	1	-	-	3	-	-	2
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	3	-	-	3	-	48	-	-	1
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	18	13	-	2	-	5	-	1	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	59	275	-	54	-	-	1	-	26
CAMPYLOBACTER COLI	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	95	1137	29	42	-	370	195	26	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	311	354	7	143	-	91	27	34	2
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	5	13	-	39	-	-	-	-	-
ENTAMOEBA HISTOLYTICA	-	2	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity								
ENTEROINVASIVE E. COLI	1	6	-	15	-	1	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	18	55	-	40	-	1	-	-	2
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE203		982	38	103	-	3	37	-	50
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	6	6	-	12	15	16	3	-	10
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	13	-	304	-	97	1	-	-
赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars								
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	3	-	-	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	2	7(1)	-	-	-	-	-	1	-

3-3-1. Continued-(2)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

	3	3	3	3	4	4	4	4	4
	3	4	5	7	0	1	2	3	4
	1	1	1	1	2	1	1	1	1
	岡	広	山	香	福	佐	長	熊	大
	山	島	口	川	岡	賀	崎	本	分
	県	県	県	県	市	県	県	県	県
T O T A L	977(1)	3750(2)	111	825	15	948	408	109(1)	149(1)
ESCHERICHIA COLI	228	1062	38	474	15	118	41	-	62
SHIGELLA									
SHIGELLA FLEXNERI	1	1	-	3	-	-	-	-	1
SHIGELLA SONNEI	2	7(1)	-	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA									
SALMONELLA TYPHI	-	1	-	-	-	-	1	-	-
SALMONELLA PARATYPHI A	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	1(1)
SALMONELLA GROUP O4	23	71	1	12	-	22	4	7(1)	8
SALMONELLA GROUP O7	8	79	-	19	-	22	16	3	2
SALMONELLA GROUP O8	5	14	1	7	-	6	3	1	5
SALMONELLA GROUP O9	152	438	7	15	-	112	109	26	31
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	-	7	-	-	-	1	-	1	-
SALMONELLA GROUP O1,3,19	4	1	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	4	-	-	-	3	-	-	1
SALMONELLA GROUP O18	-	1	-	-	-	-	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	-	-	-	2	-	8	-	-	-
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	-	-	1	-	2	-	-	1
YERSINIA ENTEROCOLITICA	3	1	-	1	-	-	-	-	1
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	6	6	-	-	-	-	-	-	-
V. CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	-	2	-	-	-	4	1	-	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	35	224	24	4	-	122	10	7	1
VIBRIO FLUVIALIS	-	5	3	1	-	1	-	2	-
VIBRIO MIMICUS	-	3	-	-	-	2	-	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	6	17	-	3	-	8	-	-	4
AEROMONAS SOBRIA	3	9	1	-	-	3	-	-	2
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	3	-	-	3	-	48	-	-	1
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	18	13	-	2	-	5	-	1	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI	59	275	-	54	-	-	1	-	26
CAMPYLOBACTER COLI	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	95	1137	29	42	-	370	195	26	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	311	354	7	143	-	91	27	34	2
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BACILLUS CEREUS	5	13	-	39	-	-	-	-	-
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	-	2	-	-	-	-	-	-	-
病原大腸菌の内訳	<i>E.coli</i> categorized by pathogenicity								
ENTEROINVASIVE E. COLI	1	6	-	15	-	1	-	-	-
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	18	55	-	40	-	1	-	-	2
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE203	-	982	38	103	-	3	37	-	50
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	6	6	-	12	15	16	3	-	10
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	13	-	304	-	97	1	-	-
赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars								
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	-	1	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	-	-	-	3	-	-	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	1	-	-	-	-	-	-	-	-
S. SONNEI	2	7(1)	-	-	-	-	-	1	-

3-3-2. 分離材料：穿刺液（胸水、腹水、関節液など）

3-3-2. Specimen : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	3	3	5	7	7	8	9	0	1	1
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	3	2	1	1	1	1
計	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	愛知県	名古屋	滋賀県	大阪府	堺市	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	
T O T A L	6330	1146	222	368	21	132	48	516	17	191	304	477	106	47	149	193	77	188	5	60	624	20	21
ESCHERICHIA COLI	990	120	51	110	8	34	4	72	7	28	60	46	33	13	30	22	14	21	1	4	46	7	2
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	510	71	19	39	1	13	3	33	1	28	33	11	14	5	19	9	10	18	-	3	34	2	2
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	46	3	-	1	-	-	-	-	-	1	2	25	1	1	-	-	-	2	-	-	4	-	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	710	191	22	30	2	9	3	44	-	15	25	44	5	5	7	30	11	34	-	9	53	4	3
MYCOBACTERIUM SPP.	24	5	-	1	-	-	-	8	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1889	361	42	73	5	29	15	161	1	69	57	216	28	12	26	80	34	49	1	27	189	1	9
STAPHYLOCOCCUS,COAGULASE(-)	994	243	31	47	2	14	3	52	-	28	42	93	16	1	19	38	5	28	-	10	100	3	4
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	71	5	2	-	-	1	-	2	-	3	1	21	2	2	2	10	1	3	-	2	3	-	1
ANAEROBES	1092	147	51	67	3	32	20	144	8	19	83	21	7	8	44	4	2	33	3	5	195	3	-
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3-3-2. Continued-(1)

	3	3	3	3	3	4	4	4
	2	3	4	5	7	1	2	3
	1	1	1	1	1	1	1	1
	鳥根	岡山	広島	山形	香川	佐賀	長崎	熊本
	県	県	県	県	県	県	県	県
T O T A L	43	178	440	44	403	155	88	47
ESCHERICHIA COLI	6	34	93	8	66	30	11	9
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	1	18	55	2	36	20	5	5
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	-	1	2	-	-	2	1	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	5	26	57	7	46	13	6	4
MYCOBACTERIUM SPP.	-	3	1	-	1	2	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	17	22	126	13	154	51	12	9
STAPHYLOCOCCUS,COAGULASE(-)	6	19	65	5	69	22	20	9
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	1	3	6	-	-	-	-	-
ANAEROBES	7	52	35	9	31	15	33	11
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	-	-	-

3-3-3. 分離材料：髄液

3-3-3. Specimen : Cerebrospinal fluid

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4			
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	5	6	7	8	9	2	3	3	5	7	8	9	0	1	2	3	4	7	1	2	3	
合	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
計	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県	名古屋	滋賀県	大阪府	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	岡山県	広島県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	
T O T A L	261	27	4	20	6	4	3	17	3	12	7	5	4	1	31	5	2	4	4	7	1	4	5	10	36	17	15	5	2
ESCHERICHIA COLI	24	1	-	2	3	-	-	11	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	51	2	1	2	1	-	1	2	-	1	3	2	-	-	2	2	-	3	-	-	-	2	-	2	13	6	3	3	-
LISTERIA MONOCYTOGENES	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	102	22	1	9	-	2	1	4	1	3	1	3	-	-	15	1	1	-	4	2	-	-	3	2	16	5	5	1	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	14	1	-	2	-	-	-	2	1	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	66	1	2	5	2	2	1	-	-	6	2	-	2	-	11	2	-	1	-	5	1	1	1	5	6	4	4	1	1

3-3-4. 分離材料：血液
3-3-4. Specimen : Blood

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	2	3	3	5	2	2	2
合計	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1
計	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県	名古屋市	名古屋市	名古屋市	名古屋市	名古屋市
T O T A L	5744(17)	772	98	230	142	181	91	649	39(1)	194	453(1)	353	71	80	8(8)	371	92(1)	60		
ESCHERICHIA COLI	924	72	13	37	26	25	13	120	11	36	95	96	17	11	-	72	13	3		
SALMONELLA TYPHI	24(14)	-	-	-	-	-	-	-	2(1)	1	1(1)	-	-	-	7(7)	1	-	-		
SALMONELLA PARATYPHI A	8(3)	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1(1)	-	2(1)	-		
SALMONELLA SPP.	40	4	1	4	1	-	-	-	-	2	2	-	3	-	-	3	-	-		
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	48	1	1	2	1	1	2	3	1	2	-	3	1	-	-	1	2	1		
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	435	48	1	15	6	11	10	82	1	17	45	20	2	2	-	27	8	3		
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1651	217	21	62	53	62	31	202	1	53	116	86	20	31	-	94	37	26		
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	2098	396	52	84	37	64	24	174	13	53	142	124	26	32	-	120	25	25		
STREPTOCOCCUS GROUP B	82	4	-	3	2	4	-	15	1	4	6	1	2	-	-	7	2	2		
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	142	6	2	10	8	2	2	12	4	2	17	8	-	1	-	16	2	2		
ANAEROBES	291	24	7	11	8	12	9	41	5	23	29	13	-	3	-	30	1	-		
PLASMODIUM SPP.	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-		

3-3-4. Continued

	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	3	3	3	3	3	3
	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	大阪府	兵庫県	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	熊本県	熊本県	熊本県	熊本県	熊本県	熊本県
T O T A L	103(1)	3	3(3)	109(1)	208(1)	29	39	112	291	403	58	122	140	134	106					
ESCHERICHIA COLI	15	-	-	13	39	7	3	9	36	65	2	17	24	23	11					
SALMONELLA TYPHI	3(1)	-	3(3)	1(1)	1	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-					
SALMONELLA PARATYPHI A	-	-	-	-	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
SALMONELLA SPP.	-	-	-	1	6	-	2	-	1	2	1	2	4	1	-					
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	3	-	-	-	1	-	3	2	5	3	-	5	1	3	-					
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	4	-	-	7	30	1	3	4	12	24	9	8	16	5	14					
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	27	-	-	39	45	12	15	30	107	106	17	37	32	29	43					
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE(-)	43	2	-	41	55	5	11	60	115	171	22	39	51	61	31					
STREPTOCOCCUS GROUP B	3	-	-	2	-	1	1	1	2	9	3	1	5	1	2					
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	3	-	-	4	8	2	1	1	4	10	1	6	3	3	2					
ANAEROBES	2	1	-	1	22	1	-	5	9	12	3	7	1	8	3					
PLASMODIUM SPP.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

3-3-5. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料
 3-3-5. Specimen : Nasopharyngeal source

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	2	3	3	5	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
計	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県	名古屋	滋賀県	
T O T A L	36961	6794	1219	2707	701	1960	186	172	638	1024	1211	3685	790	398	8	2080	852	370
BORDETELLA PERTUSSIS	37	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	16644	2998	516	1124	387	970	123	73	291	438	484	1631	445	105	-	1140	508	96
STREPTOCOCCUS GROUP A	10608	1473	513	964	241	468	35	61	93	422	524	1435	154	131	8	467	200	142
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	9672	2323	190	619	73	500	28	38	254	164	203	619	190	162	-	472	143	132

3-3-5. Continued

	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4			
	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	4		
	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	大阪府	堺市	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県		
T O T A L	1118	68	179	2843	71	187	470	579	3334	137	792	1135	941	44	268		
BORDETELLA PERTUSSIS	1	-	-	-	1	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-		
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	510	33	60	1230	13	105	252	280	1145	55	504	702	408	18	-		
STREPTOCOCCUS GROUP A	218	16	62	716	36	67	61	92	1167	28	126	162	246	12	268		
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	389	19	57	897	21	15	157	198	1022	53	162	271	287	14	-		

3-3-6. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料
 3-3-6. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates,
 specimen of the lower respiratory tract)

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	2	3
合計	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県
T O T A L	116376	17114	3462	8353	1914	3356	1063	4820	470	2599	4859	14703	2219	1043	5 3199
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4814	152	139	62	35	18	1	46	-	54	24	84	13	1	- 32
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	12511	1003	267	867	171	346	120	473	7	228	700	2627	420	139	- 374
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	7798	1322	288	580	87	227	94	130	210	202	432	768	160	82	- 322
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	32344	5797	938	2309	416	934	312	1594	28	623	1077	3704	456	246	- 735
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	44668	6377	1379	3635	1082	1442	459	2166	35	1072	1988	5699	962	437	- 1375
STREPTOCOCCUS GROUP A	815	40	7	39	11	19	10	3	15	19	67	206	15	4	- 13
STREPTOCOCCUS GROUP B	5277	1301	145	380	42	125	18	192	3	185	157	776	34	12	- 90
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	7897	1117	297	444	70	243	47	156	172	216	414	842	159	118	- 256
ANAEROBES	221	5	2	37	-	1	-	60	-	-	-	1	-	4	- 1
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	28	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	4 -

3-3-6. Continued

	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
	3	5	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2 3
	2	1	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 1
名古屋市	滋賀県	大阪府	堺市	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県
T O T A L	1675	1406	6366	111	1028	5294	386	515	1985	5238	12632	339	2943	4822	1295 1157
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	51	109	3084	-	2	460	11	19	2	69	88	7	37	176	34 4
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	190	164	282	30	112	386	42	84	351	841	1208	15	468	368	133 95
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	165	39	275	23	68	428	32	53	144	248	497	47	279	364	181 51
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	- -
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	397	339	1133	22	262	1353	110	143	460	1656	4020	105	866	1464	384 461
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	713	645	1278	19	467	2022	127	185	723	2014	4654	107	1083	1662	387 474
STREPTOCOCCUS GROUP A	16	4	13	-	4	12	-	4	5	10	245	3	14	12	4 1
STREPTOCOCCUS GROUP B	25	28	85	5	8	81	6	7	99	95	891	6	60	385	18 18
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	115	78	214	12	105	475	58	20	199	300	1026	48	134	391	118 53
ANAEROBES	3	-	2	-	-	63	-	-	2	-	3	-	1	-	36 -
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	-	-	-	-	-	14	-	-	-	5	-	-	1	-	- -

3-3-7. 分離材料：尿
3-3-7. Specimen : Urine

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	3	3		
合計	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	愛知県	名古屋市		
T O T A L	151064	31728	7055	8430	2346	3302	2101	4981	131	4138	5530	24562	2381	966	6173	1982	
ESCHERICHIA COLI	41981	10419	1711	2333	564	766	406	750	64	907	1649	8031	669	343	1206	638	
ENTEROBACTER SPP.	5723	1447	206	294	108	95	68	167	3	112	267	554	71	32	241	112	
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	9959	2090	321	518	167	154	114	380	9	174	398	2296	138	61	278	138	
ACINETOBACTER SPP.	2002	653	111	82	24	40	53	61	4	23	49	176	22	16	126	31	
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	20649	4217	969	1691	270	470	180	1008	13	371	899	3693	331	161	543	230	
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	11854	2155	545	681	360	259	169	739	8	169	502	1633	226	62	391	215	
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE (-)	19724	2712	1113	775	154	618	426	609	11	1311	507	1964	340	82	1431	175	
ENTEROCOCCUS SPP.	32507	7494	1524	1536	427	650	613	992	19	993	881	5082	505	153	1625	338	
CANDIDA ALBICANS	6665	541	555	520	272	250	72	275	-	78	378	1133	79	56	332	105	

3-3-7. Continued-(1)

	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4		
TOTAL	1	7	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3	
合計	滋賀県	大阪府	堺市	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	
T O T A L	2126	2533	317	1151	7292	517	336	988	6195	14723	323	1971	4967	1184	635	
ESCHERICHIA COLI	580	674	72	362	1744	149	134	251	856	4510	113	412	1216	332	120	
ENTEROBACTER SPP.	65	62	3	63	530	24	13	52	236	507	19	155	124	51	42	
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	103	132	15	51	285	53	25	120	380	1008	26	81	316	78	50	
ACINETOBACTER SPP.	11	21	10	18	33	5	-	10	72	199	1	34	74	32	11	
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	333	215	13	167	881	53	47	180	901	1476	47	416	585	195	94	
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	196	226	30	89	810	48	15	84	392	1098	23	143	471	76	39	
STAPHYLOCOCCUS, COAGULASE (-)	431	525	79	91	1124	91	53	111	1350	2323	18	246	787	135	132	
ENTEROCOCCUS SPP.	277	537	55	235	1320	89	43	148	1781	3134	75	397	1230	260	94	
CANDIDA ALBICANS	130	141	40	75	565	5	6	32	227	468	1	87	164	25	53	

3-3-8. 分離材料：陰部尿道頸管擦過（分泌）物
 3-3-8. Specimen : Genitourinary source

	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
TOTAL	1	2	6	9	0	1	2	2	5	6	7	8	9	3	3	5	7	
合	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1
計	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	愛知県	名古屋	滋賀	大阪府	
TOTAL	27195	3818	1537	1937	451	726	346	933	178	1024	1449	4891	648	292	769	1199	227	628
NEISSERIA GONORRHOEAE	1076	658	48	42	6	29	5	3	-	11	3	21	5	2	18	40	17	18
STREPTOCOCCUS GROUP B	9213	1156	640	679	168	269	183	288	157	493	143	1733	285	132	399	147	53	375
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	2925	1461	69	113	-	37	-	47	-	-	68	214	1	32	60	57	-	6
UREAPLASMA	304	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	31	235	-	-
CANDIDA ALBICANS	13094	494	719	1094	277	365	158	447	21	520	1207	2906	356	126	258	671	157	197
TRICHOMONAS VAGINALIS	583	45	61	9	-	26	-	148	-	-	23	7	1	-	3	49	-	32

3-3-8. Continued

	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
	7	8	9	0	1	2	3	4	5	7	1	2	3
	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	堺市	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県
TOTAL	129	458	1631	10	18	121	726	1742	32	559	406	152	158
NEISSERIA GONORRHOEAE	2	-	25	-	-	1	16	90	-	4	7	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP B	36	205	679	1	12	51	36	424	31	189	132	50	67
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	-	23	127	7	-	22	129	435	-	13	4	-	-
UREAPLASMA	-	-	-	-	-	23	1	-	-	-	-	-	-
CANDIDA ALBICANS	82	230	753	2	6	47	503	741	1	346	233	101	76
TRICHOMONAS VAGINALIS	9	-	47	-	-	-	19	51	-	7	30	1	15

4. サルモネラの菌型分布、1996年

4. *Salmonella* serovars isolated in Japan, 1996

4-1. 由来別集計、地研・保健所

4-1. *Salmonella* serovars, by source, 1996

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
02(A)	S. PARATYPHI A	12 (8)	-	-	-
04(B)	S. TYPHIMURIUM	173 (8)	6	13	45
	S. HEIDELBERG	173 (72)	-	2	3
	S. AGONA	49 (7)	15	2	22
	S. SAINTPAUL	43 (1)	-	-	7
	S. STANLEY	25 (9)	-	-	4
	S. PARATYPHI B	23 (1)	-	1	2
	S. DERBY	16 (10)	-	1	8
	S. SCHWARZENGRUND	15 (3)	12	3	1
	S. HAIFA	13	-	-	4
	S. BRANDENBURG	12	-	1	5
	S. READING	11	-	-	-
	S. BREDENEY	4	-	4	2
	S. II	3	-	1	12
	S. CHESTER	2 (1)	-	-	2
	S. AGAMA	1 (1)	-	-	3
	S. DUISBURG	1	-	-	1
	S. SCHLEISSHEIM	1	-	-	1
	S. EPPENDORF	1	-	-	-
	S. TSEVIE	-	-	-	2
	S. KAAPSTAD	-	-	-	1
	S. KIAMBU	-	-	1	-
	NOT TYPED	64 (5)	-	7	1
	SUBTOTAL	630 (118)	33	36	126
07(C1, C4)	S. INFANTIS	183 (2)	9	73	54
	S. THOMPSON	160 (1)	3	1	4
	S. MONTEVIDEO	89 (8)	-	2	14
	S. VIRCHOW	87 (4)	-	9	5
	S. TENNESSEE	56 (3)	-	-	9
	S. BAREILLY	46 (4)	-	-	4
	S. BRAENDERUP	38 (14)	-	-	2
	S. SINGAPORE	36	-	-	3
	S. MBANDAKA	18 (3)	1	4	4
	S. POTSDAM	13 (4)	-	-	3
	S. RISSEN	11 (5)	-	-	-
	S. ORANIENBURG	10	-	-	-
	S. OHIO	9 (3)	-	-	2
	S. LIVINGSTONE	8	-	-	-
	S. OTHMARSCHEN	7 (1)	-	-	-
	S. DJUGU	3 (2)	-	-	1
	S. II	2	-	-	11
	S. MIKAWASIMA	2	-	-	1
	S. NORWICH	2 (2)	-	-	-
	S. ISANGI	1 (1)	-	-	1
	S. ATHINAI	1	-	-	-
	S. CHOLERAESUIS	1	-	-	-
	S. LOCKLEAZE	1	-	-	-
	S. COLINDALE	-	-	-	1
	S. NIGERIA	-	-	-	1
	NOT TYPED	71 (4)	-	12	9
	SUBTOTAL	855 (61)	13	101	129

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-1. Continued-(1)

○群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
08 (C2, C3)	S. HADAR	97 (20)	-	9	41
	S. LITCHFIELD	85 (1)	-	-	7
	S. CORVALLIS	62	1	2	1
	S. NEWPORT	55 (4)	-	-	12
	S. BLOCKLEY	15 (7)	-	-	4
	S. MUENCHEN	14 (1)	-	-	3
	S. EMEK	7 (4)	-	-	-
	S. ALBANY	5	-	-	-
	S. CHAILEY	4	-	-	-
	S. BARDO	3	-	-	-
	S. NAGOYA	2	-	-	2
	S. BOVIS MORBIFICANS	2 (1)	-	-	1
	S. KENTUCKY	2	-	-	1
	S. NARASHINO	2	-	-	1
	S. APEYEME	2	-	-	-
	S. DUESSELDORF	2	-	-	-
	S. HAARDT	2 (1)	-	-	-
	S. PAKISTAN	2	-	-	-
	S. BELLEVUE	1	-	-	-
	S. MANHATTAN	1	-	-	-
	S. TANANARIVE	1 (1)	-	-	-
	S. VIRGINIA	1	-	-	-
	S. ISTANBUL	-	-	14	-
S. BREDA	-	-	-	3	
S. HINDMARSH	-	-	-	1	
NOT TYPED	63 (3)	-	7	18	
SUBTOTAL		430 (43)	1	32	95
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	3830 (59)	-	70	63
	S. TYPHI	35 (20)	-	-	-
	S. PANAMA	6 (3)	-	1	1
	S. EASTBOURNE	6 (1)	-	-	-
	S. JAVIANA	6	-	-	-
	S. DUBLIN	2 (1)	5	-	-
	S. MIYAZAKI	2	-	-	-
	S. MIAMI	1	-	-	-
	S. CLAIBORNE I	-	1	-	-
	NOT TYPED	440 (8)	-	-	3
	SUBTOTAL		4328 (92)	6	71
09, 46 (D2)	NOT TYPED	2	-	-	-
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	54 (27)	-	-	7
	S. WELTEVREDEN	25 (18)	-	-	-
	S. LONDON	20 (9)	-	-	2
	S. UGANDA	14 (2)	-	1	5
	S. LEXINGTON	9 (8)	-	-	-
	S. MUENSTER	6	-	-	1
	S. AMSTERDAM	6 (4)	-	-	-
	S. GIVE	5 (1)	-	-	-
	S. ORION	3 (1)	-	-	3
	S. AMAGER	3 (1)	-	-	-
	S. MELEAGRIDIS	2	-	-	-
	S. ZANZIBAR	1 (1)	-	-	-
NOT TYPED	5 (4)	-	-	2	
SUBTOTAL		153 (76)	-	1	20
01, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	31 (6)	-	2	23
	S. KREFELD	5 (4)	-	-	-
	S. DESSAU	-	-	-	1
	S. SAMBRE	-	-	-	1
	NOT TYPED	3	-	-	-
SUBTOTAL		39 (10)	-	2	25

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-1. Continued-(2)

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	ヒト HUMAN	動物 ANIMAL	食品 FOOD	環境 ENVIRONMENT
011 (F)	S. ABERDEEN	1	-	-	-
013 (G1, G2)	S. HAVANA	15 (1)	-	-	9
	S. POONA	3	-	-	-
	S. CUBANA	2	-	-	-
	S. WORTHINGTON	2 (1)	-	-	-
	S. GRUMPENSIS	1	-	4	-
	S. BORBECK	1	-	-	-
	S. CHAGOUA	1	-	-	-
	S. PUTTEN	1	-	-	-
	S. YARRABAH	1	-	-	-
	S. II	-	-	-	2
	S. RAUS	-	-	-	1
	NOT TYPED	1 (1)	-	-	1
	SUBTOTAL	28 (3)	-	4	13
016 (I)	S. HVITTINGFOSS	8	-	-	-
	S. GAMINARA	2	-	1	-
	S. ORIENTALIS	1	-	-	-
	S. SAPHRA	1	-	-	-
	S. SZENTES	1	-	-	-
	S. YORUBA	1	-	-	-
	SUBTOTAL	14	-	1	-
018 (K)	S. CERRO	12	-	-	4
	NOT TYPED	4	-	-	-
	SUBTOTAL	16	-	-	4
035 (O)	S. ADELAIDE	3	-	-	-
	S. ALACHUA	1	-	-	-
	SUBTOTAL	4	-	-	-
038 (P)	S. LANSING	2	-	-	-
039 (Q)	S. CHAMPAIGN	11	-	-	2
	S. WANDSWORTH	1	-	-	-
	SUBTOTAL	12	-	-	2
040 (R)	S. JOHANNESBURG	2	-	-	-
045 (W)	NOT TYPED	1 (1)	-	-	-
S. III A	NOT TYPED	-	-	-	1
GROUP UNKNOWN	群不明	22	1	3	5
	TOTAL	6551 (412)	54	251	487

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

4-2. 材料別集計、由来ヒト、医療機関

4-2. *Salmonella* serovars from human sources, by specimen, 1996
General clinical institutions

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	分離材料 SPECIMEN	
		糞便 STOOL	血液 BLOOD
O2(A)	S. PARATYPHI A	8 (4)	8 (3)
	NOT TYPED	1	-
	SUBTOTAL	9 (4)	8 (3)
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	72	-
	S. AGONA	17	-
	S. SAINTPAUL	13	-
	S. PARATYPHI B	12 (1)	-
	S. HEIDELBERG	9 (4)	-
	S. HAIFA	7 (1)	-
	S. CHESTER	3	-
	S. DERBY	2	-
	S. READING	2	-
	S. SCHWARZENGRUND	2	-
	S. STANLEY	2	-
	S. AGAMA	1	-
	S. SANDIEGO	1	-
	NOT TYPED	405 (1)	1
	SUBTOTAL	548 (7)	1
O7(C1,C4)	S. INFANTIS	70 (1)	-
	S. THOMPSON	26	-
	S. VIRCHOW	18 (1)	-
	S. MONTEVIDEO	14	-
	S. TENNESSEE	12	-
	S. ORANIENBURG	9	-
	S. LIVINGSTONE	8	-
	S. BAREILLY	7	-
	S. MBANDAKA	5	-
	S. BRAENDERUP	4	-
	S. GABON	3	-
	S. SINGAPORE	3	-
	S. OTHMARSCHEN	2	-
	S. GALIEMA	1	-
	S. II	1	-
	S. LAROCHELLE	1	-
S. MIKAWASIMA	1	-	
NOT TYPED	355	2	
SUBTOTAL	540 (2)	2	
O8(C2,C3)	S. LITCHFIELD	22	1
	S. HADAR	11	-
	S. NEWPORT	7 (1)	-
	S. CORVALLIS	4	-
	S. BLOCKLEY	3	-
	S. MUENCHEN	2	-
	S. NAGOYA	2	-
	S. CHAILEY	1	-
	S. HAARDT	1	-
	S. ISTANBUL	1	-
	NOT TYPED	177	1
SUBTOTAL	231 (1)	2	

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

4-2. Continued

O群 GROUP	血清型 SEROVAR	分離材料 SPECIMEN	
		糞便 STOOL	血液 BLOOD
O9 (D1)	S. ENTERITIDIS	803 (1)	5
	S. TYPHI	9 (4)	24 (14)
	S. MIYAZAKI	7	-
	S. PANAMA	5	-
	S. DUBLIN	1	2
	S. CLAIBORNEI	1	-
	S. JAVIANA	1	-
	NOT TYPED	2092	3
	SUBTOTAL	2919 (5)	34 (14)
O9, 46 (D2)	NOT TYPED	8	-
O3, 10 (E1, E2, E3)	S. WELTEVREDEN	4	-
	S. ANATUM	3	-
	S. AMAGER	2 (2)	-
	S. LONDON	1	-
	S. VEJLE	1 (1)	-
	NOT TYPED	25	-
	SUBTOTAL	36 (3)	-
O1, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	1	-
	NOT TYPED	14	-
	SUBTOTAL	15	-
O13 (G1, G2)	S. HAVANA	9	-
	S. ADJAME	1	-
	NOT TYPED	7	-
	SUBTOTAL	17	-
O18 (K)	S. CERRO	2	-
	NOT TYPED	9	-
	SUBTOTAL	11	-
O39 (Q)	NOT TYPED	1	-
GROUP UNKNOWN	群不明	118	19
TOTAL		4453 (22)	66 (17)

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

4-3. 報告機関別集計、由来ヒト、地研・保健所
 4-3. *Salmonella* serovars from human sources, by participating laboratory, 1996
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154~159)

		011	012	013	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141	
		北	礼	函	青	岩	宮	仙	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	千	東	神	
		海	幌	館	森	手	城	台	田	形	島	城	木	馬	玉	葉	葉	京	奈	
		道	市	市	県	県	県	市	県	県	県	県	県	県	県	県	市	都	川	
		道	市	市	県	県	県	市	県	県	県	県	県	県	県	県	市	都	川	県
O群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
O2(A)	S. PARATYPHI A	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	
O4(B)	S. HEIDELBERG	34	10	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	2	7	3	46	3	
	S. TYPHIMURIUM	7	9	1	-	3	-	1	-	3	5	2	-	15	16	1	35	1		
	S. AGONA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	4	4	-	16	-		
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-		
	S. STANLEY	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	8	-		
	S. PARATYPHI B	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	5	-		
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	6	-		
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	7	-		
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-		
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	-	4	-		
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	-	5	-		
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. DUISBURG	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. EPPENDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	7	-	-	2	1		
	SUBTOTAL	46	20	2	1	3	-	2	-	-	3	15	5	2	45	35	4	145	5	
O7(C1,C4)	S. INFANTIS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	8	20	1	33	2	
	S. THOMPSON	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	14	10	13	-	50	1	
	S. MONTEVIDEO	2	-	-	-	-	-	-	-	-	23	4	2	-	1	6	-	12	1	
	S. VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	30	1	-	9	-	
	S. TENNESSEE	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	4	-	11	2		
	S. BAREILLY	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	6	1	-	16	-	
	S. BRAENDERUP	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	6	2	-	7	-		
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	26	1	-	-	6	-		
	S. MBANDAKA	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	-	6	-		
	S. POTSDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	7	-		
	S. RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	5	-		
	S. ORANIENBURG	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	2	-		
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-		
	S. LIVINGSTONE	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2		
	S. DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	
	S. NORWICH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. ATHINAI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CHOLERAESUIS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. LOCKLEAZE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	-	-	-	26	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	1	
	SUBTOTAL	25	4	1	26	-	1	-	-	-	24	17	14	45	75	55	3	180	7	

4-3. Continued-(1)

		142	143	144	151	152	161	171	181	191	201	211	212	221	222	223	231	232	241	
		横 浜 市	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 県	新 潟 市	富 山 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	長 野 県	岐 阜 県	岐 阜 市	静 岡 県	静 岡 市	浜 松 市	愛 知 県	名 古 屋 市	三 重 県	
O群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
02(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	
04(B)	S. HEIDELBERG	11	1	-	-	-	-	-	1	-	2	30	3	-	-	1	-	2	-	
	S. TYPHIMURIUM	2	2	-	-	-	1	-	-	1	5	1	3	1	-	8	1	1		
	S. AGONA	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
	S. SAINTPAUL	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	
	S. STANLEY	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	
	S. PARATYPHI B	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	2	-	-	
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
	S. READING	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
	S. BREDENEY	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DUISBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. EPPENDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	1	2	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	SUBTOTAL	14	7	2	3	7	3	-	1	1	4	35	5	5	1	3	18	3	3	
07(C1,C4)	S. INFANTIS	6	-	1	-	-	5	-	-	-	1	1	-	-	-	1	6	-	1	
	S. THOMPSON	2	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	6	20	1	
	S. MONTEVIDEO	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	
	S. VIRCHOW	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. TENNESSEE	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	S. BAREILLY	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	5	-	-	-	
	S. BRAENDERUP	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	6	-	4	-	-	-	
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	
	S. POTSDAM	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RISSEN	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OHIO	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
	S. DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. NORWICH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S. ATHINAI	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHOLERAESUIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LOCKLEAZE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	
	SUBTOTAL	16	9	2	1	3	13	-	-	-	2	3	1	4	10	9	27	20	3	

4-3. Continued-(2)

		251	261	262	271	272	273	281	282	283	284	291	301	302	311	331	342	351	361	
		滋	京	京	大	大	堺	兵	神	姫	尼	奈	和	和	鳥	岡	広	山	徳	
		賀	都	都	阪	阪	市	庫	戸	路	崎	良	歌	歌	取	山	島	口	島	
		県	府	市	府	市	市	県	市	市	市	県	県	市	県	市	市	市	市	
O群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
O2 (A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
O4 (B)	S. HEIDELBERG	3	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. TYPHIMURIUM	7	-	-	5	2	1	-	-	-	-	2	-	1	2	-	1	-	-	3
	S. AGONA	4	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SAINTPAUL	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. STANLEY	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. PARATYPHI B	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	S. SCHWARZENGRUND	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BREDENEY	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. II	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. AGANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DUISBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. EPPENDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	1	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	20	5	1	14	3	4	-	23	-	-	2	-	1	2	-	3	-	3	
O7 (C1, C4)	S. INFANTIS	9	-	-	21	1	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	16	1	
	S. THOMPSON	2	-	-	2	-	2	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	S. MONTEVIDEO	5	-	-	3	21	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. VIRCHOW	2	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. TENNESSEE	6	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S. BAREILLY	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BRAENDERUP	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MBANDAKA	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. POTSDAM	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. RISSEN	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OHIO	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. II	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. NORWICH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. ATHINAI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. CHOLERAESUIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
S. LOCKLEAZE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
NOT TYPED	-	-	3	-	-	-	-	11	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	26	2	3	38	23	9	-	11	3	-	-	1	5	1	-	-	17	6	

4-3. Continued-(3)

		371	381	391	401	402	403	411	421	422	431	432	441	451	461	471	TOTAL
		香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 県	福 岡 市	北 九 州 市	佐 賀 県	長 崎 県	長 崎 市	熊 本 県	熊 本 市	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計
O群	血清型																
GROUP	SEROVAR																
02(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
04(B)	S. HEIDELBERG	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	173
	S. TYPHIMURIUM	1	1	-	-	1	-	-	4	-	-	-	5	11	1	-	173
	S. AGONA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7	2	-	49
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	-	2	-	-	43
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
	S. PARATYPHI B	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	16
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	15
	S. HAIFA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	13
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. DUISBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. EPPENDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	3	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	64
	SUBTOTAL	1	4	3	-	11	-	1	26	8	-	-	9	33	3	2	630
07(C1, C4)	S. INFANTIS	-	-	5	6	4	-	-	-	-	-	-	3	14	2	-	183
	S. THOMPSON	-	-	5	1	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	180
	S. MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89
	S. VIRCHOW	-	21	5	-	1	-	-	3	-	3	-	-	2	-	-	87
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	56
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	46
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
	S. POTSDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
	S. RISSEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10
	S. OHIO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9
	S. LIVINGSTONE	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	7
	S. DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. NORWICH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. ATHINAI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. CHOLERAESUIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. LOCKLEAZE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71
	SUBTOTAL	-	33	16	7	8	-	-	3	-	3	-	6	31	3	-	855

4-3. Continued-(4)

		011	012	013	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141
		北海道	札幌市	函館市	青森県	岩手県	宮城県	仙台市	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	東京都	神奈川県
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
08 (C2, C3)	S. HADAR	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	11	-	2	33	1
	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	7	3	-	8	6	-	20	-
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	S. NEWPORT	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	1	-	10	1
	S. BLOCKLEY	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	6	-
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-
	S. BARDO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. APEYEME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	S. BOVIS MORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	S. HAARDT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-
	S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BELLEVUE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S. TANANARIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	1	1	
	SUBTOTAL	17	1	-	-	-	1	-	-	-	-	9	6	5	31	12	2	63	3
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	146	7	69	-	1	2	7	9	-	87	33	65	11	161	23	7	340	50
	S. TYPHI	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	3	10	2	1	-
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2	-	
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIAMI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	70	1	-	-	-	56	-	-	-	-	4	1	-	1	1
		SUBTOTAL	146	7	70	70	3	2	7	9	56	87	35	65	15	171	99	9	346
09, 46 (D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	22	-
	S. WELTEVREDEN	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3	2	-	-	8	-
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	7	-	
	S. UGANDA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	
	S. LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	
	S. MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
	S. GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	2	-	
	SUBTOTAL	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	4	18	4	1	54	-	
01, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	2	-	11	-	
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	1	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	3	-	12	-	
011 (F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
013 (G1, G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	3	-	
	S. POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	S. CUBANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BORBECK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. GRUMPENSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	1	-	7	-	

4-3. Continued-(5)

		142	143	144	151	152	161	171	181	191	201	211	212	221	222	223	231	232	241	
		機	川	横	新	新	富	石	福	山	長	岐	岐	静	静	浜	愛	名	三	
		浜	崎	須	潟	潟	山	川	井	梨	野	阜	阜	岡	岡	松	知	古	重	
		市	市	賀	県	市	県	県	県	県	県	県	市	県	市	市	県	屋	県	
		市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	
O群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
08 (C2, C3)	S. HADAR	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-
	S. LITCHFIELD	6	3	2	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	15	-	-	
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
	S. NEWPORT	-	-	-	-	-	1	-	1	-	19	1	-	-	-	-	-	7	-	-
	S. BLOCKLEY	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	S. BARDO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. APEYEME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. HAARDT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
	S. BELLEVUE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. TANANARIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	23	1	-	-	
	SUBTOTAL	8	7	5	1	2	1	-	1	-	20	3	-	3	2	23	34	-	-	
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	20	28	46	8	-	3	-	201	132	49	21	211	13	-	34	26	12	138	
	S. TYPHI	3	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	2	1	-	-	
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DUBLIN	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIAMI	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		SUBTOTAL	23	29	46	8	1	3	1	202	132	52	22	211	15	1	36	27	12	138
09, 46 (D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-	
	S. WELTEVREDEN	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	
	S. LONDON	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. UGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. LEXINGTON	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. GIVE	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORION	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	3	5	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	3	-	-	8	-		
01, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
011 (F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
013 (G1, G2)	S. HAVANA	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	
	S. POONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CUBANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. WORTHINGTON	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-		
	S. BORBECK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. GRUMPENSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	SUBTOTAL	-	3	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	3	-		

4-3. Continued-(8)

		251	261	262	271	272	273	281	282	283	284	291	301	302	311	331	342	351	361	
		滋	京	京	大	大	绿	兵	神	姬	尼	奈	和	和	鳥	岡	広	山	徳	
		賀	都	都	阪	阪	線	庫	戸	路	侍	良	歌	歌	取	山	島	口	島	
		県	府	府	府	府	市	県	市	市	市	県	県	市	県	県	市	県	県	
○群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
08 (C2, C3)	S. HADAR	13	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. LITCHFIELD	4	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. CORVALLIS	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. NEWPORT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. WUENCHEN	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BARDO	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. APEYEME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BOVISMORBIFICANS	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. HAARDT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BELLEVUE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. TANANARIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	18	1	-	9	-	5	-	5	1	-	-	1	5	-	-	1	1	3	
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	212	71	-	240	83	15	7	-	32	1	10	11	392	6	154	31	7	3	
	S. TYPHI	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. JAVIANA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MIAMI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	48	-	-	-	-	234	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	213	71	48	242	83	15	7	235	32	1	10	11	392	6	154	31	7	3	
09.46 (D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	-	-	-	7	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
	S. WELTEVREDEN	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LONDON	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. UGANDA	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LEXINGTON	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MUENSTER	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
	S. GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ORION	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	1	-	-	14	8	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	3	-	1	
01.3.19 (E4)	S. SENFTENBERG	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	2	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
011 (F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
013 (G1, G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. POOMA	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CUBANA	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. BORBECK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. GRUMPENSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

4-3. Continued-(7)

		371	381	391	401	402	403	411	421	422	431	432	441	451	461	471	TOTAL	
		香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 県	徳 島 市	北 九 州 市	佐 賀 県	長 崎 県	長 崎 市	熊 本 県	熊 本 市	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計	
O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
08 (C2, C3)	S. HADAR	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	97
	S. LITCHFIELD	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	85
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	49	2	-	-	62
	S. NEWPORT	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	55
	S. BLOCKLEY	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	14
	S. EMEK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	7
	S. ALBANY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
	S. BARDO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. APEYEME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. DUESSELDORF	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. HAARDT	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. PAKISTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. BELLEVUE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	S. MANHATTAN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
S. TANANARIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
S. VIRGINIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
NOT TYPED	-	-	-	3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-	-	63	
	SUBTOTAL	-	1	4	3	10	-	1	-	-	-	-	12	64	5	-	430	
09 (D1)	S. ENTERITIDIS	4	11	53	59	92	59	14	33	-	25	5	22	93	66	-	3830	
	S. TYPHI	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	35	
	S. EASTBOURNE	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	S. MIAMI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	NOT TYPED	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	440
	SUBTOTAL	4	31	53	59	92	59	15	34	-	25	5	23	94	66	-	4328	
09, 46 (D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
03, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	54	
	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	
	S. UGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	14	
	S. LEXINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	
	S. AMSTERDAM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	
	S. MUENSTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	
	S. GIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S. MELEAGRIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S. ZANZIBAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	153	
01, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	31	
	S. KREFELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	39	
011 (F)	S. ABERDEEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
013 (G1, G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	15	
	S. POGNA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
	S. CUBANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S. WORTHINGTON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	S. BORBECK	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. CHAGOUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. GRUMPENSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. PUTTEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. YARRABAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	28

4-3. Continued-(6)

		011	012	013	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141
		北 海 道	札 幌 市	函 館 市	青 森 県	岩 手 県	宮 城 県	仙 台 市	秋 田 県	山 形 県	福 島 県	茨 城 県	栃 木 県	群 馬 県	埼 玉 県	千 葉 県	千 葉 市	東 京 都	神 奈 川 県
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
016(I)	S. HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-
	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	S. ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S. SAPHRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	S. SZENTES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. YORUBA	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-
018(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-
035(O)	S. ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
038(P)	S. LANSING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4	-
	S. WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	4	-
040(R)	S. JOHANNESBURG	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
045(W)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	2	-	-	-
合計	TOTAL	239	33	74	97	6	5	9	9	56	116	79	111	71	354	214	19	848	66

4-3. Continued-(9)

		142	143	144	151	152	161	171	181	191	201	211	212	221	222	223	231	232	241
		横 浜 市	川 崎 市	横 須 賀 市	新 潟 県	新 潟 市	富 山 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	長 野 県	岐 阜 県	岐 阜 市	静 岡 県	静 岡 市	浜 松 市	愛 知 県	名 古 屋 市	三 重 県
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
016(I)	S. HVITTINGFOSS	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SAPHRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SZENTES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	S. YORUBA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
018(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
035(O)	S. ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
038(P)	S. LANSING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
	S. WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
040(R)	S. JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
045(W)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
合計	TOTAL	65	61	55	15	13	20	1	204	133	81	65	217	32	14	73	126	35	144

4-3. Continued-(10)

		251	261	262	271	272	273	281	282	283	284	291	301	302	311	331	342	351	361	
		滋賀	京都府	京都府	大阪府	大阪府	堺市	兵庫県	神戸市	姫路市	尼崎市	奈良県	和歌山県	和歌山県	鳥取県	岡山県	広島市	山口県	徳島県	
○群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
016(I)	S. HVITTINGFOSS	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SAPHRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SZENTES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. YORUBA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
018(K)	S. CERRO	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	2	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
035(O)	S. ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
038(P)	S. LANSING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
040(R)	S. JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
045(W)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	TOTAL	282	79	52	328	117	37	7	278	38	1	12	13	408	9	154	38	26	18	

4-3. Continued-(11)

		371	381	391	401	402	403	411	421	422	431	432	441	451	461	471	TOTAL
		香 川 県	愛 媛 県	高 知 県	福 岡 県	福 岡 市	北 九 州 市	佐 賀 県	長 崎 県	長 崎 市	熊 本 県	熊 本 市	大 分 県	宮 崎 県	鹿 児 島 県	沖 縄 県	合 計
O群 GROUP	血清型 SEROVAR																
016(I)	S. HVITTINGFOSS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. ORIENTALIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. SAPHRA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. SZENTES	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. YORUBA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
018(K)	S. CERRO	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	12
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	SUBTOTAL	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	16
035(O)	S. ADELAIDE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
	S. ALACHUA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	4
038(P)	S. LANSING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
039(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	S. WANDSWORTH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
040(R)	S. JOHANNESBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
045(W)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	22
合計	TOTAL	5	69	76	69	125	59	17	63	8	28	5	53	237	78	2	6551

4-4. 報告機関別集計、由来とト、医療機関

4-4. *Salmonella* serovars from human sources, by participating laboratory, 1996

General clinical institutions

(Refer to code map in page 154~159)

4-4-1. 分離材料：糞便
4-4-1. Specimen : Stool

		012	021	051	061	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	221	231	232	
		札幌市	青森県	秋田県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県	名古屋	
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O2(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	1	
	NOT TYPED	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	1	
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	-	-	3	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	1	7	-	5	
	S. AGONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	
	S. SAINTPAUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	1	
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. SANDIEGO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	54	15	-	28	3	30	4	6	3	6	6	6	26	6	-	1	49	6
SUBTOTAL	54	15	3	28	3	30	4	6	3	11	14	26	7	3	16	49	17		
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14	-	-	-	2	-	1	
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	
	S. VIRCHOW	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	
	S. MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	
	S. TENNESSEE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	
	S. GABON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	S. II	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. LAROCHELLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
NOT TYPED	38	8	2	31	3	23	1	2	4	4	-	42	8	-	4	25	6		
SUBTOTAL	38	8	4	31	3	23	1	2	4	8	31	42	8	3	14	25	10		
O8(C2, C3)	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	
	S. HADAR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	
	S. NEWPORT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHATLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	S. HAARDT	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. ISTANBUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
NOT TYPED	23	3	-	12	2	13	3	4	2	2	-	16	7	-	-	26	6		
SUBTOTAL	23	3	1	12	2	13	3	4	2	2	2	16	7	3	7	26	14		

4-4-1. Continued-(1)

		251	271	273	281	282	291	301	311	321	331	341	351	371	411	421	431	441	TOTAL	
		滋賀	大阪府	堺市	兵庫	神戸	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	香川	佐賀	長崎	熊本	大分	合計	
O群	血清型																			
GROUP	SEROVAR																			
02 (A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	8
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	9
04 (B)	S. TYPHIMURIUM	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	35	-	3	2	-	-	-	6	72
	S. AGONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	2	-	-	-	-	17
	S. SAINTPAUL	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	-	-	-	-	13
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	12
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	9
	S. HAIFA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	7
	S. CHESTER	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. READING	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. STANLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. SANDIEGO	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	6	23	-	-	30	44	1	-	-	23	4	1	8	11	4	7	-	-	405
		SUBTOTAL	6	23	1	5	30	44	1	-	7	23	65	1	12	22	4	7	8	548
07 (C1, C4)	S. INFANTIS	-	-	1	4	-	-	-	-	1	-	34	-	3	5	-	-	-	2	70
	S. THOMPSON	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	10	-	2	7	-	-	-	-	26
	S. VIRCHOW	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	6	-	2	1	-	-	-	-	18
	S. MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	6	-	-	-	-	-	14
	S. TENNESSEE	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	12
	S. ORANIENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	9
	S. LIVINGSTONE	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8
	S. BAREILLY	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	5
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
	S. GABON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. SINGAPORE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. OTHMARSCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2
	S. GALIEMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. LAROCHELLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
NOT TYPED	3	23	-	-	35	50	5	-	-	8	2	-	3	6	16	3	-	-	355	
	SUBTOTAL	3	23	4	5	35	50	5	2	7	8	80	-	19	23	16	3	2	540	
08 (C2, C3)	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	3	2	-	-	-	-	22
	S. HADAR	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	11
	S. NEWPORT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
	S. BLOCKLEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. CHAILEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. HAARDT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. ISTANBUL	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	5	8	-	-	11	12	4	-	-	5	-	1	4	4	3	1	-	-	177
	SUBTOTAL	5	8	2	-	11	12	4	-	1	5	20	1	7	6	3	1	5	231	

4-4-1. Continued-(2)

		012	021	051	061	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	221	231	232
		札 幌 市	青 森 県	秋 田 県	山 形 県	栃 木 県	群 馬 県	埼 玉 県	千 葉 県	千 葉 市	新 潟 県	富 山 県	石 川 県	福 井 県	山 梨 県	静 岡 県	愛 知 県	名 古 屋 市
O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	-	-	43	-	-	2	-	-	4	4	51	-	-	32	58	-	67
	S. TYPHI	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	1	1
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
	S. CLAIBORNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	242	150	-	104	14	61	3	27	15	3	7	154	132	-	-	102	43
SUBTOTAL	242	151	43	104	14	63	3	27	20	7	60	154	132	32	63	103	111	
O9,46(D2)	NOT TYPED	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-
O3,10(E1,E2,E3)	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	S. VEJLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	3	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	11	1	-	-	-	-
SUBTOTAL	3	1	-	1	-	-	1	-	-	1	1	11	1	-	-	-	2	
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2	-
SUBTOTAL	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2	-	
O13(G1,G2)	S. HAVANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	S. ADJAME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SUBTOTAL	-	-	1	2	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
O18(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-
SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1	
O39(Q)	NOT TYPED	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GROUP	UNKNOWN 群不明	18	-	-	8	2	9	-	-	-	-	2	13	-	-	-	3	9
合計	TOTAL	381	179	52	186	26	139	12	39	31	29	111	274	161	41	101	208	165

4-4-1. Continued-(3)

		251	271	273	281	282	291	301	311	321	331	341	351	371	411	421	431	441	TOTAL
		滋	大	堺	兵	神	奈	和	鳥	鳥	岡	広	山	香	佐	長	熊	大	合
		賀	阪	市	庫	戸	良	歌	取	根	山	島	口	川	賀	崎	本	分	計
		泉	府		県	市	県	山	県	県	県	県	県	県	県	県	県	県	計
O群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	-	-	16	9	-	-	-	-	8	1	412	-	3	65	-	-	28	803
	S. TYPHI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	9
	S. MIYAZAKI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	7
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	5
	S. CLAIBORNEI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. JAVIANA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	67	185	-	-	134	266	37	-	-	151	1	7	11	41	109	26	-	2092
	SUBTOTAL	67	185	16	9	134	266	37	1	8	152	416	7	14	111	110	26	31	2919
O9,46(D2)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
O3,10(E1,E2,E3)	S. WELTEVREDEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4
	S. ANATUM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	3
	S. AMAGER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	S. LONDON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. VEJLE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	25
SUBTOTAL	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	7	-	-	1	-	1	-	36	
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	1	1	-	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	14
	SUBTOTAL	1	1	-	-	1	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	15
O13(G1,G2)	S. HAVANA	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	-	-	-	9
	S. ADJAME	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	NOT TYPED	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
SUBTOTAL	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	3	-	-	-	1	17
O18(K)	S. CERRO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	NOT TYPED	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	SUBTOTAL	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	11
O39(Q)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	22	3	-	-	2	10	-	2	-	1	-	-	3	10	-	-	1	118
合計	TOTAL	104	245	24	19	216	386	47	5	23	195	594	9	55	176	133	38	49	4453

4-4-2. 分離材料：血液
4-4-2. Specimen : Blood

		012	021	061	091	122	151	161	171	181	221	231	232	271	281	282	291	311
		礼 嶋 市	青 森 県	山 形 県	栃 木 県	千 葉 市	新 潟 県	富 山 県	石 川 県	福 井 県	静 岡 県	愛 知 県	名 古 屋 市	大 阪 府	兵 庫 県	神 戸 市	奈 良 県	鳥 取 県
O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
02(A)	S. PARATYPHI A	-	-	2	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	1	-
04(B)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
07(C1,C4)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
08(C2,C3)	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
09(D1)	S. TYPHI	-	-	-	-	2	1	1	-	-	7	1	-	3	3	1	1	-
	S. ENTERITIDIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	-	-	2	1	1	-	2	7	2	-	3	3	1	1	2
GROUP	UNKNOWN 群不明	4	1	4	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
合計	TOTAL	4	1	6	1	2	3	3	2	3	8	4	2	3	3	2	2	2

4-4-2. Continued

		331	341	351	371	411	421	TOTAL
		岡 山 県	広 島 県	山 口 県	香 川 県	佐 賀 県	長 崎 県	合 計
O群	血清型							
GROUP	SEROVAR							
02(A)	S. PARATYPHI A	-	-	-	-	-	-	8
04(B)	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1
07(C1,C4)	NOT TYPED	-	-	-	-	1	-	2
08(C2,C3)	S. LITCHFIELD	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	-	-	-	-	-	-	2
09(D1)	S. TYPHI	-	1	-	-	3	-	24
	S. ENTERITIDIS	-	2	-	-	3	-	5
	S. DUBLIN	-	-	-	-	-	-	2
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	3
	SUBTOTAL	-	3	-	-	6	-	34
GROUP	UNKNOWN 群不明	1	-	1	2	-	1	19
合計	TOTAL	1	3	1	2	7	1	66

4-5. 報告機関別集計、由来動物、地研・保健所

4-5. *Salmonella* serovars from animal, by participating laboratory, 1996

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

(Refer to code map in page 154 ~ 159)

		011	041	121	161	TOTAL
		北 海 道	宮 城 県	千 葉 県	富 山 県	合 計
GROUP	SEROVAR					
O4(B)	S. AGONA	-	-	15	-	15
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	12	12
	S. TYPHIMURIUM	-	-	-	6	6
	SUBTOTAL	-	-	15	18	33
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	-	-	2	7	9
	S. THOMPSON	-	-	-	3	3
	S. MBANDAKA	-	-	-	1	1
	SUBTOTAL	-	-	2	11	13
O8(C2, C3)	S. CORVALLIS	-	-	-	1	1
O9(D1)	S. DUBLIN	2	-	-	3	5
	S. CLAIBORNEI	-	1	-	-	1
	SUBTOTAL	2	1	-	3	6
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	1	1
合計	TOTAL	2	1	17	34	54

4-6. 報告機関別集計、由来食品、地研。保健所

4-6. *Salmonella* serovars from food, by participating laboratory, 1996
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154~159)

		011	012	042	051	071	081	121	144	152	161	181	191	211	221	223	241	261	
		北	礼	仙	秋	福	茨	千	横	新	富	福	山	岐	静	浜	三	京	
		海	嶋	台	田	島	城	葉	須	潟	山	井	梨	阜	岡	松	重	都	
		道	市	市	県	県	県	県	賀	市	県	県	県	県	県	市	県	府	
〇群	血清型																		
GROUP	SEROVAR																		
04(B)	S. TYPHIMURIUM	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	S. BREDENEY	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. AGONA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. HEIDELBERG	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	1	-	1	4	6	1	-	1	1	-	-	-	2	1	-	-	
07(C1,C4)	S. INFANTIS	-	1	-	3	-	3	-	-	-	4	-	-	-	34	-	-	-	
	S. VIRCHOW	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. MONTEVIDEO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	SUBTOTAL	-	1	-	3	-	7	3	-	-	4	-	-	-	36	-	-	-	
08(C2,C3)	S. ISTANBUL	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HADAR	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	
	SUBTOTAL	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-	1	2	5	-	-	
09(D1)	S. ENTERITIDIS	2	1	1	1	1	3	1	1	-	-	1	5	-	2	3	3	3	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		SUBTOTAL	2	1	1	1	1	4	1	1	-	-	1	5	-	2	3	3	3
03,10(E1,E2,E3)	S. UGANDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
01,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
013(G1,G2)	S. GRUMPENSIS	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
016(1)	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	
合計	TOTAL	2	3	1	6	5	40	5	1	1	6	1	5	1	44	10	3	3	

4-6. Continued-(1)

		271	272	281	283	284	291	302	331	342	381	403	441	461	TOTAL
		大	大	兵	姫	尼	奈	和	岡	広	愛	北	佐	鹿	合
		阪	阪	庫	路	崎	良	歌	山	島	媛	九	賀	児	計
		府	市	県	市	市	県	山	県	市	県	州	県	島	
		市						市				市		県	
O群	血清型														
GROUP	SEROVAR														
O4(B)	S. TYPHIMURIUM	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	13
	S. BREDENEY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. SCHWARZENGRUND	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	S. AGONA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
	S. HEIDELBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. BRANDENBURG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. DERBY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. II	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	S. KIAMBU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7
	SUBTOTAL	7	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	3	2	36
O7(C1, C4)	S. INFANTIS	2	-	-	-	-	5	4	-	3	2	-	11	1	73
	S. VIRCHOW	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	9
	S. MBANDAKA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	S. MONTEVIDEO	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	S. THOMPSON	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	12
	SUBTOTAL	3	2	-	-	-	5	4	-	4	17	-	11	1	101
O8(C2, C3)	S. ISTANBUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
	S. HADAR	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	9
	S. CORVALLIS	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7
	SUBTOTAL	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	32
O9(D1)	S. ENTERITIDIS	10	-	2	1	6	-	4	4	-	-	3	7	5	70
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	SUBTOTAL	10	-	2	1	6	-	4	4	-	-	3	7	5	71
O3,10(E1, E2, E3)	S. UGANDA	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
O13(G1, G2)	S. GRUMPENSIS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
O16(I)	S. GAMINARA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
合計	TOTAL	23	2	2	1	6	5	9	4	6	22	3	23	8	251

4-7. 報告機関別集計、由来環境、地研。保健所

4-7. *Salmonella* serovars from environment, by participating laboratory, 1996
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154~159)

		012	121	142	143	161	221	222	223	241	271	281	302	311	342	391	403	441	
		札 幌 市	千 葉 県	横 浜 市	川 崎 市	富 山 県	静 岡 県	静 岡 県	浜 松 市	三 重 県	大 阪 府	兵 庫 市	和 歌 山 市	鳥 取 県	広 島 市	高 知 県	北 九 州 市	大 分 県	
O群 GROUP	血清型 SEROVAR																		
04(B)	S. TYPHIMURIUM	-	1	9	6	1	7	2	-	-	-	-	-	3	10	6	-	-	
	S. AGONA	-	9	1	-	1	3	1	-	-	-	-	-	2	4	1	-	-	
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1	-	-	-	-	
	S. DERBY	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	
	S. SAINTPAUL	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	
	S. BRANDENBURG	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	
	S. HAIFA	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. STANLEY	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
	S. AGAMA	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. HEIDELBERG	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. BREDENEY	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. CHESTER	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
	S. PARATYPHI B	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. TSEVIE	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. DUISBURG	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	S. KAAPSTAD	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	S. SCHLEISSHEIM	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
S. SCHWARZENGRUND	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
SUBTOTAL		1	12	11	17	2	18	3	1	-	-	-	-	22	30	8	-	1	
07(C1,C4)	S. INFANTIS	-	-	4	5	1	6	-	-	-	-	-	-	7	20	7	-	3	
	S. MONTEVIDEO	-	1	2	3	-	5	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-		
	S. II	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	10	-	-		
	S. TENNESSEE	-	-	3	2	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. VIRCHOW	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-		
	S. BAREILLY	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. MBANDAKA	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	S. THOMPSON	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	S. POTSDAM	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
	S. SINGAPORE	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. BRAENDERUP	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	S. OHIO	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	S. COLINDALE	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. DJUGU	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-		
	S. ISANGI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
S. MIKAWASIMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-			
S. NIGERIA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
NOT TYPED	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7	-	-			
SUBTOTAL		1	1	13	20	2	15	6	-	-	-	-	-	11	45	11	-	3	
08(C2,C3)	S. HADAR	-	-	3	3	-	2	-	-	-	-	-	-	12	20	-	-	1	
	S. NEWPORT	-	-	2	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-		
	S. LITCHFIELD	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
	S. BLOCKLEY	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-		
	S. BREDA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-		
	S. MUENCHEN	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-		
	S. NAGOYA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-		
	S. BOVISMORBIFICANS	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. CORVALLIS	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. HINDMARSH	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	S. KENTUCKY	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
S. NARASHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-			
NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	5	-	-	-	2		
SUBTOTAL		-	-	5	12	1	8	3	10	-	-	-	-	19	34	-	-	3	
09(D1)	S. ENTERITIDIS	-	-	5	6	-	4	7	2	6	1	1	6	4	16	1	2	1	
	S. PANAMA	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-		
SUBTOTAL		-	-	5	6	-	5	8	2	6	1	1	6	6	16	1	2	1	

4-7. Continued-(1)

		461 TOTAL	
		鹿 合	
		児 計	
		島 計	
		県	
O群	血清型		
GROUP	SEROVAR		
04(B)	S. TYPHIMURIUM	-	45
	S. AGONA	-	22
	S. I I	-	12
	S. DERBY	-	8
	S. SAINTPAUL	-	7
	S. BRANDENBURG	-	5
	S. HAIFA	-	4
	S. STANLEY	-	4
	S. AGAMA	-	3
	S. HEIDELBERG	-	3
	S. BREDENEY	-	2
	S. CHESTER	-	2
	S. PARATYPHI B	-	2
	S. TSEVIE	-	2
	S. DUISBURG	-	1
	S. KAAPSTAD	-	1
	S. SCHLEISSHEIM	-	1
	S. SCHWARZENGRUND	-	1
	NOT TYPED	-	1
		SUBTOTAL	-
07(C1, C4)	S. INFANTIS	1	54
	S. MONTEVIDEO	-	14
	S. I I	-	11
	S. TENNESSEE	-	9
	S. VIRCHOW	-	5
	S. BAREILLY	-	4
	S. MBANDAKA	-	4
	S. THOMPSON	-	4
	S. POTSDAM	-	3
	S. SINGAPORE	-	3
	S. BRAENDERUP	-	2
	S. OHIO	-	2
	S. COLINDALE	-	1
	S. DJUGU	-	1
	S. ISANGI	-	1
S. MIKAWASIMA	-	1	
S. NIGERIA	-	1	
NOT TYPED	-	9	
	SUBTOTAL	1	129
08(C2, C3)	S. HADAR	-	41
	S. NEWPORT	-	12
	S. LITCHFIELD	-	7
	S. BLOCKLEY	-	4
	S. BREDA	-	3
	S. MUENCHEN	-	3
	S. NAGOYA	-	2
	S. BOVIS MORBIFICANS	-	1
	S. CORVALLIS	-	1
	S. HINDMARSH	-	1
	S. KENTUCKY	-	1
	S. NARASHINO	-	1
	NOT TYPED	-	18
	SUBTOTAL	-	95
09(D1)	S. ENTERITIDIS	1	63
	S. PANAMA	-	1
	NOT TYPED	-	3
	SUBTOTAL	1	67

4-7. Continued-(2)

		012	121	142	143	161	221	222	223	241	271	281	302	311	342	391	403	441
		札幌市	千葉県	横浜市	川崎市	富山県	静岡県	静岡県	浜松市	三重県	大阪府	兵庫県	和歌山県	鳥取県	広島市	高知県	北九州	佐賀県
O群	血清型																	
GROUP	SEROVAR																	
O3,10(E1,E2,E3)	S. ANATUM	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
	S. UGANDA	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-
	S. ORION	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
	S. LONDON	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	S. MUENSTER	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	SUBTOTAL	-	-	1	5	-	-	2	-	-	-	-	-	3	9	-	-	-
O1,3,19(E4)	S. SENFTENBERG	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-
	S. DESSAU	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	S. SAMBRE	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-
O13(G1,G2)	S. HAVANA	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	1	-	-
	S. II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	S. RAUS	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	NOT TYPED	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	SUBTOTAL	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	1	-	-
O18(K)	S. CERRO	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
O39(Q)	S. CHAMPAIGN	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
S. III A NOT TYPED		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	TOTAL	2	13	39	62	5	51	24	15	6	1	1	6	66	163	21	2	8

4-7. Continued-(3)

		461 TOTAL	
		鹿 合	
		児 計	
		島	
		県	
O群	血清型		
GROUP	SEROVAR		
O3, 10 (E1, E2, E3)	S. ANATUM	-	7
	S. UGANDA	-	5
	S. ORION	-	3
	S. LONDON	-	2
	S. MÜNSTER	-	1
	NOT TYPED	-	2
	SUBTOTAL	-	20
O1, 3, 19 (E4)	S. SENFTENBERG	-	23
	S. DESSAU	-	1
	S. SAMBRE	-	1
	SUBTOTAL	-	25
O13 (G1, G2)	S. HAVANA	-	9
	S. II	-	2
	S. RAUS	-	1
	NOT TYPED	-	1
	SUBTOTAL	-	13
O18 (K)	S. CERRO	-	4
O39 (Q)	S. CHAMPAIGN	-	2
S. III A NOT TYPED		-	1
GROUP	UNKNOWN 群不明	-	5
合計	TOTAL	2	487

5. テフス菌、パラチフスA菌のファージ型分布、由来ヒト、1996年

5. Phage types of *S.Typhi* and *S.Paratyphi A* from human sources, Japan, 1996

5-1. テフス菌の月別ファージ型分布

5-1. *S.Typhi* phage types from human sources, by month, 1996

ファージ型別、集計：国立感染症研究所細菌部
 外来性細菌室
 Phage typing : Laboratory of Enteric Infection II,
 Department of Bacteriology, NIID

診定月 Month of diagnosis	テフス菌ファージ型										Phage type of <i>S.Typhi</i>						合計 Total	
	A	B1	B2	C1	C2	D1	D2	E1	E2	E9	M1	O	46	DVS*	UVS1**	Vi(-)		NT***
1月 JAN	1 (1)	1	-	1 (1)	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5 (2)
2月 FEB	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	1 (1)	-	-	-	-	-	4 (1)
3月 MAR	3 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)	-	2 (1)	-	-	-	-	-	6 (4)
4月 APR	1 (1)	-	-	-	-	4 (3)	1 (1)	-	-	6 (5)	-	-	1 (1)	1 (1)	-	-	-	14 (12)
5月 MAY	1	-	-	-	-	-	1 (1)	-	-	-	1 (1)	-	2 (1)	-	-	-	-	5 (3)
6月 JUN	5 (2)	-	-	-	2 (1)	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	-	-	11 (3)
7月 JUL	2 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	4 (2)
8月 AUG	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1 (1)	-	-	-	3 (2)
9月 SEP	1 (1)	1 (1)	1 (1)	-	-	-	2	1 (1)	-	-	-	-	2 (2)	1 (1)	-	-	-	9 (7)
10月 OCT	-	1 (1)	-	-	-	2	1 (1)	-	-	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	5 (4)
11月 NOV	-	1 (1)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4 (1)
12月 DEC	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1 (1)	-	-	-	2 (1)
合計 Total	15 (10)	4 (3)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (4)	9 (4)	6 (4)	1	2 (1)	9 (6)	2 (2)	2 (1)	9 (4)	4 (4)	2	1	72 (42)

* DVS : ほとんどすべての型別用ファージに溶菌され、A-degradedと総称していた * DVS : Degraded Vi-positive strain
 ** UVS : 既知のすべてのファージに感受性のないもの ** UVS : Untypable Vi-positive strain
 *** NT : 菌の送付がないため、または臨床決定によるためファージ型別できないもの *** NT : Not tested
 () : 海外旅行者分再掲 () : Imported cases included in the total

5-2. パラチフスA菌の月別ファージ型分布

5-2. *S.Paratyphi A* phage types from human sources, by month, 1996

診定月 Month of diagnosis	パラチフスA菌ファージ型						UT*	NT**	合計 Total
	1	2	3	4	5	6			
1月 JAN	1 (1)	-	1 (1)	-	-	-	-	-	2 (2)
2月 FEB	2	-	-	-	-	-	1 (1)	-	3 (1)
3月 MAR	5 (2)	-	-	-	-	-	1 (1)	-	6 (3)
4月 APR	5 (4)	-	-	-	-	-	-	-	5 (4)
5月 MAY	2 (2)	-	-	-	-	-	-	-	2 (2)
6月 JUN	3 (2)	-	-	-	-	-	-	-	3 (2)
7月 JUL	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8月 AUG	1	-	-	-	-	-	2 (1)	-	3 (1)
9月 SEP	-	-	-	-	-	-	1	-	1
10月 OCT	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)
11月 NOV	2 (1)	-	-	-	-	-	1 (1)	1	4 (2)
12月 DEC	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計 Total	22 (13)	-	1 (1)	-	-	-	6 (4)	1	30 (18)

* UT : 既知のすべてのファージに感受性のないもの
 ** NT : Not tested
 () : 海外旅行者分再掲
 * UT : Untypable
 ** NT : Not tested
 () : Imported cases included in the total

5-3. テフス菌の都道府県別フェージ型分布

5-3. *S.Typhi* phage types from human sources, by place of residence of the source case, 1998

都道府県	Prefecture of residence	テフス菌フェージ型														合計 Total			
		A	B1	B2	C1	C2	D1	D2	E1	E2	E9	M1	O	46	DVS*		UVS1**	Vi(-)	NT***
北海道	Hokkaido	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森	Aomori	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手	Iwate	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城	Miyagi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田	Akita	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	Yamagata	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	Fukushima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	Ibaraki	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木	Tochigi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	Gunma	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	Saitama	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
		(1)	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	-	(3)
千葉	Chiba	4	1	-	-	-	-	2	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	12
		(2)	(1)	-	-	-	-	(1)	-	-	-	(1)	(1)	-	(2)	-	-	-	(8)
東京	Tokyo	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-	6
		(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(1)	-	-	-	(3)
神奈川	Kanagawa	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	5
		-	-	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	-	-	(2)	-	-	-	(4)
新潟	Niigata	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山	Toyama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	-	-	(1)
石川	Ishikawa	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
福井	Fukui	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	Yamanash	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	Nagano	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
		-	-	-	-	-	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
岐阜	Gifu	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	Shizuoka	-	1	-	-	-	-	4	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	10
		-	-	-	-	-	-	(3)	-	-	(1)	(4)	-	-	-	-	-	-	(8)
愛知	Aichi	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
		(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
三重	Mie	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀	Shiga	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
京都	Kyoto	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪	Osaka	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	5
		(1)	(1)	-	-	-	-	-	(1)	-	-	(1)	-	-	-	-	-	-	(4)
兵庫	Hyogo	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	8
		(3)	-	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	-	-	-	-	(5)
奈良	Nara	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	Wakayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	2
鳥取	Tottori	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	-	-	(1)
島根	Shimane	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	Okayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	Hiroshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山口	Yamaguchi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	Tokushima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	Kagawa	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛	Ehime	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知	Kochi	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	Fukuoka	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)
佐賀	Saga	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	Nagasaki	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本	Kumamoto	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	Oita	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	Miyazaki	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	Kagoshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
沖縄	Okinawa	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	Total	15	4	2	1	1	2	9	6	1	2	9	2	2	9	4	2	1	72
		(10)	(3)	(1)	(1)	-	(1)	(4)	(4)	-	(1)	(6)	(2)	(1)	(4)	(4)	-	-	(42)

* DVS : ほとんどの型別用フェージに溶菌され、A-degradedと総称していた
 ** UVS : 既知のすべてのフェージに感受性のないもの
 *** NT : 菌の送付がないため、または臨床決定によるためフェージ型別のできないもの
 () : 海外旅行者分再掲

* DVS : Degraded Vi-positive strain
 ** UVS : Untypable Vi-positive strain
 *** NT : Not tested
 () : Imported cases included in the total

5-4. パラチフスA菌の都道府県別フェージ型分布

5-4. S.Paratyphi A phage types from human sources, by place of residence of the source case, 1996

都道府県	Prefecture of residence	パラチフスA菌フェージ型 Phage type of S.Paratyphi A								合計 Total
		1	2	3	4	5	6	UT*	NT**	
北海道	Hokkaido	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)
青森県	Aomori	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	Iwate	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	Miyagi	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	Akita	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	Yamagata	1	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	Fukushima	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	Ibaraki	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	Tochigi	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	Gunma	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	Saitama	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	Chiba	3 (1)	-	-	-	-	-	-	-	3 (1)
東京都	Tokyo	7 (5)	-	-	-	-	-	3 (2)	-	10 (7)
神奈川県	Kanagawa	2 (2)	-	-	-	-	-	-	-	2 (2)
新潟県	Niigata	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	Toyama	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	Ishikawa	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	Fukui	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	Yamanashi	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	Nagano	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	Gifu	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	Shizuoka	2 (2)	-	-	-	-	-	-	-	2 (2)
愛知県	Aichi	3 (1)	1 (1)	-	-	-	-	-	-	4 (2)
三重県	Mie	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	Shiga	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	Kyoto	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	Osaka	-	-	-	-	-	-	1	-	1
兵庫県	Hyogo	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	Nara	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	Wakayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	Tottori	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	Shimane	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	Okayama	-	-	-	-	-	-	1 (1)	-	1 (1)
広島県	Hiroshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	Yamaguchi	1 (1)	-	-	-	-	-	-	-	1 (1)
徳島県	Tokushima	1	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	Kagawa	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	Ehime	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	Kochi	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	Fukuoka	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	Saga	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	Nagasaki	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	Kumamoto	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	Oita	-	-	-	-	-	-	1 (1)	-	1 (1)
宮崎県	Niyazaki	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	Kagoshima	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	Okinawa	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	Total	22 (13)	1 (1)	-	-	-	-	6 (4)	1	30 (18)

* UT : 既知のすべてのフェージに感受性のないもの

** NT : 菌の送付がないため、または臨床決定によるためフェージ型別のできないもの

() : 海外旅行者分再掲

* UT : Untypable

** NT : Not tested

() : Imported cases included in the total

6. A群レンサ球菌の菌型分布、由来ヒト、1996年

6. Group A *Streptococcus* serotypes isolated from human sources, Japan, 1996

6-1. 月別全国集計、地研・保健所

6-1. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by month, 1996

Prefectural and municipal public health institutes and health centers

血清型	TYPE	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
A	T-1	16	15	29	42	68	67	41	22	13	25	49	55	442
	T-2	5	7	16	13	16	19	6	2	2	1	5	4	96
	T-3	2	2	2	2	4	4	-	-	2	1	1	2	22
	T-4	54	49	48	46	49	53	27	10	11	18	21	29	415
	T-6	6	11	11	22	27	48	24	10	11	17	45	72	304
	T-8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4
	T-9	2	1	3	2	1	-	1	-	1	-	1	3	15
	T-11	9	2	3	3	8	2	3	2	3	7	3	14	59
	T-12	84	54	65	57	71	114	41	11	17	33	35	61	643
	T-13	1	-	1	-	1	1	-	-	2	2	2	1	11
	T-18	3	4	3	1	1	-	-	-	2	-	-	1	15
	T-22	3	1	6	3	3	-	1	-	-	2	1	3	23
	T-23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	T-25	1	1	-	1	1	3	-	1	-	3	-	-	11
	T-28	48	23	30	35	31	38	18	16	14	24	35	32	344
	T-B3264	14	8	13	8	13	15	3	2	8	9	16	10	119
型別不能	UNTYPABLE	14	12	21	15	51	42	23	21	9	17	25	28	278
型別せず	NOT DONE	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	35
TOTAL		294	191	251	250	345	406	188	97	95	161	242	318	2838

6-2. 月別全国集計、医療機関

6-2. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by month, 1996

General clinical institutions

6-2-1. 分離材料：咽頭および鼻咽腔からの材料

6-2-1. Specimen: Nasopharyngeal source

血清型	TYPE	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
A	T-1	18	16	16	8	12	25	16	-	9	14	19	30	183
	T-2	3	10	18	1	9	12	8	-	3	7	16	13	100
	T-3	4	11	18	17	29	26	13	2	3	10	12	10	155
	T-4	7	8	10	7	9	7	11	4	7	8	14	15	107
	T-6	1	-	2	1	3	8	5	1	1	5	4	16	47
	T-8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2
	T-9	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	T-11	3	1	4	2	1	4	1	-	-	1	1	-	18
	T-12	29	32	22	19	22	32	10	4	6	4	5	10	195
	T-13	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	4
	T-18	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	2	7
	T-22	2	3	4	1	3	-	1	-	1	-	-	-	15
	T-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	T-28	12	9	8	6	8	11	5	5	3	5	11	15	98
	T-B3264	4	-	5	2	12	-	3	-	1	1	5	8	41
	T-14/49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
型別不能	UNTYPABLE	11	13	21	-	6	9	19	3	7	5	13	22	129
型別せず	NOT DONE	720	699	883	700	1018	950	633	365	369	547	979	1069	8932
TOTAL		814	803	1012	766	1133	1085	729	384	410	608	1082	1211	10037

6-2-2. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

6-2-2. Specimen: Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

血清型	TYPE	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		JAN	FEB	MAR	APR	MAY	JUN	JUL	AUG	SEP	OCT	NOV	DEC	TOTAL
A	T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	T-3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	T-18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	T-28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
型別せず	NOT DONE	62	62	94	55	132	79	56	66	50	48	51	44	799
TOTAL		63	63	94	55	132	79	56	66	50	48	52	45	803

6-3. 報告機関別集計、地研・保健所

6-3. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by participating laboratory, 1996
 Prefectural and municipal public health institutes and health centers
 (Refer to code map in page 154~159)

	011	041	042	051	071	081	111	121	131	141	143	161	171	201	261	262	271
	北海道	宮城県	仙台市	秋田県	福島県	茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	川崎市	富山県	石川県	長野県	京都府	京都市	大阪府
血清型	TYPE																
A T-1	1	3	4	4	121	4	141	96	-	8	1	-	7	1	-	-	1
T-2	-	2	-	-	-	-	10	26	-	1	-	-	-	-	4	-	-
T-3	-	-	-	8	-	1	1	2	-	4	2	-	1	-	-	-	53
T-4	-	7	-	2	131	-	99	59	-	15	-	-	4	-	47	-	5
T-6	-	-	2	2	97	-	136	58	-	1	-	-	-	-	-	-	2
T-8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T-9	-	-	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-	1	-	-	-	-
T-11	-	-	-	1	11	-	15	24	-	2	-	-	4	-	-	-	-
T-12	1	1	1	7	59	2	197	196	-	8	2	-	66	2	2	-	36
T-13	-	-	2	-	-	-	4	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-
T-18	-	-	-	-	7	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
T-22	-	-	-	-	-	-	17	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
T-23	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
T-25	-	-	-	-	-	-	6	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-
T-28	-	-	5	-	27	1	111	150	-	1	-	-	5	-	-	-	10
T-B3264	-	-	-	-	10	-	37	47	-	-	-	-	7	-	1	-	10
型別不能 型別せず	UNTYPABLE NOT DONE	-	2	2	50	-	67	119	-	1	1	-	12	-	-	5	2
TOTAL	2	13	16	26	513	8	847	808	2	44	7	2	108	3	54	6	119

6-3. Continued

	342	361	371	391	403	461	471	TOTAL
	広島市	徳島県	香川県	高知県	北九州	鹿児島	沖縄県	合計
血清型	TYPE							
A T-1	2	-	11	32	5	-	-	442
T-2	-	-	-	-	-	-	-	96
T-3	2	-	-	1	-	-	-	22
T-4	1	-	4	39	2	-	-	415
T-6	-	-	-	-	6	-	-	304
T-8	-	-	-	-	-	-	-	4
T-9	-	-	-	-	-	-	-	15
T-11	-	-	-	2	-	-	-	59
T-12	4	-	8	43	8	-	-	643
T-13	-	-	-	1	-	-	-	11
T-18	-	-	-	-	-	-	-	15
T-22	-	-	-	-	-	-	-	23
T-23	-	-	-	-	-	-	-	2
T-25	-	-	-	-	-	-	-	11
T-28	1	2	-	15	16	-	-	344
T-B3264	1	-	-	6	-	-	-	119
型別不能 型別せず	UNTYPABLE NOT DONE	8	-	9	-	-	-	278
TOTAL	19	2	23	148	37	1	30	2838

6-4. 報告機関別集計、医療機関

6-4. Group A *Streptococcus* serotypes from human sources, by participating laboratory, 1996

General clinical institutions

(Refer to code map in page 154~159)

6-4-1. 分離材料：咽頭および鼻咽喉からの材料

6-4-1. Specimen : Nasopharyngeal source

		012	021	051	061	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	221	231	232
		札幌市	青森県	秋田県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	静岡県	愛知県	名古屋
血清型	TYPE																	
A	T-1	-	-	55	15	-	-	-	-	-	46	8	-	4	6	-	-	-
	T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75	24	-	1	-	-	-	-
	T-3	-	-	37	3	-	-	-	-	-	8	1	-	-	5	-	-	-
	T-4	-	-	2	15	-	-	-	-	-	19	3	-	1	5	-	-	-
	T-6	-	-	14	8	-	-	-	-	-	12	-	-	1	-	-	-	-
	T-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-11	-	-	2	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	2	-	-
	T-12	-	-	11	4	-	-	-	-	-	18	10	-	13	5	6	-	-
	T-13	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	T-18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
	T-22	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	T-25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	T-28	-	-	1	-	-	-	-	-	-	24	1	-	3	3	-	-	-
	T-B3264	-	-	-	2	-	-	-	-	-	23	5	-	1	3	-	-	-
	T-14/49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
型別不能 型別せず	UNTYPABLE	-	-	23	1	-	-	-	-	-	81	5	-	-	9	-	-	-
	NOT DONE	1473	513	-	911	241	468	35	61	93	102	465	1435	130	95	-	467	200
	TOTAL	1473	513	145	964	241	468	35	61	93	422	524	1435	154	131	8	467	200

6-4-1. Continued

		251	271	273	282	301	311	321	331	341	351	371	411	421	431	441	TOTAL
		滋賀県	大阪府	堺市	神戸市	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	合計
血清型	TYPE																
A	T-1	-	-	2	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	19	183
	T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
	T-3	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	93	155
	T-4	-	-	5	1	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	31	107
	T-6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	10	47
	T-8	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
	T-9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	T-11	-	-	-	1	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	18
	T-12	-	-	5	10	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	82	195
	T-13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
	T-18	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7
	T-22	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	15
	T-25	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	T-28	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	29	98
	T-B3264	-	-	-	2	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	41
	T-14/49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
型別不能 型別せず	UNTYPABLE	-	-	3	4	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	129
	NOT DONE	142	218	-	62	18	67	61	92	1009	28	126	162	246	12	-	8932
	TOTAL	142	218	16	62	36	67	61	92	1167	28	126	162	246	12	268	10037

6-4-2. 分泌材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

6-4-2. Specimen: Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

	012	021	061	091	101	111	121	122	151	161	171	181	191	231	232	251	271	
	札幌市	青森県	山形県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	愛知県	名古屋	滋賀県	大阪府	
血清型	TYPE																	
A T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
T-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
T-18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
T-28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
型別せず	NOT DONE	40	7	39	11	19	10	3	15	19	65	206	15	4	13	16	4	13
TOTAL		40	7	39	11	19	10	3	15	19	67	206	15	4	13	16	4	13

6-4-2. Continued

	282	311	321	331	341	351	371	411	421	431	TOTAL	
	神戸市	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	香川県	佐賀県	長崎県	熊本県	合計	
血清型	TYPE											
A T-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
T-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
T-18	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
T-28	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
型別せず	NOT DONE	4	4	5	10	243	3	14	12	4	1	799
TOTAL		4	4	5	10	245	3	14	12	4	1	803

7. 病原細菌検出数の年別集計、由来ヒト、1991～1996年

7. Isolation of bacteria from human sources, by year, Japan, 1991 - 1996

7-1. 地研・保健所

7-1. Prefectural and municipal public health institutes and health centers

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	14470(2027)	11463(1925)	12109(2238)	14581(2176)	13636(2979)	19086(2001)
ESCHERICHIA COLI	1331(560)	1169(553)	1453(590)	1546(689)	1539(863)	5452(587)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	2(2)	4(3)	8(7)	3(3)	8(8)	6(4)
SHIGELLA FLEXNERI	74(40)	65(44)	70(42)	83(55)	56(36)	83(47)
SHIGELLA BOYDII	8(7)	11(10)	10(8)	7(6)	17(13)	7(5)
SHIGELLA SONNEI	485(129)	399(157)	478(184)	267(137)	295(200)	312(146)
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	44(14)	37(9)	73(12)	40(17)	27(10)	34(20)
SALMONELLA PARATYPHI A	7(3)	18(5)	29(6)	38(9)	41(19)	12(8)
SALMONELLA GROUP O4	1010(101)	774(79)	841(80)	765(62)	627(81)	633(118)
SALMONELLA GROUP O7	1940(78)	1178(95)	845(61)	824(62)	849(72)	857(61)
SALMONELLA GROUP O8	772(101)	442(85)	536(111)	480(81)	509(98)	426(43)
SALMONELLA GROUP O9	1426(30)	1781(29)	2607(56)	3348(99)	2484(154)	4274(69)
SALMONELLA GROUP O9,46	-	-	-	-	1(1)	2
SALMONELLA GROUP O3,10	147(69)	127(54)	132(62)	155(64)	194(118)	152(76)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	49(26)	37(21)	72(22)	51(18)	83(17)	39(10)
SALMONELLA GROUP O13	24(3)	23(6)	32(4)	28(5)	25(1)	28(3)
SALMONELLA GROUP O18	81(1)	34(5)	19	37(3)	23(3)	16
SALMONELLA OTHER GROUPS	42(8)	43(5)	73(8)	47(6)	46(8)	51(1)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	8	5(1)	14	5	12	10
YERSINIA ENTEROCOLITICA	11(2)	11(1)	9	22	26	77
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	31(1)	1	-	1	-	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	49(32)	32(27)	66(61)	55(39)	217(192)	18(12)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	3(2)	3(3)	1(1)	3(3)	2(2)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	5(3)	4(4)	4(3)	3(1)	1(1)	-
VIBRIO CHOLERAЕ O139 CT+	-	-	-	5(5)	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ O139 CT-	-	-	-	1(1)	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	55(45)	62(42)	101(54)	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	71(50)	90(65)	45(28)
VIBRIO PARAHAEVOLYTICUS	1457(142)	569(118)	682(123)	1280(108)	1304(85)	1065(88)
VIBRIO FLUVIALIS	49(15)	14(8)	22(8)	16(5)	14(7)	13(4)
VIBRIO MIMICUS	4(3)	15	3(2)	3(3)	11(9)	4
AEROMONAS HYDROPHILA	52(39)	40(33)	50(39)	22(8)	30(18)	25(17)
AEROMONAS SOBRIA	140(119)	86(82)	137(129)	21(19)	59(54)	45(40)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	13(2)	10(9)	6(4)	135(131)	140(135)	122(118)
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	288(252)	285(270)	421(397)	342(300)	575(542)	366(325)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	854(145)	841(128)	458(100)	850(37)	534(36)	802(36)
CAMPYLOBACTER COLI	33(28)	38(28)	54(42)	19(3)	16(3)	17(9)
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	136(24)	79(9)	87(20)	210(147)	141(125)	174(124)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	530(1)	402(2)	417	439	334	328
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	791	522	155	540	363	354
CLOSTRIDIUM BOTULINUM E	2	-	-	-	5	-
BACILLUS CEREUS	43	44	50	84	63	33
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	5	2	1	8(1)	4(1)	55
NEISSERIA GONORRHOEAЕ	345	164	35	34	38	57
NEISSERIA MENINGITIDIS	12	-	2	1	-	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	1677	1752	1736	2388	2523	2822
STREPTOCOCCUS GROUP B	132	118	110	115	151	114
STREPTOCOCCUS GROUP C	29	13	8	7	12	10
STREPTOCOCCUS GROUP G	65	74	72	73	80	88
STREPTOCOCCUS GROUP UNKNOWN	4	8	5	4	2	2
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	7	20	8	12	19	7
CORYNEBACTERIUM DIPHTHERIAE	-	3	-	-	-	-
BORDETELLA PERTUSSIS	110	13	6	9	4	3
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	-	-	-	-	-	1
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	17	16	27	17	12	20
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	16	33	31	50	25	14
LEPTOSPIRA SPP	-	-	-	1	1(1)	-
OTHERS	58(2)	42(1)	51	18(1)	3	9

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

病原大腸菌の内訳

E. coli categorized by pathogenicity

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
ENTEROINVASIVE E. COLI	82 (67)	18 (11)	69 (60)	28 (7)	29 (16)	47 (16)
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	746 (298)	651 (402)	741 (370)	843 (462)	972 (615)	1203 (422)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	378 (148)	385 (108)	387 (117)	473 (162)	407 (157)	1130 (99)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI	-	-	103 (1)	131 (1)	27 (2)	2793 (3)
E. COLI OTHER/UNKNOWN	125 (47)	115 (32)	153 (42)	71 (57)	104 (73)	279 (47)

赤痢菌血清型別の内訳

Shigella serovars

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	1 (1)	4 (3)	4 (3)	3 (3)	2 (2)	3 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	-	-	4 (4)	-	1 (1)	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	-	-	-	1 (1)	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 6	1 (1)	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	-	-	-	-	-	1 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8	-	-	-	-	1 (1)	2 (2)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	2 (2)	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	-	-	-	-	1 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	3 (3)	-	-	1 (1)	-	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	10 (8)	8 (8)	3 (3)	10 (10)	11 (8)	10 (7)
S. FLEXNERI SEROVAR 1	1 (1)	-	1	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	29 (11)	23 (14)	30 (19)	27 (7)	12 (4)	30 (15)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	1 (1)	3 (2)	6 (2)	7 (7)	3 (2)	5 (4)
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	10 (9)	17 (11)	11 (8)	8 (5)	7 (4)	11 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	1	2 (2)	-	1 (1)	1 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	9 (4)	2 (2)	-	1 (1)	2 (2)	5 (3)
S. FLEXNERI SEROVAR 4	5 (1)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	3 (2)
S. FLEXNERI SEROVAR 5B	1	-	1 (1)	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	4 (2)	4 (2)	11 (5)	21 (19)	8 (7)	10 (9)
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	1 (1)	-	-	7 (3)	2 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	1	5 (2)	1	-	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	2	-	3 (1)	4 (4)	4 (3)
S. BOYDII SEROVAR 1	3 (3)	5 (4)	-	1 (1)	4 (3)	-
S. BOYDII SEROVAR 2	2 (2)	1 (1)	-	3 (3)	3 (3)	2 (1)
S. BOYDII SEROVAR 3	-	-	3 (3)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	1 (1)	1 (1)	5 (3)	2 (1)	2	4 (3)
S. BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 8	1	1 (1)	-	1 (1)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	4 (4)	-
S. BOYDII SEROVAR 10	1 (1)	-	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 12	-	-	-	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 13	-	1 (1)	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	-	1 (1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 16	-	-	-	-	1	-
S. BOYDII SEROVAR 17	-	1 (1)	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 18	-	1 (1)	1 (1)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN	-	-	-	-	-	1 (1)
S. SONNEI	485 (129)	399 (157)	478 (184)	267 (137)	295 (200)	312 (146)

7-2. 検疫所
7-2. Quarantine stations

海外旅行者
Imported cases

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	2299	2640	2476	2830	3513	3759
ESCHERICHIA COLI	84	16	40	51	61	46
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	12	4	7	3	7	8
SHIGELLA FLEXNERI	42	41	40	57	46	59
SHIGELLA BOYDII	12	14	9	13	13	13
SHIGELLA SONNEI	173	204	177	267	298	271
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	2	1	1	-	-	2
SALMONELLA PARATYPHI A	1	-	3	-	-	-
SALMONELLA GROUP O4	75	103	93	75	52	51
SALMONELLA GROUP O7	46	69	48	58	60	70
SALMONELLA GROUP O8	79	86	65	79	60	53
SALMONELLA GROUP O9	38	39	48	68	107	90
SALMONELLA GROUP O9,46	2	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O3,10	67	62	63	61	47	64
SALMONELLA GROUP O1,3,19	14	13	19	11	9	7
SALMONELLA GROUP O13	11	-	5	3	3	4
SALMONELLA GROUP O18	1	5	2	2	1	2
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	6	5	2	5	4
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	5	4	2	1	1	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	32	20	30	31	75	16
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT-	1	6	3	1	1	-
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	2	2	1	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ O139 CT+	-	-	-	4	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	154	177	189	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	245	194	169
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	544	563	497	493	526	590
VIBRIO FLUVIALIS	18	14	20	30	35	29
VIBRIO MIMICUS	5	3	10	18	19	8
AEROMONAS HYDROPHILA	8	8	17	14	46	78
AEROMONAS SOBRIA	17	35	43	49	163	189
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	2	2	1	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	840	1134	1035	1184	1677	1932
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	5	6	1	1	2	1
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	-	1	-	-	-	-
OTHERS	8	4	1	7	4	3

7-2. Continued

海外旅行者
imported cases

病原大腸菌の内訳	<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity					
	1991	1992	1993	1994	1995	1996
ENTEROINVASIVE E. COLI	19	9	2	9	8	9
ENTEROTOXIGENIC E. COLI	18	2	2	1	1	5
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE	47	5	36	41	52	31
E. COLI OTHER/UNKNOWN	-	-	-	-	-	1

赤痢菌血清型別の内訳	<i>Shigella</i> serovars					
	1991	1992	1993	1994	1995	1996
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2	9	2	4	1	2	6
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3	1	-	2	1	1	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4	-	1	-	-	2	1
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7	1	-	-	-	-	1
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	1	1	1	2	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 12	1	-	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A	-	1	-	-	1	2
S. FLEXNERI SEROVAR 1B	8	5	8	4	4	7
S. FLEXNERI SEROVAR 2A	14	11	7	16	9	20
S. FLEXNERI SEROVAR 2B	2	1	1	9	-	4
S. FLEXNERI SEROVAR 3A	7	11	5	5	8	5
S. FLEXNERI SEROVAR 3B	-	-	3	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A	7	2	2	3	1	4
S. FLEXNERI SEROVAR 4B	-	-	-	-	1	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4	1	1	2	1	2	3
S. FLEXNERI SEROVAR 5A	-	1	1	-	-	1
S. FLEXNERI SEROVAR 5B	1	1	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6	2	4	6	6	16	11
S. FLEXNERI SEROVAR X	-	1	-	6	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y	-	1	1	3	1	-
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	1	4	4	3	2
S. BOYDII SEROVAR 1	9	3	2	2	1	1
S. BOYDII SEROVAR 2	-	2	1	6	2	4
S. BOYDII SEROVAR 3	-	-	1	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4	-	3	2	4	2	5
S. BOYDII SEROVAR 5	-	-	-	-	1	-
S. BOYDII SEROVAR 8	1	-	1	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	-	1
S. BOYDII SEROVAR 10	-	-	-	-	1	-
S. BOYDII SEROVAR 11	-	-	-	-	2	1
S. BOYDII SEROVAR 12	-	2	-	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 13	2	1	-	1	2	-
S. BOYDII SEROVAR 14	-	-	2	-	1	1
S. BOYDII SEROVAR 18	-	3	-	-	1	-
S. SONNEI	173	204	177	267	298	271

7-3. 都市立伝染病院
7-3. Infectious diseases hospitals

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	900(485)	908(472)	803(452)	804(503)	878(620)	873(497)
ESCHERICHIA COLI	56(33)	64(37)	29(21)	24(18)	47(39)	97(37)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	8(8)	7(7)	7(6)	4(4)	7(7)	8(8)
SHIGELLA FLEXNERI	51(43)	81(66)	79(60)	90(71)	83(51)	63(47)
SHIGELLA BOYDII	13(12)	7(7)	11(11)	7(6)	19(17)	10(7)
SHIGELLA SONNEI	301(198)	339(192)	265(169)	266(217)	220(209)	286(251)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	3(3)	4(4)	6(6)	13(11)	16(15)	17(12)
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	30(18)	32(21)	50(28)	26(20)	29(23)	24(19)
SALMONELLA PARATYPHI A	14(12)	11(9)	14(12)	16(14)	19(14)	18(14)
SALMONELLA GROUP O4	51(5)	47(12)	31(1)	25(2)	20(5)	21(7)
SALMONELLA GROUP O7	14(4)	21(5)	10(3)	17(4)	15(4)	10(1)
SALMONELLA GROUP O8	26(6)	7(3)	5(3)	10(9)	6(4)	4(2)
SALMONELLA GROUP O9	36(3)	30(1)	48(4)	44(6)	55(18)	66(6)
SALMONELLA GROUP O9,46	-	2	-	1	1(1)	1(1)
SALMONELLA GROUP O3,10	7(6)	4(3)	3(3)	2(1)	8(7)	4(4)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	1(1)	-	-	-	-	-
SALMONELLA GROUP O13	-	1(1)	2(1)	-	1	-
SALMONELLA GROUP O18	-	-	1(1)	-	-	-
SALMONELLA OTHER GROUPS	1	-	1	-	-	1(1)
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	1	5(4)	1(1)	-	1	2
YERSINIA ENTEROCOLITICA	-	-	1(1)	-	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT+	28(21)	18(18)	40(39)	33(30)	106(96)	13(10)
V.CHOLERAE O1:ELTOR OGAWA,CT-	-	1	-	-	-	-
V.CHOLERAE O1:ELTOR INABA,CT+	-	2(2)	1(1)	3(1)	1	-
VIBRIO CHOLERAE O1 NT	-	-	-	-	2(2)	-
VIBRIO CHOLERAE O139 CT+	-	-	-	2(2)	-	-
VIBRIO CHOLERAE NON-O1	6(6)	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	2
VIBRIO CHOLERAE NON-O1&O139	-	-	-	6(5)	2(1)	-
VIBRIO PARAHAEMOLYTICUS	34(12)	25(7)	19(8)	25(6)	25(10)	36(2)
VIBRIO FLUVIALIS	-	-	1(1)	1	1	1
VIBRIO MIMICUS	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	-	-
AEROMONAS HYDROPHILA	9(6)	8(6)	4(4)	7(5)	5(3)	6(3)
AEROMONAS SOBRIA	7(3)	5(3)	5(2)	4(2)	8(7)	8(5)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	-	-	2(2)	1	-	-
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	15(13)	9(9)	8(7)	15(15)	28(28)	12(11)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	58(18)	56(15)	38(14)	55(16)	45(16)	57(13)
CAMPYLOBACTER COLI	-	2(1)	1	2(1)	2(1)	3(2)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	7(1)	1	2	1(1)	4(2)	4(1)
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	-	-	-	-	-	3(2)
ENTAMOEBIA HISTOLYTICA	69(32)	60(19)	65(25)	67(18)	69(27)	57(16)
OTHERS	53(20)	57(18)	50(15)	35(16)	32(12)	39(15)

7-3. Continued

() : 海外旅行者分再掲
 () : Imported cases included in the total

病原大腸菌の内訳		<i>E. coli</i> categorized by pathogenicity					
		1991	1992	1993	1994	1995	1996
ENTEROINVASIVE E. COLI		4 (4)	5 (5)	5 (4)	1 (1)	2 (1)	3 (3)
ENTEROTOXIGENIC E. COLI		16 (10)	21 (17)	6 (6)	7 (6)	10 (10)	25 (19)
ENTEROPATHOGENIC E. COLI SEROTYPE		24 (16)	27 (12)	8 (6)	6 (5)	9 (9)	21 (11)
VEROTOXIN-PRODUCING E. COLI		2	2	3	2 (1)	4	39 (1)
E. COLI OTHER/UNKNOWN		10 (3)	9 (3)	7 (5)	8 (5)	22 (19)	9 (3)
赤痢菌血清型別の内訳		<i>Shigella</i> serovars					
		1991	1992	1993	1994	1995	1996
S. DYSENTERIAE SEROVAR 1		-	-	1	2 (2)	-	1 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 2		3 (3)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	6 (6)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 3		1 (1)	1 (1)	4 (4)	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 4		-	-	-	-	-	1 (1)
S. DYSENTERIAE SEROVAR 6		1 (1)	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 7		1 (1)	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 8		1 (1)	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 9		-	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR 11		1 (1)	-	-	-	-	-
S. DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN		-	1 (1)	-	-	3 (3)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 1A		2 (2)	2 (2)	4 (1)	-	-	2 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 1B		6 (5)	7 (6)	5 (5)	17 (15)	8 (8)	6 (6)
S. FLEXNERI SEROVAR 2A		17 (14)	25 (21)	29 (19)	16 (8)	39 (14)	24 (15)
S. FLEXNERI SEROVAR 2B		-	8 (7)	1 (1)	7 (7)	5 (3)	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 3A		8 (8)	15 (9)	11 (8)	13 (8)	5 (5)	6 (6)
S. FLEXNERI SEROVAR 3B		-	3 (3)	2 (2)	1	1 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4A		4 (3)	1 (1)	4 (4)	6 (5)	2 (1)	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 4B		-	-	1 (1)	-	1 (1)	-
S. FLEXNERI SEROVAR 4		3 (1)	4 (4)	2 (2)	1 (1)	3 (3)	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 5A		1 (1)	-	-	-	-	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR 5B		-	1 (1)	-	-	-	-
S. FLEXNERI SEROVAR 6		7 (7)	8 (7)	11 (10)	13 (12)	7 (6)	5 (4)
S. FLEXNERI SEROVAR X		1 (1)	2 (1)	-	2 (2)	2	-
S. FLEXNERI SEROVAR Y		-	-	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)
S. FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN		2 (1)	5 (4)	8 (6)	12 (12)	8 (8)	15 (10)
S. BOYDII SEROVAR 1		3 (3)	-	-	1 (1)	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 2		6 (5)	3 (3)	-	2 (2)	4 (3)	2 (1)
S. BOYDII SEROVAR 3		-	-	2 (2)	-	-	-
S. BOYDII SEROVAR 4		1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR 5		-	-	-	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 7		-	-	-	1 (1)	-	-
S. BOYDII SEROVAR 8		-	-	2 (2)	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 10		-	-	-	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 11		1 (1)	-	-	1 (1)	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 12		-	-	-	-	1 (1)	-
S. BOYDII SEROVAR 13		1 (1)	1 (1)	-	-	2 (2)	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR 14		-	-	1 (1)	-	2 (2)	1 (1)
S. BOYDII SEROVAR 16		-	-	-	-	1	-
S. BOYDII SEROVAR UNKNOWN		1 (1)	1 (1)	5 (5)	1	-	5 (3)
S. SONNEI		301 (198)	339 (192)	265 (169)	266 (217)	220 (209)	286 (251)

7-4. 医療機関

7-4. General clinical institutions

7-4-1. 分離材料：糞便

7-4-1. Specimen : Stool

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	13977(50)	13271(34)	16404(41)	17615(63)	18094(131)	27827(63)
ESCHERICHIA COLI	1905(2)	2042(6)	2219(6)	2142(9)	2759(20)	7182(9)
SHIGELLA						
SHIGELLA DYSENTERIAE	2(2)	1	1	2(1)	1	-
SHIGELLA FLEXNERI	13(3)	14(4)	11(4)	28(12)	15(2)	28(9)
SHIGELLA BOYDII	1(1)	-	-	1(1)	4(3)	-
SHIGELLA SONNEI	81(20)	100(7)	42(8)	46(21)	44(24)	51(16)
SHIGELLA SPECIES UNKNOWN	-	-	-	-	1	-
SALMONELLA						
SALMONELLA TYPHI	8(2)	9(3)	7(2)	6(2)	5(3)	8(4)
SALMONELLA PARATYPHI A	2	1	4(1)	4(1)	16(4)	8(4)
SALMONELLA GROUP O4	927(2)	887	710	626(1)	493(2)	550(7)
SALMONELLA GROUP O7	516(3)	432(2)	344	497(1)	389(5)	526(2)
SALMONELLA GROUP O8	347(2)	209	172	252	166(2)	224(1)
SALMONELLA GROUP O9	636(1)	995(1)	1722	1970(2)	1610(10)	2895(1)
SALMONELLA GROUP O9,46	3	2	2	17	5	8
SALMONELLA GROUP O3,10	27(1)	17	16	14(1)	33(2)	36(1)
SALMONELLA GROUP O1,3,19	3	2	14(1)	20	35(1)	15
SALMONELLA GROUP O13	3	2	7(1)	9	6	15
SALMONELLA GROUP O18	19	11	15(1)	12	8	11
SALMONELLA OTHER GROUPS	22(1)	30	38(1)	57	19	67
SALMONELLA GROUP UNKNOWN	62	29	28	61	53(1)	71
YERSINIA ENTEROCOLITICA	188	169(1)	126	126	138	210
YERSINIA PSEUDOTUBERCULOSIS	3	9	11	3	5	13
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR OGAWA,CT+	4(2)	3(3)	6(4)	8(3)	46(41)	1(1)
V.CHOLERAЕ O1:ELTOR INABA,CT+	-	-	-	1	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1	14(2)	11	27	-	-	-
VIBRIO CHOLERAЕ NON-O1&O139	-	-	-	19	14	23(1)
VIBRIO PARAHAEOLYTICUS	861	405(2)	396(1)	1054(3)	990(1)	1718(2)
VIBRIO FLUVIALIS	29	9	12(1)	22	20	32
VIBRIO MIMICUS	3	4	3	5	6	9
AEROMONAS HYDROPHILA	159(1)	121	121(1)	89	140(1)	211(1)
AEROMONAS SOBRIA	56	37	42	43	55	93(1)
AEROMONAS HYDROPHILA/SOBRIA	155	113	97	97	106	198
PLESIOMONAS SHIGELLOIDES	48(2)	42(4)	31(3)	30(1)	54(1)	80(1)
CAMPYLOBACTER JEJUNI	2166	1876	1920(1)	1553(4)	1559(2)	2426(1)
CAMPYLOBACTER COLI	61	52	39	21	39	60
CAMPYLOBACTER JEJUNI/COLI	4141(3)	3466(1)	3598(2)	3317	3192(5)	4385(1)
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1432	2096	4463	5297	5991	6400
CLOSTRIDIUM PERFRINGENS	35	51	133	134	44	190
CLOSTRIDIUM BOTULINUM NON-E	1	-	-	-	-	1
BACILLUS CEREUS	37	23	17	24	27	80
ENTAMOEBА HISTOLYTICA	7	1	10(3)	8	6(1)	2

病原大腸菌の内訳

E.coli categorized by pathogenicity

ENTEROINVASIVE E.COLI	80	70	70	70	80	187
ENTEROTOXIGENIC E.COLI	167	113	179	142	229(3)	813(1)
ENTEROPATHOGENIC E.COLI SEROTYPE	1254(2)	1454(6)	1533(5)	1379(9)	1647(17)	3886(4)
VEROTOXIN-PRODUCING E.COLI	-	-	22	13	8	315(1)
E.COLI OTHER/UNKNOWN	404	405	415(1)	538	795	1981(3)

赤痢菌血清型別の内訳

Shigella serovars

S.DYSENTERIAE SEROVAR 2	2(2)	-	1	2(1)	-	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR 9	-	-	-	-	1	-
S.DYSENTERIAE SEROVAR UNKNOWN	-	1	-	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1A	-	-	-	1	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR 1B	3	3	-	3(2)	-	3(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 2A	3	6(1)	2	12(2)	9(2)	16(5)
S.FLEXNERI SEROVAR 2B	-	1	3	2(1)	1	1(1)
S.FLEXNERI SEROVAR 3A	-	-	2(1)	2	2	-
S.FLEXNERI SEROVAR 4A	1(1)	-	-	1(1)	1	1
S.FLEXNERI SEROVAR 4	3(1)	3(3)	-	-	-	1
S.FLEXNERI SEROVAR 6	2(1)	-	2(2)	7(6)	1	2(1)
S.FLEXNERI SEROVAR X	1	-	-	-	1	-
S.FLEXNERI SEROVAR Y	-	1	1	-	-	-
S.FLEXNERI SEROVAR UNKNOWN	-	-	1(1)	-	-	4(1)
S.BOYDII SEROVAR 1	-	-	-	-	1	-
S.BOYDII SEROVAR 9	-	-	-	-	1(1)	-
S.BOYDII SEROVAR 14	-	-	-	-	2(2)	-
S.BOYDII SEROVAR UNKNOWN	1(1)	-	-	1(1)	-	-
S.SONNEI	81(20)	100(7)	42(8)	46(21)	44(24)	51(16)

7-4-2. 分離材料：穿刺液（胸水、腹水、關節液など）

7-4-2. Specimen : Needle biopsy (thoracic fluid, ascites, synovial fluid, etc.)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	6081	5690	6195	6446	6853	6330
ESCHERICHIA COLI	852	891	1012	1039	1042	990
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	350	397	426	576	537	510
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	89	73	86	29	67	46
NEISSERIA MENINGITIDIS	1	-	-	-	-	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	974	952	1017	1007	1035	710
MYCOBACTERIUM SPP.	15	12	12	17	6	24
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1975	1611	1884	1939	2123	1889
STAPHYLOCOCCUS COAGULASE (-)	1078	987	997	1051	1102	994
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	106	96	100	67	88	71
ANAEROBES	641	671	657	718	850	1092
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	-	-	4	3	3	4

7-4-3. 分離材料：髄液

7-4-3. Specimen : Cerebrospinal fluid

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	313	274	415	240	243	261
ESCHERICHIA COLI	16	19	28	18	12	24
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	50	32	81	42	65	51
NEISSERIA MENINGITIDIS	1	3	2	1	3	-
LISTERIA MONOCYTOGENES	4	5	11	6	2	4
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	154	155	215	115	110	102
STREPTOCOCCUS GROUP B	27	22	13	14	7	14
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	61	38	65	44	44	66

7-4-4. 分離材料：血液

7-4-4. Specimen : Blood

() : 海外旅行者分再掲
() : Imported cases included in the total

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	4335 (3)	4312 (4)	4583 (1)	5273 (4)	5234 (8)	5744 (17)
ESCHERICHIA COLI	508	456	613	729	775	924
SALMONELLA TYPHI	12 (2)	9 (4)	13 (1)	6 (2)	9 (3)	24 (14)
SALMONELLA PARATYPHI A	4 (1)	2	3	5 (2)	8 (4)	8 (3)
SALMONELLA SPP.	22	31	20	39	46 (1)	40
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	33	22	51	47	51	48
NEISSERIA MENINGITIDIS	1	-	1	1	-	-
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	327	344	357	407	350	435
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	1027	1057	1165	1412	1379	1651
STAPHYLOCOCCUS COAGULASE (-)	2054	2022	1932	2222	2133	2098
STREPTOCOCCUS GROUP B	61	67	74	71	129	82
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	101	105	121	124	107	142
ANAEROBES	185	197	233	210	247	291
PLASMODIUM SPP.	-	-	-	-	-	1

7-4-5. 分離材料：咽頭および鼻咽からの材料

7-4-5. Specimen : Nasopharyngeal source

() : 海外旅行者分再掲

() : Imported cases included in the total

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	31484	30820(5)	32900(1)	36355	36325	36961
BORDETELLA PERTUSSIS	51	58	18	22	29	37
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	12096	12872	13451	15204	17509	16644
NEISSERIA MENINGITIDIS	5	5	3	2	3	-
STREPTOCOCCUS GROUP A	12633	11597(5)	12462(1)	13031	9059	10608
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	6699	6288	6966	8095	9725	9672
CORYNEBACTERIUM DIPHTHERIAE	-	-	-	1	-	-

7-4-6. 分離材料：喀痰、気管吸引液および下気道からの材料

7-4-6. Specimen : Respiratory secretions (sputum, tracheal aspirates, specimen of the lower respiratory tract)

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	95995	105551	119598	119563	126634	116376
MYCOBACTERIUM TUBERCULOSIS	4840	4184	3625	4254	4671	4814
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	9181	9924	12100	12459	13534	12511
HAEMOPHILUS INFLUENZAE	7818	8253	8992	8260	8878	7798
LEGIONELLA PNEUMOPHILA	3	3	1	1	-	3
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	33296	35057	36105	36226	37263	32344
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	28574	34806	44123	44313	47551	44668
STREPTOCOCCUS GROUP A	668	672	809	820	761	815
STREPTOCOCCUS GROUP B	3236	4208	5448	5472	5716	5277
STREPTOCOCCUS PNEUMONIAE	8193	8145	8221	7518	8027	7897
ANAEROBES	147	136	101	184	202	221
MYCOPLASMA PNEUMONIAE	39	163	73	56	31	28

7-4-7. 分離材料：尿

7-4-7. Specimen : Urine

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	128277	134211	148804	157725	158082	151064
ESCHERICHIA COLI	33719	36111	41307	43054	43015	41981
ENTEROBACTER SPP.	5659	5755	6587	6415	5839	5723
KLEBSIELLA PNEUMONIAE	6829	7352	9061	10909	10837	9959
ACINETOBACTER SPP.	2043	2251	2225	2430	2340	2002
PSEUDOMONAS AERUGINOSA	20931	22792	23624	23918	22839	20649
STAPHYLOCOCCUS AUREUS	8841	10170	12189	12082	12388	11854
STAPHYLOCOCCUS COAGULASE(-)	14324	14037	16799	19393	19897	19724
ENTEROCOCCUS SPP.	27680	28254	30007	33073	34120	32507
CANDIDA ALBICANS	8251	7489	7005	6451	6807	6665

7-4-8. 分離材料：陰部尿道頭管擦過（分泌）物

7-4-8. Specimen : Genitourinary source

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
T O T A L	21748	21114	21953	25073	25365	27195
NEISSERIA GONORRHOEA	1021	795	491	463	766	1076
STREPTOCOCCUS GROUP B	6325	6501	7545	9192	9143	9213
CHLAMYDIA TRACHOMATIS	1409	1942	1871	1747	1866	2925
UREAPLASMA	217	193	174	234	181	304
CANDIDA ALBICANS	12061	11046	11267	12779	12784	13094
TRICHOMONAS VAGINALIS	715	637	605	658	625	583

第6章 病原体情報集計・ウイルス、リケッチア、クラミジア、 マイコプラズマ検出成績

第6章 ウイルス、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ検出成績

1. 検体採取月別、由来ヒト、1996年

1. Isolation/detection of viruses from human sources, by month, Japan, 1996

1997年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

T O T A L	1 J A N	2 F E B	3 M A R	4 A P R	5 M A Y	6 J U N	7 J U L	8 A U G	9 S E P	10 O C T	11 N O V	12 D E C	
TOTAL	10579	2008	1318	801	665	535	734	881	542	321	341	489	1944
COXSA.A2	51	-	-	1	1	17	22	1	3	1	4	1	-
COXSA.A4	97	-	1	2	16	47	25	4	1	1	-	-	-
COXSA.A5	38	-	1	-	1	-	11	15	6	1	-	2	1
COXSA.A6	158	1	1	-	1	18	63	62	6	6	-	-	-
COXSA.A7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
COXSA.A8	36	-	-	-	-	12	21	1	2	-	-	-	-
COXSA.A9	49	-	-	-	2	14	13	9	3	4	1	3	-
COXSA.A10	205	-	1	1	1	3	40	102	24	10	8	10	5
COXSA.A16	56	2	-	-	5	8	9	19	10	-	2	1	-
COXSA.A24	3	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-
COXSA.B1	70	2	3	-	2	9	11	8	25	5	-	2	3
COXSA.B2	127	1	-	4	3	1	5	13	20	10	15	28	27
COXSA.B3	25	3	-	1	1	2	5	4	4	3	1	-	1
COXSA.B4	351	-	-	3	4	16	42	113	62	48	33	20	10
COXSA.B5	125	-	-	5	4	2	20	28	36	17	9	3	1
COXSA.B6	15	-	-	-	1	2	1	6	1	4	-	-	-
ECHO 2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	-	-	11	1	-	1	-	-	-	2	-	-
ECHO 5	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	7	1	1	-	-	-	-	3	1	-	1	-	-
ECHO 7	288	6	4	5	4	15	57	99	40	26	20	10	2
ECHO 9	56	-	2	-	-	2	2	14	4	3	12	11	6
ECHO 11	32	-	-	-	-	1	1	-	1	4	9	8	8
ECHO 14	7	-	-	2	2	-	1	1	-	-	1	-	-
ECHO 16	6	-	-	-	-	-	-	2	1	2	1	-	-
ECHO 18	7	1	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	-	-	-	-	1	-	3	-	1	2	-	-
ECHO 22	12	-	-	-	-	-	-	1	7	-	3	1	-
ECHO 24	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	2	1	1	4	-	3	4	8	5	3	6	2
ECHO 30	4	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-
POLIO 1	44	-	3	2	12	4	-	1	-	-	11	8	3
POLIO 2	40	1	4	1	8	4	8	1	-	-	2	8	3
POLIO 3	30	-	1	2	4	10	3	1	-	2	2	5	-
ENTERO71	41	-	-	1	1	-	1	8	7	7	10	5	1
RHINO	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	28	11	7	1	-	-	-	-	1	2	1	-	5
INF.A (H1)	796	532	232	30	1	-	-	-	1	-	-	-	-
INF.A H1N1	1536	1032	447	55	1	1	-	-	-	-	-	-	-
INF.A (H3)	949	26	37	55	63	33	1	1	-	1	8	70	654
INF.A H3N2	1058	18	48	83	21	20	2	1	-	-	-	28	837
INF.B	31	1	1	-	6	2	-	-	-	-	-	3	18
INF.C	8	-	-	-	1	2	4	1	-	-	-	-	-
PARAINF.1	52	3	1	5	7	6	5	17	3	3	1	1	-
PARAINF.2	52	-	-	-	1	-	1	3	1	4	27	12	3
PARAINF.3	41	-	-	1	1	5	17	11	5	-	-	1	-
MUMPS	202	44	62	35	14	7	7	1	2	1	4	7	18
MUMPS	258	12	15	27	24	25	27	23	27	15	20	29	14
MEASLES	52	1	6	8	9	15	8	3	2	-	-	-	-
REO 1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	64	159	234	207	57	13	7	4	6	2	2	17
ROTA C	18	-	5	-	11	2	-	-	-	-	-	-	-
SRV	247	23	77	39	13	19	4	2	-	-	4	19	47
ADENO NT	123	18	7	22	9	12	10	10	9	7	9	3	7
ADENO 1	207	18	23	18	11	26	30	13	17	10	9	12	20
ADENO 2	327	35	30	25	31	39	41	25	22	11	15	31	22
ADENO 3	394	17	21	23	28	21	42	52	31	15	11	24	109
ADENO 4	21	-	1	-	3	3	1	2	2	2	2	4	1
ADENO 5	123	8	9	13	12	13	26	14	3	3	9	6	7
ADENO 6	44	2	3	1	7	7	6	1	5	1	2	3	6
ADENO 7	220	15	15	11	22	23	30	32	32	5	8	17	10
ADENO 8	61	12	7	4	8	8	3	2	4	2	3	5	3
ADENO 11	59	6	4	2	7	4	2	4	10	6	3	5	6
ADENO 19	27	-	-	-	-	-	-	-	5	3	7	11	1
ADENO 22	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	40	5	1	4	3	2	4	4	6	4	1	5	1
ADENO 40	5	-	-	-	1	-	2	-	1	1	-	-	-
ADENO40/41	15	1	-	1	1	2	2	-	1	-	2	2	3
HSV NT	85	12	8	6	10	4	7	6	7	5	6	8	6
HSV 1	348	36	31	29	36	30	27	29	31	27	20	25	27
HSV 2	57	4	6	4	5	4	3	3	8	2	6	3	9
VZV	11	1	-	1	1	-	-	1	4	1	-	-	2
CMV	257	31	33	24	28	24	27	25	15	13	12	12	13
CHLAMYD.NT	57	7	3	1	8	6	6	6	4	3	6	5	2
C.TRACHOMA	189	10	12	11	13	12	18	22	19	22	22	19	9
M.PNEUMON.	19	1	-	-	-	-	-	2	5	4	-	5	2

NT : 未同定
NT : Not typed

2. 感染年齢、由来ヒト、1996年

2. Isolation/detection of viruses from human sources, by age of the source case, Japan, 1996

- 2-1. 年齢別
2-1. Age in years

1997年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

	TOTAL	年齢(歳) AGE IN YEARS															不明 UNKNOWN	
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		15-
TOTAL	10579	1240	1612	896	843	854	750	597	578	411	300	290	281	269	192	126	1064	276
COXSA.A2	51	7	18	8	6	7	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.A4	97	11	29	15	10	16	4	2	1	1	1	2	-	-	-	-	-	5
COXSA.A5	38	2	8	5	5	7	5	1	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A6	158	11	36	29	19	15	17	10	9	1	2	3	2	-	1	-	-	2
COXSA.A7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.A8	36	2	6	9	6	7	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
COXSA.A9	49	8	9	4	8	5	3	5	5	1	-	-	-	-	-	1	-	-
COXSA.A10	205	26	63	33	29	19	15	5	3	3	3	-	1	-	1	-	-	4
COXSA.A16	56	5	19	9	5	2	7	-	4	1	1	1	-	1	-	-	-	1
COXSA.A24	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.B1	70	14	14	8	9	8	8	1	3	1	-	3	-	-	-	-	-	1
COXSA.B2	127	24	10	12	13	18	20	7	3	8	1	4	2	-	-	-	-	4
COXSA.B3	25	5	3	5	5	3	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.B4	351	52	50	45	51	49	39	19	12	9	7	2	4	1	2	-	-	6
COXSA.B5	125	39	13	8	14	9	12	11	3	4	1	3	1	1	-	-	-	3
COXSA.B6	15	8	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ECHO 2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	3	-	-	-	-	-	2	1	2	4	3	1	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	7	1	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 7	288	51	37	38	26	23	36	24	17	8	8	3	3	-	-	-	-	6
ECHO 9	56	9	11	4	5	7	2	4	7	4	-	2	-	-	1	-	-	-
ECHO 11	32	15	5	-	1	2	1	1	1	2	1	-	-	-	1	-	-	1
ECHO 14	7	1	-	1	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 16	6	1	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 18	7	2	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	2	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	-	2	-	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	5	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	4	7	7	3	3	4	4	3	1	1	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 30	4	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1
POLIO 1	44	35	7	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 2	40	20	12	1	-	-	3	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	30	13	14	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	41	3	8	6	6	5	2	3	-	-	1	-	-	1	-	-	-	5
RHINO	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
INF.A NT	28	-	5	-	2	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	15
INF.A(H1)	796	19	42	51	53	69	90	87	113	75	33	25	19	12	11	17	74	6
INF.A(H1N1)	1536	39	98	96	132	208	185	202	211	100	44	32	38	31	17	11	69	23
INF.A(H3)	949	28	66	38	33	41	32	29	30	33	55	66	84	87	82	47	186	12
INF.A H3N2	1058	32	63	52	64	64	54	25	40	56	60	81	89	98	64	40	165	11
INF.B	31	1	1	1	3	1	3	1	6	6	2	2	-	1	-	-	-	1
INF.C	8	1	3	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.1	52	1	12	11	7	5	4	4	3	2	-	-	-	1	-	-	-	1
PARAINF.2	52	7	7	8	7	2	5	4	2	3	2	-	-	1	-	-	-	1
PARAINF.3	41	8	17	7	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
RS	202	85	60	26	8	10	2	1	2	3	-	-	1	1	-	-	-	2
MUMPS	258	5	22	18	33	35	27	29	14	20	11	16	8	8	1	1	8	2
MEASLES	52	13	11	2	2	5	3	1	3	4	2	-	-	2	1	1	2	-
REO 1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	247	298	85	44	32	13	6	4	5	3	3	4	-	2	-	13	13
ROTA C	18	-	-	-	1	-	1	3	4	-	4	1	3	1	-	-	-	-
SRV	247	25	22	13	7	3	7	3	7	4	-	4	3	5	-	2	83	59
ADENO NT	123	13	12	5	9	3	4	1	4	-	1	1	1	-	-	-	65	4
ADENO 1	207	32	63	36	19	17	12	5	4	5	3	2	2	-	-	-	3	4
ADENO 2	327	57	121	37	36	21	20	7	5	4	4	1	3	1	-	-	5	5
ADENO 3	394	18	46	39	64	62	46	33	14	14	16	9	5	4	2	-	12	10
ADENO 4	21	-	1	-	-	3	2	-	1	2	-	-	1	-	-	-	9	2
ADENO 5	123	21	35	12	16	9	7	6	2	2	2	-	1	-	-	-	5	5
ADENO 6	44	11	8	10	5	1	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
ADENO 7	220	22	40	32	25	20	20	8	7	6	3	4	-	1	2	1	19	10
ADENO 8	61	2	1	-	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	33	21
ADENO 11	59	-	1	3	-	-	3	3	3	5	2	-	1	3	-	-	33	2
ADENO 19	27	1	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	20	-
ADENO 22	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ADENO 37	40	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	2
ADENO 40	5	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	15	5	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
HSV NT	85	5	26	10	6	3	3	1	5	1	2	1	1	-	-	-	18	3
HSV 1	348	29	72	37	26	19	8	24	10	5	9	8	3	5	1	2	76	14
HSV 2	57	3	3	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-
VZV	11	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-
CMV	257	128	60	10	4	2	3	3	3	2	1	1	-	-	-	-	38	2
CHLAMYD.NT	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	1
C.TRACHOMA	189	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	188	1
M.PNEUMON.	19	-	-	-	-	3	5	2	3	4	1	-	-	1	-	-	-	-

NT: 未同定
NT: Not typed

2-2. 年齡群別
2-2. Age groups

1997年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

	年齡(歲) AGE IN YEARS											不明 UNKNOWN
	T O T A L	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	
TOTAL	10579	5445	2636	1158	215	296	252	148	70	51	32	276
COXSA.A2	51	46	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A4	97	81	9	2	-	-	-	-	-	-	-	5
COXSA.A5	38	27	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A6	158	110	39	6	-	-	2	-	-	-	-	1
COXSA.A7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A8	36	30	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.A9	49	34	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A10	205	170	29	2	-	-	-	-	-	-	-	4
COXSA.A16	56	40	13	2	1	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A24	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
COXSA.B1	70	53	13	3	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.B2	127	77	39	6	-	1	-	-	-	-	-	4
COXSA.B3	25	21	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B4	351	247	86	9	-	-	2	1	-	-	-	6
COXSA.B5	125	83	31	5	2	1	-	-	-	-	-	3
COXSA.B6	15	10	2	1	-	-	-	-	-	-	-	2
ECHO 2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	3	9	4	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 6	7	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 7	288	175	91	14	-	2	-	-	-	-	-	6
ECHO 9	56	36	17	3	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 11	32	23	6	1	-	-	-	1	-	-	-	1
ECHO 14	7	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 16	6	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 18	7	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 25	39	24	13	-	1	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 30	4	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	44	43	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 2	40	33	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	30	29	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	41	28	6	1	-	1	4	-	-	-	-	1
RHINO	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	28	8	4	-	-	-	-	-	1	-	-	15
INF.A(H1)	796	234	398	84	11	12	30	12	5	3	1	6
INF.A H1N1	1536	573	742	129	12	19	25	7	4	-	2	23
INF.A(H3)	949	206	179	366	66	51	29	18	13	8	1	12
INF.A H3N2	1058	275	235	372	78	27	27	18	9	5	1	11
INF.B	31	7	18	3	-	-	1	1	-	-	-	1
INF.C	8	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.1	52	36	13	1	-	-	-	1	-	-	-	1
PARAINF.2	52	31	16	2	1	1	-	-	-	-	-	1
PARAINF.3	41	38	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-
RS	202	189	8	2	-	1	-	-	-	-	-	2
MUMPS	258	113	101	34	-	2	5	-	-	1	-	2
MEASLES	52	33	13	4	2	-	-	-	-	-	-	-
REO 1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	706	31	9	2	1	3	1	-	2	4	13
ROTA C	18	1	12	5	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	247	70	21	14	3	25	21	19	8	3	4	59
ADENO NT	123	42	10	2	5	15	20	12	4	6	3	4
ADENO 1	207	167	29	4	1	2	-	-	-	-	-	4
ADENO 2	327	272	40	5	-	1	3	1	-	-	-	5
ADENO 3	394	229	123	20	-	2	6	1	2	1	-	10
ADENO 4	21	4	5	1	-	3	3	1	1	1	-	2
ADENO 5	123	93	19	1	-	2	2	1	-	-	-	5
ADENO 6	44	35	5	-	1	1	-	-	-	-	-	2
ADENO 7	220	139	44	8	1	7	5	2	-	3	1	10
ADENO 8	61	5	2	-	4	7	8	5	4	1	4	21
ADENO 11	59	4	16	4	3	8	11	8	3	-	-	2
ADENO 19	27	4	1	2	-	10	4	1	2	1	2	-
ADENO 22	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	40	1	-	-	3	20	1	8	3	2	-	2
ADENO 40	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	15	13	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
HSV NT	85	50	12	2	1	6	2	5	4	-	-	3
HSV 1	348	183	56	19	6	35	15	14	5	1	-	14
HSV 2	57	8	1	-	6	20	6	4	1	5	6	-
VZV	11	1	1	-	1	2	2	2	-	2	-	-
CMV	257	204	12	1	2	11	14	4	1	4	2	2
CHLAMYD.NT	57	-	-	-	5	28	11	11	1	-	-	1
C.TRACHOMA	189	-	-	-	26	98	32	25	7	-	-	1
M.PNEUMON.	19	3	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-

NT:未同定
NT:Not typed

2-3. 0歳児の月齢
2-3. Infants

1987年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1987

	月齢(月) AGE IN MONTHS											不明 UNKNOWN	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11
TOTAL	111	89	69	68	56	71	98	116	111	144	145	131	31
COXSA.A2	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	2	1
COXSA.A4	1	-	-	-	-	-	-	-	2	4	2	2	-
COXSA.A5	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-
COXSA.A6	-	-	1	-	-	-	1	2	2	2	-	1	2
COXSA.A7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A8	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
COXSA.A9	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	3
COXSA.A10	-	1	2	1	3	-	2	-	4	4	2	6	1
COXSA.A16	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-
COXSA.A24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B1	2	2	1	3	-	-	2	-	-	3	-	1	-
COXSA.B2	12	5	3	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1
COXSA.B3	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B4	16	12	6	3	-	1	1	3	-	4	1	4	1
COXSA.B5	13	8	4	2	-	2	2	3	-	2	1	2	-
COXSA.B6	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
ECHO 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	13	9	5	3	1	2	1	4	1	4	6	2	-
ECHO 9	5	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	1	-
ECHO 11	3	2	-	-	-	1	4	-	-	1	3	1	-
ECHO 14	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
ECHO 18	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 20	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ECHO 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	1	-
ECHO 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ECHO 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	-	-	-	4	3	3	6	5	5	4	2	3	-
POLIO 2	-	-	-	1	4	4	3	1	4	1	1	1	-
POLIO 3	-	-	-	2	-	1	1	-	1	4	3	1	-
ENTERO71	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-
RHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1)	-	2	2	1	-	1	1	2	3	1	2	1	3
INF.A H1N1	2	1	3	1	3	5	2	4	3	6	6	2	1
INF.A(H3)	-	6	1	2	-	4	3	2	2	-	3	4	1
INF.A H3N2	1	1	1	1	1	2	3	1	6	6	5	4	-
INF.B	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
PARAINF.1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	3	1	-
PARAINF.3	-	-	-	-	2	-	2	2	1	-	1	-	-
RS	13	14	13	10	6	7	2	3	5	3	6	3	-
MUMPS	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-
MEASLES	-	-	1	2	-	-	1	1	-	1	4	3	-
REO 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	1	4	3	11	14	15	26	35	28	36	32	40	2
ROTA C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	1	-	-	2	-	-	2	5	2	7	4	2	-
ADENO NT	-	-	1	1	1	2	-	2	2	1	2	1	-
ADENO 1	1	-	1	-	-	1	5	3	2	7	6	5	1
ADENO 2	4	1	2	2	-	3	6	6	2	7	11	9	4
ADENO 3	2	1	-	1	-	1	-	-	1	5	5	-	2
ADENO 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 5	-	-	-	-	1	1	3	3	2	4	3	3	1
ADENO 6	-	1	-	-	-	2	-	1	1	1	3	1	1
ADENO 7	-	2	-	-	1	1	1	3	2	5	4	2	1
ADENO 8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
ADENO 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ADENO 22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 40	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
ADENO40/41	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	2	-	-
HSV NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	-
HSV 1	8	-	-	-	1	2	2	-	5	3	3	4	1
HSV 2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-
VZV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CMV	5	8	11	10	9	7	11	16	18	10	11	8	4
CHLAMYD.NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C.TRACHOMA	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
M.PNEUMON.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

NT: 未同定
NT: Not typed

3. 性別、由来ヒト、1996年

3. Isolation/detection of viruses from human sources, by sex of the source case, Japan, 1996

1997年 9月30日現在報告数

Based on the data received before September 30, 1997

TOTAL	男性 MALE													女性 FEMALE													性別不明 SEX UNKNOWN
	年齢群 (歳) AGE GROUP (AGE IN YEARS)													年齢群 (歳) AGE GROUP (AGE IN YEARS)													
	TOTAL	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	UNKNOWN	TOTAL	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70	UNKNOWN			
	4	9	14	19	29	39	49	59	69				4	9	14	19	29	39	49	59	69						
TOTAL	10579	5684	3053	1408	613	106	141	112	71	29	20	12	119	4784	2341	1215	541	108	154	139	77	41	31	20	117	111	
COXSA.A2	51	30	27	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	17	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.A4	97	51	45	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	36	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.A5	38	19	15	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	12	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.A6	158	77	60	14	3	-	-	-	-	-	-	-	-	80	49	25	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.A7	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A8	36	19	14	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.A9	49	28	20	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	21	14	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.A10	205	110	95	14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	89	69	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
COXSA.A16	56	24	17	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	23	18	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9
COXSA.A24	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA.B1	70	40	28	8	3	-	-	-	-	-	-	-	-	30	25	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA.B2	127	62	37	19	4	-	1	-	-	-	-	-	-	62	39	19	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.B3	25	10	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	15	13	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
COXSA.B4	351	207	155	48	3	-	-	-	-	-	-	-	-	138	90	38	6	-	-	2	1	-	-	-	-	-	1
COXSA.B5	125	67	47	16	1	1	1	-	-	-	-	-	-	58	36	15	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.B6	15	8	4	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	9	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 6	7	5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	288	154	92	53	7	-	1	-	-	-	-	-	-	131	83	38	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
ECHO 9	56	31	21	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	25	15	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 11	32	21	16	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	6	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
ECHO 14	7	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 16	6	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	7	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	24	13	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 30	4	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	44	27	26	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 2	40	23	20	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	13	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	30	19	18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	41	26	20	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	14	7	4	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1
RHINO	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	28	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
INF.A(H1)	796	420	121	220	43	8	5	10	5	2	1	1	4	376	113	178	41	3	7	20	7	3	2	-	-	-	2
INF.A(H1N1)	1536	805	311	397	61	6	8	4	3	-	-	-	1	726	260	343	68	6	11	21	4	4	-	-	-	-	1
INF.A(H3)	849	486	118	83	200	30	19	10	6	7	3	1	9	462	88	96	166	36	32	18	12	6	5	-	-	-	3
INF.A(H3N2)	1058	559	155	129	198	36	12	9	10	4	2	-	4	487	116	102	171	41	15	18	8	5	3	1	7	12	
INF.B	31	20	4	11	3	-	-	-	-	-	-	-	-	11	3	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
INF.C	8	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.1	52	27	22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	14	8	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
PARAINF.2	52	33	22	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	19	9	8	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF.3	41	25	23	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	15	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RS	202	118	108	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	86	81	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
MUMPS	258	167	73	64	24	-	1	3	-	-	-	-	-	89	39	36	10	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1
MEASLES	52	25	18	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	27	15	7	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
REO 1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	408	377	15	8	1	-	1	-	-	-	-	6	351	319	16	1	1	1	2	1	-	2	4	4	13	
ROTA C	18	12	-	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	247	126	37	11	9	2	13	7	10	3	1	2	31	120	33	10	5	1	12	14	9	5	2	2	27	1	
ADENO NT	123	70	28	3	-	3	13	13	5	1	2	1	1	53	14	7	2	2	2	7	7	3	4	2	3	-	
ADENO 1	207	109	90	14	2	1	1	-	-	-	-	-	-	94	75	14	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
ADENO 2	327	190	160	24	1	-	1	1	-	-	-	-	-	134	109	16	4	-	-	2	1	-	-	-	-	-	2
ADENO 3	394	218	133	68	7	-	-	5	1	-	-	-	-	172	94	55	13	-	2	1	-	2	1	-	-	-	4
ADENO 4	21	14	3	2	-	-	3	2	1	1	1	-	-	7	1	3											

4. 検体の種類、由来ヒト、1996年

4. Isolation/detection of viruses from human sources, by source of specimens, Japan, 1996

1997年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

例数	便	鼻咽喉	眼	髄液	皮膚/水疱液	尿	血	脳脊液	その他	不明			
NUMBER OF CASES	STOOL	NASOPHARYNG. SOURCE	EYE SWAB	SPINAL FLUID	SKIN/VESICLE SOURCE	URINE	BRAIN BLOOD	LUNG/BRONCH	OTHER	UNKNOWN			
TOTAL	10579	1811	8085	263	287	92	202	9	1	38	59	2	8
COXSA. A2	51	6	45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A4	97	3	94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A5	38	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A6	158	21	140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A8	36	2	33	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A9	49	17	31	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A10	205	14	182	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A16	56	3	49	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-
COXSA. A24	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. B1	70	25	40	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-
COXSA. B2	127	22	99	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA. B3	25	4	18	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. B4	351	92	258	-	29	-	4	-	-	-	-	-	-
COXSA. B5	125	26	64	-	43	-	8	-	1	-	-	-	-
COXSA. B6	15	6	7	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	2	11	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	7	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	288	108	168	2	55	-	5	-	-	-	-	-	-
ECHO 9	56	20	33	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 11	32	4	23	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	7	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	6	1	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	7	3	4	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	1	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	9	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	14	24	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 30	4	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	44	25	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 2	40	26	13	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	30	23	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	41	4	34	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-
RHINO	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A NT	28	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A (H1)	796	-	794	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
INF. A (H1N1)	1536	-	1536	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A (H3)	949	-	949	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A (H3N2)	1058	-	1057	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. B	31	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. C	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 1	52	-	51	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 2	52	-	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 3	41	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RS	202	-	188	-	-	-	-	-	14	-	-	-	1
MUMPS	258	-	182	-	74	-	4	-	-	-	-	-	-
MEASLES	52	-	43	2	-	-	8	-	-	-	-	-	-
REO 1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	772	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA C	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	247	247	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO NT	123	34	13	32	-	-	43	-	-	-	-	-	1
ADENO 1	207	26	179	6	1	-	-	-	-	-	-	-	1
ADENO 2	327	66	270	5	1	-	2	-	-	-	-	-	1
ADENO 3	394	38	353	26	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ADENO 4	21	-	11	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 5	123	20	103	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-
ADENO 6	44	9	34	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ADENO 7	220	57	187	22	-	-	2	-	4	-	-	-	1
ADENO 8	61	1	3	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 11	59	-	5	5	-	-	49	-	-	-	-	-	-
ADENO 19	27	1	4	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 22	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	40	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 40	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO40/41	15	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HSV NT	85	-	69	3	6	-	-	1	6	-	-	-	-
HSV 1	348	-	262	20	2	45	-	2	19	-	-	-	1
HSV 2	57	-	8	-	12	3	1	-	33	-	-	-	-
VZV	11	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1
CMV	257	-	166	1	2	69	-	15	1	1	2	-	-
CHLAMYD. NT	57	-	-	-	-	53	-	-	48	-	-	-	-
C. TRACHOMA	189	-	-	19	-	-	-	-	170	-	-	-	-
M. PNEUMON.	19	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

NT:未同定 異なる種類の検体から同一ウイルスが検出された例を含む
NT: Not typed Including cases from which the same virus was isolated from multiple specimens

6. 臨床症状、由来ヒト、1996年

6. Isolation/detection of viruses from human sources, by clinical condition of the source case, Japan, 1996

1997年9月30日現在報告済
Based on the data received before September 30, 1997

	例数	不 詳	無 症 状	発 熱	水 疱	発 疹	口 炎	ヘル ペ ス	手 足 口 病	咽 痛 ・ 筋 痛	上 気 道 炎	下 気 道 炎	胃 腸 炎	肝 炎	腎 炎	心 筋 炎	角 ・ 結 膜 炎	髄 膜炎	麻 痺	弛 緩 性 麻 痺	リン パ 節 腫 大	咽 頭 腫 大	出 血 性 血 液	そ の 他 の 特 徴	
	NUMBER OF CASES	NO DATA	NO ILL.	FEVER	VESICLE	ERUPTION	STOMATITIS	HERPANGINA	H-F-TH DIS.	PHYS. & JNT	RESP. UPPER	RESP. LOWER	GASTR-INTEST	HEPATITIS	NEPHRITIS	MYOCARDITIS	ENITIS	ENCEPHALITIS	PARALYSIS	GAIT/URIN	LYMPE.	SEALIVA GLAND	HEMORRHAGIC	OTHER	
TOTAL	10579	868	70	7727	78	350	370	494	79	411	5300	667	2169	25	2	2	401	293	23	3	55	76	65	7	872
COXSA. A2	51	-	-	40	-	-	6	34	-	-	37	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
COXSA. A4	97	3	-	62	4	2	31	72	6	2	28	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA. A5	38	-	-	24	3	1	9	26	1	-	18	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
COXSA. A6	158	-	-	92	3	7	25	76	3	-	77	5	-	11	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	4
COXSA. A7	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A8	36	-	-	29	-	1	10	30	-	-	14	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A9	49	4	-	26	1	15	1	2	-	1	10	-	-	5	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-	1
COXSA. A10	205	1	2	160	2	9	65	122	10	3	52	4	-	6	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6
COXSA. A16	56	-	-	35	4	30	6	6	7	-	17	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
COXSA. A24	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. B1	70	2	17	48	-	5	2	3	-	1	21	2	-	6	1	-	-	6	1	-	-	2	-	-	2
COXSA. B2	127	19	1	95	-	2	1	4	1	1	64	9	12	-	-	-	1	14	-	-	-	3	2	-	3
COXSA. B3	25	2	-	20	-	3	-	2	1	1	11	1	-	2	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	2
COXSA. B4	351	16	17	270	3	18	25	40	3	4	186	13	63	1	-	-	5	39	-	-	2	-	-	-	23
COXSA. B5	125	29	1	67	1	6	5	8	-	-	26	7	10	-	-	-	-	2	27	-	-	-	-	-	7
COXSA. B6	15	-	1	9	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	1	-	-	-	-	2
ECHO 4	16	1	-	15	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 6	7	-	1	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	288	29	11	192	-	23	5	10	1	3	94	12	65	1	-	-	6	65	3	-	3	5	-	1	29
ECHO 9	56	11	-	34	-	21	-	1	-	-	15	1	-	1	-	-	-	15	1	-	-	-	-	-	3
ECHO 11	32	-	-	27	-	10	-	-	-	-	13	-	-	5	-	-	1	3	1	-	-	-	-	-	5
ECHO 14	7	-	-	6	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	6	-	-	6	-	3	-	-	-	-	6	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	7	-	-	6	-	1	-	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	-	-	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	-	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	4	4	1	-	1	-	-	-	-	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ECHO 24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	1	-	34	-	-	-	-	-	-	24	6	5	-	-	-	-	6	1	-	-	1	-	-	4
ECHO 30	4	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1
POLIO 1	44	3	-	20	-	4	1	-	-	-	20	6	20	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
POLIO 2	40	-	-	18	-	4	3	1	-	-	13	4	23	1	-	-	-	4	-	-	1	-	-	-	3
POLIO 3	30	-	-	17	-	4	1	-	-	-	17	3	14	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5
ENTERO71	41	1	-	9	1	7	5	-	32	-	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	2
RHINO	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
INF. A NT	28	19	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
INF. A (H1)	796	4	-	673	-	3	2	-	1	42	680	47	98	-	-	-	7	2	2	-	-	4	-	-	96
INF. A (H1N1)	1536	16	-	1454	-	6	-	-	-	107	882	108	206	-	-	-	23	-	6	1	-	4	-	1	150
INF. A (H3)	849	8	2	804	1	7	-	-	-	86	788	52	104	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	184
INF. A H3N2	1058	14	-	1009	-	3	1	-	-	139	655	82	109	-	-	-	17	1	2	-	-	2	-	-	123
INF. B	31	1	-	29	-	-	-	-	-	5	28	1	11	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	11
INF. C	8	-	-	8	-	1	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
PARAINF. 1	52	-	-	49	-	1	-	1	-	-	39	9	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
PARAINF. 2	52	6	-	40	-	1	1	-	-	1	35	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
PARAINF. 3	41	2	-	39	-	1	-	1	-	-	30	9	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
RS	202	83	-	100	1	-	-	-	-	1	67	43	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12
MUMPS	259	92	-	115	1	3	2	-	-	1	26	2	18	-	-	-	1	40	1	-	-	8	59	-	15
MEASLES	52	3	-	46	-	34	2	-	-	-	34	5	11	-	-	-	-	6	-	-	-	1	-	-	4
REO 1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	28	1	365	-	1	1	-	-	-	115	19	718	3	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	34
ROTA C	18	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	247	21	5	64	-	-	-	-	-	-	9	1	217	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ADENO NT	123	71	-	22	-	1	1	-	-	-	9	3	30	1	-	-	13	-	-	-	4	4	-	-	7
ADENO 1	207	7	2	168	-	6	2	5	1	4	147	17	43	2	-	-	12	2	-	-	2	1	-	-	10
ADENO 2	327	18	4	246	-	21	2	5	1	1	206	26	67	1	-	-	15	4	-	-	8	-	1	-	24
ADENO 3	394	13	-	348	-	12	1	3	-	3	300	43	66	1	-	-	80	2	-	-	11	-	-	-	24
ADENO 4	21	4	-	8	-	-	-	-	-	1	6	2	2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 5	123	6	-	98	-	5	4	2	-	1	88	13	18	1	-	-	6	3	-	-	2	1	1	-	6
ADENO 6	44	2	1	33	-	1	-	1	-	-	25	2	9	-	-	-	3	1	-	-	1	-	-	-	2
ADENO 7	220	36	-	138	-	3	4	5	-	2	95	40	41	2	-	-	29	1	1	-	3	-	-	-	9
ADENO 8	61																								

7. 検出方法、由来ヒト、1996年

7. Isolation/detection of viruses from human sources, by method of isolation, Japan, 1996

1997年 9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

例数	培養	培養の方法 ISOLATED BY				電顕	蛍光	酵素免疫法	RPHA	その他	
		動物	鶏卵	細胞	人工培養地						
NUMBER OF CASES	CULTURE	ANIMAL	CHICK EMBRYO	CELL CULTURE	CULTURE MEDIUM	ELECTRON MICROSCOPY	IMMUNOFLOURESCENCE	FIA	RPHA	OTHER	
TOTAL	10579	9385	462	54	8908	-	531	27	599	32	157
COXSA.A2	51	51	10	-	41	-	-	-	-	-	-
COXSA.A4	97	97	88	-	9	-	-	-	-	-	-
COXSA.A5	35	38	34	-	8	-	-	-	-	-	-
COXSA.A6	158	158	115	-	44	-	-	-	-	-	-
COXSA.A7	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.A8	36	36	35	-	1	-	-	-	-	-	-
COXSA.A9	49	49	2	-	47	-	-	-	-	-	-
COXSA.A10	205	205	159	-	52	-	-	-	-	-	-
COXSA.A16	56	56	7	-	55	-	-	-	-	-	-
COXSA.A24	3	3	-	-	3	-	-	-	-	-	-
COXSA.B1	70	70	-	-	70	-	-	-	-	-	-
COXSA.B2	127	127	-	-	127	-	-	-	-	-	-
COXSA.B3	25	25	-	-	25	-	-	-	-	-	-
COXSA.B4	351	351	8	-	344	-	-	-	-	-	-
COXSA.B5	125	125	2	-	123	-	-	-	-	-	-
COXSA.B6	15	15	-	-	15	-	-	-	-	-	-
ECHO 2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	16	-	-	16	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	7	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-
ECHO 7	288	288	1	-	287	-	-	-	-	-	-
ECHO 9	56	56	-	-	56	-	-	-	-	-	-
ECHO 11	32	32	-	-	32	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	7	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-
ECHO 16	6	6	-	-	6	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	7	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-
ECHO 20	6	6	-	-	6	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	7	-	-	7	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	12	-	-	12	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	39	-	-	39	-	-	-	-	-	-
ECHO 30	4	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	44	44	-	-	44	-	-	-	-	-	-
POLIO 2	40	40	-	-	40	-	-	-	-	-	-
POLIO 3	30	30	-	-	30	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	41	41	-	-	41	-	-	-	-	-	-
RHINO	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
INF.A NT	28	28	-	-	28	-	-	-	-	-	-
INF.A(H1)	796	796	18	-	780	-	-	-	-	-	-
INF.A H1N1	1536	1536	12	-	1532	-	-	-	-	-	-
INF.A(H3)	949	949	7	-	945	-	-	-	-	-	-
INF.A H3N2	1058	1058	16	-	1050	-	-	-	-	-	-
INF.B	31	31	1	-	30	-	-	-	-	-	-
INF.C	8	8	-	-	8	-	-	-	-	-	-
PARAINF.1	52	52	-	-	52	-	-	-	-	-	-
PARAINF.2	52	52	-	-	52	-	-	-	-	-	-
PARAINF.3	41	41	-	-	41	-	-	-	-	-	-
RS	202	122	-	-	122	-	1	78	-	2	-
MUMPS	258	258	-	-	258	-	-	-	-	-	-
MEASLES	52	52	-	-	52	-	-	-	-	-	-
REO 1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
ROTA	772	-	-	-	-	250	-	475	19	141	-
ROTA C	18	-	-	-	-	7	-	-	11	-	-
SRV	247	-	-	-	-	241	-	-	1	6	-
ADENO NT	123	90	-	-	90	19	-	14	2	7	-
ADENO 1	207	207	-	-	207	1	-	2	-	-	-
ADENO 2	327	327	1	-	326	1	-	1	-	-	-
ADENO 3	394	394	-	-	394	1	-	1	-	-	-
ADENO 4	21	21	-	-	21	-	-	-	-	-	-
ADENO 5	123	123	-	-	123	2	-	2	-	-	-
ADENO 6	44	44	-	-	44	-	-	-	-	-	-
ADENO 7	220	220	-	-	220	6	-	5	-	-	-
ADENO 8	61	61	-	-	61	-	-	-	-	-	-
ADENO 11	59	59	-	-	59	-	-	-	-	-	-
ADENO 19	27	27	-	-	27	-	-	-	-	-	-
ADENO 22	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ADENO 37	40	40	-	-	40	-	-	-	-	-	-
ADENO 40	5	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-
ADENO40/41	15	-	-	-	-	1	-	15	-	1	-
HSV NT	85	85	-	-	85	-	-	-	-	-	-
HSV 1	348	335	-	-	335	-	16	-	-	-	-
HSV 2	57	50	-	-	50	-	7	-	-	-	-
VZV	11	8	-	-	8	-	3	-	-	-	-
CMV	257	257	-	-	257	-	-	-	-	-	-
CHLAMYD.NT	57	-	-	-	-	-	-	57	-	-	-
C.TRACHOMA	189	69	-	-	69	-	148	-	-	-	-
M.PNEUMON.	19	19	-	-	19	-	-	-	-	-	-

NT:未同定
NT: Not typed

異なる方法で同一ウイルスが検出された例を含む
Including cases from which the same virus was isolated by multiple methods

8. 検体採取の理由、由来ヒト、1996年

8. Isolation/detection of viruses from human sources, by reason for specimen collection, Japan, 1996

1997年 8月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

例数	散発	流行	伝染病	国際	国内	海外	その他
NUMBER OF CASES	SPORADIC CASE	EPIDEMIC CASE	RATIONAL EPIDEMIOLOGICAL SURVEILLANCE OF VACCINE-PREVENTABLE DISEASES	SURVEILLANCE/SPECIAL STUDY	REGIONAL (EPIDEMIOLOGICAL) SURVEILLANCE OF INFECTIOUS DISEASES	NATIONAL EPIDEMIOLOGICAL SURVEILLANCE	IMPORTED CASE
TOTAL	10579	1925	832	822	1583	6637	312
COXSA. A2	51	5	-	3	-	48	-
COXSA. A4	97	17	-	-	1	93	-
COXSA. A5	38	6	4	-	3	36	-
COXSA. A6	158	24	11	-	5	153	-
COXSA. A7	1	1	-	-	-	-	-
COXSA. A8	36	19	8	-	3	33	-
COXSA. A9	49	6	2	-	2	43	-
COXSA. A10	205	48	4	2	24	180	-
COXSA. A16	56	-	-	-	1	55	-
COXSA. A24	3	-	-	-	-	1	2
COXSA. B1	70	7	-	17	2	50	-
COXSA. B2	127	14	-	4	42	69	1
COXSA. B3	25	2	1	-	1	24	-
COXSA. B4	351	52	3	22	49	262	-
COXSA. B5	125	43	2	1	5	87	-
COXSA. B6	15	-	-	-	1	12	1
ECHO 2	1	-	-	-	-	1	-
ECHO 4	16	1	-	-	-	14	1
ECHO 5	1	-	-	-	1	-	-
ECHO 6	7	-	1	1	1	5	-
ECHO 7	288	66	1	15	52	194	-
ECHO 9	56	23	-	-	2	41	-
ECHO 11	32	-	-	-	1	31	-
ECHO 14	7	2	-	-	1	5	-
ECHO 16	6	-	-	-	-	6	-
ECHO 18	7	2	-	-	1	6	-
ECHO 20	6	-	-	-	-	6	-
ECHO 21	7	1	-	-	1	6	-
ECHO 22	12	4	-	4	-	5	-
ECHO 24	1	-	-	-	1	-	-
ECHO 25	39	7	-	-	9	27	-
ECHO 30	4	1	-	-	-	2	-
POLIO 1	44	6	-	-	11	32	-
POLIO 2	40	3	-	-	3	37	-
POLIO 3	30	-	-	-	-	30	-
ENTERO71	41	26	1	-	1	38	-
RHINO	1	1	-	-	-	-	-
INF. A NT	28	28	-	-	-	8	-
INF. A(H1)	798	115	125	116	96	538	1
INF. A H1N1	1536	89	154	272	313	809	-
INF. A(H3)	948	122	149	112	147	589	-
INF. A H3N2	1058	61	115	232	159	559	4
INF. B	31	9	11	1	8	6	-
INF. C	8	-	-	-	8	-	-
PARAINF. 1	52	4	-	1	33	18	-
PARAINF. 2	52	8	-	-	28	18	-
PARAINF. 3	41	2	-	-	33	6	-
RS	202	111	-	-	43	49	-
MUMPS	258	63	6	-	19	182	5
MEASLES	52	13	4	-	1	45	-
REO 1	1	-	-	-	-	1	-
ROTA	772	166	20	-	60	614	-
ROTA C	18	5	11	-	5	2	-
SRV	247	25	164	-	20	68	-
ADENO NT	123	87	1	-	13	34	-
ADENO 1	207	22	-	3	33	157	-
ADENO 2	327	36	2	4	53	253	-
ADENO 3	394	30	6	1	43	331	-
ADENO 4	21	10	-	-	6	12	-
ADENO 5	123	7	5	2	29	89	-
ADENO 6	44	8	1	1	4	33	-
ADENO 7	220	56	20	2	7	180	-
ADENO 8	61	46	-	-	2	30	-
ADENO 11	59	45	-	-	-	17	-
ADENO 19	27	12	-	-	-	25	-
ADENO 22	1	-	-	-	-	1	-
ADENO 37	40	33	-	-	4	32	-
ADENO 40	5	-	-	-	-	5	-
ADENO40/41	15	3	-	-	1	13	-
HSV NT	85	27	-	-	36	26	-
HSV 1	348	111	-	3	36	226	-
HSV 2	57	29	-	-	4	29	-
VZV	11	11	-	-	-	-	-
CMV	257	144	-	-	113	-	-
CHLAMYD. NT	57	56	-	-	-	55	-
C. TRACHOMA	189	15	-	-	11	178	-
M. PNEUMON.	19	-	-	-	-	19	-

NT:未測定 複数回答あり
NT:Not typed Including cases for which multiple answers were furnished

9. 検査実施機関、由来ヒト、1996年

9. Isolation/detection of viruses from human sources, by institution, Japan, 1996

1997年9月30日現在報告済
Based on the data received before September 30, 1997

合計	公 研	病 院・大 学	民 間 検 査 所	COMMERICAL DIAGNOSTIC LABORATORY
TOTAL	PUBLIC HEALTH INSTITUTE	HOSPITAL/UNIVERSITY		
TOTAL	10579	9244	633	702
COXSA.A2	51	51	-	-
COXSA.A4	97	95	-	2
COXSA.A5	38	38	-	-
COXSA.A6	158	158	-	-
COXSA.A7	1	1	-	-
COXSA.A8	36	36	-	-
COXSA.A9	49	49	-	-
COXSA.A10	205	205	-	-
COXSA.A16	56	55	1	-
COXSA.A24	3	3	-	-
COXSA.B1	70	70	-	-
COXSA.B2	127	86	32	9
COXSA.B3	25	25	-	-
COXSA.B4	351	337	4	10
COXSA.B5	125	95	1	29
COXSA.B6	15	15	-	-
ECHO 2	1	1	-	-
ECHO 4	16	15	-	1
ECHO 5	1	1	-	-
ECHO 6	7	7	-	-
ECHO 7	288	265	1	22
ECHO 9	56	43	-	13
ECHO 11	32	32	-	-
ECHO 14	7	7	-	-
ECHO 16	6	6	-	-
ECHO 18	7	7	-	-
ECHO 20	6	6	-	-
ECHO 21	7	7	-	-
ECHO 22	12	9	-	3
ECHO 24	1	1	-	-
ECHO 25	39	39	-	-
ECHO 30	4	4	-	-
POLIO 1	44	38	5	1
POLIO 2	40	40	-	-
POLIO 3	30	30	-	-
ENTERO71	41	40	-	1
RHINO	1	-	-	1
INF.A NT	28	8	-	20
INF.A (H1)	796	796	-	-
INF.A H1N1	1536	1380	156	-
INF.A (H3)	949	949	-	-
INF.A H3N2	1058	936	122	-
INF.B	31	31	-	-
INF.C	8	-	8	-
PARAINF.1	52	38	14	-
PARAINF.2	52	36	10	6
PARAINF.3	41	37	2	2
RS	202	130	26	46
MUMPS	258	204	1	53
MEASLES	52	51	-	1
REQ 1	1	1	-	-
ROTA	772	761	11	-
ROTA C	18	18	-	-
SRV	247	247	-	-
ADENO NT	123	48	-	75
ADENO 1	207	181	19	7
ADENO 2	327	289	27	11
ADENO 3	394	352	27	15
ADENO 4	21	18	-	3
ADENO 5	123	110	12	1
ADENO 6	44	41	1	2
ADENO 7	220	191	-	29
ADENO 8	61	33	-	28
ADENO 11	59	19	-	40
ADENO 19	27	26	-	1
ADENO 22	1	1	-	-
ADENO 37	40	36	-	4
ADENO 40	5	5	-	-
ADENO40/41	15	15	-	-
HSV NT	85	29	32	24
HSV 1	348	274	4	70
HSV 2	57	38	1	18
VZV	11	-	3	8
CMV	257	1	113	143
CHLAMYD.NT	57	57	-	-
C.TRACHOMA	189	189	-	-
M.PNEUMON.	19	19	-	-

NT : 未同定
NT : Not typed

10. 検体提供者の住所（都道府県・政令市）、由来ヒト、1996年

10. Isolation/detection of viruses from human sources, by place of residence of the source case, Japan, 1996

1997年9月30日現在報告済
Based on the data received before September 30, 1997

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
	TOTAL	HOKKAIDO P.	AOMORI P.	IWATE P.	MIYAGI P.	AKITA P.	YAMAGATA P.	FUKUSHIMA P.	IBARAKI P.	TOCHIGI P.	GUNMA P.	SAITAMA P.	CHIBA P.	TOKYO H.	KANAGAWA P.	NIIGATA P.	TOYAMA P.	ISHIKAWA P.	FUKUI P.	YAMANASHI P.	NAAGANO P.	Gifu P.	SHIZUOKA P.	AICHI P.	MIE P.	SHIGA P.	KYOTO P.	OSAKA P.	HYOGO P.	NARA P.	WAKAYAMA P.	TOTTORI P.	SHIMANE P.
TOTAL	10579	37	13	28	103	351	50	544	79	26	183	208	193	113	202	85	87	63	90	64	569	43	99	343	34	221	49	389	124	254	75	345	379
COXSA.A2	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	6	-	-	26	5	
COXSA.A4	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	14	
COXSA.A5	38	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2	5	
COXSA.A6	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	2	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2	8	18	10	-	17	60		
COXSA.A7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A8	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A9	49	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	
COXSA.A10	205	-	-	-	-	19	-	1	-	9	-	20	-	26	2	-	3	-	-	-	12	2	4	-	11	3	5	12	-	-	-	10	
COXSA.A16	56	-	-	-	-	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
COXSA.A24	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B1	70	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	1	3	
COXSA.B2	127	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5	1	3	1	12	-	2	-	2	11	
COXSA.B3	25	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	2	
COXSA.B4	351	-	-	-	-	-	22	3	-	8	3	2	2	-	11	6	3	-	-	-	8	2	1	22	1	26	7	6	14	-	28	14	
COXSA.B5	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	37	1	1	-	9	5	-	-	-	5	7	
COXSA.B6	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 4	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 6	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 7	288	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	6	8	1	-	-	8	10	4	43	1	34	16	2	15	13	14	7	
ECHO 9	56	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 11	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 14	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 16	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 18	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 20	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-		
ECHO 21	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
ECHO 22	12	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 25	39	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
ECHO 30	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
POLIO 1	44	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	-	1	-	-	-	3	1	-	
POLIO 2	40	-	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	6	5	1	1	1	2	-	-	6	-	-	
POLIO 3	30	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	2	3	-	
ENTERO71	41	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	
RHINO	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A NT	28	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A (H1)	796	-	-	14	3	-	99	48	8	40	42	86	74	-	37	11	23	-	-	-	-	-	51	-	32	1	27	13	14	-	2	63	
INF.A H1N1	1536	8	8	1	46	45	20	219	1	9	1	87	31	1	46	22	14	2	27	12	221	-	4	-	28	2	107	20	75	-	3	15	
INF.A (H3)	949	1	1	3	2	-	-	23	-	78	-	20	-	-	26	21	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A H3N2	1058	-	4	46	113	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.B	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.C	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF.1	52	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	
PARAINF.2	52	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
PARAINF.3	41	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	
RS	202	-	-	-	-	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	4	8	-	-	-	-	
MUMPS	258	-	-	-	84	4	1	8	3	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2	2	-	5	-	2	1	9	-	21	22
MEASLES	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	2	
REO 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ROTA	772	-	-	-	-	30	-	-	-	18	2	22	-	17	5																		

10. Continued

1997年9月30日現在報告迄
Based on the data received before September 30, 1997

	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	福岡県	佐賀県	福岡県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	札幌市	仙台市	千葉市	横浜市	川崎市	名古屋市	京都市	大阪市	神戸市	広島市	北九州市	福岡市	不明	
	OKAYAMA P.	HIROSHIMA P.	YAMAGUCHI P.	TOKUSHIMA P.	KAGAWA P.	EHIME P.	KOCHI P.	FUKUOKA P.	SAGA P.	HAGASAKI P.	KUMAMOTO P.	MIYAZAKI P.	KAGOSHIMA P.	OKINAWA P.	SAPPORO C.	SENDAI C.	CHIBA C.	YOKOHAMA C.	KAWASAKI C.	NAGOYA C.	KYOTO C.	OSAKA C.	KOBE C.	HIROSHIMA C.	KITAYUSHU C.	FUKUOKA C.	UNKNOWN	
TOTAL	81	101	3	71	630	403	193	46	130	76	102	177	51	71	9	270	705	53	257	328	83	68	83	106	269	62	47	671
COXSA .A2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
COXSA .A4	1	-	-	-	-	-	1	5	1	-	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
COXSA .A5	-	1	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA .A6	2	2	-	-	-	1	5	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	7	-	-	-	
COXSA .A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA .A8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA .A9	2	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	
COXSA .A10	1	-	-	-	-	6	7	8	19	-	-	1	-	-	-	-	4	-	8	-	5	-	-	3	2	-	-	
COXSA .A16	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
COXSA .A24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA .B1	19	14	-	-	6	-	-	1	-	2	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	10	1	-	-	8	
COXSA .B2	-	-	-	-	-	-	-	3	3	3	3	-	-	-	-	32	1	8	-	-	1	-	4	-	2	-	-	
COXSA .B3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	
COXSA .B4	4	3	4	13	29	16	1	12	1	7	13	-	-	-	-	4	-	12	5	3	7	4	1	4	1	2	10	
COXSA .B5	1	2	2	1	6	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	5	3	-	2	1	-	-	-	-	28	
COXSA .B6	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ECHO 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 6	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 7	8	-	-	4	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	9	-	36	-	5	7	-	-	1	21		
ECHO 9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	13	
ECHO 11	-	-	-	-	-	27	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
ECHO 14	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
ECHO 18	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
ECHO 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 25	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	9	-	-	-	
ECHO 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
POLIO 1	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5	-	4	-	2	1	-	-	4	-	-	1	
POLIO 2	-	1	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	2	-	-	-	
POLIO 3	-	2	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	
ENTERO71	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	20	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	1	
RHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	
INF .A NT	-	-	-	-	-	-	-	1	37	-	-	21	-	-	64	15	33	-	-	4	12	-	-	11	6	-	-	
INF .A (H1N1)	-	13	3	38	305	111	52	1	4	50	28	27	19	5	11	186	-	137	-	-	-	-	-	14	1	-	-	
INF .A (H3)	1	1	-	-	15	2	2	4	-	-	-	-	-	-	76	-	12	35	-	4	8	22	-	6	21	-	-	
INF .A H3N2	-	5	-	3	38	19	8	2	13	3	10	-	6	-	10	178	-	125	-	1	-	-	-	1	-	-	-	
INF .B	-	1	-	-	6	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3	-	1	2	5	-	1	-	-	-	-	-	1	
INF .C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF .1	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF .2	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	16	8	-	-	-	-	3	-	-	6	-	
PARAINF .3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	28	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	
RS	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	9	-	1	-	54	-	-	-	-	46	-	
MUMPS	4	3	-	-	5	-	2	-	2	-	-	1	-	-	1	-	6	1	1	1	1	1	11	-	-	53		
MEASLES	-	1	-	-	28	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	1	2	-	-	-	1	-	
REO 1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ROTA	2	4	-	3	61	41	27	4	10	-	6	12	-	44	1	2	4	15	20	-	11	20	19	18	29	4	2	
ROTA C	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
SRV	-	1	-	-	18	1	-	9	-	16	-	-	-	-	-	-	9	7	-	-	10	-	10	17	-	-	-	
ADENO NT	1	-	-	-	8	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	3	6	-	-	2	1	1	1	4	-	73		
ADENO 1	5	3	-	2	14	19	4	-	1	-	3	1	-	1	19	6	6	2	1	1	1	1	14	-	2	6		
ADENO 2	6	13	-	2	27	15	4	-	1	-	3	-	1	6	27	3	2	2	1	2	3	19	4	-	12	-		
ADENO 3	4	6	-	9	129	34	8	1	6	-	7	-	1	6	28	1	2	1	8	-	1	-	19	-	1	12		
ADENO 4	1	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	5	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
ADENO 5	2	3	-	1	3	1	1	-	2	-	1	3	-	3	12	1	6	-	5	2	-	-	12	2	-	1		
ADENO 6	1	1	-	-	2	9	-	1	-	-	-	2	-	1	-	2	1	-	1	-	1	2	1	-	-	2		
ADENO 7	2	7	-	-	1	-	2	7	2	-	1	2	-	22	-	2	5	-	-	-	-	-	42	-	-	30		
ADENO 8																												

11. 報告機関、由来ヒト、1996年

1.1. Isolation/detection of viruses from human sources, by participating laboratory, Japan, 1996

(Refer to code map in page 154~159)

1997年9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

	TOTAL	011	012	021	031	041	042	051	061	071	081	091	101	111	121	122	131	141	142	143	151	161	171	181	191	201	211	221	231	232	241	251	261	262
	合	北	札	青	岩	宮	仙	秋	山	福	茨	栃	群	埼	千	千	東	神	横	川	新	宮	石	福	山	長	岐	静	愛	名	三	滋	京	京
	計	道	海	森	手	城	台	因	形	島	城	水	馬	玉	鹿	茨	奈	奈	浜	崎	潟	山	川	井	栗	野	阜	岡	知	吉	笠	賀	都	都
TOTAL	10579	67	240	13	27	88	94	350	50	562	81	23	184	166	226	20	117	199	257	329	85	87	63	98	65	569	43	94	340	85	31	220	41	54
COXSA. A2	51	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	7	-	-	-	-	1
COXSA. A4	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	1	-
COXSA. A5	38	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
COXSA. A6	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	6	-	-	2	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	2	3
COXSA. A7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A8	36	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A9	49	-	-	-	-	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
COXSA. A10	205	-	-	-	-	-	19	1	-	-	-	9	-	24	-	-	25	2	8	2	-	3	-	3	-	12	2	-	4	-	-	11	-	5
COXSA. A16	96	-	-	-	-	-	45	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. A24	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
COXSA. B1	70	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
COXSA. B2	127	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	7	2	1	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	11	-	4	-	-	1	3	1	-
COXSA. B3	25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
COXSA. B4	351	-	-	-	-	-	-	22	3	-	9	3	2	-	-	-	-	12	5	-	11	6	3	-	8	2	-	23	3	-	26	7	7	-
COXSA. B5	125	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	1	-	2	-	37	1	3	-	-	-	-	-
COXSA. B6	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
ECHO 2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 4	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 6	7	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
ECHO 7	288	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	8	-	8	10	4	41	38	-	34	-	-	-
ECHO 9	56	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	8	1	-	-	-	5	-	1	1	-	-	-
ECHO 11	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 14	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ECHO 16	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 18	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-
ECHO 20	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 21	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 22	12	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ECHO 25	39	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ECHO 30	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
POLIO 1	44	-	-	-	-	-	-	6	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-
POLIO 2	40	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	6	-	5	-	1	1	1	-	-
POLIO 3	30	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ENTERO71	41	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	1
RHINO	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A NT	28	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. A (H1)	796	-	64	-	14	-	-	-	103	-	-	-	41	101	-	-	74	33	-	-	-	37	11	-	22	-	-	51	4	-	32	-	13	-
INF. A (H1N1)	1536	19	-	9	46	30	45	20	-	48	8	40	-	2	-	-	-	137	22	-	22	-	22	-	222	3	-	-	-	-	-	24	-	-
INF. A (H3)	949	-	77	-	3	-	-	-	224	-	9	-	86	43	-	-	46	35	-	-	-	14	2	27	13	-	-	36	3	-	28	2	8	-
INF. A (H3N2)	1058	10	-	4	42	60	113	22	-	23	-	78	-	-	20	-	-	125	26	-	21	2	-	237	-	-	-	6	-	1	-	-	-	
INF. B	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	2	5	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
INF. C	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 1	52	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 2	52	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	17	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
PARAINF. 3	41	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
RS	202	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
MUMP	256	-	-	-	-	84	-	4	1	-	9	2	-	-	-	-	6	1	2	-	-	2	-	-	-	-	2	2	1	-	5	-	-	-
MEASLES	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
REO 1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ROTA	772	1	-	-	-	2	-	-	30	-	-	-	2	4	39	-	15	20	17	5	3	3	-	4	8	8	61	-	-	16	-	3	-	-
ROTA C	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SRV	247	2	-	-	10	-	-	-	-	-	-	13	20	9	43	-	7	-	-	8	-	12	-	-	-	-	-	19	4	-	-	-	-	-
ADENO NT	123	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	4	-	-	1	6	-	-	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ADENO 1	207	-	1	-	-	-	1	19	-	-	7	2	3	-	-	-	6	-	-	-	2	-	1	5	2	9	1	2	-	6	-	1	-	-
ADENO 2	327	4	2	-	-	7	-	24	2	-	7	1	-	-	-	1	3	2	1	-	-	-	-	2	12	-	12							

11. Continued

1997年9月30日現在報告数
Based on the data received before September 30, 1997

	271	272	281	282	291	301	311	321	331	341	342	351	361	371	381	391	401	402	403	411	421	431	432	441	451	461	471	602	607	604	611	83	
	大阪府	大阪府	兵庫県	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	広島市	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	福岡市	北九州	佐賀県	長崎県	熊本県	熊本市	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	国立	国立	S	M		
TOTAL	321	125	117	110	261	79	363	374	76	105	269	3	71	629	405	194	44	53	63	128	75	80	22	177	52	71	9	19	614	619	83		
COXSA.A2	-	-	6	-	-	-	26	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A4	3	-	2	-	3	-	1	14	1	-	-	-	-	-	-	1	5	1	-	1	-	-	-	51	-	-	-	-	-	-	-	-	2
COXSA.A5	5	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A6	8	-	18	-	10	-	17	60	2	1	8	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A8	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A9	5	3	-	-	2	-	-	14	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A10	3	-	5	-	12	-	1	10	1	-	3	-	-	6	7	7	3	-	19	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	
COXSA.A16	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.A24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B1	-	1	1	1	-	-	1	3	19	15	9	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B2	11	2	-	-	2	-	2	11	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B3	-	-	-	-	1	-	5	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B4	3	7	6	1	15	-	28	14	4	2	5	-	4	13	29	16	2	2	1	11	1	7	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B5	7	4	5	1	-	-	5	7	1	2	-	-	2	1	6	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
COXSA.B6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 4	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 7	15	5	2	7	16	14	14	7	8	-	-	-	-	4	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 9	-	2	-	-	8	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 11	-	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 20	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 21	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 22	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 25	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	10	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ECHO 30	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
POLIO 1	-	1	-	-	4	1	-	-	1	4	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
POLIO 2	-	2	-	-	7	-	-	-	1	2	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
POLIO 3	3	-	-	-	4	3	-	-	2	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ENTERO71	-	1	-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	
RHINO	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
INF.A(H1)	24	3	13	-	14	-	2	63	-	-	11	-	-	-	-	-	7	-	38	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-
INF.A H1N1	-	-	-	-	12	-	-	-	27	-	3	38	305	111	52	1	-	1	4	50	28	-	27	-	19	5	-	156	-	-	-	-	
INF.A(H3)	92	37	20	-	75	-	3	15	1	-	7	-	-	15	-	-	23	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.A H3N2	27	-	-	-	7	4	-	-	6	-	-	3	38	-	19	8	-	-	-	2	13	3	-	10	-	6	-	122	-	-	-	-	
INF.B	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
INF.C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF.1	-	-	-	-	8	-	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF.2	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
PARAINF.3	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RS	18	-	-	58	9	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
MUMPS	2	1	1	1	9	-	22	22	3	2	12	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
MEASLES	-	11	-	1	-	-	-	2	-	3	-	-	-	28	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
REO 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ROTA	44	21	18	19	24	8	95	26	-	11	12	-	3	60	42	28	4	3	30	9	-	-	6										

12. 年別、由来ヒト、1991～1996年

12. Isolation/detection of viruses from human sources, by year, Japan, 1991-1996

1997年 9月30日現在報告数

Based on the data received before September 30, 1997

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
TOTAL	13287	10676	10387	9181	13564	10579
COXSA .A NT	1	6	-	-	-	-
COXSA .A1	-	2	-	-	-	-
COXSA .A2	269	14	25	99	19	51
COXSA .A3	2	8	11	3	7	-
COXSA .A4	184	226	179	87	208	97
COXSA .A5	50	45	64	81	55	38
COXSA .A6	260	60	84	30	74	158
COXSA .A7	2	1	-	2	-	1
COXSA .A8	4	2	20	3	4	36
COXSA .A9	54	107	97	82	72	49
COXSA .A10	29	271	46	204	39	205
COXSA .A16	106	171	170	124	712	56
COXSA .A24	-	-	30	3	4	3
COXSA .B1	170	261	7	107	11	70
COXSA .B2	43	112	94	338	79	127
COXSA .B3	80	49	97	188	467	25
COXSA .B4	58	208	108	212	101	351
COXSA .B5	37	38	88	379	269	125
COXSA .B6	4	3	-	3	9	15
ECHO NT	-	2	-	1	-	-
ECHO 1	-	-	-	2	1	-
ECHO 2	-	-	-	-	8	1
ECHO 3	3	2	73	101	15	-
ECHO 4	3	13	7	7	2	16
ECHO 5	46	94	4	5	-	1
ECHO 6	55	658	40	17	12	7
ECHO 7	-	2	127	23	326	288
ECHO 9	350	662	186	592	58	56
ECHO 11	22	75	511	59	14	32
ECHO 14	9	3	10	6	18	7
ECHO 15	-	-	-	1	-	-
ECHO 16	2	42	23	7	71	6
ECHO 17	-	3	14	12	6	-
ECHO 18	8	24	51	26	9	7
ECHO 19	2	1	3	-	-	-
ECHO 20	-	-	-	-	-	6
ECHO 21	-	-	-	-	-	7
ECHO 22	33	16	21	21	15	12
ECHO 24	3	275	3	9	1	1
ECHO 25	33	9	21	50	94	39
ECHO 27	6	3	4	-	-	-
ECHO 30	4082	63	93	8	4	4
ECHO 31	-	5	-	-	-	-
ECHO 33	-	-	-	11	-	-
POLIO 1	43	33	53	38	41	44
POLIO 2	31	34	49	29	30	40
POLIO 3	39	29	37	21	16	30
ENTERO71	50	53	305	153	49	41
RHINO	30	17	8	2	1	1

NT : 未同定

NT : Not typed

12. Continued

1997年 9月30日現在報告致
Based on the data received before September 30, 1997

	1991	1992	1993	1994	1995	1996
INF.A NT	1	10	9	-	1	28
INF.A(H1)	210	1191	-	20	647	796
INF.A H1N1	98	766	-	7	428	1536
INF.A(H3)	1253	555	993	1023	1755	949
INF.A H3N2	798	603	1097	843	1895	1058
INF.B	579	246	2268	194	1914	31
INF.C	4	2	4	-	-	8
PARAINF.NT	-	1	-	-	-	-
PARAINF.1	16	9	21	16	54	52
PARAINF.2	27	57	3	27	3	52
PARAINF.3	30	27	69	47	57	41
RS	127	82	61	87	94	202
MUMPS	225	137	109	171	160	258
MEASLES	19	22	15	20	55	52
RUBELLA	12	2	2	1	-	-
REO NT	-	-	-	1	-	-
REO 1	-	1	-	3	1	1
REO 2	1	5	4	3	2	-
ROTA	574	559	805	907	785	772
ROTA C	8	1	18	-	-	18
SRV	161	43	136	318	268	247
ADENO NT	112	87	107	95	152	123
ADENO 1	163	179	152	193	175	207
ADENO 2	260	321	242	280	296	327
ADENO 3	687	567	462	647	545	394
ADENO 4	229	225	60	57	70	21
ADENO 5	120	105	129	139	126	123
ADENO 6	39	49	31	51	37	44
ADENO 7	-	15	3	-	104	220
ADENO 8	91	42	20	25	144	61
ADENO 11	19	59	50	49	53	59
ADENO 14	1	-	-	-	-	-
ADENO 19	39	10	15	23	6	27
ADENO 22	-	-	-	-	-	1
ADENO 31	2	-	1	-	2	-
ADENO34/35	-	2	-	-	2	-
ADENO 37	86	23	4	30	78	40
ADENO 40	-	7	4	-	3	5
ADENO 41	17	9	5	4	-	-
ADENO40/41	-	-	13	5	21	15
HSV NT	106	153	89	77	91	85
HSV 1	466	479	395	411	335	348
HSV 2	101	66	54	46	16	57
VZV	42	31	27	25	25	11
CMV	381	226	147	188	240	257
HEPATITISA	-	-	-	2	3	-
C.BURNETII	-	-	4	-	-	-
R.TSUTSUG.	2	-	1	-	-	-
CHLAMYD.NT	96	80	68	54	54	57
C.TRACHOMA	280	221	210	185	135	189
M.PNEUMON.	2	-	-	-	-	19

NT : 未同定
NT : Not typed

第7章 結核・感染症サーベイランス事業の実施について
(局長通知)

健医発 第704号
昭和61年6月9日

都道府県知事 }
政令市長 } 殿
特別区長 }

厚生省保健医療局長

結核・感染症サーベイランス事業
の実施について

感染症サーベイランス事業の実施については、かねてから御尽力を願っているところであるが、昭和62年1月からは、結核等を対象疾病に追加するとともに、全国的規模のコンピュータ・オンライン・システムを樹立することにより、迅速な情報の収集、解析及び還元を図るため、本事業を実施することとし、別添「結核・感染症サーベイランス事業実施要綱」を定めたので、本事業の実施については格段の御配慮をお願いする。

なお、本事業実施上の細部については、別途当局結核難病感染症課長、感染症対策室長から通知することとしているので申し添える。

結核・感染症サーベイランス事業実施要綱

(昭和61年6月9日)
保健医療局長通知

第1 目 的

近年、公衆衛生の向上、生活環境の変化等により、各種感染症の発生状況は著しく変貌してきた。結核については、かつてに比べ患者数等は減少しているが、近年、減少率の鈍化、地域的偏在、集団発生の散発等がみられ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されていることから、患者発生状況、受療状況等の実態を集中的に把握し、その詳細な分析を行うことにより、効果的な予防対策を講ずるとともに、患者管理の充実を図る必要がある。

また、結核以外の感染症については、法定・指定伝染病は急速に減少してきた反面、風しん、手足口病、ウイルス肝炎、性行為感染症等の流行が社会的に問題となっていることから、医療機関の協力を得て、これら感染症の患者発生状況、病原体検索結果等の流行実態を早期かつ的確に把握することにより、必要な情報を速やかに地域に還元するとともに、予防接種、衛生教育等の適切な予防措置を講ずる必要がある。

このため、結核その他の感染症に関する情報を全国的規模で迅速に収集、解析、還元するコンピュータ・オンライン・システムを樹立し、これらの疾病に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資することを目的として、本事業を実施するものとする。

第2 対象疾病

この事業の対象とする疾病は、次のとおりとする。

(1)結核 (2)麻疹様疾患 (3)風しん (4)水痘 (5)流行性耳下腺炎 (6)百日せき様疾患 (7)溶連菌感染症 (8)異型肺炎 (9)感染性(ウイルス性及び細菌性)胃腸炎(乳児嘔吐下痢症を除く。)(10)乳児嘔吐下痢症 (11)手足口病 (12)伝染性紅斑 (13)突発性発しん (14)ヘルパンギーナ (15)インフルエンザ様疾患 (16)MCL S(川崎病) (17)咽頭結膜熱 (18)流行性角結膜炎 (19)急性出血性結膜炎 (20)感染性髄膜炎 ((a)細菌性髄膜炎 (b)無菌性髄膜炎) 21脳・脊髄炎 ((a)脳炎 (b)脳症 (c)ライ症候群 (d)脊髄炎) 22ウイルス肝炎 ((a)A型肝炎 (b)B型肝炎 (c)その他のウイルス肝炎) 23淋病様疾患 24陰部クラミジア感染症 25陰部ヘルペス 26尖圭コンジローム 27トリコモナス症

第3 実施主体

実施主体は、国、都道府県及び保健所を設置する市(特別区を含む)とする。

第4 実施体制の整備

情報処理の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制を整備するものとする。

1 結核・感染症情報センター

(1) 中央結核・感染症情報センター(厚生省)

中央結核・感染症情報センターは、地方結核・感染症情報センターから伝送された患者情報及び国立予防衛生研究所から報告された検査情報を集計、解析し、その結果を全国情報として速やかに地方結核・感染症情報センター等に還元するための中心的役割を果たす。

(2) 地方結核・感染症情報センター（都道府県・指定都市衛生主管部局）

地方結核・感染症情報センターは、地域内における患者情報及び検査情報を収集し、全国情報と併せて、これらを速やかに保健所、医師会等関係機関に還元する。

2 定 点

都道府県（指定都市の区域内にあっては指定都市）は、結核以外の対象疾病について、患者情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、第5の1に従い、患者定点及び検査定点をあらかじめ選定する。

なお、結核については、結核予防法による医療機関からの届出等の情報が保健所に集積されていることから、本事業においては、これらの患者情報のうち広域的な集計、解析に必要なものを保健所から収集するものとする。

3 結核・感染症サーベイランス委員会

(1) 結核・感染症サーベイランス委員会

本事業の適切な運用を図るため、厚生省に結核・感染症対策に関する学識経験者からなる結核・感染症サーベイランス委員会を置き、同委員会に結核・感染症サーベイランスのシステムの検討を行うためのサーベイランス・システム小委員会及び情報の解析評価を行うための情報解析小委員会を置く。

(2) 地方結核・感染症サーベイランス委員会

地方における事業の適切な運用を図るため、都道府県及び指定都市に小児科、内科、眼科、皮膚科、泌尿器科、微生物学、疫学等の専門家（10名程度）からなる地方結核・感染症サーベイランス委員会を置き、必要な情報の解析評価等を行う。

第5 事業の実施

1 定点の選定

(1) 患者定点

結核以外の対象疾病については、患者発生状況を地域的に把握するため、都道府県及び指定都市は、次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から患者定点を選定する。

ア 人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ当該都道府県（市）全体の疾病の発生状況を把握できるよう考慮すること。

イ 対象疾病のうち第2の(2)から(17)までに掲げる疾病については、小児科及び内科の医療機関（主として小児科）を患者定点とし、定点数は別記1に掲げる「保健所の人口規模別による患者定点の算出方法」を参考として算定すること。

ウ 第2の(17)から(19)までに掲げる疾病については、眼科の医療機関を患者定点とし、定点数は前記イにより算定された定点数の概ね10%（その値が3未満である都道府県（市）にあっては、3か所）とすること。

エ 第2の(16)及び(20)から(22)までに掲げる疾病については、対象者がほとんど入院患者であるため病院（主として小児科、内科）を患者定点とし、定点数は前記イにより算定された定点数の概ね10%（その値が5未満である都道府県（市）にあっては、5か所）とすること。

オ 第2の(23)から(27)までに掲げる疾病については、皮膚科及び泌尿器科の医療機関を患者定点として、定点数は別記1に掲げる「保健所の人口規模別による患者定点の算出方法」を参考として算定すること。

(2) 検査定点

病原体の分離等検査情報を収集するため、医療機関を検査定点とし、都道府県及び指定都市は、次の点に留意してこれを選定する。

ア 原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定すること。

イ 第2の(2)から(19)までに掲げる疾病についての検査定点数は、(1)のイ及びウにより選定された患者定点数の概ね30%とすること。

ウ (1)のエにより選定された病院は、第2の(20)から(22)までに掲げる疾病についての検査定点とすること。

エ (1)のオにより選定された医療機関は、第2の(23)から(27)までの疾病についての検査定点とすること。

2 調査単位等

(1) 患者情報のうち、前記1の(1)のイ及びウにより選定された医療機関に関するものについては1週間（日曜日から土曜日まで）を調査単位とし、同エ及びオにより選定された医療機関に関するものについては月を調査単位とする。

(2) 病原体検査情報については、原則として月間を調査単位とする。

(3) 結核については、(1)に定めるところは別に情報の収集を図るものとするが、その結果は、新登録患者に関しては原則として月報、登録除外者に関しては年報、登録者の全体に関しては年末現在につき年報として取りまとめるものとする。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における主として臨床的診断の結果をもって、患者発生状況の把握を行うものとする。

イ 前記1の(1)のイにより選定された小児科、内科の医療機関においては別紙様式1により、同ウにより選定された眼科の医療機関においては別紙様式2により、同エにより選定された病院においては別紙様式3により、同オにより選定された皮膚科、泌尿器科の医療機関においては別紙様式4により、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。

ウ 別紙様式1から4までによる患者情報については、調査単位が週単位の場合は翌週の火曜日まで、月単位の場合は翌月の3日までに到着するように、郵送等により提供を図るものとする。この場合において、提供の方法については、患者情報の円滑な収集の観点から、地域の特性に応じた適切な方法を採用することができるものとする。

(2) 検査定点

ア 検査定点として選定された医療機関は、別に定める「病原体検査指針」により、細菌学的及びウイルス学的検査のために検体を採取する。

イ 検査定点で採取された検体は、別紙様式5の検査依頼票を添付して、速やかに地方衛生研究所へ搬送する。

(3) 保健所

ア 保健所は、患者定点から得られた患者情報（別紙様式1～4）の情報項目を、調査単位が週単位の場合は調査対象週の翌週の水曜日まで、月単位の場合は調査対象月の翌月の4日までに、地方結核・感染症情報センターへコンピュータ・オンラインにより伝送する。

なお、別紙様式3及び別紙様式4による調査票のうち原因病原体に関する記載のあるものについては、その写を同時に送付する。

また、対象疾病についての集団発生その他特記すべき情報についても、地方結核・感染症情報センターに報告する。

イ 保健所は、地方結核・感染症情報センターから呼び出した患者情報を速やかに週報（月単位の場合は月報）として、市町村、患者定点その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関へ配布する。

ウ 保健所は、結核予防法の届出等に基づく結核患者等の情報のうち別記2に掲げる事項を、新登録患者については所定の情報が得られ次第コンピュータ・オンラインにより、年末現在の登録者及び年間の登録除外者については翌年の1月20日までにコンピュータ・オンライン又はフロッピー・ディスクにより、地方結核・感染症情報センターへ伝送又は送付する。

なお、結核の患者又は登録者に関する情報のコンピュータ処理に当たっては、患者等のプライバシーの保護に十分な注意を払うものとする。

エ 指定都市以外の保健所設置市（区）の保健所は、本事業により得られた情報について、当該市（区）衛生主管部局と緊密な連絡を図るものとする。

(4) 地方衛生研究所

ア 地方衛生研究所は、前記(2)のイにより搬送された検体を検査し、その結果を保健所を経由して検査定点に通知するとともに、これを検査情報として地方結核・感染症情報センターへ報告する。

イ 検査のうち地方衛生研究所において実施することが困難なものについては、必要に応じ国立予防衛生研究所へ検査依頼する。

ウ 地方衛生研究所は、別紙様式6および7により、前記アの検査情報を月単位にとりまとめ、翌月の15日までに国立予防衛生研究所に到着するように報告する。

ただし、ウイルス分離結果については、別紙様式8のマークシートによりその都度報告する。

(5) 国立予防衛生研究所

ア 国立予防衛生研究所は、地方衛生研究所から検査依頼を受けた検体について検査を実施し、その結果を地方衛生研究所へ通知する。

イ 国立予防衛生研究所は、前記(4)のウにより地方衛生研究所から報告された検査情報を集計し、報告を受けた月の翌月の20日までに中央結核・感染症情報センターへ報告する。

ただし、ウイルス分離結果等で特に重要なものについては、その都度報告する。

(6) 地方結核・感染症情報センター

ア 地方結核・感染症情報センターは、管内の患者定点、保健所から得られた患者情報を編集し、調査単位が週単位の場合は調査対象週の翌週の木曜日の午前中まで、月単位の場合は調査対象月の翌月の5日まで、結核の新登録患者については保健所からの情報の伝送があり次第コンピュータ・オンラインにより、結核の年末現在の登録者及び年間の登録除外者については翌年の1月末日までにコンピュータ・オンライン又はフロッピー・ディスクにより、中央結核・感染症情報センターへ伝送又は送付する

また、対象疾病についての集団発生、その他特記すべき情報についても、中央結核・感染症情報センターへ報告する。

なお、別紙様式3及び別紙様式4による調査票のうち原因病原体の記載のあるものについては、その写を同時に送付する。

イ 地方結核・感染症情報センターは、管内の患者定点、保健所から得られた患者情報の集計とあわせて、地方衛生研究所から通報された検査情報及び中央結核・感染症情報センターから呼び出した全国情報の解析評価を行い、速やかに保健所、医師会、市町村等の関係機関へ還元する。

(7) 中央結核・感染症情報センター

ア 中央結核・感染症情報センターは、地方結核・感染症情報センターから伝送された患者情報を速やかに集計し、解析評価を加えた全国情報を、調査単位等の区分に応じ週報、月報又は年報として作成する。

イ 中央結核・感染症情報センターは、国立予防衛生研究所から報告された検査情報の解析評価を行い、速やかに地方結核・感染症情報センターへ送付する。

第6 費 用

国は、本事業に要する費用のうち都道府県、指定都市、政令市、特別区が支弁するものについて、予算の範囲内において別に定めるところにより補助するものとする。

第7 実施時期

この実施要綱は、昭和62年1月1日から施行する。

別記1

保健所の人口規模別による患者定点の算出方法

保健所の区分	患者定点数	
	(2)～(17)の疾病 小児科・内科定点	(23)～(27)の疾病 病院定点
1型 (所管人口25万以上)	5	1
2型(所管人口17万5千 以上25万未満)	4	1
3型(" 12万5千 以上17万5千未満)	3	1
4型(" 7万5千 以上12万5千未満)	2	1
5型(" 3万以上 7万5千未満)	1	
S型 (" 3万未満)	1	

1. 新登録患者

- (1) 患者の生年月、性別及び市町村
- (2) 登録までの状況
- (3) 病状及び治療状況

2. 登録者

- (1) 登録者の生年月、性別及び市町村
- (2) 登録当時の状況
- (3) 現在の病状及び治療状況
- (4) 病状等の経過

3. 登録除外者

- (1) 登録除外者の生年月、性別及び市町村
- (2) 登録時以降の経過の概要
- (3) 除外年月日及び除外理由

様式1. 結核・感染症サーベイランス調査票（小児科・内科用）

調査期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

平成 年 第 番 市町村コード 完全コード

病名	年 齢									合計	合計のうち 予防接種(+)
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~			
麻疹様疾患											
風 疹											
水 痘											
流行性耳下腺炎											
百日せき様疾患											
溶連菌感染症											X
異 型 肺 炎											X
感 染 性 胃 腸 炎											X
乳児嘔吐下痢症					X	X	X	X			X
手 足 口 病											X
伝 染 性 紅 斑											X
突 発 性 発 疹						X	X	X			X
ヘルパンギーナ											X

病名	年 齢										合計	合計のうち 予防接種(+)
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~		
インフルエンザ様疾患												

病名	年 齢								
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~	合計
M C L S									
咽 頭 結 膜 熱									

その他特記事項

様式2。 結核・感染症サーベイランス調査票（眼科用）

調査期間 平成 年 月 日 ~ 月 日

平成 年 月 日
 調査コード
 調査コード

年齢 病名	年齢								
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~	合計
咽頭結膜熱									

年齢 病名	年齢																合計		
	0歳	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59		60-	
流行性角結膜炎																			
急性出血性結膜炎																			

その他特記事項

様式 3. 結核・感染症サーベイランス調査票（病院用）

調査期間 平成 年 月 1日 ~ 月 末日

平成 年 月 市町村コード 定数コード

診療科 (1. 小児科, 2. 内科, 3. その他) ○を記入

病名	年齢								
	0歳	1	2	3	4	5~9	10~14	15~	合計
M									
C									
L									
S									

病名	年齢															合計のうち 予防接種(※)	他施設 のもの							
		0歳	1	2	3	4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49			50-54	55-59	60~	合計			
A 型肝炎	男																							
	女																							
B 型肝炎	男																							
	女																							
その他のウ イルス肝炎	男																							
	女																							

ID番号	性	年・月齢	病名						検査試料	採取病日	検査結果						
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									
			1	2	3	4	5	6									

- 1: 感染性髄膜炎 (細菌性髄膜炎)
- 2: 感染性髄膜炎 (無菌性髄膜炎)
- 3: 脳・脊髄炎 (脳炎)
- 4: 脳・脊髄炎 (脳症)
- 5: 脳・脊髄炎 (ライ症候群)
- 6: 脳・脊髄炎 (脊髄炎)

その他特記事項

様式4. 結核・感染症サーベイランス調査票（STD診療科用）

調査期間 平成 年 月 1日 ~ 月 末日

年齢

平成 年 月 診断コード 発症コード

病名		年齢													計	
		0~4歳	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~		
淋病様疾患	男															
	女															
陰部クラミジア感染症	男															
	女															
陰部ヘルペス	男															
	女															
尖圭コンジローム	男															
	女															
トリコモナス症	男															
	女															

その他特記事項

様式 5.

感染症サーベイランス検査依頼票	
材料採取定点 定点No. _____	
機関名 _____	衛研受付番号 _____
担当者(主治医) _____	No. _____
材料送付日 年 月 日	検体番号 No. _____
患者	氏名 男, 女* 年 月 日生 (歳)
	住所 (市町村名まで記入)
検査材料	採取日 年 月 日
	材料の種類* ふん便、咽頭うがい液、鼻咽頭口腔ぬぐい液、結膜ぬぐい液、髄液、皮膚病巣、尿、血液、陰部尿道頸管擦過(分泌)物、 穿刺吸引物(部位: _____)、生・剖検材料(臓器: _____) その他(_____)
臨床報告	発病日 年 月 日
	疫学的事項* 散発、流行(幼稚園、保育所、育児所、学校、宿舎、家族内、地域) その他(_____)
	臨床診断名* 麻疹様疾患、風しん、水痘、流行性耳下腺炎、百日せき様疾患、溶連菌感染症、異型肺炎、感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、インフルエンザ様疾患、MCLS(川崎病)、咽頭結膜炎、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、感染性髄膜炎(細菌性、無菌性)、脳・脊髄炎、(脳炎、脳症、ライ症候群、脊髄炎)、ウイルス肝炎(A型肝炎、B型肝炎、その他のウイルス肝炎)、淋病様疾患(淋菌感染症)、陰部クラミジア感染症、陰部ヘルペス、尖圭コンジローム、トリコモナス症 その他(_____)
	臨床症状・徴候等* 無症状、発熱(最高 ℃)、水疱、発疹、口内炎、関節痛・筋肉痛、上気道炎、下気道炎(肺炎を含む)、胃腸炎、肝炎、腎炎、循環器障害、角膜炎、結膜炎、髄膜炎、脳炎、麻痺、尿路生殖器症状、リンパ節腫脹、唾液腺腫脹、出血傾向、先天性疾患 その他 _____
連絡事項等	
検査結果	報告日 年 月 日 検出病原体
* 印の欄は、該当事項に○印をする。	

病原菌検出状況報告書

(地研・保健所集計)

発症日 年 月 日
報告内容 年 月 分
報告内容 定期口 追加口 変更口

報告機関名
コード番号

Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来検出数()

Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来検出数()

Table with columns: コード, Shigella の型別 (群属), ヒト由来検出数()

Table with columns: コード, Shigella の型別 (群属), ヒト由来検出数()

Table with columns: コード, Escherichia coli の内訳 (群属), ヒト由来検出数()

※ Verotoxigen 性を確認した例について検出数を記入してください。また、下記の EHEC/VTEC 検体記入欄に詳細な情報を入力してください。

EHEC/VTEC 情報

Table with columns: 検体採取年月日, 血清型, V 産生性, 検査検出方法, V T 型, 年齢, 性別, 臨床症状, 備考

※ V. cholerae O139 が検出された場合は、菌種の「V. cholerae O139 情報」記入欄に記入してください。

() : 添付検査方法
※ : 急性腸炎の病原菌と考えられるものみ記載
※※ : 菌種検査を行った場合は、菌種別の内訳を添面に併記してください。
◎ 追加の検査作成の際は追加する数字のみを記入し、各群の型には何も記入しない。例 1-5 (4 を 5 に変更する場合)
◎ 追加の検査作成の際は追加する数字と変化した数字とを両方併記してください。

(毎月 15 日 / 初)

様式6。 (書式3A-裏)

Vibrio cholerae O139 情報

発 生 地	検体採取年月日	C T 産生性	毒素検出方法	集発/散発	年齢	性別	臨床症状	海外渡航歴 (国名・期間)	備 考

流行・集団発生に関する情報

*同一人からの同一菌種 (同一血清型、生物型) の複数株分離は1株として報告して下さい

No.	発生期間	原因施設	摂取場所	推定される		摂食者数	患者数	原因菌 (菌株数)*	被験者数	菌陽性者数
				原因食品	発生原因					
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
備 考										

食品検査情報

*流行・集団発生関連の食品からの検出例は上記「流行・集団発生に関する情報」の備考欄に記載して下さい

No.	材 料	検体数	検出病原菌種 (菌株数)	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				

輸入食品の場合、原産国名 (不明の場合は輸出国名) などが分かっている場合には備考欄に記入して下さい

環境汚染調査 (定点観測など) 情報

No.	場 所 (河川水など)	検査箇所数	検出病原菌種 (菌株数)	備 考
1				
2				
3				

重要と思われる症例、またはまれな症例等に関する情報

No.	検体採取年月日	検体の種類	検出病原菌種・菌型	年齢・月齢	性別	臨床診断名・症状	基礎疾患等

劇症型A群レンサ球菌感染症、希少感染症等、情報として重要と思われるものを記入して下さい
「基礎疾患等」の欄は、発症との関連性が考えられる基礎疾患がある場合に記入して下さい

その他の情報

病原菌検出状況報告書

(毎月 15 日 / 切)

(医療機関 集計)

発信日 年 月 日 追加の検査結果の欄には追加する検査の結果のみを記入し、合計の欄には何も記入しないでください。
報告機関名 報告内容 年月分 変更の検査結果の欄には元の数字と変更した数字とを両方書いてください。 例 4-5 (4を5に変更する場合)

調査内容 定期口 追加口 変更口

分離開料：糞便 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：膿液 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：唾液 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：血液 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：尿 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：咽頭および鼻咽喉からの材料 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：陰嚢、気管吸引液および下尿道からの材料 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

分離開料：陰部尿道頭管標過 (分泌) 物 Table with columns: コード, 菌種・群・型, ヒト由来 検出数 ()

V. cholerae O139 が検出された場合は、裏面の「V. cholerae O139 情報」記入欄に記入してください。

() : 海外旅行が帰国後

* Staphylococcus aureus が検出された場合は、その内訳を裏面に記入してください。

様式7. (書式3B-裏)

重要と思われる症例、またはまれな症例等に関する情報

No	検体採取年月日	検体の種類	検出病原菌種・菌型	年齢・月齢	性別	臨床診断名・症状	基礎疾患等
備 考							

細菌性髄膜炎、劇症型A群溶連菌感染症、特記すべき日和見感染、希少感染症等、情報として重要と思われるものを記入して下さい
 「基礎疾患等」の欄は、発症との関連性が考えられる基礎疾患がある場合に記入して下さい

<記入例>

No	検体採取年月日	検体の種類	検出病原菌種・菌型	年齢・月齢	性別	臨床診断名・症状	基礎疾患等
1	199X年10月1日	髄液	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	60歳	男	髄膜炎、発熱、頭痛、嘔吐	糖尿病
2	199X年10月5日	筋穿刺液・血液	<i>Streptococcus pyogenes</i> T3 M3, SPE B+C	53歳	男	左大腿部広範壊死、ショック	

Vibrio cholerae O139 情報

発 生 地	検体採取年月日	C T 産生性	毒素検出方法	集発／散発	年齢	性別	臨床症状	海外渡航歴 (国名・期間)	備 考

EHEC/VTEC 情報

検体採取年月日	血清型	V T 産生性	毒素検出方法	V T 型	年齢	性別	臨床症状	備 考

検出された *Staphylococcus aureus* の内訳 (再掲)

	分 離 材 料					
	糞 便	穿 刺 液	髄 液	血 液	喀痰、気管吸引液 および下気道	尿
MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)						
MSSA (メチシリン感受性黄色ブドウ球菌)						
メチシリン感受性未検査						

様式 8.

病原微生物検出報告書 (書式 1) 個票

1995. 4 改正 9

検出病原体	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
報告機関名	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
検体番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
採取機関名	都道府県
	機関名
検体提供者 (場所) 現住所	都道府県
	市区町村
	集団発生の場合施設名
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
採取理由	検死 流行 厚生 省 監視または 厚生省サーベ 集団発生 流行予測 感染症 特定 研究 イラランス定点 輸入 その他
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
採取年月日	19 年 91 92 93 94 95 96 97 98 99
	月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
	日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
検体源	ヒト プタ トリ サル カ ウマ ワシ その他の動物 環境 その他
	性別 男 女 性別不明 年齢不明
	年齢 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
(0歳の場合は必ず記入) 月齢	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	10 11 月齢不明
検体の由来	便 鼻いんこう 眼ぬぐい液 唾液 皮膚潰瘍 尿 血液 膿 肝 肺・気管支 全臓器 河川水 ^{※1} 上水 ^{※2} 下水 ^{※3} 食品 その他
	検出方法 (動物 鶏卵 培養 人工 其他) 培養 (動物 鶏卵 培養 人工 其他) 光顕 電顕 蛍光 EIA RPHAその他
記入しないこと	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

臨床 症 状	報告内容	初回報告	追加	変更	その他
	(臨床診断名)				
	<input type="checkbox"/>	不詳			
	<input type="checkbox"/>	無症状			
	<input type="checkbox"/>	発熱			
	<input type="checkbox"/>	水疱			
	<input type="checkbox"/>	発疹			
	<input type="checkbox"/>	口内炎			
	<input type="checkbox"/>	ヘルパンギーナ			
	<input type="checkbox"/>	手足口病症状			
<input type="checkbox"/>	関節痛・筋肉痛				
<input type="checkbox"/>	上気道炎				
<input type="checkbox"/>	下気道炎(肺炎を含む)				
<input type="checkbox"/>	胃腸炎(下痢・嘔吐を含む)				
<input type="checkbox"/>	肝炎				
<input type="checkbox"/>	腎炎				
<input type="checkbox"/>	循環器障害				
<input type="checkbox"/>	角膜炎・結膜炎				
<input type="checkbox"/>	髄膜炎				
<input type="checkbox"/>	脳炎				
<input type="checkbox"/>	麻痺				
<input type="checkbox"/>	泌尿生殖器疾患				
<input type="checkbox"/>	リンパ節腫脹				
<input type="checkbox"/>	唾液腺腫脹				
<input type="checkbox"/>	出血傾向				
<input type="checkbox"/>	先天性疾患				
<input type="checkbox"/>	その他				

発熱最高	3 4
	7 8 9 0 1 2
°C	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ポリオウイルス検出 の場合記入する	本人のポリオワクチン接種歴	無 不明 1回 2回 有 回数不詳
	最近の接種	年 月 日 記入有
	当該地区における最近の生ポリオワクチン接種	年 月 日 記入有

検出の場合 エンザウ イルス	本人の今期のインフル エンザワクチン接種歴	無 不明 有
	報告機関における株名 () 提出ウイルスHA価 () 使用細胞名・継代数 ()	
	抗原	患者HI価 急性期 回復期 記入有

備考欄	(マークした上で本欄に記入すること) 特別記載事項

(註) 検体源がヒトで、検体の由来が不明の場合、河川水^{※1}に、
口腔の場合上水^{※2}、陰部の場合下水^{※3}にそれぞれマーク
すること。

報告年 月 日

第 8 章 結核・感染症サーベイランス事業の実施について
(課長、室長通知)



健医結発第43号

健医感発第68号

昭和61年11月19日

各 { 都道府県
指定都市
政令市(区) } 衛生主管部(局)長 殿

厚生省保健医療局

結核難病感染症課長

感染症対策室長

結核・感染症サーベイランス事業の実施について

標記については、昭和61年6月9日健医第704号をもって厚生省保健医療局長から通知されたところであるが、さらに下記の事項に御留意の上、本事業の円滑な推進を図られるようお願いする。

記

第1 総括的事項

1 本事業の趣旨

本事業の目的は、上記保健医療局長通知による結核・感染症サーベイランス事業実施要綱（以下「実施要綱」という。）の第1に示されたとおりであるが、従来施策との関連でみると、本事業は、昭和36年以来実施している「結核登録者に関する定期報告」及び56年7月以来実施している「感染症サーベイランス事業」を発展的に統合するとともに、結核・感染症対策に関し地域の保健医療体制の充実を図るためのものであるので、このような趣旨を踏まえつつ、関係機関の積極的な協力を得て事業の推進に当たられたいこと。

2 今後のシステムの運用と検討

本事業のため昭和62年1月から運用を開始するコンピュータシステムについては、事業開始後の運用実績も踏まえながら、結核に関する情報項目の見直し、感染症に関する対象疾病の追加等の検

討を行うこととするが、おおむね3年間は原則として当初のシステムにより対応する予定であること。

第2 結核のサーベイランスに関する留意事項

1 事業実施時期の取扱い

- (1) 結核に関する情報のうち、新登録患者については昭和62年1月1日から、登録者（全体）については62年12月末日現在から、登録除外者については62年分（同年1月1日から12月末日までの間の登録除外者）から、それぞれ本事業によるサーベイランスを開始するものとする。
- (2) 各月の新登録患者の情報は、当面、保健所から地方結核・感染症情報センターへは翌月10日までに、地方結核・感染症情報センターから中央結核・感染症情報センターへは同月15日までに、オンライン伝送により提供すること。

また、年末現在の登録者（全体）及び年間の登録除外者の情報は、保健所から地方結核・感染症情報センターへは翌年1月20日までに、地方結核・感染症情報センターから中央結核・感染症情報センターへは同月末日までに、オンライン伝送又はフロッピーディスクの送付により提供すること。

- (3) 各月の新登録患者に関する全国情報の中央結核・感染症情報センターからのオンライン還元は、当面、翌月20日までに行うものとする。なお、オンライン還元以外の全国情報については、適宜、書面による月報又は年報（結核の統計）の形で厚生省から提供するものとする。

2 保健所におけるシステムの活用

本事業のため提供されるコンピュータシステムは、結核情報の広域的な収集、解析及び還元の機能にとどまらず、保健所における結核医療対策等の患者管理業務を支援する機能を有しているため、各保健所においてこれらの機能が十分に活用され、結核に関する患者管理の充実が図られるようにすること。

3 プライバシーの保護

結核サーベイランスにおけるプライバシー保護のための措置については、昭和61年11月6日健医結発第39号結核難病感染症課長通知によること。

第3 感染症のサーベイランスに関する留意事項

1 事業実施時期の取扱い

- (1) 感染症に関する患者情報のうち、調査単位を1週間とするもの（小児科・内科定点及び眼科定点）の各年における週の決定方法は、1月1日が日曜日から水曜日間の曜日である場合にはこの日の属する週を第1週とし、1月1日が木曜日から土曜日間の曜日である場合には次の日曜日から始まる週を第1週とするもの（三捨四入方式）とすること。このため、昭和62年においては、1月4日から始まる週を第1週として本事業によるサーベイランスを開始すること。

また、調査単位を月間とする患者情報（病院定点及びSTD定点）並びに病原体検査情報については、昭和62年1月1日から本事業によるサーベイランスを開始すること。

- (2) 患者情報の提供時期については、実施要綱の第5の3に定めるところに従い、下表のとおりであること。

情報区分	患者定点からの情報提供	オンライン伝送		全国情報のオンライン還元
		保健所 →	地方結核・感染症情報センター →	中央結核・感染症情報センター
週単位の患者情報 (小児・内科・眼科)	翌週火曜日まで	水曜日	木曜日午前	金曜日午前
月単位の患者情報 (病院、STD)	翌月3日まで	4日	5日	6日午後

なお、病原体検査情報の提供時期については、実施要綱の第5の3の(2)、(4)、(5)及び(7)のイに定めるところであること。

- (3) 感染症に関する全国情報のうち、患者情報については上記(2)の表に掲げるオンライン還元のほか書面による年報として、病原体検査情報については書面による月報及び年報として、それぞれ厚生省から提供するものとする。

2 患者情報等の調査

- (1) 対象疾病の定義、診断方法等については、別添「感染症サーベイランス対象疾病について」によらねたいこと。
- (2) 実施要綱で示した調査表の様式1、様式2、様式3及び様式4の「その他特記事項」欄には、対象疾病について実施された検査、対象疾病以外の感染症の流行等に関し特に注目すべき事項があった場合には、その旨を記載すること。
- (3) 調査票の様式1及び様式3の「予防接種+」欄には、患者数の合計のうち過去に当該疾病の予防接種を受けた人数を記入すること。ただし、インフルエンザ様疾患については、過去半年(6ヶ月)間におけるインフルエンザ予防接種歴によること。
- (4) 本事業による患者定点からの情報提供は、伝染病予防法又は性病予防法に基づく医師の届出とは別個のものであること。
- (5) 検査定点における検体の採取は、全例について実施するものではなく、あくまでも患者の診療上必要な場合に限るものであること。
- (6) 地方衛生研究所は、本事業における病原体検査の業務を実施するとともに、各地方における病原体検査情報の拠点となるものであること。

3 都道府県・指定都市の措置

- (1) 地方結核・感染症情報センター(各都道府県・指定都市)において隣接地域等の患者発生状況を詳細に把握する必要がある場合には、都道府県・指定都市別の全国情報の還元とあわせて、その希望する2都道府県・指定都市分の保健所管内別の患者情報を中央結核・感染症情報セン

ターからオンラインで提供を受けることが可能であること。各都道府県・指定都市においてこの情報提供を希望する都道府県・指定都市名については、別紙の申込書により、あらかじめ感染症対策室まで連絡されたいこと。

- (2) 中央結核・感染症情報センターに伝送された患者情報の修正は、週単位の調査情報については前5週間の伝送分、月単位の調査情報については前月の伝送分まで可能であること。
- (3) 各都道府県・指定都市が選定した保健所管内別の患者定点数の変更が必要な場合には、年毎の調査開始の当初において変更を行うものとし、年の途中での患者定点数の変更は生じないようにされたいこと。

第4 その他の留意事項

1 情報提供期限に関する特例

- (1) 第2の1の(2)及び第3の1の(2)の表に掲げる情報提供の期日が土曜日、日曜日若しくは国民の祝日又は12月29日～1月3日の間の日（以下「休日等」という。）である場合には、情報提供期限は、休日等の翌日まで延期するものとする。
- (2) 結核情報の提供期日と感染症患者情報の提供期日が重なる場合には、感染症患者情報の処理を優先し、結核情報の提供期限を翌日まで延期するものとする。
- (3) 上記(1)、(2)により患者定点、保健所又は地方結核・感染症情報センターのいずれかの段階で情報提供期限が延期された場合には、その日数に応じて事後の機関における情報提供期限も延期するものとする。

2 機器の運用・管理

本事業に用いるコンピュータ（オンラインを含む。）の運用・管理については、この通知に定めるところによるほか、別途配布する「結核・感染症サーベイランスマニュアル」を参照されたいこと。

3 その他

本事業の統計法第8条による総務庁への届出は、厚生省から一括して処理する予定であること。

(別 紙)

感染症サーベイランスにおける他都道府県
指定都市分の患者情報の提供申込書

昭和 ___ 年 ___ 月 ___ 日

都道
府県 (市) ___ 部 (局) ___ 課

提供を希望する対象の 都道府県・指定都市名	1. _____ 都道府縣市 2. _____ 都道府縣市
備 考	1. 提供開始時期 昭和 ___ 年 ___ 月分から 2. 申込の区分 新規申込 追加申込 (_____ 県市分) 変更申込 (_____ 県市 → _____ 県市)

(別 添)

感染症サーベイランスの対象疾病について

本事業における感染症のサーベイランスは、流行状況の早期把握が診断・治療管理に有効な感染症、発生状況の把握が十分でない新しいタイプの感染症等、その流行・発生の的確な把握が今後の予防対策上特に重要な感染症を対象疾病としている。

以下に26の対象疾病について、把握に際しての基本的な考え方を示す。患者定点医療機関における患者発生件数の把握に際しては、本事業の使命が迅速な情報の収集・還元にあるという観点から、診療時における主として臨床的診断の結果をもって行うことを原則とする。

(1) 麻しん様疾患

麻しん類似の発しん性疾患もしばしばみられるが、本事業の対象とするのは麻しんが目標である。麻しんの疫学的状況は、予防接種の普及により大きく変わりつつあり、その推移を監視する必要がある。診断は臨床状況から通常は容易である。

合併症としての脳炎は、様式3の調査票を使用する病院の患者定点からは⑳の「脳・脊髄炎」としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点では、「麻しん様疾患」として報告し、特記事項欄に「麻しん脳炎〇件」と記載する。

(2) 風 し ん

我が国の風しんは、数年間隔で全国流行を起こしているが、地域的な流行もかなりみられるようになっているので、発生状況を十分に把握する必要がある。

合併症としての脳炎は、様式3の調査票を使用する病院の患者定点からは⑳の「脳・脊髄炎」としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点では、「風しん」として報告し、特記事項欄に「風しん脳炎〇件」と記載する。

(3) 水 痘

水痘は幼児学童を中心とする普遍的な感染症であり、診断は臨床症状から容易である。水痘は学校伝染病としても重要であり、また、免疫不全状態にある者が罹患すると重篤となることから、その予防、院内感染の予防が重視され、サーベイランスの意義が大きい。

帯状疱疹は、同じウイルスによるものであるが、当面对象疾病とはしない。

(4) 流行性耳下腺炎

耳下腺腫脹を主症状とするが、ムンプスウイルスの全身感染症であり、各種臓器に多彩な病変をみる。水痘と並んで幼児学童の主要伝染病である。

不顕性感染が多いことが特徴である。生ワクチンによる予防接種が行われるようになったので、今後の疫学状況の変化に注目する必要がある。

診断は、臨床症状から容易である。

合併症としての髄膜炎、脳炎等は、様式3の調査票を使用する病院の患者定点からはそれぞれ⑨の「感染性髄膜炎」、⑳の「脳・脊髄炎」としても報告することとし、様式1の調査票を使用する小児科・内科の患者定点では「流行性耳下腺炎」として報告し、特記事項欄に「ムンプス髄膜炎〇件」

「ムンプス脳炎〇件」と記載する。

(5) 百日せき様疾患

百日せき菌のほか、パラ百日せき菌、アデノウイルス等によっても類似の症状を示すが、百日せき様疾患のほとんどは百日せき菌によるものである。母親からの移行免疫が有効に働かないため、乳児早期から罹患することがある。一般に百日せきの瘵咳期には治療が困難であるが、特に乳児は重篤になりやすく、しばしば肺炎、脳症などを併発するので、早期診断、予防が重要である。改良百日せきワクチンの導入以来、接種率は向上し、患者数も減少しつつあるが、なおかなりの発生が認められるので、その実態を把握する必要がある。

診断は、特徴的な症状及び血液像等の一般検査により容易であるが、菌分離による菌型決定等の検索を進めることも必要である。

(6) 溶連菌感染症

溶連菌感染症のほとんどはA群溶連菌によるもので、多彩な病像を示すが、本事業の対象は咽頭炎、アンギーナ（発しんを伴わないものを含む。）を主体とする。溶連菌感染か否かを臨床的に判定することは困難な場合が多いので、なるべく菌の培養検査により確実な診断をつけることが望ましい。

(7) 異型肺炎

異型肺炎の病原体としては、肺炎マイコプラズマのほか、ウイルス、クラミジア（オーム病）等も挙げられるが、現在の我が国の一般診療においては、異型肺炎の大部分はマイコプラズマ肺炎と考えられ、本事業の対象もマイコプラズマ肺炎を目標とするものである。

マイコプラズマ肺炎と診断するには病原体の分離培養又は抗体検査が必要であるが、早期の情報収集の目的から異型肺炎という病名を取り上げているものである。

(8) 感染性胃腸炎

ウイルス又は細菌による感染性胃腸炎を一括したものであるが、そのうち乳児嘔吐下痢症は(9)でとりあげることとし、本項目には含まないこととする。ウイルスによるものとしては、従来、流行性嘔吐症、流行性下痢症あるいは伝染性下痢症等と呼ばれていた急性胃腸炎があり、病原ウイルスの研究も急速な進歩をみているところである。細菌性のものとしては、サルモネラ、カンピロバクター、エルシニア、病原大腸菌（組織侵入性、毒素原性、血清型）、腸炎ビブリオ等によるものがある。本症については、特に、病原体分離により実態を明らかにすることが望まれる。

(9) 乳児嘔吐下痢症

乳幼児、特に6カ月から18カ月くらいの月齢に好発する急性の胃腸炎で、従来、仮性小児コレラ、白色便性下痢症、白痢あるいは晩秋嘔吐下痢症等と呼ばれていたものがこれに当たる。病原はロタウイルスによるものが大部分とみられ、特に11月から3月にかけて流行することが多い。

(10) 手足口病

1958年に世界で初めて報告された新しい感染症である。我が国では、1963年に初めての報告があり、1967～68年頃から注目されるようになり、1969～70年の全国的な流行から次第に一般に知られるようになった。最近の我が国では、コクサッキーA群16型又はエンテロウイルス71型によるものが1～2年おきに交互に流行をくりかえし、これにコクサッキーA群10型によるものも少数混じっ

ている。新しい感染症として、今後の流行の推移を十分に監視する必要がある。

診断は特徴的な臨床所見から容易であるが、病原ウイルスの分離、型別等の検査も望まれる。

(11) 伝染性紅斑

最近数年間にわたって全国的に流行がみられ、関心を呼んでいる。このため、本症は軽症の疾病であり合併症もないが、対象疾病として取り上げられたものである。診断は、特徴的な病像から容易である。病原体はまだ分離されていないが、ヒトパルボウイルスが疑われている。

(12) 突発性発しん

2才未満の乳幼児にみられる予後良好の急性発しん性疾患である。病原体は不明であり、流行性に発生することも少ないが、小児の代表的な発しん性疾患ということから対象疾病に取り上げられたものである。

(13) ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスA群による夏期の急性熱性疾患であり、特徴的な口腔内所見をみる。エンテロウイルス感染症は数多くあるが、その代表的な疾病として対象疾病に取り上げられたものである。

(14) インフルエンザ様疾患

インフルエンザはかぜ症候群の代表的疾患で、インフルエンザウイルスの上気道感染によって生じ、急激な発熱、強い全身反応及び咳、咽頭痛等の上気道症状を特徴とする。短期間に、速やかに流行が拡大し、小学生を中心とする小児の罹患率が高く、老人、特に基礎疾患を有する者では、しばしば肺炎などの合併症を起こし重篤となることから重視される。

インフルエンザは、他のウイルスによるかぜ症候群と区別し難い点があるが、流行状況や発熱を伴う特徴的かつ急激な症状から、これが疑われるものをインフルエンザ様疾患として対象疾病に取り上げられたものである。

インフルエンザウイルスは変異しやすく、特にA型は10～15年毎に大きな変異を起こし、世界的な流行となるので、ウイルス分離による検索が望まれる。

(15) MCLS（川崎病）

本症は、主として4才以下の小児に好発し、発熱、四肢末端の腫脹、不定型発しん、眼球結膜の充血、口唇の紅潮、頸部リンパ節腫脹等を主症状とする疾病である。

本症の原因は不明であるが、我が国における発生が多く、冠状動脈瘤から心血管後遺症（心筋硬塞、弁膜症、心筋炎、心膜炎等）を起こし、また、しばしば流行を起こすことから重視され、対象疾病に加えられたものである。

本症の診断は、厚生省川崎病研究班の診断の手引き（改訂4版、昭和59年9月）を参考とされたい。

なお、心血管後遺症の治療、管理に関する手引き（日本小児科学会誌90巻6号1399-1401頁）も発表されている。

(16) 咽頭結膜熱

アデノウイルスの感染により、発熱、咽頭炎、結膜炎を三主徴とし、夏期に多発する。しばしばプールを介して流行し、プール熱の別名がある。最近のわが国ではアデノウイルス3型、4型、19型が多い。

診断は、通常臨床症状により容易であるが、病原ウイルスの分離に努めることが望まれる。

(17) 流行性角結膜炎

アデノウイルス感染による急性結膜炎で、さらに角膜炎を起こす。最近の我が国では、アデノウイルス4型、8型が多く、その他3型、19型、37型、11型等も分離されている。

診断は、通常臨床症状により容易であるが、病原ウイルスの分離に努めることが望まれる。

(18) 急性出血性結膜炎

エンテロウイルス70型の感染による急性結膜炎で、結膜下出血が高頻度にかかる。アポロ11病の別名がある。数週後、稀に麻痺を起こすことがある。

本症は新しい感染症であり、1969年ガーナに初発し、我が国では1971年の流行以来、発生がみられる。

東南アジアでは、同様の結膜炎をきたす別の病原としてコクサッキーA群24型変異株の存在が知られていたが、1985年我が国にも侵入し沖縄で大流行を起こし、1986年にはその他の地域でも分離報告がみられるようになったので、今後の警戒が必要である。

診断は、通常臨床症状により容易であるが、病原ウイルスの分離に努めることが望まれる。

(19) 感染性髄膜炎（細菌性、無菌性）

臨床所見及び髄液検査により、細菌性髄膜炎と無菌性髄膜炎に区分して報告する。病院における検査で病原体が判明したものは、その結果を添える。検査を院内で実施できない場合は、衛生研究所に検体を送付する等により、積極的に病原体を明らかにすることが望まれる。

原発性のものを対象とし、術後感染あるいは免疫不全状態に併発したものは除外する。

(20) 脳・脊髄炎

脳炎は、日本脳炎や単純ヘルペスウイルス等の直接侵襲によって起こる一時的脳炎と、麻しん等の感染症又は予防接種後に生ずる感染後若しくは接種後脳炎に大別される。

脳症は、諸種の刺激に対する脳の急激な反応ということができる。感冒等の感染を先行疾患として認めることもあるが、明らかな原因を見出し得ないものも多く、原因不明の急性脳症として一括される。

小児急性脳症の特殊な形としてライ症候群があり、これは肝臓等の諸臓器に著名な脂肪変性を伴う。ライ症候群の診断は、厚生省心身障害研究小児急性脳症研究班の診断の手引き（日本小児科学会誌82巻11号）を参考とされたい。

脳炎と脳症は、臨床的に区別し難いことが多いが、髄液の炎症所見の有無を考慮して判断する。

脊髄炎としては、脊髄症状のみ症例のほか、脊髄症状が主体である脳脊髄膜炎も対象とする。これらの疾病については、十分な病原ウイルス検査を行うことが望まれる。

(21) ウイルス肝炎

肝炎ウイルスが原因と考えられるA型肝炎、B型肝炎及び非A非B型肝炎が対象である。

診断は、既往歴、臨床症状及び抗原・抗体検査により、通常容易である。

なお、B型肝炎、非A非B型肝炎については、感染後短期間のうちに急性症状を呈する症例のほか、キャリアが経過中に急性肝炎様症状を呈する症例があるが、これらについても対象に含める。

(22) 淋病様疾患（淋菌感染症）

淋病様症状を呈する疾患には非淋菌感染症もあるが、本事業の対象とするのは淋菌感染症が目標である。淋菌感染症としては、女児の外陰部膻炎、新生児結膜炎等の非性行為感染症もあるが、本事業では性行為感染症としての淋菌感染症を対象としている。

通常、自覚症状が強く、診断は容易であるが、淋菌の検出により確実な診断を行うことが望ましい。

(23) 陰部クラミジア感染症

クラミジア・トラコマチスによる陰部感染症を対象とする。

非淋菌性尿道炎の原因の多くがクラミジア・トラコマチスによるものといわれているが、淋菌と同時感染があることにも注意を要する。

一般に自覚症状は軽微なため、症状だけでは診断が困難な場合が多いので、クラミジアの分離あるいは陰部擦過物の塗沫染色等による検索を行うことが望ましい。

(24) 陰部ヘルペス

単純ヘルペスウイルス 1・2 型により引き起こされる陰部感染症である。

単純ヘルペスウイルスによる感染症には、陰部以外の感染症もあるが、本事業では近年注目されている性行為感染症の実態把握を目的としているため、陰部感染症のみを対象とする。

一般的には問診や症状等から診察は容易であるが、硬性下かん、軟性下かん、ベーチェット病との鑑別を要する。ヘルペスウイルスの分離に努めることが望まれる。

再発傾向が強い疾病であるが、再発の場合は再度報告する。

(25) 尖圭コンジローム

ヒト乳頭腫ウイルスによって引き起こされる。診断は、問診、臨床症状から十分可能である。

ウイルスの分離方法はまだ確立されていない。

(26) トリコモナス症

膻トリコモナスにより引き起こされる陰部感染症を対象とする。一般的に自覚症状は軽微なことが多いため、直接鏡検等による診断が有用である。

第9章 感染症サーベイランス事業病原体検査指針

病原体検査指針

1. 病原体検査の対象疾病

感染症サーベイランス事業において病原体検査の対象となる疾病は、(5)百日せき様疾患、(6)溶連菌感染症、(7)異型肺炎、(8)感染性胃腸炎、(9)乳児嘔吐下痢症、(10)手足口病、(13)ヘルパンギーナ、(14)インフルエンザ様疾患、(16)咽頭結膜熱、(17)流行性角結膜炎、(18)急性出血性結膜炎、(19)感染性髄膜炎 ((a)細菌性、(b)無菌性)、(20)脳・脊髄炎 ((a)脳炎、(b)脳症、(c)ライ症候群、(d)脊髄炎)、(22)淋病様疾患 (淋菌感染症)、(23)陰部クラミジア感染症、(24)陰部ヘルペスおよび(26)トリコモナス症であり、検査定点医療機関では、これらの疾病の患者から必要に応じて細菌学のおよびウイルス学的検査のために検体を採取すること。

なお、(1)麻疹様疾患、(2)風しん、(3)水痘、(4)流行性耳下腺炎、(11)伝染性紅斑、(12)突発性発しん、(15)MCL S (川崎病)、(21)ウイルス肝炎 ((a)A型肝炎、(b)B型肝炎、(c)その他のウイルス肝炎) および(25)尖圭コンジロームについては、主として、臨床診断、必要に応じて抗原抗体検査等によること。

2. 検査材料及び病原体

本事業における病原体検査のために採取すべき検査材料および対象となる病原体は、次表に示す。

対象疾病名	病原体 検 出	検 査 材 料	対象となる病原体
(1) 麻疹様疾患		咽頭ぬぐい液	麻疹ウイルス
(2) 風しん		咽頭ぬぐい液	風疹ウイルス
(3) 水痘		咽頭ぬぐい液、水疱内容	水痘-帯状疱疹ウイルス
(4) 流行性耳下腺炎		唾液、咽頭ぬぐい液	ムンプスウイルス
(5) 百日せき様疾患	○	鼻咽頭ぬぐい液、喀痰	百日咳菌、パラ百日咳菌
(6) 溶連菌感染症	○	咽頭ぬぐい液	レンサ球菌（A、C、G群）
(7) 異型肺炎	○	喀痰、うがい液	マイコプラズマ・ニューモニエ
(8) 感染性胃腸炎	○	糞便	アデノ、エンテロ、小型球形、 ロタ等のウイルス、 サルモネラ、カンピロバクター エルシニア、大腸菌、コレラ菌 非O1、腸炎ビブリオ等
(9) 乳児嘔吐下痢症	○	糞便	ロタウイルス等
(10) 手足口病	○	咽頭ぬぐい液、糞便、水 疱内容	コクサッキーウイルスA16、コ クサッキーウイルスA10、エン テロウイルス71
(11) 伝染性紅斑		血液	ヒトパルボウイルスB19
(12) 突発性発しん		血液	ヒトヘルペスウイルス6型
(13) ヘルパンギーナ	○	咽頭ぬぐい液、糞便	コクサッキーウイルスA、B
(14) インフルエンザ様疾 患	○	咽頭ぬぐい液、うがい液	インフルエンザウイルス
(15) MCLS（川崎病）			
(16) 咽頭結膜熱	○	咽頭ぬぐい液、糞便、結 膜擦過物	アデノウイルス（3、4型な ど）
(17) 流行性角結膜炎	○	結膜擦過物	アデノウイルス（4、8、19、 37型など）
(18) 急性出血性結膜炎	○	結膜擦過物	エンテロウイルス70、コクサッ キーウイルスA24

対象疾病名	病原体 検 出	検 査 材 料	対象となる病原体
(19) 感染性髄膜炎			
(a) 細菌性髄膜炎	○	髄液、脳脊髄組織（剖検時）	髄膜炎菌、インフルエンザ（桿）菌、肺炎球菌、B群レンサ球菌等の細菌、真菌等
(b) 無菌性髄膜炎	○	髄液、血液、糞便、咽頭ぬぐい液、脳脊髄組織（剖検時）	エンテロ、ムンプス等のウイルス等
(20) 脳・脊髄炎	○	髄液、血液、糞便、咽頭ぬぐい液、脳脊髄組織（剖検時）	日本脳炎、単純ヘルペス、麻疹、ポリオ等のウイルス等
(21) ウイルス肝炎			
(a) A型肝炎		糞便	A型肝炎ウイルス
(b) B型肝炎		血液	B型肝炎ウイルス
(c) その他のウイルス肝炎		血液	C型肝炎ウイルス、その他
(22) 淋病様疾患（淋菌感染症）	○	尿道または子宮頸管擦過物・分泌物、肛門直腸ぬぐい液	淋菌
(23) 陰部クラミジア感染症	○	男子初尿・尿道擦過物または子宮頸管擦過物	クラミジア・トラコマチス
(24) 陰部ヘルペス	○	陰部擦過物	単純ヘルペスウイルス（1、2型）
(25) 尖圭コンジローム			ヒト乳頭腫ウイルス
(26) トリコモナス症	○	尿道または子宮頸管擦過物・分泌物	膣トリコモナス

○ 本事業において病原体検査の対象となる疾患

3. 検体の採取・保存・輸送法

検査定点医療機関において患者から検体を採取し、検査機関に搬送する方法は、細菌とウイルスとでは異なるので注意が必要である。

なお、検査材料の取扱いの詳細については、下記を参照、あるいは検査機関（地方衛生研究所）に相談すること。

- (1) 厚生省監修「微生物検査必携第3版」（1987年、日本公衆衛生協会）
細菌・真菌検査及びウイルス・クラミジア・リケッチャ検査の各分冊
- (2) 厚生省微生物検査におけるレファレンスシステムに関する研究班作成
「検査マニュアル」（国立予防衛生研究所）

4. 細菌感染症の場合の検体の採取・輸送法

(1) 糞便

- ア 細菌学的検査用には、抗生物質投与前の糞便を採取する。
- イ 排泄直後の糞便をキャリー・ブレイアー培地または1%食塩加グリセリン保存液に採取する。
- ウ 検体採取後は常温に保存し、24時間以内に分離培養することが望ましい。冷凍で保存・輸送をしてはならない。

(2) 鼻咽頭ぬぐい液・咽頭ぬぐい液

- ア 滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽頭をよくぬぐい、輸送培地中（アミー培地等）にその綿棒を深部まで突き刺す。容器の口のところで棒を折り、ただちに固く栓を締める。
- イ 検体採取後は常温に保存し、24時間以内に分離培養することが望ましい。冷凍で保存・輸送をしてはならない。

(3) 髄液、血液

- ア 細菌学的検査用には、抗生物質投与前の検体を採取する。
- イ 髄液は0.5mlを無菌的に採取し、ただちに輸送培地（トランスアイソレーション培地等）に接種する。保存・輸送とも常温で行う。
- ウ 血液は2～5mlをカルチャーボトルに直接採取し、常温で検査機関に輸送する。

(4) 陰部分泌物および擦過物

- ア 分泌物中の白血球や淋菌などを鏡検するためには、外尿道口にスライドガラスを当てて分泌液をつけ、グラム染色用の標本とする。
- イ 淋菌の分離培養には、滅菌綿棒で尿道、頸管、直腸等をよくぬぐい、輸送培地中（アミー培地など）にその綿棒を深部まで突き刺す。容器の口のところで棒を折り、ただちに固く栓を締める。
- ウ 検体採取後は常温に保存し、24時間以内に分離培養することが望ましい。冷凍で保存・輸送をしてはならない。

5. ウイルス感染症の場合の検体採取法

(1) 糞便

- ア できるだけ早期（急性期）に排泄直後の糞便を採取する。
- イ ウイルス培養検査用には約2g（2ml）を採取する。
- ウ 電子顕微鏡法による検査のためには5～10g以上、小型球形ウイルス感染が疑われる場合はできるだけ多く（約50g）採取する。

(2) 咽頭うがい液

生理食塩水等を用い咽頭の奥でよくうがいさせる。吐き出させたうがい液に等量の保存液（0.5%ウシ血清アルブミンまたは0.5%ゼラチン加細胞培養液あるいは普通ブイヨン等に抗生物質を添加する）を加える。

(3) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔あるいは咽頭をよくぬぐい、滅菌容器に分注した保存液（0.5%ウシ血清アルブミンまたは0.5%ゼラチン加細胞培養液等に抗生物質を添加する）2 mlにその綿棒を浸す。綿棒の柄の部分をはさみ等で切り落として密栓するか、あるいはよく絞った後、綿棒を取り除いて密栓する。

(4) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒を保存液中でよく振とうして擦過物を出来る限り浮遊させた後、綿棒を管壁に押しつけてから取り出して密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱または膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器などで局所を突き穿し内容を吸引するか、または局所を滅菌綿棒でこすり、前記ぬぐい液と同様に処理する。

(6) 陰部分泌物及び擦過物

ア クラミジアの検出には、滅菌綿棒を尿道または子宮頸管に挿入し、ゆっくり回転させて擦過する。蛍光抗体法による抗原検出のためには、スライドガラスの直径1 cm以内の狭い範囲に綿棒を回転させながら検体をこすりつけ、風乾後、冷アセトンで10～15分間固定する。直ちに染色しない場合は、固定後、-20℃で保存する。分離培養またはELISA法による抗原検出のためには、擦過した綿棒を1.5 mlの保存液（SPG又は2SP）に浸し、前記鼻咽頭ぬぐい液と同様に処理して容器を密栓する。

イ ヘルペスウイルスの検出には、滅菌綿棒で患部を擦過するが、採取直前に患部をアルコールなどで消毒してはならない。前記のクラミジアの場合と同様、蛍光抗体法または分離培養法によって検査する。ただし、分離培養のための検体は、トランスポートメジウム（20%コウシ非働化血清加YLE等）を使用する。

(7) 髄液

無菌的に1～5 ml髄液を採取して、滅菌容器にいれ密栓する。

6. ウイルス検査検体の保存及び輸送法

(1) 検体は、できるだけ速やかに検査機関に搬送する。

(2) 検体採取当日あるいは翌日に検査可能な場合は氷冷して保存・輸送する。

(3) やむを得ず長時間保存する場合は、密封および凍結可能な容器に入れ、ドライアイスアセトン、ドライアイスアルコール又は液体窒素で急速に凍結した後、ドライアイスまたは冷凍庫（-25℃以下、できれば-70℃以下が望ましい）で凍結保存する。

(4) 凍結して輸送する場合は、断熱性の搬送用コンテナに入れ、ドライアイスまたは寒剤（例えば氷75%+食塩25%）を使用し、輸送中に融解しないようにすること。

- (5) 保存・輸送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ガスが容器内部に侵入してpHが低下するのを防ぐため、検体容器はビニールテープでシールして完全に密封するよう十分注意する。

7. 検査情報報告書の記入要領

病原微生物検出情報事務局作成「病原微生物検出報告書記入の手引き」（国立予防衛生研究所）を参照する。

第10章 〔資料編〕

1. 平成8年 都道府県別・男女別人口（日本人人口）
2. 平成8年 年齢5歳階級・男女別人口（日本人人口）
3. 年次別人口
4. 伝染病患者数・死者数（法定・指定伝染病）
5. 同 （届出伝染病）
6. インフルエンザ様疾患総患者数（昭和61年～平成9年）
7. インフルエンザ様疾患週別発生状況（年次別週別）
8. インフルエンザ様疾患発生報告（都道府県・指定都市別・最終報8.9.24～9.6.14）
9. 平成8年 性病患者数・り患率（人口10万対）、病類・年次別
10. 平成8年 性病患者数、病類別・都道府県別
11. 平成8年 梅毒発生状況、月別

1. 平成8年 都道府県別・男女別人口(日本人人口)

(単位:千人)

都道府県	総数	男	女	都道府県	総数	男	女
全 国	124,709	61,115	63,594	徳 島 県	831	395	436
北 海 道	5,689	2,733	2,956	香 川 県	1,025	493	532
青 森 県	1,480	704	777	愛 媛 県	1,502	710	792
岩 手 県	1,417	681	736	高 知 県	813	382	431
宮 城 県	2,330	1,144	1,186	福 岡 県	4,926	2,352	2,573
秋 田 県	1,208	575	633	佐 賀 県	884	419	465
山 形 県	1,253	606	647	長 崎 県	1,538	723	815
福 島 県	2,130	1,041	1,089	熊 本 県	1,859	880	980
茨 城 県	2,942	1,469	1,473	大 分 県	1,227	580	647
栃 木 県	1,974	982	992	宮 崎 県	1,176	556	619
群 馬 県	1,986	980	1,006	鹿 児 島 県	1,791	839	952
埼 玉 県	6,753	3,415	3,339	沖 縄 県	1,277	626	651
千 葉 県	5,775	2,912	2,863	(13大都市)			
東 京 都	11,587	5,792	5,795	東京都区部	7,962	3,954	4,008
神 奈 川 県	8,194	4,176	4,018	札 幌 市	1,774	851	924
新 潟 県	2,484	1,208	1,276	仙 台 市	981	485	496
富 山 県	1,119	539	580	千 葉 市	860	435	425
石 川 県	1,177	569	608	横 浜 市	3,320	1,689	1,631
福 井 県	820	398	422	川 崎 市	1,209	632	577
山 梨 県	877	432	445	名 古 屋 市	2,151	1,073	1,078
長 野 県	2,178	1,063	1,115	京 都 市	1,464	706	757
岐 阜 県	2,085	1,012	1,074	大 阪 市	2,600	1,277	1,322
静 岡 県	3,706	1,825	1,882	神 戸 市	1,420	682	738
愛 知 県	6,806	3,406	3,400	広 島 市	1,115	545	570
三 重 県	1,831	888	942	北 九 州 市	1,018	483	535
滋 賀 県	1,283	632	650	福 岡 市	1,296	630	666
京 都 府	2,585	1,255	1,331	注:13大都市については総人口。			
大 阪 府	8,630	4,239	4,391	資料:「平成8年10月1日現在推計人口」			
兵 庫 県	5,333	2,577	2,756	(総務庁統計局)			
奈 良 県	1,431	688	742				
和 歌 山 県	1,075	511	565				
鳥 取 県	613	293	319				
島 根 県	767	367	400				
岡 山 県	1,941	933	1,008				
広 島 県	2,863	1,389	1,474				
山 口 県	1,539	729	811				

2. 平成8年 年齢5歳階級・男女別人口(日本人人口)

(単位:千人)

年齢階級	総数	男	女
総数	124,709	61,115	63,594
0～4歳	5,925	3,036	2,889
5～9	6,330	3,242	3,088
10～14	7,285	3,730	3,555
15～19	8,181	4,195	3,986
20～24	9,691	4,952	4,739
25～29	9,135	4,637	4,498
30～34	7,845	3,973	3,872
35～39	7,650	3,862	3,788
40～44	8,506	4,277	4,229
45～49	11,115	5,575	5,541
50～54	8,434	4,182	4,252
55～59	8,074	3,968	4,107
60～64	7,586	3,668	3,918
65～69	6,532	3,075	3,458
70～74	4,973	2,109	2,864
75～79	3,370	1,276	2,095
80～84	2,373	848	1,526
85～89	1,228	386	841
90歳以上	473	123	350

資料:「平成8年10月1日現在推計人口」(総務庁統計局)

3. 年次別人口

昭和	22	年	*	78,101,473
	25		*	83,199,637
	26			84,573,000
	27			85,852,000
	28			87,033,000
	29			88,293,000
	30		*	89,275,529
	31			90,259,000
	32			91,088,000
	33			92,010,000
	34			92,971,000
	35		*	93,418,501
	36			94,285,000
	37			95,178,000
	38			96,156,000
	39			97,186,000
	40		*	98,274,961
	41			99,056,000
	42			99,637,000
	43			100,794,000
	44			102,022,000
	45		*	103,119,447
	46			104,345,000
	47			105,742,000
	48			108,079,000
	49			109,410,000
	50		*	111,251,507
	51			112,420,000
	52			113,499,000
	53			114,511,000
	54			115,465,000
	55		*	116,320,358
	56			117,204,000
	57			118,008,000
	58			118,786,000
	59			119,523,000
	60		*	120,265,700
	61			120,946,000
	62			121,535,000
	63			122,026,000
平成	1			122,460,000
	2		*	122,721,397
	3			123,102,000
	4			123,476,000
	5			123,788,000
	6			124,069,000
	7		*	124,298,947
	8			124,709,000

注：* 印は国勢調査人口。昭和41年までは総人口。昭和42年以降は日本人人口。昭和48年以降は沖縄県を含む。

4.伝染病患者数・死者数（法定・指定伝染病）

疾病年次	コレラ		赤痢		腸チフス		パラチフス		痘そう		発疹チフス		しょうじゅん		ジフテリア		流行性		日本肺炎		ポリオ		ラッサ熱		腸出血性		合計		
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	
1946	1,245	560	86,214	13,408	44,658	5,446	9,154	466	17,954	3,028	32,366	3,351	2,208	100,498	3,826	455	201	99	0	0	0	0	0	0	0	0	247,300	30,740	
1950	25	0	49,780	11,968	4,883	630	1,711	80	5	2	928	68	5,149	33	1,182	367	5,196	2,430	3,212	775	0	0	0	0	0	84,678	17,535		
1955	30	0	80,654	6,042	1,939	105	590	13	1	0	0	0	13,486	62	15,557	913	630	161	3,699	1,373	1,314	314	0	0	0	117,870	8,983		
1960	35	0	93,971	2,048	1,572	39	319	6	0	0	0	0	8,786	22	14,921	497	526	112	1,607	650	5,606	317	0	0	0	127,308	3,691		
1965	40	0	48,621	270	789	9	71	1	0	0	0	0	10,735	14	2,159	39	214	50	1,179	658	76	28	0	0	0	63,844	1,069		
1970	45	0	9,996	51	211	3	50	0	0	0	0	0	7,774	3	596	6	72	18	145	167	8	11	0	0	0	18,852	259		
1975	50	0	1,498	6	524	1	81	1	0	0	0	0	7,518	2	139	5	33	10	21	25	4	3	0	0	0	9,818	53		
1976	51	0	727	6	372	3	74	2	0	0	0	0	5,314	1	145	2	33	11	7	19	0	0	0	0	0	6,672	44		
1977	52	29	737	11	346	4	77	0	0	0	0	0	3,933	0	122	2	42	13	4	9	0	0	0	0	0	5,290	40		
1978	53	34	1,037	4	385	1	123	1	0	0	0	0	3,733	0	69	0	28	6	75	49	0	0	0	0	0	5,484	62		
1979	54	11	1,313	5	391	2	135	0	0	0	0	0	4,437	0	104	1	25	2	61	42	0	0	0	0	0	6,477	52		
1980	55	22	951	0	294	1	123	2	0	0	0	0	2,804	0	66	1	24	3	28	20	2	0	0	0	0	4,314	27		
1981	56	19	1,021	1	292	3	185	0	0	0	0	0	1,586	1	47	0	25	2	21	10	2	0	0	0	0	3,198	17		
1982	57	15	1,260	4	247	2	201	0	0	0	0	0	908	1	30	0	18	2	25	8	1	0	0	0	0	2,705	17		
1983	58	35	1,658	3	288	0	167	0	0	0	0	0	749	0	20	0	15	2	26	9	0	0	0	0	0	2,958	14		
1984	59	55	997	3	196	1	142	0	0	0	0	0	640	0	15	0	25	4	32	6	0	0	0	0	0	2,102	14		
1985	60	34	1,128	6	211	0	141	0	0	0	0	0	368	0	10	0	27	1	40	8	1	0	0	0	0	1,960	15		
1986	61	26	1,303	4	184	0	37	0	0	0	0	0	319	0	9	0	22	1	28	6	0	0	0	0	0	1,928	11		
1987	62	34	1,275	3	145	0	27	0	0	0	0	0	222	0	7	1	21	1	44	7	2	0	1	0	0	1,778	12		
1988	63	33	1,046	3	111	0	32	0	0	0	0	0	185	0	9	0	9	1	31	5	0	0	0	0	0	1,456	9		
1989	平成元	95	924	4	105	0	65	0	0	0	0	0	96	0	4	0	10	0	32	7	0	0	0	0	0	1,331	11		
1990	2	73	920	5	120	2	26	0	0	0	0	0	29	0	5	0	12	2	55	10	0	0	0	0	0	1,240	19		
1991	3	90	1,120	3	106	1	25	0	0	0	0	0	22	0	2	0	10	0	14	3	0	0	0	0	0	1,389	7		
1992	4	48	1,124	3	71	0	29	0	0	0	0	0	31	0	4	0	11	1	4	1	0	0	0	0	0	1,322	5		
1993	5	92	1,120	3	129	0	46	0	0	0	0	0	23	0	5	1	7	0	8	0	3	0	0	0	0	1,433	4		
1994	6	90	1,042	1	71	1	49	0	0	0	0	0	6	0	1	0	6	0	6	1	1	0	0	0	0	1,272	3		
1995	7	306	1,062	4	64	0	75	0	0	0	0	0	5	0	1	0	3	0	4	2	1	0	0	0	0	1,521	7		
1996	8	40	1,218	4	81	0	32	0	0	0	0	0	4	0	1	0	4	0	6	0	0	0	0	0	0	1,287	10	2,673	14

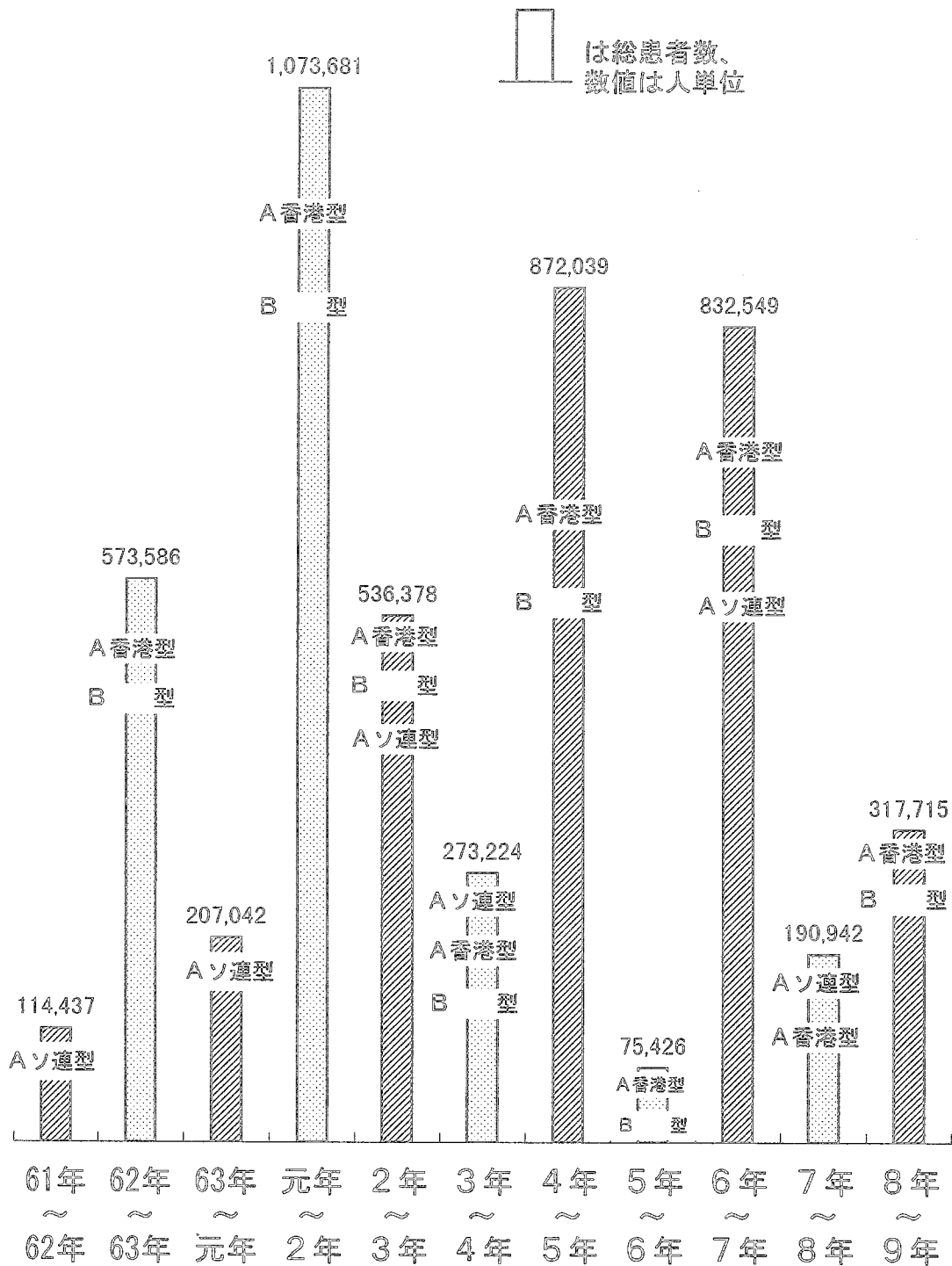
(注) ・バストについては、患者・死者ともなし。
 ・昭和47年から神奈川区分含む。
 ・パラチフスについては、「パラチフス」のみを対象とした。
 ・コレラについては、昭和63年10月1日より「CT(+)」のみを対象とした。
 (資料) ・昭和21年度、患者数、死者数とも厚生省「衛生統計」により、昭和22年度以降は、厚生省「伝染病統計」、
 死者数は、厚生省「人口動態統計」による。
 ・患者数は、真症のみで、死者数は、疑似・保菌も含む。
 ・ラッサ熱は、昭和5年からの統計である。

5. 伝染病患者数・死者数（届出伝染病）

西暦元号	インフルエンザ		狂犬病		炭 索		伝 染 性 下 痢 症		百日せき		ましん		破 傷 風		マラリア		つつが虫		フィラリア		回 傷 熱		合 計		
	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	患者	死者	
1946(昭和21)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28,210	-
1950	39,324	1,250	57	63	2	0	91	-	122,796	8,426	56,236	3,745	1,915	1,558	1,016	73	116	5	106	59	-	-	221,659	15,179	
1955	18,639	539	0	0	6	1	81	-	14,134	401	60,271	2,258	960	887	66	20	43	0	61	54	-	-	94,261	4,160	
1960	142,892	4,012	0	0	3	0	226	2	3,890	65	48,395	1,346	820	605	16	10	63	0	59	44	0	0	196,364	6,084	
1965	409,391	5,024	0	0	22	0	3	0	2,362	22	37,789	598	542	384	6	3	8	0	118	33	0	0	450,241	6,064	
1970	173,371	3,707	1	0	2	1	20	0	655	5	31,248	556	243	160	17	4	6	0	12	14	0	0	205,575	4,447	
1975	36,250	1,391	0	0	0	0	1	1	1,084	5	15,217	232	103	85	30	1	12	0	24	8	0	0	52,721	1,723	
1976	321,601	2,654	0	0	0	0	5	0	2,508	20	31,647	268	90	82	24	2	31	0	8	8	0	0	355,914	3,034	
1977	198,427	682	0	0	0	0	7	0	5,420	20	18,061	138	72	79	37	3	39	1	5	8	0	0	222,068	931	
1978	119,812	707	0	0	0	0	4	0	9,626	32	34,305	181	74	63	23	4	61	0	1	11	0	0	163,906	998	
1979	12,524	136	0	0	0	0	0	0	13,105	41	18,866	80	59	51	29	1	94	1	3	3	0	0	44,680	313	
1980	66,744	718	0	0	0	0	24	0	5,033	18	13,219	50	50	45	55	6	212	1	2	3	0	0	85,339	841	
1981	19,910	193	0	0	0	0	0	0	3,368	12	21,471	52	41	50	41	3	388	2	4	4	0	0	45,223	316	
1982	72,188	802	0	0	1	0	3	0	2,832	1	6,716	24	36	26	49	4	508	0	1	5	0	0	82,334	862	
1983	26,143	751	0	0	0	0	58	0	2,459	12	7,281	47	56	44	54	2	672	1	1	1	0	0	36,724	858	
1984	17,882	191	0	0	1	0	16	0	1,114	5	12,268	90	42	31	69	1	957	3	1	2	0	0	32,350	323	
1985	63,572	523	0	0	0	0	0	0	938	7	2,810	36	43	28	56	2	885	3	1	3	0	0	68,305	602	
1986	14,296	280	0	0	0	0	0	0	1,037	5	6,323	68	62	22	54	1	763	5	0	1	0	0	22,535	382	
1987	5,759	121	0	0	0	0	3	0	909	9	5,872	96	50	19	45	1	804	0	1	1	0	0	13,443	247	
1988	17,859	192	0	0	0	0	0	0	499	5	3,109	78	53	17	55	1	608	3	1	1	0	0	22,184	297	
1989(平成元)	11,508	121	0	0	0	0	0	0	229	1	1,753	34	42	11	57	2	754	0	2	0	0	0	14,345	169	
1990	25,021	448	0	0	0	0	0	0	583	4	3,259	53	47	26	55	1	941	3	0	2	0	0	29,906	537	
1991	5,868	100	0	0	0	0	0	0	536	2	5,452	39	34	20	58	1	837	1	1	0	0	0	12,886	163	
1992	6,053	177	0	0	2	0	0	0	391	1	2,250	14	47	17	51	0	704	4	0	0	0	0	9,496	213	
1993	16,655	519	0	0	0	0	2	0	131	2	2,002	14	33	14	58	0	712	4	1	1	0	0	19,594	554	
1994	2,404	65	0	0	2	1	1	0	145	3	1,766	11	44	11	74	3	652	4	0	1	0	0	5,085	99	
1995	22,393	1,244	0	0	0	0	0	0	226	5	931	7	45	13	66	0	529	3	1	1	0	0	24,191	1,273	
1996	8,774	166	0	0	0	0	10	0	183	5	1,640	15	44	16	51	0	423	1	1	3	0	0	11,126	206	

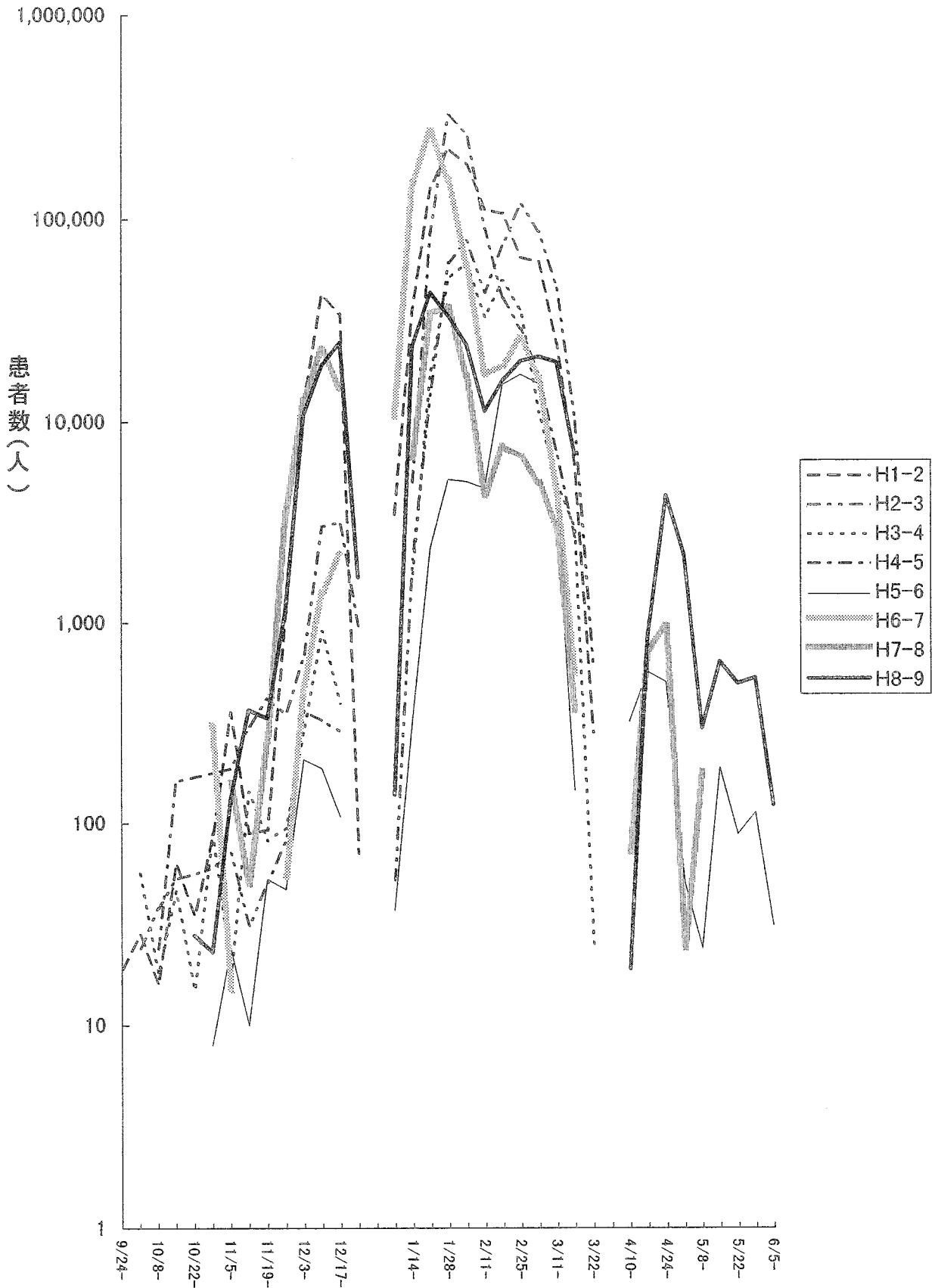
(注) ・昭和46年から前期限分含む。
(資料) ・昭和21年は、患者数、死者数とも厚生省「出生統計」により、昭和22年以降の患者数は、厚生省「伝染病統計」、死者数は、厚生省「人口動態統計」による。
・患者数は、真正の患者数、死者数は、疑似・保菌も含む。
・「-」については、数値不明である。

6. インフルエンザ様疾患総患者数（昭和 61 年 ~ 平成 9 年）



(備考) 疾病発生数は、保育所、幼稚園、小学校、中学校等が対象である。

7. インフルエンザ様疾患週別発生状況（年次別週別）



8. インフルエンザ様疾患発生報告（最終報）

累計8. 9. 24-9. 6. 14

	施設数		休校数		学年間額 学校数		学級間額 学校数		在籍者数		患者数		欠席者数		初発 年月日	ウイルス分離状況		
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計		Aソ連	A香港	B型
北海道	1	1788	1	140		490		1158	41	132063	27	78917	16	29900	8. 9. 24		8. 12. 12	9. 1. 14
青森	0	40		14		15		11		5812		3261		1007	8. 12. 7		9. 3. 5	9. 3. 5
岩手	0	55		15		26		14		4417		2479			8. 12. 5			9. 4. 30
宮城	0	6		0		2		4		370		210		97	8. 12. 10			
秋田	0	11		5		6		0		3724		1827		638	8. 12. 13		8. 12. 27	
山形	0	147		53		63		31		13224		8893		2874	8. 11. 13		8. 12. 5	
福島	0	5		3		0		2		10916		4102		715	8. 12. 7			
茨城	0	25		4		5		16		1956		930		606	8. 12. 6		9. 1. 27	
栃木	0	2		0		2		0		444		254		88	8. 12. 10		8. 12. 18	
群馬	0	93		1		13		79		4232		2576		1395	8. 11. 26		8. 12. 2	9. 2. 25
埼玉	0	449		0		28		421		20233		7520		5511	8. 12. 5		8. 12. 10	9. 2. 18
千葉	0	34		0		5		29		1386		695		500	8. 12. 10		8. 12. 16	
東京	0	885		1		0		384		35904		23715		10496	8. 11. 26		8. 12. 17	8. 12. 17
神奈川	0	357		2		16		339		20664		12237		5470	8. 11. 26		9. 2. 13	
新潟	0	291		47		81		163		31268		14611		6355	8. 11. 25		9. 1. 22	9. 2. 19
富山	0	36		0		14		22		3286		1912		974	8. 12. 17		8. 12. 24	
石川	0	85		4		20		61		4704		2837		1307	8. 11. 12		8. 11. 29	9. 4. 30
福井	0	34		9		17		8		4365		2481		996	8. 12. 9		8. 12. 18	9. 3. 28
山梨	0	78		5		31		42		4665		2770		1411	8. 12. 18		9. 2. 6	9. 1. 10
長野	0	0		0		0		0		0		0		0				
岐阜	2	165		2	1	47	1	116	114	8210	66	4996	23	2293	8. 11. 21		8. 11. 28	9. 4. 28
静岡	0	6		0		0		6		353		230		127	9. 1. 13		9. 1. 20	
愛知	0	67		1		25		41		4592		2799		1318	8. 12. 10		8. 12. 12	9. 2. 19
三重	0	258		5		83		170		14555		9380		4074	8. 11. 27		9. 1. 31	
滋賀	0	249		2		37		210		12871		7770		3846	8. 12. 10		8. 12. 18	9. 4. 8
京都	0	185		0		58		127		8437		5175		2357	8. 11. 12		9. 1. 27	
大阪	0	956		4		108		844		68630		32180		19665	8. 11. 2		8. 12. 9	9. 2. 27
兵庫	0	329		7		63		259		16187		8420		4749	8. 11. 29		8. 12. 9	9. 3. 13
奈良	0	229		1		12		216		8865		4713		2825	8. 12. 3		8. 12. 10	9. 4. 11
和歌山	0	340		10		167		163		14704		9251		3990	8. 10. 21		8. 12. 27	9. 3. 14
鳥取	0	43		1		25		17		3173		1897		864	8. 11. 28			
島根	0	227		39		105		83		13496		7087		3332	8. 11. 20		8. 12. 24	
岡山	1	86		8		30	1	48	29	4844	28	2849	12	1333	9. 1. 13		9. 1. 28	9. 3. 13
広島	0	130		7		58		65		7332		4512		2031	8. 12. 11		8. 12. 14	
山口	0	128		11		61		56		11217		5999		2746	8. 12. 10		9. 2. 4	9. 3. 24
徳島	0	9		1		7		1		374		193		175	9. 1. 22		9. 1. 27	
香川	0	10		0		8		2		338		136		136	9. 1. 17			
愛媛	0	25		1		10		14		1260		769		438	9. 1. 14		9. 1. 24	
高知	0	228		17		125		86		12049		7497		3183	9. 1. 9			
福岡	0	255		7		47		201		14511		8465		4088	8. 12. 12		9. 1. 16	
佐賀	0	10		0		6		4		434		340		172	9. 1. 17			
長崎	0	28		4		13		11		1204		848		440	9. 1. 14		9. 1. 24	
熊本	0	288		59		87		142		34935		16558		5435	8. 12. 10		9. 3. 7	
大分	0	66		6		44		16		3898		2488		1147	9. 1. 9		9. 1. 20	
宮崎	0	4		0		1		3		842		222		110	9. 1. 13		9. 1. 30	
鹿児島	0	24		1		15		8		874		603		373	9. 1. 16		9. 2. 17	
沖縄	0	5		0		1		4		186		111		74	9. 1. 10			
計	4	8771	1	497	1	2077	2	6197	184	577009	121	317715	51	142689				
昨年同期	3	6171	1	548	2	1352	0	4271	240	353179	179	190942	63	104081	(H7. 10. 22~H8. 5. 11)			
再掲	礼 幌	0	220		1	32		187		26821		16305		7456	9. 1. 20			
	仙 台	0	2		0	0		2		102		55		39	8. 12. 10			
	千 葉	0	0		0	0		0		0		0		0				
	横 浜	0	11		1	2		8		531		269		173	8. 11. 28		9. 1. 29	
	川 崎	0	3		0	0		3		135		68		42	9. 1. 31			
	名 古 屋	0	18		0	3		15		672		430		263	8. 12. 17		8. 12. 25	9. 4. 23
	京 都	0	0		0	0		0		0		0		0				
	大 阪	0	138		2	10		126		12286		6770		4019	8. 12. 4		8. 12. 9	8. 3. 7
	神 戸	0	8		0	2		6		537		180		180	8. 11. 29		8. 12. 6	9. 3. 14
	広 島	0	5		0	0		5		179		95		52	9. 1. 28		9. 2. 4	
	北九州	0	81		1	14		66		3983		2507		1063	9. 1. 16		9. 1. 22	
	福 岡	0	15		2	2		11		1543		911		401	8. 12. 12		8. 12. 18	9. 4. 7

(参考) 調査対象外でのウイルス分離状況 (A香港型)

注: 累計は前報までの修正数を含む

(A香港型)				(B型)					
福島県	8. 10. 7	千葉県	8. 12. 13	名古屋市	9. 1. 9	千葉県	8. 11. 25	徳島県	9. 2. 18
神戸市	8. 11. 22	石川県	8. 12. 13	長崎県	9. 1. 9	札幌市	8. 12. 9	高知県	9. 2. 20
滋賀県	8. 12. 3	福岡市	8. 12. 16	山梨県	9. 1. 10	横浜市	8. 12. 20	長崎県	9. 2. 21
山形県	8. 12. 5	京都府	8. 12. 20	静岡県	9. 1. 13	広島県	9. 1. 7	富山県	9. 2. 25
大阪市	8. 12. 9	富山県	8. 12. 20	山口県	9. 1. 14	山形県	9. 1. 14	兵庫県	9. 3. 1
宮城県	8. 12. 10	高知県	8. 12. 24	札幌市	9. 1. 16	石川県	9. 1. 27	青森県	9. 3. 5
香川県	8. 12. 12	佐賀県	8. 12. 24	兵庫県	9. 1. 27	京都市	9. 2. 5	川崎市	9. 3. 13
京都市	8. 12. 13	鳥取県	8. 12. 27	北海道	9. 2. 5	岩手県	9. 2. 5	名古屋市	9. 3. 31
横浜市	8. 12. 13	岩手県	8. 12. 29	青森県	9. 2. 27	北海道	9. 2. 5		
川崎市	8. 12. 13	徳島県	9. 1. 7			仙台市	9. 2. 14		

9. 平成8年 性病患者数・罹患率(人口10万対)、病類・年次別

昭和25年～平成8年

年次	総数		梅毒		りん病		軟性下かん		そけいりんぱ 肉芽しゅ症	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
1950 昭和 25 年	316,044	379.9	121,461	146.0	178,273	214.3	15,280	19.0	490	0.6
51 26	271,024	320.5	77,044	91.1	177,774	210.2	15,903	18.8	303	0.4
52 27	224,315	261.3	50,528	58.9	158,670	184.8	14,909	17.4	208	0.2
53 28	191,856	220.4	38,721	44.5	140,458	161.4	12,514	14.4	163	0.2
54 29	184,115	208.5	33,829	38.3	141,416	160.2	8,745	9.9	125	0.1
55 30	167,950	188.1	28,673	32.1	134,571	150.7	4,636	5.2	70	0.1
56 31	144,273	159.9	24,323	26.9	116,842	129.5	3,068	3.4	40	0.0
57 32	106,447	116.9	18,011	19.8	86,195	94.6	2,216	2.4	25	0.0
58 33	38,324	41.7	13,211	14.4	24,367	26.5	733	0.8	13	0.0
59 34	21,710	23.4	11,468	12.3	9,970	10.7	266	0.3	6	0.0
60 35	19,086	20.4	10,126	10.8	8,736	9.4	214	0.2	10	0.0
61 36	13,889	14.7	7,313	7.8	6,364	6.7	207	0.2	5	0.0
62 37	11,687	12.3	6,301	6.6	5,125	5.4	256	0.3	5	0.0
63 38	10,154	10.6	5,761	6.0	4,166	4.3	221	0.2	6	0.0
64 39	9,540	9.8	5,326	5.5	4,041	4.2	169	0.2	4	0.0
65 40	10,849	11.0	6,001	6.1	4,663	4.7	179	0.2	6	0.0
66 41	18,071	18.2	10,821	10.9	6,951	7.0	288	0.3	11	0.0
67 42	24,125	24.1	11,755	11.8	11,874	11.8	490	0.5	6	0.0
68 43	18,758	18.5	8,848	8.7	9,592	9.5	316	0.3	2	0.0
69 44	17,641	17.2	7,767	7.6	9,645	9.4	226	0.2	3	0.0
70 45	14,641	14.0	6,138	5.9	8,349	8.0	151	0.1	3	0.0
71 46	12,547	11.8	5,105	4.8	7,299	6.9	137	0.1	6	0.0
72 47	12,707	11.9	5,449	5.1	7,097	6.7	157	0.1	4	0.0
73 48	12,795	11.8	5,281	4.9	7,375	6.8	138	0.1	1	0.0
74 49	10,340	9.4	4,165	3.8	6,047	5.5	126	0.1	2	0.0
75 50	8,860	7.9	3,635	3.2	5,127	4.6	97	0.1	1	0.0
76 51	8,392	7.4	3,284	2.9	5,037	4.5	69	0.1	2	0.0
77 52	7,949	7.0	3,026	2.7	4,858	4.3	63	0.1	2	0.0
78 53	8,083	7.0	2,874	2.5	5,130	4.5	76	0.1	3	0.0
79 54	9,114	7.8	2,444	2.1	6,581	5.7	88	0.1	1	0.0
80 55	9,819	8.4	2,081	1.8	7,661	6.5	75	0.1	2	0.0
81 56	10,490	8.9	1,627	1.4	8,777	7.4	86	0.1	-	-
82 57	12,166	10.2	1,668	1.4	10,409	8.8	89	0.1	-	-
83 58	14,055	11.8	1,687	1.4	12,291	10.3	74	0.1	3	0.0
84 59	15,268	12.7	1,642	1.4	13,511	11.2	106	0.1	9	0.0
85 60	13,446	11.1	1,904	1.6	11,443	9.5	94	0.1	5	0.0
86 61	12,609	10.4	2,598	2.1	9,915	8.1	95	0.1	1	0.0
87 62	9,529	7.8	2,928	2.4	6,528	5.3	72	0.1	1	0.0
88 63	8,503	6.9	2,530	2.1	5,931	4.8	34	0.0	8	0.0
89 平成 元年	7,610	6.2	2,108	1.7	5,439	4.4	54	0.0	9	0.0
90 2	7,584	6.1	1,877	1.5	5,646	4.6	53	0.0	8	0.0
91 3	7,095	5.7	1,494	1.2	5,567	4.5	22	0.0	12	0.0
92 4	4,533	3.6	1,055	0.8	3,465	2.8	12	0.0	1	0.0
93 5	2,538	2.0	804	0.6	1,724	1.4	9	0.0	1	0.0
94 6	2,118	1.7	666	0.5	1,448	1.2	4	0.0	-	-
95 7	2,234	1.8	530	0.4	1,699	1.4	5	0.0	-	-
96 8	2,773	2.2	565	0.4	2,201	1.7	6	0.0	1	0.0

注:昭和47年以前には沖縄県を含まない。

資料:厚生省「伝染病統計」

10. 平成8年 性病患者数、病類別・都道府県別

都道府県	総数	梅毒	りん病	軟性下かん	そけいりんぱ 肉芽しゆ症
全 国	2,773	565	2,201	6	1
北海道	139	13	126	-	-
青森	7	3	4	-	-
岩手	63	2	61	-	-
宮城	-	-	-	-	-
秋田	1	-	1	-	-
山形	44	-	44	-	-
福島	-	-	-	-	-
茨城	-	-	-	-	-
栃木	70	-	70	-	-
群馬	4	3	1	-	-
埼玉	6	1	5	-	-
千葉	38	17	21	-	-
東京都	1,076	198	877	1	-
神奈川県	353	105	246	1	1
新潟	29	2	27	-	-
富山	-	-	-	-	-
石川	2	2	-	-	-
福井	3	-	3	-	-
山梨	37	37	-	-	-
長野	46	7	39	-	-
岐阜	1	1	-	-	-
静岡県	1	1	-	-	-
愛知県	71	8	62	1	-
三重	-	-	-	-	-
滋賀	-	-	-	-	-
京都	84	31	53	-	-
大阪	118	28	90	-	-
兵庫県	37	11	26	-	-
奈良	-	-	-	-	-
和歌山	6	1	3	2	-
鳥取	11	11	-	-	-
徳島	1	1	-	-	-
岡山	85	4	81	-	-
広島	20	7	13	-	-
山口	95	10	84	1	-
徳島	-	-	-	-	-
香川	-	-	-	-	-
愛媛	38	27	11	-	-
高知	-	-	-	-	-
福岡	197	26	171	-	-
佐賀	1	-	1	-	-
長崎	-	-	-	-	-
熊本	4	-	4	-	-
大宮	12	3	9	-	-
宮崎	-	-	-	-	-
鹿児島	42	2	40	-	-
沖縄	31	3	28	-	-

資料:厚生省「伝染病統計」

11. 平成8年 梅毒発生状況、月別

		初期	第2期	早期潜伏	後期潜伏	晩期	先天性	不詳	総数
1月	男	6	2	4	0	0	0	18	30
	女	3	0	5	3	1	0	5	17
2月	男	5	2	3	0	1	0	8	19
	女	1	0	4	4	1	0	8	18
3月	男	9	1	4	0	0	0	5	19
	女	2	0	3	1	0	0	6	12
4月	男	8	2	5	5	2	0	22	44
	女	1	2	2	4	0	0	8	17
5月	男	3	0	3	3	0	0	29	38
	女	1	1	0	3	0	0	9	14
6月	男	9	4	1	2	0	0	19	35
	女	2	0	4	0	0	1	9	16
7月	男	1	2	1	1	2	0	22	29
	女	2	1	3	0	0	0	13	19
8月	男	6	1	0	4	0	0	19	30
	女	2	1	3	3	0	0	11	20
9月	男	2	4	2	2	0	0	19	29
	女	3	2	0	1	0	0	14	20
10月	男	3	7	3	0	1	0	24	38
	女	2	1	4	0	0	0	10	17
11月	男	5	2	2	1	1	0	19	30
	女	1	1	0	0	2	0	4	8
12月	男	2	5	3	1	0	0	17	28
	女	2	0	4	1	0	1	10	18

資料：厚生省「伝染病統計」